

平成 25 年度
北区障害者実態・意向調査

報告書

平成 26 年 3 月

北 区

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査実施概要	1
3.	設問構成	2
4.	設問項目の区分設定	4
5.	前回調査との比較について	4
6.	集計結果の留意点	5
7.	調査結果	6
II	調査結果	49
1.	回答者自身の属性	49
2.	通院・入院状況	59
3.	住居	68
4.	収入・就労	88
5.	介助・支援	128
6.	日常生活	145
7.	外出・地域環境・交通	153
8.	情報・相談	165
9.	サービスの利用	197
10.	障害児	214
11.	成年後見	217
12.	災害対策	225
13.	社会参加	253
14.	自由意見	285
III	資料編	293
1.	調査票	293

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 26 年度に予定している北区障害者計画及び北区障害福祉計画の策定に向け、計画の基礎資料となる区内身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者の生活実態及び障害者福祉サービス利用状況を調査するとともに、障害福祉施策への意向を把握するため、アンケート調査による実態調査を行ったものである。

2. 調査実施概要

(1) 調査の種類及び対象者

調査の対象（種類）は、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者の 4 種類とし、対象者は、北区民のそれぞれに該当する障害者（患者）から抽出した次に示す計 4,000 人である。

- ①身体障害者実態調査・・・1,800 人
- ②知的障害者実態調査・・・700 人
- ③精神障害者実態調査・・・700 人
- ④難病患者実態調査・・・800 人

(2) 調査実施方法

本調査は、郵送（配布、回収）によるアンケート方式で実施した。

(3) 回収結果

アンケート調査の回収結果は、各種別別に次表のとおりであり、回収率は、55.0%、有効回収率は、51.1%であった。

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	合計
配布数	1,800	700	700	800	4,000
回収数	1,059	349	307	485	2,200
回収率	58.8%	49.9%	43.9%	60.6%	55.0%
調査不能	58	23	26	48	155
有効回収数	1,001	326	281	437	2,045
有効回収率	55.6%	46.6%	40.1%	54.6%	51.1%

I 調査の概要

なお、調査不能が 155 票あったが、その詳細については、以下のとおりであり、「答えたくない」が、88 票と多かった。

◆調査不能理由

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	合計
1. 長期不在	14	3	3	6	26
2. 答えたくない	23	14	18	33	88
3. その他	21	6	5	9	41
合計	58	23	26	48	155

3. 設問構成

本調査のアンケートの設問構成は、下表のとおりであり、全体で 34 問（枝番を含めると 65 問）である。その他、最後に「自由意見」の記述を設けている。アンケート調査票は、資料編に示すとおりである。

設問構成

分野	問番号	設問	回答方式	限定質問	前回調査
回答者	問1	回答者	SA		○
1. 回答者自身のことについて	問2(1)	性別	SA		○
	問2(2)	年齢	NA		○
	問3	現住所	記述		
	問4	障害者手帳の種類別有無	MA		○
	問4-1(1)	身体障害者手帳の等級	SA	※	○
	問4-1(2)	身体障害者手帳の障害名	MA	※	○
	問4-2	愛の手帳の度数	SA	※	○
	問4-3(1)	精神障害者保健福祉手帳の等級	SA	※	○
	問4-3(2)	精神障害者保健福祉手帳の疾病名	MA	※	○
	問4-4	都医療券(難病医療費助成)の疾病名	MA	※	○
	問5(1)	障害程度区分	SA		○
問5(2)	介護保険制度の要支援・要介護度	SA			
2. 通院や入院について	問6	通院の頻度	SA		
	問7	最近1年間での入院の有無と入院期間	SA		○
	問7-1	入院した理由	MA	※	○
3. 住居について	問8	暮らしている住居の形態	SA		○
	問8-1	同居家族の状況	MA	※	○
	問8-2	同居家族の人数	NA	※	
	問8-3	「グループホーム・ケアホーム」施設の入居期間	SA	※	
	問8-4	「入所施設・病院」の入居期間	SA	※	
	問9	将来暮らしたい住居	SA		○

分野	問番号	設問	回答方式	限定質問	前回調査
4. 収入・就労について	問10	収入の種類	MA		○
	問10-1	仕事による収入の場合の仕事の形態	SA	※	○
	問10-2	仕事による収入の場合の仕事の職種	SA	※	
	問10-3	仕事による収入の場合の収入額	SA	※	
	問11	今後希望する仕事の形態	MA		○
	問11-1	「会社等の正規職員」を希望した人の働く上での心配事	MA	※	
	問12	障害者が働くにあたっての必要だと思う支援	MA		
5. 介護・支援について	問13	介護や支援など支えてくれる人	MA		○
	問13-1	親族の中で最も支えてくれる主な介護者	NA	※	○
	問13-2	主な介護者の年齢	SA	※	○
	問13-3	主な介護者の性別	SA	※	○
	問13-4	主な介護者の現在の仕事の状況	SA	※	○
6. 日常生活について	問14	平日の昼間の過ごしている主な場所	SA		○
	問15	余暇の過ごし方	MA		
7. 外出・地域環境・交通について	問16	外出時に困ること	MA		
	問17	18歳未満の子供と一緒に外出する時に困ること	MA	※	
8. 情報や相談について	問18	区政や福祉サービス情報の入手先	MA		○
	問19	悩み事や困ったことなどの相談者（相談機関）	MA		○
	問20	悩み事や困ったことなどの相談内容	MA		
	問21	相談しやすい体制づくりに必要な事	MA		○
9. サービスの利用について	問22A	障害福祉サービスの利用状況	SA		○
	問22B	障害福祉サービスの満足度	SA		○
	問22C	障害福祉サービスの不満理由	MA		○
	問22D	今後の障害福祉サービスの利用（継続）希望	SA		
	問23A	地域生活支援事業・相談サービスの利用状況	SA		○
	問23B	地域生活支援事業・相談サービスの満足度	SA		○
	問23C	地域生活支援事業・相談サービスの不満理由	MA		○
問23D	今後の地域生活支援事業・相談サービスの利用（継続）希望	SA			
10. 障害児について	問24	18歳未満の障害児が受けている療育について充実を望むこと	MA	※	
	問25	18歳未満の障害児の外出時に必要な支援やサービス	MA	※	
	問26	障害児の就学後、教育や学校生活のさらなる充実すべきと思	MA	※	
11. 成年後見について	問27	「成年後見制度」の認知度	SA		
	問27-1	「成年後見制度」を利用しない理由	MA	※	
12. 災害対策について	問28	地震や火災などの災害への不安として感じる事	MA		
	問29	家族以外で災害時避難を助けてくれる人の有無	MA		
	問30	災害時に備えてとっている特別な対策内容	MA		
	問31	災害時要援護者の登録の有無	SA		
	問31-1	災害時要援護者の登録をしていない理由	MA	※	
13. 社会参加について	問32 (a)	現在取り組んでいる社会活動	MA		
	問32 (b)	今後取り組みたい社会活動	MA		
	問32-1	社会活動を行っていない理由	MA	※	
	問33	障害であるため諦めたり妥協したことの有無	MA		
	問34	今後必要だと思うもの	MA		

(注)：回答方式の（SA）は単数回答の設問、（MA）は複数回答の設問、（NA）は数量による設問

4. 設問項目の区分設定

アンケート調査を集計するに当たり、「年齢区分」については、次の通りとした。

番号	年齢区分
1	18歳未満
2	18歳以上～65歳未満
3	65歳以上

5. 前回調査との比較について

経年変化をみる項目については前々回調査（平成20年度）および前回調査（平成23年度）との比較を行っている。ただし、前々回および前回の調査と今回の調査で設問内容が異なっているものや、回答項目が異なっているものに関しては、比較の対象外とした。特に、前々回および前回調査では、難病患者の調査を行っていないため、比較をしていない。

なお、前回調査との比較で概ね5ポイントを超える項目（選択肢）については、増加したものには“△”を、減少したものには“▼”を記載した。

[前々回（平成20年度）の実施概要]

対象者	身体障害者手帳、愛の手帳、精神保健福祉手帳所持者（平成20年6月1日時点）		
	身体障害者	知的障害者	精神障害者
配布数	2,000	1,000	1,000
有効回収数	55.6%	58.2%	53.7%
方法	郵送による配布・回収		
調査時期	郵送調査期間：平成20年7月23日～8月15日		

[前回（平成23年度）の実施概要]

対象者	身体障害者手帳、愛の手帳、精神保健福祉手帳所持者（平成23年6月10日時点）		
	身体障害者	知的障害者	精神障害者
配布数	2,000	1,000	1,000
有効回収数	56.6%		
方法	郵送による配布・回収		
調査時期	郵送調査期間：平成23年7月13日～8月3日		

6. 集計結果の留意点

- (1) 回答結果は、小数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 標本数「n」は「number of case」の略で、質問に対する有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差をとり、「…ポイントの差」と記載した。
- (6) サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。

7. 調査結果

(1) 障害の区分

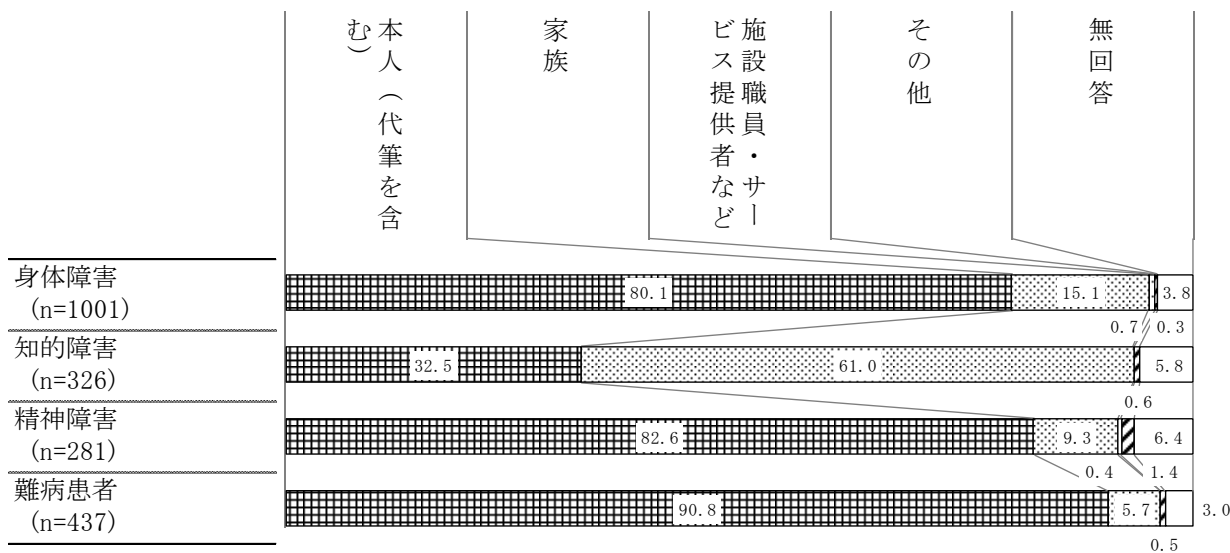
配布した障害区分ごとの有効回答数は身体障害者が 1,001、知的障害が 326、精神障害が 281、難病患者が 437 となった。有効回答に記載された手帳の種類（問4）の内訳では、身体障害者手帳が 989、愛の手帳が 322、精神保健福祉手帳が 241、都医療券（難病医療費助成）が 432 となった。前回調査と同様に、手帳を重複して所持している人がいるため、調査票を配布した障害区分を基準に集計を行った。

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉手帳	都医療券 (難病医療費助成)	合計(n数)
身体障害	962	5	4	14	1,001
知的障害	6	313	1	3	326
精神障害	17	3	234	1	281
難病患者	4	1	2	414	437
合 計	989	322	241	432	2,045

(2) 基本属性

① 記入者

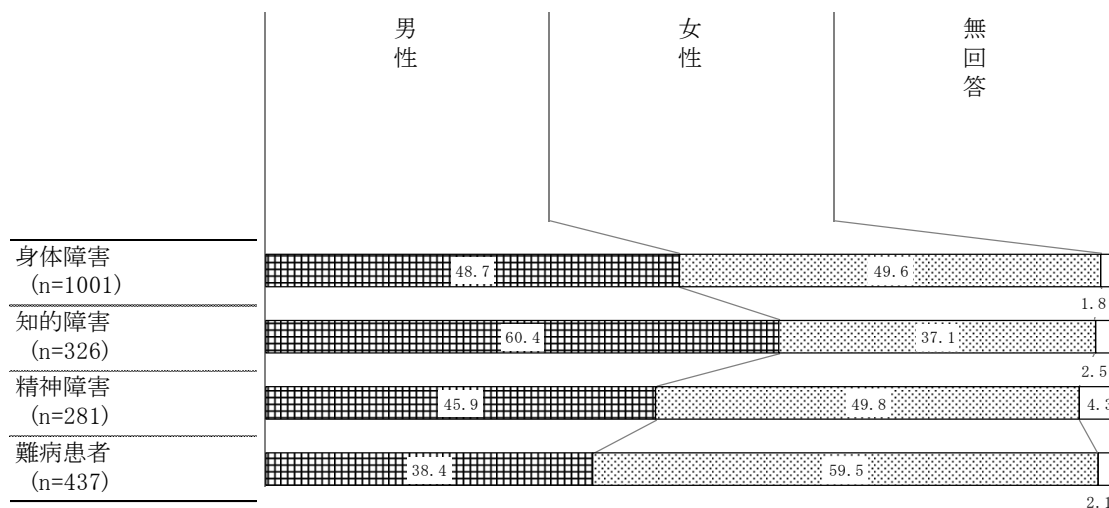
「本人（代筆を含む）」が身体障害で 80.1%、精神障害で 82.6%、難病患者で 90.8%となっており、知的障害では「家族」による記入が 61.0%で最も多かった。



②性別・年齢

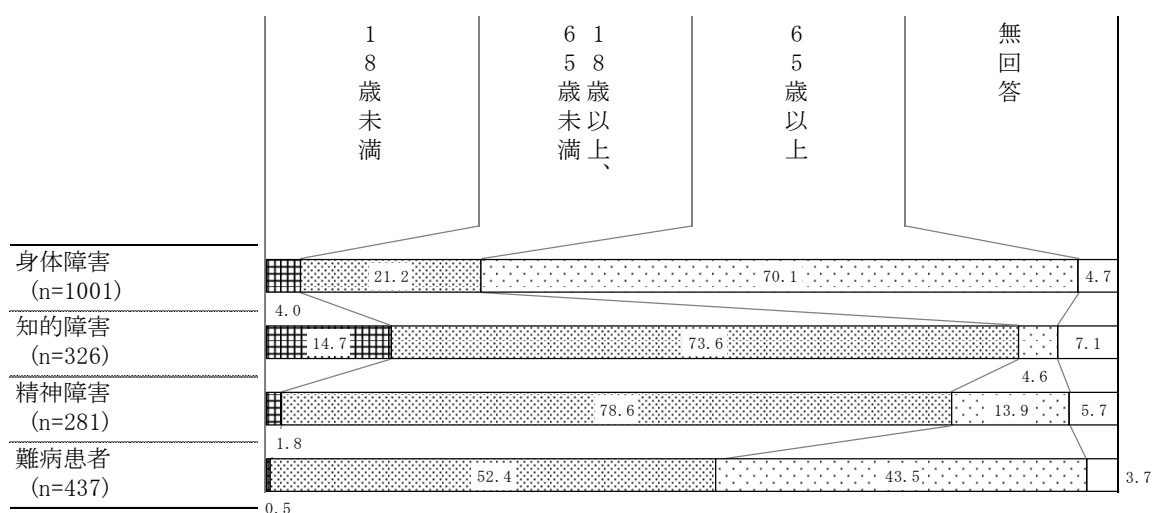
〔性別〕

身体障害は男性が 48.7%、女性が 49.6%、知的障害は男性が 60.4%、女性が 37.1%。精神障害は男性が 45.9%、女性が 49.8%。難病患者は男性が 38.4%、女性が 59.5%であった。知的障害では男性が多く、難病患者では女性が多かった。



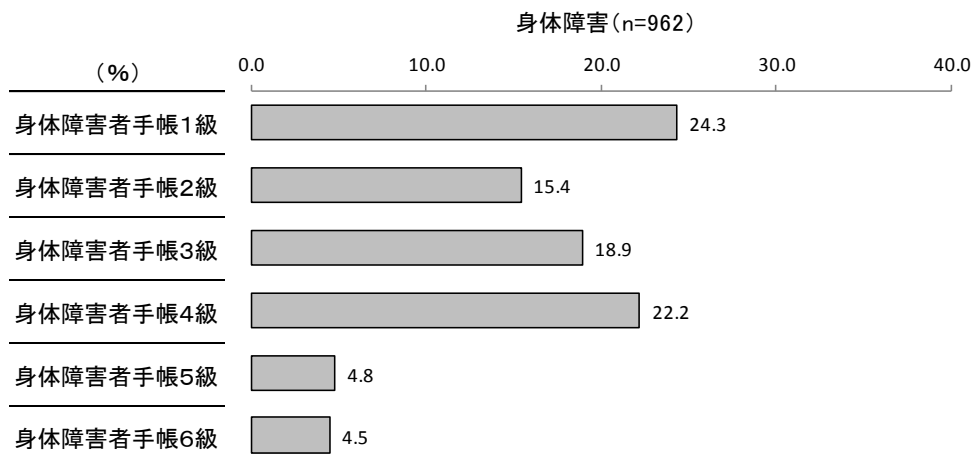
〔年齢〕

年齢については、身体障害が「65歳以上」が 70.1%で最も多く、「18歳以上、65歳未満」が 21.2%で続いた。知的障害では「18歳以上、65歳未満」が 73.6%で最も多く、「18歳未満」が 14.7%で続いた。精神障害では「18歳以上、65歳未満」が 78.6%で最も多く、「65歳以上」が 13.9%で続いた。難病患者では、「18歳以上、65歳未満」が 52.4%で、次いで「65歳以上」が 43.5%となった。



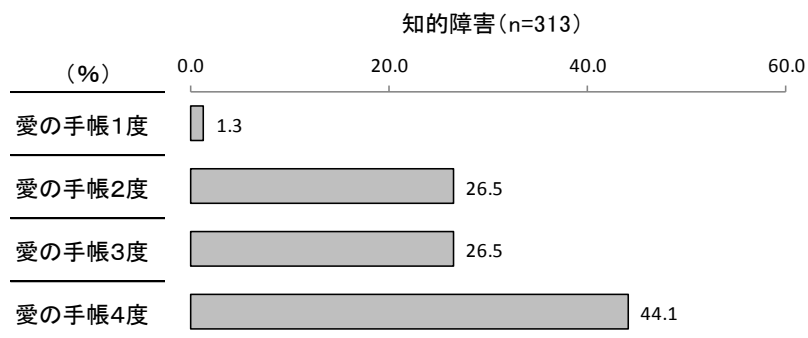
③手帳の所持状況

身体障害は身体障害者手帳「1級」が24.3%で最も多く、「4級」が22.2%が続いた。



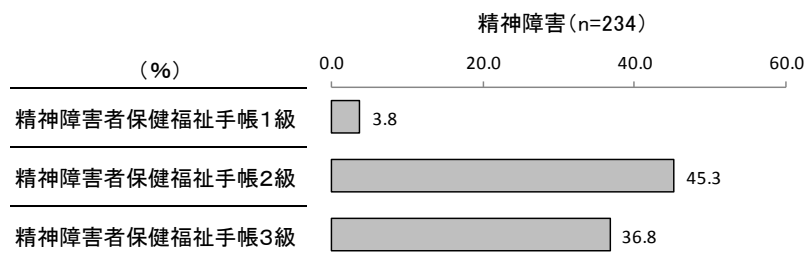
注：身体障害者の調査票を送付した方で、身体障害者手帳を所有していると回答された方のみで集計

知的障害は愛の手帳「4度」が44.1%で最も多く、「2度」と「3度」は26.5%が続いた。



注：知的障害者の調査票を送付した方で、愛の手帳を所有していると回答された方のみで集計

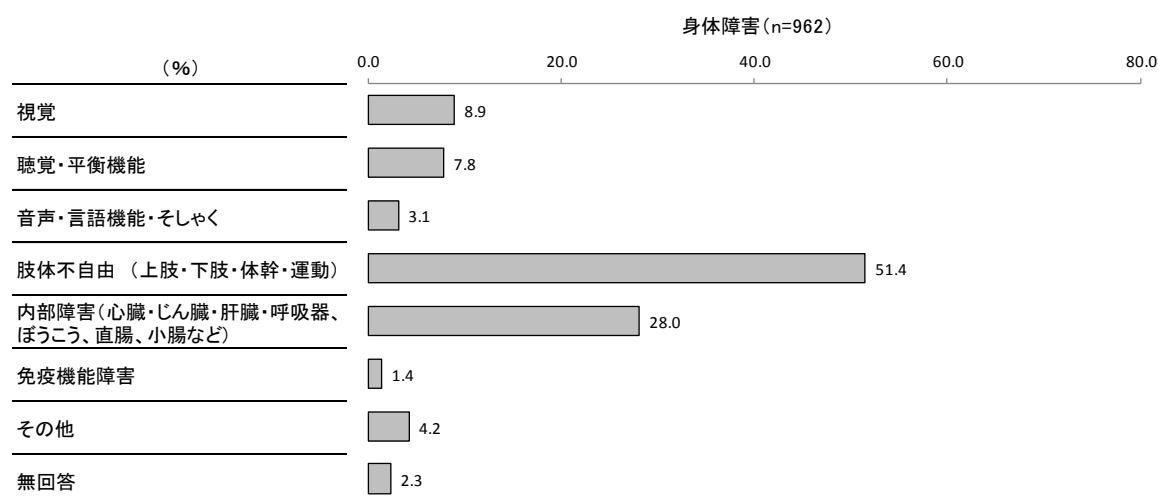
精神障害は精神障害者福祉手帳「2級」が45.3%で最も多く、「3級」が36.8%が続いた。



注：精神障害者の調査票を送付した方で、精神障害者福祉手帳を所有していると回答された方のみで集計

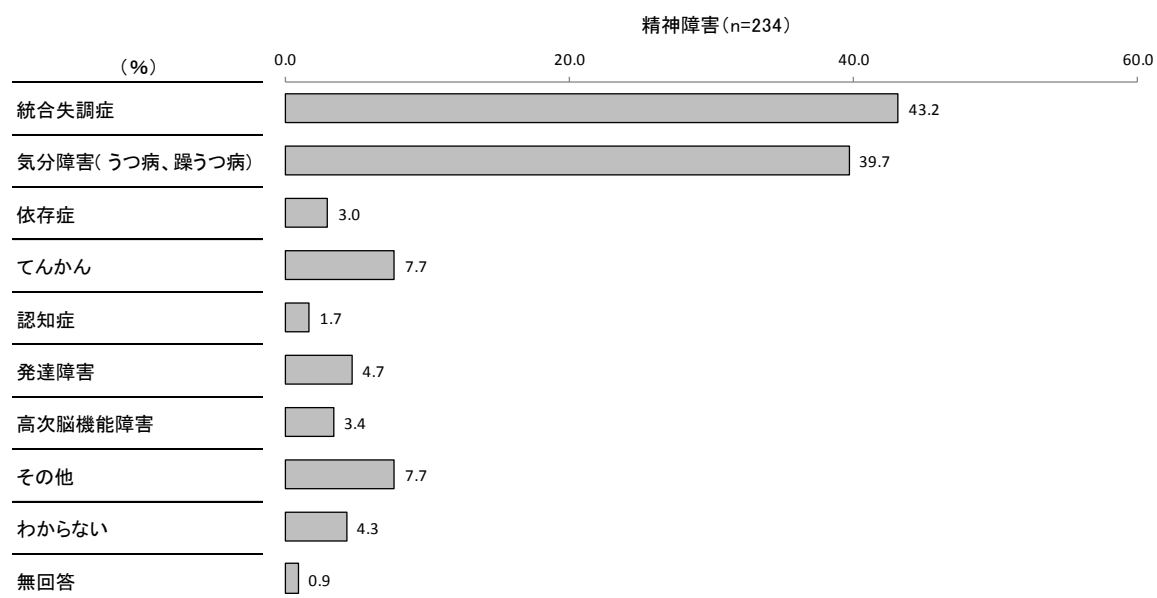
④手帳の詳細

身体障害者手帳については、「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・運動）が51.4%で最も多く、「内部障害（心臓・じん臓・肝臓・呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸など）」が28.0%で続いた。



注：身体障害者の調査票を送付した方で、身体障害者手帳を所有していると回答された方のみで集計

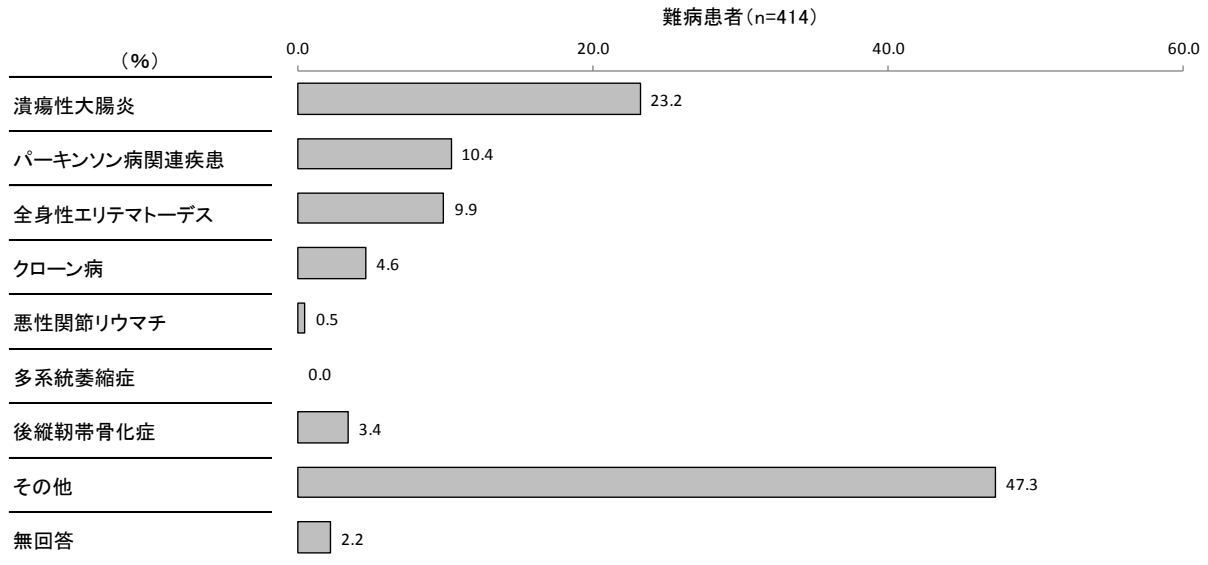
精神障害者福祉手帳については、「統合失調症」が43.2%で最も多く、「気分障害（うつ病、躁うつ病）」が39.7%で続いた。



注：精神障害者の調査票を送付した方で、精神障害者福祉手帳を所有していると回答された方のみで集計

I 調査の概要

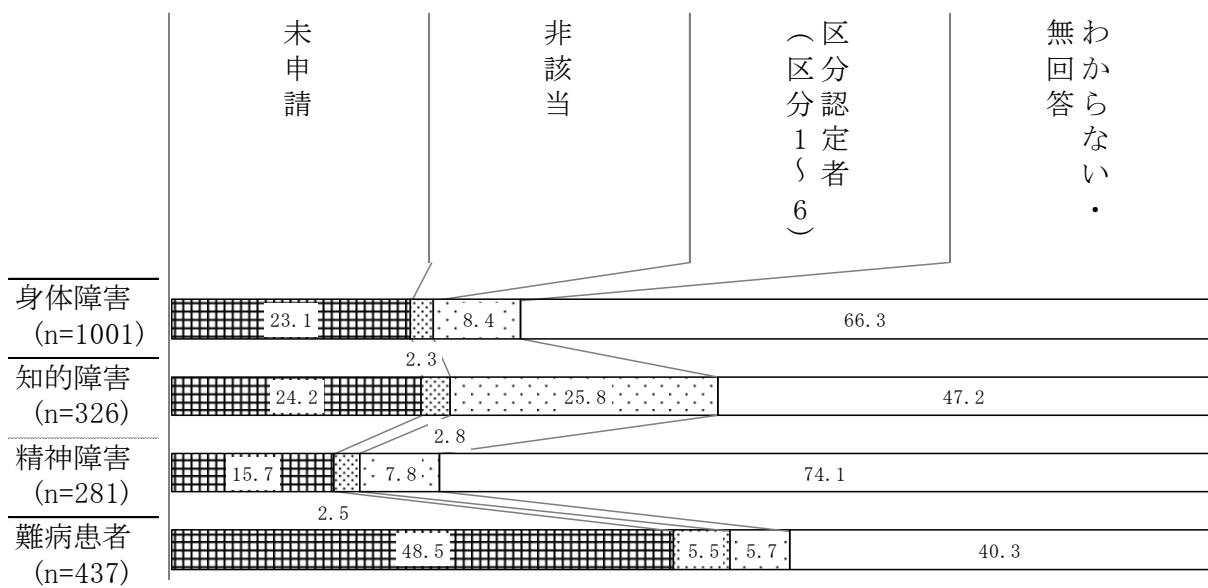
都・医療券（難病医療費助成）については、「その他」が 47.3%で最も多く、「潰瘍性大腸炎」が 23.2%で続いた。



注：難病患者の調査票を送付した方で、都・医療券（難病医療費助成）を所有していると回答された方のみで集計

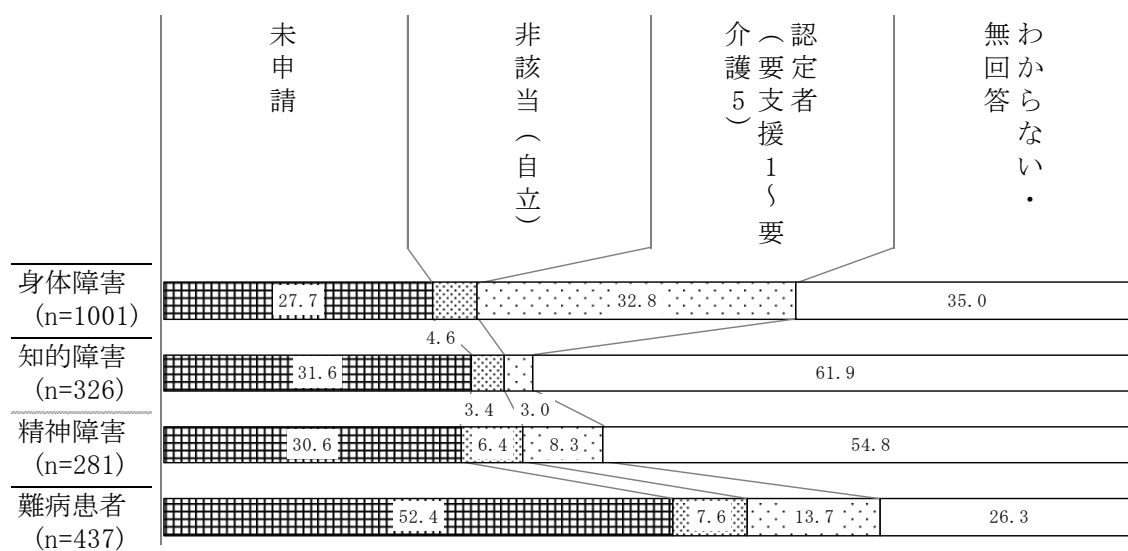
⑤障害程度区分について

障害程度区分については、身体障害が「わからない・無回答」が 66.3%で最も多く、「未申請」が 23.1%で続き、知的障害では「わからない・無回答」が 47.2%で最も多く、「区分認定者」が 25.8%で続いた。精神障害では「わからない・無回答」が 74.1%で最も多く、「未申請」が 15.7%で続き、難病患者では、「未申請」が 48.5%で最も多く、次いで「わからない・無回答」が 40.3%となった。



⑥介護保険制度の要支援・要介護認定について

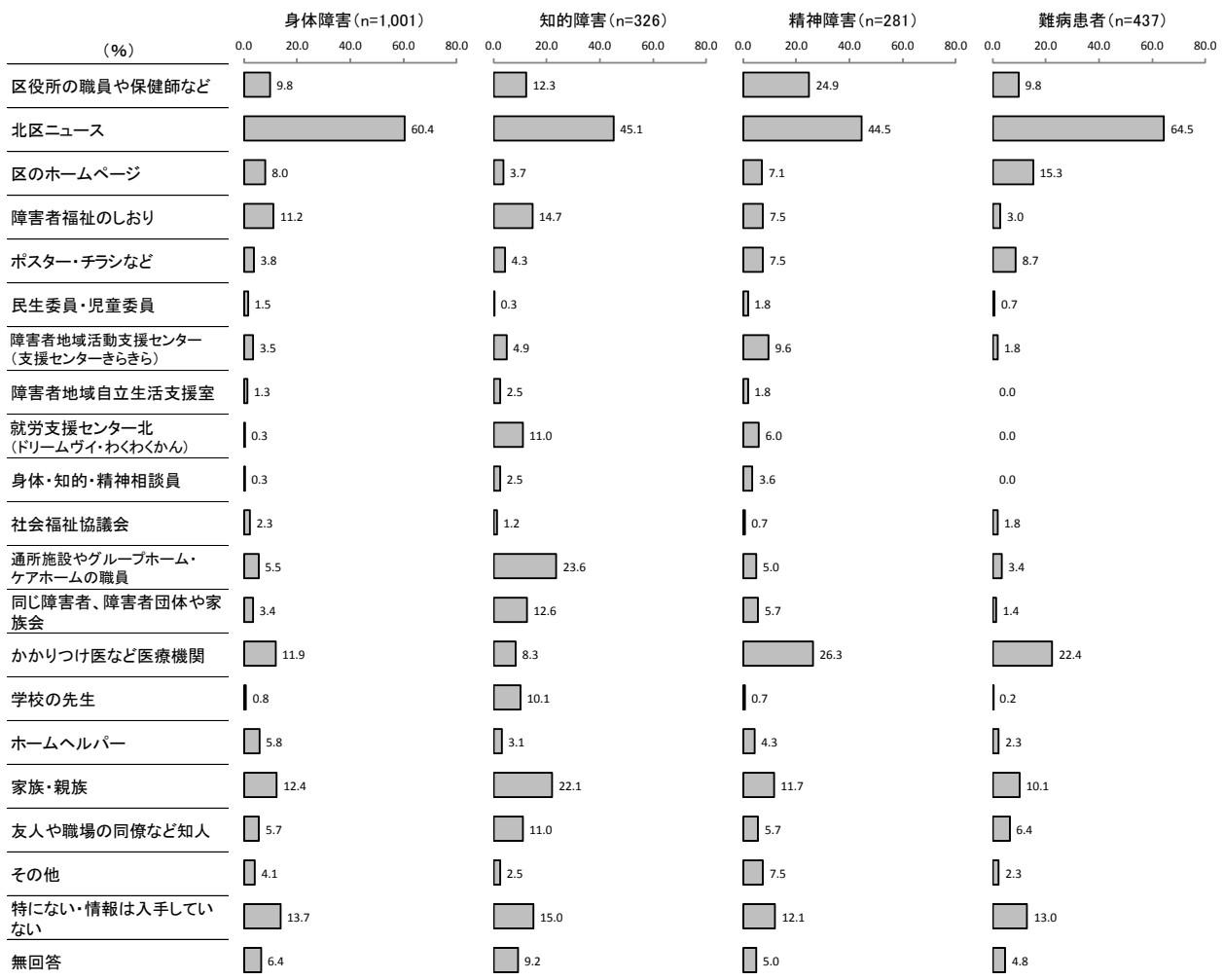
介護保険制度の要支援・要介護認定については、身体障害が「わからない・無回答」が35.0%で最も多く、「認定者」が32.8%で続き、知的障害では「わからない・無回答」が61.9%で最も多く、「未申請」が31.6%で続いた。精神障害では「わからない・無回答」が54.8%で最も多く、「未申請」が30.6%で続き、難病患者では、「未申請」が52.4%で最も多く、次いで「わからない・無回答」が26.3%となった。



(3) 情報や相談について

①区の福祉サービスの情報をどこから知りましたか

身体障害では、「北区ニュース」が60.4%で最も多く、次に「特にない・情報は入手していない」が13.7%で、「家族・親族」、「かかりつけ医など医療機関」、「障害者福祉のしおり」と続いた。知的障害では、「北区ニュース」が45.1%で最も多く、「通所施設やグループホーム・ケアホームの職員」が23.6%、「家族・親族」が22.1%で続いた。精神障害では、「北区ニュース」が44.5%で最も多く、「かかりつけ医など医療機関」が26.3%、「区役所の職員や保健師など」が24.9%で続いた。難病患者では、「北区ニュース」が64.5%で最も多く、次に「かかりつけ医など医療機関」が22.4%で、「区のホームページ」、「特にない・情報は入手していない」、「家族・親族」と続いた。



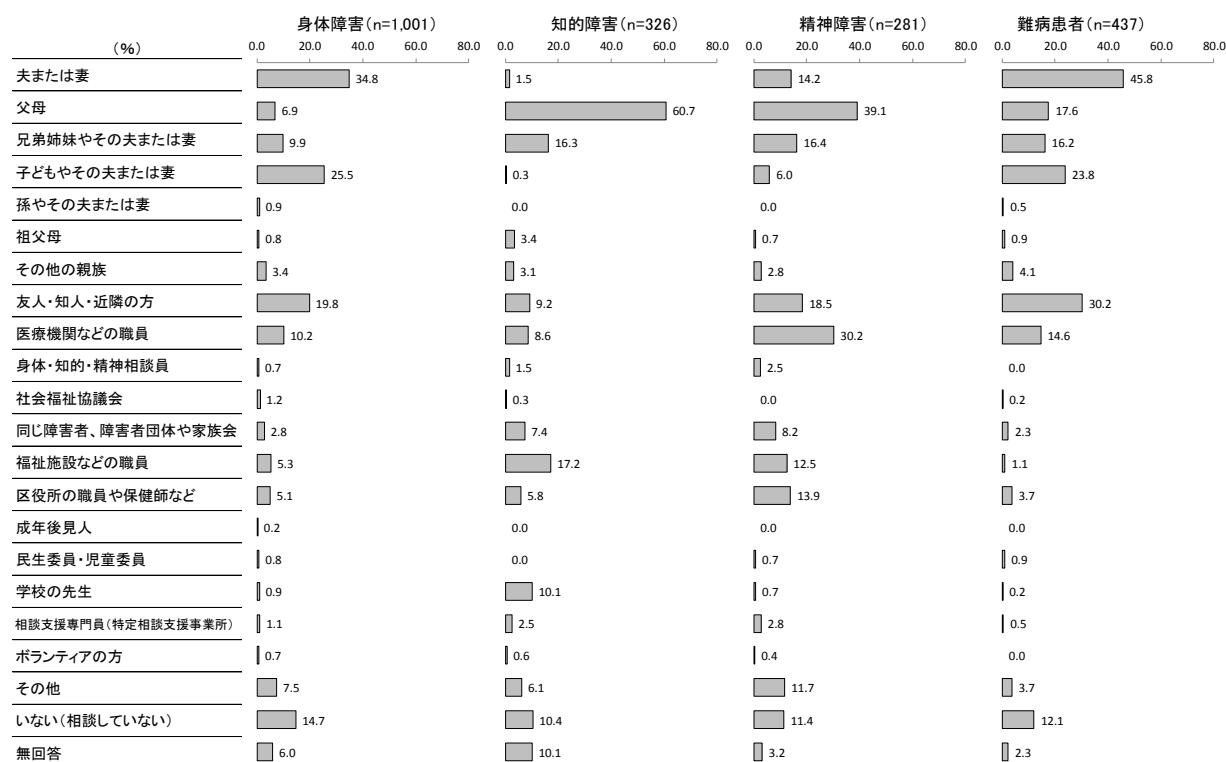
[前回調査との比較]

前回調査では、「北区ニュース」が身体障害および知的障害で1位、精神障害が2位となっていたが、今回はいずれの障害区分においても「北区ニュース」が1位となっており、比率も前回調査より増加となった。一方、「区役所の職員や保健師など」は、精神障害を除いて、前回調査と比べて5ポイント強の減少となった。

選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成 20年度 (%)	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 20年度 (%)	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 20年度 (%)	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化
北区ニュース	56.6	33.5	60.4	△	53.0	33.7	45.1	△	40.4	17.5	44.5	△
区役所の職員や保健師など (区役所の窓口)	22.8	16.4	9.8	▼	26.2	17.7	12.3	▼	20.8	29.5	24.9	
障害者福祉のしおり	13.3	10.6	11.2		18.7	15.5	14.7		5.4	5.1	7.5	
障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)	0.9	1.4	3.5		1.6	3.1	4.9		7.5	6.3	9.6	
就労支援センター北 (ドリームヴィ・わくわくかん)	0.0	0.2	0.3		6.6	8.1	11.0		3.5	4.3	6.0	

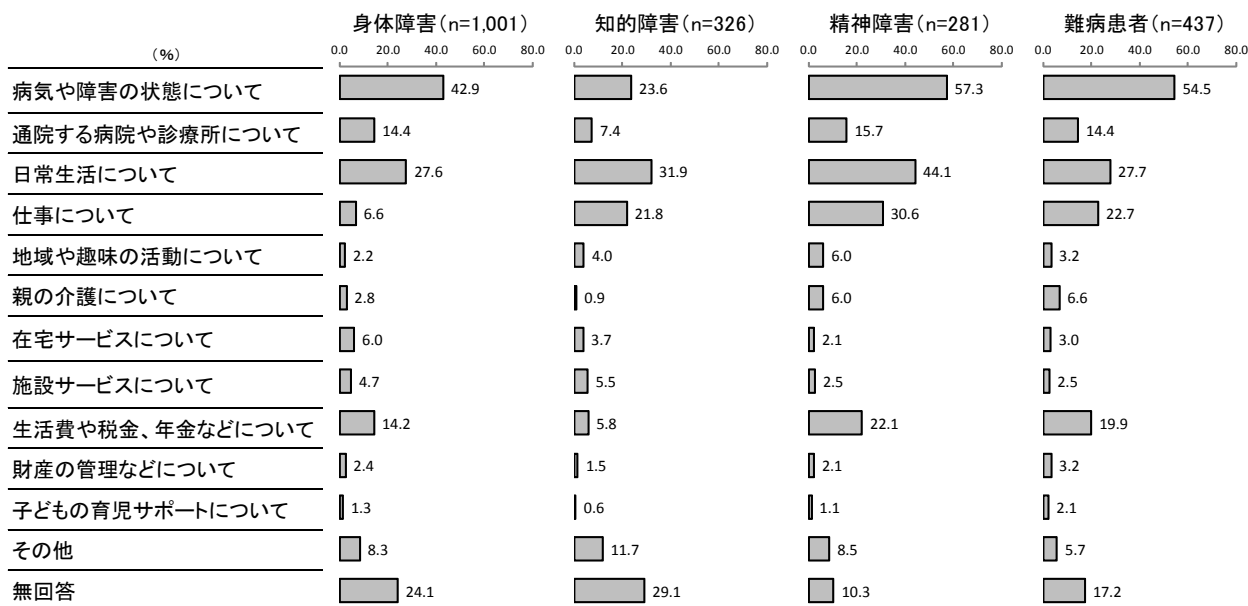
②悩みごとや困ったことなどについて、誰（どこ）に相談していますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では、「夫または妻」が34.8%で最も多く、「子どもやその夫または妻」が25.5%、「友人・知人・近隣の方」が19.8%で続いた。知的障害では、「父母」が60.7%で最も多く、「福祉施設などの職員」が17.2%、「兄弟姉妹やその夫または妻」が16.3%で続いた。精神障害では、「父母」が39.1%で最も多く、「医療機関などの職員」が30.2%、「友人・知人・近隣の方」が18.5%で続いた。難病患者では、「夫または妻」が45.8%で最も多く、「友人・知人・近隣の方」が30.2%、「子どもやその夫または妻」が23.8%で続いた。



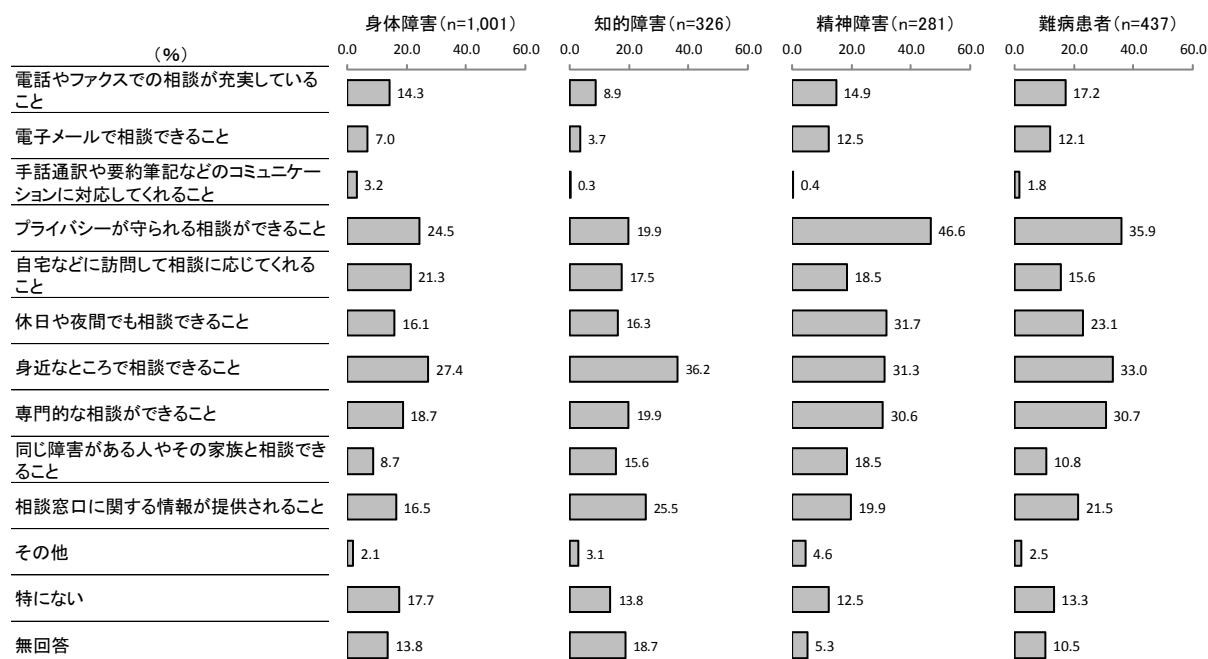
③どんな悩みごとや困ったことを相談していますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では、「病気や障害の状態について」が42.9%で最も多く、「日常生活について」が27.6%で続いた。知的障害では、「日常生活について」が31.9%で最も多く、「病気や障害の状態について」が23.6%で続いた。精神障害では、「病気や障害の状態について」が57.3%で最も多く、「日常生活について」が44.1%で続いた。難病患者では、「病気や障害の状態について」が54.5%で最も多く、「日常生活について」が27.7%で続いた。



④相談しやすい体制をつくるにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべて)

身体障害では、「身近なところで相談できること」が27.4%で最も多く、「プライバシーが守られる相談ができること」が24.5%で続いた。知的障害では、「身近なところで相談できること」が36.2%で最も多く、「相談窓口に関する情報が提供されること」が25.5%で続いた。精神障害では、「プライバシーが守られる相談ができること」が46.6%で最も多く、「休日や夜間でも相談できること」が31.7%で続いた。難病患者では、「プライバシーが守られる相談ができること」が35.9%で最も多く、「身近なところで相談できること」が33.0%で続いた。



[前回調査との比較]

前回調査に比べて、身体障害では、「身近なところで相談できること」や「専門的な相談ができること」をはじめ、広範な項目で増加した。精神障害では、「プライバシーが守られる相談ができること」や「身近なところで相談できること」、「休日や夜間でも相談できること」など、広範な項目で増加した。一方、知的障害では「相談窓口に関する情報が提供されること」が増加したが、その他の項目では変化は見られなかった。

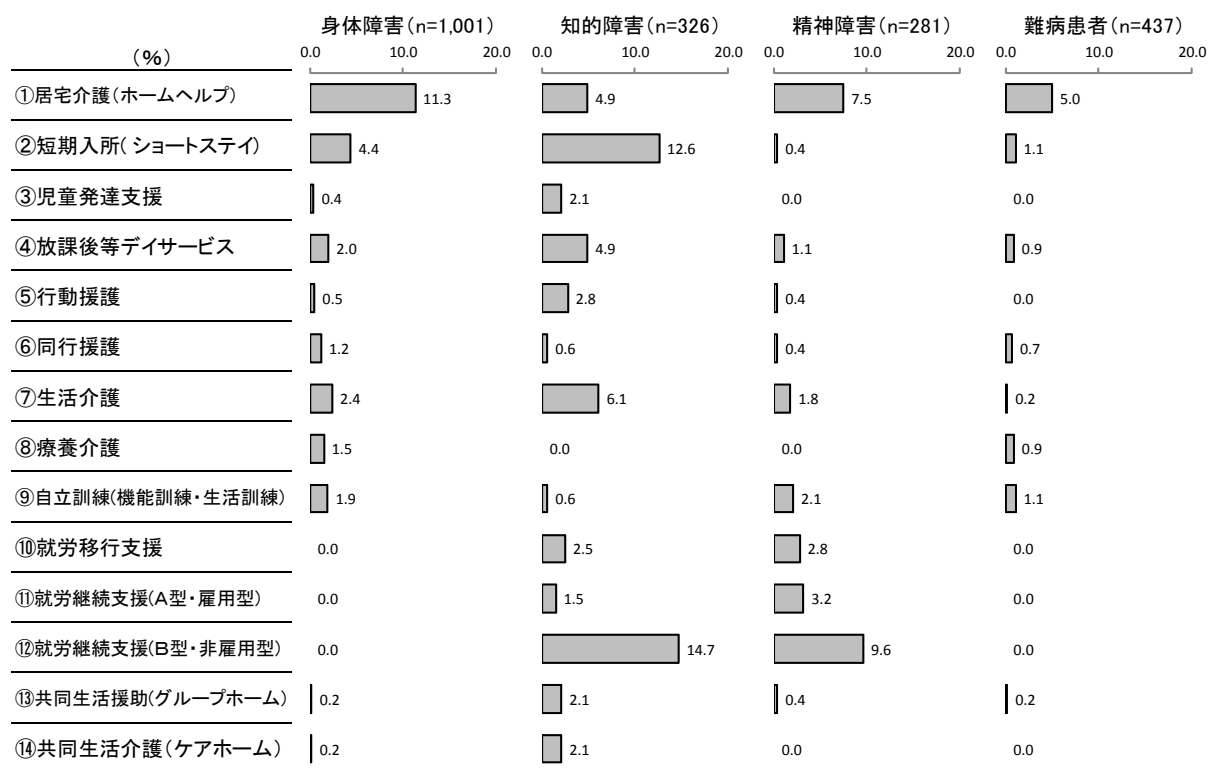
選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
身近なところで相談できること	29.6	18.2	27.4	△	45.2	32.2	36.2		26.2	25.4	31.7	△
プライバシーが守られる相談ができること	22.3	21.4	24.5		21.0	24.1	19.9		34.6	41.3	46.6	△
専門的な相談ができること	19.3	12.7	18.7	△	28.8	20.8	19.9		26.5	17.1	30.6	△
自宅などに訪問して相談に応じてくれること	19.1	19.3	21.3		14.8	14.4	17.5		17.3	16.9	18.5	
電話やファクスでの相談が充実していること	19.7	15.6	14.3		12.3	12.5	8.9		19.2	16.5	14.9	
休日や夜間でも相談できること	14.4	10.7	16.1	△	13.5	14.2	16.3		21.5	18.5	31.7	△
相談窓口に関する情報が提供されること	17.0	11.4	16.5	△	26.7	18.2	25.5	△	13.8	11.0	19.9	△
同じ障害がある人やその家族と相談できること	8.0	4.2	8.7		22.8	14.9	15.6		13.5	9.8	18.5	△

(4) サービスについて

①障害福祉サービスごとに利用状況と満足度を教えてください

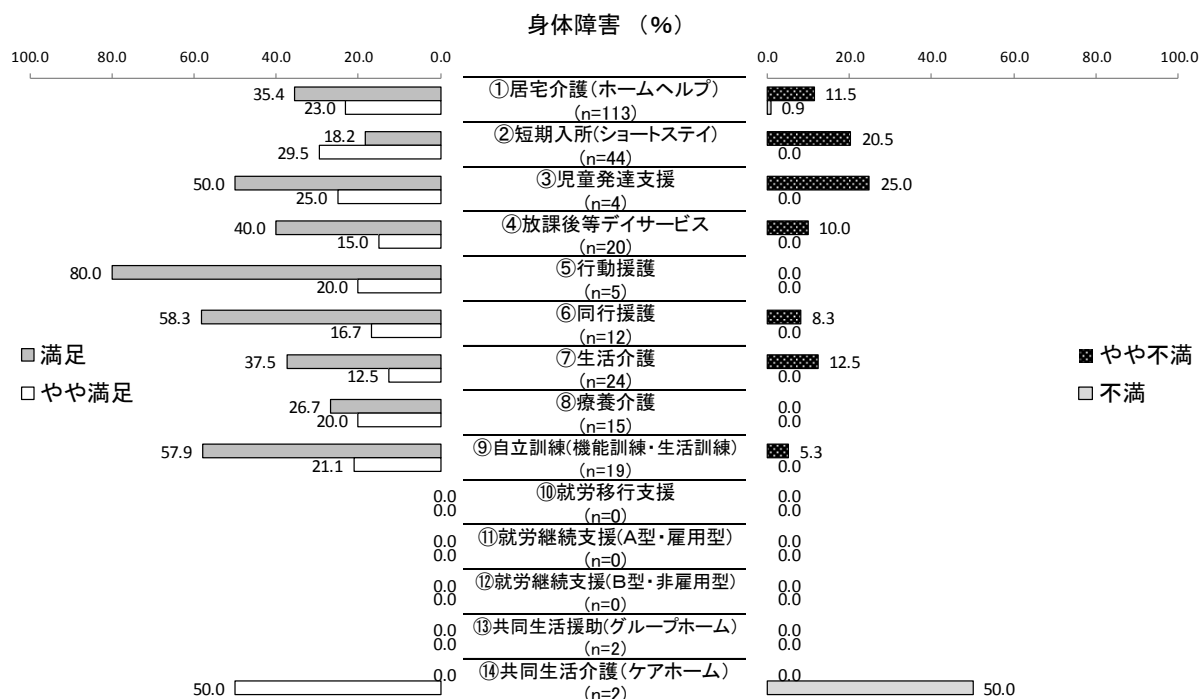
[利用状況]

身体障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 11.3%で最も多く、「短期入所（ショートステイ）」が 4.4%で続いた。知的障害では、「就労継続支援B型」が 14.7%で最も多く、「短期入所（ショートステイ）」が 12.6%で続いた。精神障害では、「就労継続支援B型」が 9.6%で最も多く、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 7.5%で続いた。難病患者では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 5.0%で最も多く、「短期入所（ショートステイ）」と「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 1.1%で続いた。

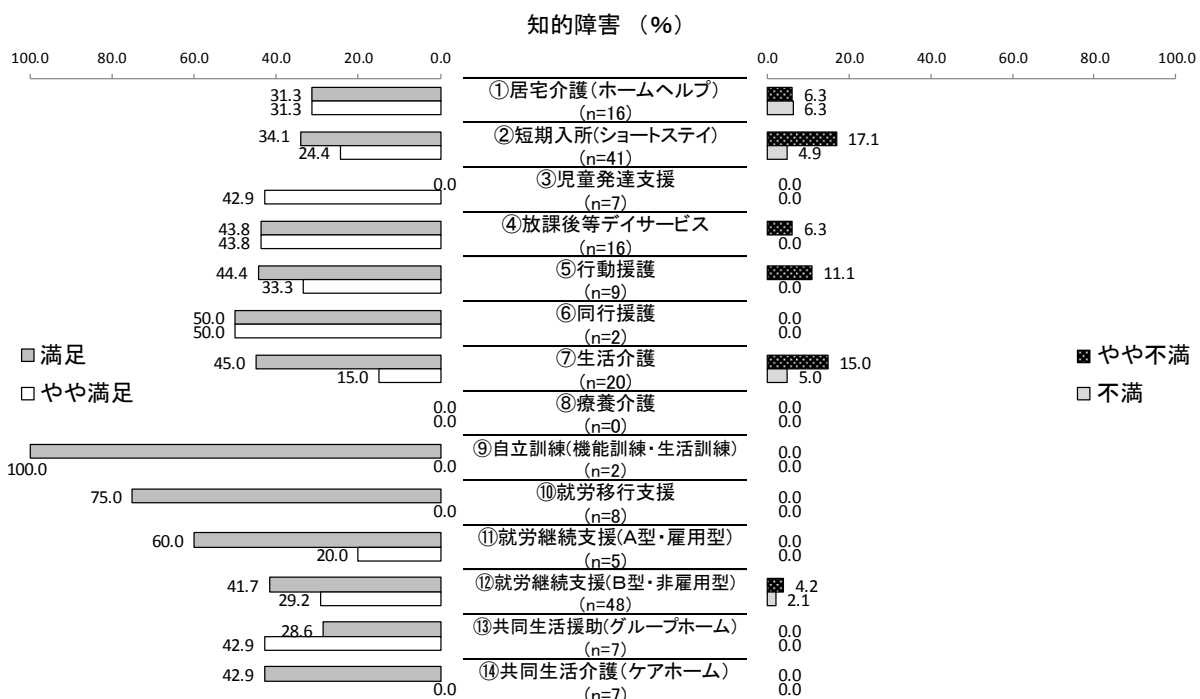


[満足度]

身体障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」などに「満足」と「やや満足」を足した《満足》が多い一方で、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》も見受けられる。

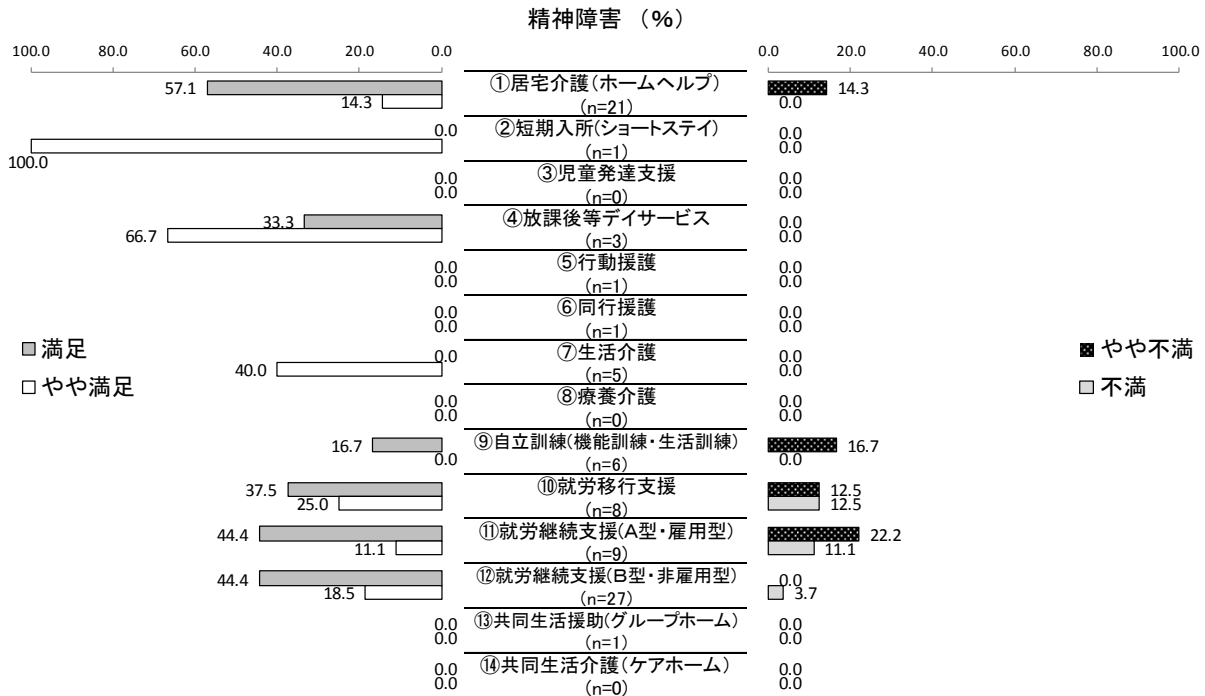


知的障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が6割前後が多い一方で、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》も2割ほど見受けられる。「放課後等デイサービス」と「就労継続支援B型」は《満足》が8割と7割を超え、《不満足》は1割未満となった。

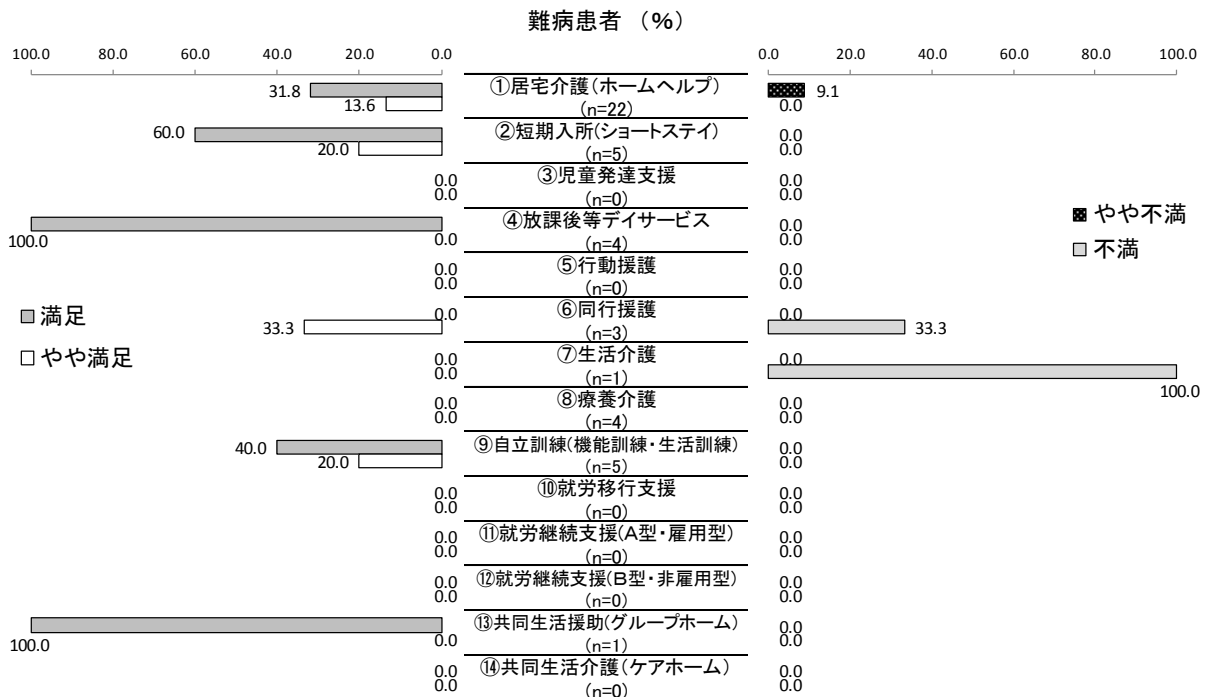


I 調査の概要

精神障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が7割を超え、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は14.3%となった。「就労継続支援B型」は《満足》が62.9%となり、《不満足》はわずか3.7%にとどまった。



難病患者では、「居宅介護（ホームヘルプ）」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が45.4%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は9.1%となった。



[不満点]

障害福祉サービスの不満点については、回答者が非常に少ないため参考として記載する。

身体障害

身体障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)(n=14)	64.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7
②短期入所(ショートステイ)(n=10)	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
③児童発達支援(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④放課後等デイサービス(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤行動援護(n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥同行援護(n=3)	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦生活介護(n=3)	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
⑧療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑩就労移行支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪就労継続支援(A型・雇成型)(n=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑫就労継続支援(B型・非雇成型)(n=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑬共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭共同生活介護(ケアホーム)(n=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

知的障害

知的障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②短期入所(ショートステイ)(n=9)	88.9	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
③児童発達支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④放課後等デイサービス(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤行動援護(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥同行援護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦生活介護(n=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
⑧療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩就労移行支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪就労継続支援(A型・雇成型)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑫就労継続支援(B型・非雇成型)(n=5)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
⑬共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭共同生活介護(ケアホーム)(n=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

精神障害

精神障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)(n=3)	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②短期入所(ショートステイ)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③児童発達支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④放課後等デイサービス(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤行動援護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥同行援護(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦生活介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑩就労移行支援(n=3)	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑪就労継続支援(A型・雇成型)(n=5)	80.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
⑫就労継続支援(B型・非雇成型)(n=2)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑬共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭共同生活介護(ケアホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

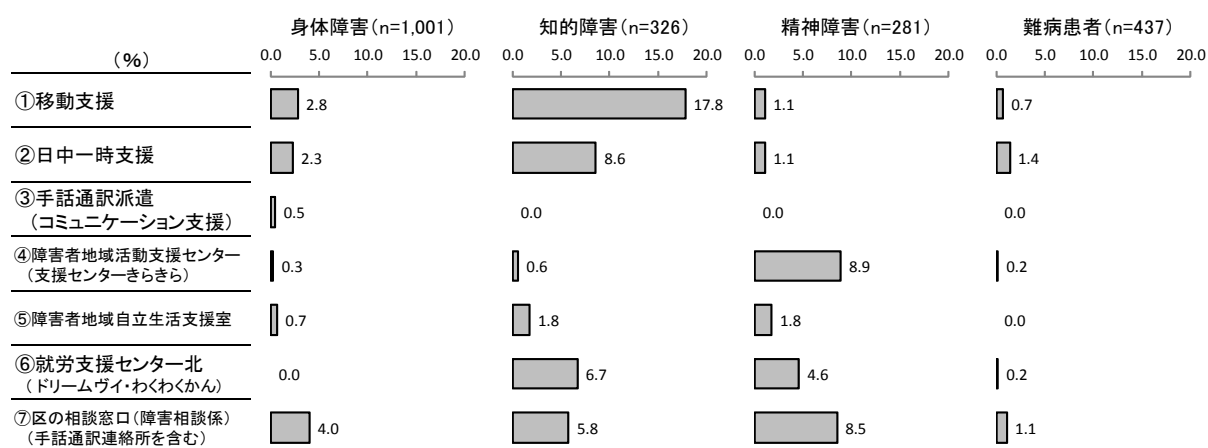
難病患者

難病患者 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②短期入所(ショートステイ)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③児童発達支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④放課後等デイサービス(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤行動援護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥同行援護(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦生活介護(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩就労移行支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪就労継続支援(A型・雇成型)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑫就労継続支援(B型・非雇成型)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭共同生活介護(ケアホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②北区地域生活支援事業や相談の利用状況と満足度を教えてください

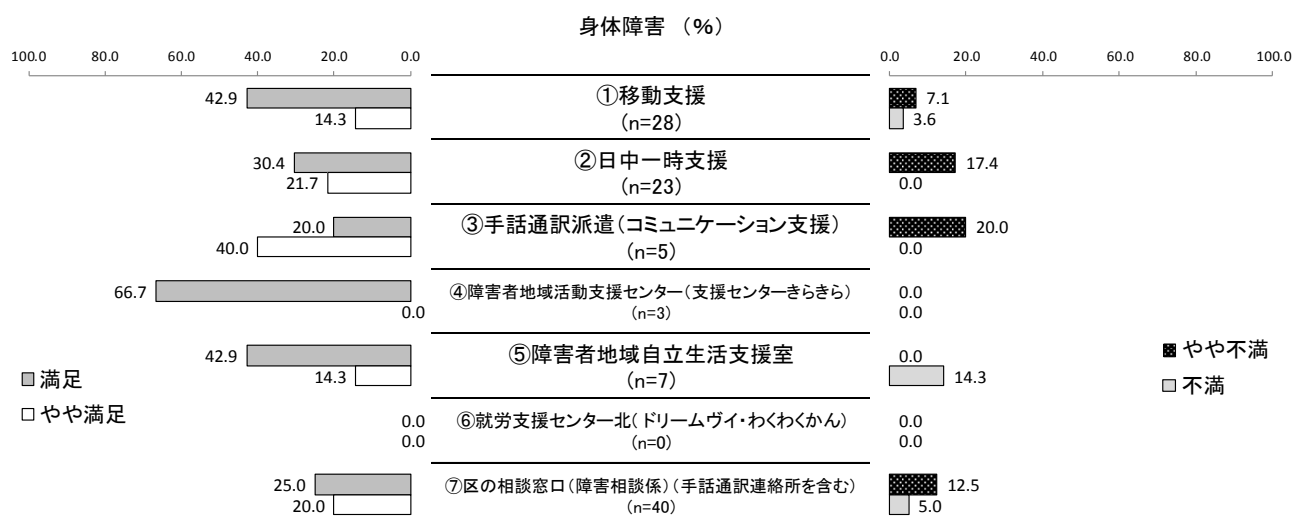
[利用状況]

身体障害では「区の相談窓口」が 4.0%で最も多く、「移動支援」が 2.8%でこれに次いだ。知的障害では「移動支援」が 17.8%で最も多く、「日中一時支援」が 8.6%でこれに次いだ。精神障害では「障害者地域活動支援センター」が 8.9%で最も多く、「区の相談窓口」が 8.5%でこれに次いだ。難病患者では「日中一時支援」が 1.4%で最も多く、「区の相談窓口」が 1.1%でこれに次いだ。



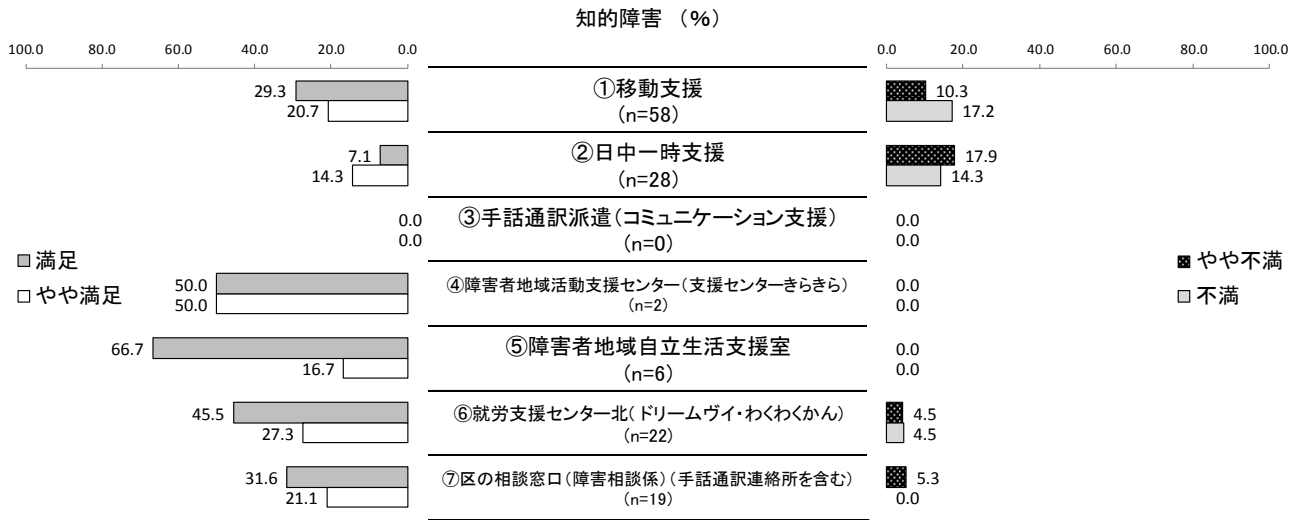
[満足度]

身体障害では、「移動支援」と「日中一時支援」と「区の相談窓口」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が 57.2%と 52.1%と 45.0%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》はいずれも 10%台となった。

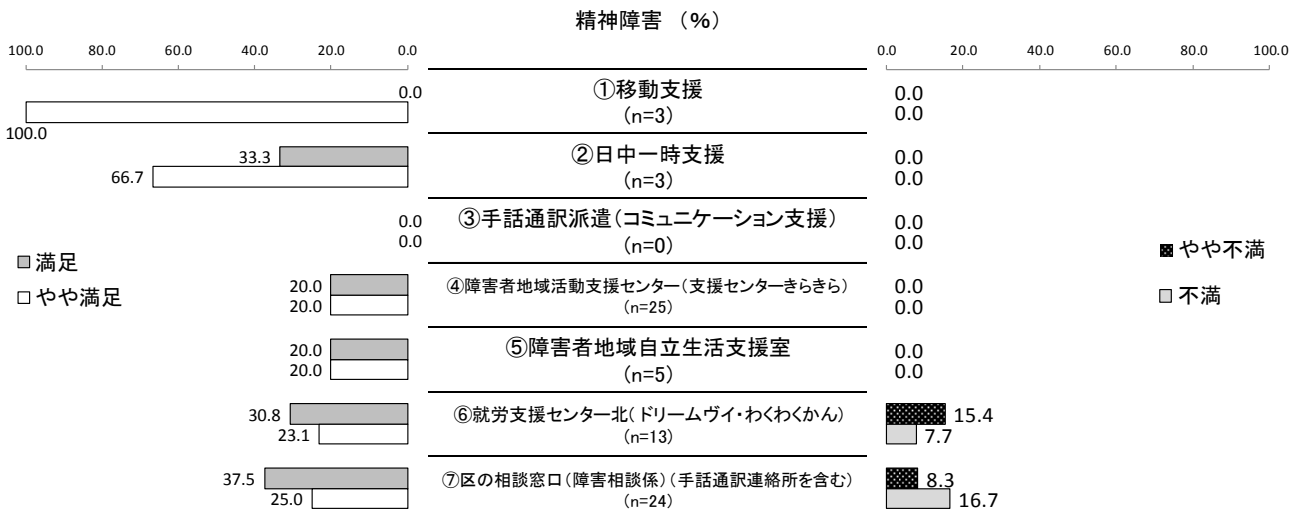


I 調査の概要

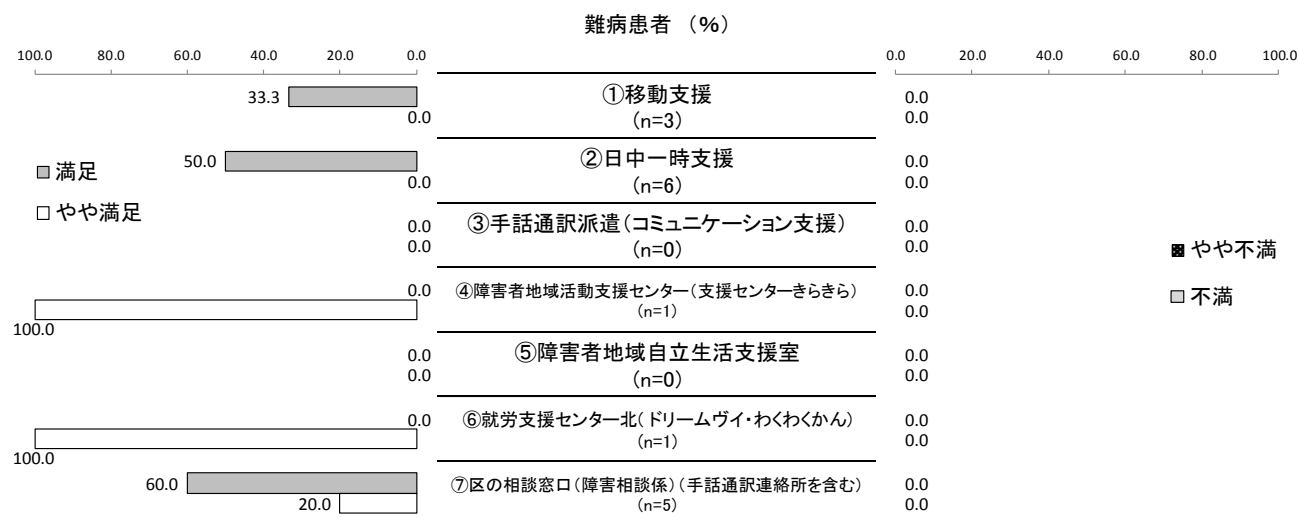
知的障害では、「移動支援」と「日中一時支援」と「就労支援センター北」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が50.0%と21.4%と72.8%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は27.5%と32.2%と9.0%となった。「日中一時支援」では《不満足》が《満足》を10.8ポイント上まわった。



精神障害では、「障害者地域活動支援センター」と「区の相談窓口」と「就労支援センター北」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が40.0%と62.5%と53.9%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は0.0%と25.0%と23.1%となった。



難病患者では有効回答が僅少となったが、「区の相談窓口」と「日中一時支援」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が80.0%と50.0%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》はなかった。



[不満点]

障害福祉サービスの不満点については、回答者が非常に少ないため参考として記載する。

身体障害

身体障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=5)	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②日中一時支援(n=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
③手話通訳派遣(コミュニケーション支援)(n=3)	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④障害者地域活動支援センター(支援センターきらきら)(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤障害者地域自立生活支援室(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥就労支援センター北(ドリームヴィ・わくわくかん)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦区の相談窓口(障害相談係)(手話通訳連絡所を含む)(n=10)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

I 調査の概要

知的障害

知的障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=16)	93.8	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②日中一時支援(n=9)	88.9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤障害者地域自立生活支援室(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥就労支援センター北 (ドリーム・ヴィ・わくわくかん)(n=3)	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)(n=2)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

精神障害

精神障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②日中一時支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤障害者地域自立生活支援室(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥就労支援センター北 (ドリーム・ヴィ・わくわくかん)(n=4)	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)(n=7)	100.0	71.4	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

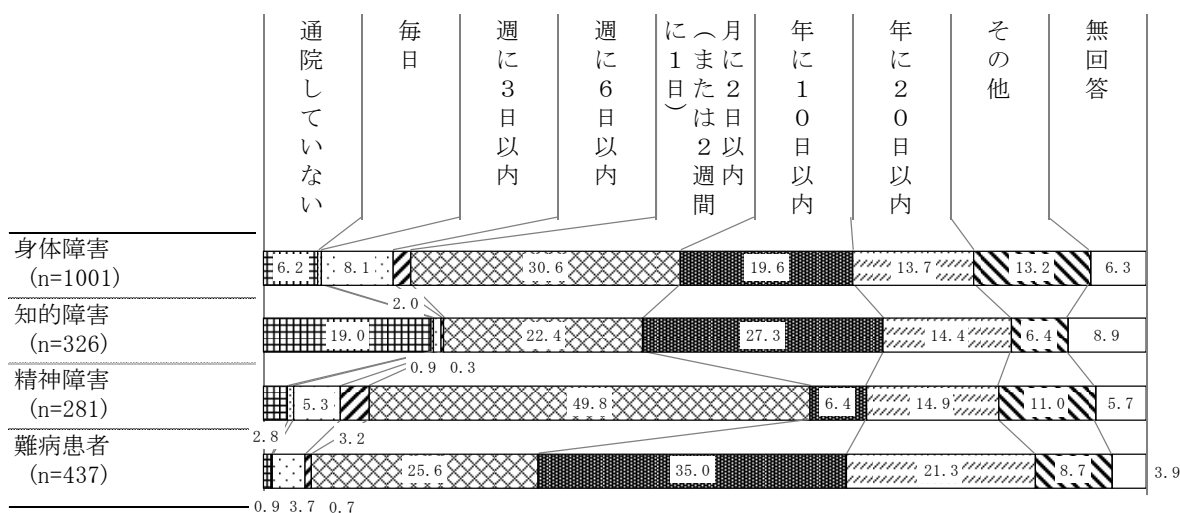
難病患者

難病患者 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②日中一時支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤障害者地域自立生活支援室(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥就労支援センター北 (ドリーム・ヴィ・わくわくかん)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 通院・入院状況について

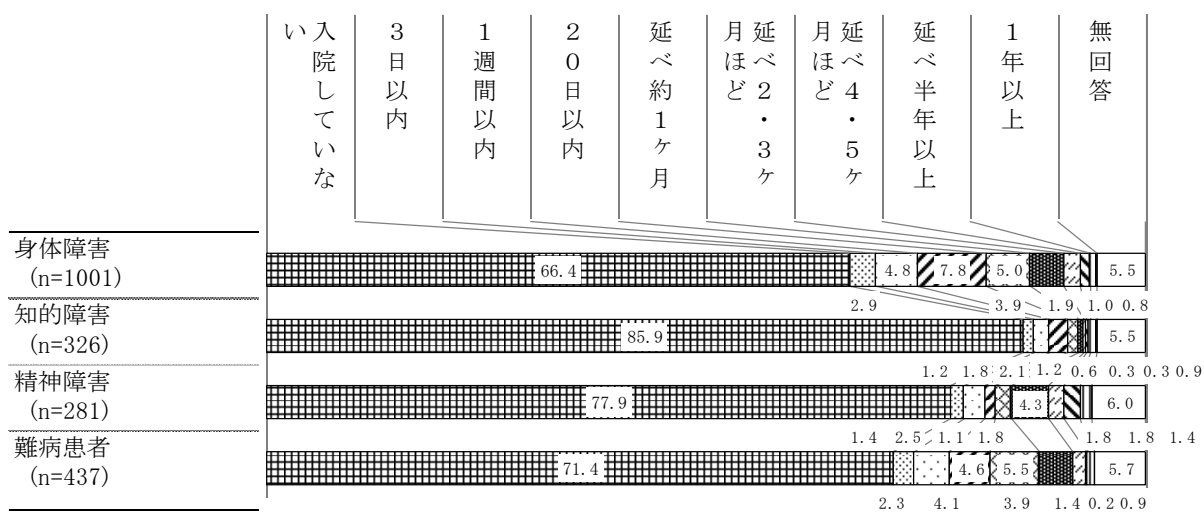
①最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）（あてはまる番号1つ）

身体障害では、「月に2日以内」が30.6%で最も多く、「年に10日以内」が19.6%が続いた。知的障害では、「年に10日以内」が27.3%で最も多く、「月に2日以内」が22.4%が続いた。精神障害では、「月に2日以内」が49.8%で最も多く、「年に20日以内」が14.9%が続いた。難病患者では、「年に10日以内」が35.0%で最も多く、「月に2日以内」が25.6%が続いた。



②最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか（あてはまる番号1つ）

身体障害では、「入院していない」が66.4%で最も多く、「20日以内」が7.8%が続いた。知的障害では、「入院していない」が85.9%で最も多く、「20日以内」が2.1%が続いた。精神障害では、「入院していない」が77.9%で最も多く、「延べ2・3ヶ月ほど」が4.3%が続いた。難病患者では、「入院していない」が71.4%で最も多く、「延べ約1ヶ月」が5.5%が続いた。



(6) 生活する場所について

①現在、暮らしているところは次のどれですか（あてはまる番号1つ）

すべての障害区分で「持ち家（一戸建て・分譲・マンションなど）」が最も多く、身体障害と知的障害と難病患者で「公社・公団住宅・民間住宅・区営住宅」が続き、精神障害では「民間賃貸住宅」が続いた。

これらを集約すると、“地域で生活”が身体障害で94.2%、知的障害で91.4%、精神障害で91.5%、難病患者が96.3%となり、“施設・病院で生活”が身体障害で2.9%、知的障害で3.0%、精神障害で3.9%、難病患者が1.1%となった。

[現在]

単位：%	地域で生活					計	施設・病院で生活		計	その他 無回答
	持ち家 (一戸建て・分譲 マンション など)	民間賃貸 住宅	公社・公 団住宅・ 民間住 宅・区営 住宅	社宅や会 社の寮、 官公舎	グループ ホーム・ケ アホーム		入所施設	病院		
身体障害(n=1,001)	53.9	12.2	26.5	1.1	0.5	94.2	2.0	0.9	2.9	2.9
知的障害(n=326)	53.1	7.4	24.8	1.2	4.9	91.4	2.1	0.9	3.0	5.5
精神障害(n=281)	41.6	25.6	23.5	0.4	0.4	91.5	1.4	2.5	3.9	4.6
難病患者(n=437)	57.4	17.2	19.9	1.8	0.0	96.3	0.0	1.1	1.1	2.5

※ 現状における“地域で生活”：

持ち家、民間賃貸住宅、公社・公営住宅・民間住宅・区営住宅、社宅や会社の寮、グループホーム・ケアホームの合計

現状における“施設・病院で生活”：

入所施設、病院の合計

②あなたはこれからどこで暮らしたいですか（あてはまる番号1つ）

すべての障害区分で「持ち家（一戸建て・分譲・マンションなど）」が最も多く、身体障害と精神障害と難病患者で「公社・公団住宅・民間住宅・区営住宅」が続き、知的障害では「グループホーム・ケアホーム」が続いた。これらを集約すると、“地域で生活”が身体障害で82.0%、知的障害で73.3%、精神障害で82.5%、難病患者が87.2%となり、「入所施設」が身体障害で6.7%、知的障害で9.2%、精神障害で5.3%、難病患者が5.7%となった。

現在と将来（これから）を対比すると、すべての障害区分において、“地域で生活”は減少し、“施設・病院で生活（入所施設）”が増加した。“地域で生活”に関して、身体障害では12.2ポイント、知的障害では18.1ポイント、精神障害では9.0ポイント、難病患者では9.1ポイント減少した。“施設・病院で生活（入所施設）”に関して、身体障害では3.8ポイント、知的障害では6.2ポイント、精神障害では1.4ポイント、難病患者では4.6ポイント増加した。

[将来（これから）]

単位：%	地域で生活				計	入所施設	その他 無回答
	持ち家 （一戸建 て・分譲 マンション など）	民間賃貸 住宅	公社・公 団住宅・ 都営住 宅・区営 住宅	グループ ホーム・ケ アホーム			
身体障害(n=1,001)	50.8	2.9	25.7	2.6	82.0	6.7	11.3
知的障害(n=326)	28.5	1.5	18.1	25.2	73.3	9.2	17.5
精神障害(n=281)	37.7	10.3	29.2	5.3	82.5	5.3	12.1
難病患者(n=437)	62.9	3.4	18.8	2.1	87.2	5.7	7.1

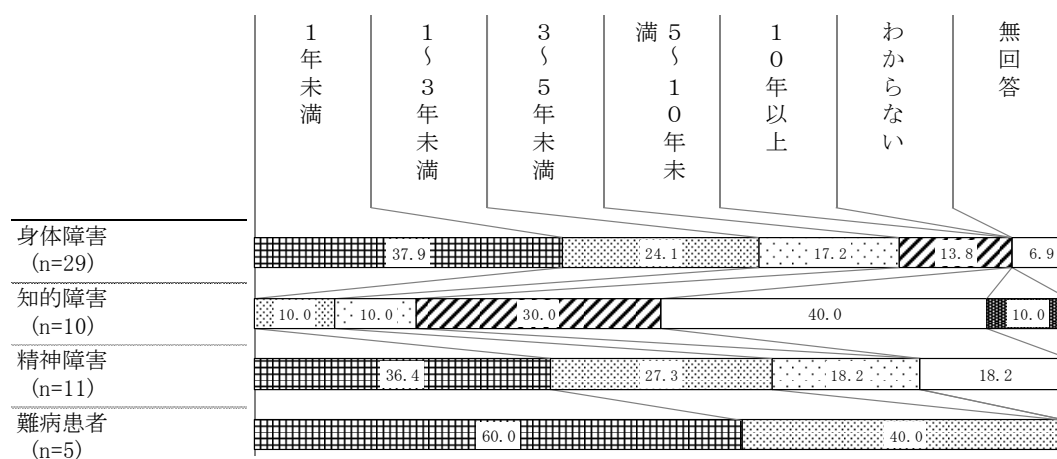
※ 将来における“地域で生活”：

持ち家、民間賃貸住宅、公社・公営住宅・民間住宅・区営住宅、グループホーム・ケアホームの合計

③今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか（あてはまる番号1つ）

身体障害では、「1年未満」が37.9%で最も多く、「1～3年未満」が24.1%、「3～5年未満」が17.2%で続いた。

知的障害、精神障害、難病患者については回答数が少ないため、参考として記載する。



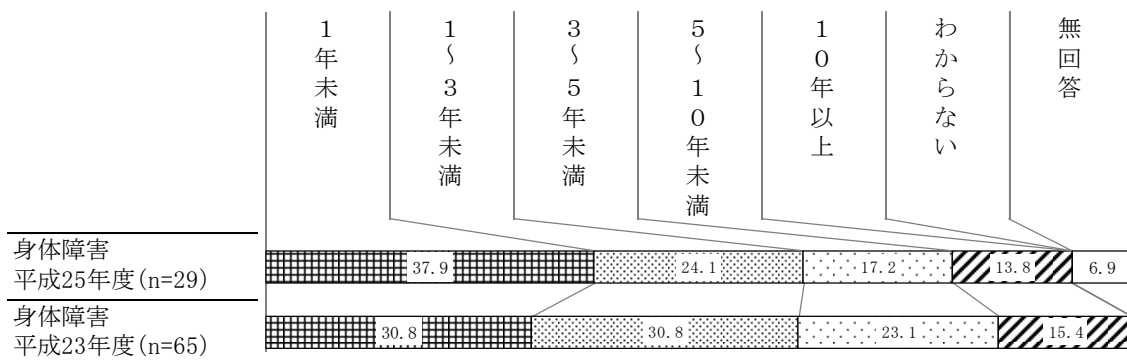
I 調査の概要

[前回調査との比較]

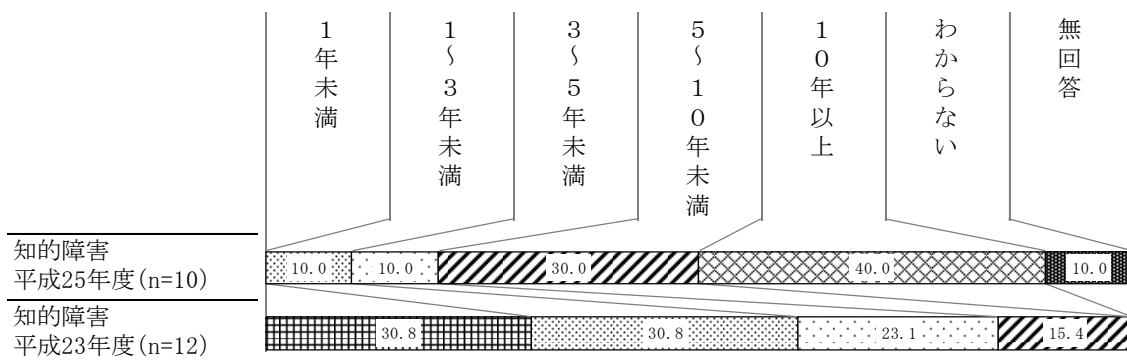
身体障害では、前回調査と比較して「1年未満」が7.1ポイント増加した。一方で、「1～3年未満」が6.7ポイント、「3～5年未満」が5.9ポイント減少した。

知的障害と精神障害については回答数が少ないため、参考として記載する。

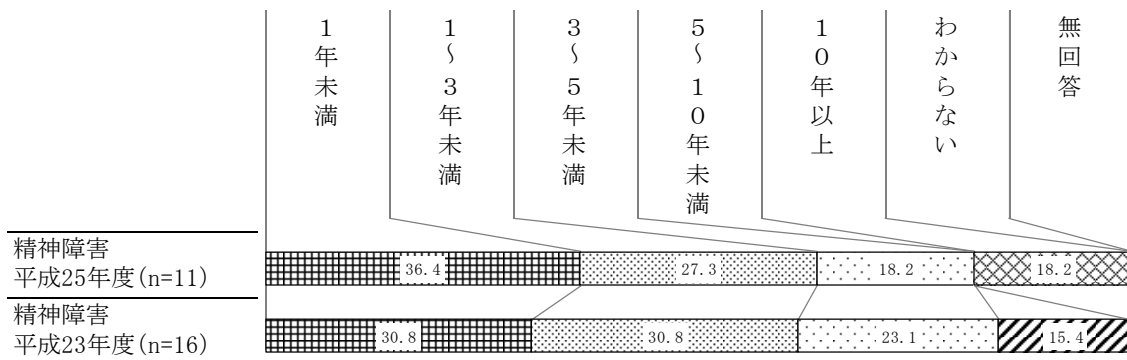
身体障害



知的障害



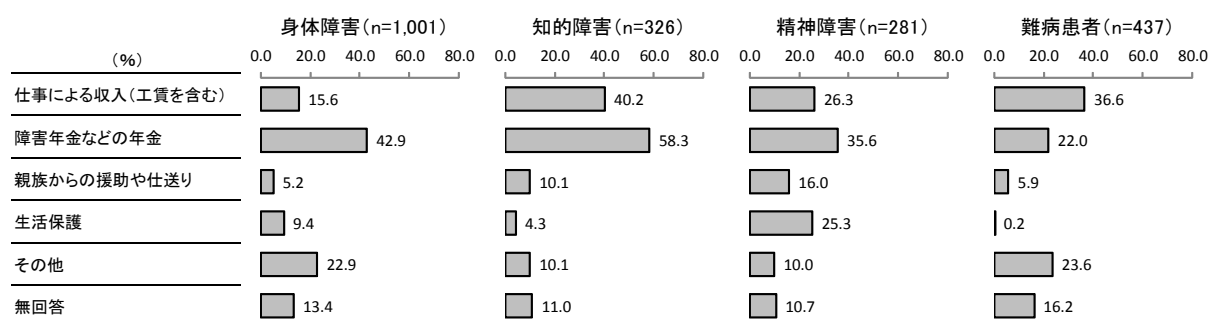
精神障害



(7) 就労について

①あなたの収入はどれですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「障害年金などの年金」が42.9%で最も多く、「仕事による収入」が15.6%でこれに次いだ。知的障害では「障害年金などの年金」が58.3%で最も多く、「仕事による収入」が40.2%でこれに次いだ。精神障害では「障害年金などの年金」が35.6%で最も多く、「仕事による収入」が26.3%でこれに次ぎ、「生活保護」が25.3%で比較的多かった。難病患者では「仕事による収入」が36.6%で最も多く、「障害年金などの年金」が22.0%でこれに次いだ。



[前回調査との比較]

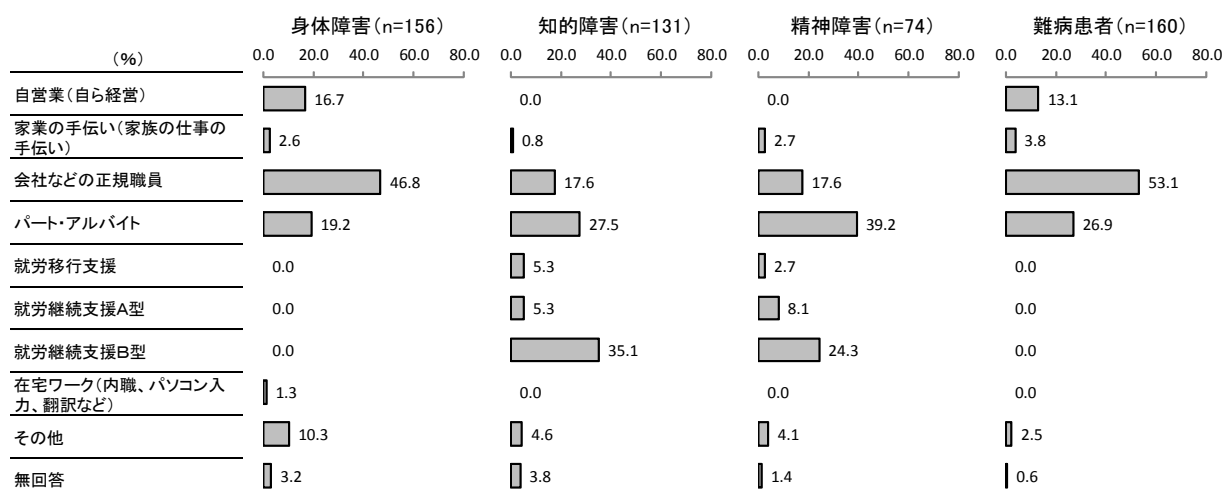
前回調査に比べて、身体障害では「障害年金などの年金」が9.3ポイント減少し、「その他」が9.5ポイント増加した。知的障害では大きな変動は見られなかった。精神障害では、「仕事による収入」が8.6ポイント増加し、「障害年金などの年金」が16.2ポイント減少した。

選択肢	身体障害			知的障害			精神障害		
	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
仕事による収入(工賃を含む)	14.1	15.6		38.7	40.2		17.7	26.3	△
障害年金などの年金	52.2	42.9	▼	62.1	58.3		51.8	35.6	▼
親族からの援助や仕送り	4.1	5.2		9.6	10.1		14.8	16.0	
生活保護	8.9	9.4		4.4	4.3		28.0	25.3	
その他	13.4	22.9	△	13.6	10.1		9.6	10.0	
無回答	17.1	13.4		12.7	11.0		6.7	10.7	

I 調査の概要

②現在、収入（工賃を含む）がある仕事をしてますか（あてはまる番号1つ）

身体障害では「会社などの正規職員」が46.8%で最も多く、「パート・アルバイト」が19.2%でこれに次いだ。知的障害では「就労継続支援B型」が35.1%で最も多く、「パート・アルバイト」が27.5%でこれに次いだ。精神障害では「パート・アルバイト」が39.2%で最も多く、「就労継続支援B型」が24.3%でこれに次いだ。難病患者では「会社などの正規職員」が53.1%で最も多く、「パート・アルバイト」が26.9%でこれに次いだ。



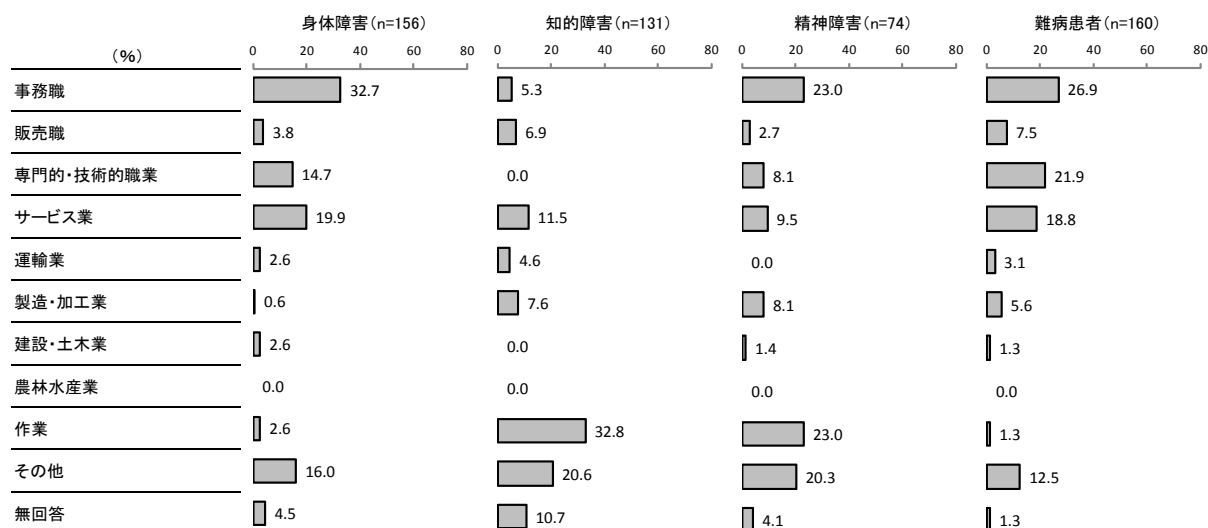
[前回調査との比較]

前回調査に比べて、身体障害では「正社員」が17.6ポイント増加し、「パート・アルバイト」が11.5ポイント減少した。知的障害では「正社員」が10.2ポイント減少し、「パート・アルバイト」が8.8ポイント増加した。精神障害では、「正社員」と「パート・アルバイト」が14.9ポイントと6.6ポイント減少し、「作業所」が5.1ポイント増加した。

選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
正社員	13.9	29.2	46.8	△	20.6	27.8	17.6	▼	15.4	32.5	17.6	▼
パート・アルバイト	7.9	30.7	19.2	▼	11.3	18.7	27.5	△	24.3	45.8	39.2	▼
作業所	1.2	4.5	0.0		28.1	47.6	45.7		9.7	30.0	35.1	△

③現在、どのような職種をしていますか。(あてはまる番号すべて)

身体障害では「事務職」が32.7%で最も多く、「サービス業」が19.9%でこれに次いだ。知的障害では「作業」が32.8%で最も多く、「サービス業」が11.5%でこれに次いだ。精神障害では「事務職」と「作業」が23.0%で最も多かった。難病患者では「事務職」が26.9%で最も多く、「専門的・技術的職業」が21.9%でこれに次いだ。



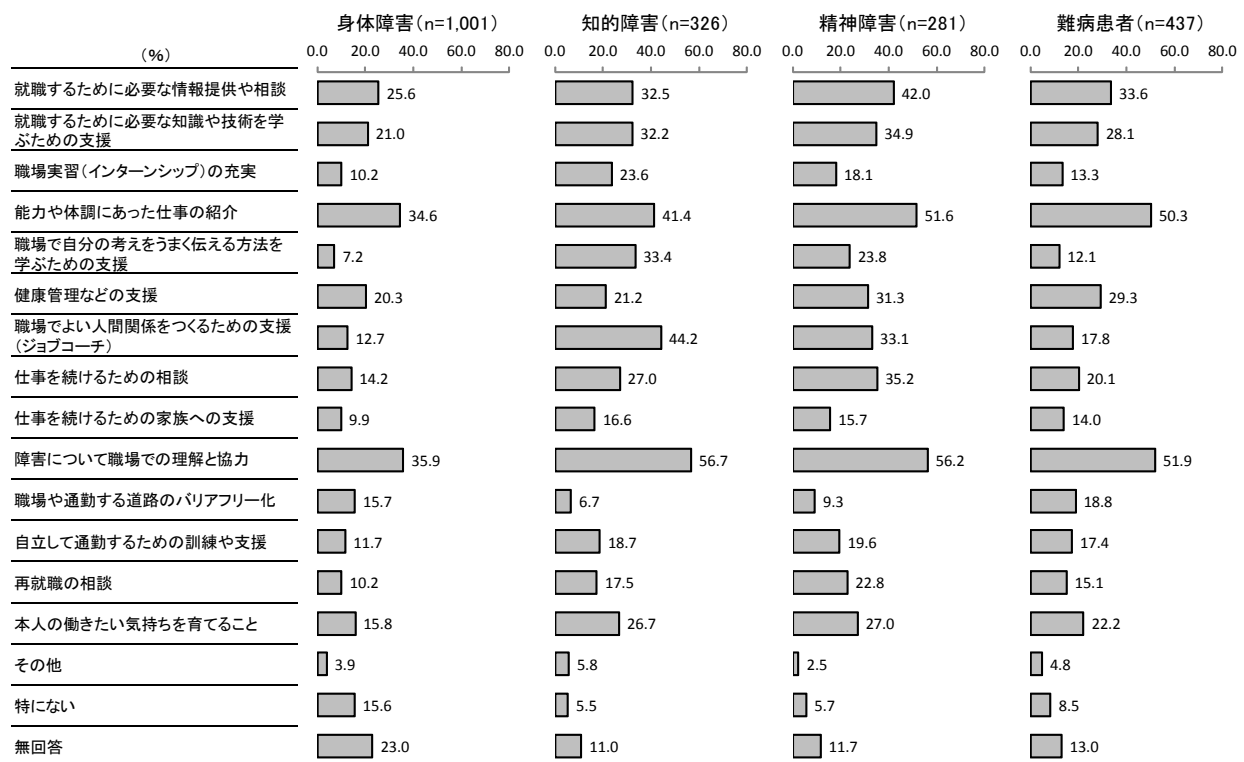
④どのような仕事をしたいと思いますか。(あてはまる番号すべて)

身体障害では「会社などの正規職員」や「パート・アルバイト」で<現状>が<希望>を37.1ポイントと12.9ポイント上まわった。知的障害では「会社などの正規職員」で<希望>が<現状>を4.2ポイント上まわった。精神障害では「会社などの正規職員」で<希望>が<現状>を7.0ポイント上まわった。難病患者では「会社などの正規職員」や「パート・アルバイト」で<現状>が<希望>を29.5ポイントと9.1ポイント上まわった。

単位: %	現 状				希 望			
	身体 (n=156)	知的 (n=131)	精神 (n=74)	難病 (n=160)	身体 (n=156)	知的 (n=131)	精神 (n=74)	難病 (n=160)
自営業 (自ら経営)	16.7	0.0	0.0	13.1	6.2	0.3	8.5	8.9
家業の手伝い (家族の仕事の手伝い)	2.6	0.8	2.7	3.8	1.8	3.1	6.4	2.5
会社などの正規職員	46.8	17.6	17.6	53.1	9.7	21.8	24.6	23.6
パート・アルバイト	19.2	27.5	39.2	26.9	6.3	11.0	24.6	17.8
就労移行支援	0.0	5.3	2.7	0.0	0.7	5.5	6.4	1.1
就労継続支援A型	0.0	5.3	8.1	0.0	0.6	7.7	4.3	1.4
就労継続支援B型	0.0	35.1	24.3	0.0	0.7	23.9	7.8	1.4
在宅ワーク (内職、パソコン入力、翻訳など)	1.3	0.0	0.0	0.0	2.6	0.3	6.8	4.8

⑤障害者が働くために何が重要だと思いますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「障害について職場での理解と協力」が 35.9%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が 34.6%でこれに次いだ。知的障害では「障害について職場での理解と協力」が 56.7%で最も多く、「職場でよい人間関係をつくるための支援」が 44.2%でこれに次いだ。精神障害では「障害について職場での理解と協力」が 56.2%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が 51.6%でこれに次いだ。難病患者では「障害について職場での理解と協力」が 51.9%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が 50.3%でこれに次いだ。



[前回調査との比較]

前回調査に比べて、身体障害では「障害について職場での理解と協力」が14.4ポイント、「就職するために必要な知識や技術を学ぶための支援」が7.3ポイント増加した。知的障害では「職場でよい人間関係をつくるための支援」が23.8ポイント、「障害について職場での理解と協力」が20.8ポイント増加した。精神障害では、「就職するために必要な情報提供や相談」が20.9ポイント、「職場でよい人間関係をつくるための支援」が18.5ポイント増加した。

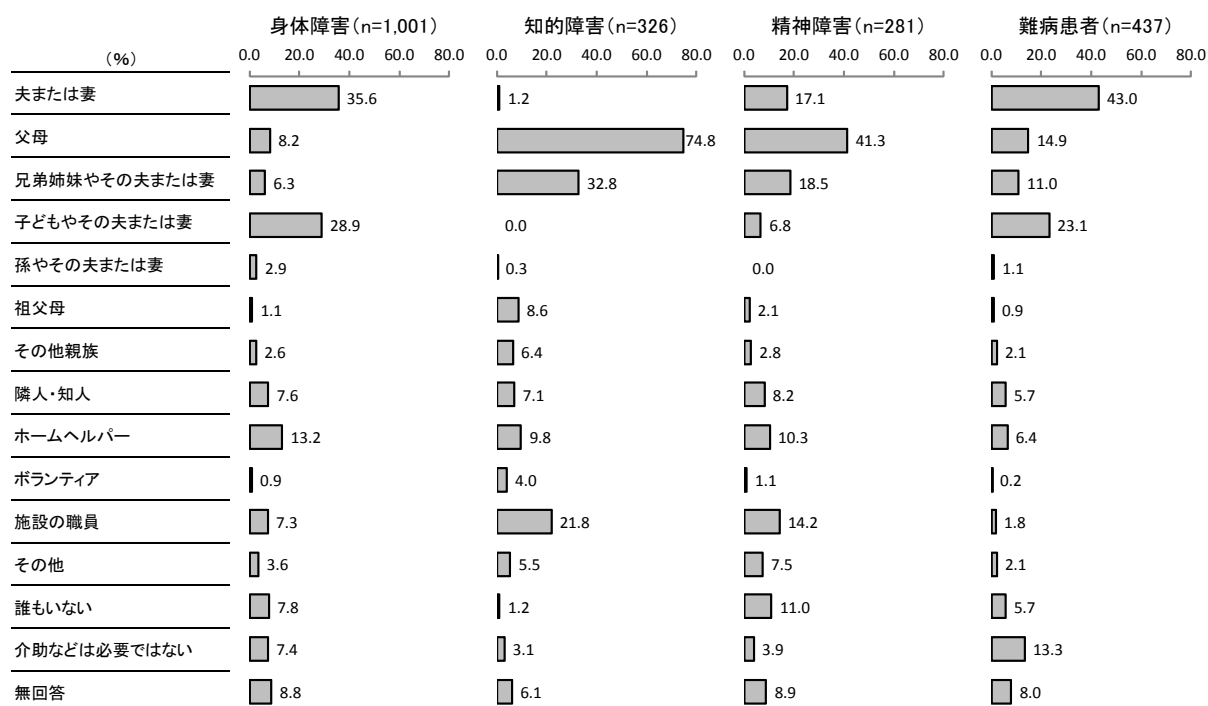
ただし、前回調査ではあてはまるものを3つ選ぶ質問形式であったのに対し、今回はあてはまるものすべてを選ぶ質問形式に変更されたため、全体的に選択される率が増加したものと考えられる。

選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成 20年度 (%)	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 20年度 (%)	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 20年度 (%)	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化
能力や体調にあった仕事の紹介	21.7	28.7	34.6	△	29.7	30.6	41.4	△	30.0	41.3	51.6	△
障害について職場での理解と協力	19.1	21.5	35.9	△	28.4	35.9	56.7	△	23.9	39.0	56.2	△
就職するために必要な情報提供や相談	17.7	20.9	25.6		12.3	14.4	32.5	△	21.8	21.1	42.0	△
就職するために必要な知識や技術を学ぶための支援	11.7	13.7	21.0	△	15.2	13.6	32.2	△	18.2	18.9	34.9	△
職場でよい人間関係をつくるための支援 (ジョブコーチ)	4.2	5.1	12.7	△	19.3	20.4	44.2	△	7.4	14.6	33.1	△

(8) 介助者について

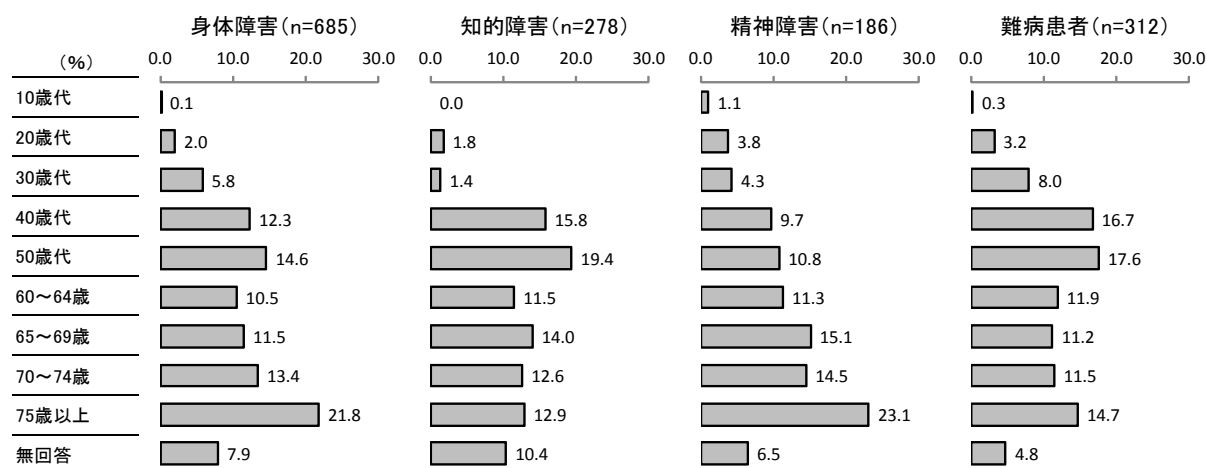
①介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「夫または妻」が 35.6%で最も多く、「子供やその夫または妻」が 28.9%でこれに次いだ。知的障害では「父母」が 74.8%で最も多く、「兄弟姉妹やその夫または妻」が 32.8%でこれに次いだ。精神障害では「父母」が 41.3%で最も多く、「兄弟姉妹やその夫または妻」が 18.5%でこれに次いだ。難病患者では「夫または妻」が 43.0%で最も多く、「子供やその夫または妻」が 23.1%でこれに次いだ。

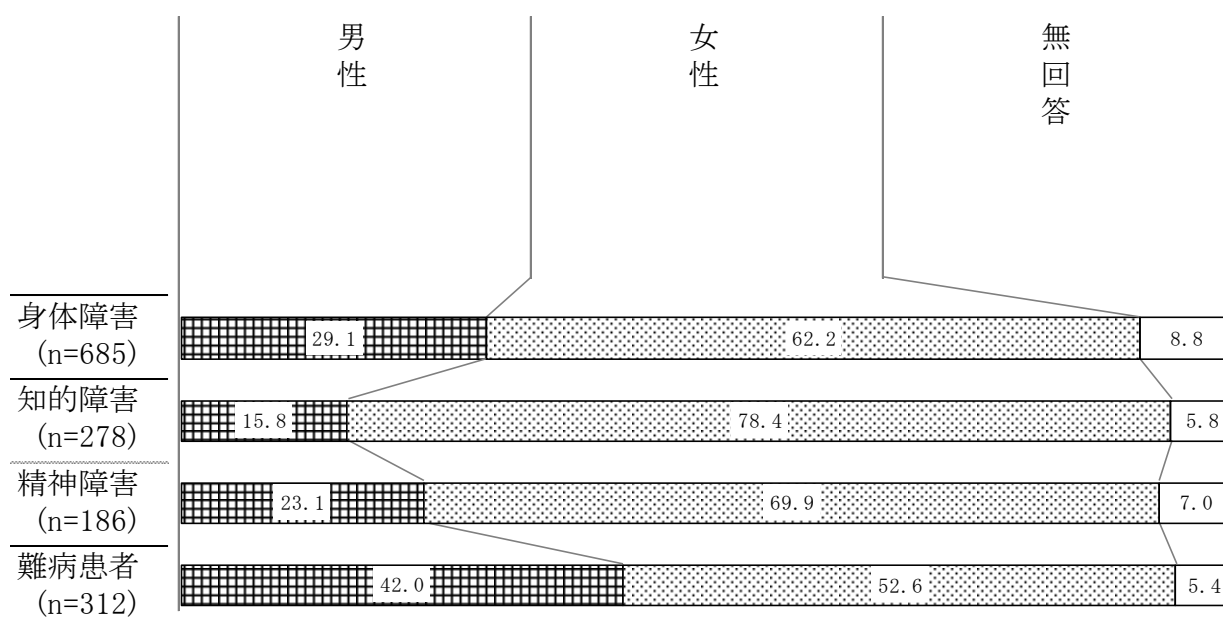


②おもな介助者の年齢・性別

年齢については、身体障害では「75歳以上」が21.8%で最も多く、「50歳代」が14.6%でこれに次いだ。知的障害では「50歳代」が19.4%で最も多く、「40歳代」が15.8%でこれに次いだ。精神障害では「75歳以上」が23.1%で最も多く、「65～69歳」が15.1%でこれに次いだ。難病患者では「50歳代」が17.6%で最も多く、「40歳代」が16.7%でこれに次いだ。

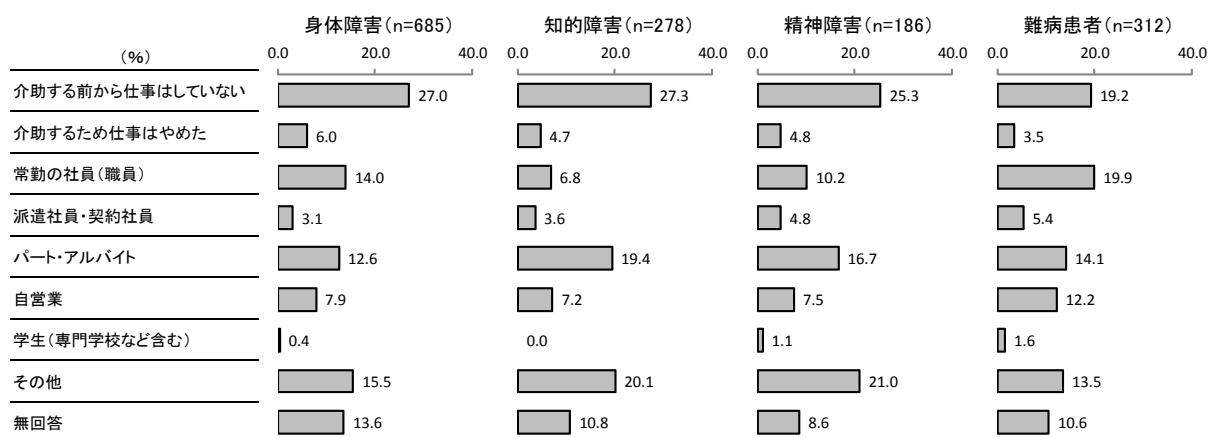


性別については、身体障害では「男性」が29.1%、「女性」が62.2%となった。知的障害では「男性」が15.8%、「女性」が78.4%となった。精神障害では「男性」が23.1%、「女性」が69.9%となった。難病患者では「男性」が42.0%、「女性」が52.6%となった。



③おもな介助者の現在の仕事についておうかがいします

身体障害では「介助する前から仕事はしていない」が 27.0%で最も多く、「常勤の社員」が 14.0%でこれに次いだ。知的障害では「介助する前から仕事はしていない」が 27.3%で最も多く、「パート・アルバイト」が 19.4%でこれに次いだ。精神障害では「介助する前から仕事はしていない」が 25.3%で最も多く、「パート・アルバイト」が 16.7%でこれに次いだ。難病患者では「常勤の社員」が 19.9%で最も多く、「介助する前から仕事はしていない」が 19.2%でこれに次いだ。



[前回調査との比較]

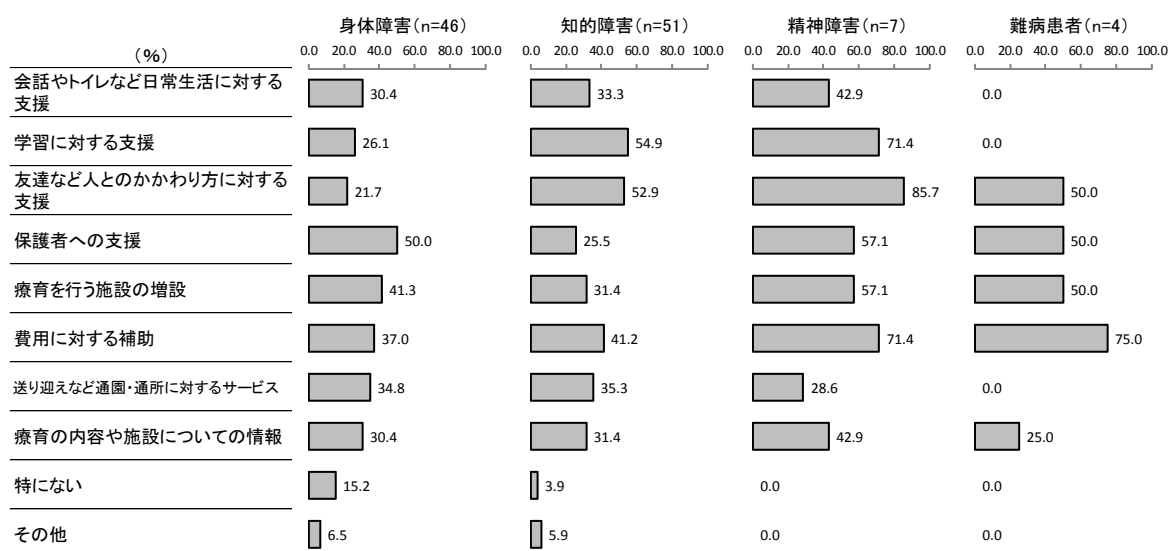
前回調査に比べて、身体障害では「介助する前から仕事はしていない」と「常勤の社員」が 6.9 ポイントと 5.8 ポイント増加した。知的障害では「介助するため仕事はやめた」が 5.7 ポイント減少した。精神障害では、「介助する前から仕事はしていない」が 9.0 ポイント増加した。

選択肢	身体障害			知的障害			精神障害		
	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化
介助する前から仕事はしていない	20.1	27.0	△	24.8	27.3		16.3	25.3	△
介助するため仕事はやめた	7.7	6.0		10.4	4.7	▼	5.7	4.8	
常勤の社員(職員)	8.2	14.0	△	5.9	6.8		13.0	10.2	
派遣社員・契約社員	3.0	3.1		1.5	3.6		3.3	4.8	
パート・アルバイト	10.9	12.6		16.1	19.4		14.1	16.7	
自営業	9.4	7.9		8.9	7.2		6.0	7.5	
学生(専門学校など含む)	0.8	0.4		0.7	0.0		0.5	1.1	
その他	13.6	15.5		15.1	20.1	△	21.1	21.0	
無回答	26.2	13.6	▼	16.6	10.8	▼	20.1	8.6	▼

(9) 障害児について

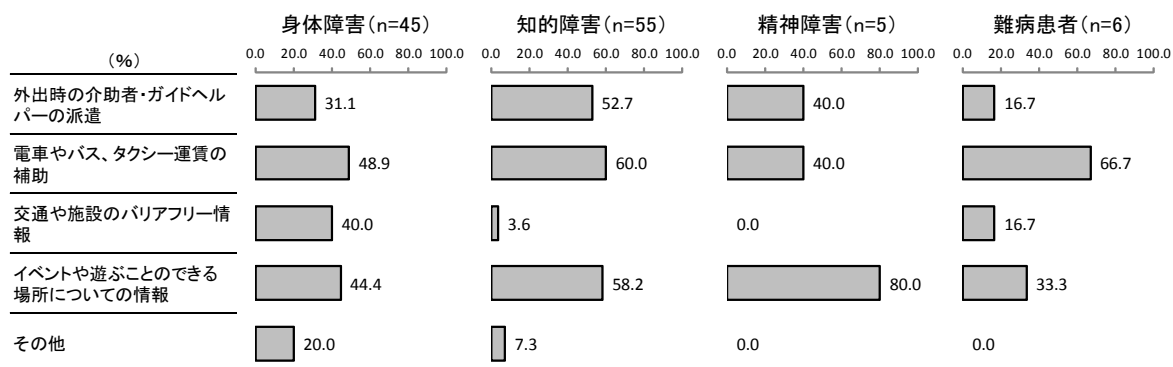
① 子どもが受けている療育について、充実を望むものは何ですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「保護者への支援」が50.0%で最も多く、「療育を行う施設の増設」が41.3%でこれに次いだ。知的障害では「学習に対する支援」が54.9%で最も多く、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が52.9%でこれに次いだ。精神障害では「友達など人とのかかわり方に対する支援」が85.7%で最も多く、「学習に対する支援」と「費用に対する補助」が71.4%でこれに次いだ。難病患者では「費用に対する補助」が75.0%で最も多かった。



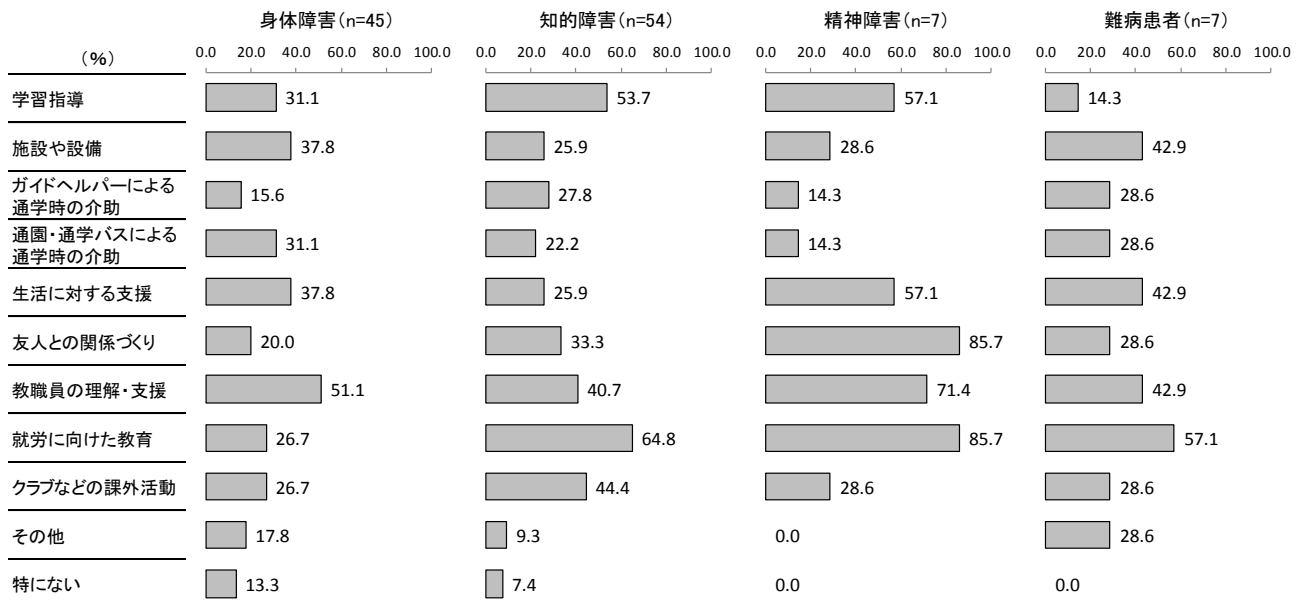
②子どもの外出時にどのような支援やサービスが必要だと思いますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が48.9%で最も多く、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が44.4%でこれに次いだ。知的障害では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が60.0%で最も多く、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が58.2%でこれに次いだ。精神障害では「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が80.0%で最も多く、難病患者では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が66.7%で最も多かった。



③就学後（小学生～高校生）のお子さんが受けている教育や、学校生活について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか（あてはまる番号すべて）

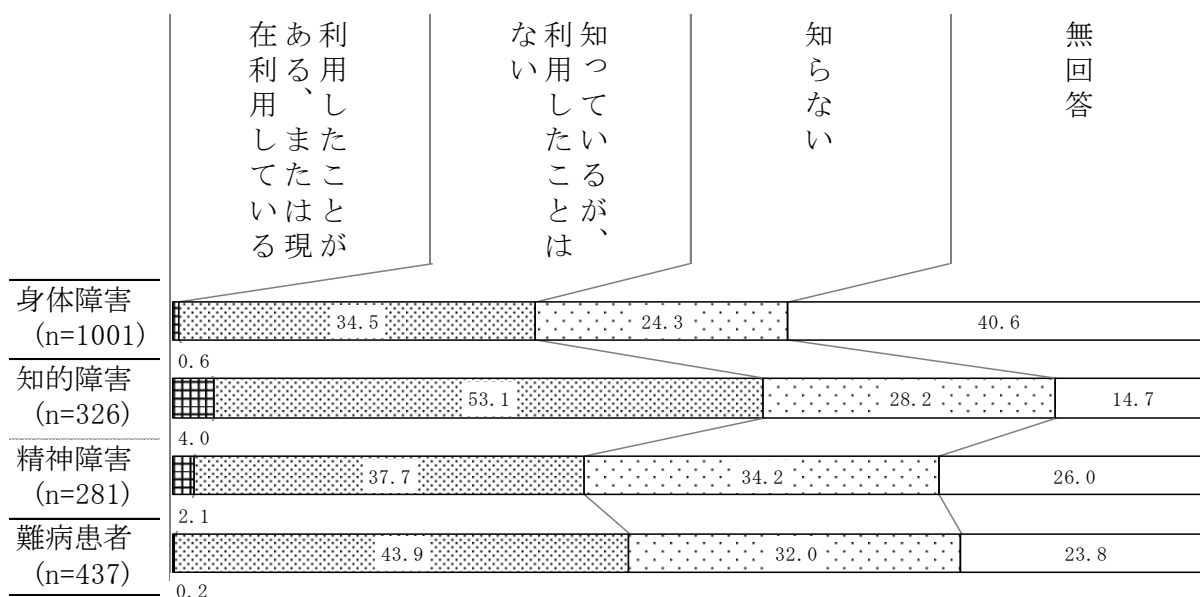
身体障害では「教職員の理解・支援」が51.1%で最も多く、「施設や設備」と「生活に対する支援」が37.8%でこれに次いだ。知的障害では「就労に向けた教育」が64.8%で最も多く、「学習指導」が53.7%でこれに次いだ。精神障害では「友人との関係づくり」と「就労に向けた教育」が85.7%で最も多く、難病患者では「就労に向けた教育」が57.1%で最も多かった。



(10) 成年後見について

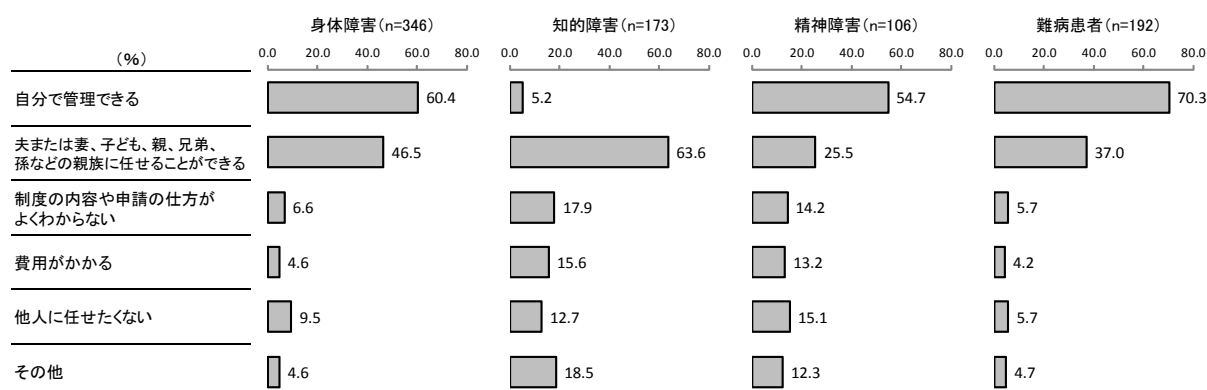
①あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか（あてはまる番号1つに○）

「知っているが、利用したことはない」が身体障害 34.5%、知的障害が 53.1%、精神障害が 37.7%、難病患者が 43.9%となっており、「利用したことがある、または現在利用している」は知的障害が 4.0%となった。



②「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか（あてはまる番号すべて）

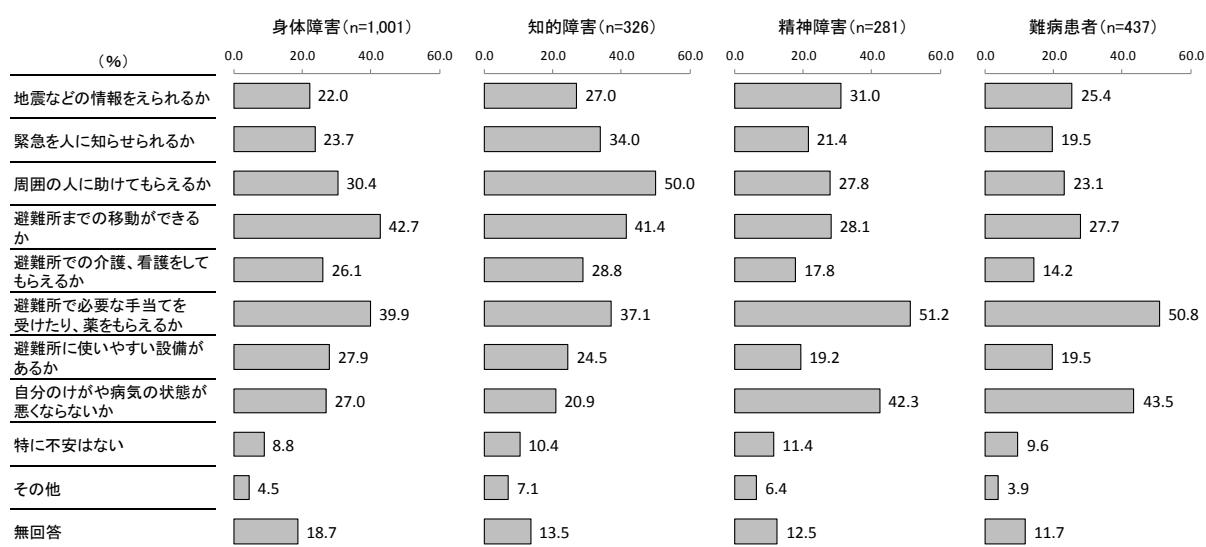
身体障害、精神障害、難病患者では「自分で管理できる」がそれぞれ 60.4%、54.7%、70.3%で最も多く、「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親戚に任せることができる」がそれぞれ 46.5%、25.5%、37.0%で次いだ。知的障害では「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親戚に任せることができる」が 63.6%で最も多く、「その他」が 18.5%でこれに次いだ。



(11) 災害対策について

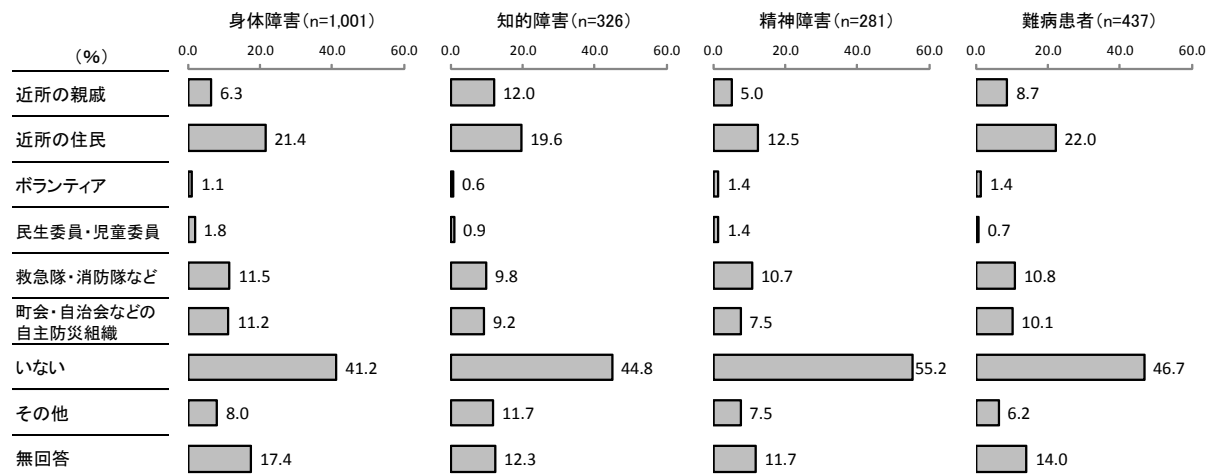
①あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「避難所までの移動ができるか」が42.7%で最も多く、「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が39.9%でこれに次いだ。知的障害では「周囲の人に助けてもらえるか」が50.0%で最も多く、「避難所までの移動ができるか」が41.4%でこれに次いだ。精神障害では「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が51.2%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が42.3%でこれに次いだ。難病患者では「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が50.8%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が43.5%でこれに次いだ。



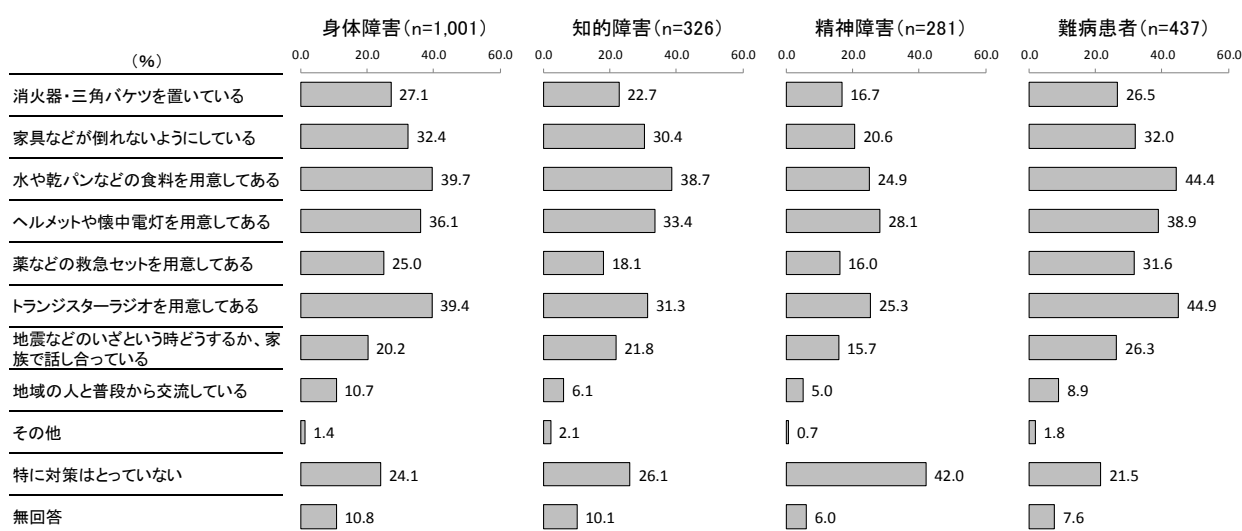
②災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか（あてはまる番号すべて）

身体障害、知的障害、精神障害、難病患者では「いない」がそれぞれ41.2%、44.8%、55.2%、46.7%で最も多く、「近所の住民」がそれぞれ21.4%、19.6%、12.5%、22.0%で次いだ。



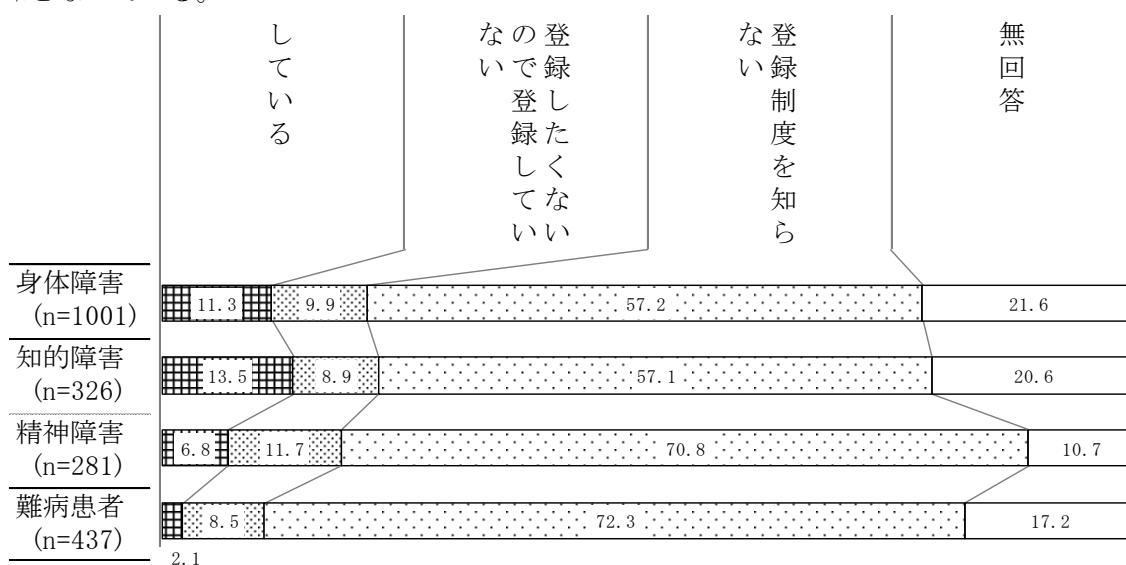
③あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「水や乾パンなどの食料を用意してある」が39.7%で最も多く、「トランジスターラジオを用意してある」が39.4%でこれに次いだ。知的障害では「水や乾パンなどの食料を用意してある」が38.7%で最も多く、「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が33.4%でこれに次いだ。精神障害では「特に対策はとっていない」が42.0%で最も多く、「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が28.1%でこれに次いだ。難病患者では「トランジスターラジオを用意してある」が44.9%で最も多く、「水や乾パンなどの食料を用意してある」が44.4%でこれに次いだ。



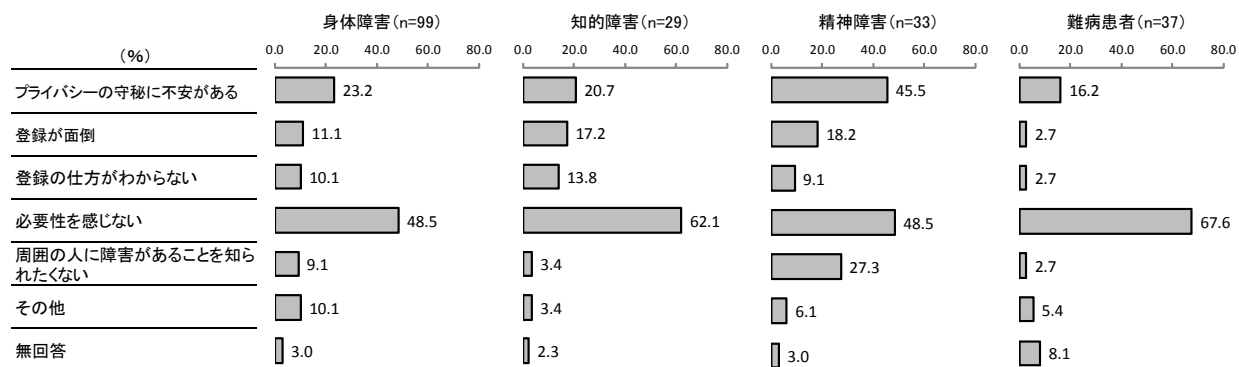
④災害時要援護者の登録をしていますか（あてはまる番号1つに○）

「している」は身体障害が11.3%、知的障害が13.5%、精神障害が6.8%、難病患者が2.1%となっている。一方、「登録制度を知らない」は身体障害が57.2%、知的障害が57.1%、精神障害が70.8%、難病患者が72.3%となっている。



⑤未登録の理由は何ですか（あてはまる番号すべて）

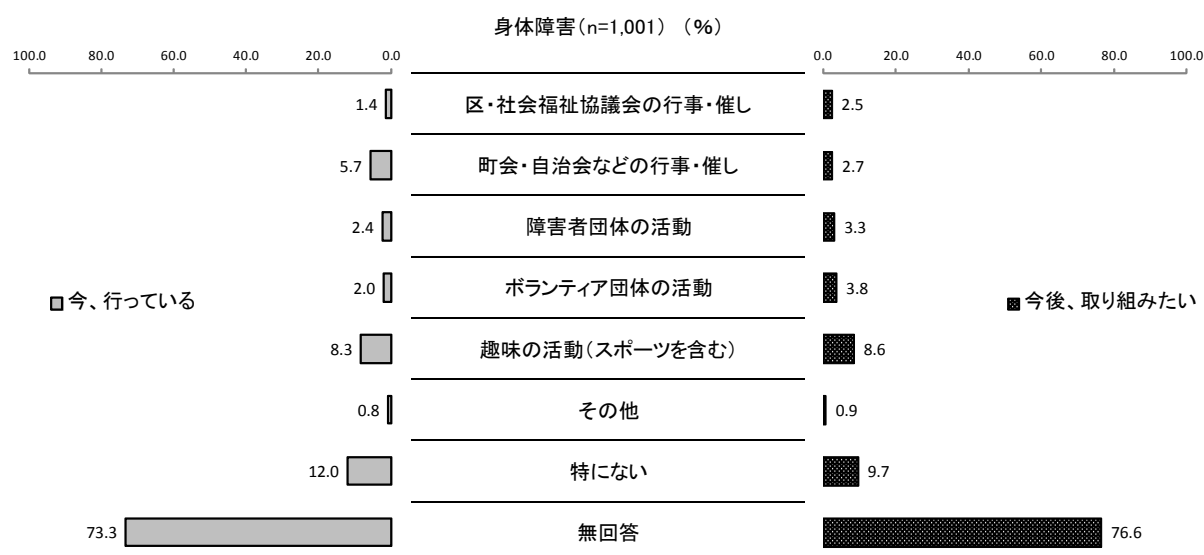
身体障害、知的障害、精神障害、難病患者では「必要性を感じない」がそれぞれ48.5%、62.1%、48.5%、67.6%で最も多く、「プライバシーの守秘に不安がある」が23.2%、20.7%、45.5%、16.2%でこれに次いだ。



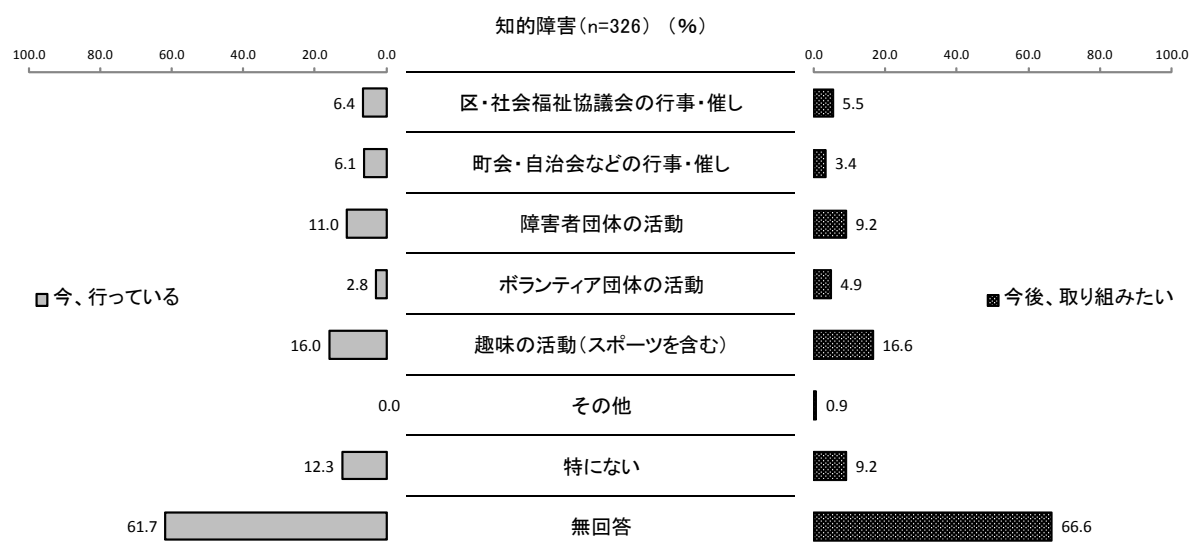
(12) 社会参加について

①あなたが今行っている社会活動は何ですか。あなたが今後取り組みたい社会活動は何ですか。(あてはまるものすべて)

身体障害では、全体的に「無回答」が多く、他の項目は1割未満である。

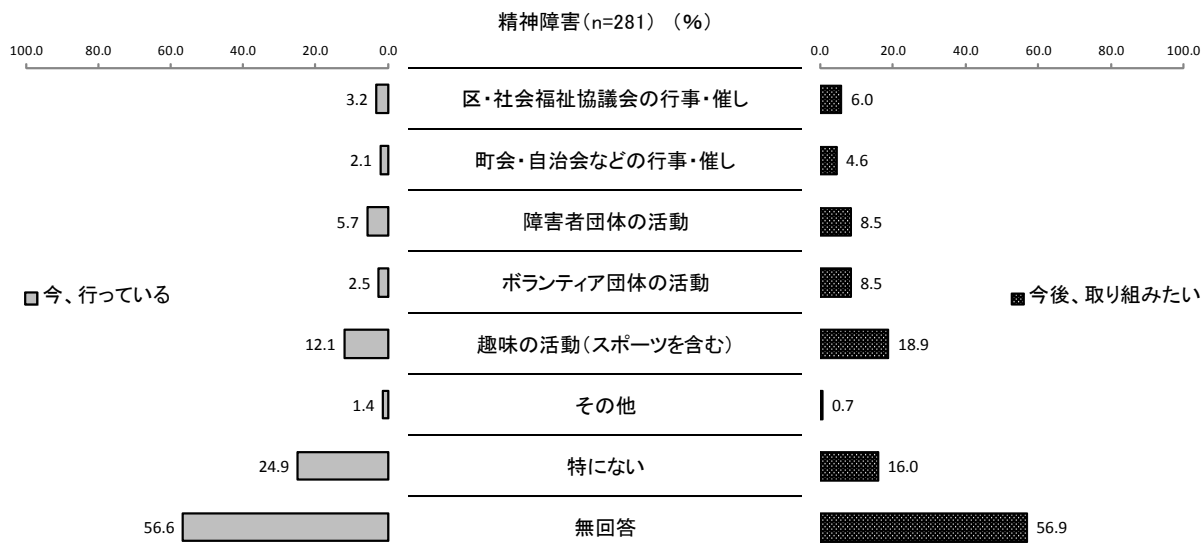


知的障害では、全体的に「無回答」が多く、「障害者団体の活動」と「趣味の活動(スポーツを含む)」が1割強《今、行っている》となっており、《今後、取り組みたい》は「趣味の活動(スポーツを含む)」が16.6%となっている。

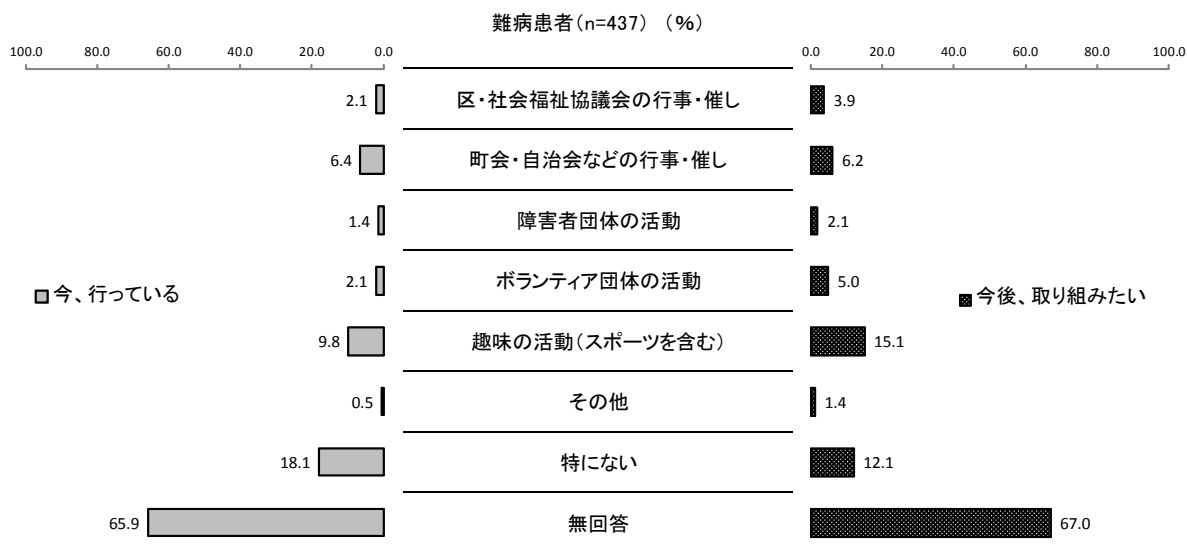


I 調査の概要

精神障害では、全体的に「無回答」が多く、「趣味の活動（スポーツを含む）」は《今、行っている》が12.1%、《今後、取り組みたい》18.9%となっている。

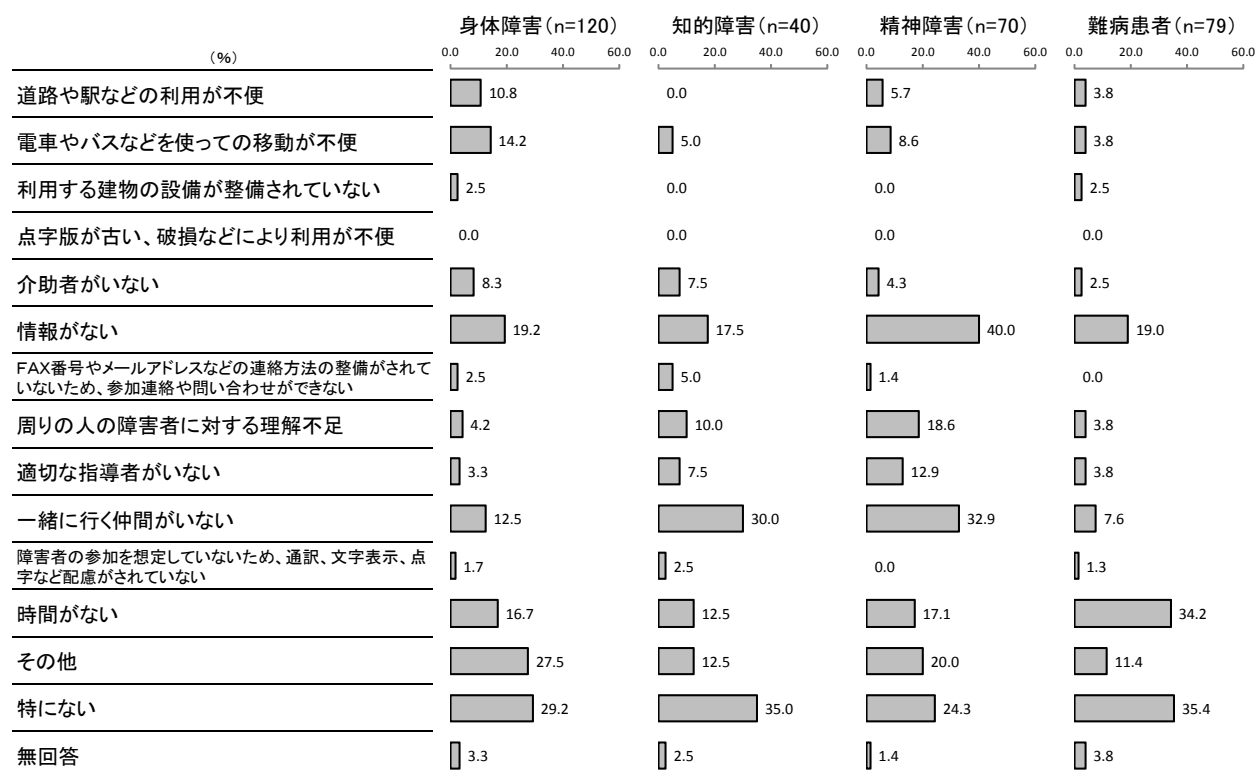


難病患者では、全体的に「無回答」が多く、《今、行っている》は1割未満、《今後、取り組みたい》は「趣味の活動（スポーツを含む）」が15.1%となっている。



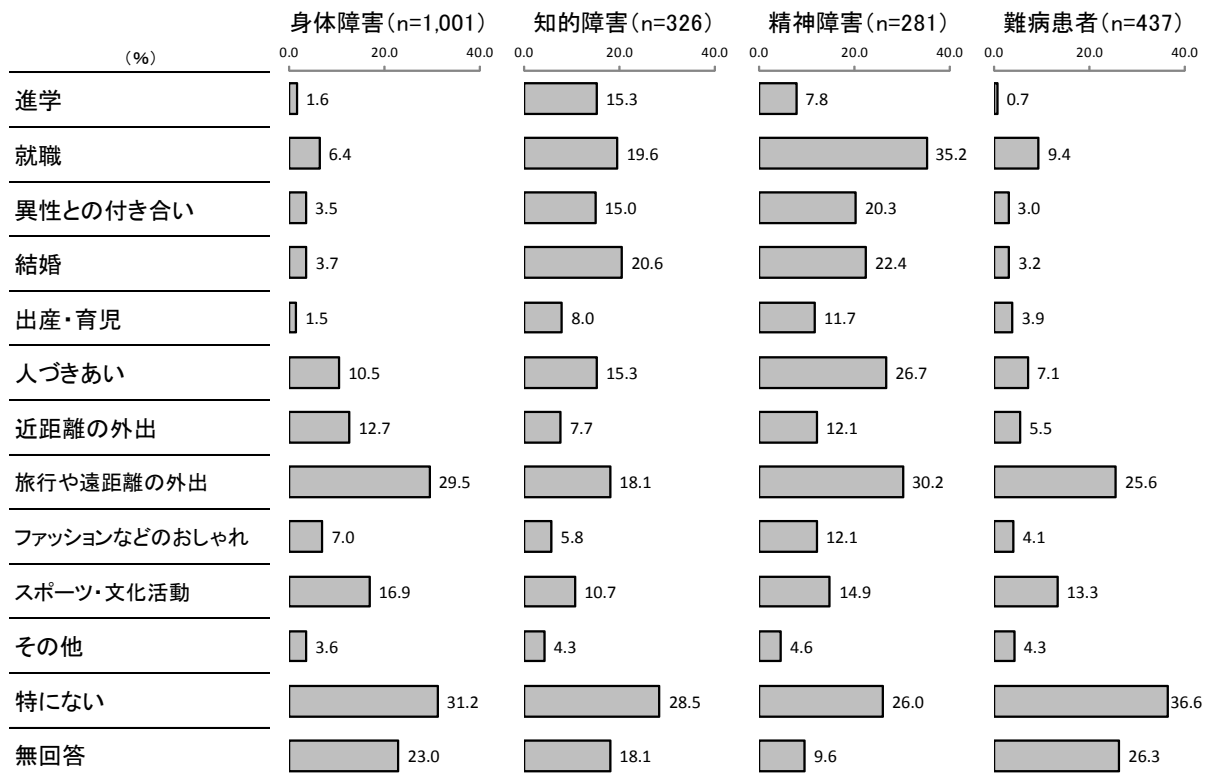
②社会活動を行っていない理由は何ですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「情報がない」が19.2%で最も多く、「時間がない」が16.7%でこれに次いだ。知的障害では「一緒に行く仲間がいない」が30.0%で最も多く、「情報がない」が17.5%でこれに次いだ。精神障害では「情報がない」が40.0%で最も多く、「一緒に行く仲間がいない」が32.9%でこれに次いだ。難病患者では「時間がない」が34.2%で最も多く、「情報がない」が19.0%でこれに次いだ。



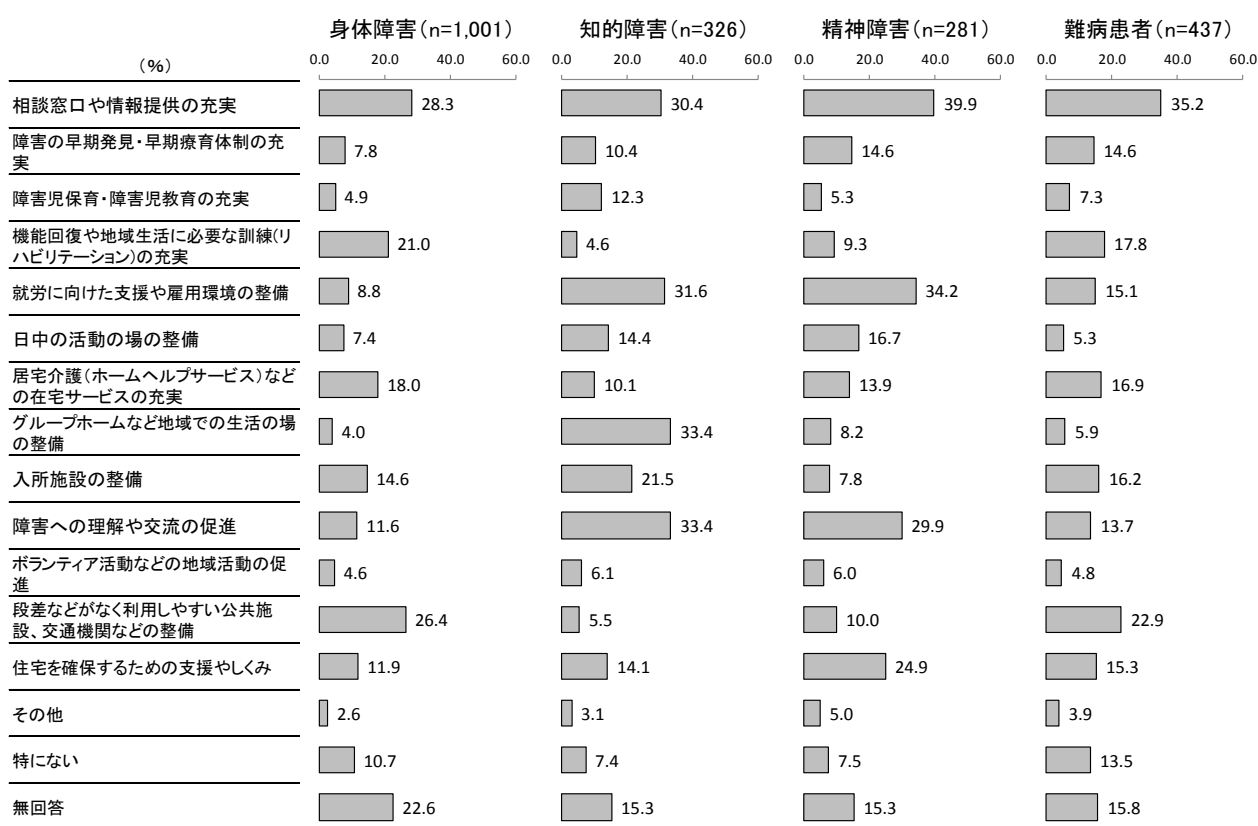
③障害があるために諦めたり妥協をしたことはありますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「旅行や遠距離の外出」が29.5%で最も多く、「スポーツ・文化活動」が16.9%でこれに次いだ。知的障害では「結婚」が20.6%で最も多く、「就職」が19.6%でこれに次いだ。精神障害では「就職」が35.2%で最も多く、「旅行や遠距離の外出」が30.2%でこれに次いだ。難病患者では「旅行や遠距離の外出」が25.6%で最も多く、「スポーツ・文化活動」が13.3%でこれに次いだ。



④あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください（あてはまる番号3つまで）

身体障害では「相談窓口や情報提供の充実」が28.3%で最も多く、「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が26.4%でこれに次いだ。知的障害では「グループホームなど地域での生活の場の整備」と「障害への理解や交流の促進」が33.4%で最も多く、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が31.6%でこれに次いだ。精神障害では「相談窓口や情報提供の充実」が39.9%で最も多く、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が34.2%でこれに次いだ。難病患者では「相談窓口や情報提供の充実」が35.2%で最も多く、「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が22.9%でこれに次いだ。

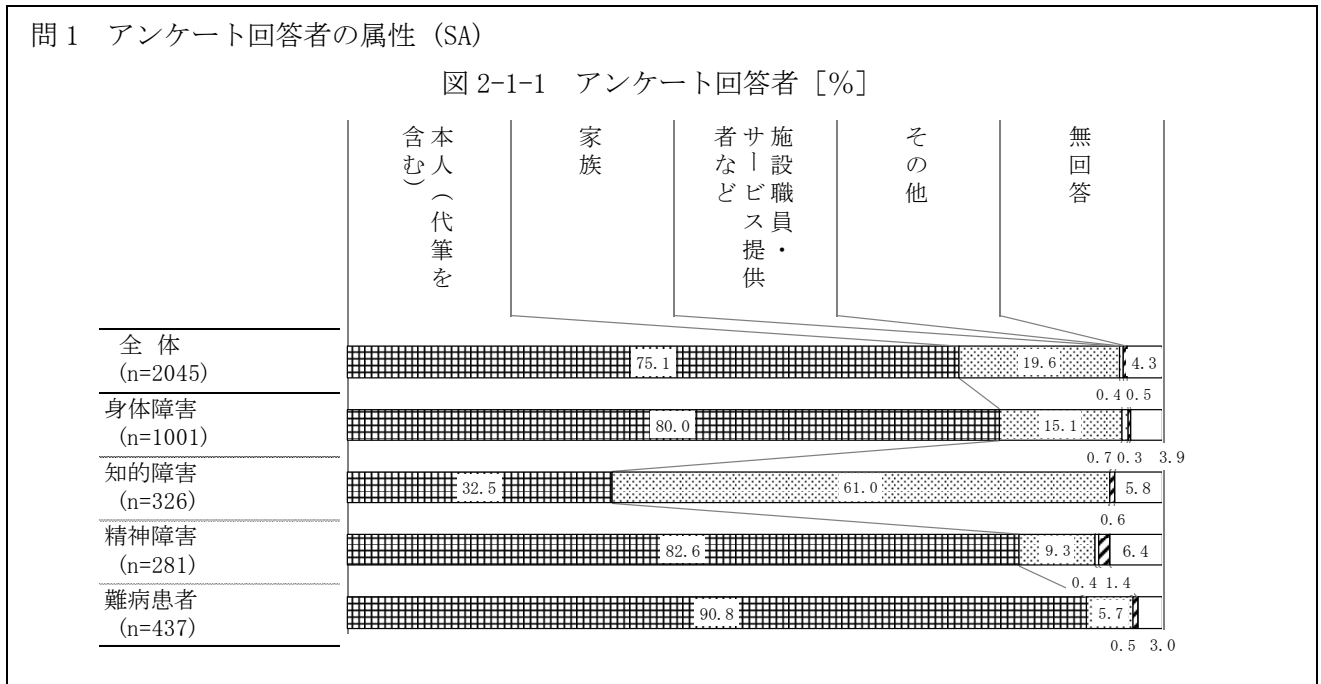


II 調査結果

1. 回答者自身の属性

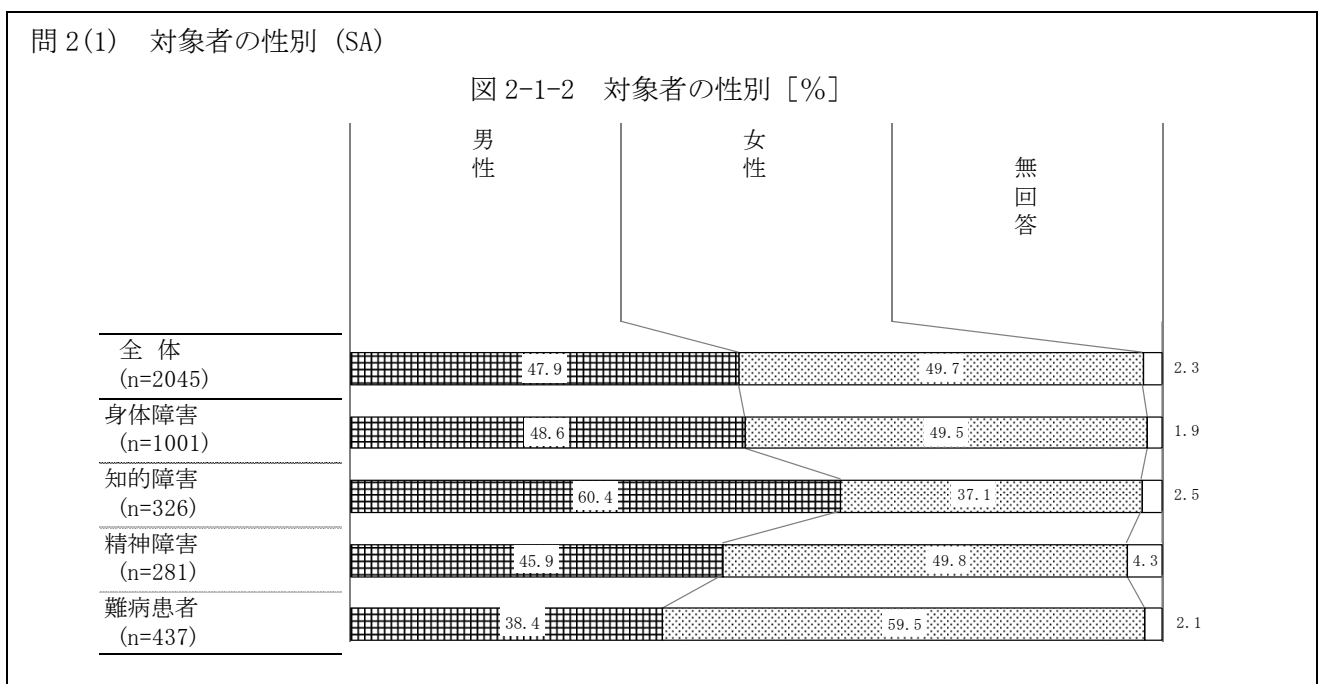
問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(あてはまる番号1つに○)

本アンケートの回答者が誰か尋ねたところ、＜全体＞では「本人（代筆を含む）」が75.1%で最も多く、＜身体障害＞＜精神障害＞＜難病患者＞の各障害でも「本人（代筆を含む）」が8割に達した。ただ＜知的障害＞は「家族」が61.0%で最も多く、「本人（代筆を含む）」が32.5%でこれに次いだ。



問2 あなたの性別、12月1日現在の年齢をお答えください。(性別)

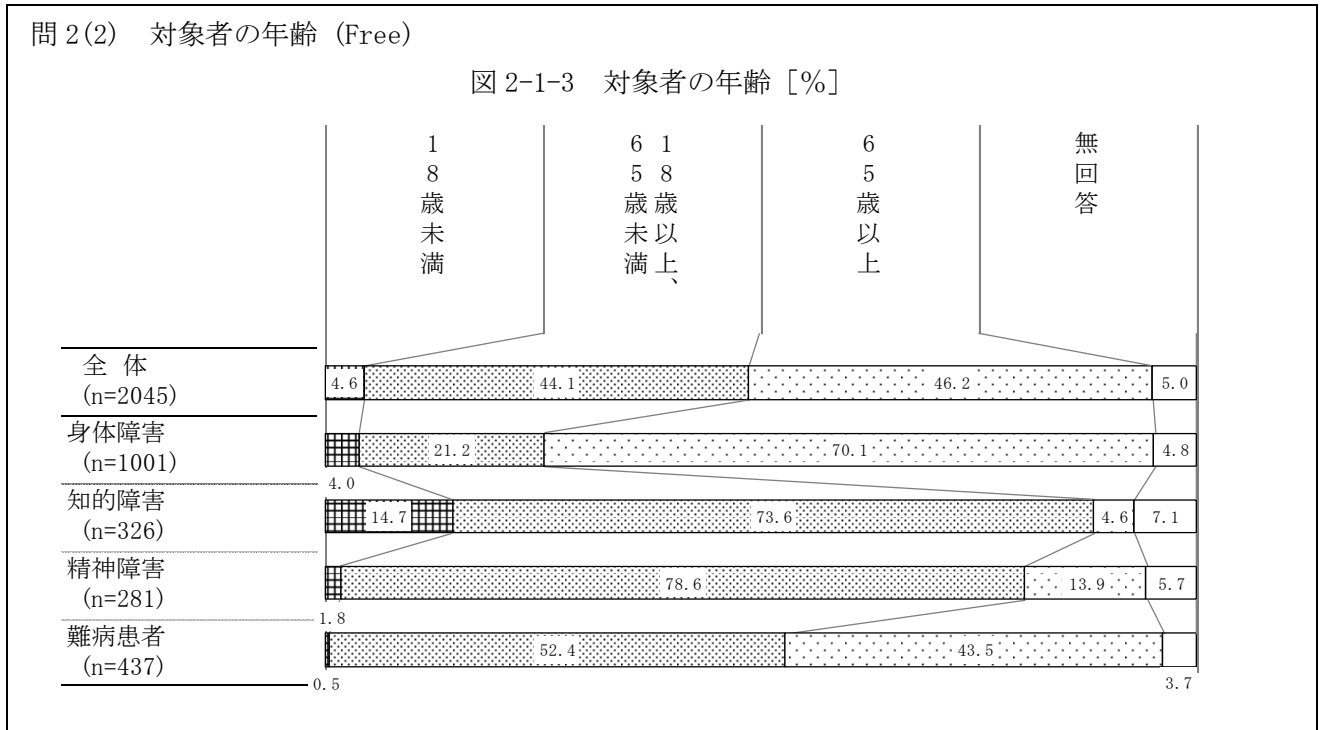
アンケート対象者の性別について尋ねたところ、＜全体＞では「男性」が47.9%、「女性」が49.7%となった。＜知的障害＞では「男性」が60.4%、＜難病患者＞では「女性」が59.5%となりやや多くなった。



II 調査結果

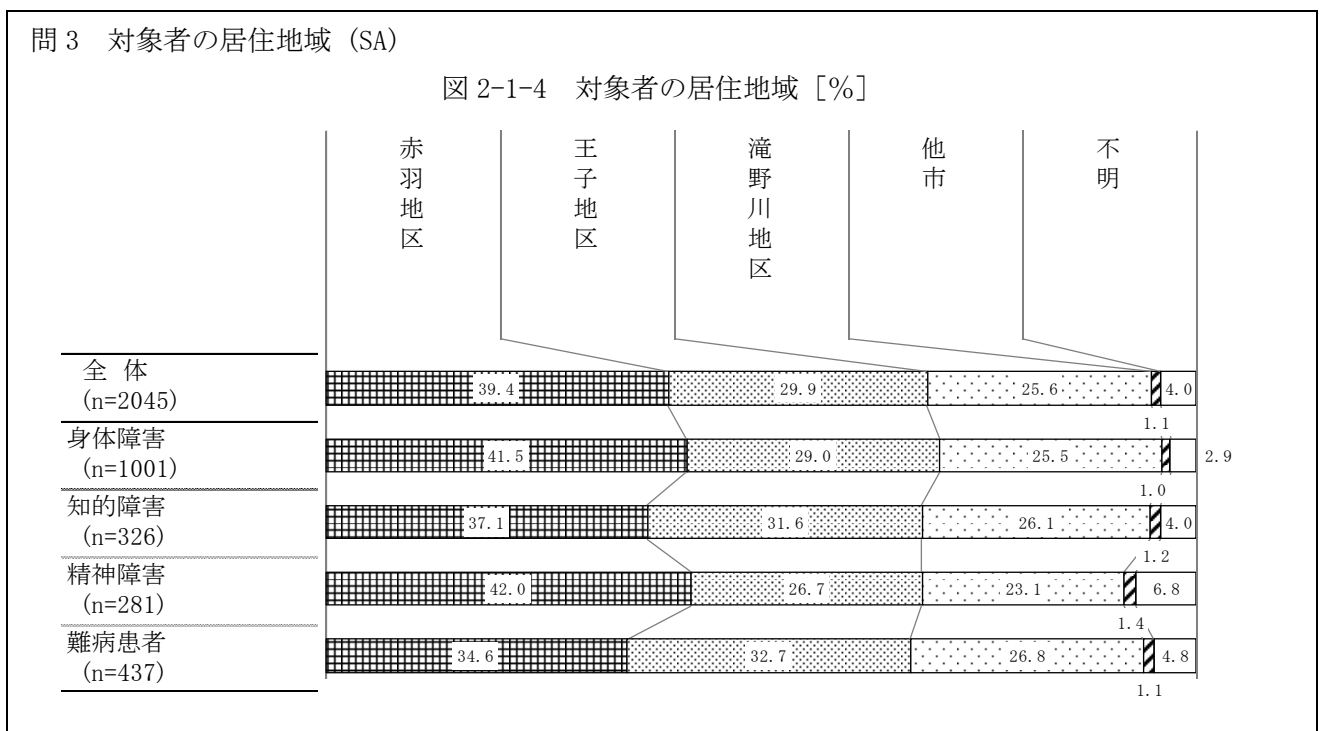
問2 あなたの性別、12月1日現在の年齢をお答えください。(年齢)

アンケート対象者の年齢について尋ねたところ、＜全体＞では「65歳以上」が46.2%で最も多く、「18歳以上、65歳未満」が44.1%でこれに次いだ。「18歳未満」は4.6%となった。＜知的障害＞＜精神障害＞＜難病患者＞では「18歳以上、65歳未満」がそれぞれ73.6%と78.6%と52.4%で過半数となり、＜身体障害＞は「65歳以上」が70.1%で最も多かった。



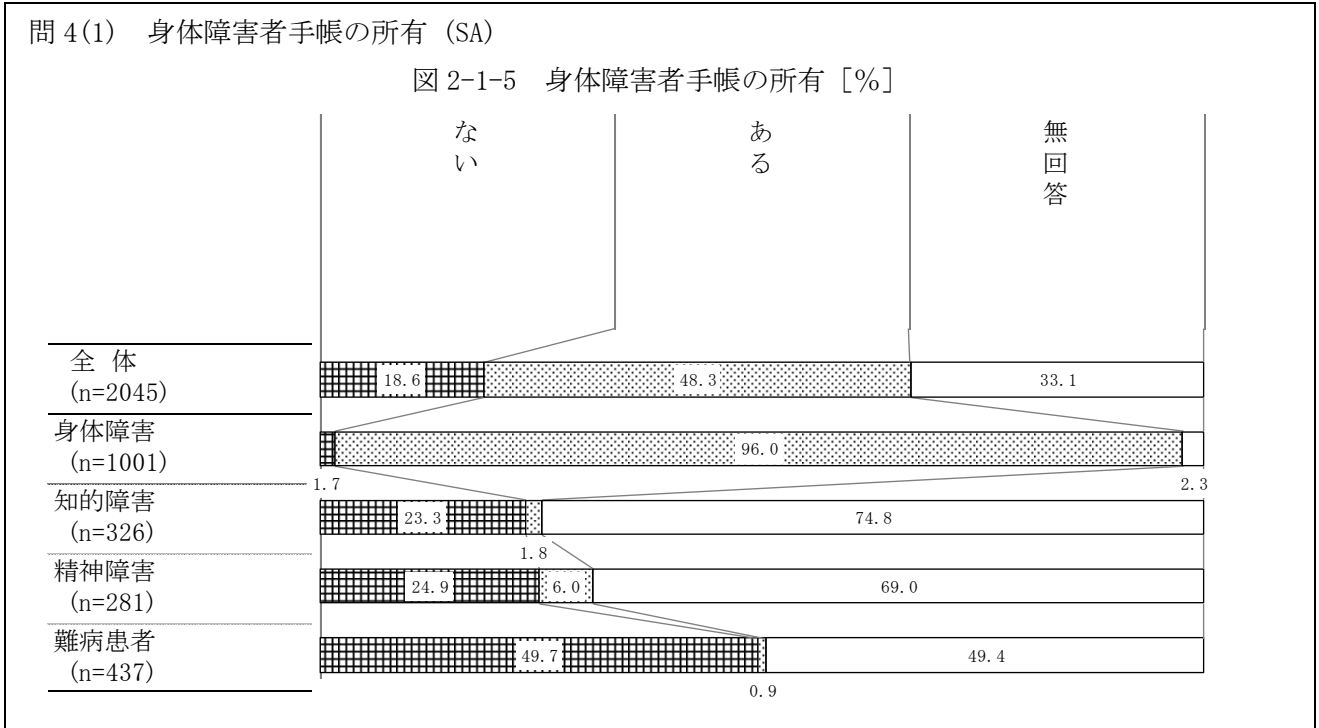
問3 あなたの12月1日現在のお住まいの地域をお答えください。

アンケート対象者の居住地域について尋ねたところ、＜全体＞では「赤羽地区」が39.4%で最も多く、次に「王子地区」が29.9%で、「滝野川地区」が25.6%となっている。＜身体障害＞＜知的障害＞＜精神障害＞＜難病患者＞でも「赤羽地区」が最も多く、「王子地区」、「滝野川地区」の順となっている。



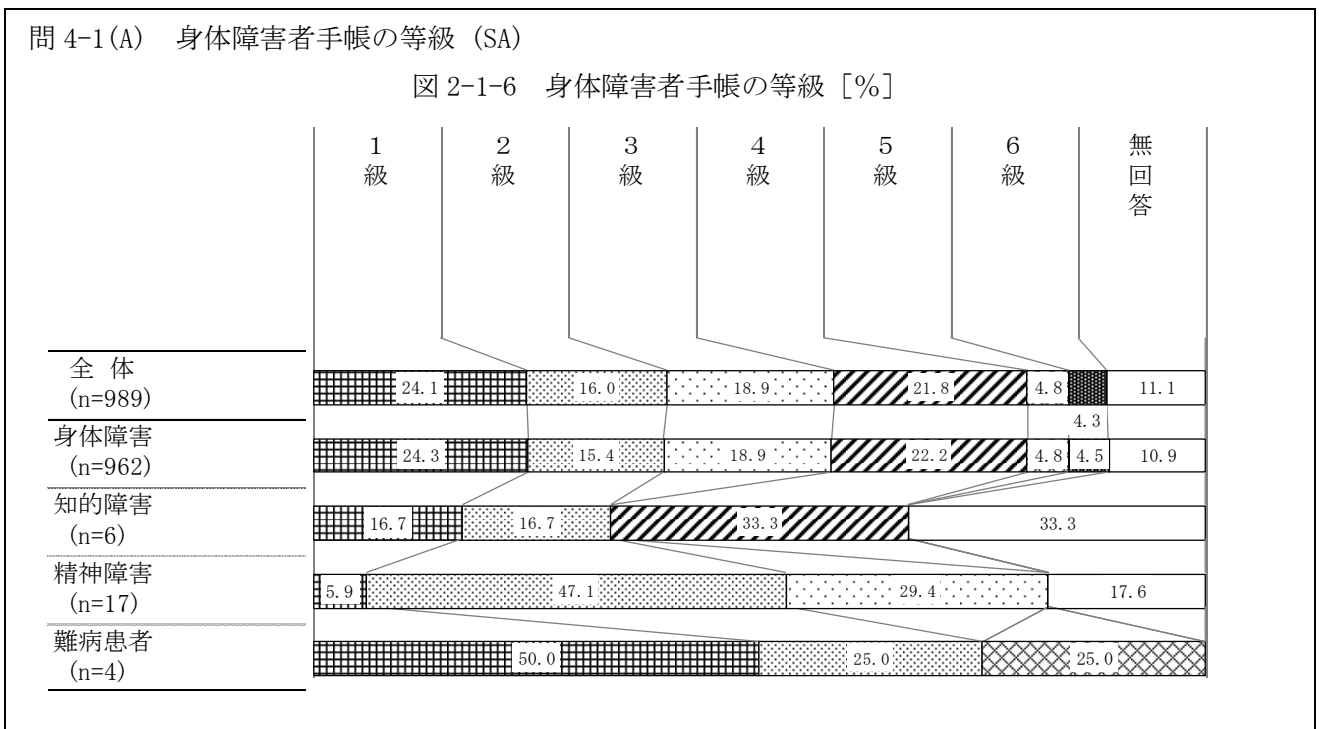
問4 12月1日現在、あなたは次の手帳などをお持ちですか。(身体障害者手帳)

対象者が身体障害者手帳を所有しているか尋ねたところ、＜全体＞では「ある」が48.3%で最も多く、「ない」は18.6%となった。＜身体障害＞は「ある」が96.0%となったが、＜知的障害＞＜精神障害＞＜難病患者＞ではそれぞれ1.8%と6.0%と0.9%にとどまり、「ない」がそれぞれ23.3%と24.9%と49.7%となった。



問4-1 あなたが持っている身体障害者手帳の等級はどれですか。

身体障害者手帳所有者にその等級を尋ねたところ、＜全体＞では「1級」が24.1%で最も多く、「4級」が21.8%でこれに次いだ。＜身体障害＞でも「1級」が24.3%で最も多く、「4級」が22.2%でこれに次いだ。



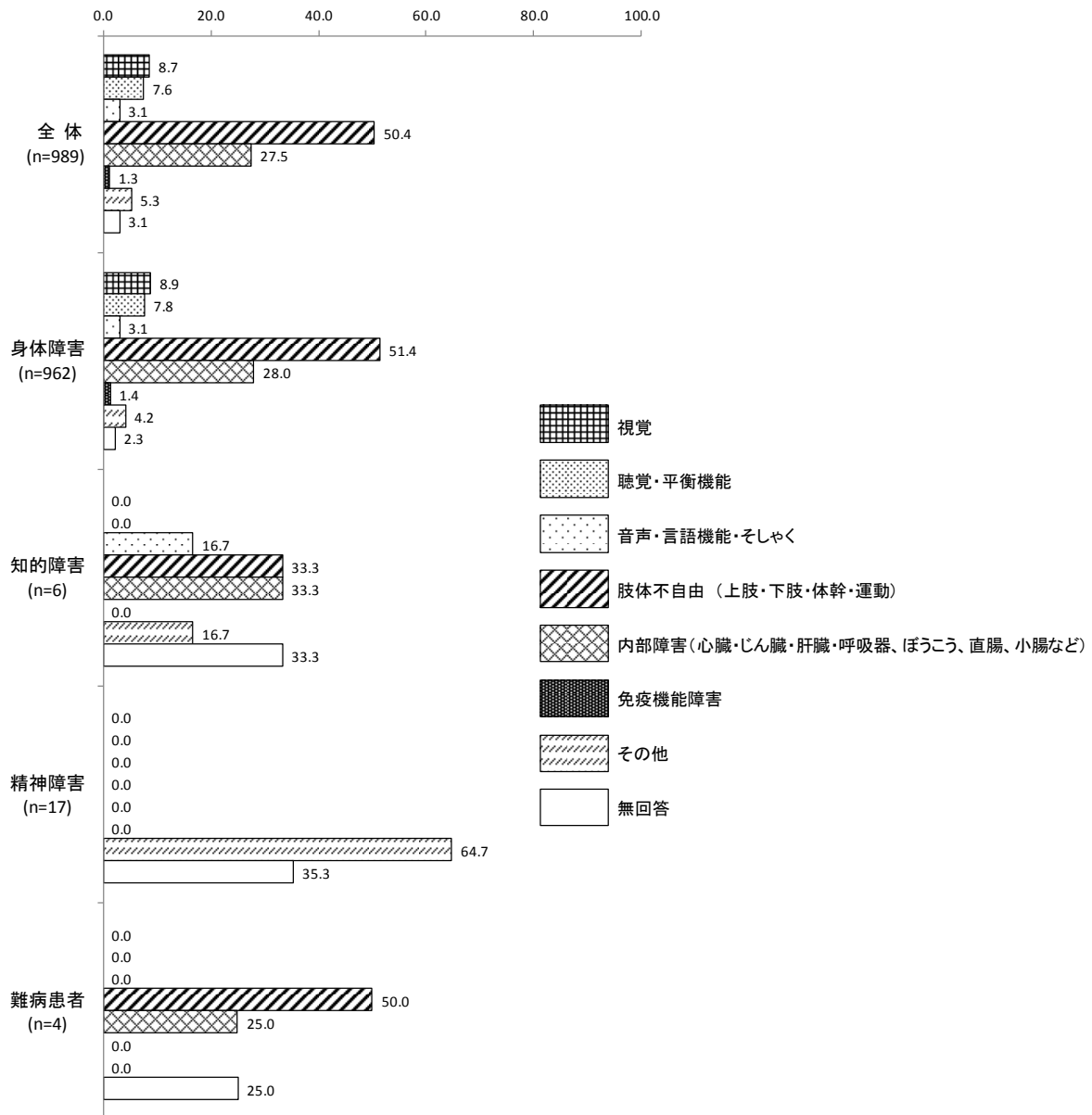
II 調査結果

問 4-1 あなたが持っている身体障害者手帳に記されている障害名ははどれですか。

身体障害者手帳所有者にその障害名を尋ねたところ、＜全体＞では「肢体不自由」が50.4%で最も多く、「内部障害」が27.5%でこれに次いだ。＜身体障害＞＜知的障害＞＜難病患者＞でも「肢体不自由」が51.4%、33.3%、50.0%で最も多く、＜知的障害＞では「内部障害」も33.3%となった。

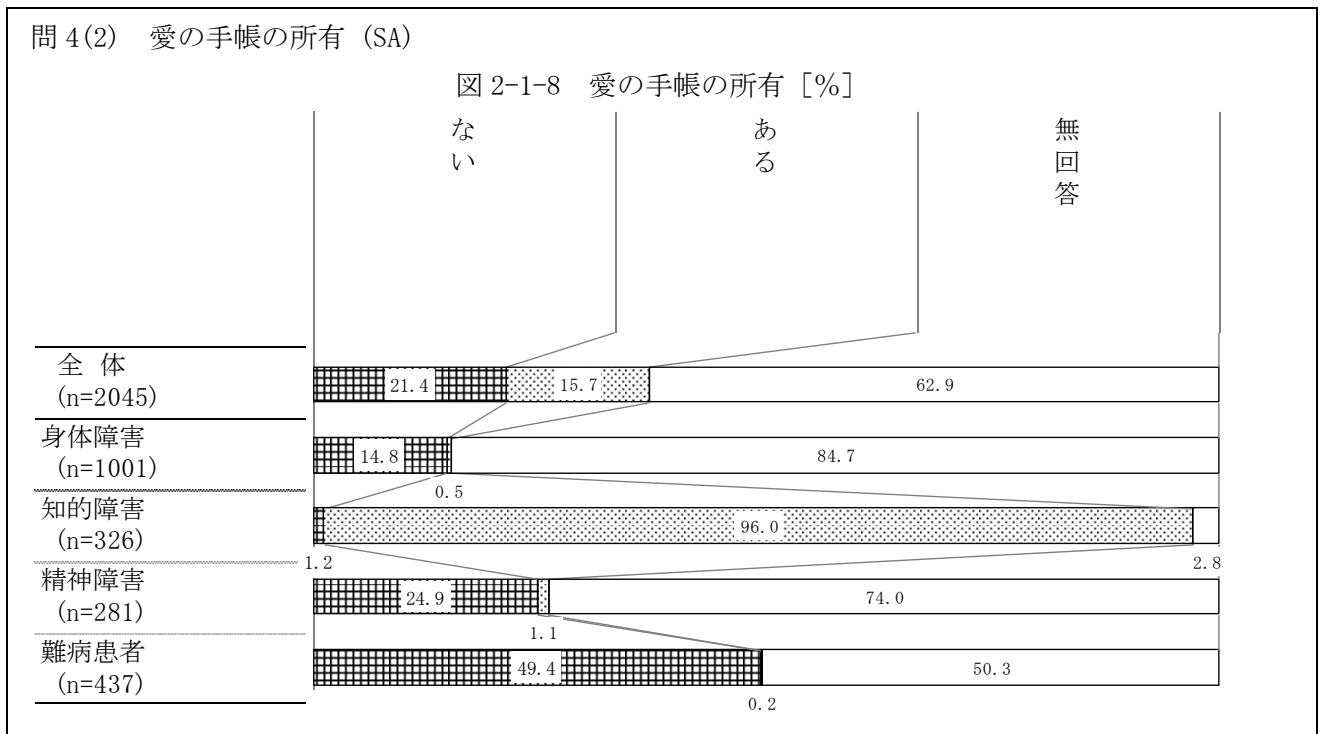
問 4-1(B) 身体障害者手帳の障害名 (MA)

図 2-1-7 身体障害者手帳の障害名 [%]



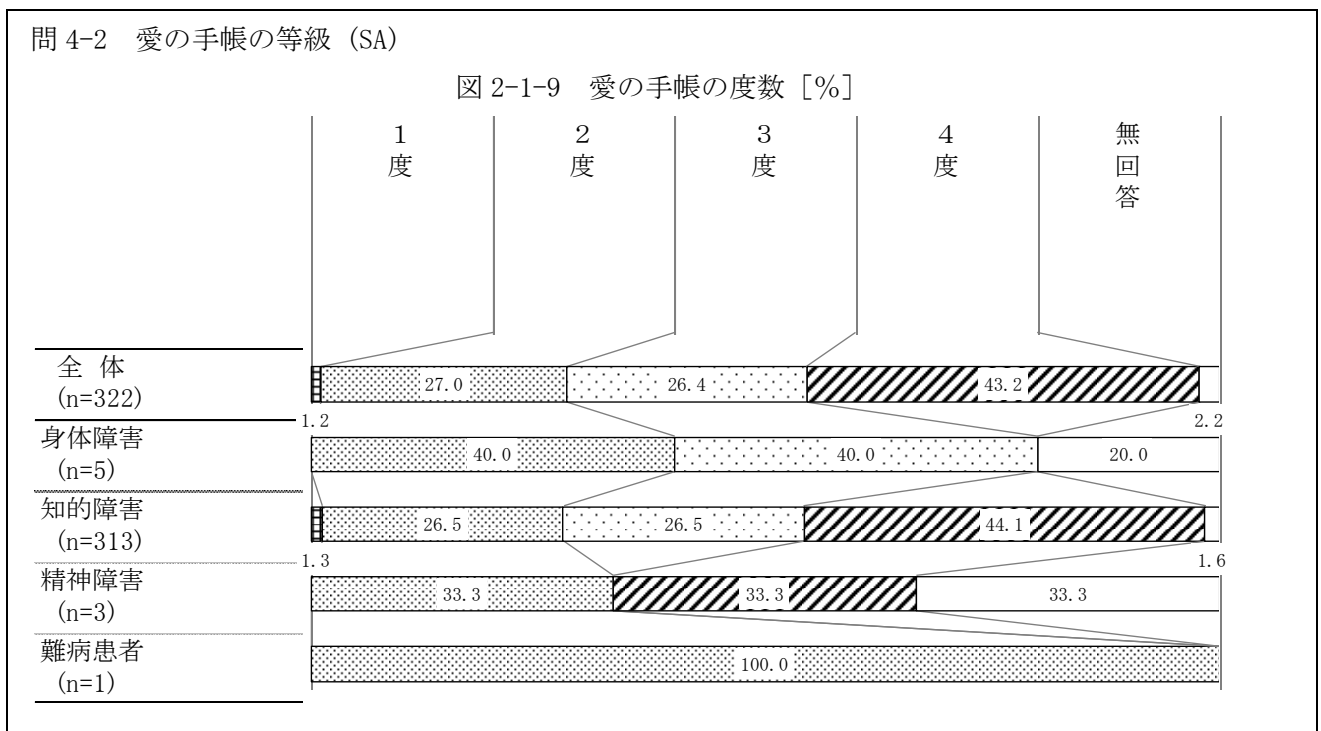
問 4 12月1日現在、あなたは次の手帳などをお持ちですか。(愛の手帳)

対象者が愛の手帳を所有しているか尋ねたところ、<全体>では「ある」が15.7%で「ない」は21.4%となった。<知的障害>は「ある」が96.0%となったが、<身体障害><精神障害><難病患者>ではそれぞれ0.5%と1.1%と0.2%にとどまり、「ない」がそれぞれ14.8%と24.9%と49.4%となった。



問 4-2 あなたが持っている愛の手帳の度数はどれですか。

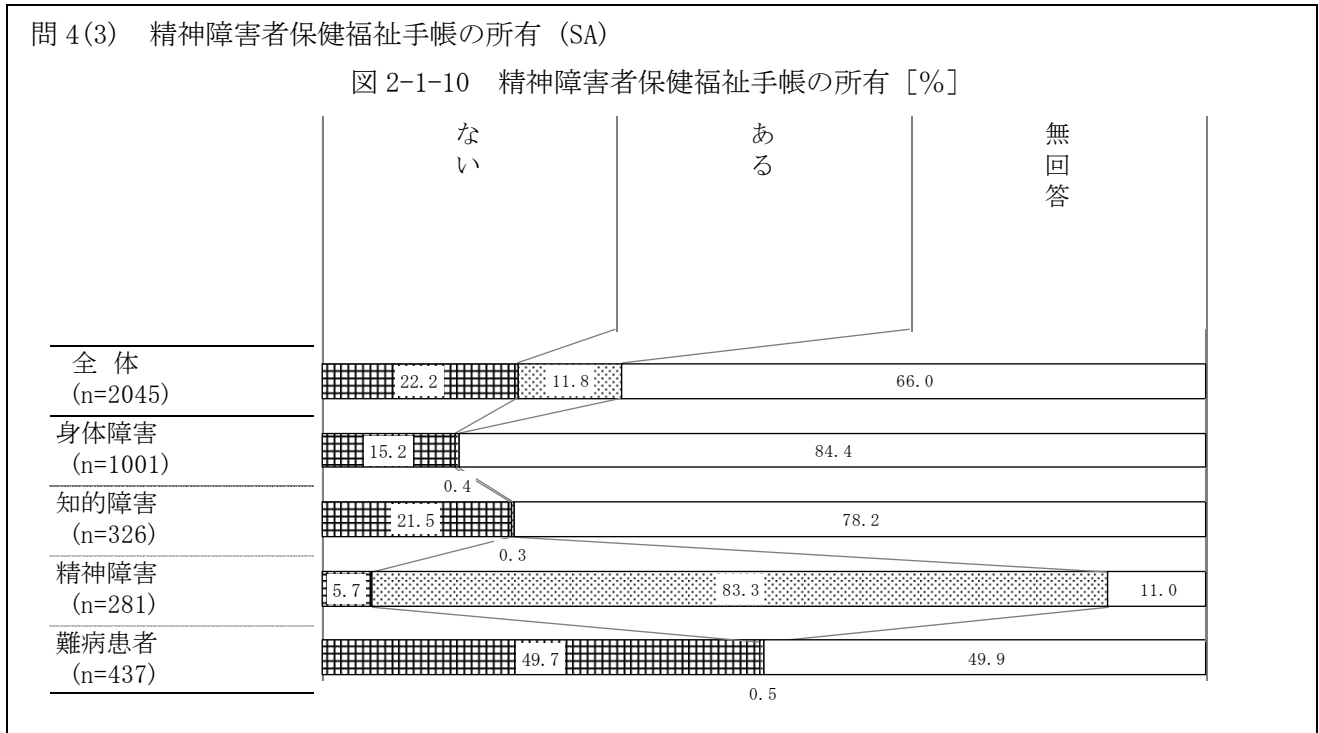
愛の手帳所有者にその度数を尋ねたところ、<全体>では「4度」が43.2%で最も多く、「2度」が27.0%でこれに次いだ。「3度」は26.4%で「1度」は1.2%となった。<知的障害>でも「4度」が44.1%で最も多く、「2度」と「3度」が26.5%でこれに次いだ。



II 調査結果

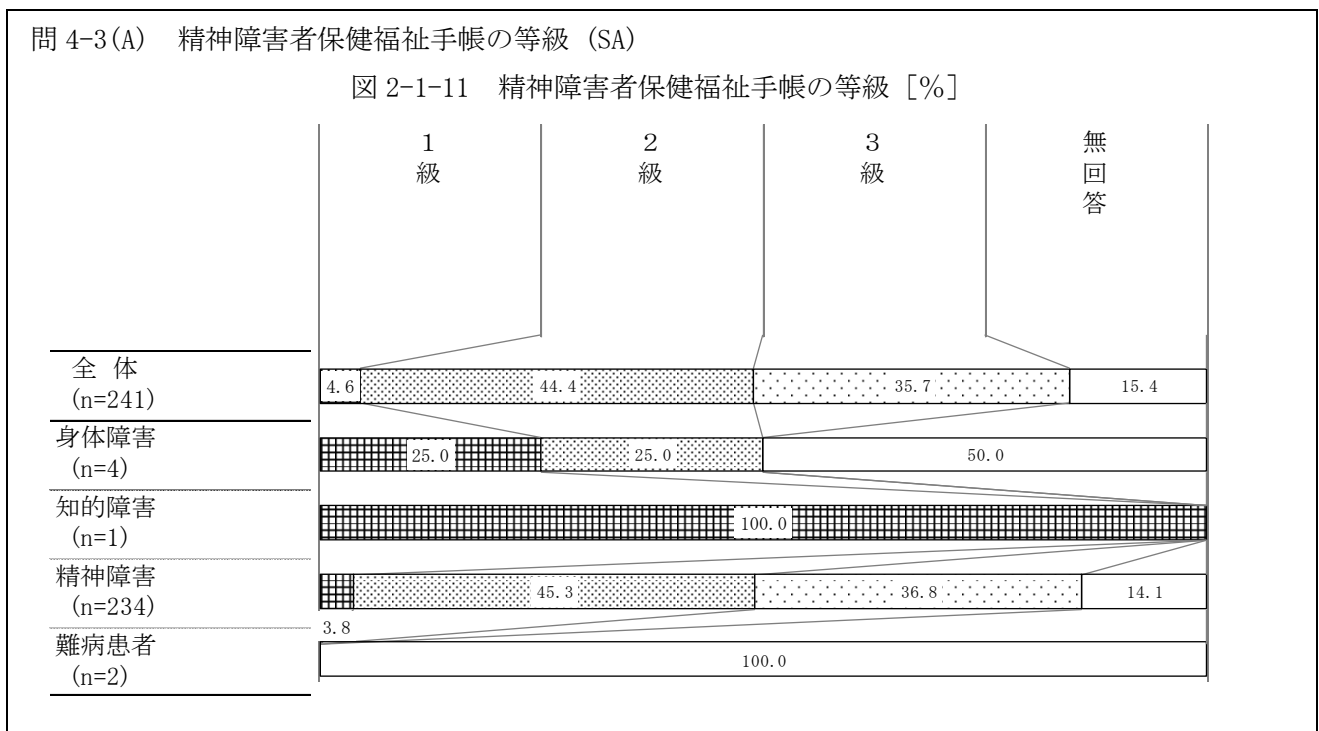
問 4 12月1日現在、あなたは次の手帳などをお持ちですか。(精神障害者福祉手帳)

対象者が精神障害者保健福祉手帳を所有しているか尋ねたところ、<全体>では「ある」が11.8%で「ない」は22.2%となった。<精神障害>は「ある」が83.3%となったが、<身体障害><知的障害><難病患者>ではそれぞれ0.4%と0.3%と0.5%にとどまり、「ない」がそれぞれ15.2%と21.5%と49.7%となった。



問 4-3 あなたが持っている精神障害者保健福祉手帳の等級はどれですか。

精神障害者保健福祉手帳所有者にその等級を尋ねたところ、<全体>では「2級」が44.4%で最も多く、「3級」が35.7%でこれに次いだ。<精神障害者>でも「2級」が45.3%で最も多く、「3級」が36.8%でこれに次いだ。

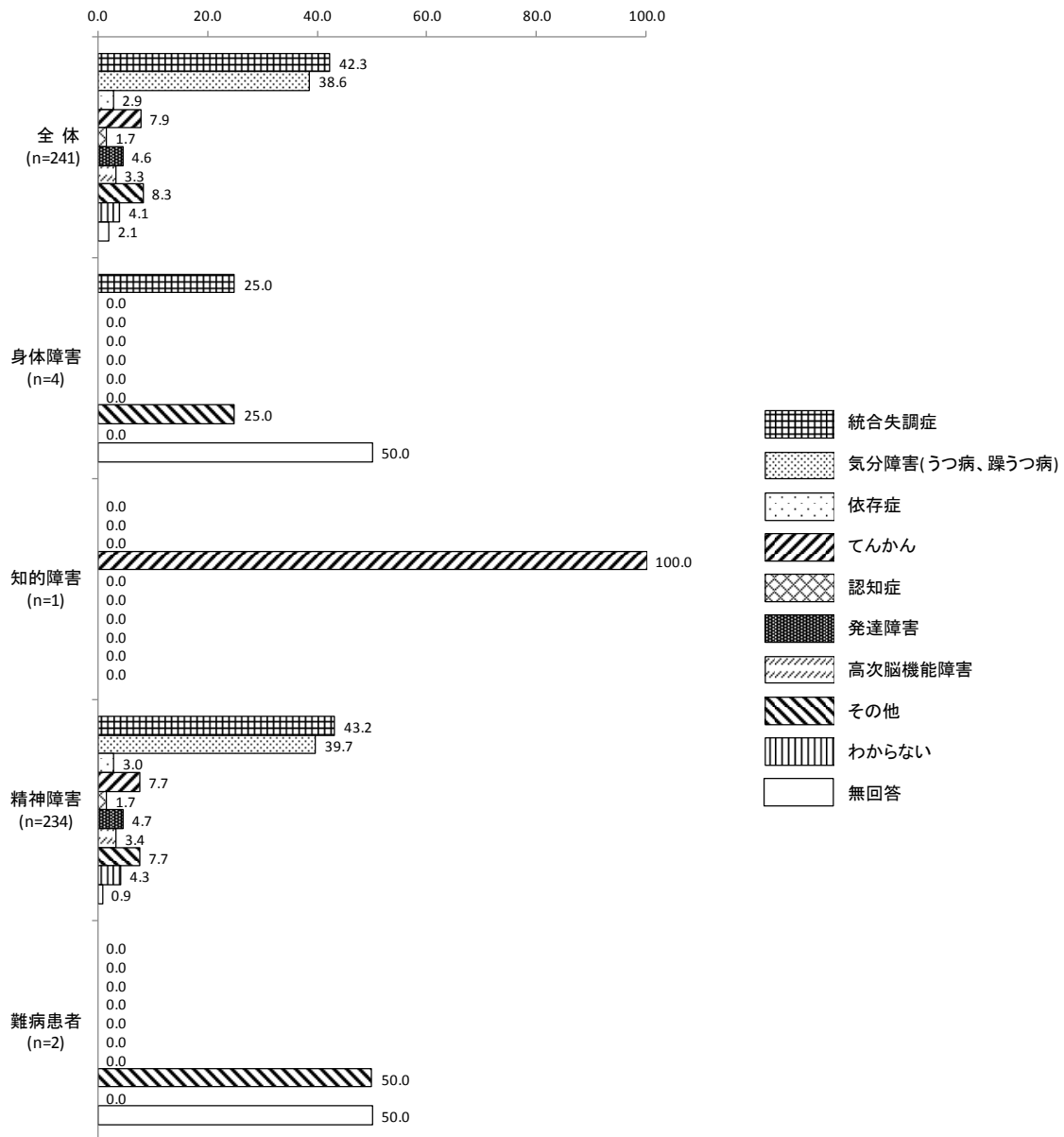


問 4-3 あなたが持っている精神障害者保健福祉手帳に記されている疾病名はどれですか。

精神障害者保健福祉手帳所有者にその疾病名を尋ねたところ、＜全体＞では「総合失調症」が42.3%で最も多く、「気分障害」が38.6%でこれに次いでいる。＜精神障害者＞でも同様に「総合失調症」が43.2%で最も多く、「気分障害」が39.7%でこれに次いでいる。

問 4-3(B) 精神障害者保健福祉手帳の疾病名 (MA)

図 2-1-12 精神障害者保健福祉手帳の疾病名 [%]



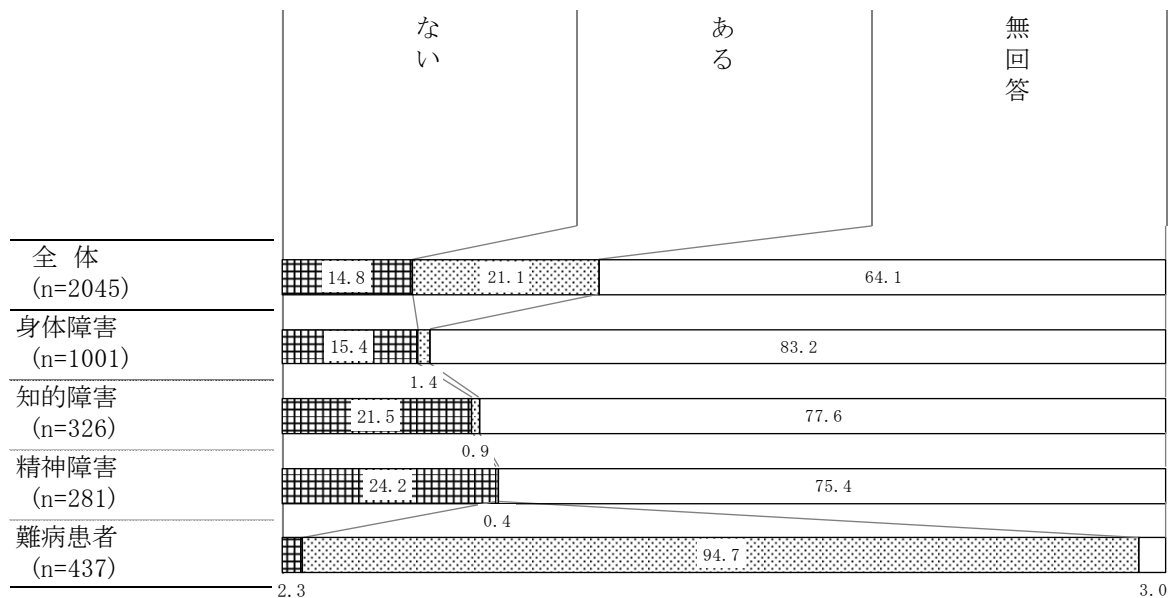
II 調査結果

問4 12月1日現在、あなたは次の手帳などをお持ちですか。(都医療券(難病医療費助成))

対象者が都医療券(難病医療費助成)を所有しているか尋ねたところ、<全体>では「ある」が21.1%で「ない」は14.8%となった。<難病患者>は「ある」が94.7%となったが、<身体障害><知的障害><精神障害>ではそれぞれ1.4%と0.9%と0.4%にとどまり、「ない」がそれぞれ15.4%と21.5%と24.2%となった。

問4(4) 都医療券(難病医療費助成)の所有(SA)

図2-1-13 都医療券(難病医療費助成)の所有 [%]

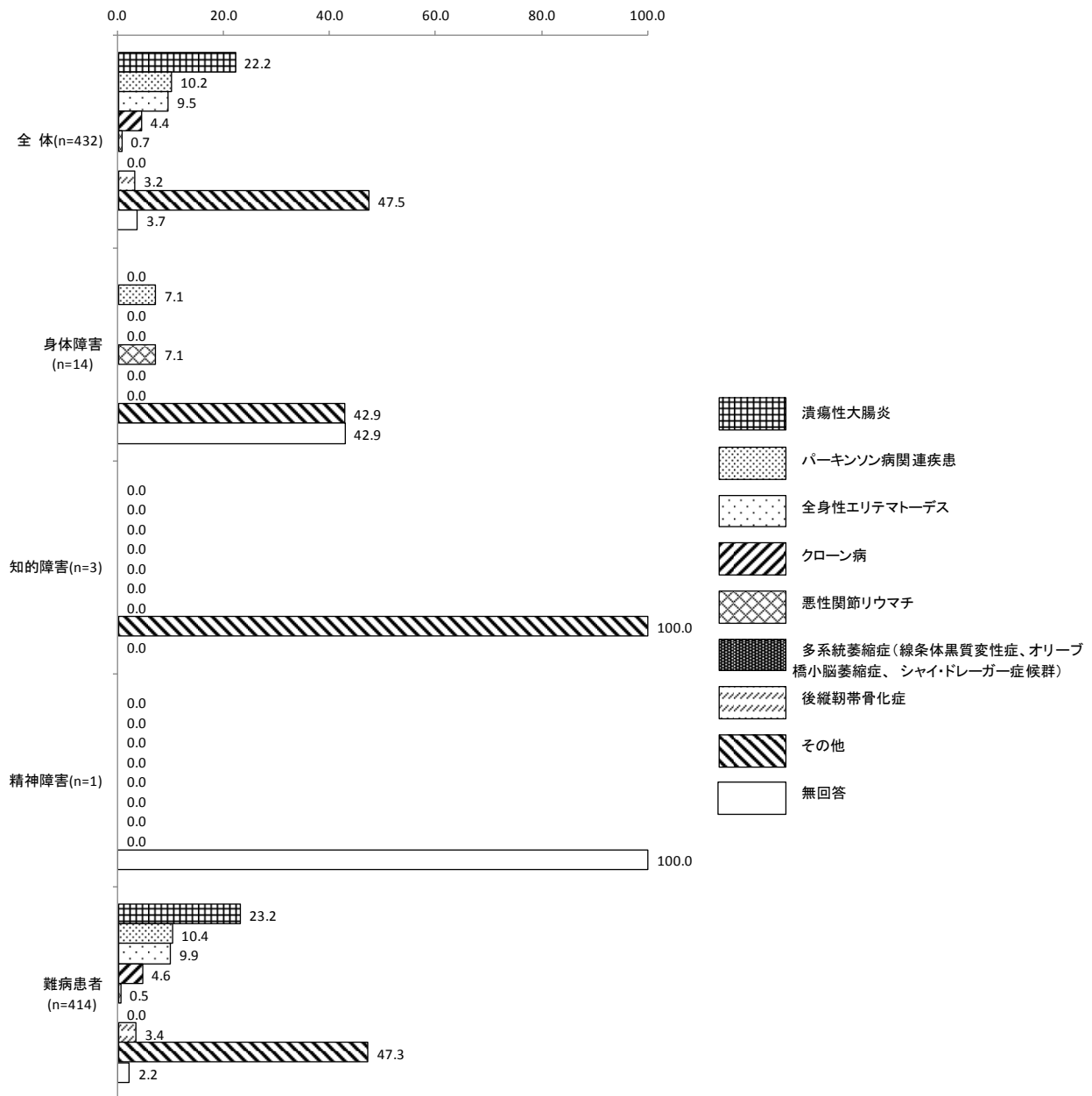


問 4-4 あなたが持っている都 医療券（難病医療費助成）に記されている疾病名はどれですか。

都医療券（難病医療費助成）所有者にその疾病名を尋ねたところ、＜全体＞では「潰瘍性大腸炎」が22.2%で最も多く、「パーキンソン病関連疾患」が10.2%でこれに次いだ。＜難病患者＞でも「潰瘍性大腸炎」が23.2%で最も多く、「パーキンソン病関連疾患」が10.4%で、「全身性エリテマトーデス」が9.9%でこれに次いだ。

問 4-4 都医療券（難病医療費助成）の疾病名（MA）

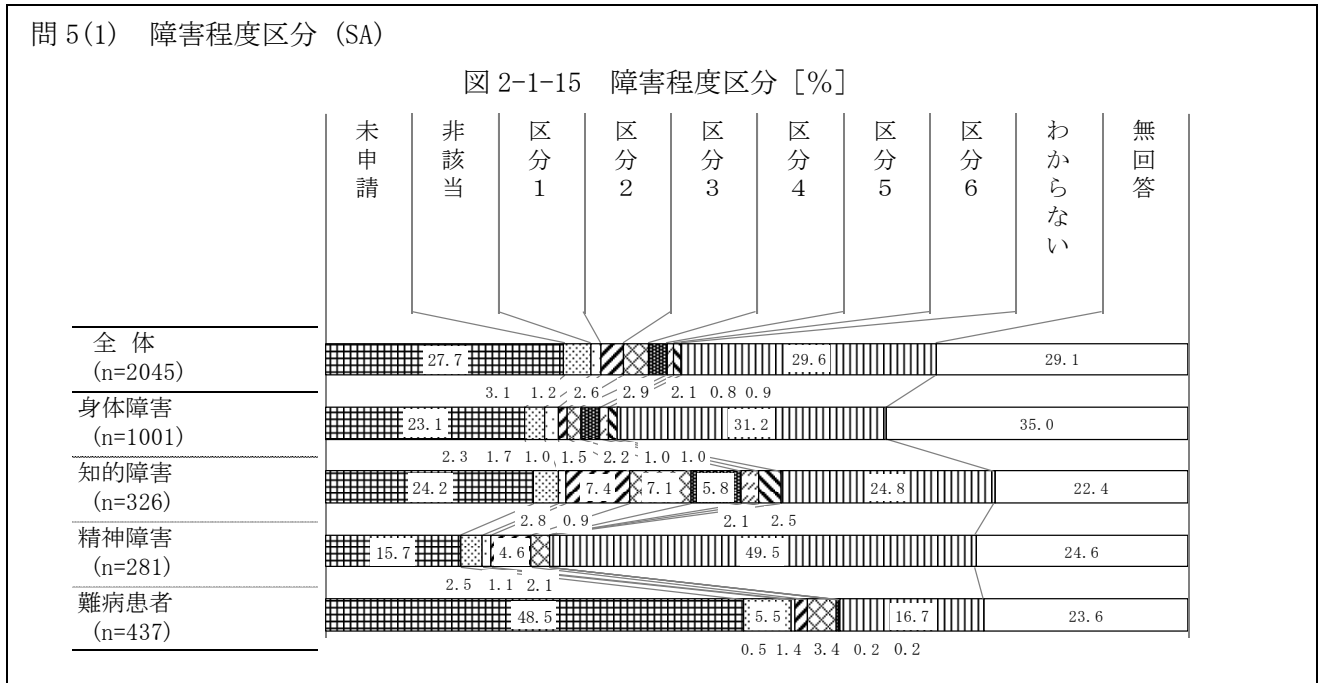
図 2-1-14 都医療券（難病医療費助成）の疾病名 [%]



II 調査結果

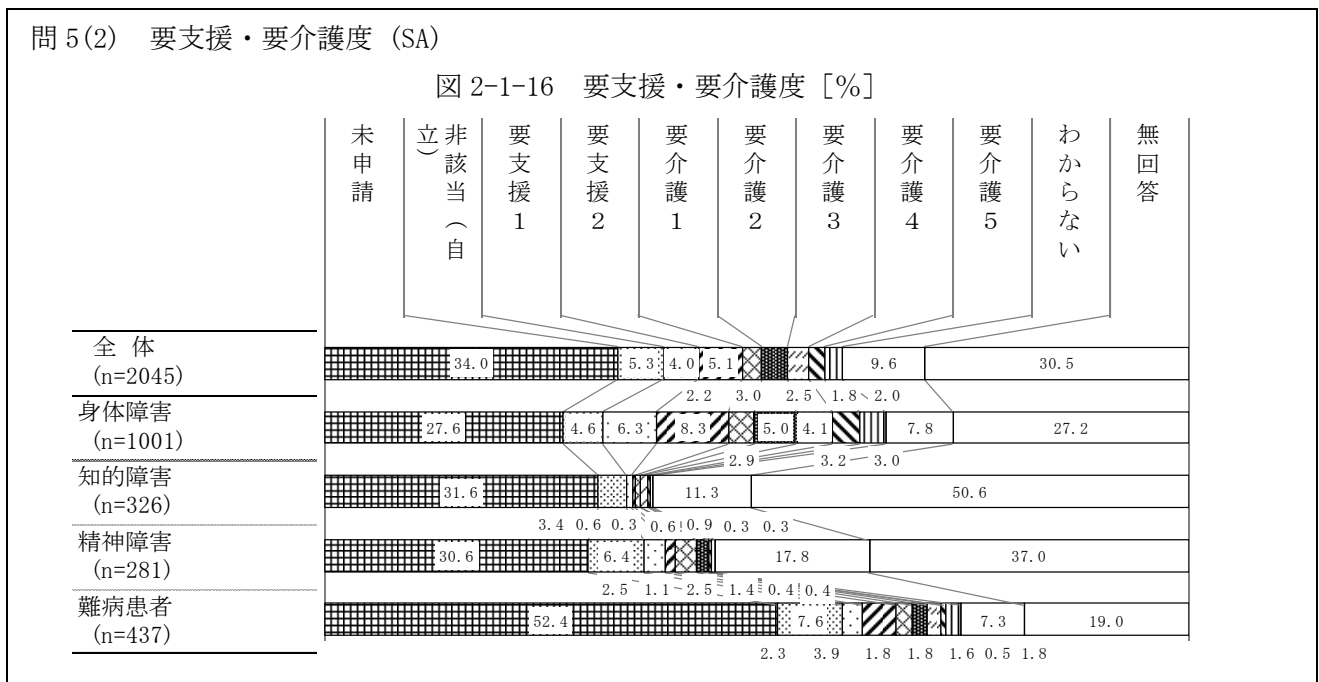
問 5 (1) あなたの障害程度区分はどれですか。

対象者に障害程度区分について尋ねたところ、＜全体＞では「未申請」の27.7%と「非該当」の3.1%を除くと「区分3」の2.9%が最も多い。該当のみに注視すると＜身体障害＞では「区分4」が2.2%で、＜知的障害＞では「区分2」が7.4%で、＜精神障害＞でも「区分2」が4.6%で、＜難病患者＞では「区分3」が3.4%で最も多かった。



問 5 (2) あなたは介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。

対象者に要支援・要介護度について尋ねたところ、＜全体＞では「未申請」の34.0%と「非該当」の5.3%を除くと「要支援2」の5.1%が最も多い。該当のみに注視すると＜身体障害＞では「要支援2」が8.3%で、＜知的障害＞では「要介護3」が0.9%で、＜精神障害＞でも「要支援1」と「要介護1」が2.5%で、＜難病患者＞では「要支援2」が3.9%で最も多かった。

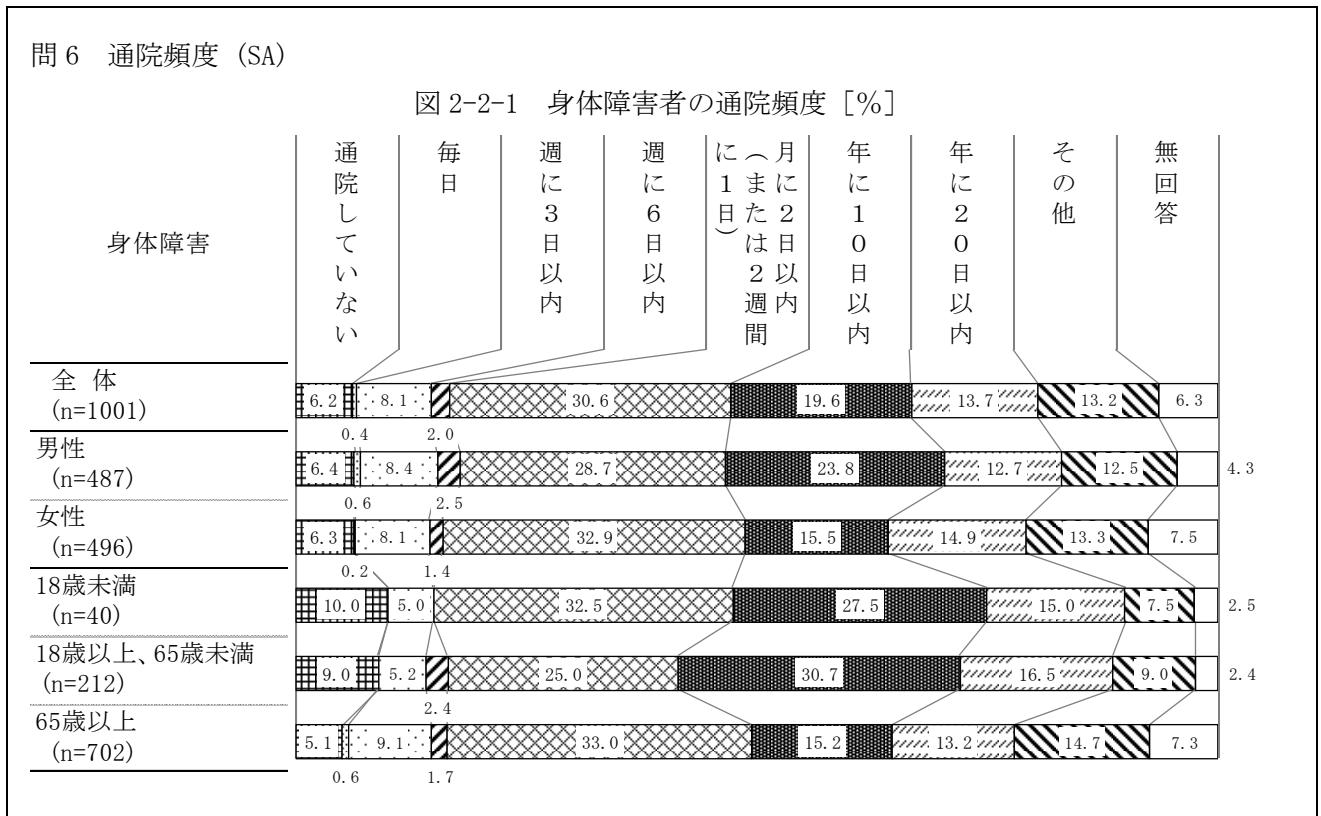


2. 通院・入院状況

2-1 身体障害者の通院・入院状況について

問6 あなたは最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）。（あてはまる番号1つに○）

対象者に入院を除く通院頻度について尋ねたところ、＜全体＞では「月に2日以内（または2週間に1日）」が30.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「月に2日以内（または2週間に1日）」が28.7%と32.9%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳未満＞＜65歳以上＞では「月に2日以内（または2週間に1日）」が32.5%と33.0%で多い。



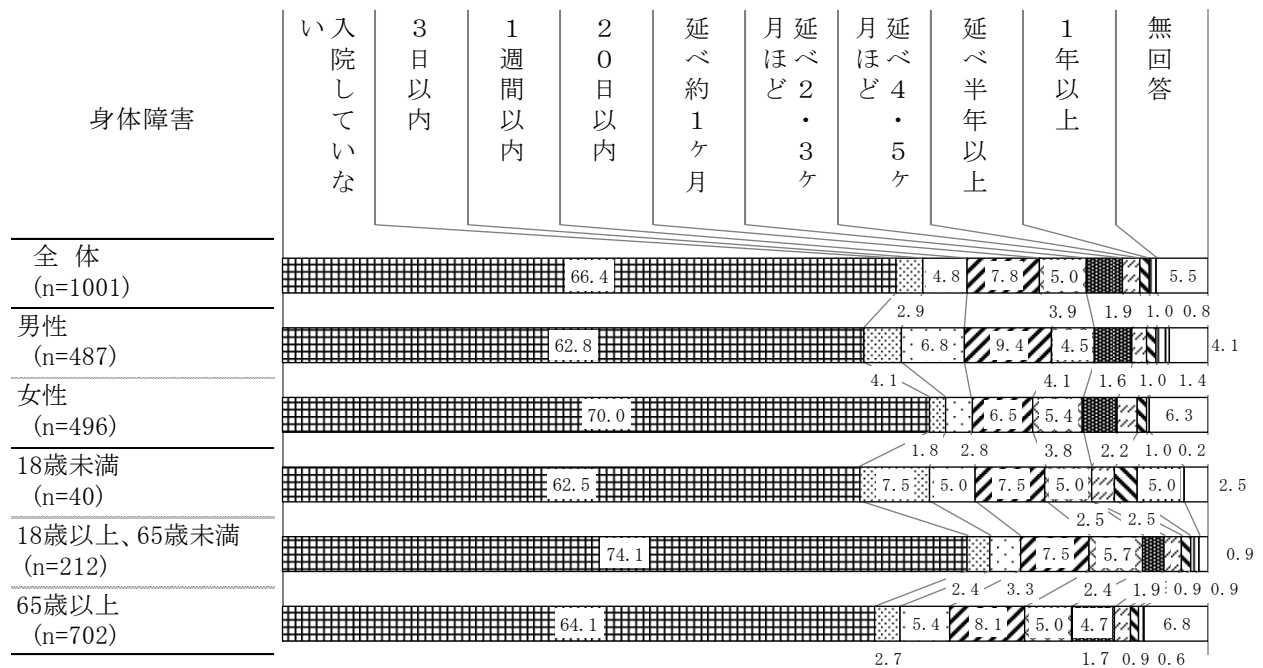
II 調査結果

問7 あなたは最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか。

対象者に直近1年間の入院期間について尋ねたところ、＜全体＞では「入院していない」が66.4%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「入院していない」が62.8%と70.0%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「入院していない」が74.1%と64.1%で多い。

問7 入院期間 (SA)

図 2-2-2 身体障害者の入院期間 [%]

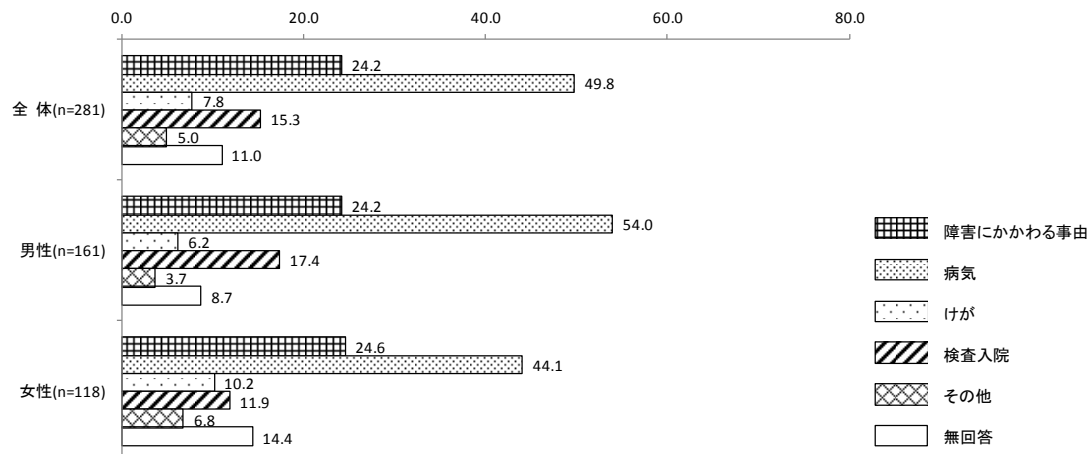


問 7-1 入院した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

入院した対象者にその理由を尋ねたところ、全体では「病気」が49.8%と最も多かった。性別では＜男性＞は「病気」が54.0%で、＜女性＞も「病気」が44.1%と最も多かった。

問 7-1 入院理由 (MA) 【全体・性別】

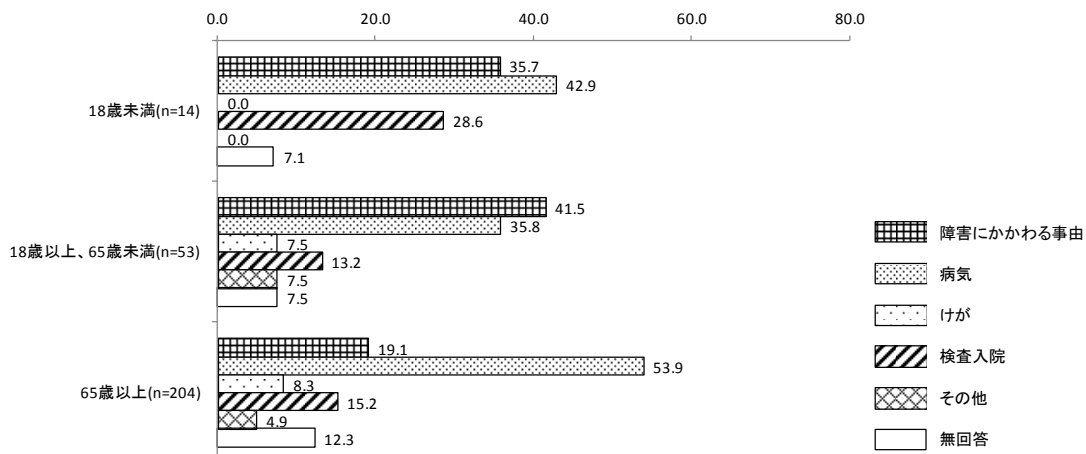
図 2-2-3-1 身体障害者の入院理由 [%]



年齢別に見ると、＜18歳未満＞では「病気」が42.9%、＜65歳以上＞では「病気」が53.9%と多いが、＜18歳以上、65歳未満＞では「障害にかかわる事由」が41.5%で最も多かった。

問 7-1 入院理由 (MA) 【年齢別】

図 2-2-3-2 身体障害者の入院理由 [%]

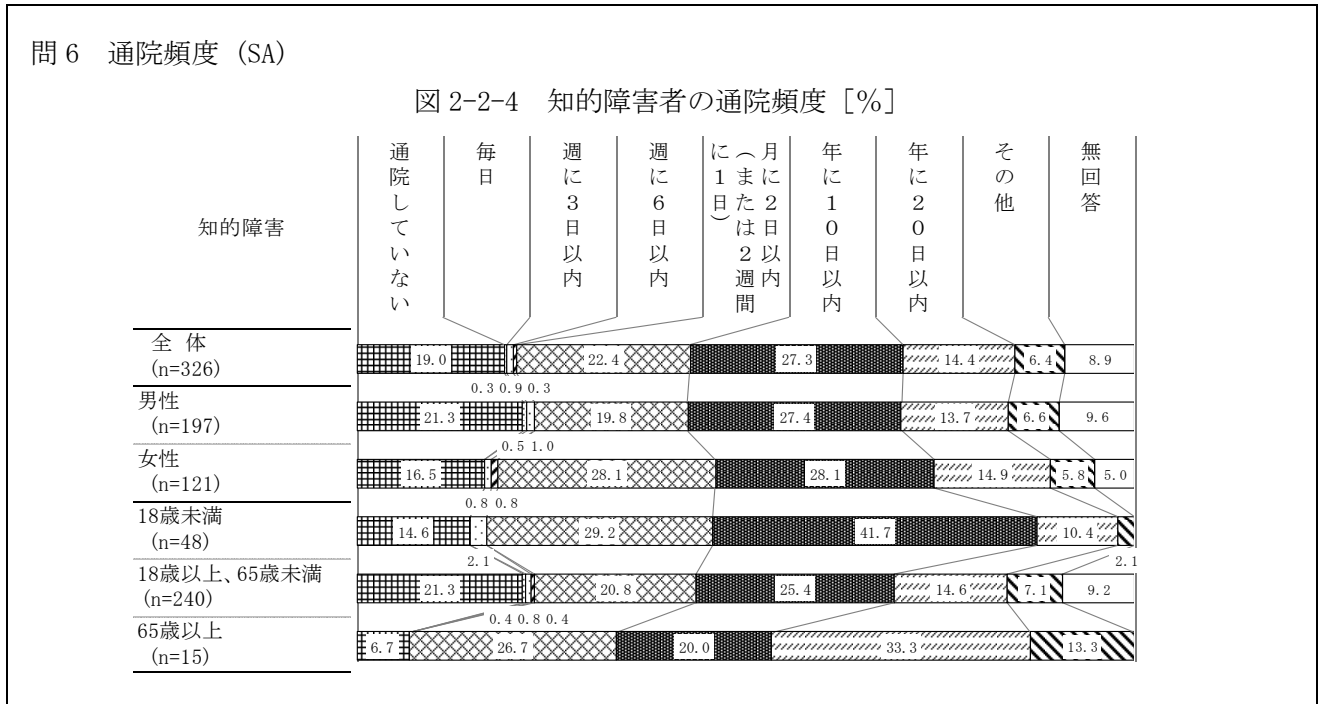


II 調査結果

2-2 知的障害者の通院・入院状況について

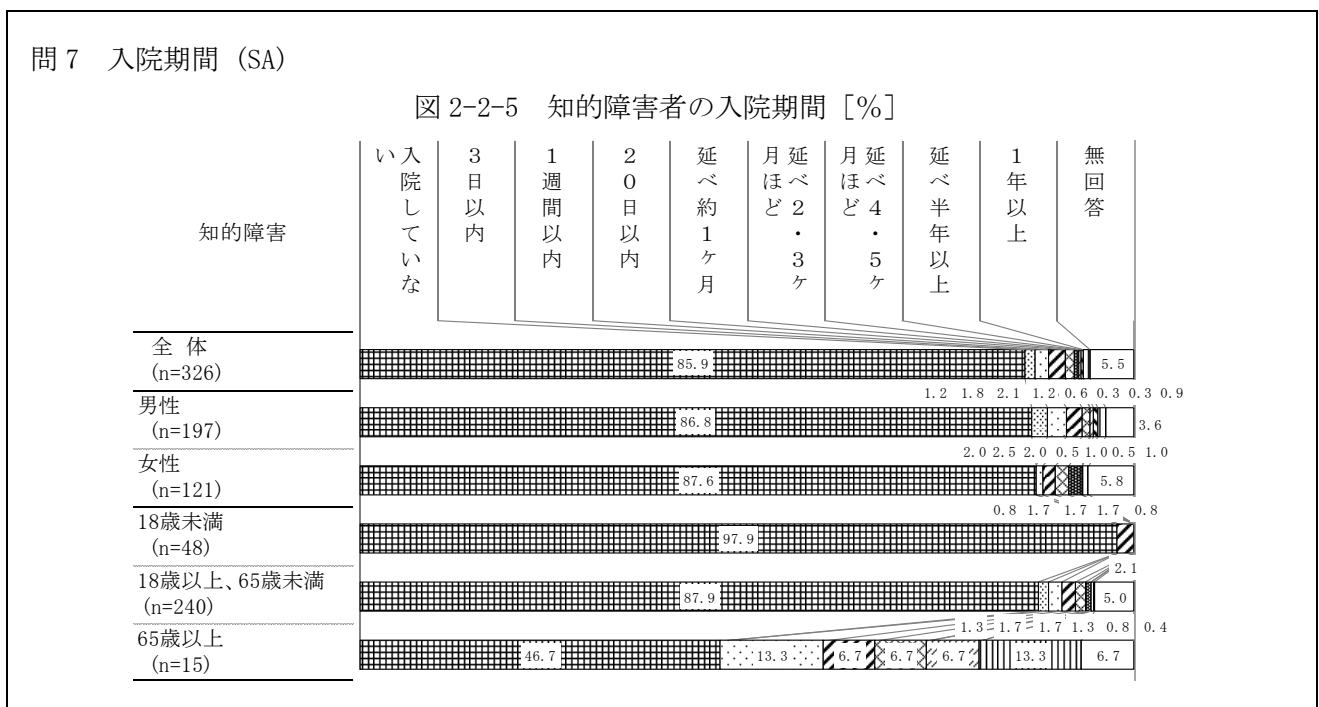
問6 あなたは最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）。（あてはまる番号1つに○）

対象者に入院を除く通院頻度について尋ねたところ、＜全体＞では「年に10日以内」が27.3%で最も多かった。性別では＜男性＞で「年に10日以内」が27.4%、＜女性＞で「年に10日以内」「月に2日以内（または2週間に1日）」が28.1%で多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「年に10日以内」が25.4%、＜18歳未満＞では「年に10日以内」が41.7%で最も多い。



問7 あなたは最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか。

対象者に直近1年間の入院期間について尋ねたところ、＜全体＞では「入院していない」が85.9%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「入院していない」が86.8%と87.6%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳未満＞＜18歳以上65歳未満＞では「入院していない」が97.9%と87.9%で多い。

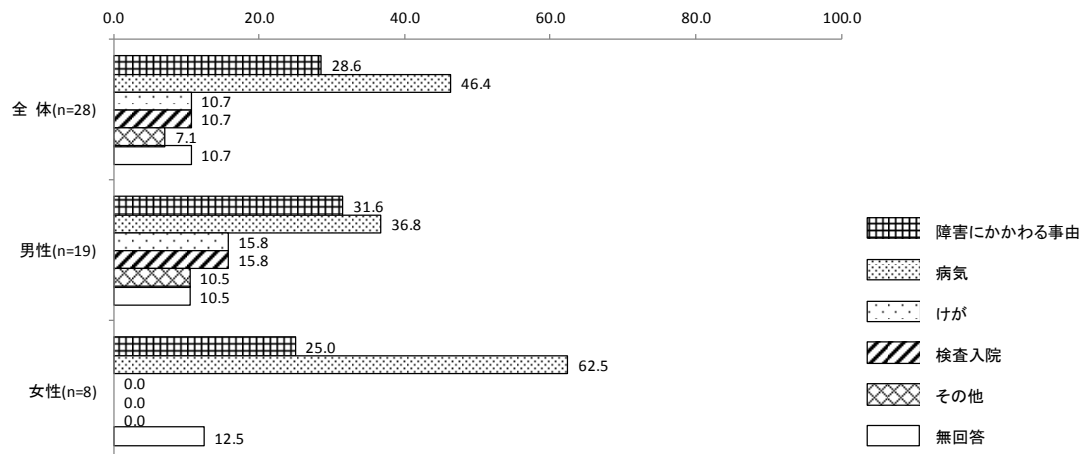


問 7-1 入院した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

入院した対象者にその理由を尋ねたところ、全体では、「病気」が 46.4%と最も多かった。性別では、＜男性＞は「病気」が 36.8%と比較的多く、＜女性＞は「病気」が 62.5%と最も多かった。

問 7-1 入院理由 (MA) 【全体・性別】

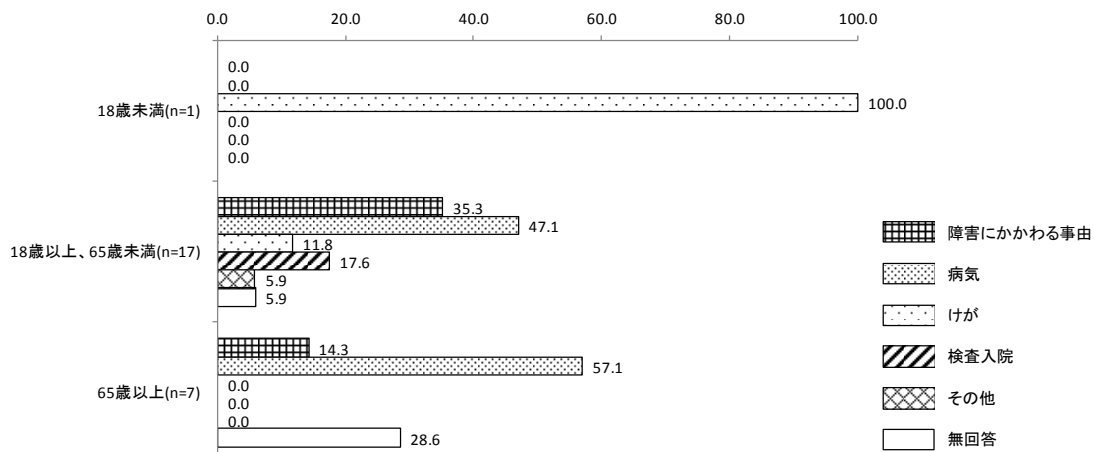
図 2-2-6-1 知的障害者の入院理由 [%]



年齢別では、＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞では、「病気」がそれぞれ 47.1%、57.1%と多く、＜18歳未満＞では「けが」が 100.0%となっている。

問 7-1 入院理由 (MA) 【年齢別】

図 2-2-6-2 知的障害者の入院理由 [%]

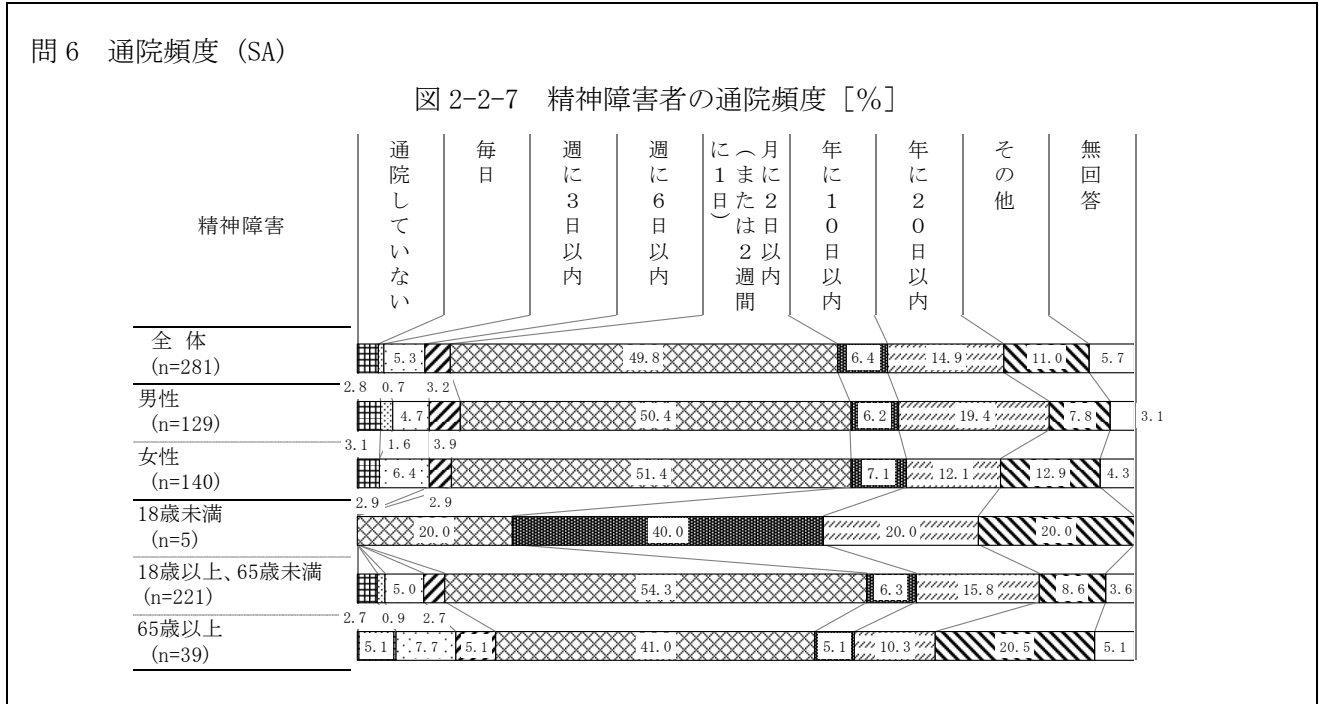


II 調査結果

2-3 精神障害者の通院・入院状況について

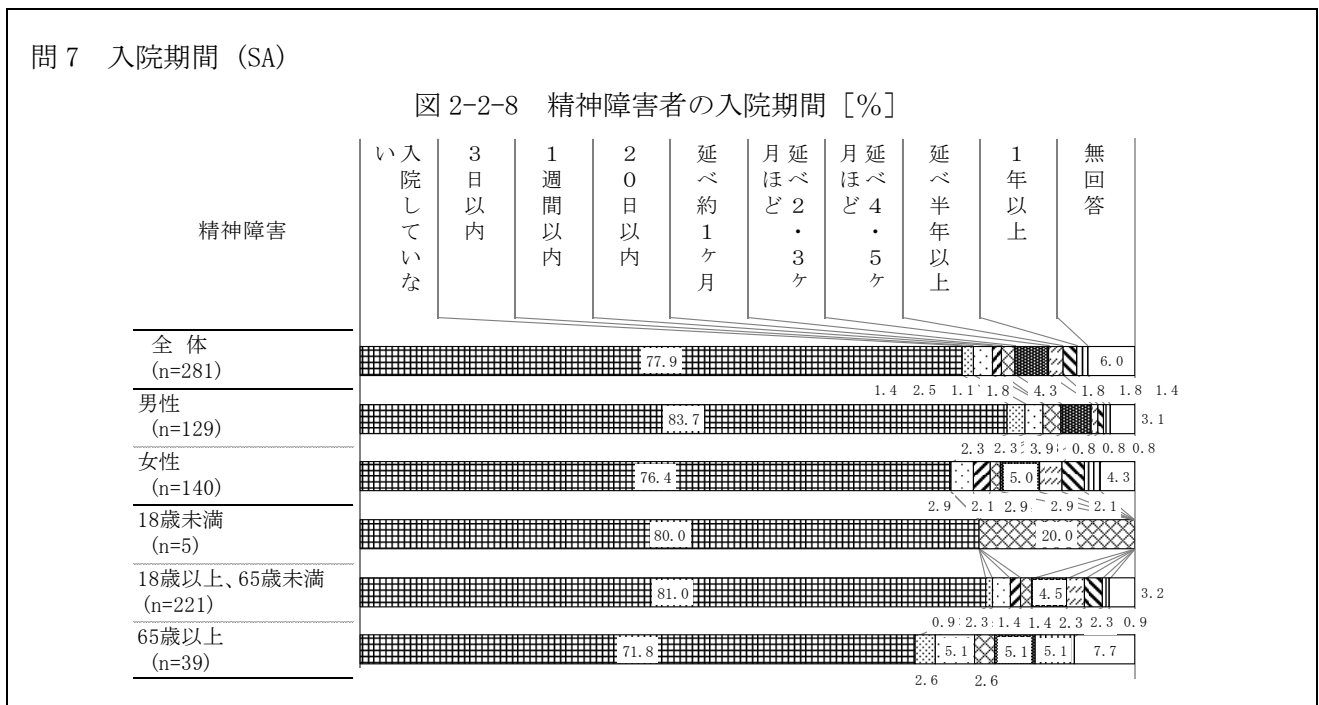
問6 あなたは最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）。（あてはまる番号1つに○）

対象者に入院を除く通院頻度について尋ねたところ、＜全体＞では「月に2日以内（または2週間に1日）」が49.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「月に2日以内（または2週間に1日）」が50.4%と51.4%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「月に2日以内（または2週間に1日）」が54.3%と41.0%が多い。



問7 あなたは最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか。

対象者に直近1年間の入院期間について尋ねたところ、＜全体＞では「入院していない」が77.9%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「入院していない」が83.7%と76.4%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「入院していない」が81.0%と71.8%が多い。

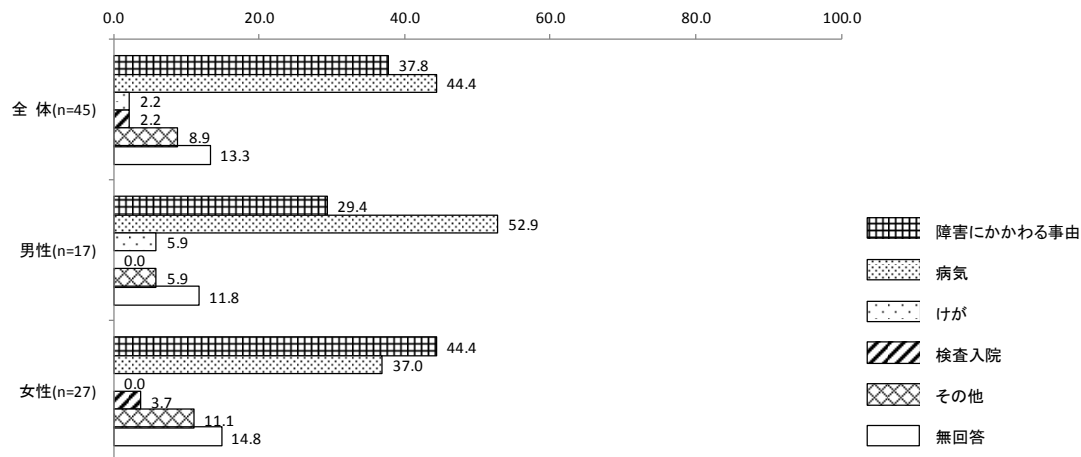


問 7-1 入院した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

入院した対象者にその理由を尋ねたところ、全体では「病気」が44.4%と最も多かった。性別では、＜男性＞は「病気」が52.9%と最も多く、＜女性＞では「障害にかかわる事由」が44.4%で比較的多かった。

問 7-1 入院理由 (MA) 【全体・性別】

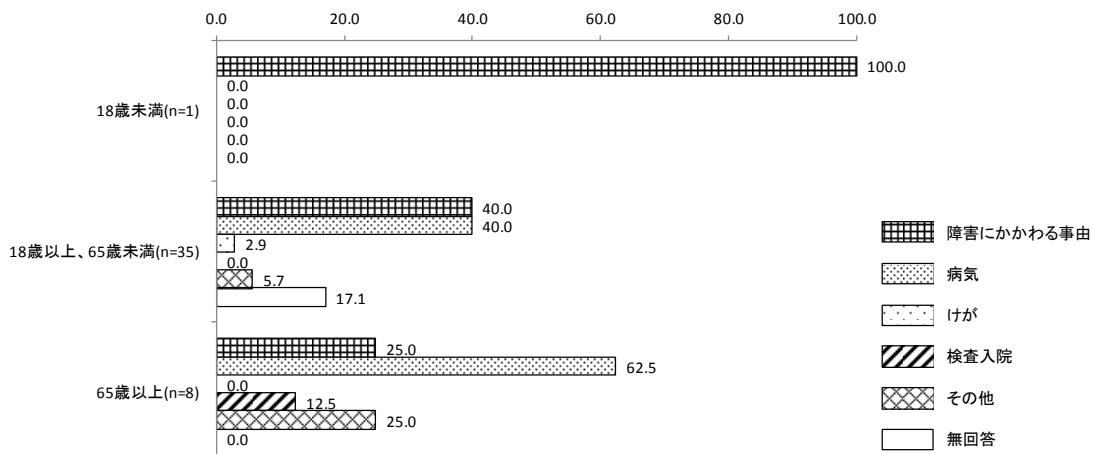
図 2-2-9-1 精神障害者の入院理由 [%]



年齢別では、＜18歳以上、65歳未満＞では「障害にかかわる事由」「病気」が40.0%、＜65歳以上＞では「病気」が62.5%と多かった。

問 7-1 入院理由 (MA) 【年齢別】

図 2-2-9-2 精神障害者の入院理由 [%]

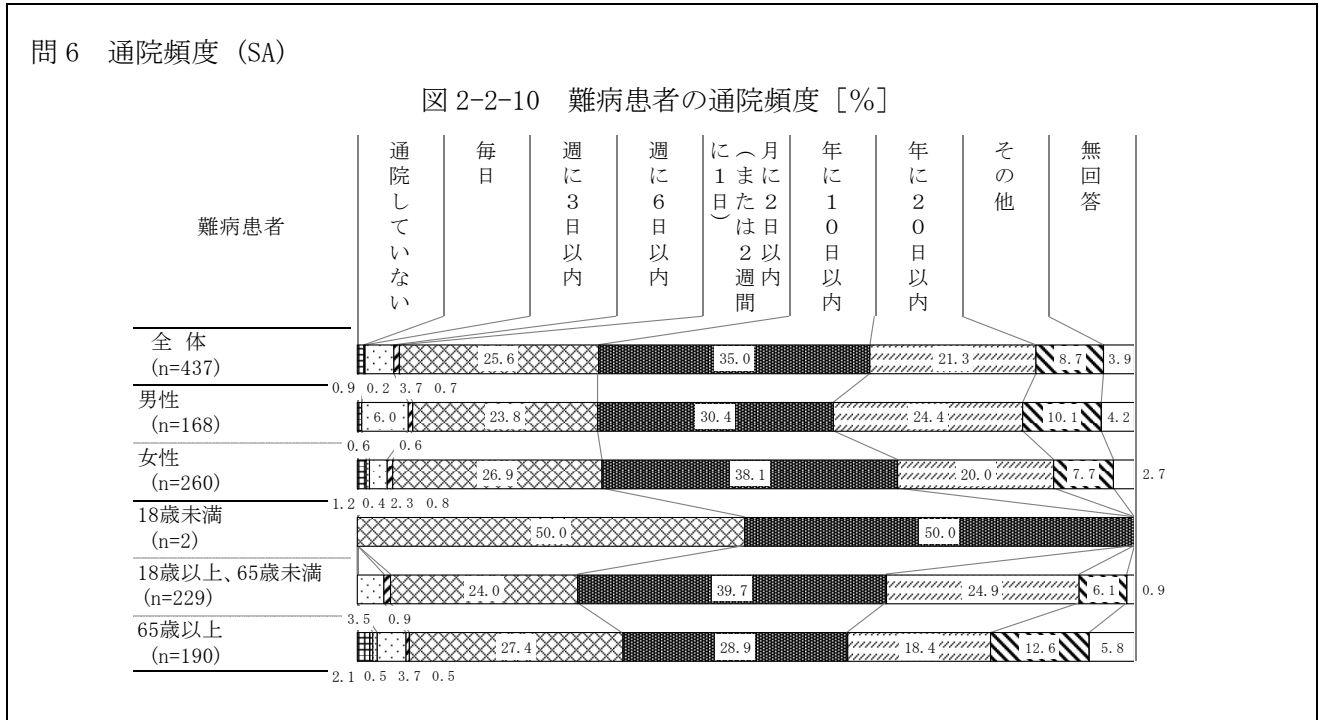


II 調査結果

2-4 難病患者の通院・入院状況について

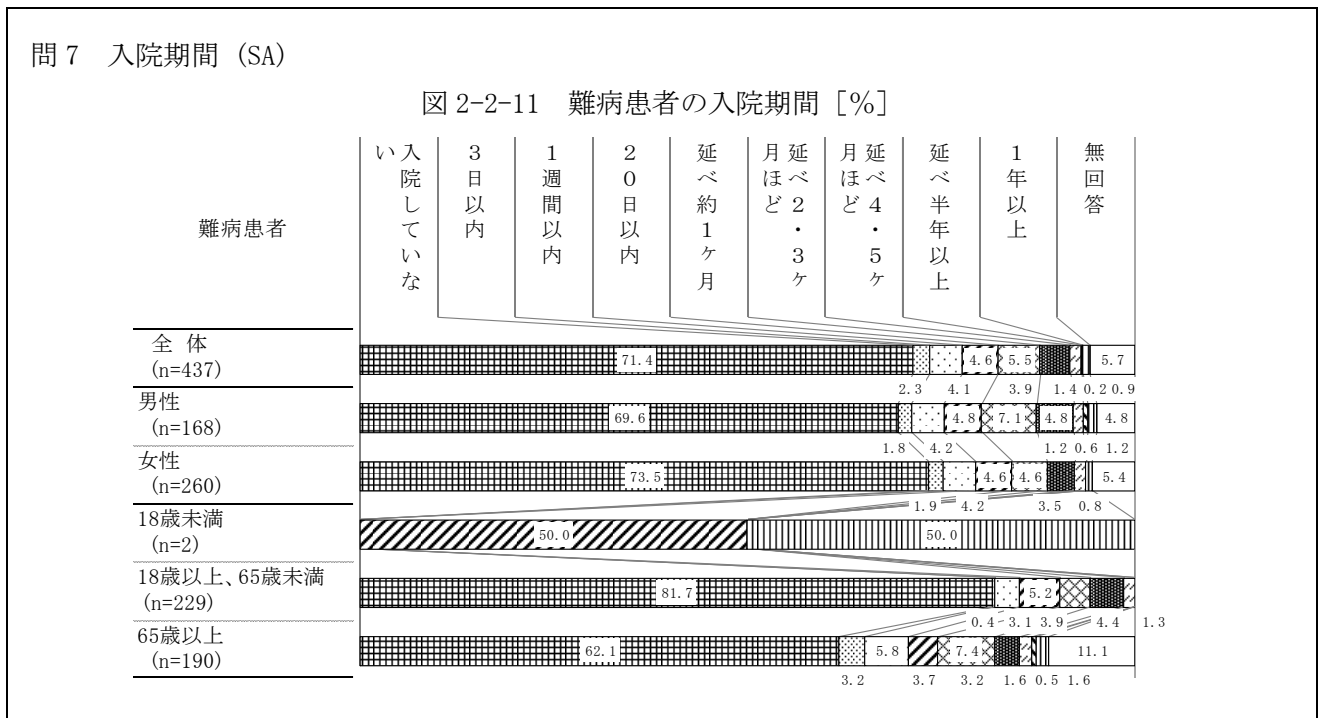
問6 あなたは最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）。（あてはまる番号1つに○）

対象者に入院を除く通院頻度について尋ねたところ、＜全体＞では「年に10日以内」が35.0%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「年に10日以内」が30.4%と38.1%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「年に10日以内」が39.7%と28.9%が多い。



問7 あなたは最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか。

対象者に直近1年間の入院期間について尋ねたところ、＜全体＞では「入院していない」が71.4%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「入院していない」が69.6%と73.5%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「入院していない」が81.7%と62.1%が多い。

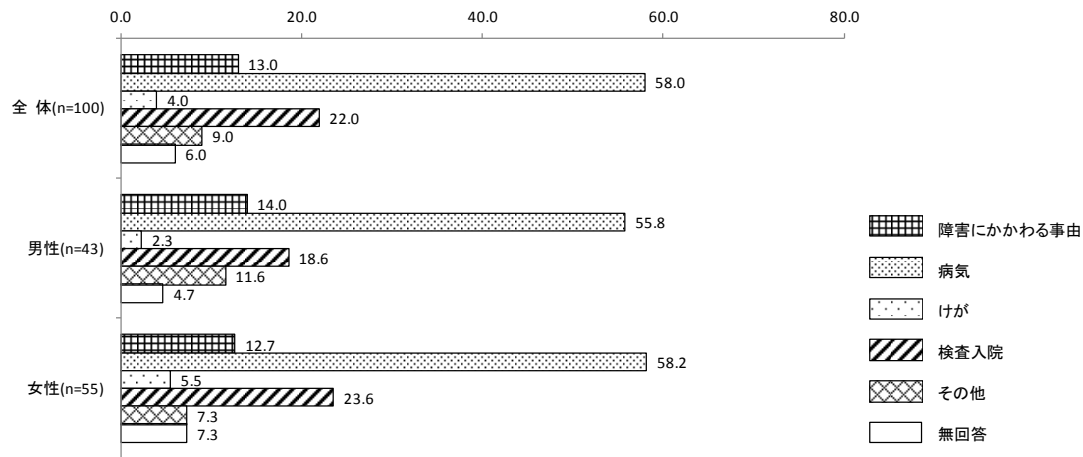


問 7-1 入院した理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

入院した対象者にその理由を尋ねたところ、全体では「病気」が58.0%と最も多かった。性別では、＜男女＞共に、「病気」が男性55.8%、女性58.2%と最も多かった。

問 7-1 入院理由 (MA) 【全体・性別】

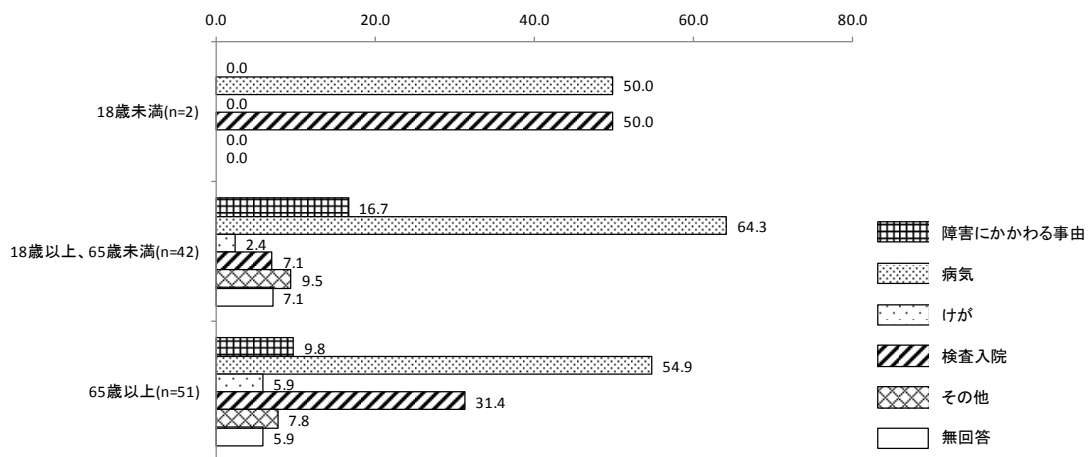
図 2-2-12-1 難病患者の入院理由 [%]



年齢別では、＜18歳未満＞は、「病気」「検査入院」が共に50.0%で多く、＜18歳以上、65歳未満＞、＜65歳以上＞は、「病気」がそれぞれ64.3%、54.9%と多くなっている。

問 7-1 入院理由 (MA) 【年齢別】

図 2-2-12-2 難病患者の入院理由 [%]



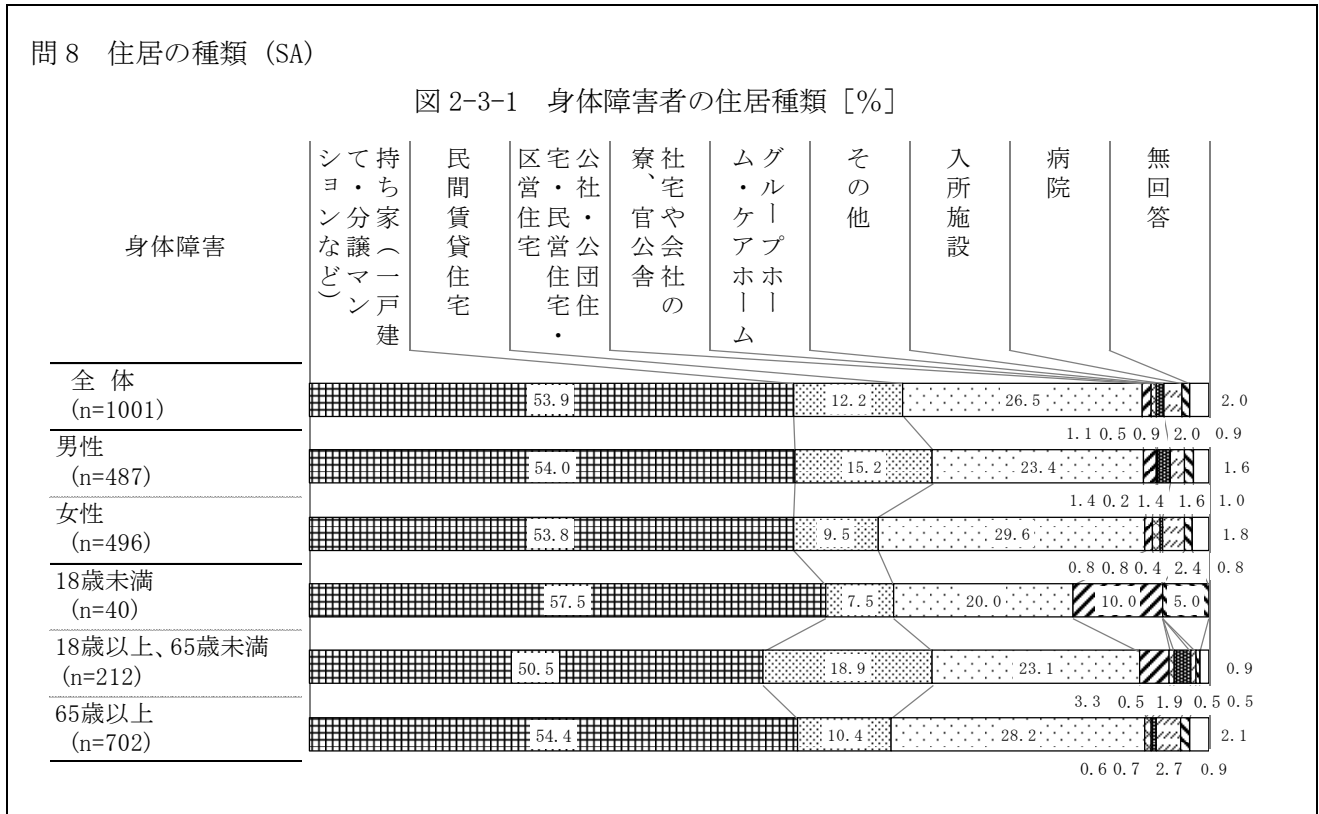
II 調査結果

3. 住居

3-1 身体障害者の住居について

問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に現在暮らしている住居の種類について尋ねたところ、＜全体＞では「持ち家(一戸建て・分譲マンションなど)」が53.9%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「持ち家(一戸建て・分譲マンションなど)」が54.0%と53.8%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「持ち家(一戸建て・分譲マンションなど)」が50.5%と54.4%で多い。

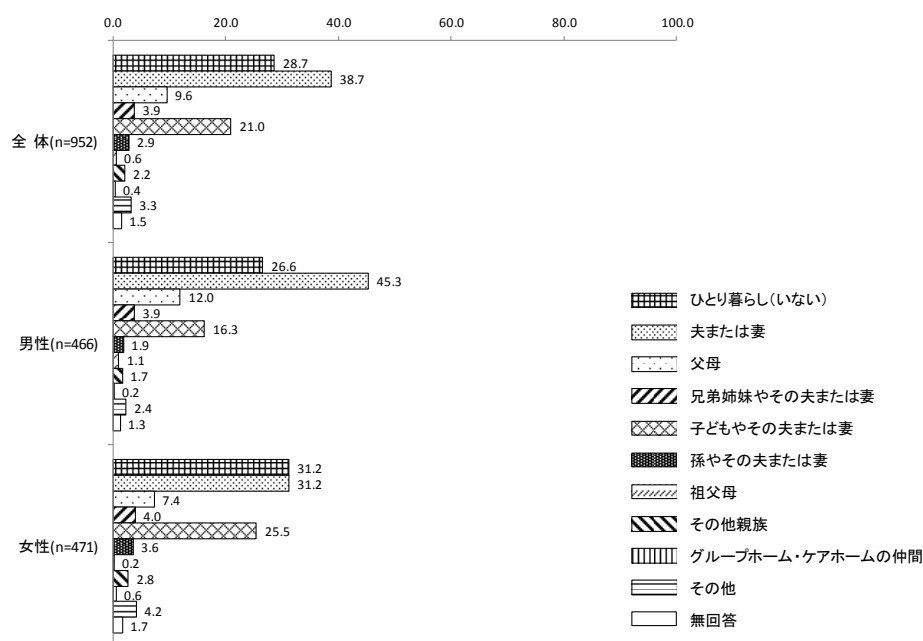


問 8-1 現在、どなたと暮らしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に現在同居しているのは誰か尋ねたところ、全体では「夫または妻」が38.7%と最も多かった。性別では、＜男性＞では「夫または妻」が45.3%で最も多く、＜女性＞では「ひとり暮らし(いない)」、「夫または妻」が共に31.2%と多かった。

問 8-1 同居人の係累 (MA) 【全体・性別】

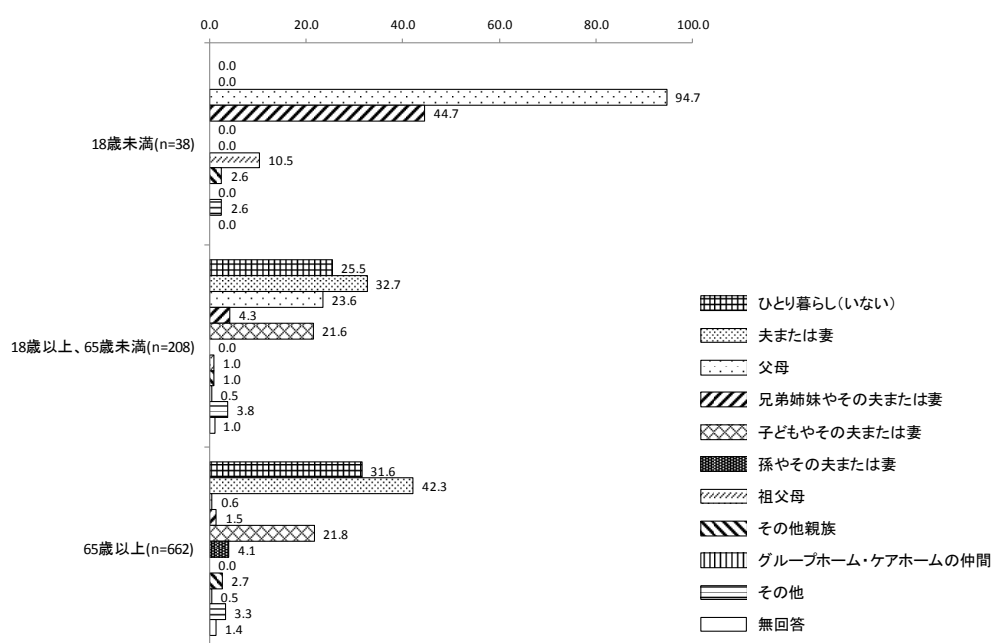
図 2-3-2-1 身体障害者の同居人係累 [%]



年齢別では、＜18歳未満＞では「父母」が94.7%と最も多く、＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞では「夫または妻」が32.7%と42.3%で最も多かった。

問 8-1 同居人の係累 (MA) 【年齢別】

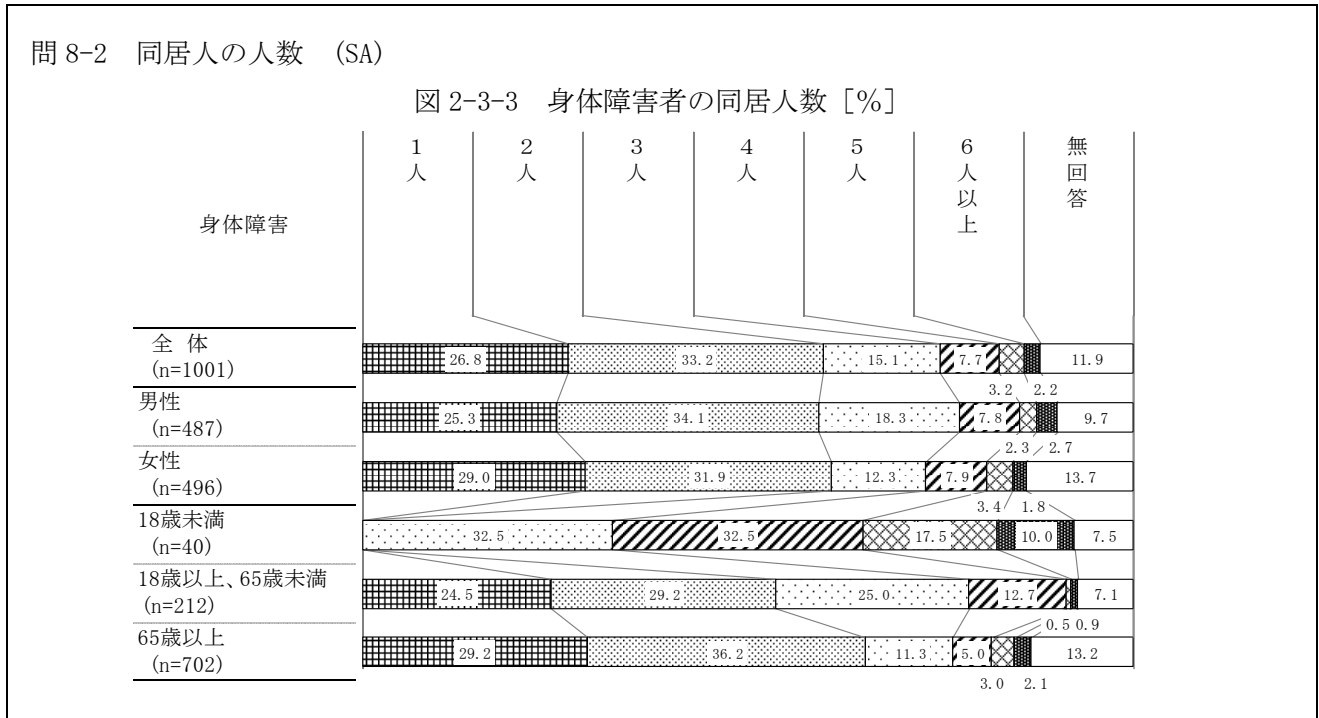
図 2-3-2-2 身体障害者の同居人係累 [%]



II 調査結果

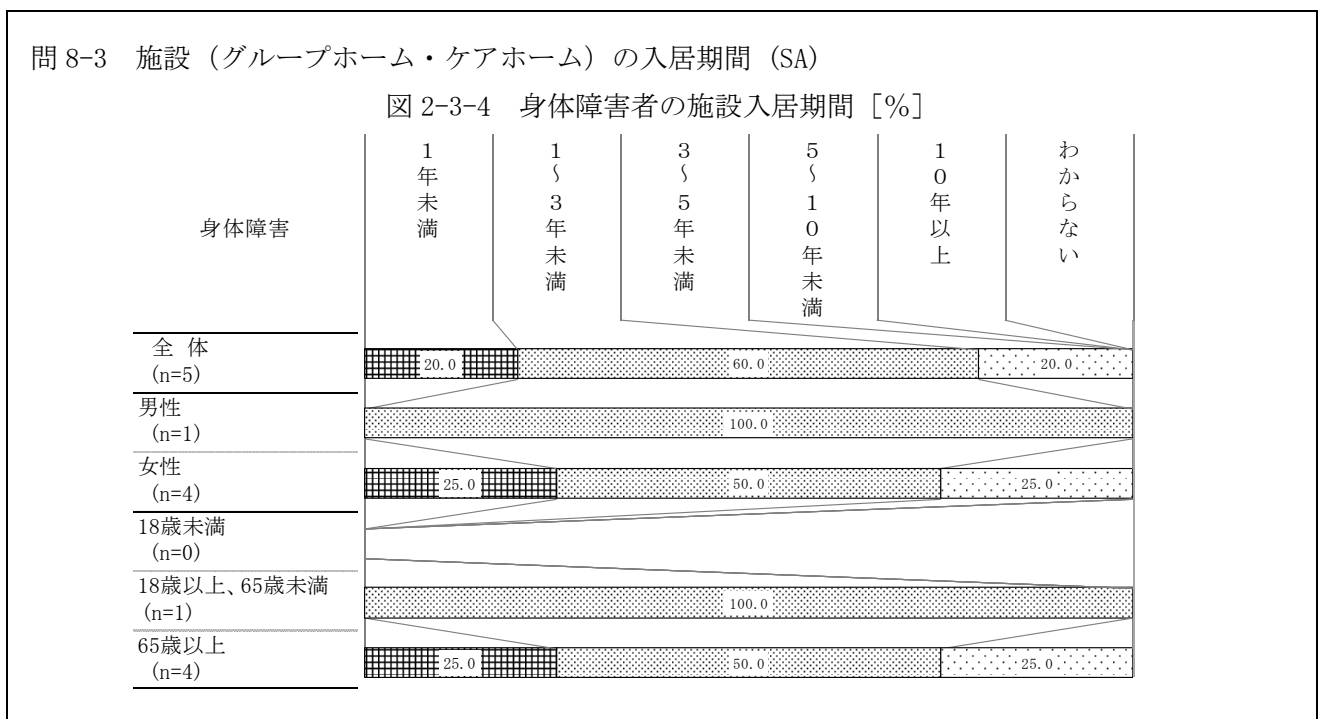
問 8-2 あなたの同居家族は、あなたを含めて何人ですか。

対象者に現在同居している人数を本人込みで尋ねたところ、＜全体＞では「2人」が33.2%で最も多く、「1人」が26.8%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「2人」が34.1%と31.9%で最も多かった。年齢別でも「2人」で＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞が29.2%と36.2%、＜18歳未満＞は「3人」「4人」が多かった。



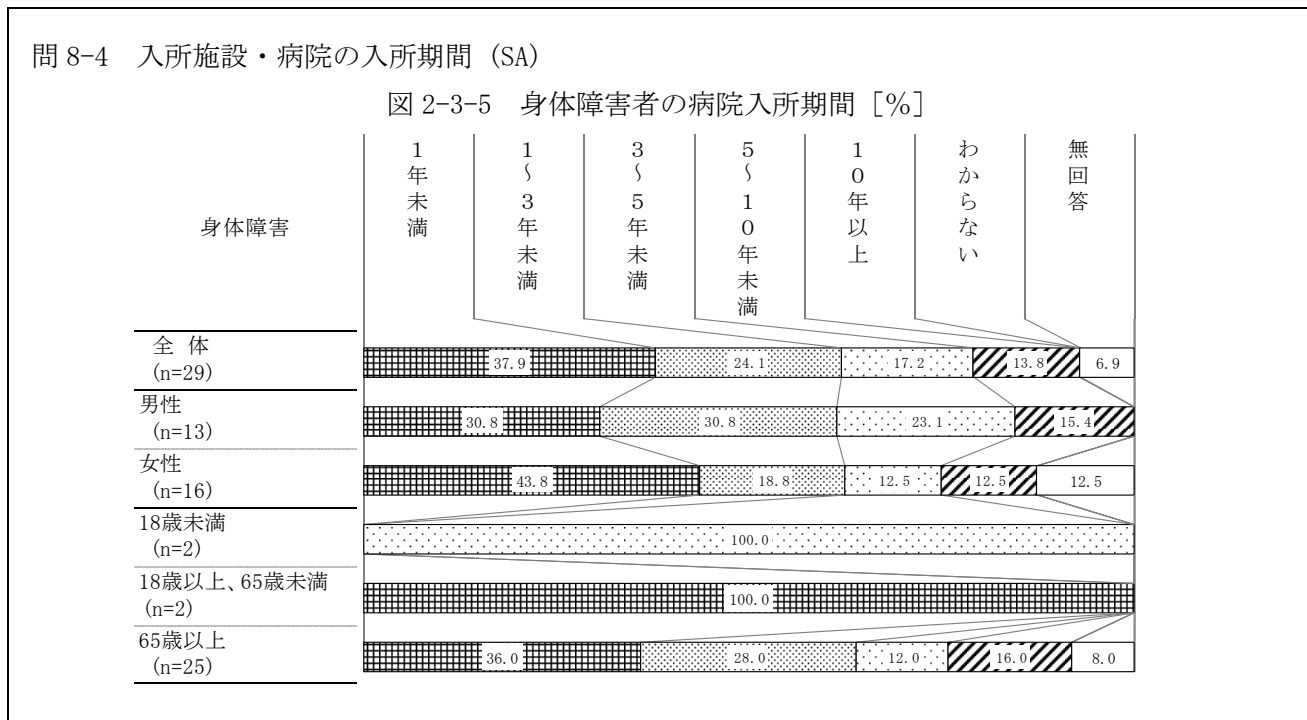
問 8-3 今の施設にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

施設（グループホーム・ケアホーム）入居者にその期間を尋ねたところ、＜全体＞では「1～3年未満」が60.0%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「1～3年未満」が100.0%と50.0%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上65歳未満＞＜65歳以上＞では「1～3年未満」が100.0%と50.0%が多い。



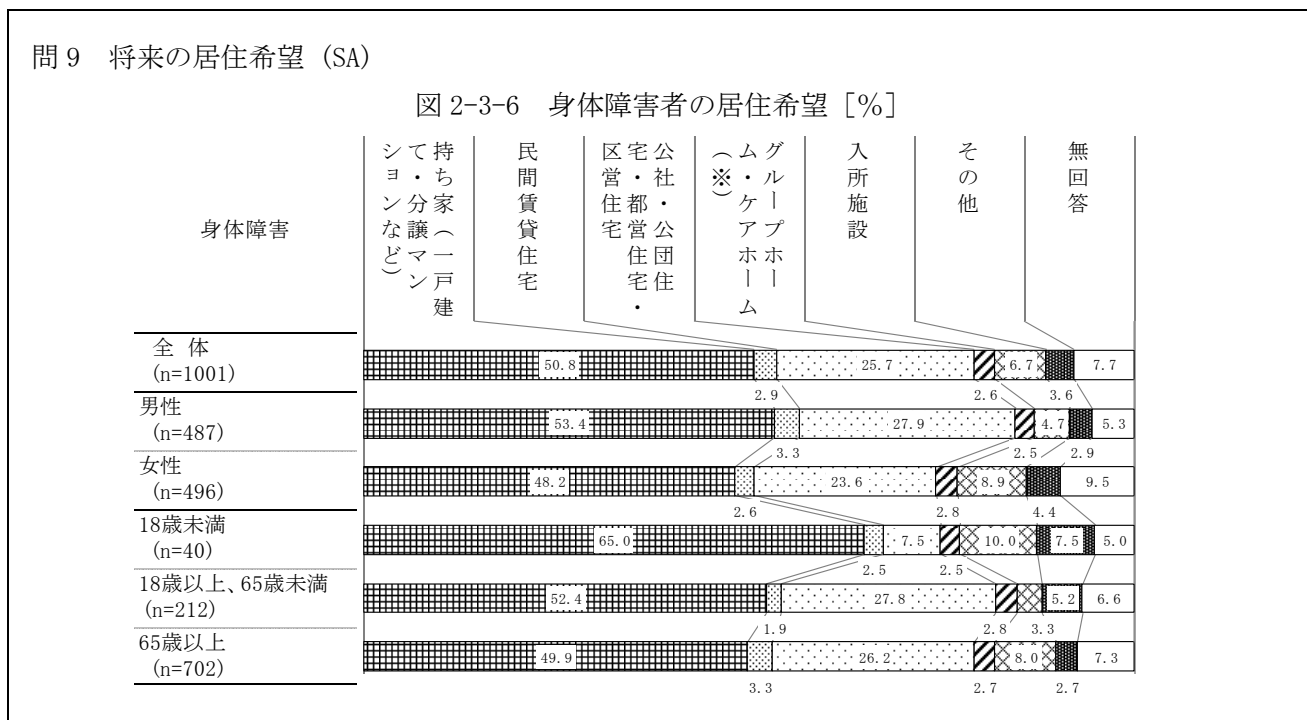
問 8-4 今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

入所施設・病院入所の期間を尋ねたところ、＜全体＞では「1年未満」が37.9%で最も多かった。性別では＜男性＞で「1年未満」「1～3年未満」が30.8%、＜女性＞で「1年未満」が43.8%で最も多かった。年齢別に見ると、＜65歳以上＞では「1年未満」が36.0%、次に「1～3年未満」が28.0%が多い。



問 9 すべてのの方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。(あてはまる番号1つに○)

対象者に将来の居住について、その希望を尋ねたところ、＜全体＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が50.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が53.4%と48.2%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が52.4%と49.9%が多い。



設問間クロス集計結果

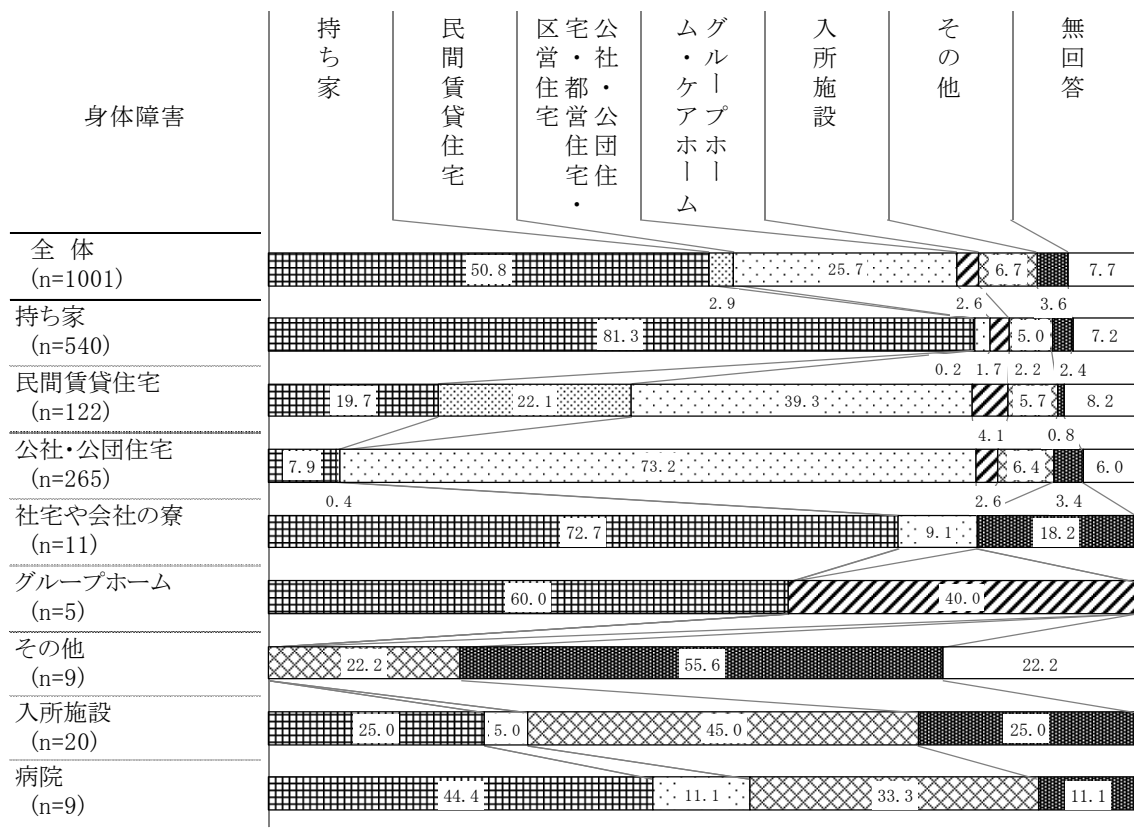
[問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。]

[問9 すべての方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。]

将来の希望住居形態を現在の住居形態別に見ると、＜全体＞では「持ち家」が50.8%で最も多かった。ただし、＜持ち家＞＜公社・公団住宅＞＜入所施設＞ではそれぞれ81.3%と73.2%と45.0%で現状のままを望む回答が多い。＜民間賃貸住宅＞では「公社・公団住宅・都営住宅・区営住宅」が39.3%で最も多かった。＜社宅や会社の寮＞と＜グループホーム＞では「持ち家」が72.7%と60.0%で最も多かった。

問8×問9 現在の住居(SA)×将来の希望住居(SA)

図2-3-7 身体障害者のクロス集計結果 [%]



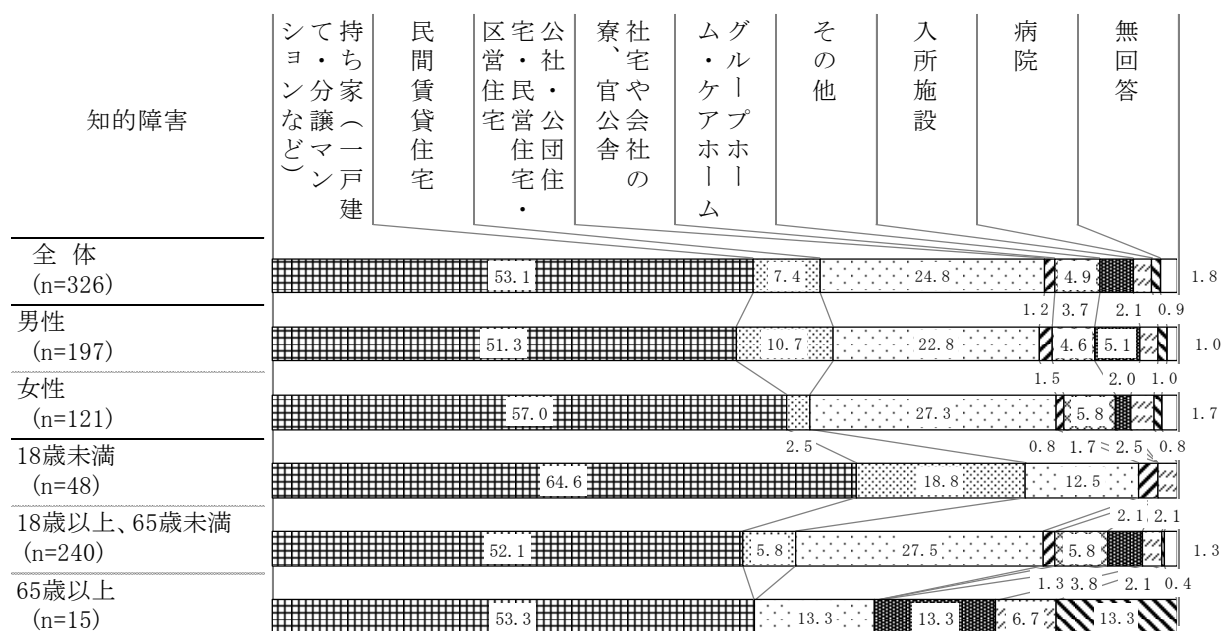
3-2 知的障害者の住居について

問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に現在暮らしている住居の種類について尋ねたところ、＜全体＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が53.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が51.3%と57.0%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が52.1%と53.3%で多い。

問8 住居の種類 (SA)

図 2-3-8 知的障害者の住居種類 [%]



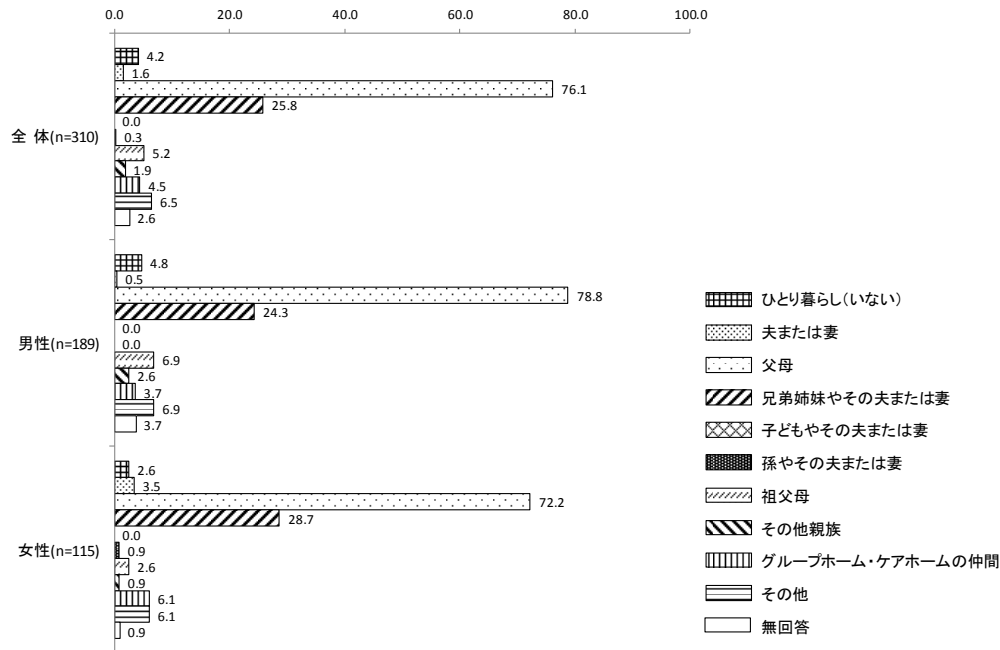
II 調査結果

問 8-1 現在、どなたと暮らしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に現在同居しているのは誰か尋ねたところ、全体では「父母」が76.1%と最も多かった。性別では<男女>共に、「父母」が78.8%、72.2%と最も多かった。

問 8-1 同居人の係累 (MA) 【全体・性別】

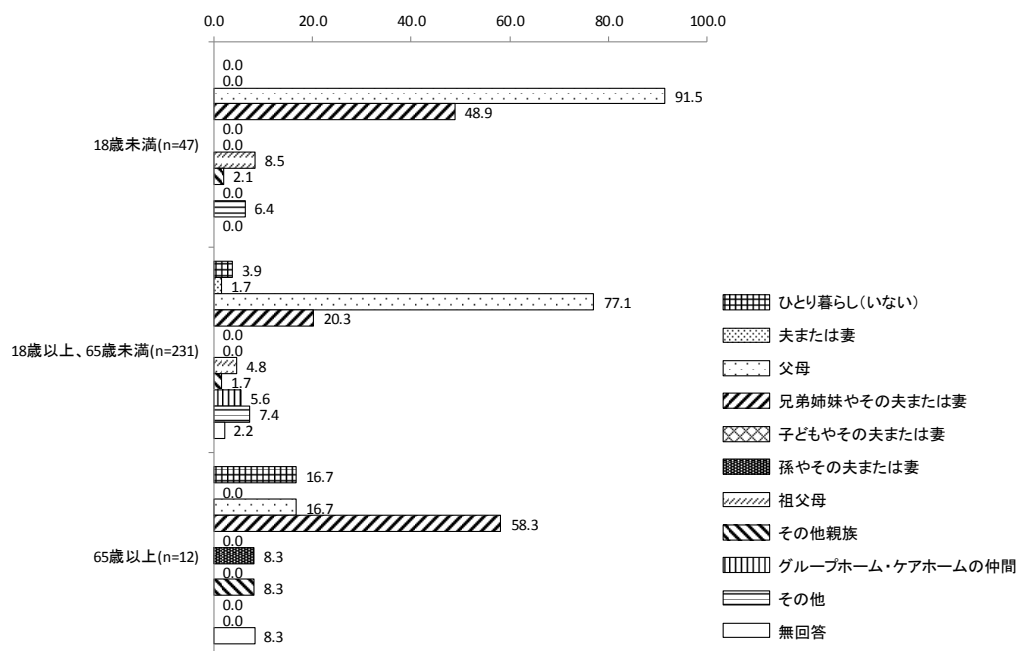
図 2-3-9-1 知的障害者の同居人係累 [%]



年齢別では<18歳未満>、<18歳以上、65歳未満>で「父母」が、91.5%、77.1%と最も多く、<65歳以上>では「兄弟姉妹やその夫または妻」が58.3%と多い。

問 8-1 同居人の係累 (MA) 【年齢別】

図 2-3-9-2 知的障害者の同居人係累 [%]

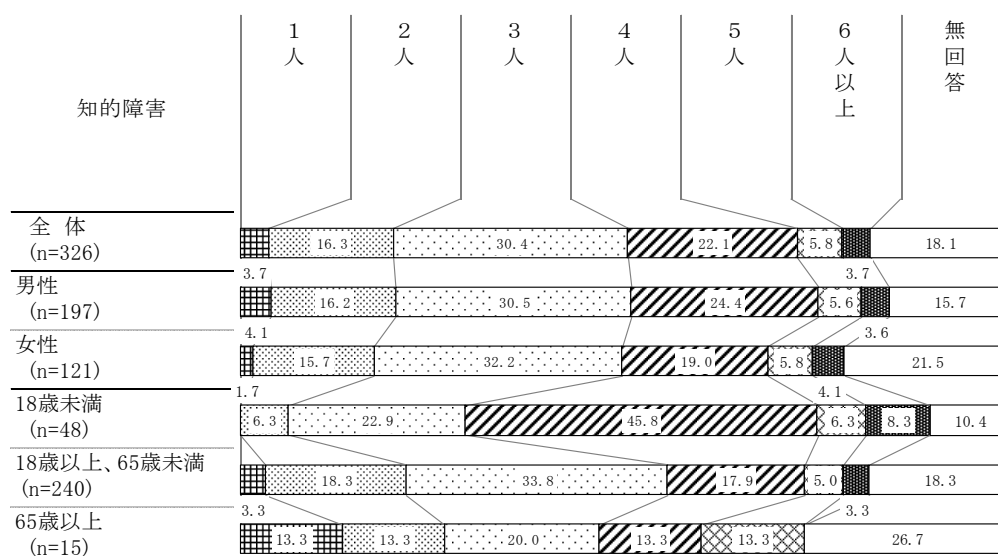


問 8-2 あなたの同居家族は、あなたを含めて何人ですか。

対象者に現在同居している人数を本人込みで尋ねたところ、＜全体＞では「3人」が30.4%で最も多く、「4人」が22.1%でこれに次いだ。性別で見ても＜男女＞共に「3人」が30.5%と32.2%で最も多かった。年齢別では＜18歳未満＞で「4人」が45.8%、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞が「3人」で33.8%と20.0%だった。

問 8-2 同居人の人数 (SA)

図 2-3-10 知的障害者の同居人数 [%]

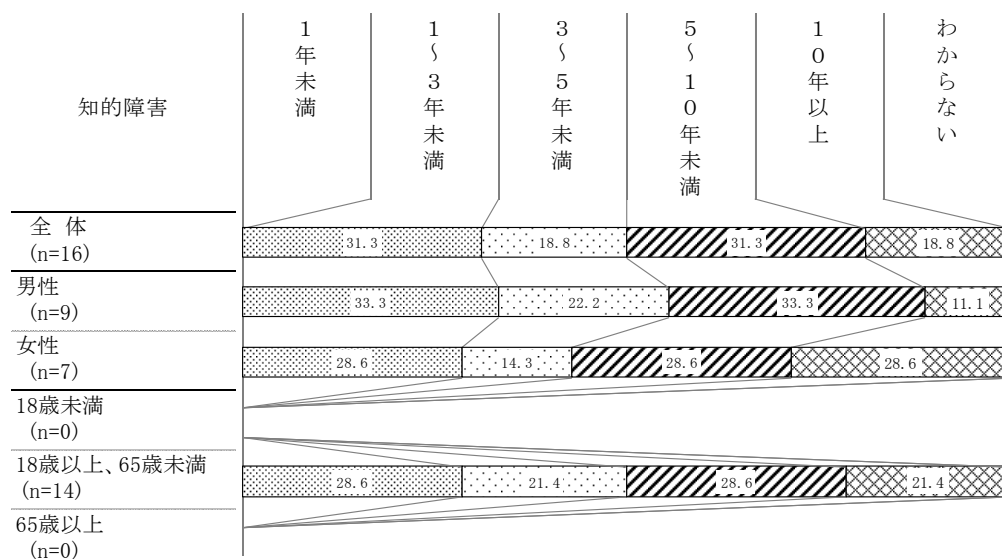


問 8-3 今の施設にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

施設（グループホーム・ケアホーム）入居者にその期間を尋ねたところ、＜全体＞では「1～3年未満」「5～10年未満」が31.3%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「1～3年未満」「5～10年未満」が33.3%と28.6%で多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞で「1～3年未満」「5～10年未満」が28.6%が多い。

問 8-3 施設（グループホーム・ケアホーム）の入居期間 (SA)

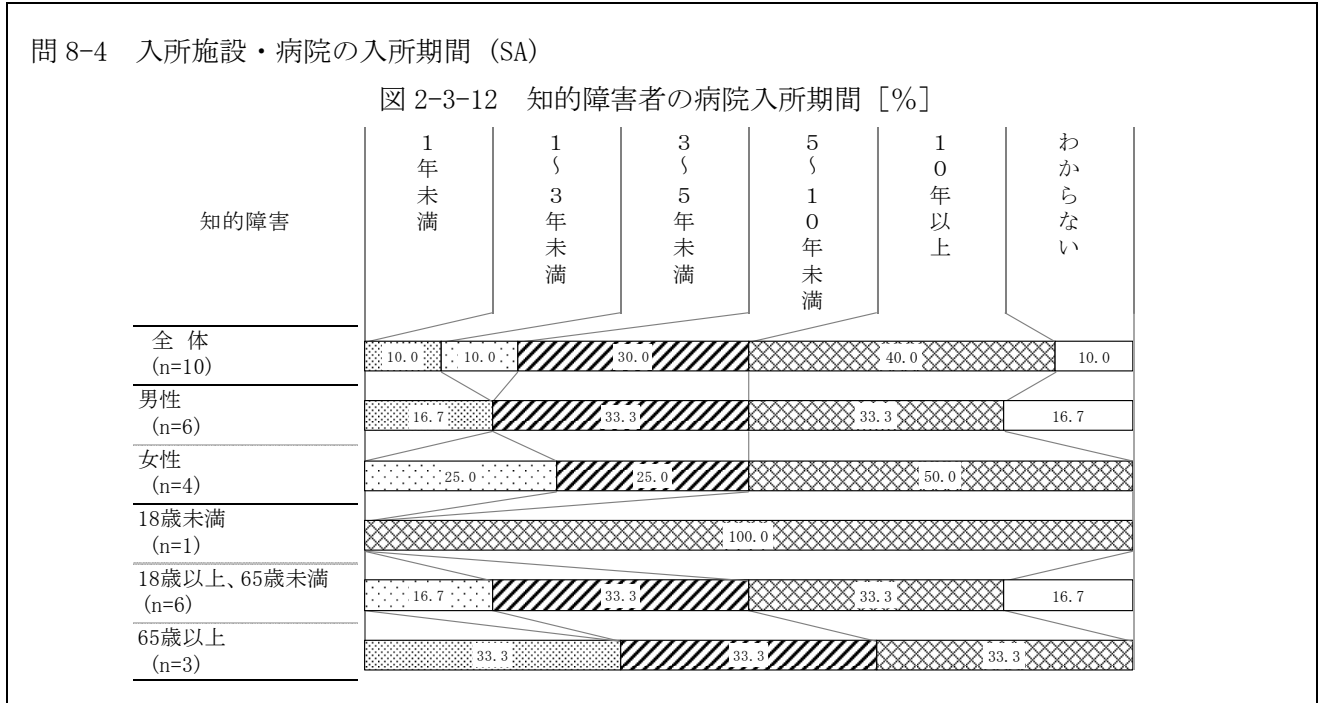
図 2-3-11 知的障害者の施設入居期間 [%]



II 調査結果

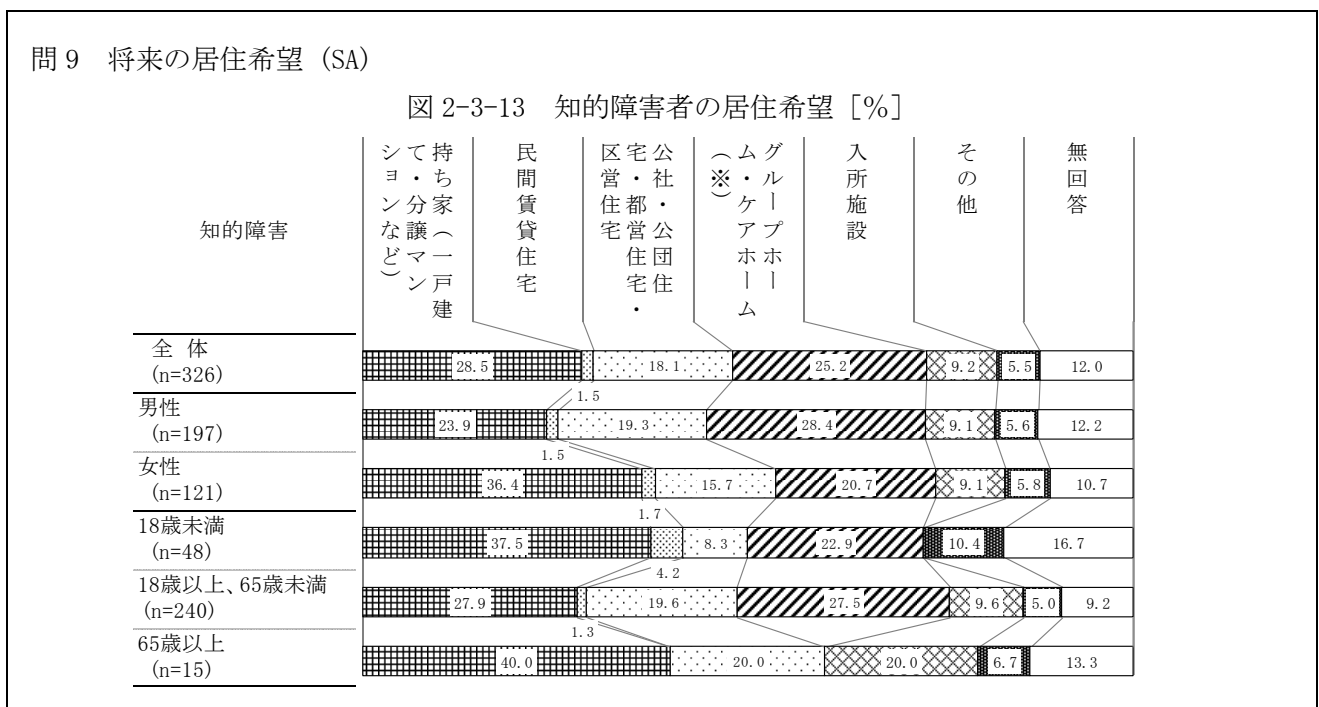
問 8-4 今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

入所施設・病院入所者にその期間を尋ねたところ、<全体>では「10年以上」が40.0%で最も多かった。性別では<男性>で「5～10年未満」「10年以上」が33.3%、<女性>で「10年以上」が50.0%が多かった。年齢別に見ると、<18歳以上、65歳未満>で「5～10年未満」「10年以上」が33.3%、<65歳以上>では「1～3年未満」「5～10年未満」「10年以上」が33.3%が多い。



問 9 すべてのの方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。(あてはまる番号1つに○)

対象者に将来の居住の希望を尋ねたところ、<全体>では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が28.5%で最も多かった。性別では<男性>で「グループホーム・ケアホーム」が28.4%、<女性>で「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が36.4%で最も多かった。年齢別に見ると、<18歳未満><18歳以上、65歳未満>共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が37.5%と27.9%が多い。



設問間クロス集計結果

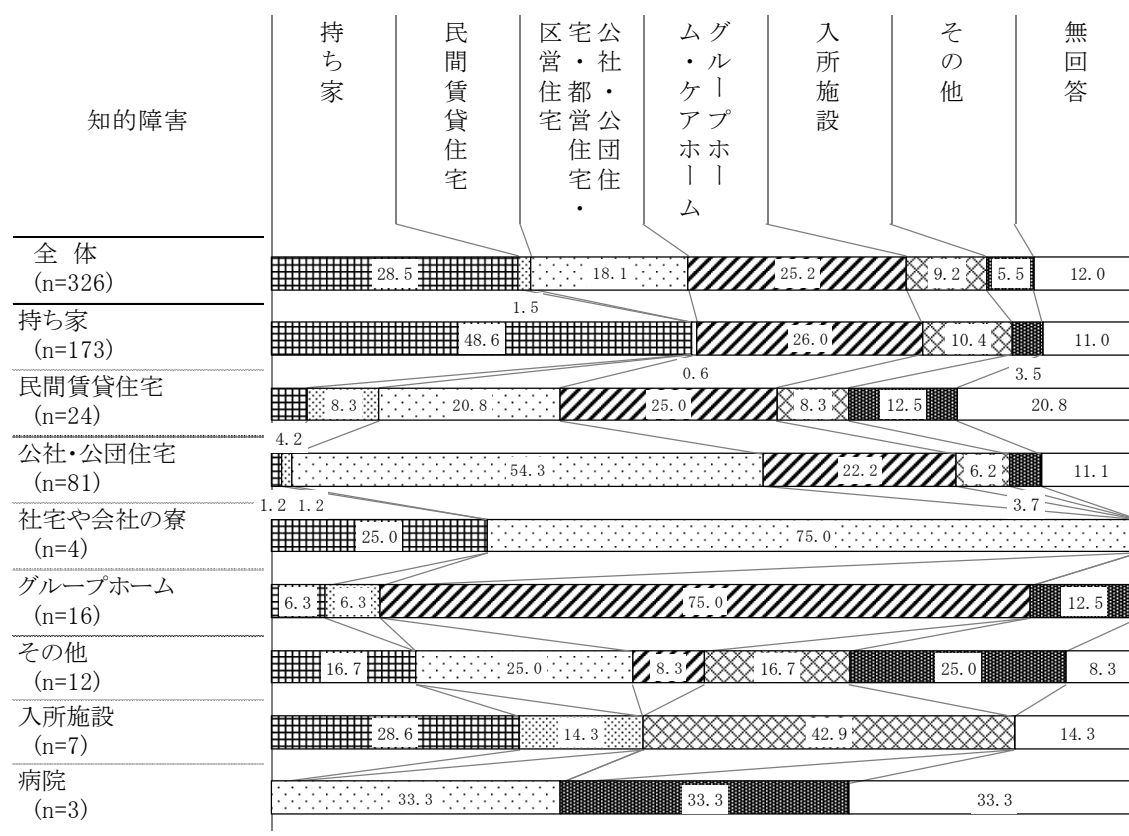
[問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。]

[問9 すべての方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。]

将来の希望住居形態を現在の住居形態別に見ると、＜全体＞では、「持ち家」が最も多く 28.5%だった。＜持ち家＞＜公社・公団住宅＞＜グループホーム＞＜入所施設＞ではそれぞれ 48.6%と 54.3%、75.0%と 42.9%で現状のままを望む回答が最も多い。＜民間賃貸住宅＞では「グループホーム・ケアホーム」が 25.0%、＜社宅や会社の寮＞では「公社・公団住宅・都営住宅・区営住宅」が 75.0%で最も多かった。

問8×問9 現在の住居(SA)×将来の希望住居(SA)

図 2-3-14 知的障害者のクロス集計結果 [%]

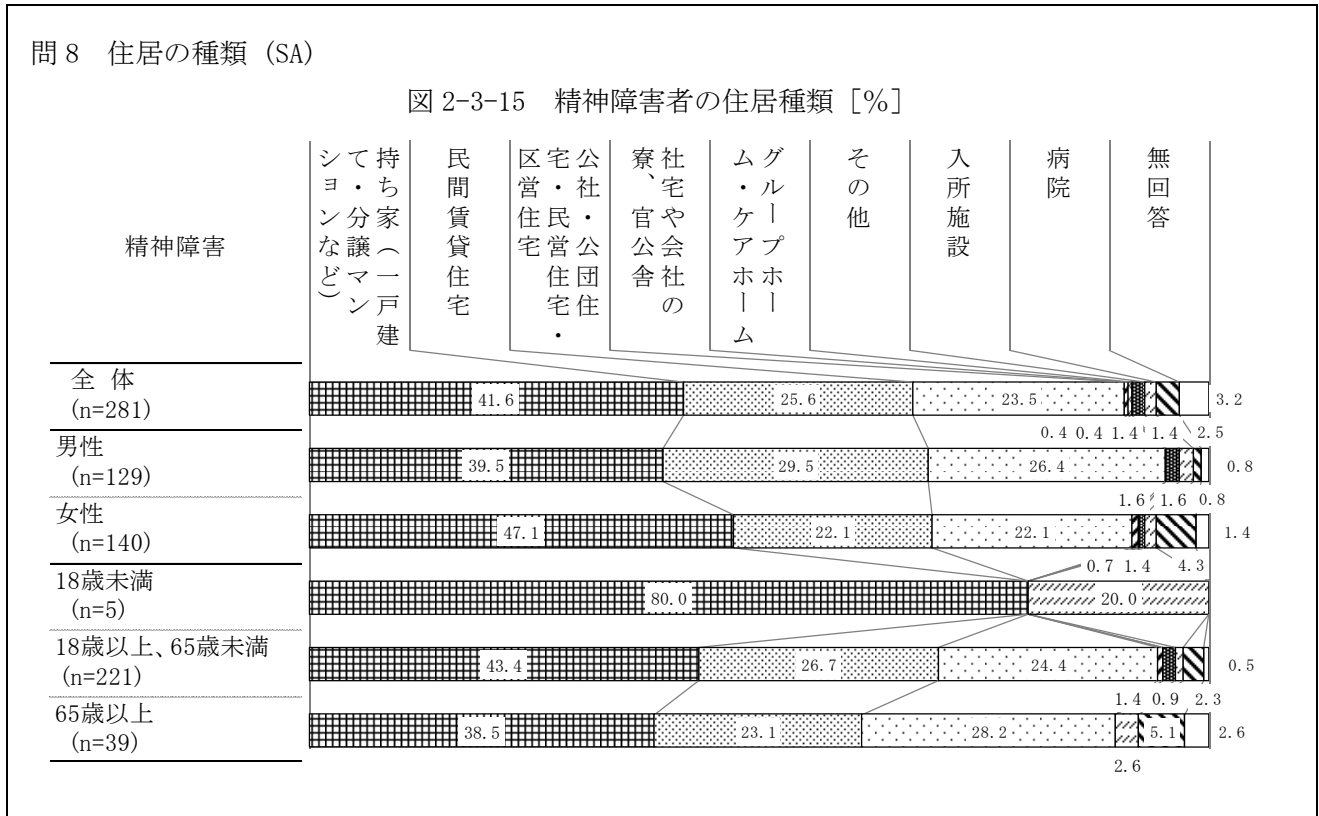


II 調査結果

3-3 精神障害者の住居について

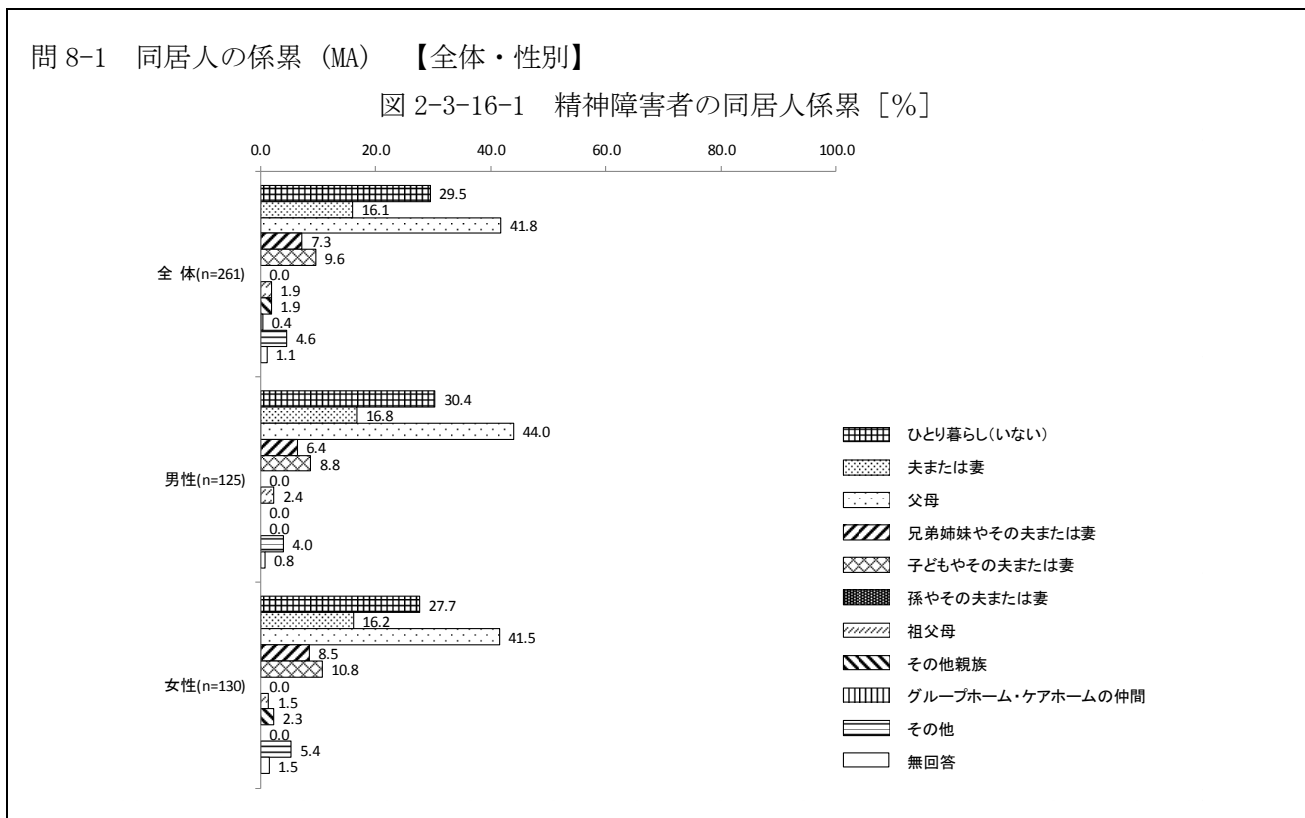
問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に現在暮らしている住居の種類について尋ねたところ、＜全体＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が41.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が39.5%と47.1%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が43.4%と38.5%が多い。

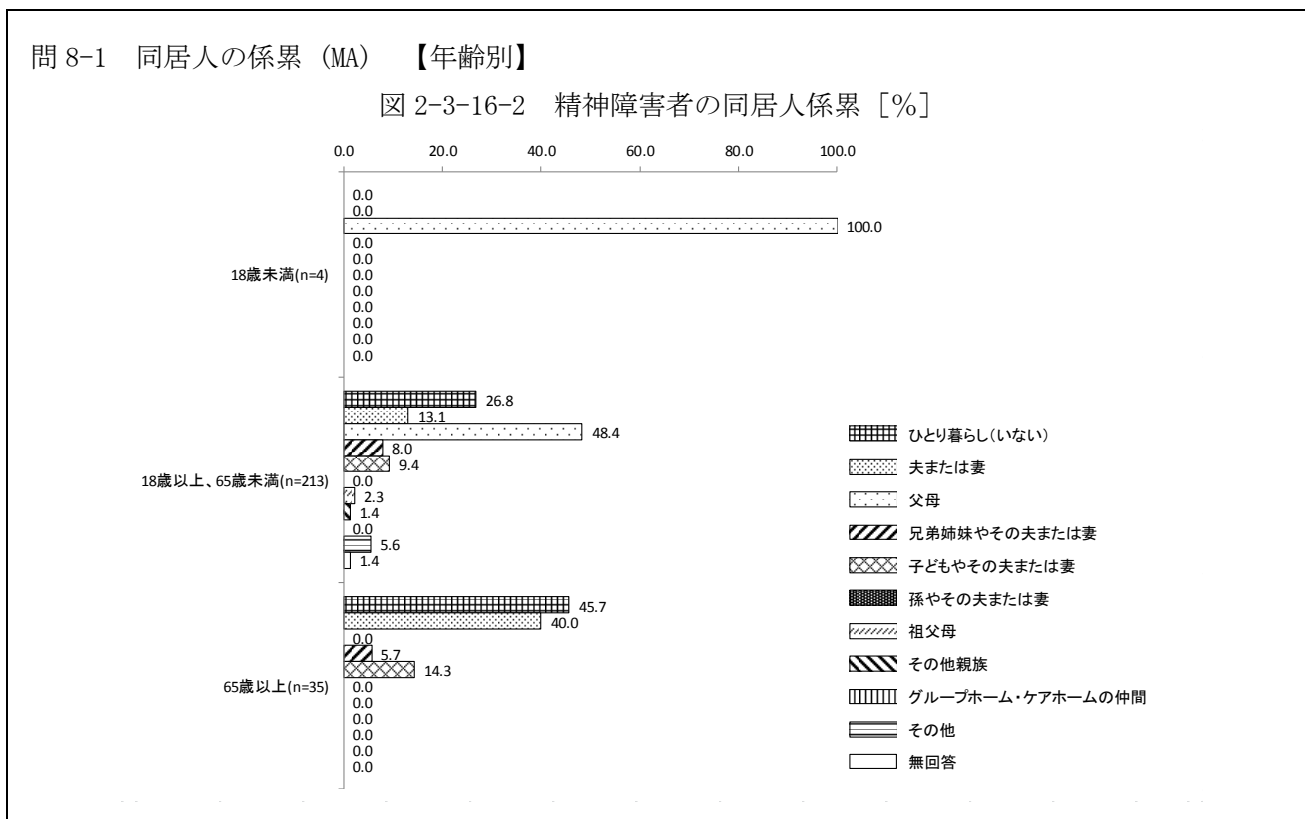


問 8-1 現在、どなたと暮らしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に現在同居しているのは誰か尋ねたところ、全体では「父母」が41.8%で最も多かった。性別では<男女>共に「父母」が44.0%、41.5%で最も多かった。



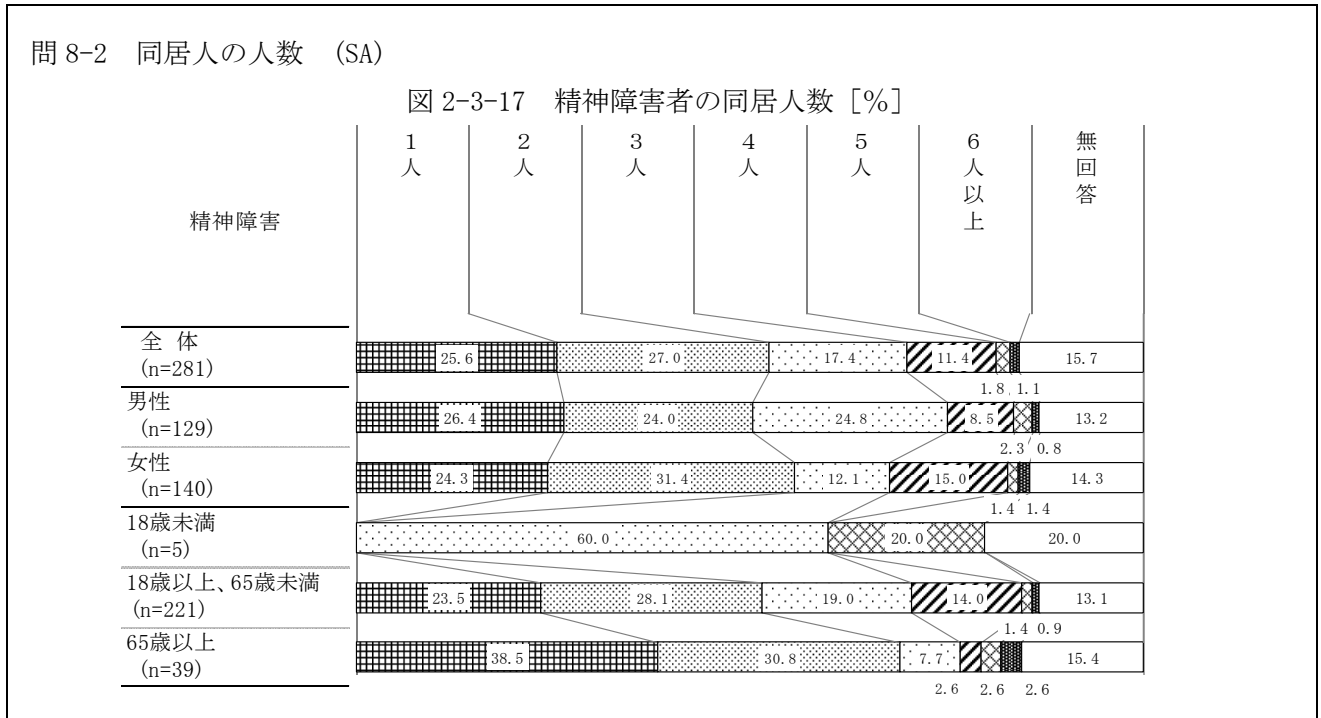
年齢別では、<18歳以上、65歳未満>で「父母」が48.4%と最も多く、<65歳以上>では「ひとり暮らし(いない)」が45.7%で最も多かった。



II 調査結果

問 8-2 あなたの同居家族は、あなたを含めて何人ですか。

対象者に現在同居している人数を本人込みで尋ねたところ、＜全体＞では「2人」が27.0%で最も多く、「1人」が25.6%でこれに次いだ。性別で見ると＜男性＞で「3人」が最も多く24.8%、＜女性＞では「2人」が31.4%で多かった。年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞で「2人」が28.1%、＜65歳以上＞で「1人」が38.5%で多かった。

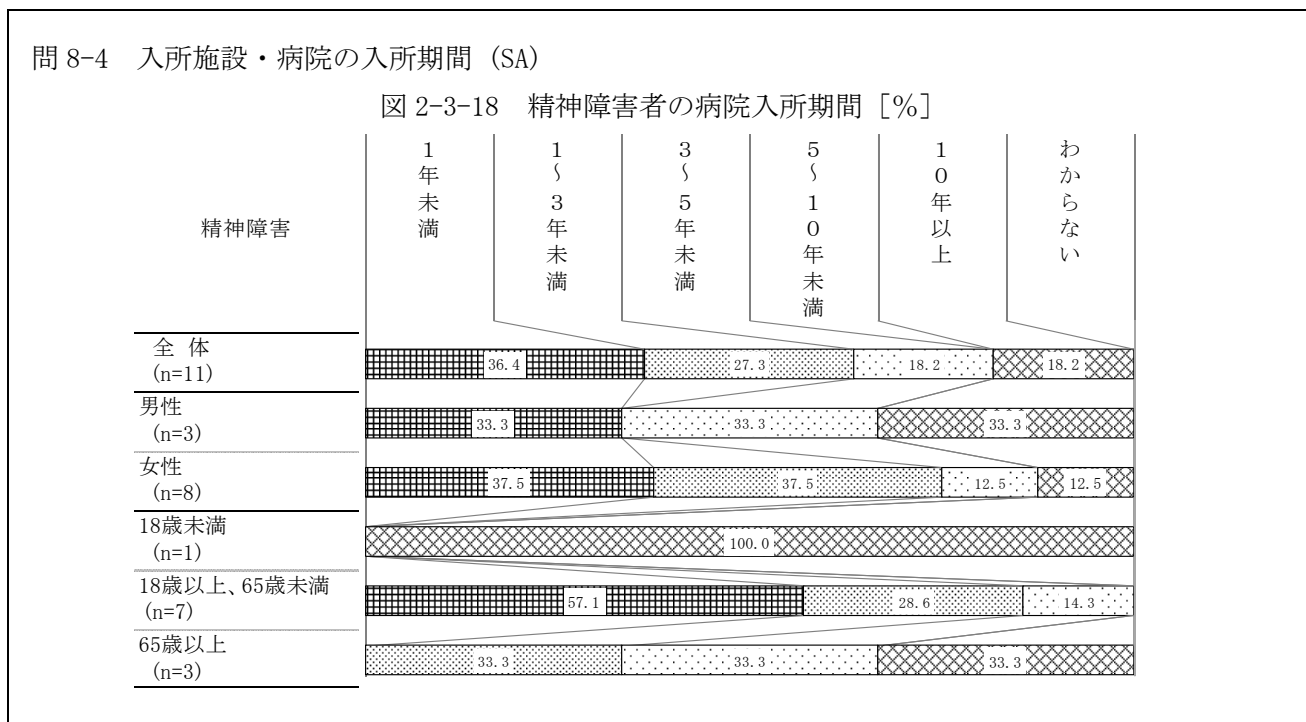


問 8-3 今の施設にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

本設問に対する該当者はいなかった。

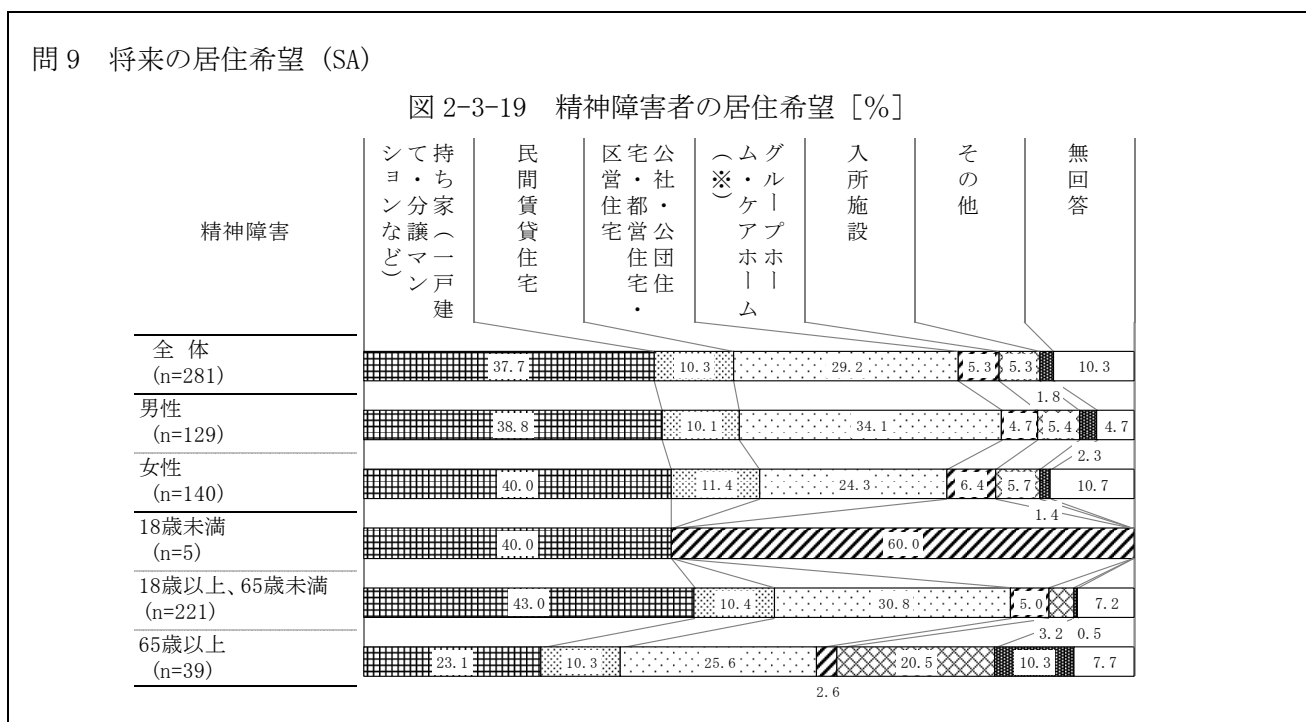
問 8-4 今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

入所施設・病院入所の期間を尋ねたところ、＜全体＞では「1年未満」が36.4%で最も多かった。性別では＜男性＞で「1年未満」「3～5年未満」「10年以上」が33.3%、＜女性＞で「1年未満」「1～3年未満」が37.5%で多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「1年未満」が57.1%が多い。



問 9 すべてのの方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。(あてはまる番号1つに○)

対象者に将来の住居の希望を尋ねたところ、＜全体＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が37.7%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が38.8%と40.0%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が43.0%、＜65歳以上＞で「公社・公団住宅・都営住宅・区営住宅」が25.6%が多い。



設問間クロス集計結果

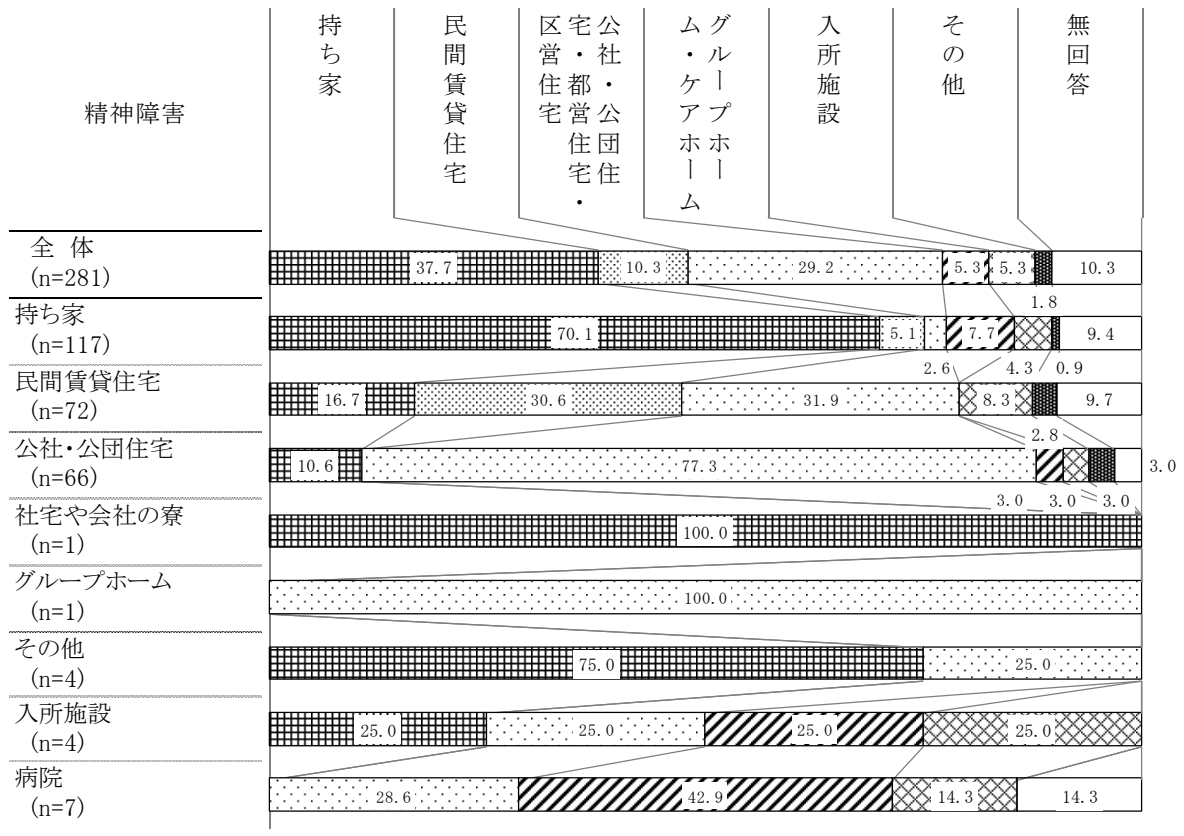
[問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。]

[問9 すべての方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。]

将来の希望住居形態を現在の住居形態別に見ると、<全体>では、「持ち家」が最も多く 37.7%だった。<持ち家><公社・公団住宅>ではそれぞれ 70.1%と 77.3%で現状のままを望む回答が最も多い。<民間賃貸住宅>では「公社・公団住宅・都営住宅・区営住宅」が 31.9%で最も多かった。

問8×問9 現在の住居(SA)×将来の希望住居(SA)

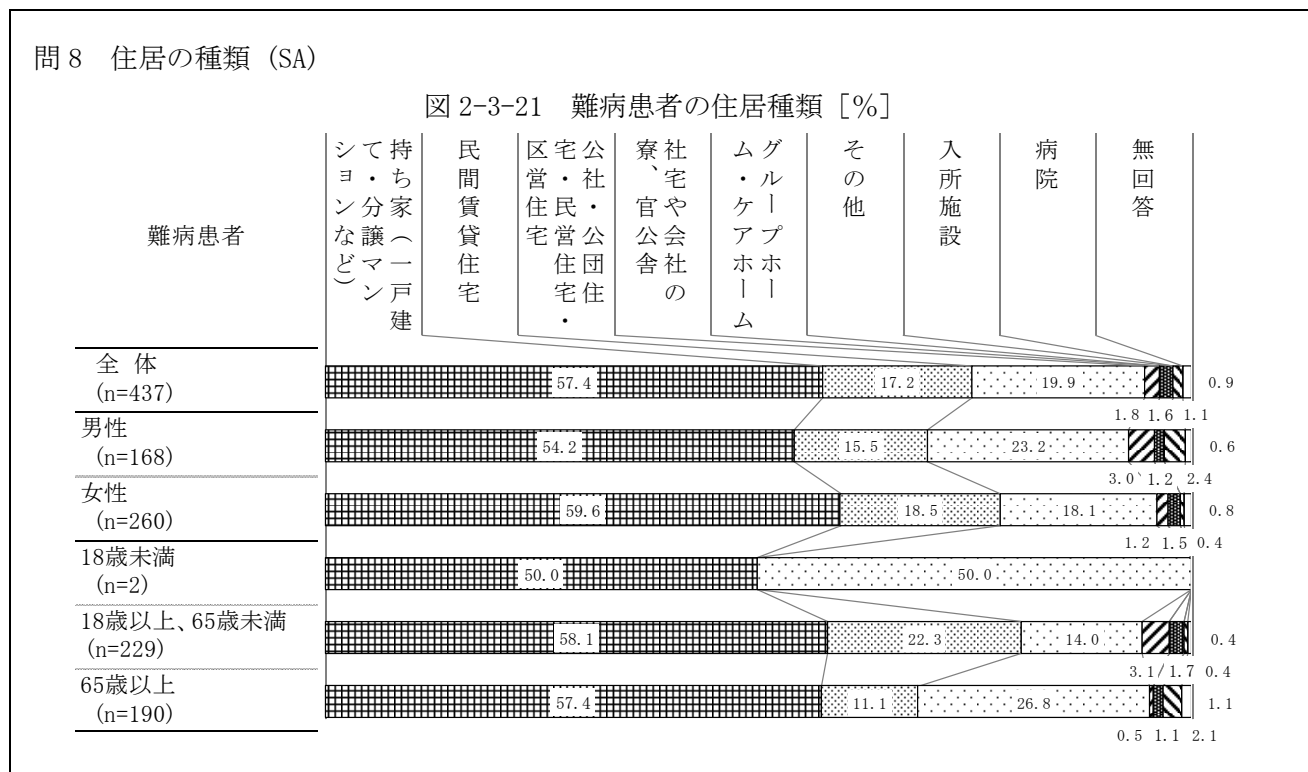
図 2-3-20 精神障害者のクロス集計結果 [%]



3-4 難病患者の住居について

問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に現在暮らしている住居の種類について尋ねたところ、＜全体＞では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が57.4%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が54.2%と59.6%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が58.1%と57.4%が多い。



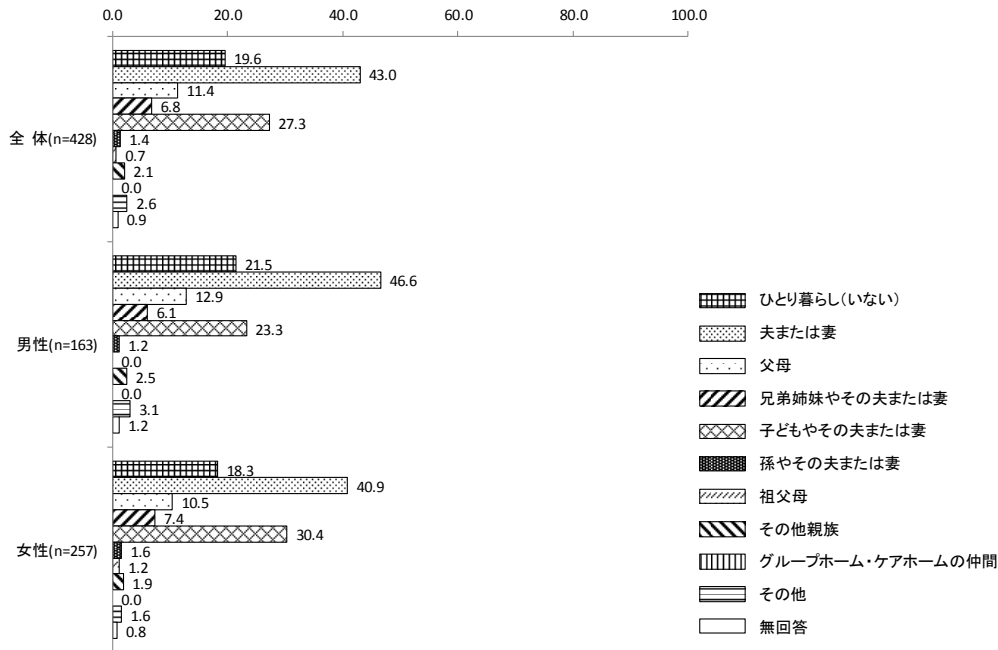
II 調査結果

問 8-1 現在、どなたと暮らしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に現在同居しているのは誰か尋ねたところ、全体では「夫または妻」が43.0%と最も多かった。性別では、＜男女＞共に「夫または妻」が46.6%、40.9%で最も多かった。

問 8-1 同居人の係累 (MA) 【全体・性別】

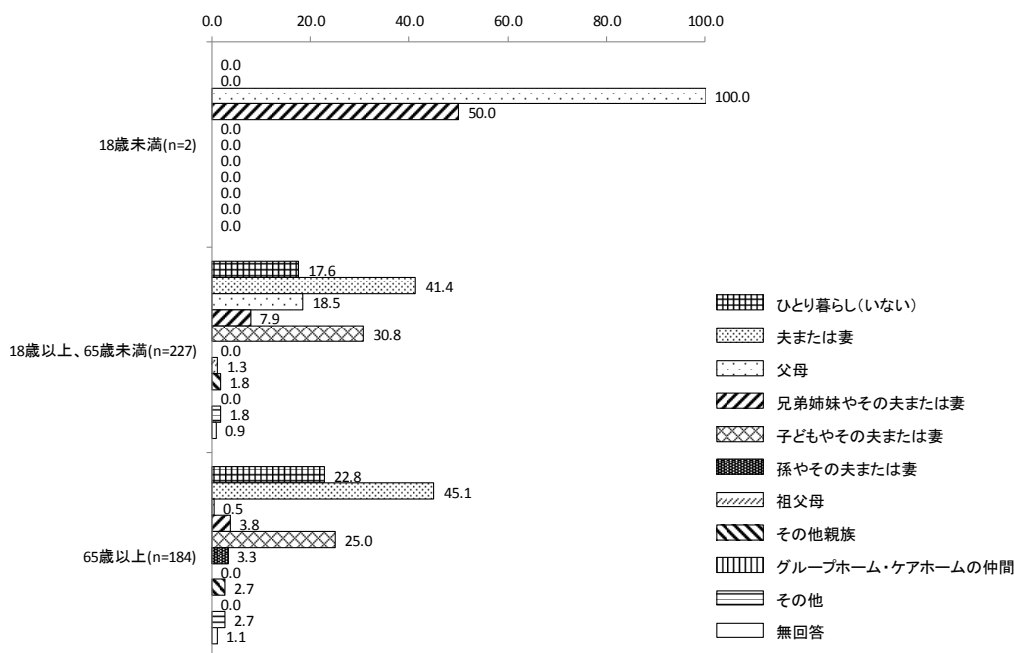
図 2-3-22-1 難病患者の同居人係累 [%]



年齢別では、＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞で「夫または妻」が41.4%、45.1%と最も多い。

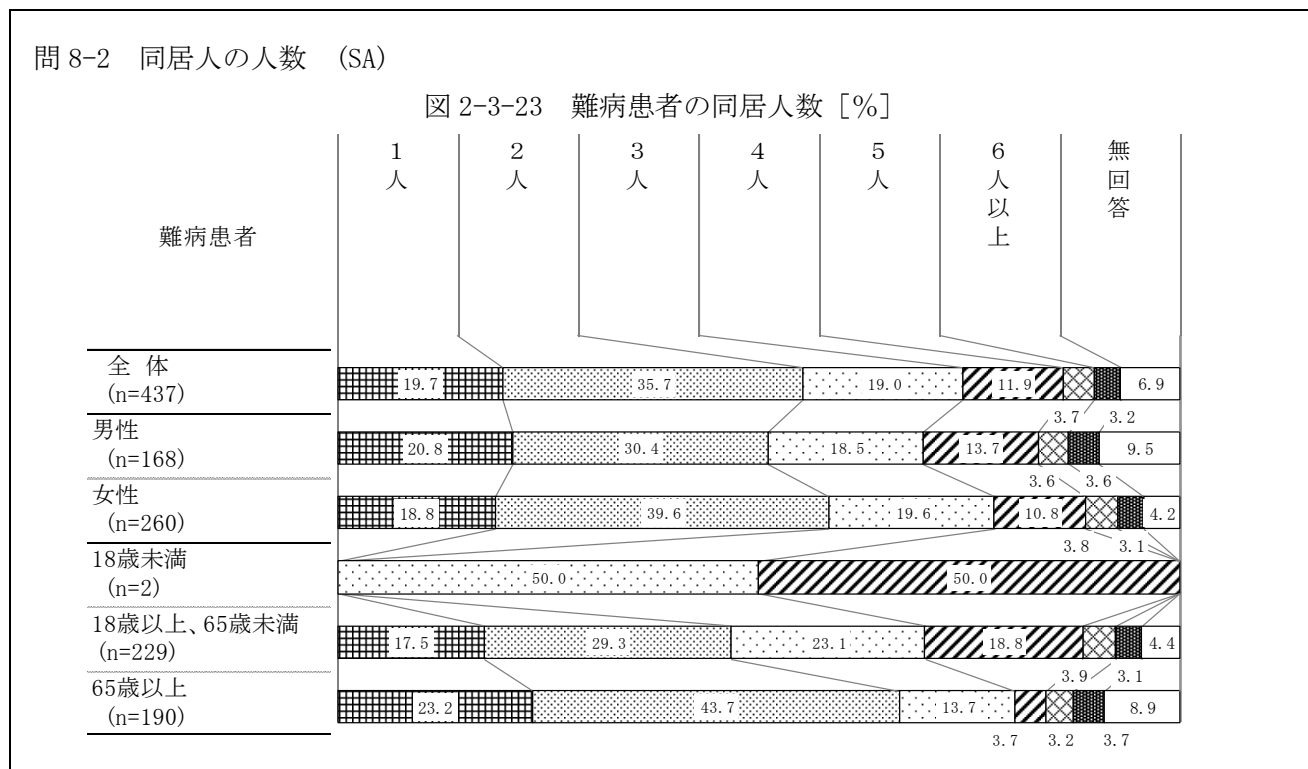
問 8-1 同居人の係累 (MA) 【年齢別】

図 2-3-22-2 難病患者の同居人係累 [%]



問 8-2 あなたの同居家族は、あなたを含めて何人ですか。

対象者に現在同居している人数を本人込みで尋ねたところ、＜全体＞では「2人」が35.7%で最も多く、「1人」が19.7%でこれに次いだ。性別で見ると、＜男女＞共に「2人」が最も多く、30.4%と39.6%だった。年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で、「2人」が29.3%と43.7%で最も多かった。



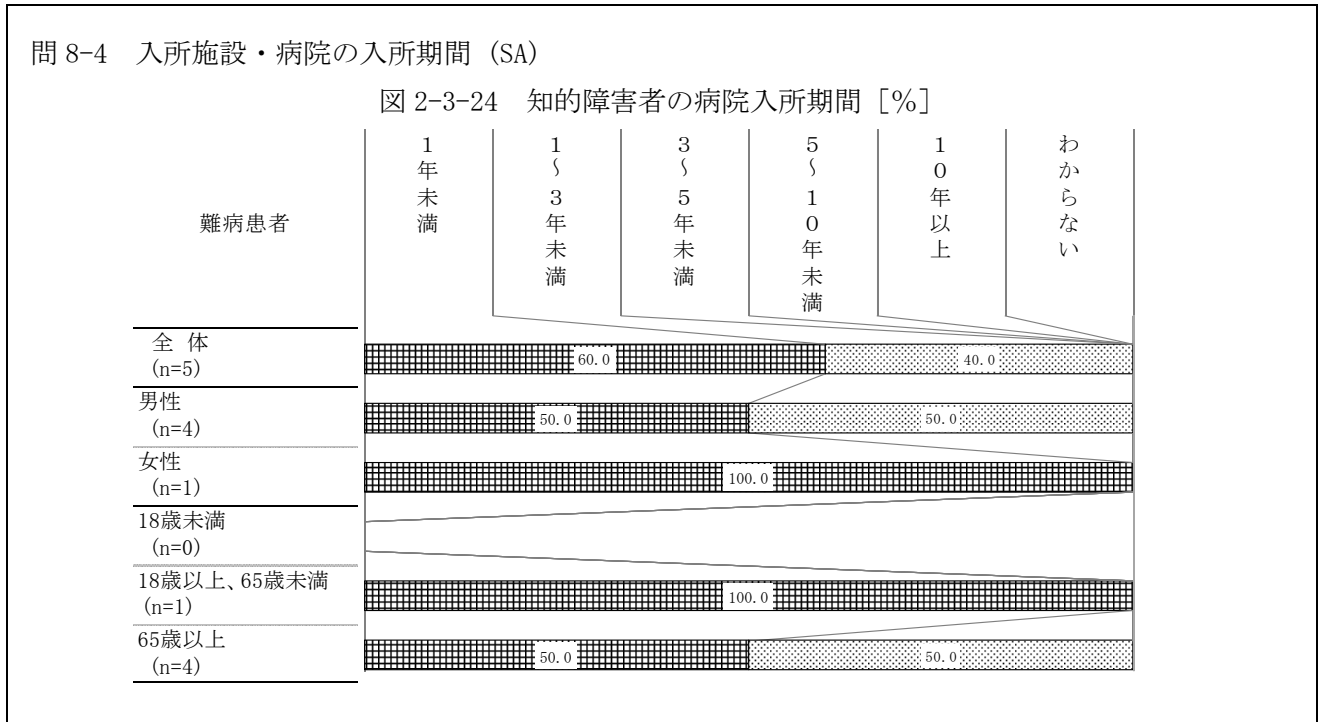
問 8-3 今の施設にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

本設問に対する該当者はいなかった。

II 調査結果

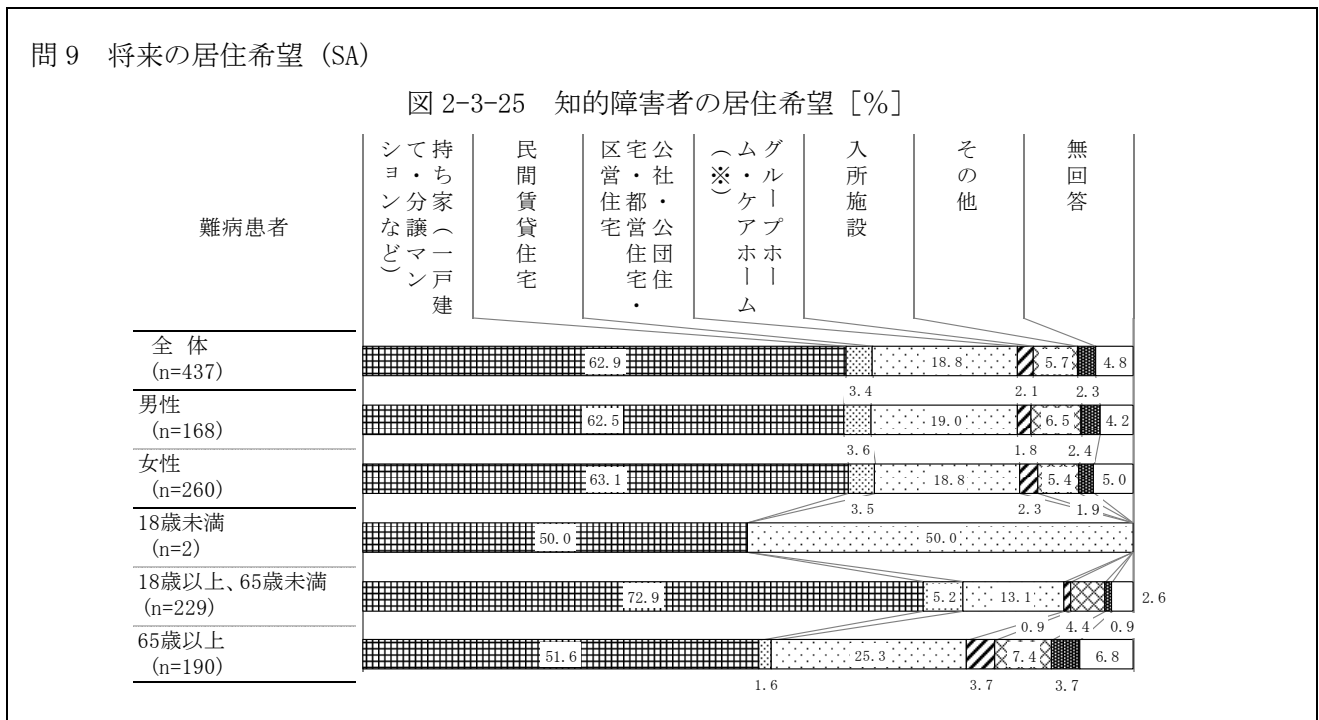
問 8-4 今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

入所施設・病院入所者にその期間を尋ねたところ、<全体>では「1年未満」が60.0%で最も多かった。性別では<男女>共に「1年未満」が50.0%と100.0%で最も多かった。年齢別に見ると、<18歳以上、65歳未満><65歳以上>で「1年未満」が最も多い。



問 9 すべてのの方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。(あてはまる番号1つに○)

対象者に将来の居住について、その希望を尋ねたところ、<全体>では「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が62.9%で最も多かった。性別では<男女>共に「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が62.5%と63.1%で最も多かった。年齢別に見ても、<18歳以上、65歳未満><65歳以上>で「持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）」が72.9%と51.6%が多い。



設問間クロス集計結果

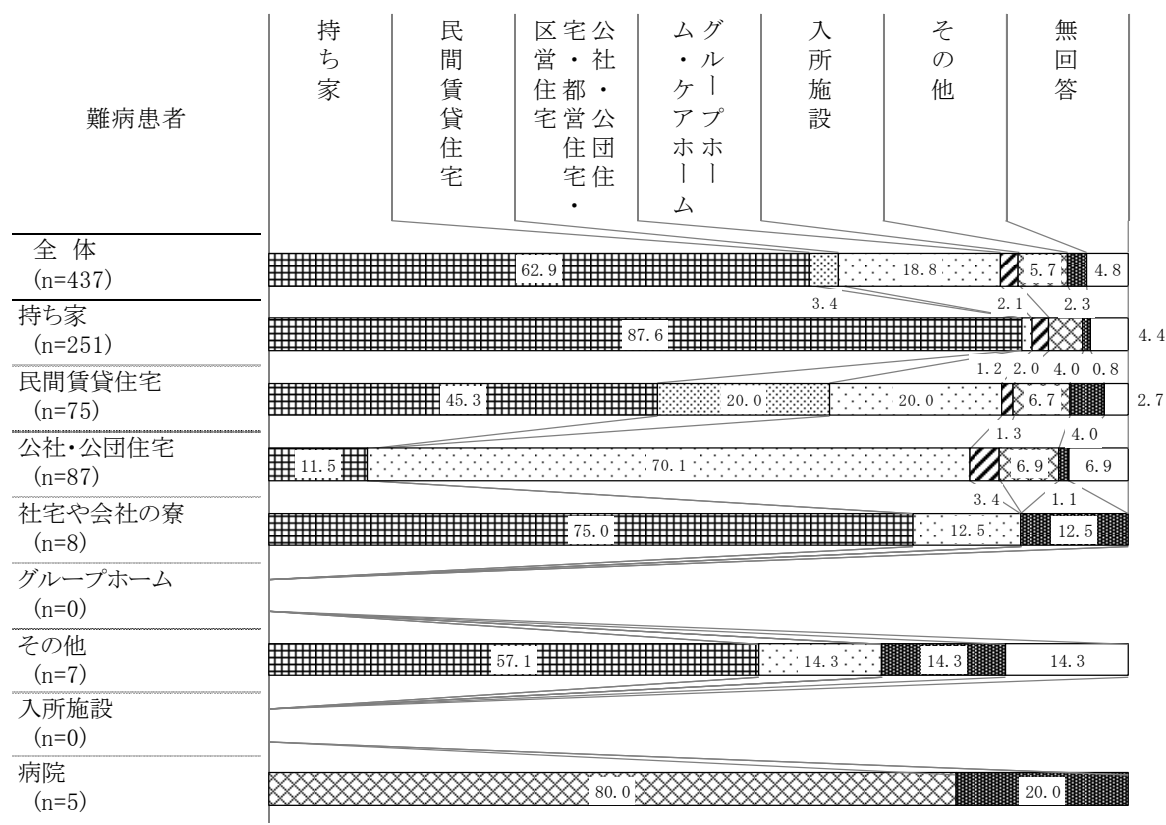
[問8 現在、あなたが暮らしているところは次のどれですか。]

[問9 すべての方にうかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。]

将来の希望住居形態を現在の住居形態別に見ると、＜全体＞では「持ち家」が最も多く62.9%だった。＜持ち家＞＜公社・公団住宅＞ではそれぞれ87.6%と70.1%で現状のままを望む回答が最も多い。＜民間賃貸住宅＞では「持ち家」が45.3%で最も多かった。

問8×問9 現在の住居(SA)×将来の希望住居(SA)

図2-3-26 難病患者のクロス集計結果 [%]



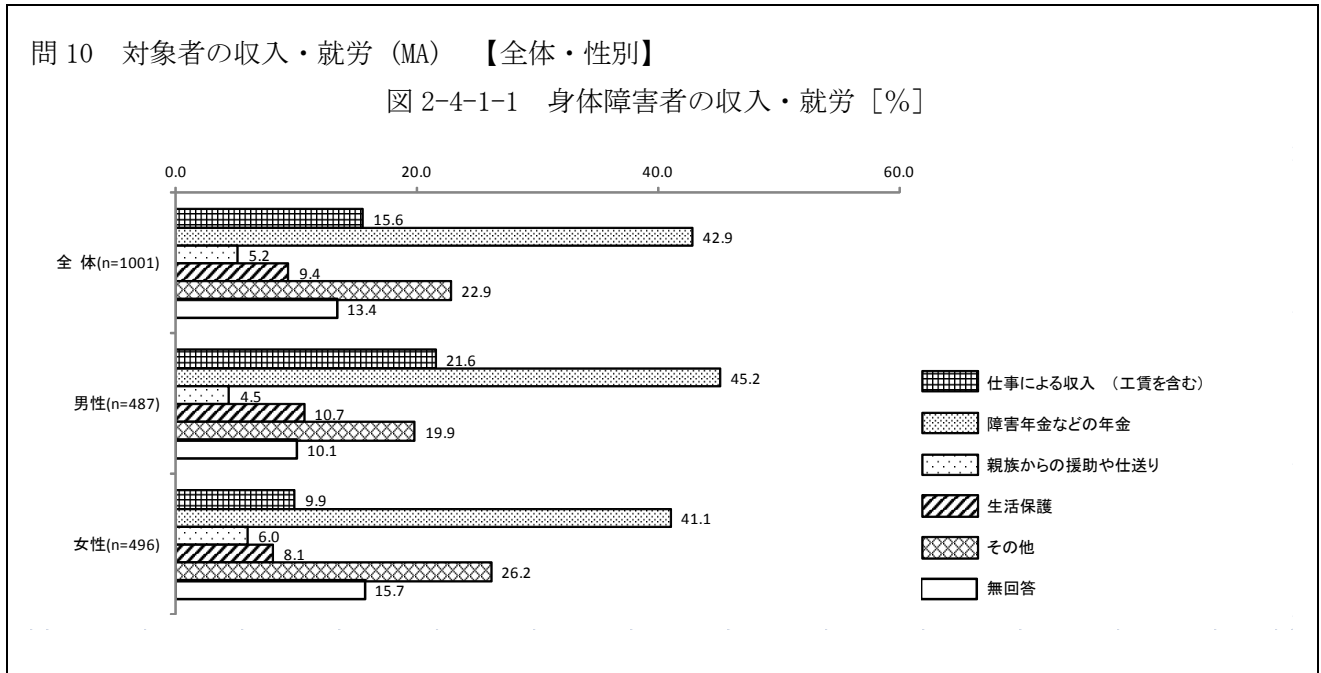
II 調査結果

4. 収入・就労

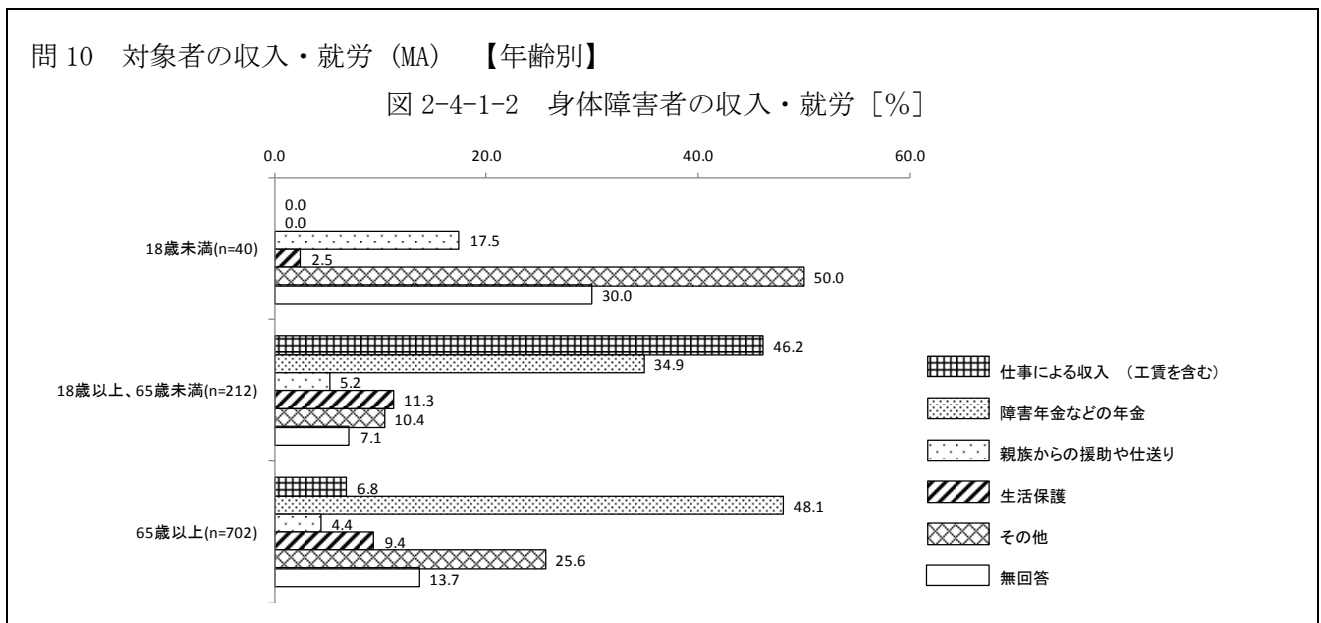
4-1 身体障害者の収入・就労について

問10 あなたの収入はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の収入・就労について尋ねたところ、＜全体＞では「障害年金などの年金」が42.9%と最も多かった。性別では＜男女＞共に「障害年金などの年金」が45.2%と41.1%で最も多かった。

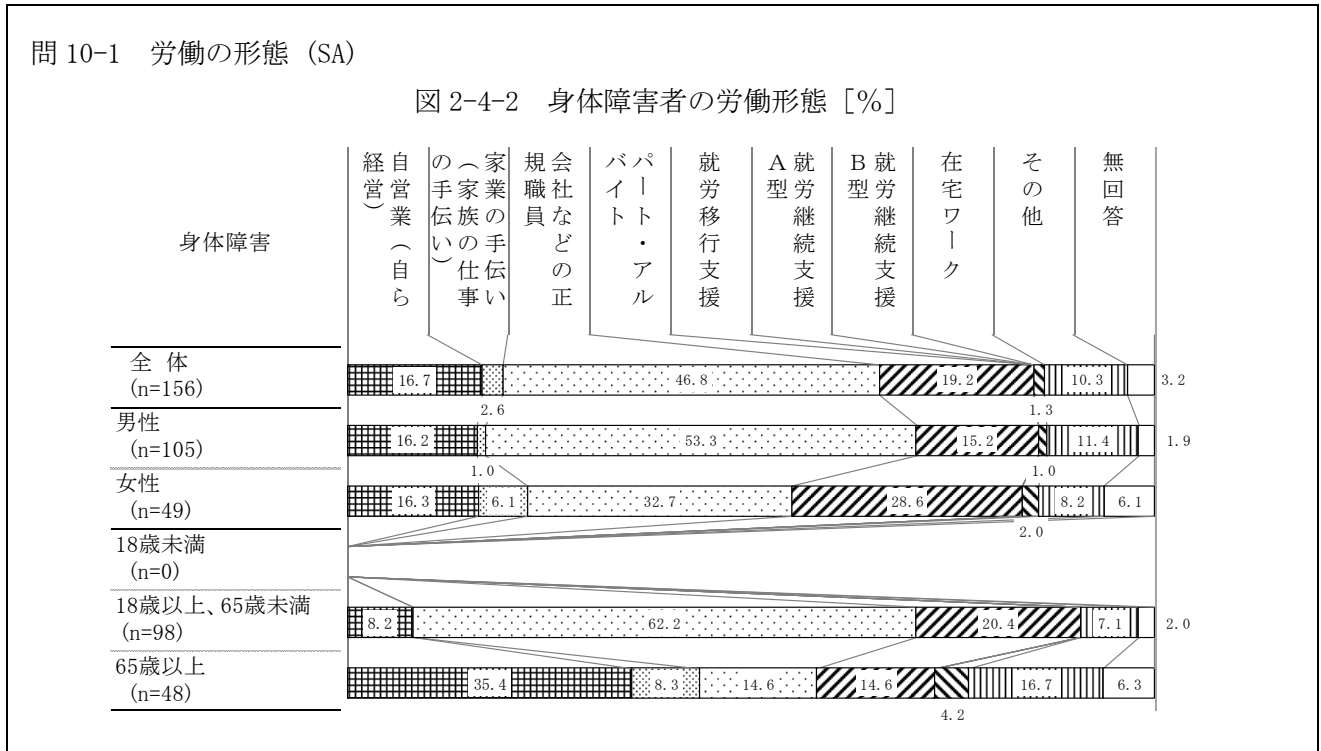


年齢別に見ると＜18歳未満＞では「親族からの援助や仕送り」が17.5%、＜18歳以上、65歳未満＞では「仕事による収入 (工賃を含む)」が46.2%、＜65歳以上＞では「障害年金などの年金」が48.1%で最も多かった。



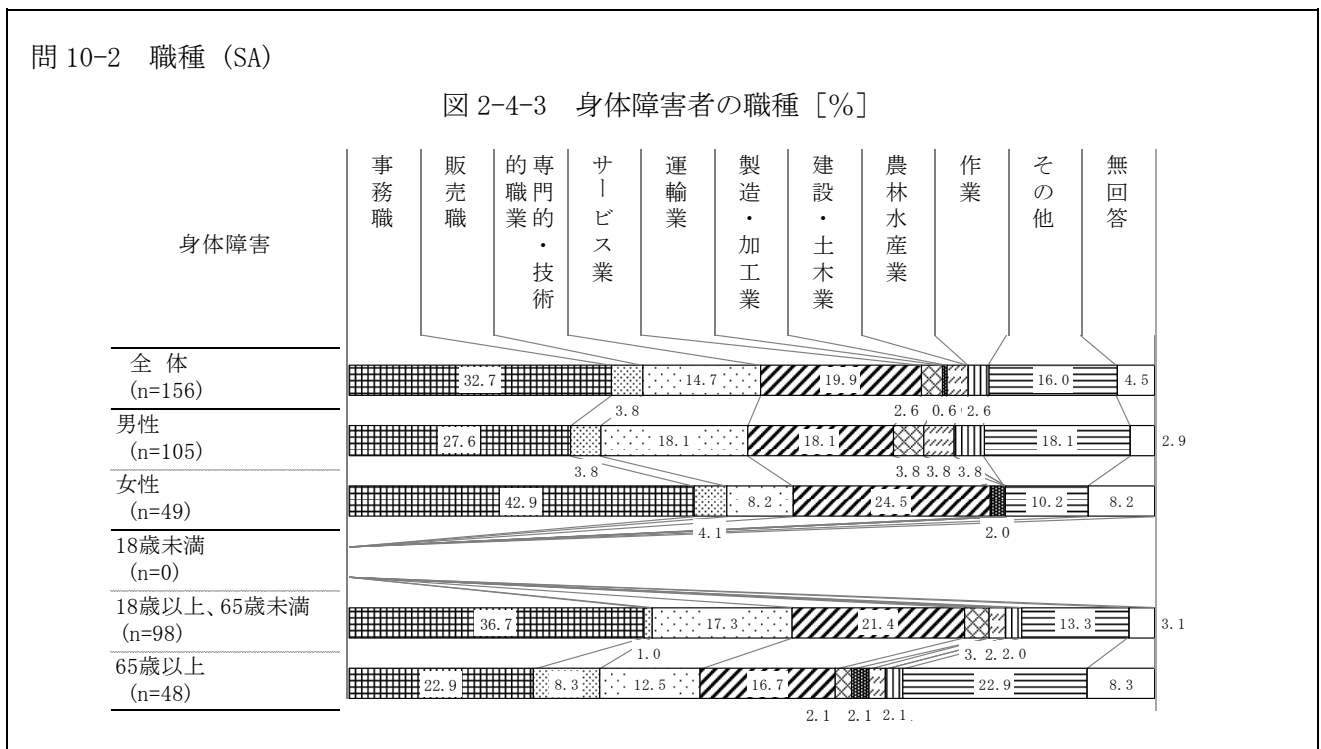
問 10-1 現在、どのような形で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

労働・仕事の形態を尋ねたところ、<全体>では「会社などの正規職員」が46.8%だった。性別では<男女>共に「会社などの正規職員」が53.3%と32.7%で最も多かった。年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>で「会社などの正規職員」が62.2%で、<65歳以上>で「自営業（自ら経営）」が35.4%で最も多かった。



問 10-2 現在、どのような職種で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

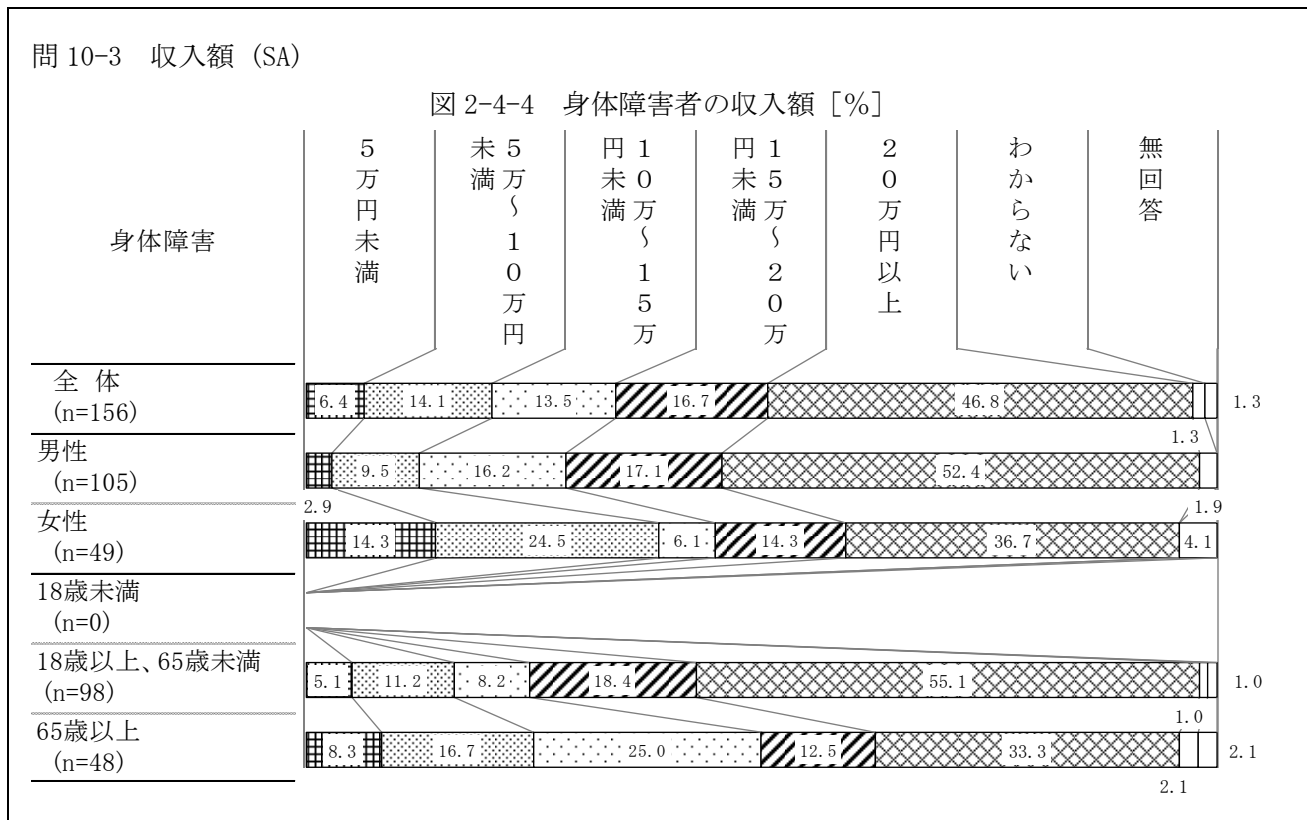
労働・仕事の職種について尋ねたところ、<全体>では「事務職」が32.7%だった。性別では<男女>共に「事務職」が最も多かった。年齢別に見ても、<18歳以上、65歳未満><65歳以上>で「事務職」が36.7%と22.9%で最も多かった。



II 調査結果

問 10-3 あなたの収入額は月平均どれぐらいですか。

労働・仕事の収入額について尋ねたところ、＜全体＞では「20万円以上」が46.8%だった。性別では＜男女＞共に「20万円以上」が最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「20万円以上」が55.1%と33.3%が多い。

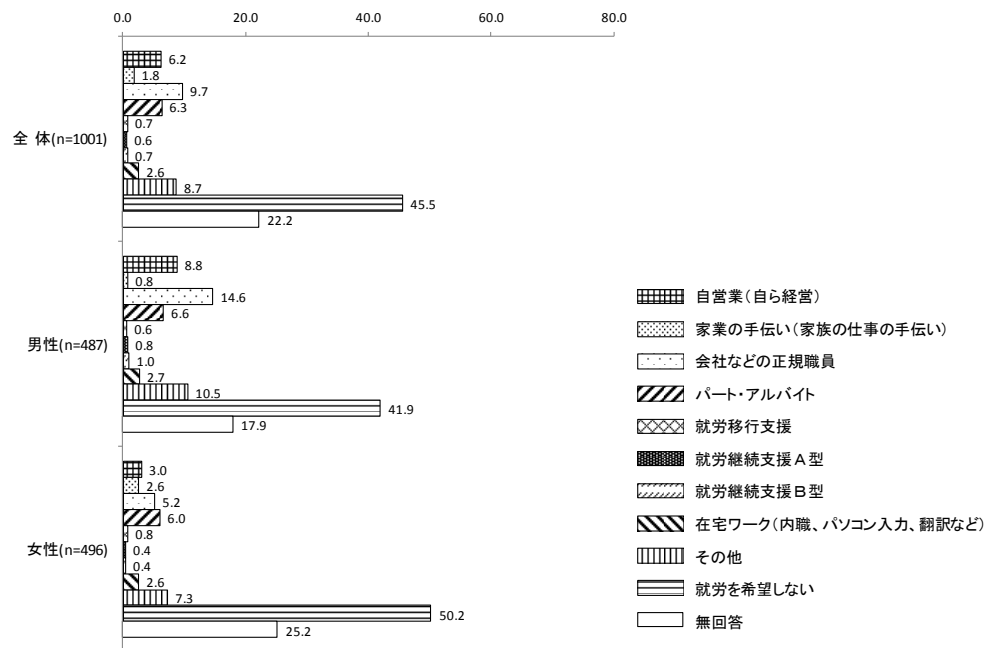


問 11 すべての方に向かってあります。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。

対象者に今後の労働形態について、その希望を尋ねたところ、全体では「会社などの正規職員」が9.7%だった。性別では<男性>で「会社などの正規職員」が14.6%、<女性>で「パート・アルバイト」が6.0%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【全体・性別】

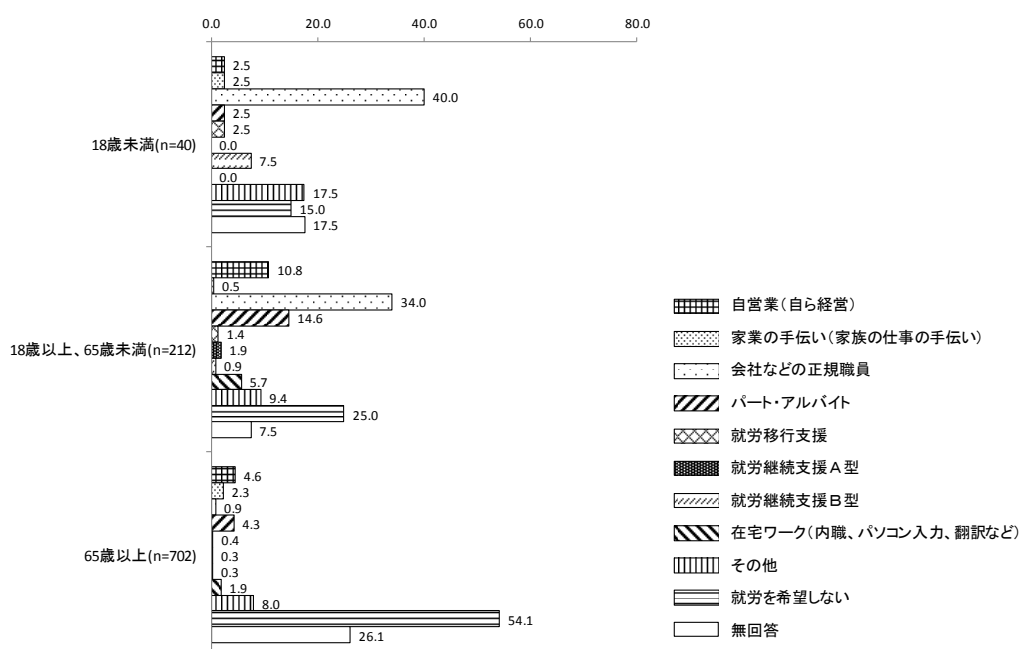
図 2-4-5-1 身体障害者の希望労働形態 [%]



年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>では「会社などの正規職員」34.0%、<65歳以上>では「自営業(自ら経営)」が4.6%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【年齢別】

図 2-4-5-2 身体障害者の希望労働形態 [%]



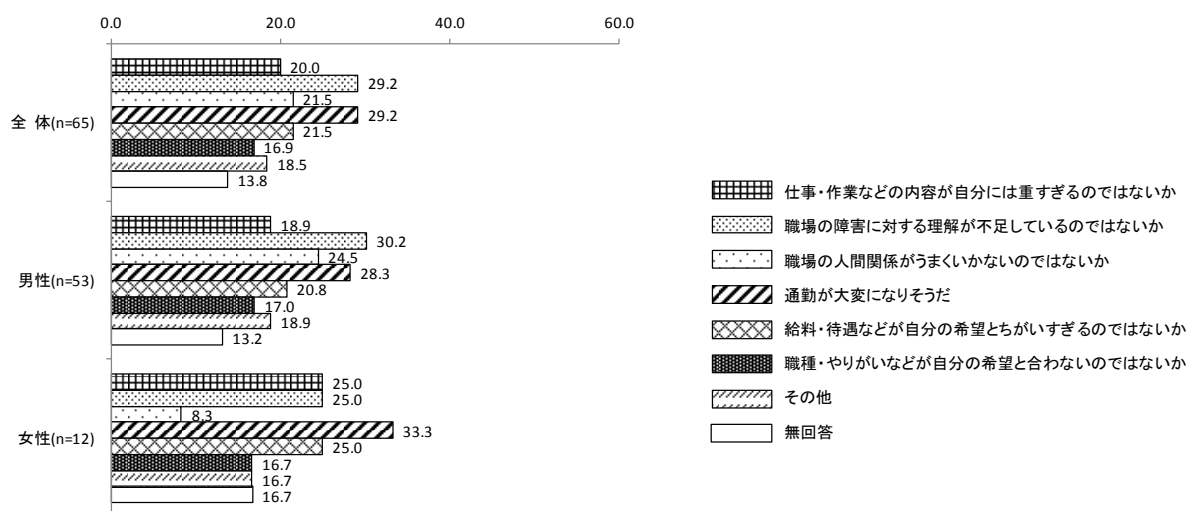
II 調査結果

問 11-1 会社などで働くにあたり心配なことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

会社など正規職員を希望する対象者に、働くにあたっての心配することを尋ねたところ、全体では「職場の障害に対する理解が不足しているのではないかと」「通勤が大変になりそうだ」が共に 29.2% で多かった。性別では<男性>で「職場の障害に対する理解が不足しているのではないかと」が 30.2%、<女性>で「通勤が大変になりそうだ」が 33.3% と最も多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【全体・性別】

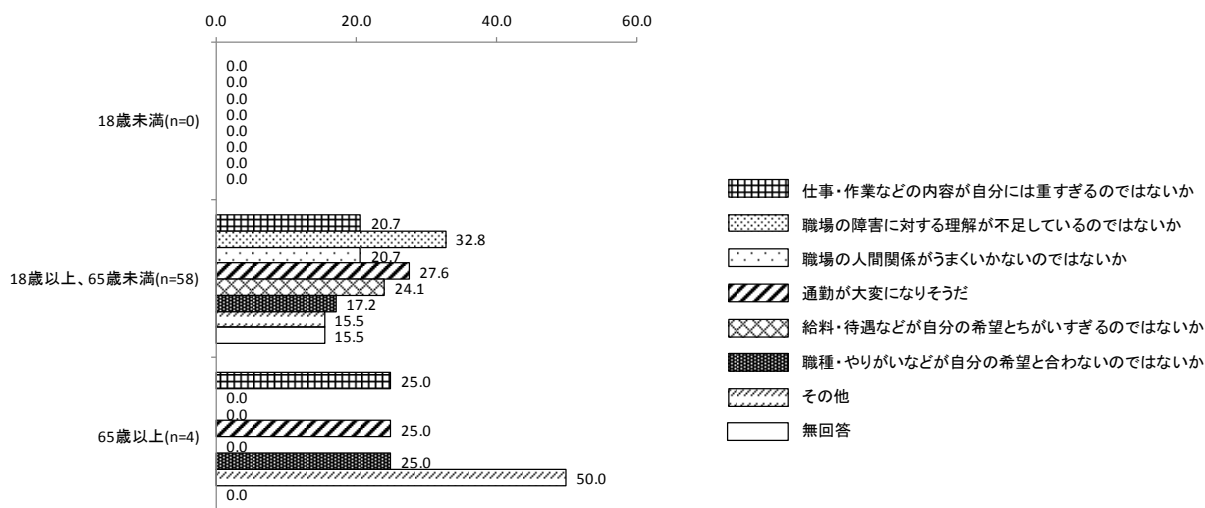
図 2-4-6-1 身体障害者の働くにあたっての心配すること [%]



年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>では「職場の障害に対する理解が不足しているのではないかと」が 32.8% で最も多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【年齢別】

図 2-4-6-2 身体障害者の働くにあたっての心配すること [%]

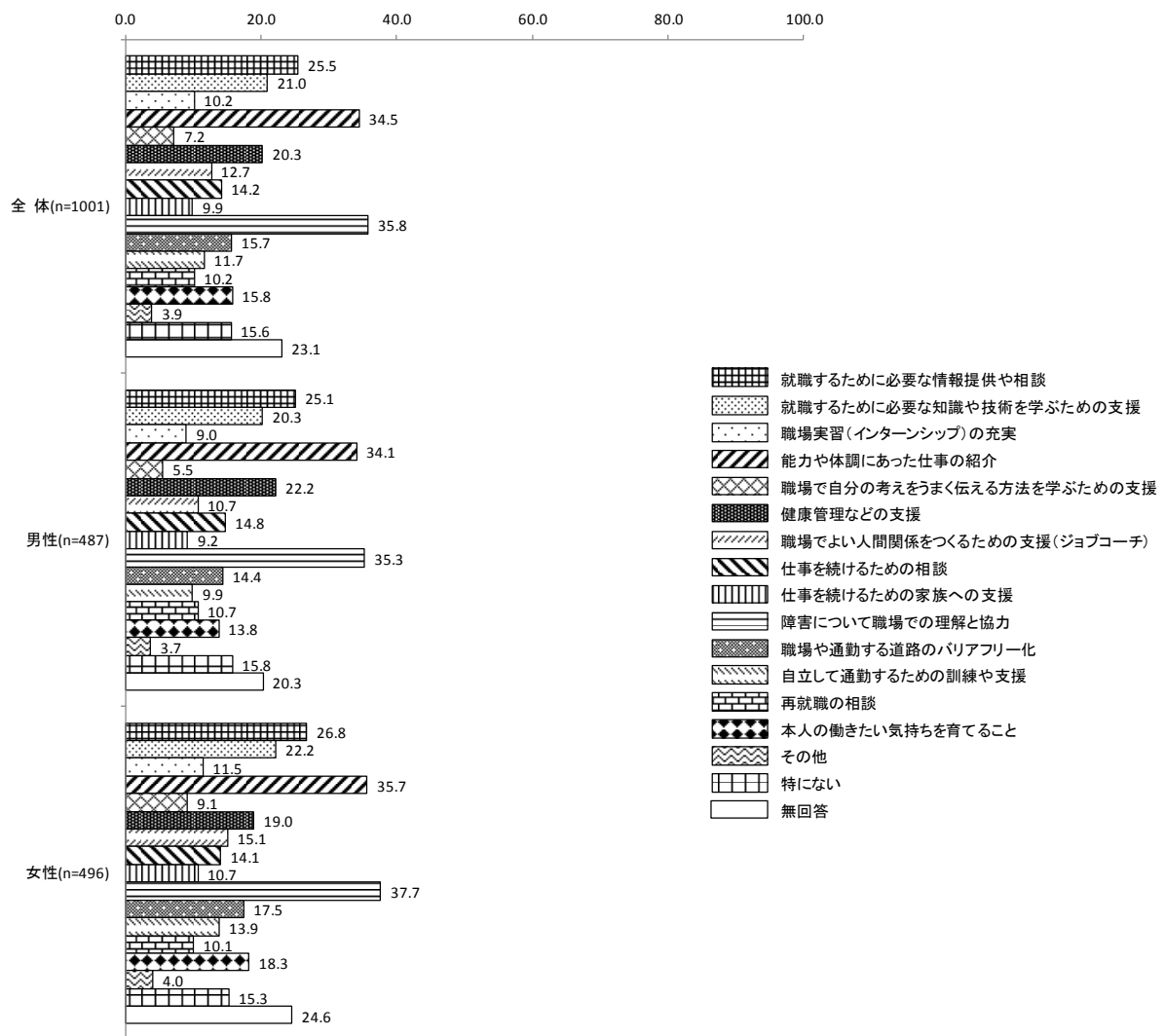


問12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に障害者が働くにあたり、必要な支援は何かを尋ねたところ、全体では「障害について職場での理解と協力」が35.8%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が34.5%でこれに次いだ。性別では<男女>共に「障害について職場での理解と協力」が35.3%と37.7%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【全体・性別】

図2-4-7-1 身体障害者の働くに際し必要な支援 [%]

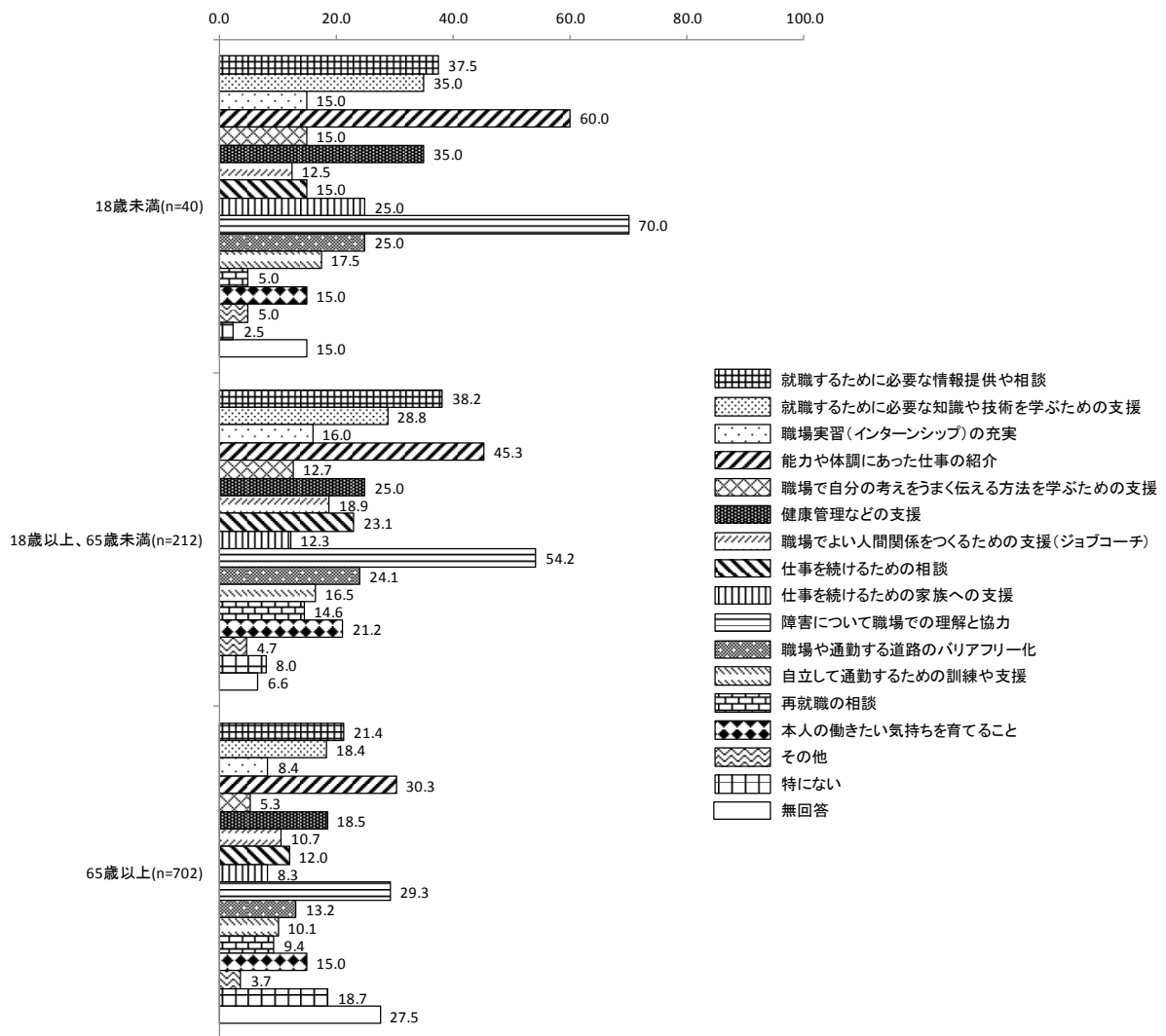


II 調査結果

年齢別にみると<18歳未満><18歳以上、65歳未満>が「障害について職場での理解と協力」で70.0%と54.2%、<65歳以上>では「能力や体調にあった仕事の紹介」が30.3%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【年齢別】

図2-4-7-2 身体障害者の働くに際し必要な支援 [%]



設問間クロス集計結果

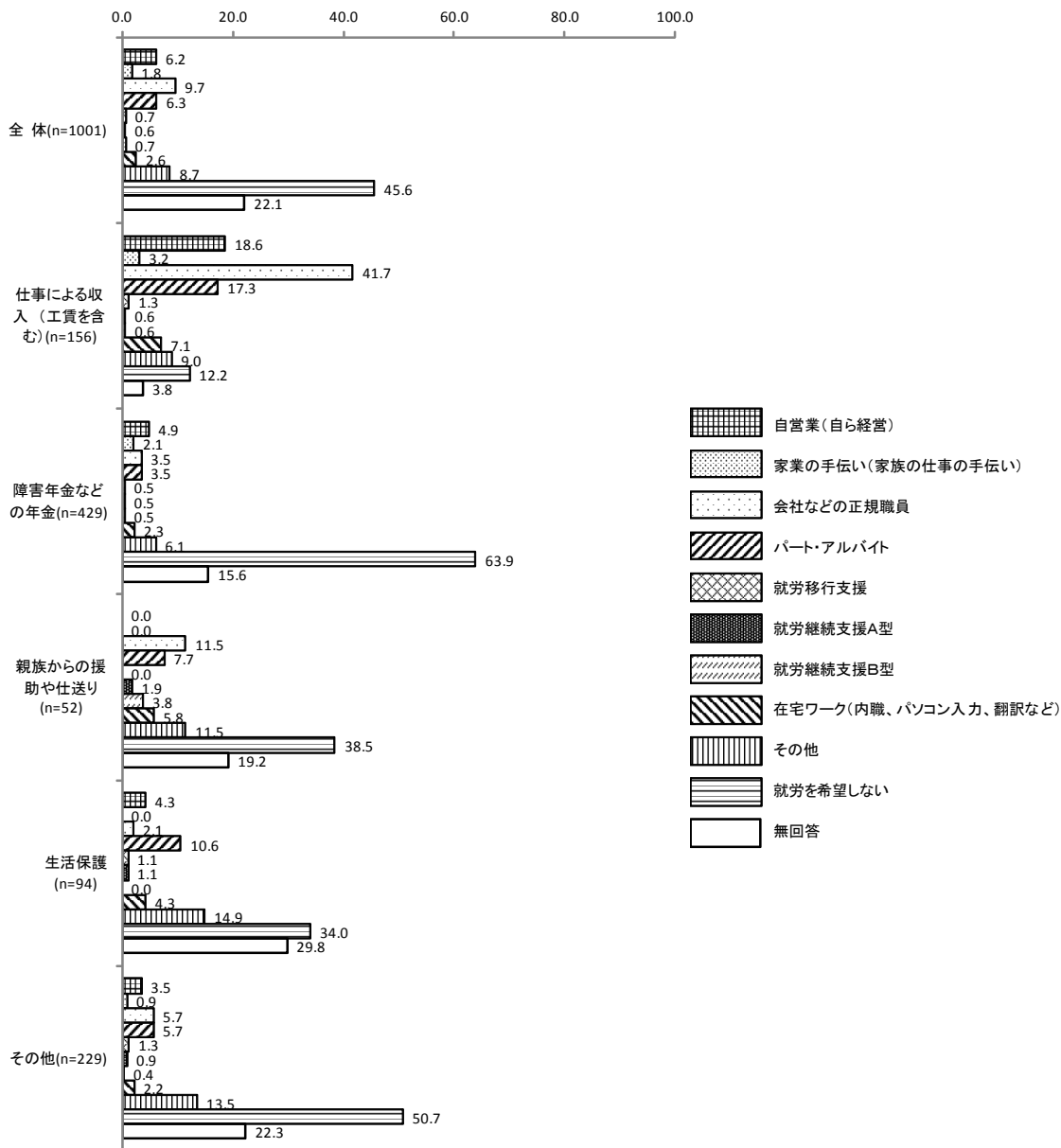
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

[問 11 すべての方にうかがいます。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。]

収入別に希望の職種を見ると、＜全体＞では「会社などの正規職員」が9.7%で最も多く、「パート・アルバイト」が6.3%でこれに次いだ。＜仕事による収入＞では「会社などの正規職員」が41.7%、＜生活保護＞では「パート・アルバイト」が10.6%で最も多かった。

問 10×問 11 収入(MA)×希望の職種(MA)

図 2-4-8 身体障害者のクロス集計 1 [%]



設問間クロス集計結果

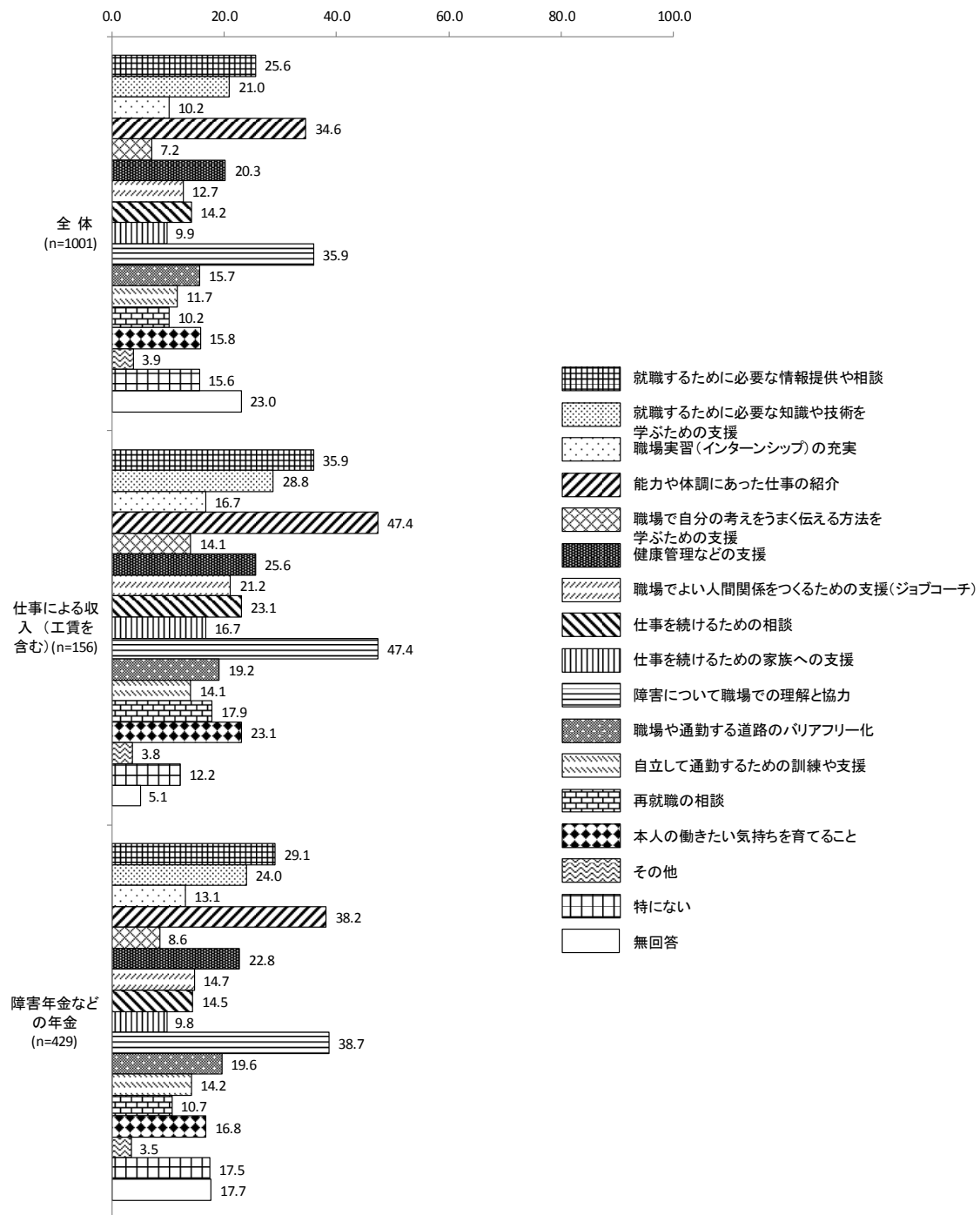
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

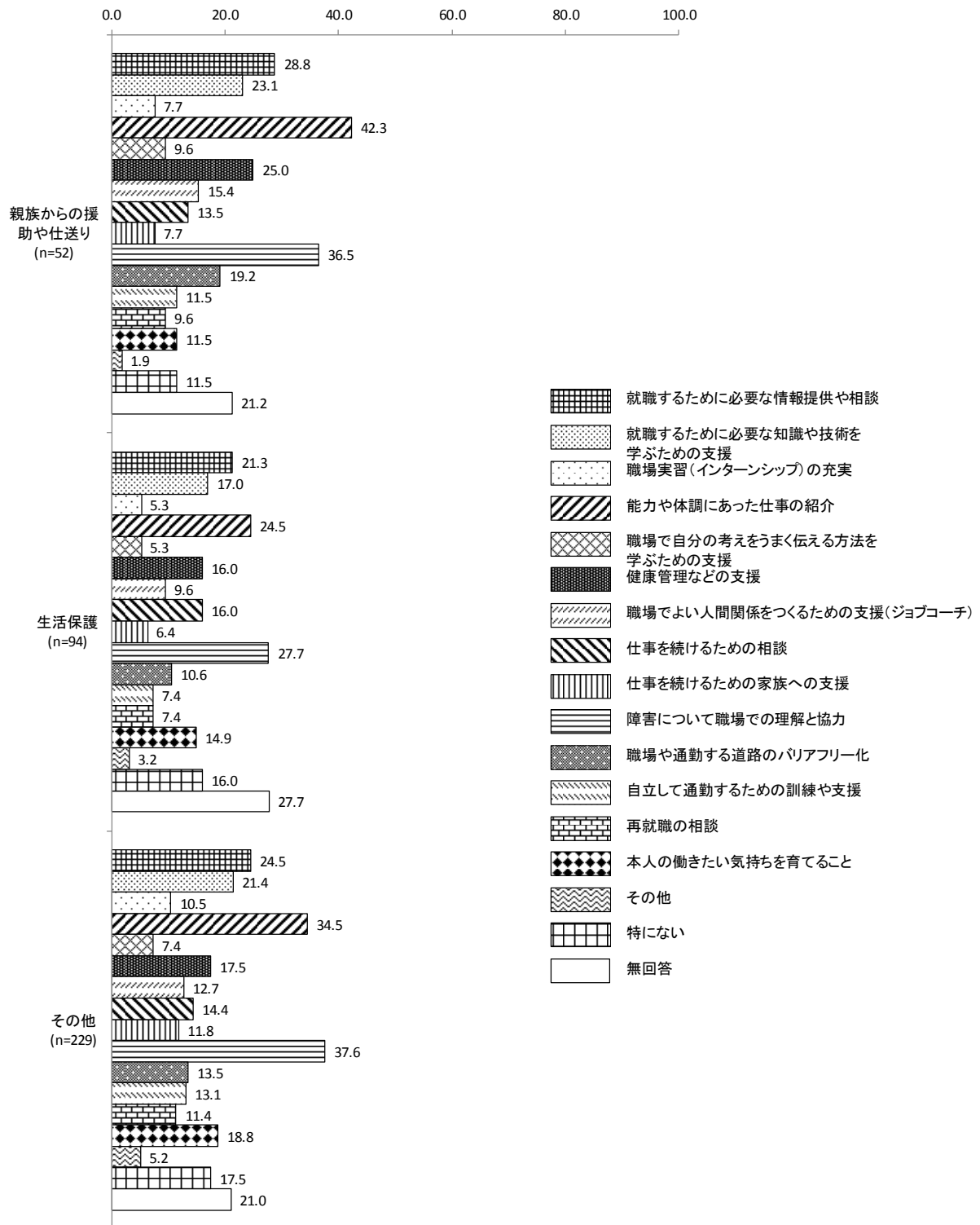
[問 12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思いますか。]

収入別に必要な支援を見ると、＜全体＞では「障害について職場の理解と協力」が35.9%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が34.6%でこれに次いだ。＜生活保護＞では「障害について職場の理解と協力」が27.7%、＜親からの援助や仕送り＞では「能力や体調にあった仕事の紹介」が42.3%で最も多かった。

問 10×問 12 対象者の収入(MA)×働くにあたり必要な支援(MA)

図 2-4-9 身体障害者のクロス集計 2 [%]



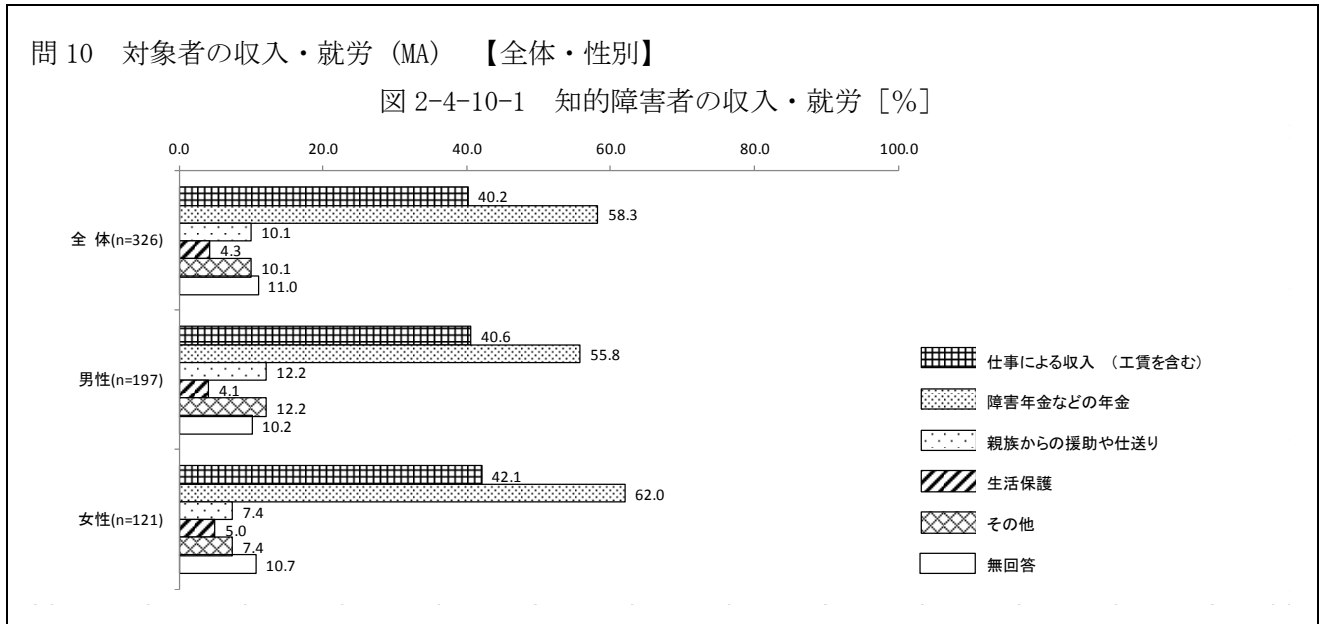


II 調査結果

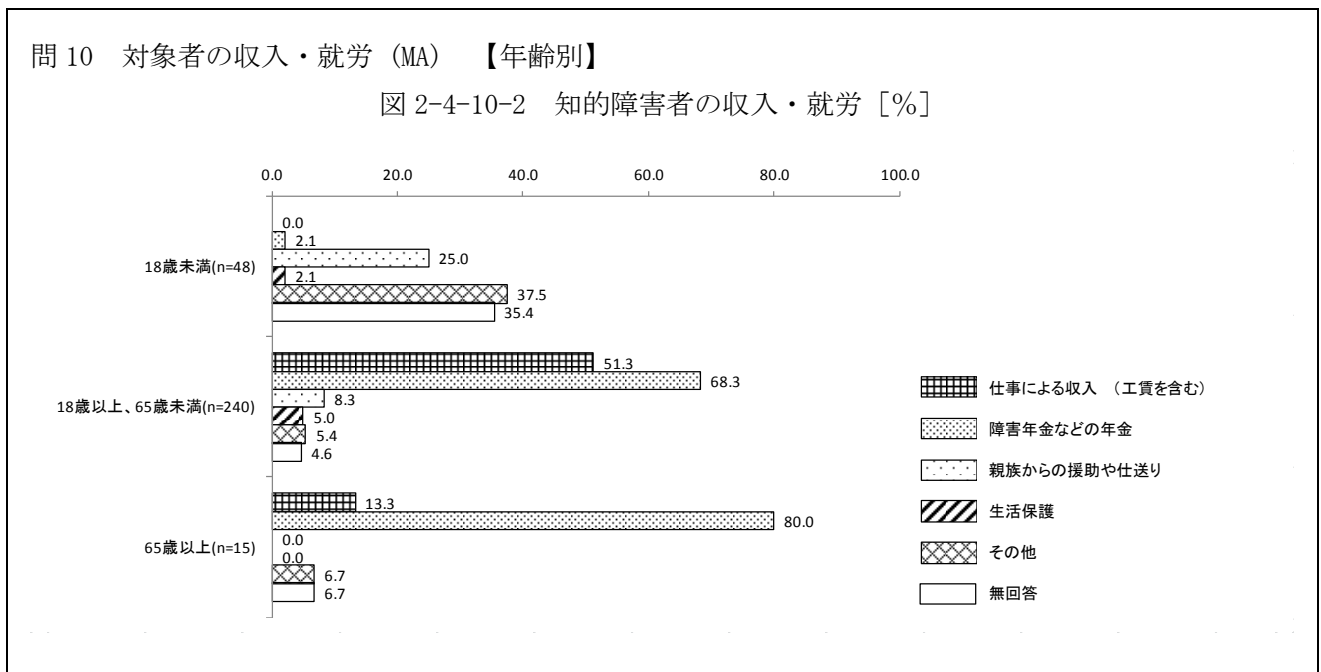
4-2 知的障害者の収入・就労について

問10 あなたの収入はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の収入・就労について尋ねたところ、＜全体＞では「障害年金などの年金」が58.3%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「障害年金などの年金」が55.8%と62.0%で最も多かった。



年齢別に見ても＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞では「障害年金などの年金」が68.3%と80.0%で最も多かった。＜18歳未満＞では「親族からの援助や仕送り」が25.0%で最も多かった。

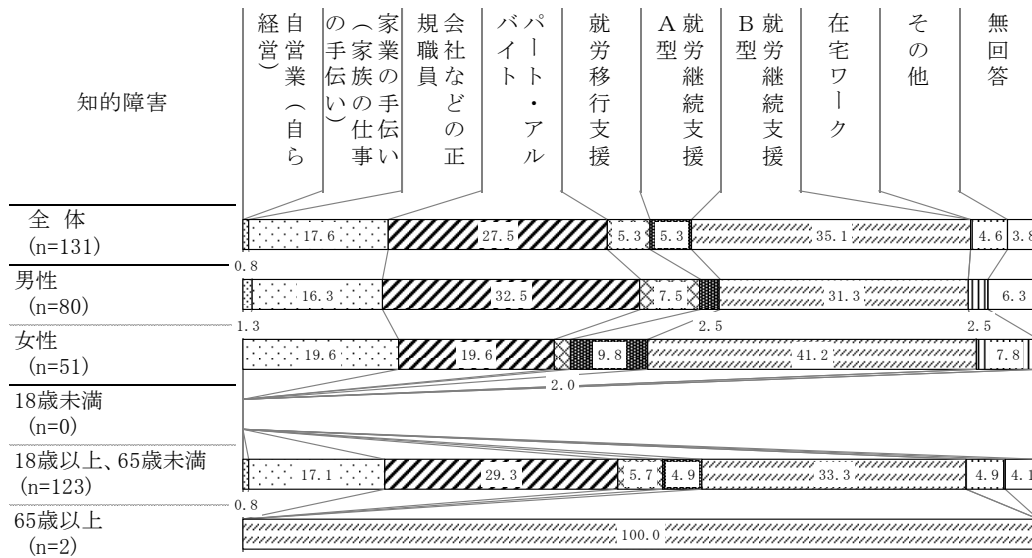


問 10-1 現在、どのような形で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

労働・仕事の形態について尋ねたところ、<全体>では「就労継続支援B型」が35.1%で最も多かった。性別では<男性>で「パート・アルバイト」が32.5%、<女性>で「就労継続支援B型」が41.2%で最も多かった。年齢別に見ると、<18歳以上、65歳未満>で「就労継続支援B型」が33.3%が多い。

問 10-1 労働の形態 (SA)

図 2-4-11 知的障害者の労働形態 [%]

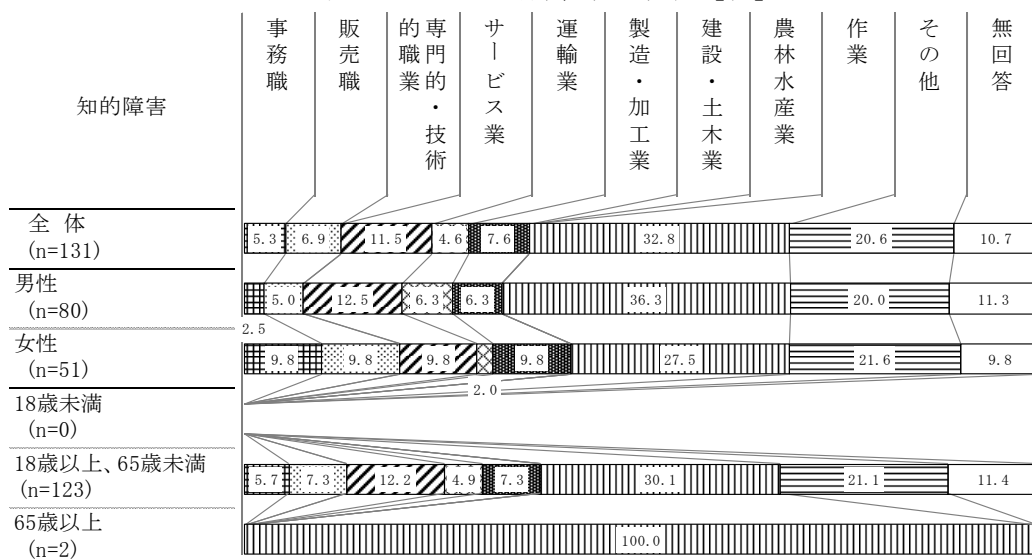


問 10-2 現在、どのような職種で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

労働・仕事の職種について尋ねたところ、<全体>では「作業」が32.8%で最も多かった。性別では<男女>共に「作業」が36.3%と27.5%が多い。年齢別では<18歳以上、65歳未満>で「作業」が30.1%が多い。

問 10-2 職種 (SA)

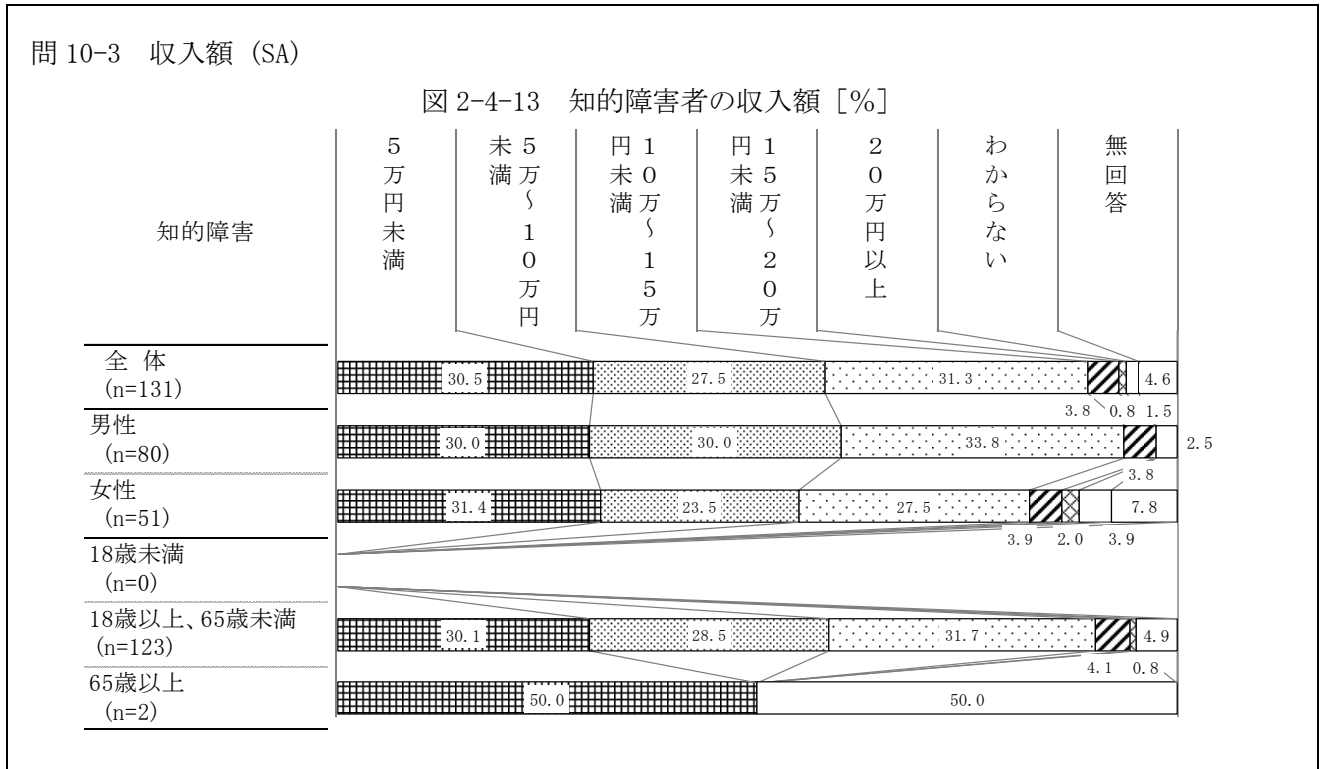
図 2-4-12 知的障害者の職種 [%]



II 調査結果

問 10-3 あなたの収入額は月平均どれぐらいですか。

労働・仕事の収入額について尋ねたところ、＜全体＞では「10万～15万円未満」が31.3%で最も多かった。ただし性別では＜男性＞で「10万～15万円未満」が33.8%、＜女性＞で「5万円未満」が31.4%で最も多い。年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞で「10万～15万円未満」が31.7%で多い。

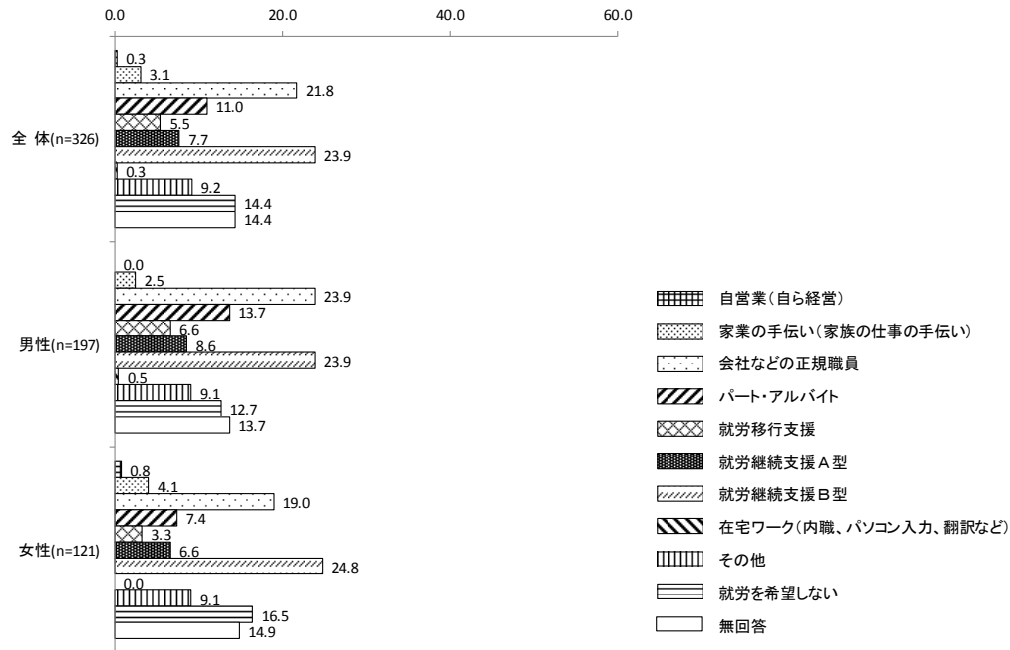


問 11 すべての方に向かってあります。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。

対象者に今後の労働形態について、その希望を尋ねたところ、＜全体＞では「就労継続支援B型」が23.9%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「就労継続支援B型」が23.9%と24.8%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【全体・性別】

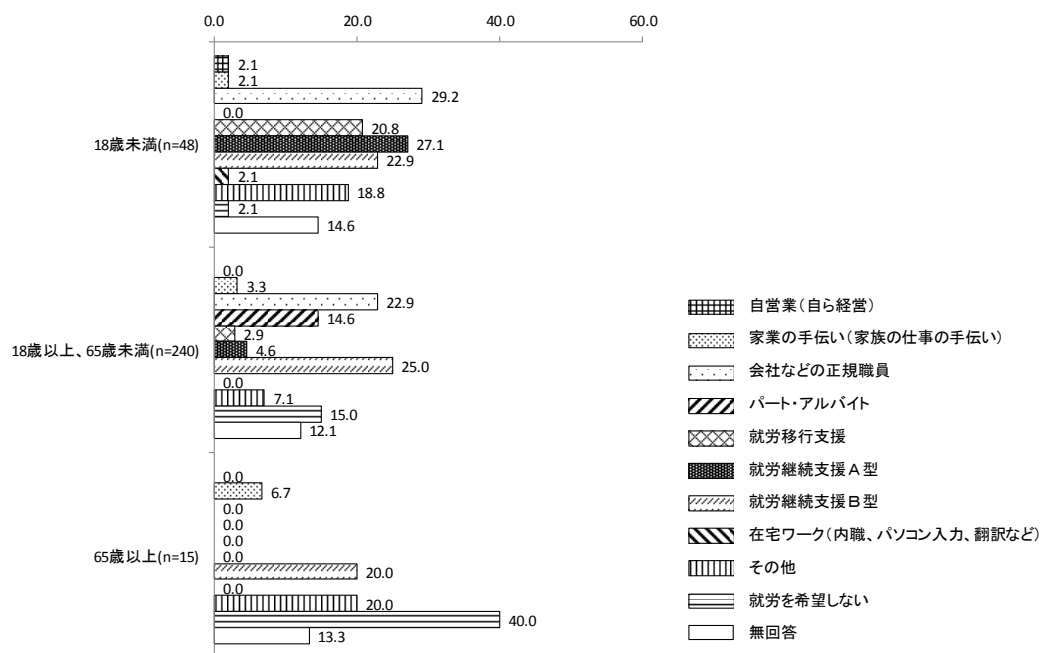
図 2-4-14-1 知的障害者の希望労働形態 [%]



年齢別に見ると＜18歳未満＞では「会社などの正規職員」が29.2%で、＜18歳以上、65歳未満＞では「就労継続支援B型」が25.0%となっている。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【年齢別】

図 2-4-14-2 知的障害者の希望労働形態 [%]



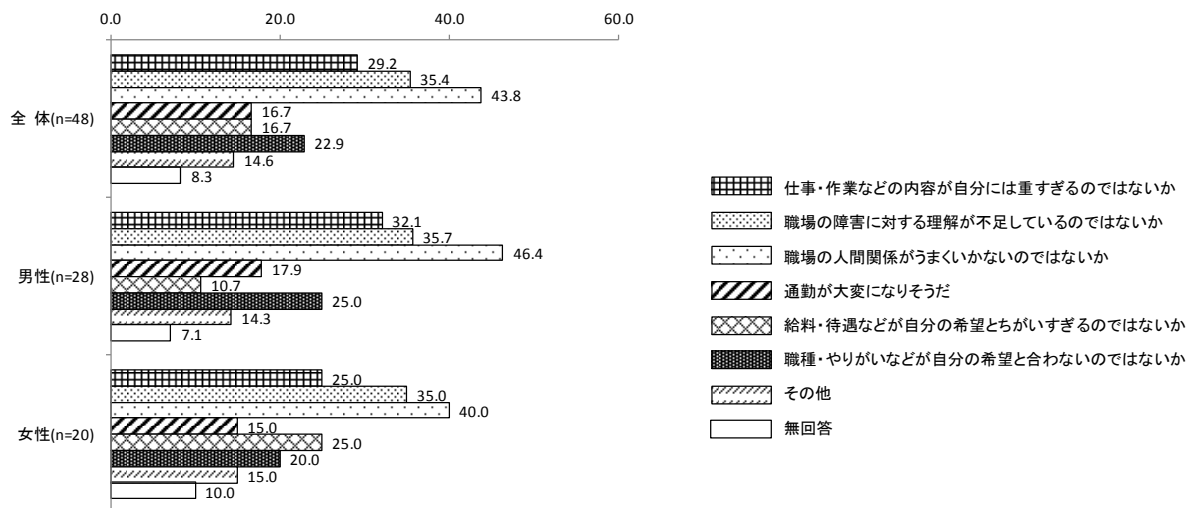
II 調査結果

問 11-1 会社などで働くにあたり心配なことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

会社など正規職員を希望する対象者に、働くにあたっての心配することを尋ねたところ、〈全体〉では「職場の人間関係がうまくいかないのではないか」が43.8%と最も多かった。性別では〈男女〉共に「職場の人間関係がうまくいかないのではないか」が46.4%と、40.0%で最も多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【全体・性別】

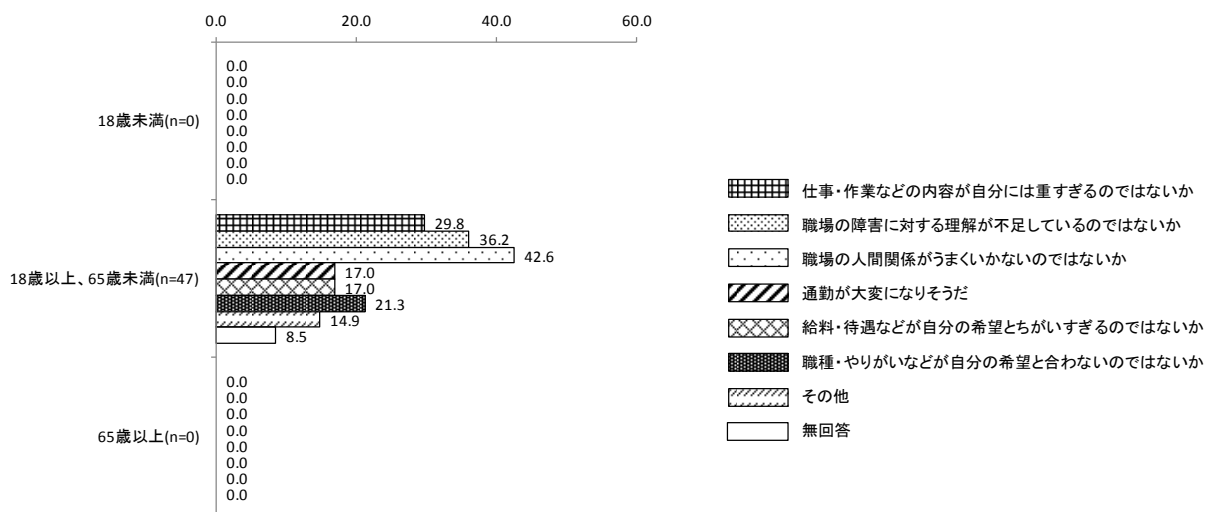
図 2-4-15-1 知的障害者の働くにあたっての心配すること [%]



年齢別で見ると〈18歳以上、65歳未満〉で「職場の人間関係がうまくいかないのではないか」が42.6%で最も多かった。

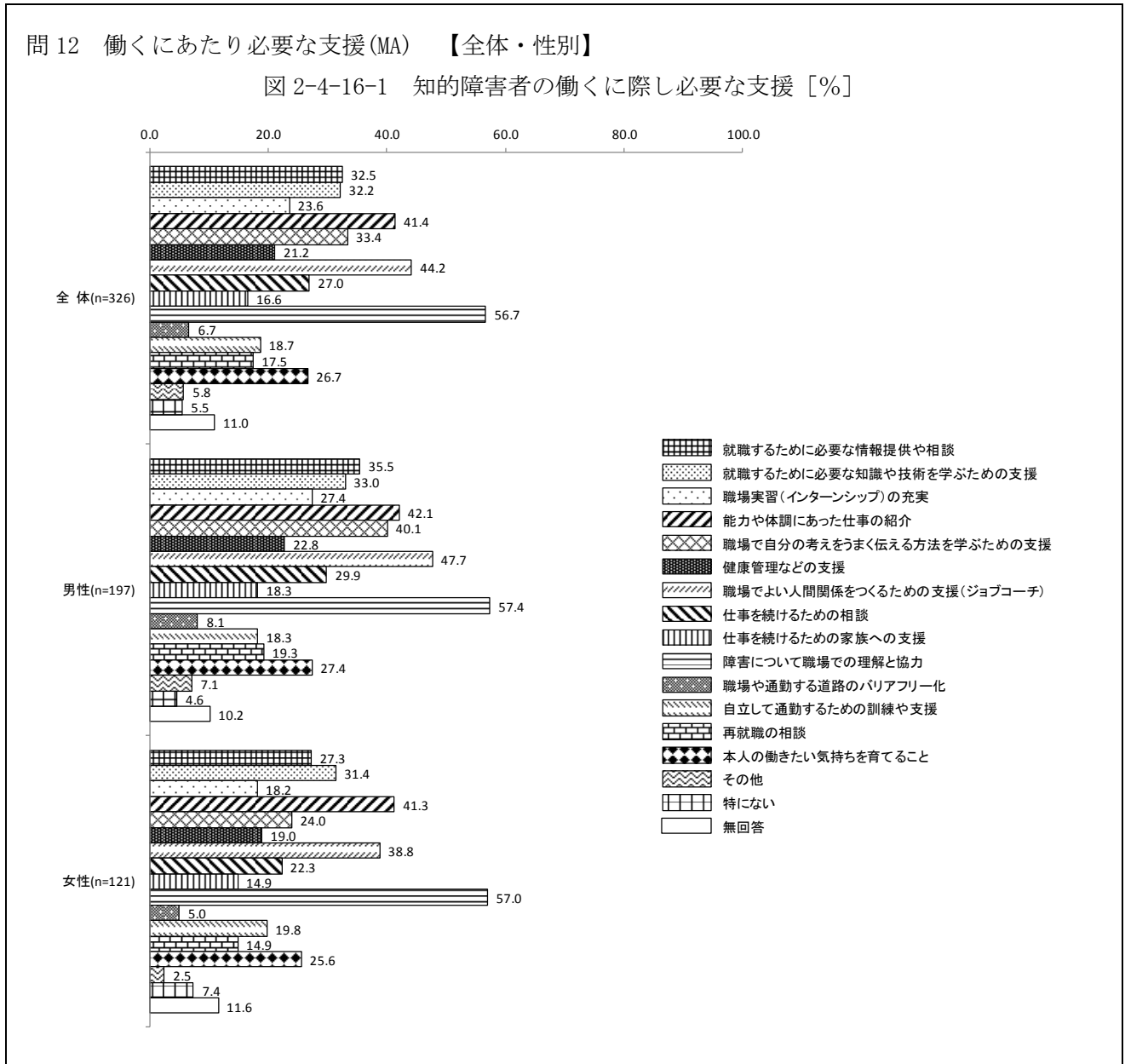
問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【年齢別】

図 2-4-15-2 知的障害者の働くにあたっての心配すること [%]



問12 すべての方に向かっていきます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に障害者が働くにあたり、必要な支援は何かを尋ねたところ、＜全体＞では「障害について職場での理解と協力」が56.7%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「障害について職場での理解と協力」が57.4%と57.0%で最も多かった。

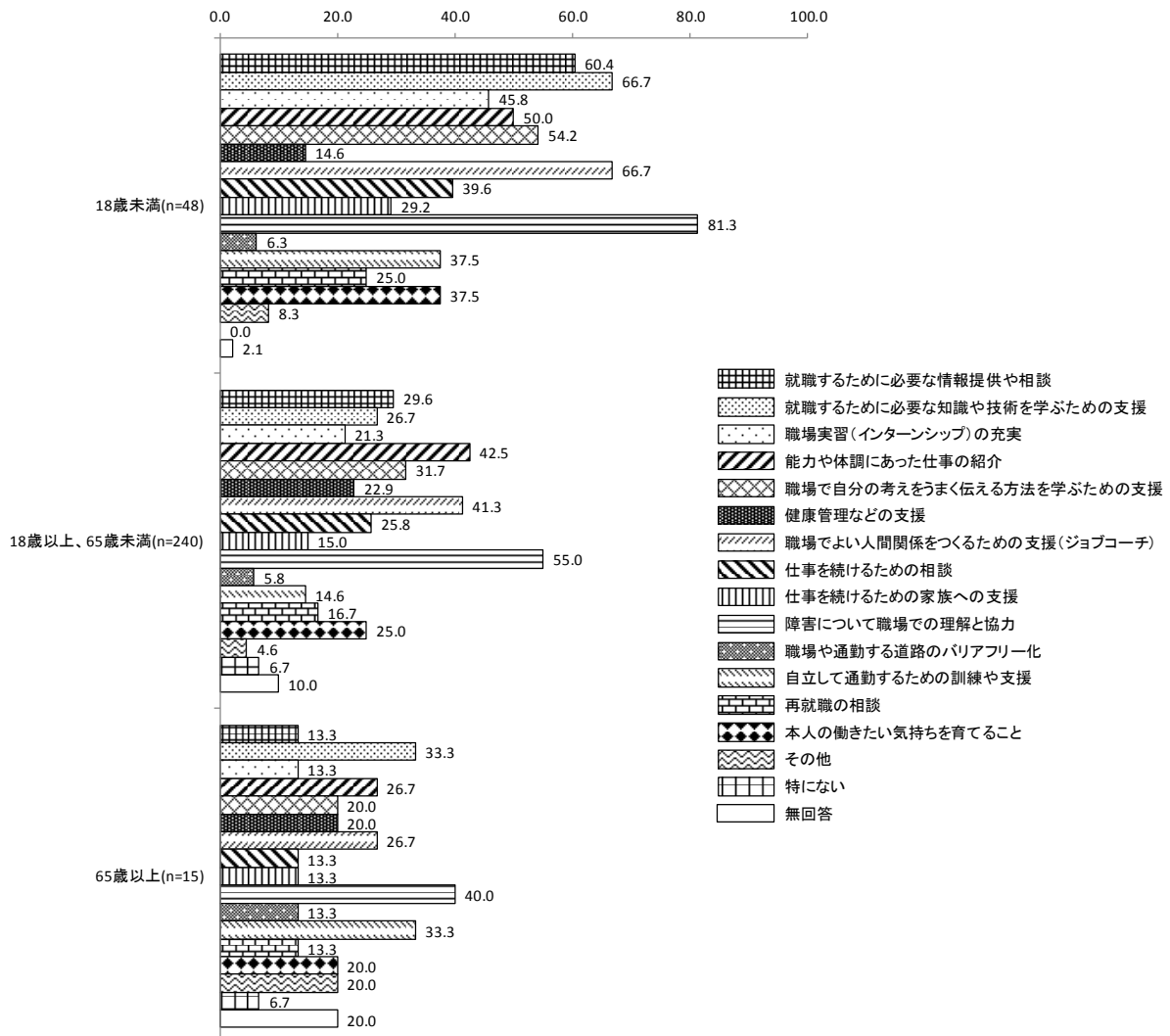


II 調査結果

年齢別に見ても<18歳未満><18歳以上、65歳未満><65歳以上>で「障害について職場での理解と協力」が81.3%、55.0%、40.0%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【年齢別】

図 2-4-16-2 知的障害者の働くに際し必要な支援 [%]



設問間クロス集計結果

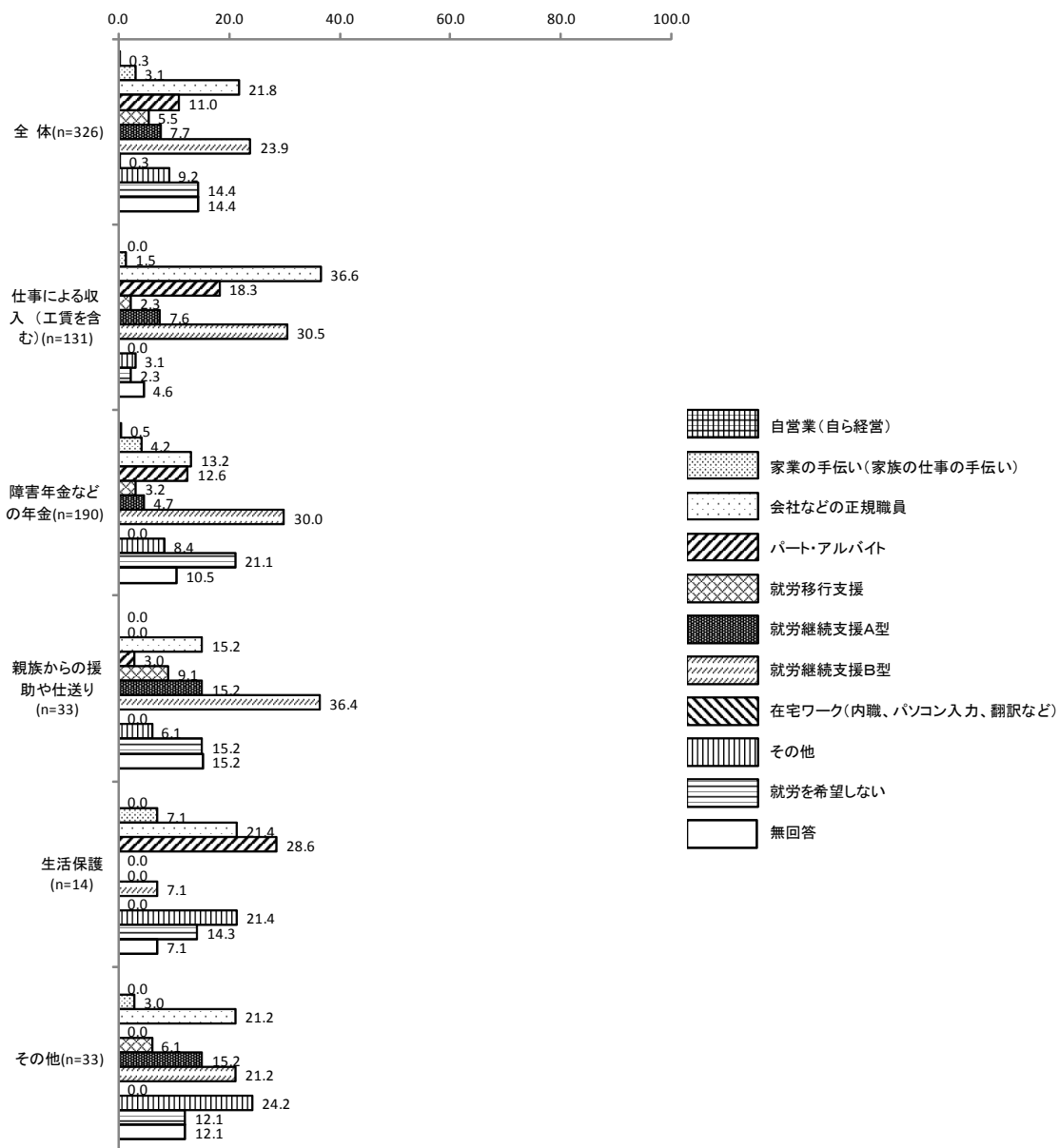
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

[問 11 すべての方にうかがいます。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。]

収入別に希望の職種を見ると、＜全体＞では「就労継続支援B型」が23.9%で最も多く、「会社などの正規職員」が21.8%でこれに次いだ。＜仕事による収入＞では「会社などの正規職員」が36.6%、＜障害年金などの年金＞と＜親族からの援助や仕送り＞では「就労継続支援B型」が30.0%と36.4%で最も多かった。

問 10×問 11 収入(MA)×希望の職種(MA)

図 2-4-17 知的障害者のクロス集計 1 [%]



設問間クロス集計結果

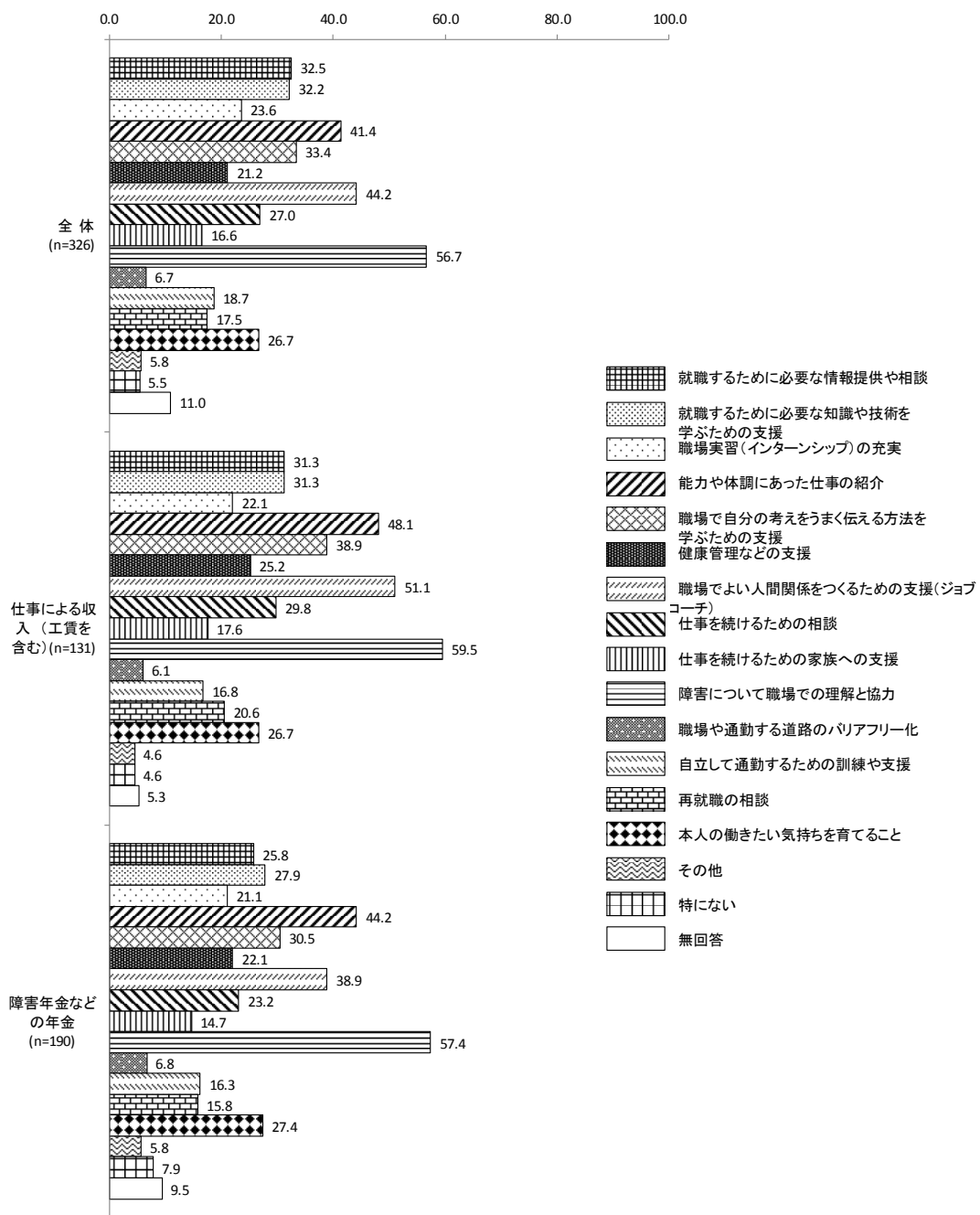
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

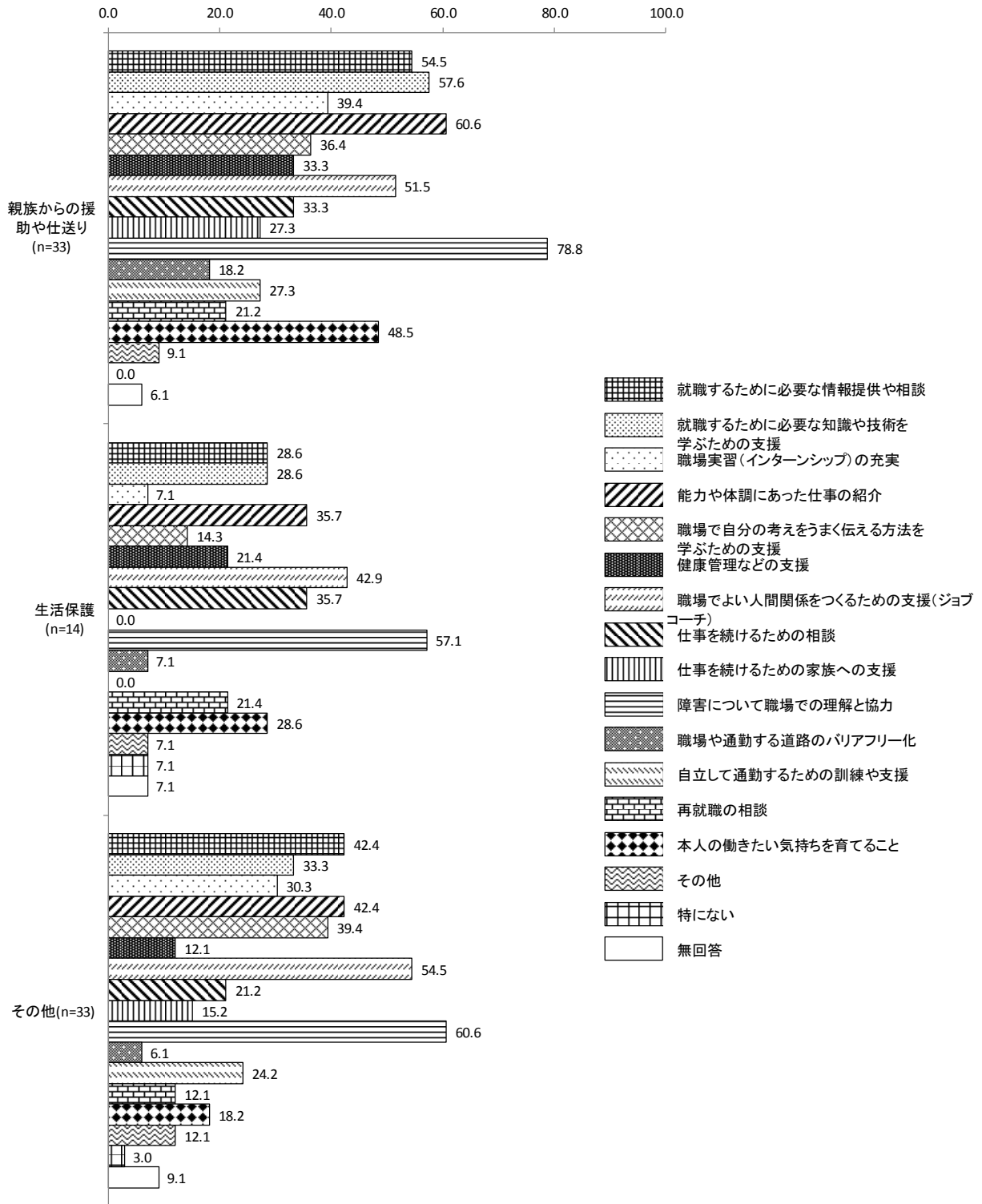
[問 12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思いますか。]

収入別に必要な支援を見ると、＜全体＞では「障害について職場の理解と協力」が56.7%で最も多く、「職場でよい人間関係をつくる支援（ジョブコーチ）」が44.2%でこれに次いだ。＜親族からの援助や仕送り＞では「障害について職場の理解と協力」が78.8%で、＜仕事による収入＞では「職場でよい人間関係をつくる支援（ジョブコーチ）」が51.1%で比較的多かった。

問 10×問 12 対象者の収入(MA)×働くにあたり必要な支援(MA)

図 2-4-18 知的障害者のクロス集計 2 [%]



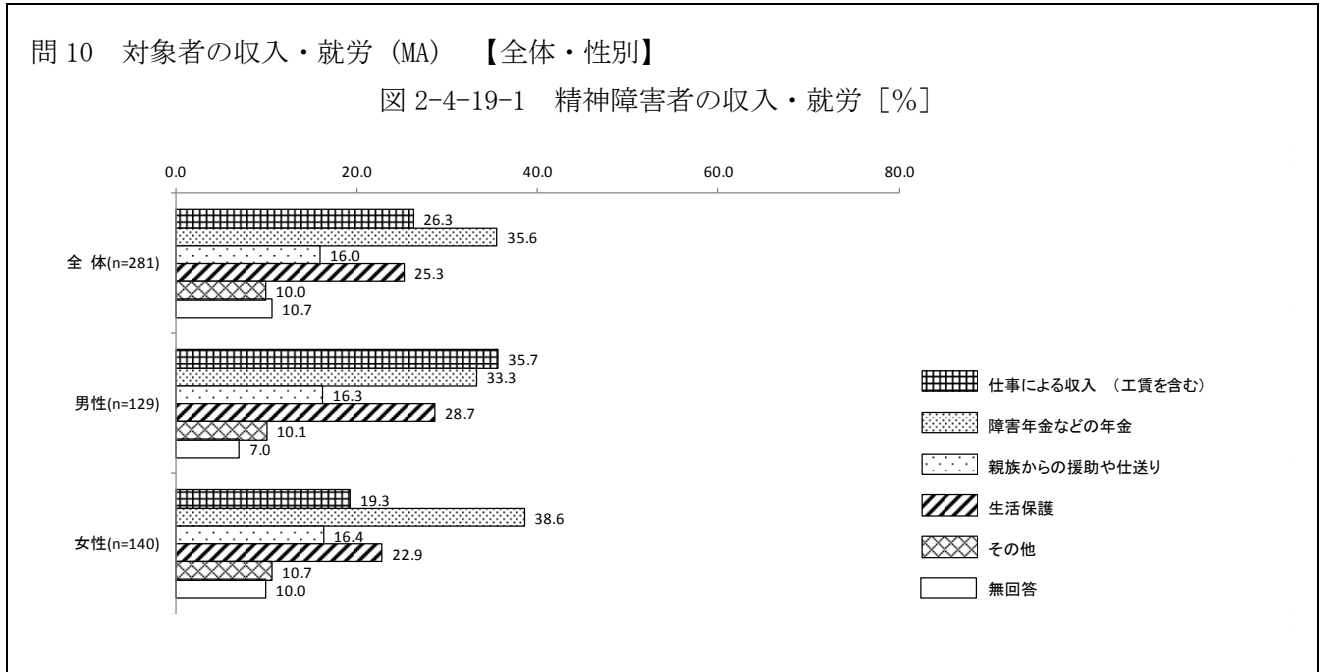


II 調査結果

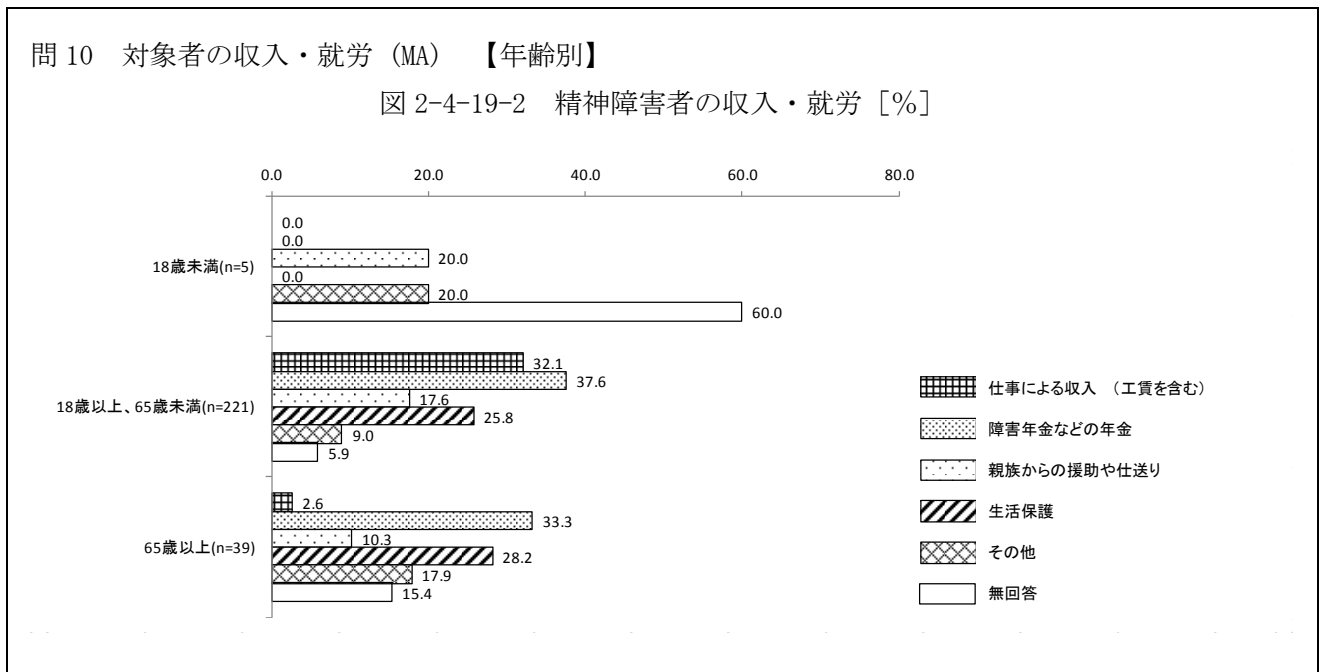
4-3 精神障害者の収入・就労について

問10 あなたの収入はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の収入・就労について尋ねたところ、＜全体＞では「障害年金などの年金」が35.6%で最も多かった。性別では＜男性＞が「仕事による収入（工賃を含む）」で35.7%、＜女性＞が「障害年金などの年金」が38.6%で最も多かった。

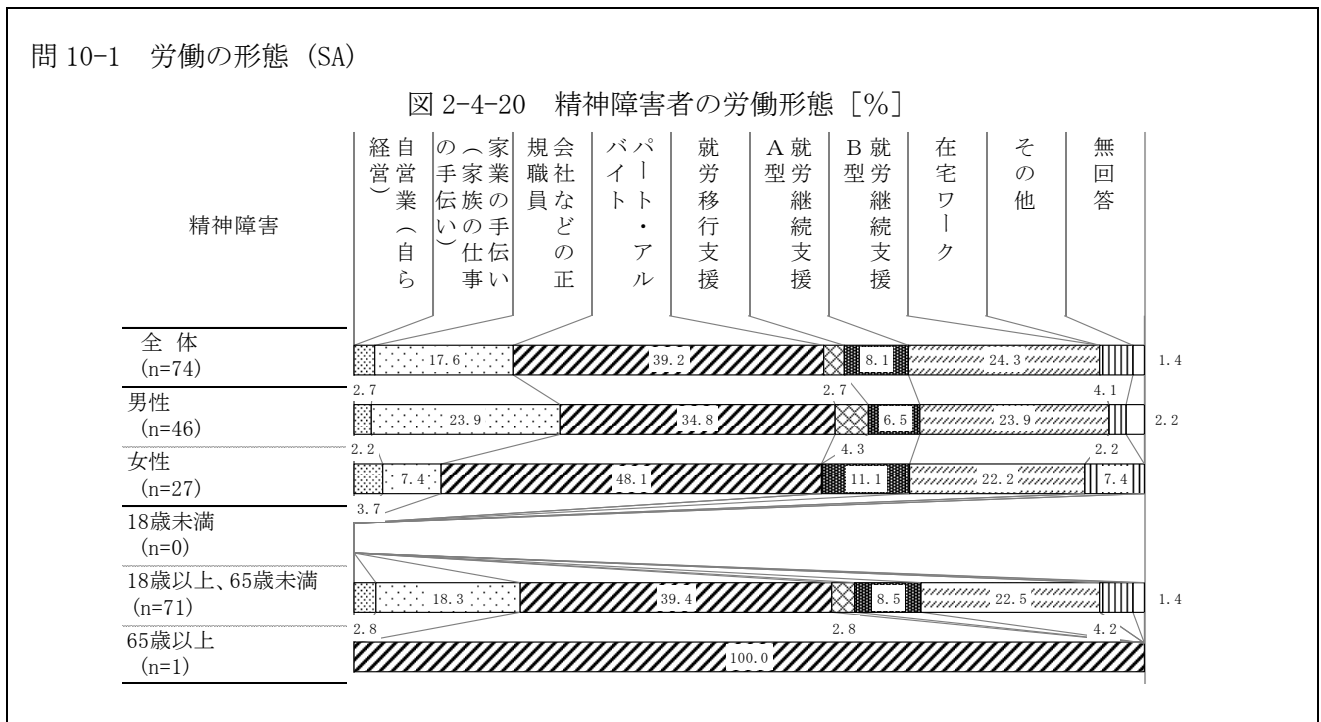


年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞では「障害年金などの年金」が37.6%と33.3%で最も多かった。



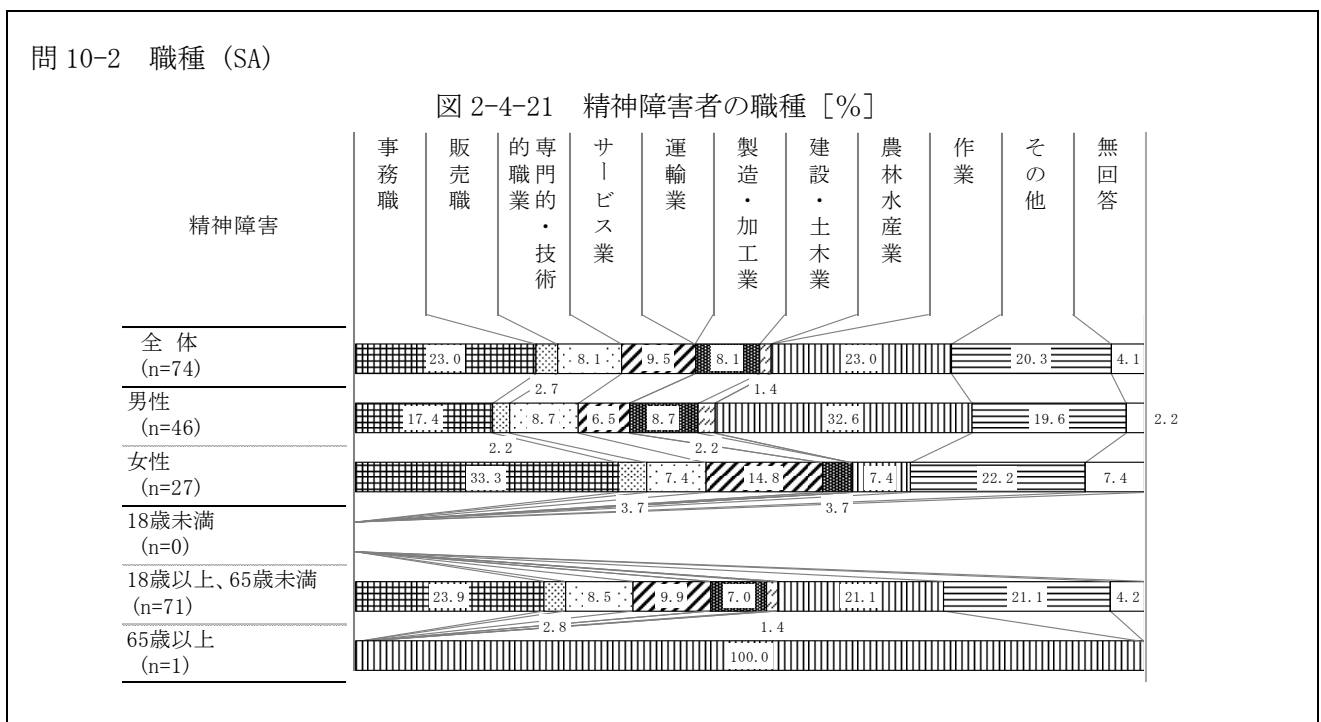
問 10-1 現在、どのような形で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

労働・仕事の形態について尋ねたところ、＜全体＞では「パート・アルバイト」が39.2%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「パート・アルバイト」が34.8%と48.1%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞で「パート・アルバイト」が39.4%で多い。



問 10-2 現在、どのような職種で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

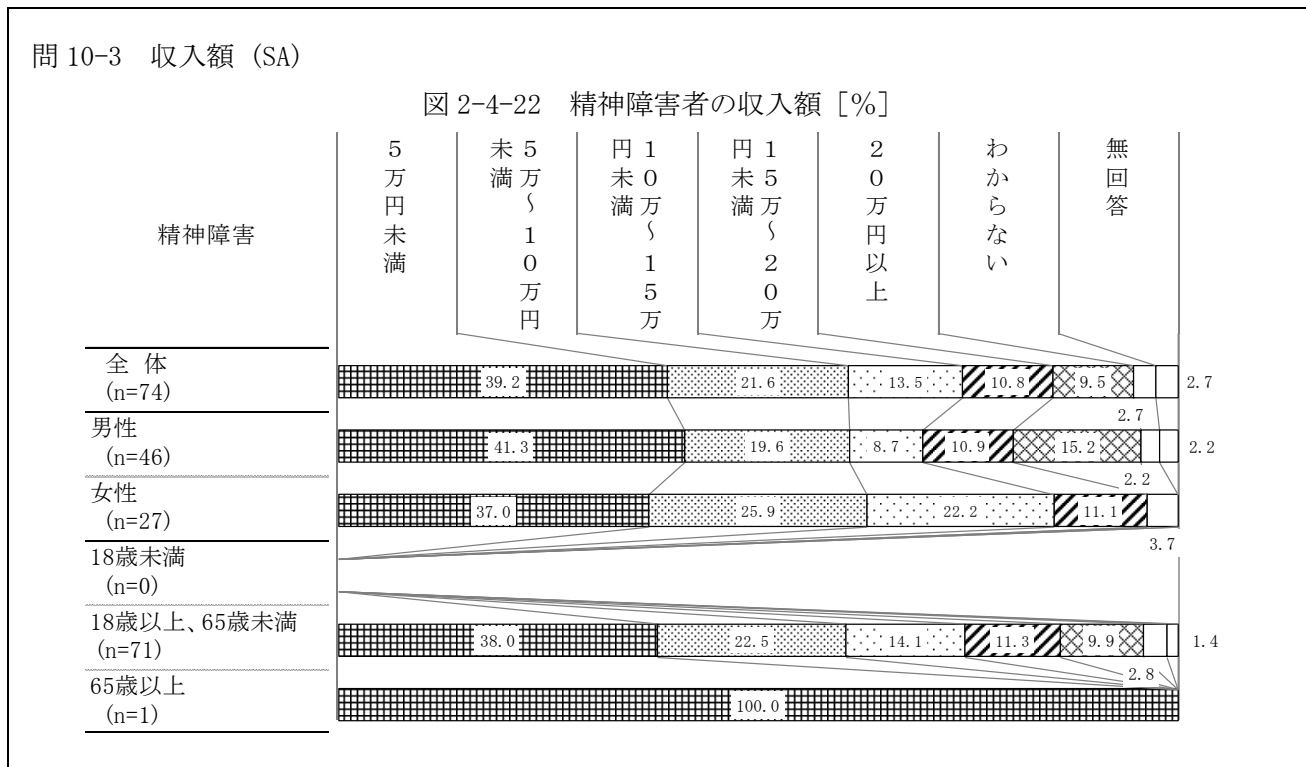
労働・仕事の職種について尋ねたところ、＜全体＞では「事務職」と「作業」が23.0%で最も多かった。性別では＜男性＞で「作業」が32.6%、＜女性＞で「事務職」が33.3%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「事務職」が23.9%で多い。



II 調査結果

問 10-3 あなたの収入額は月平均どれぐらいですか。

労働・仕事の収入額について尋ねたところ、＜全体＞では「5万円未満」が39.2%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「5万円未満」が41.3%と37.0%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞で「5万円未満」が38.0%が多い。

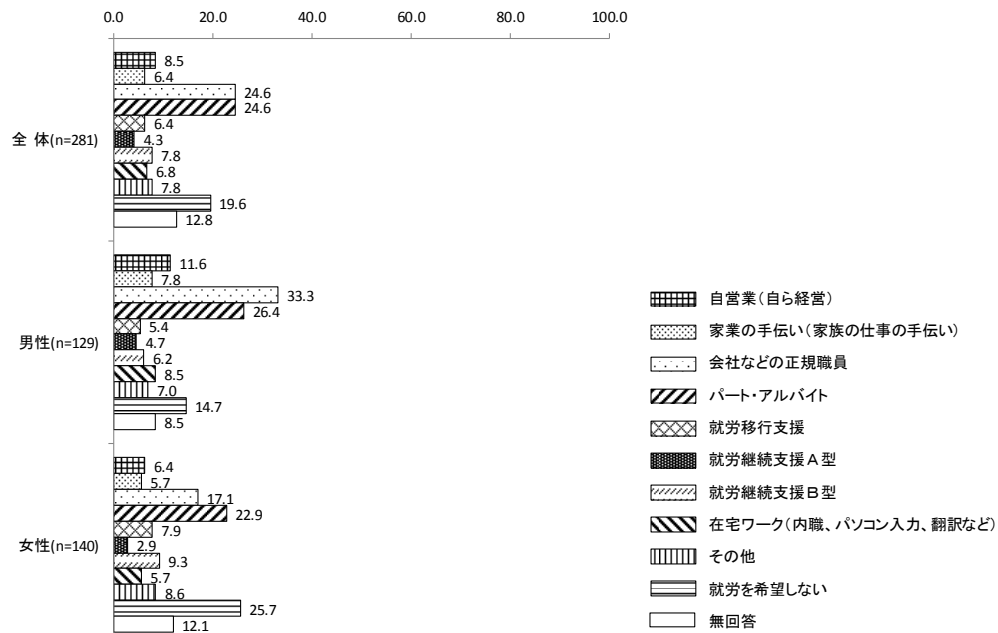


問 11 すべての方にかかっています。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。

対象者に今後の労働形態の希望を尋ねたところ、＜全体＞では「会社などの正規職員」と「パート・アルバイト」が24.6%で多かった。性別では＜男性＞で「会社などの正規職員」が33.3%、＜女性＞では「パート・アルバイト」が22.9%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【全体・性別】

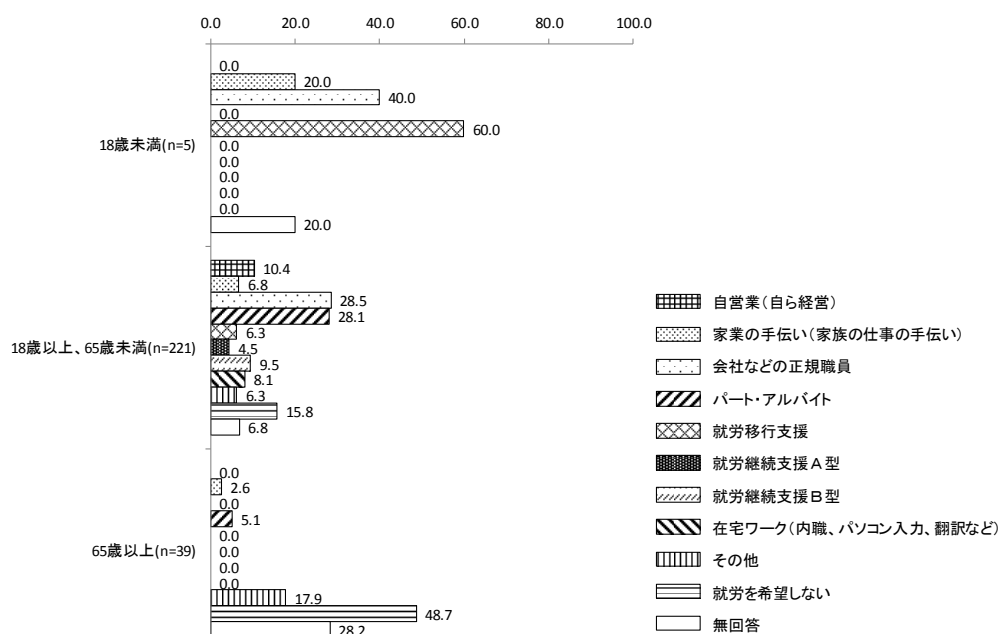
図 2-4-23-1 精神障害者の希望労働形態 [%]



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞では「会社などの正規職員」が28.5%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【年齢別】

図 2-4-23-2 精神障害者の希望労働形態 [%]



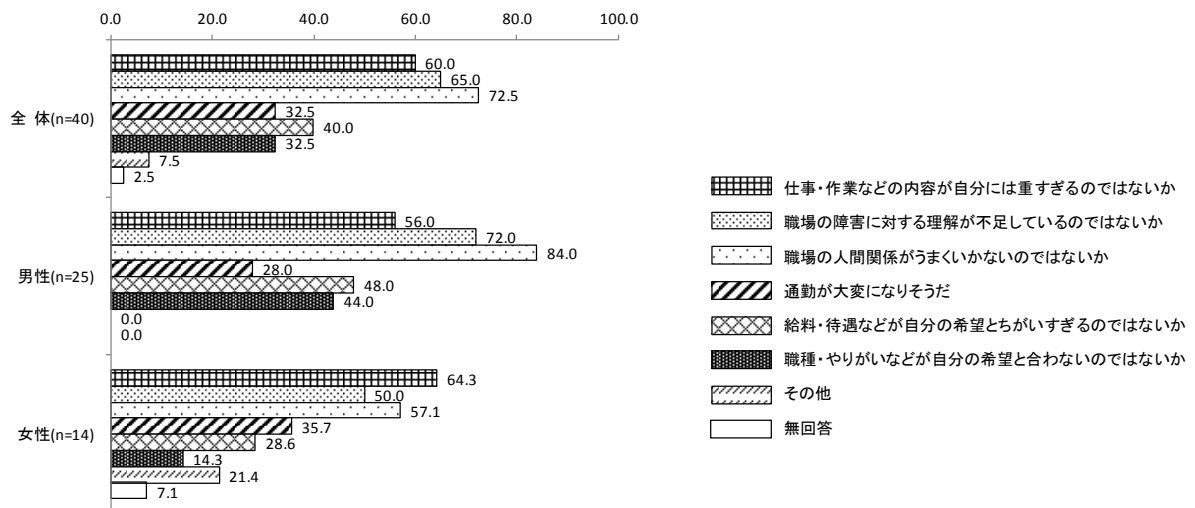
II 調査結果

問 11-1 会社などで働くにあたり心配なことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

会社など正規職員を希望する対象者に、働くにあたっての心配することを尋ねたところ、<全体>では「職場の人間関係がうまくいかないのではないか」が72.5%で最も多かった。性別では<男性>で「職場の人間関係がうまくいかないのではないか」が84.0%、<女性>で「仕事・作業などの内容が自分には重すぎるのではないか」が64.3%で最も多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【全体・性別】

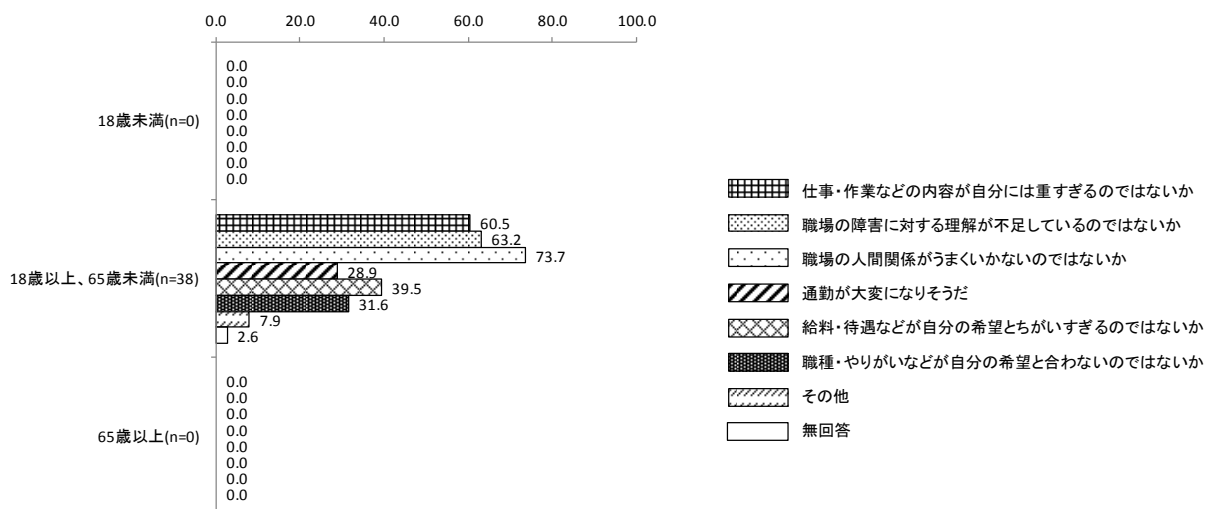
図 2-4-24-1 精神障害者の働くにあたっての心配すること [%]



年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>で「職場の人間関係がうまくいかないのではないか」が73.7%で最も多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【年齢別】

図 2-4-24-2 精神障害者の働くにあたっての心配すること [%]

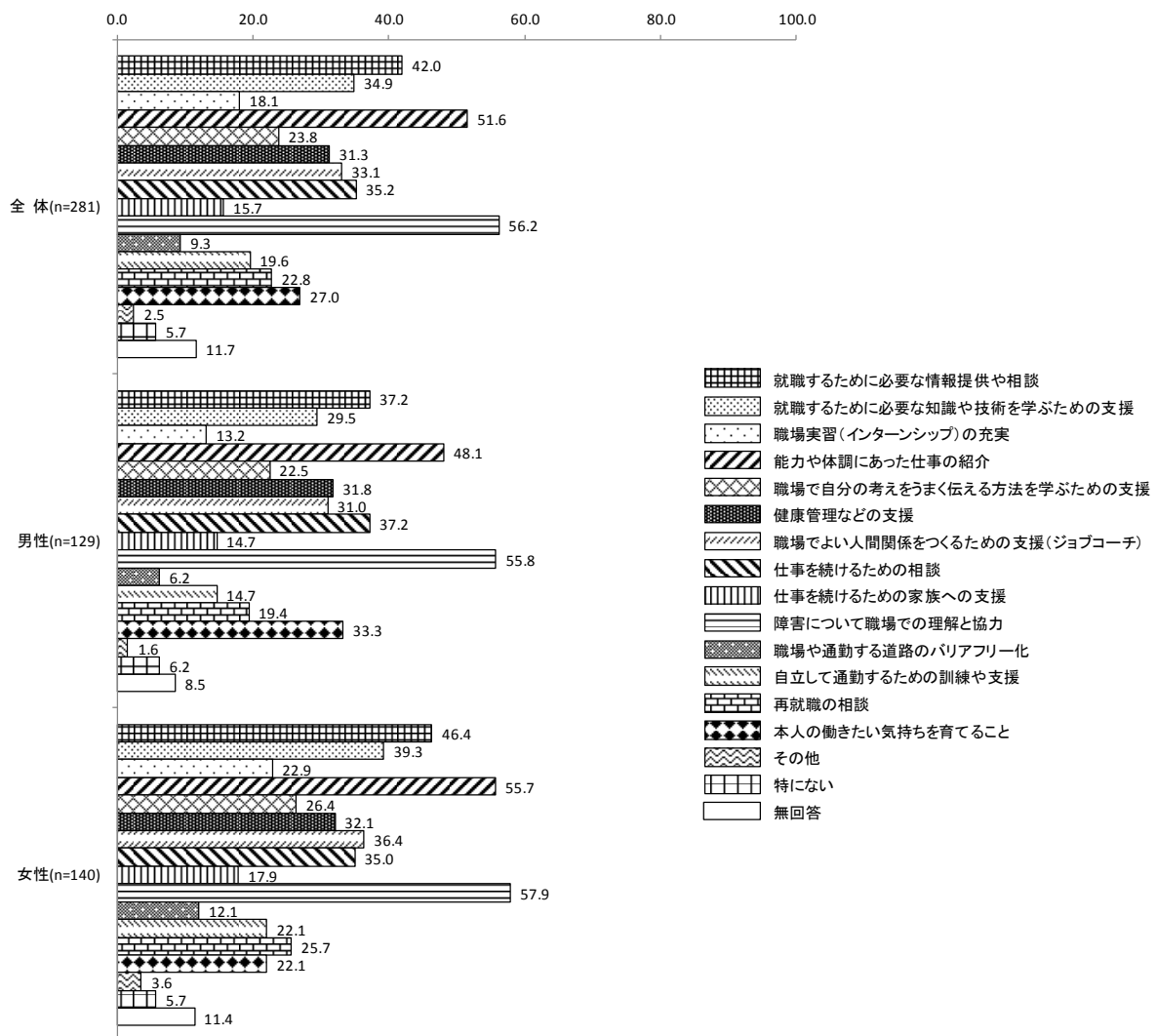


問12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に障害者が働くにあたり、必要な支援は何かを尋ねたところ、＜全体＞では「障害について職場での理解と協力」が56.2%で最も多かった。＜男女＞共に「障害について職場での理解と協力」が55.8%と57.9%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【全体・性別】

図 2-4-25-1 精神障害者の働くに際し必要な支援 [%]

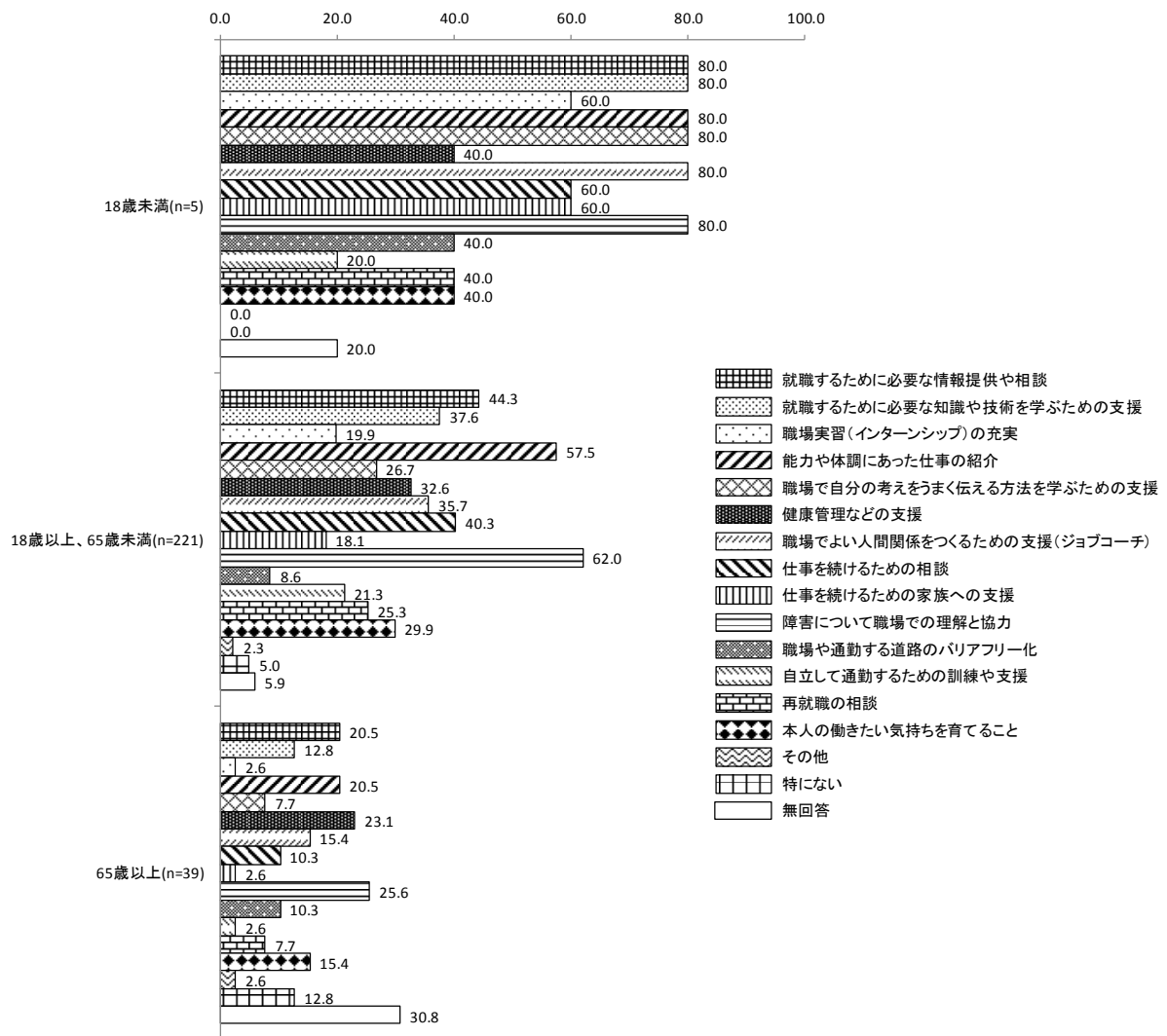


II 調査結果

年齢別に見ても<18歳以上、65歳未満><65歳以上>共に「障害について職場での理解と協力」が62.0%と25.6%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【年齢別】

図 2-4-25-2 精神障害者の働くに際し必要な支援 [%]



設問間クロス集計結果

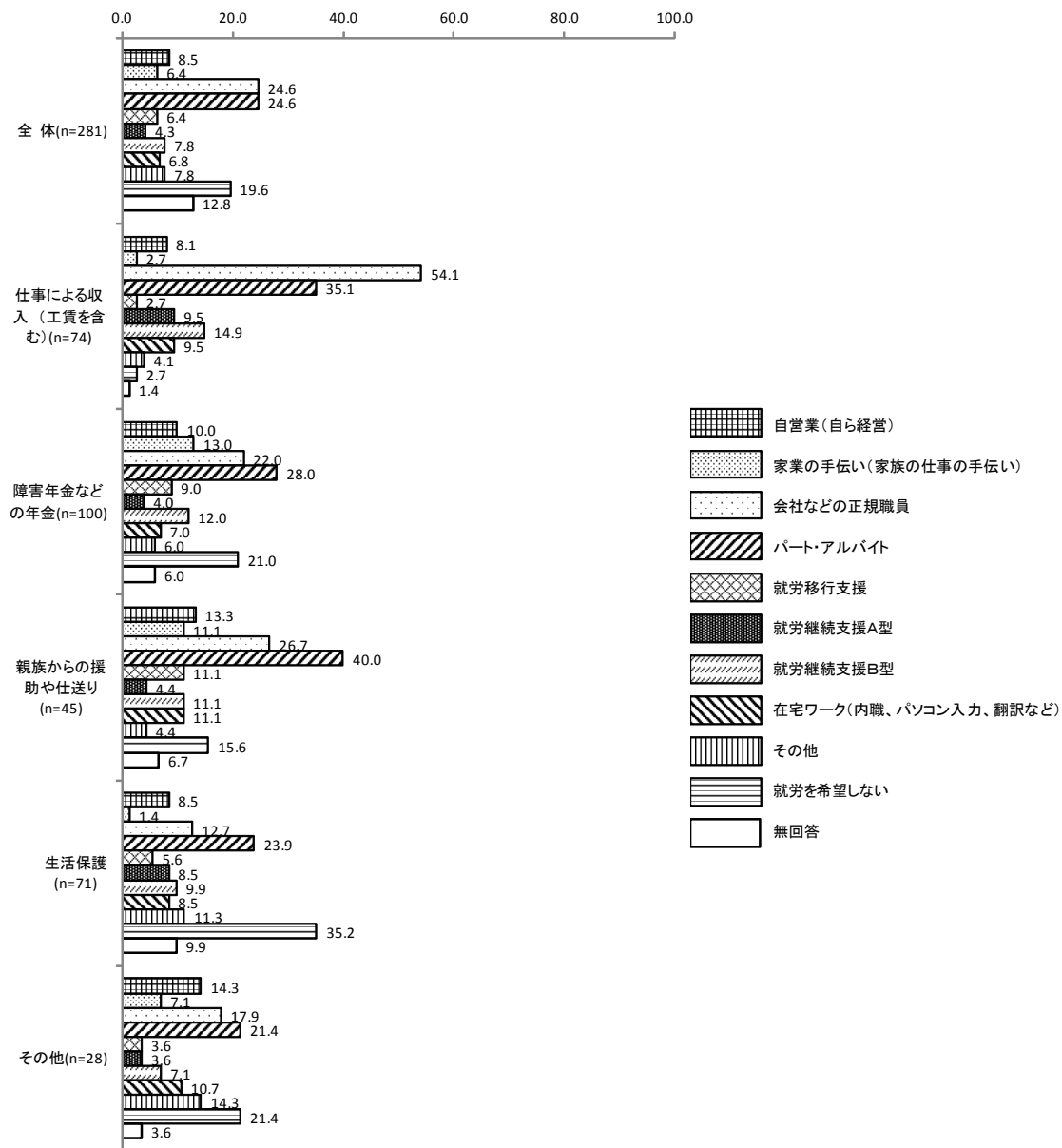
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

[問 11 すべての方にうかがいます。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。]

収入別に希望の職種を見ると、＜全体＞では「会社などの正規職員」「パート・アルバイト」が24.6%で最も多く、「自営業（自ら経営）」が8.5%でこれに次いだ。＜仕事による収入＞では「会社などの正規職員」が54.1%で、＜親族からの援助や仕送り＞では「パート・アルバイト」が40.0%で最も多かった。

問 10×問 11 収入(MA)×希望の職種(MA)

図 2-4-26 精神障害者のクロス集計 1 [%]



設問間クロス集計結果

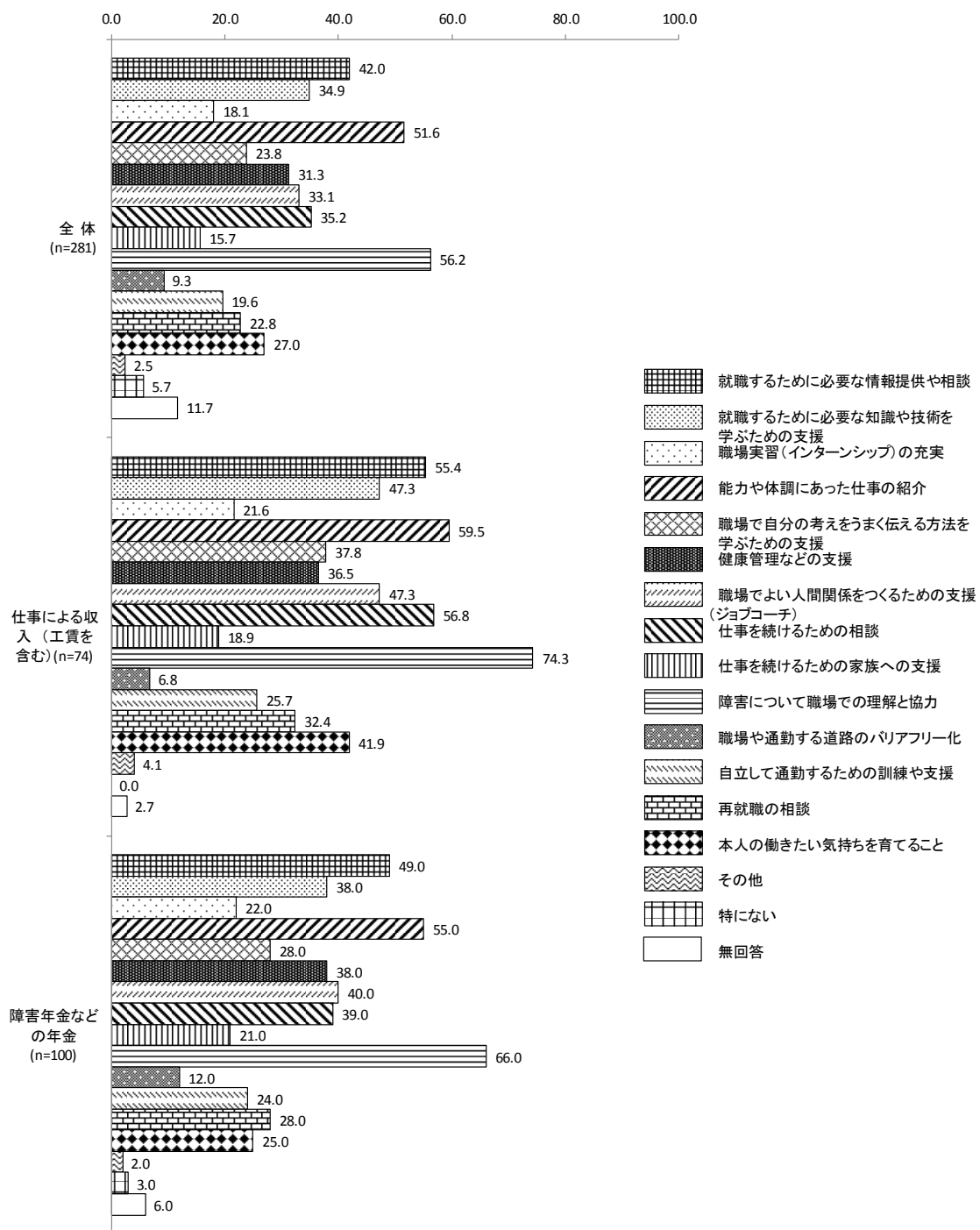
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

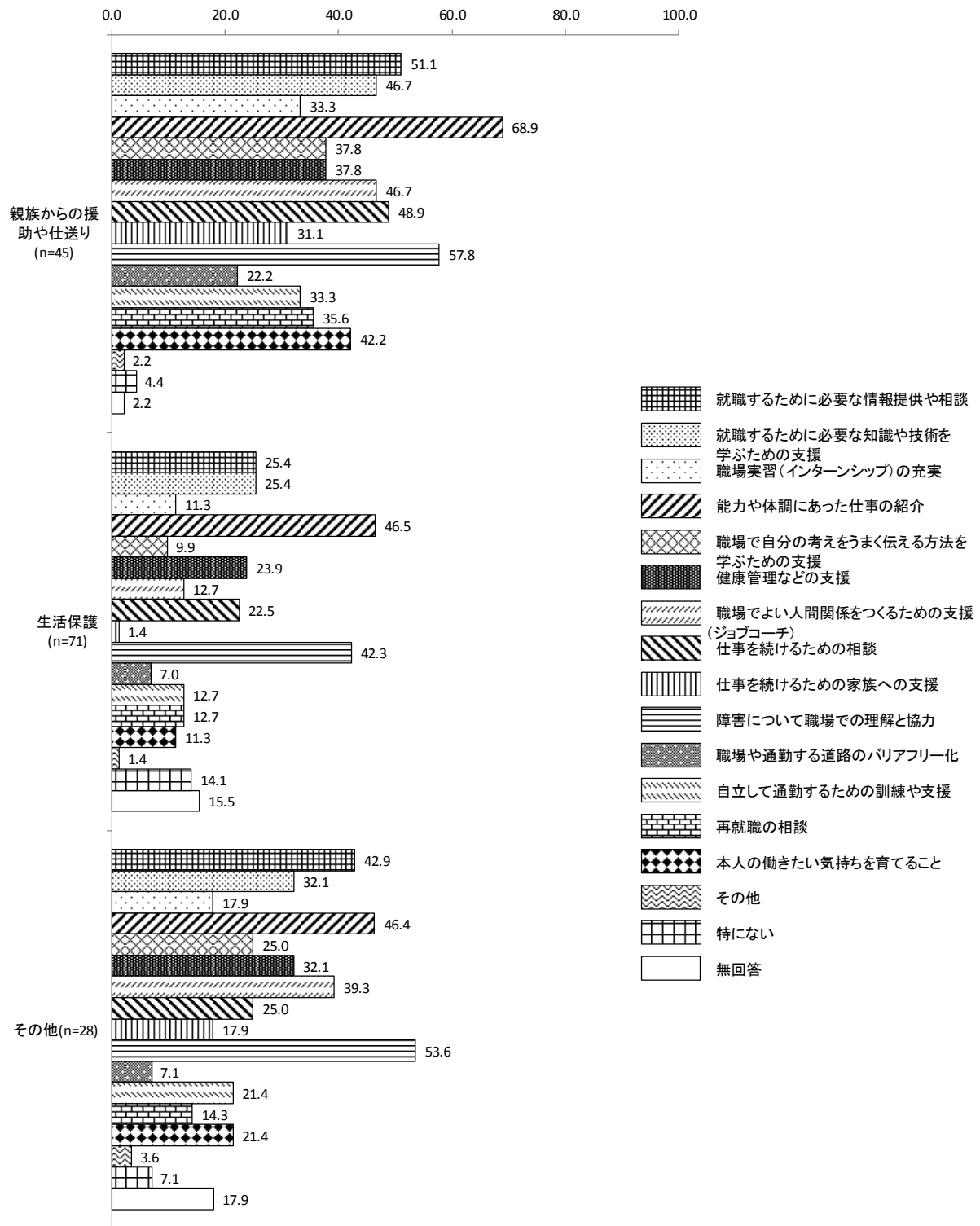
[問 12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思いますか。]

収入別に必要な支援を見ると、＜全体＞では「障害について職場の理解と協力」が56.2%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が51.6%でこれに次いだ。＜仕事による収入＞と＜障害年金などの年金＞では「障害について職場の理解と協力」が74.3%と66.0%で、＜親族からの援助や仕送り＞と＜生活保護＞では「能力や体調にあった仕事の紹介」が68.9%と46.5%で最も多かった。

問 10×問 12 対象者の収入(MA)×働くにあたり必要な支援(MA)

図 2-4-27 精神障害者のクロス集計 2 [%]



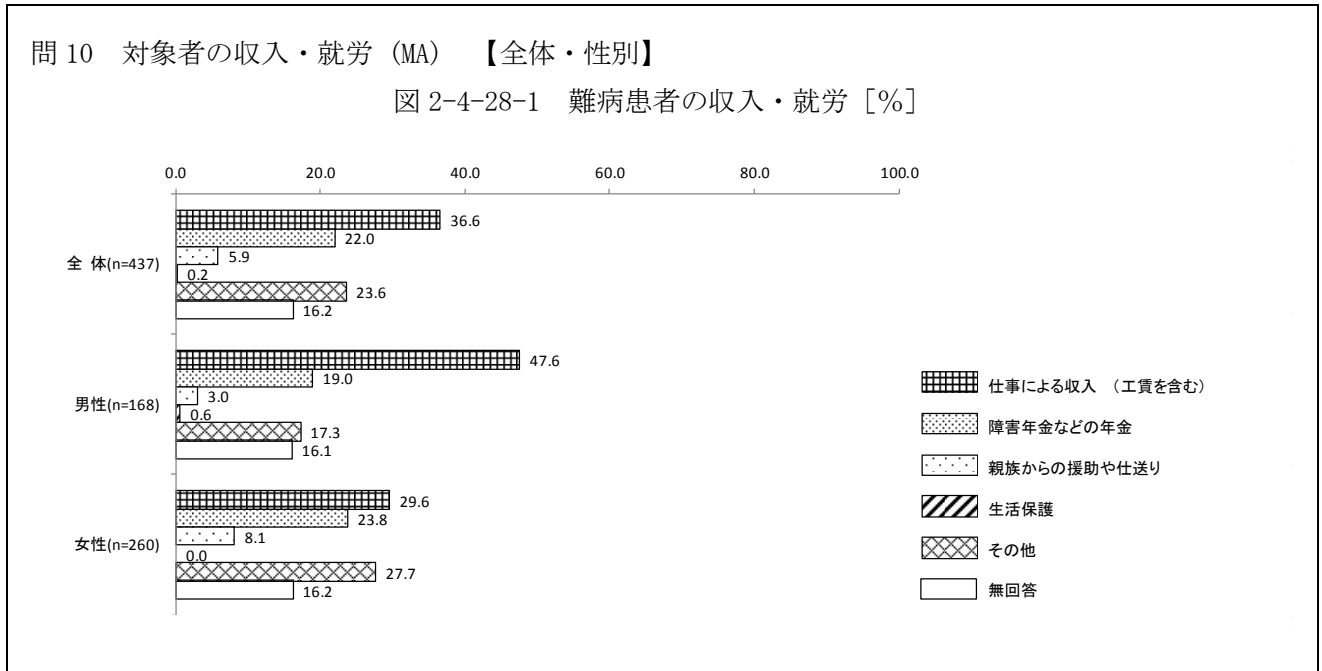


II 調査結果

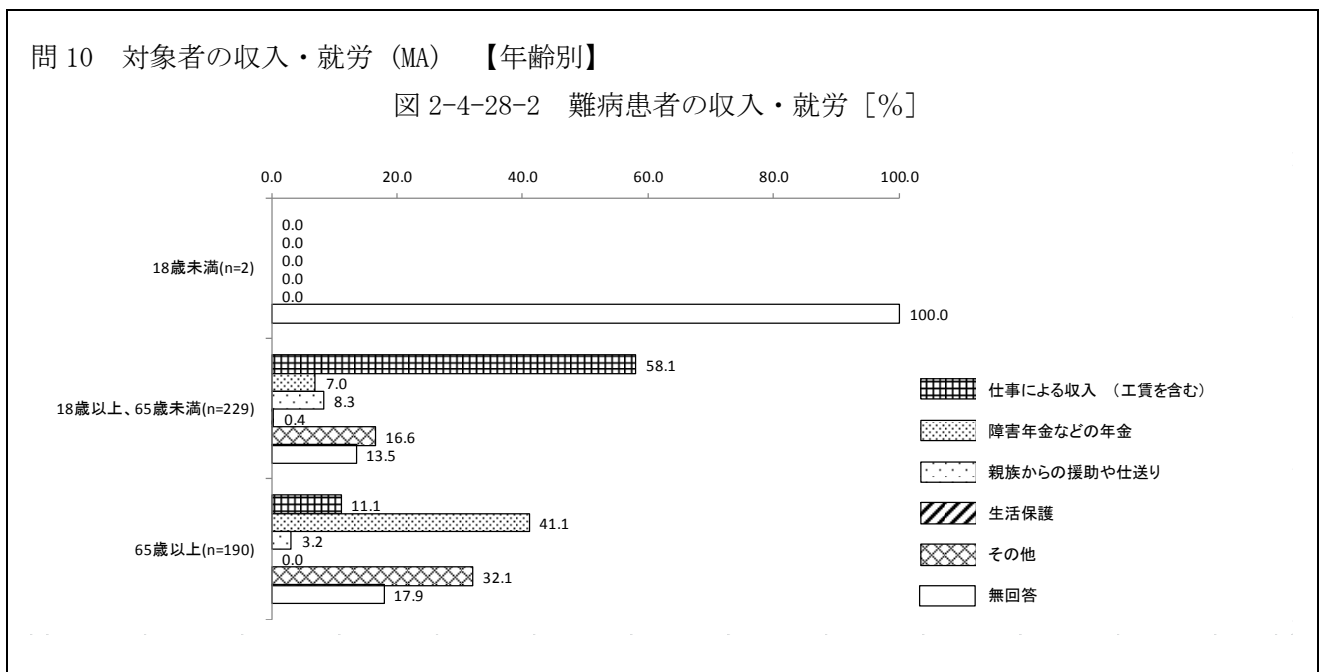
4-4 難病患者の収入・就労について

問10 あなたの収入はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の収入・就労について尋ねたところ、＜全体＞では「仕事による収入」が36.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「仕事による収入」が47.6%と29.6%で最も多かった。

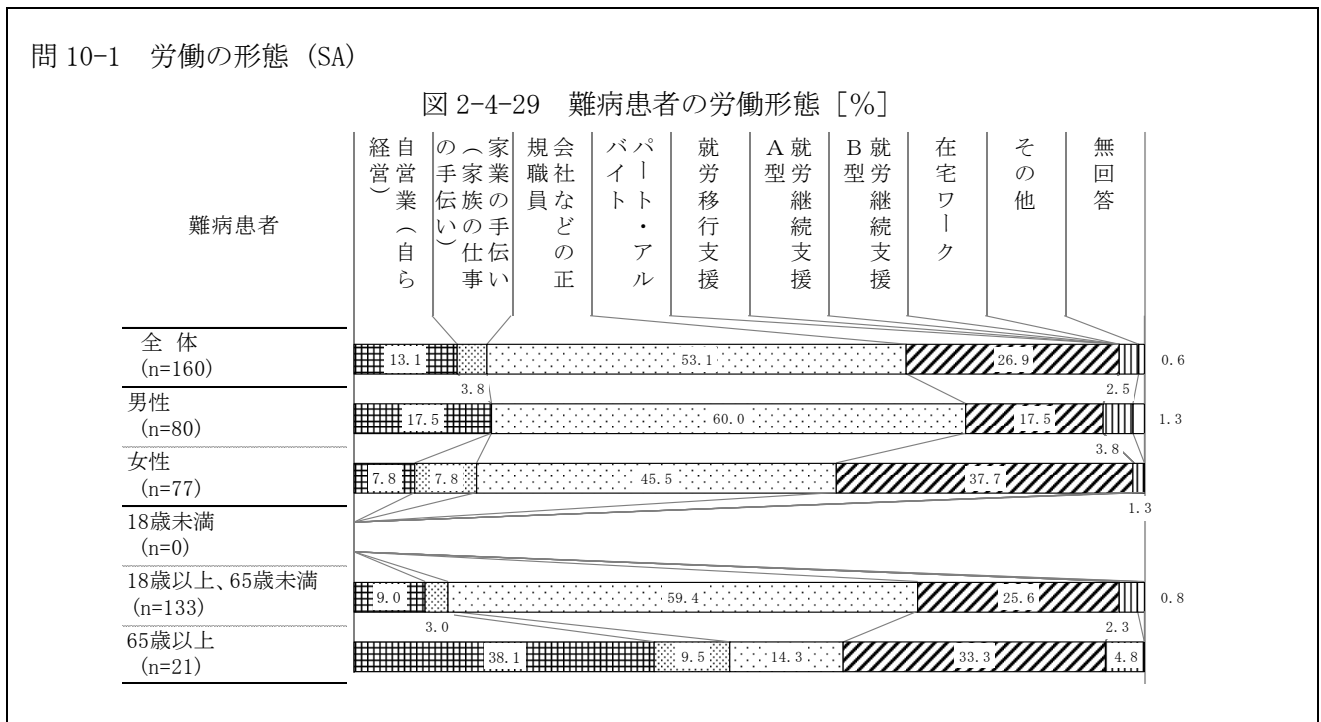


年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞では「仕事による収入」が58.1%、＜65歳以上＞では「障害年金などの年金」が41.1%で最も多かった。



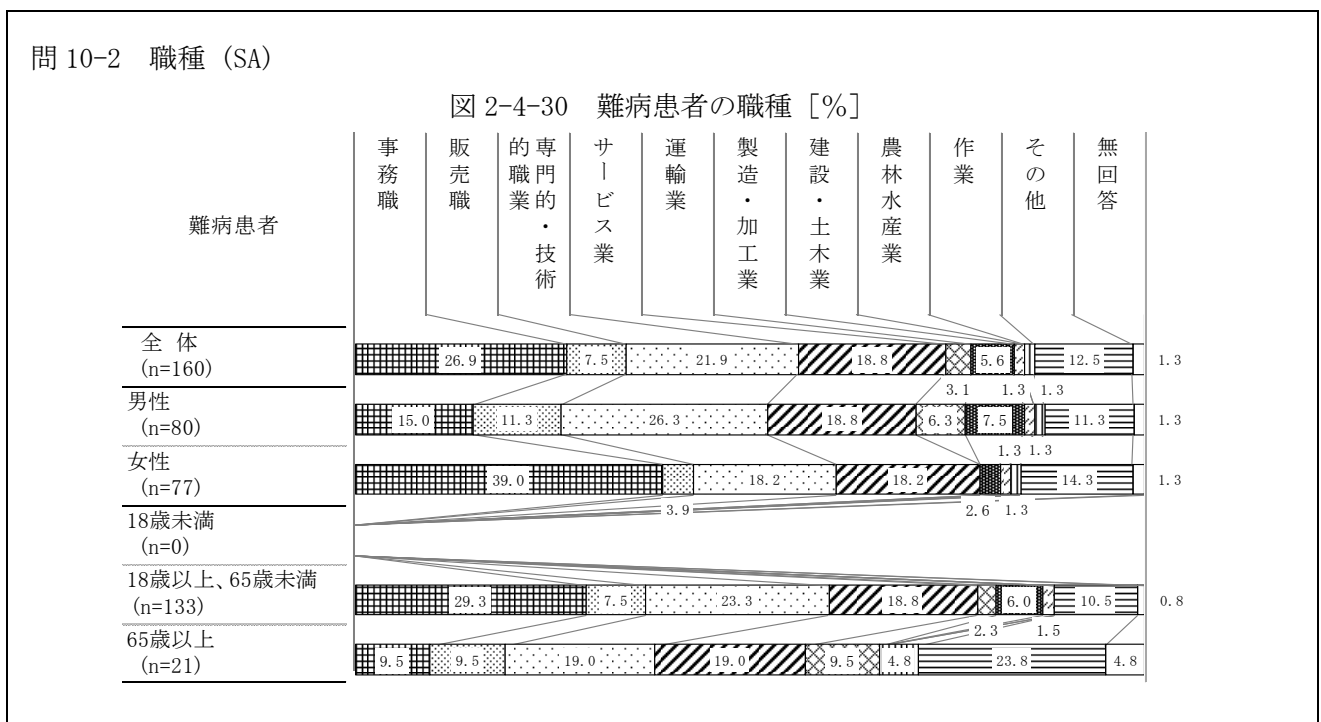
問 10-1 現在、どのような形で仕事をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

労働・仕事の形態について尋ねたところ、＜全体＞では「会社などの正規職員」が 53.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「会社などの正規職員」が 60.0%と 45.5%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「会社などの正規職員」が 59.4%で多い。



問 10-2 現在、どのような職種で仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

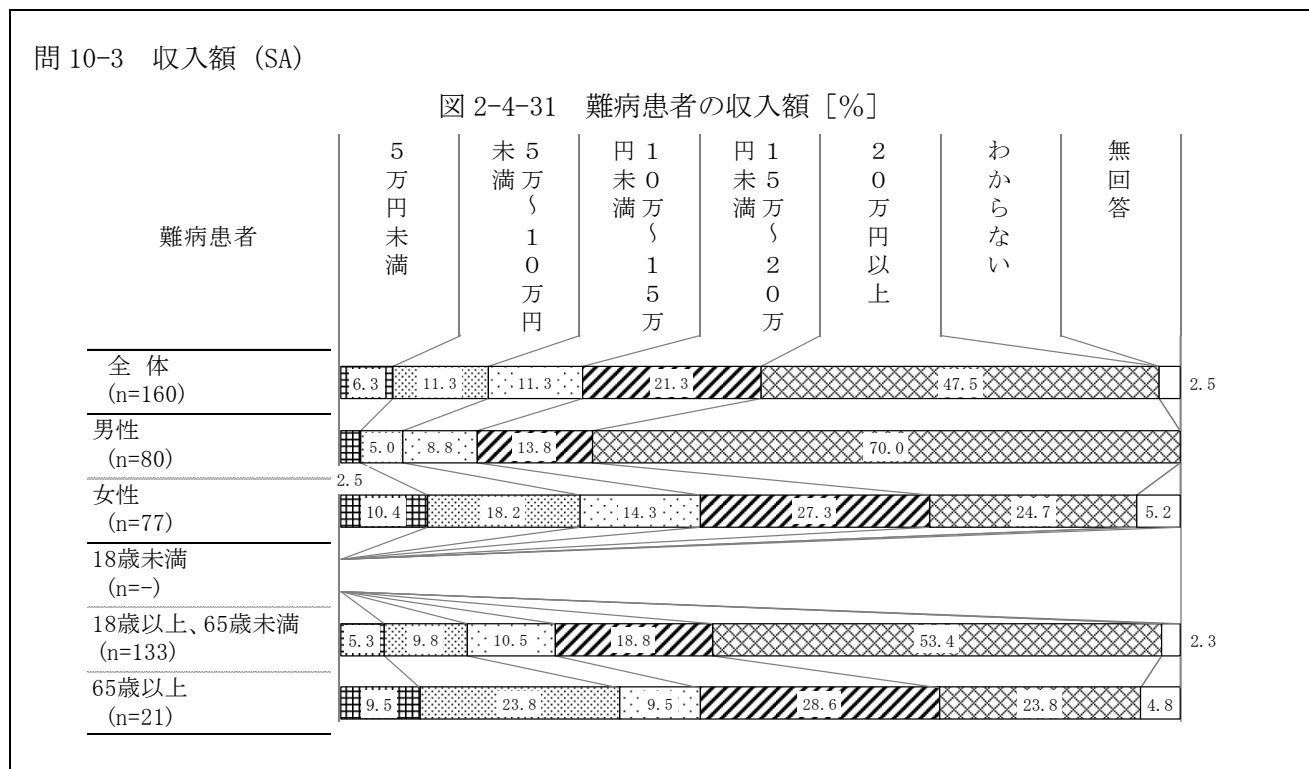
労働・仕事の職種について尋ねたところ、＜全体＞では「事務職」が 26.9%で最も多かった。性別では＜男性＞で「専門的・技術的職業」が 26.3%、＜女性＞で「事務職」が 39.0%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「事務職」が 29.3%で多い。



II 調査結果

問 10-3 あなたの収入額は月平均どれぐらいですか。

労働・仕事の収入額について尋ねたところ、＜全体＞では「20万円以上」が47.5%で最も多かった。性別では＜男性＞で「20万円以上」が70.0%、＜女性＞で「15万～20万円未満」が27.3%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「20万円以上」が53.4%が多い。

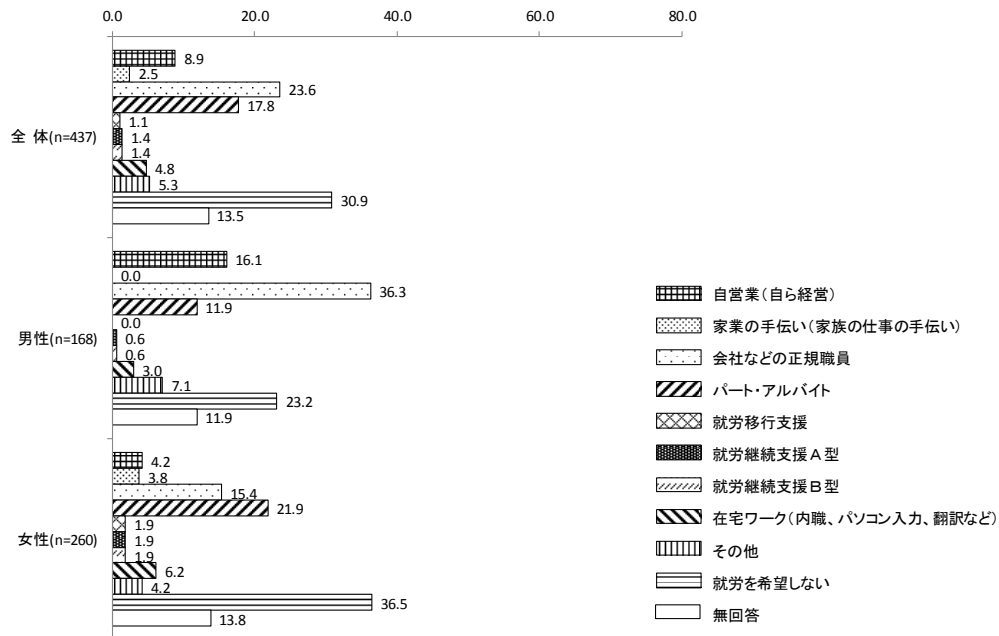


問 11 すべての方に向かってあります。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。

対象者に今後の労働形態について、その希望を尋ねたところ、＜全体＞では「会社などの正規職員」が23.6%と最も多かった。性別で見ると、＜男性＞では「会社などの正規職員」が36.3%で、＜女性＞では「パート・アルバイト」が21.9%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【全体・性別】

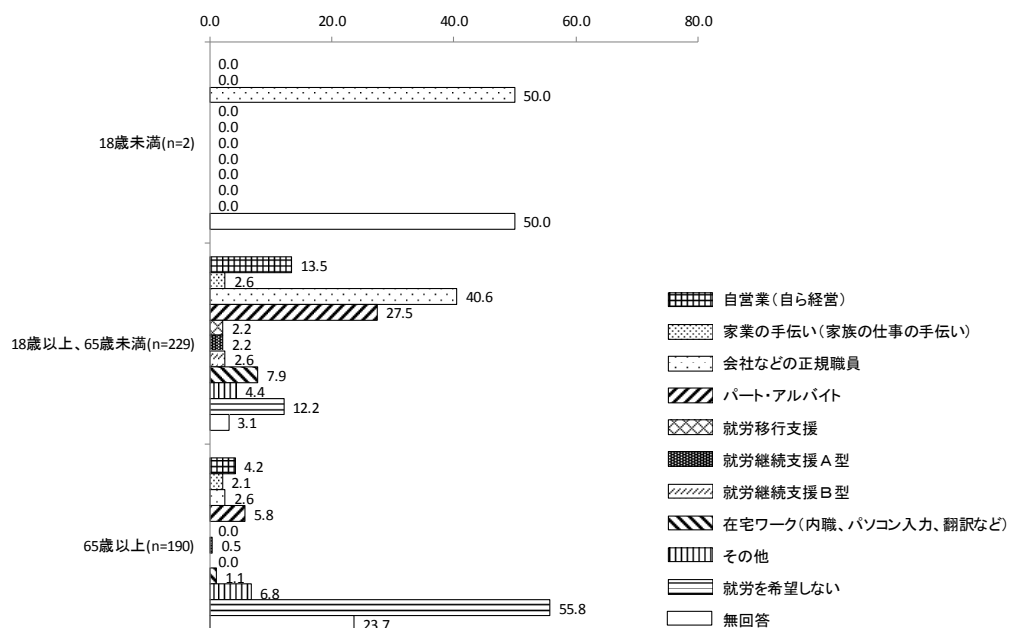
図 2-4-32-1 難病患者の希望労働形態 [%]



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞では「会社などの正規職員」が40.6%、＜65歳以上＞では「パート・アルバイト」が5.8%で最も多かった。

問 11 希望する労働形態 (MA) 【年齢別】

図 2-4-32-2 難病患者の希望労働形態 [%]



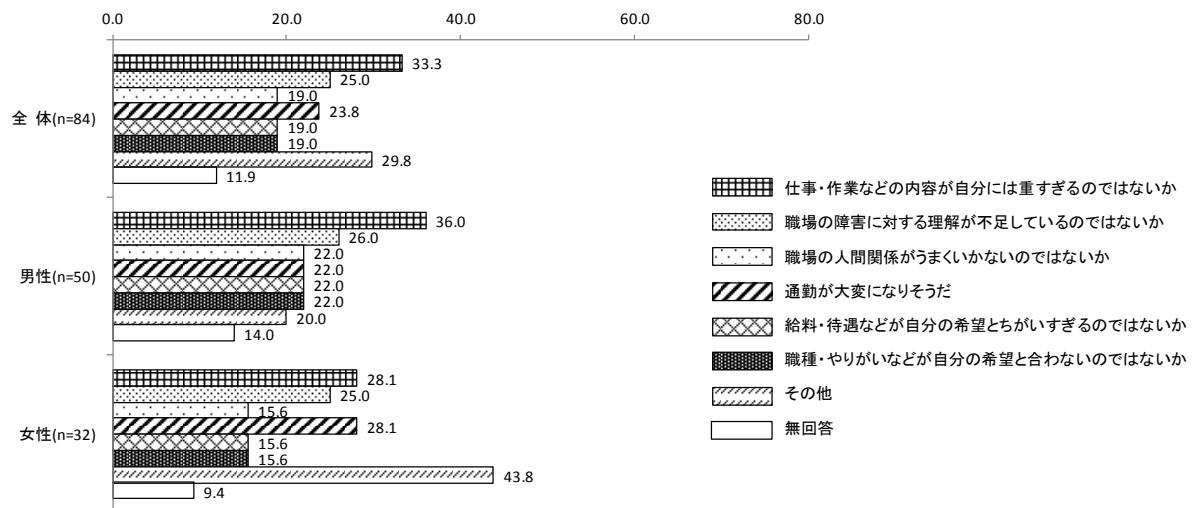
II 調査結果

問 11-1 会社などで働くにあたり心配なことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

会社など正規職員を希望する対象者に、働くにあたっての心配することを尋ねたところ、全体では「仕事・作業などの内容が自分には重すぎるのではないかと」が33.3%と最も多かった。性別では<男性>が「仕事・作業などの内容が自分には重すぎるのではないかと」で36.0%、<女性>が「仕事・作業などの内容が自分には重すぎるのではないかと」「通勤が大変になりそうだ」が28.1%で多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【全体・性別】

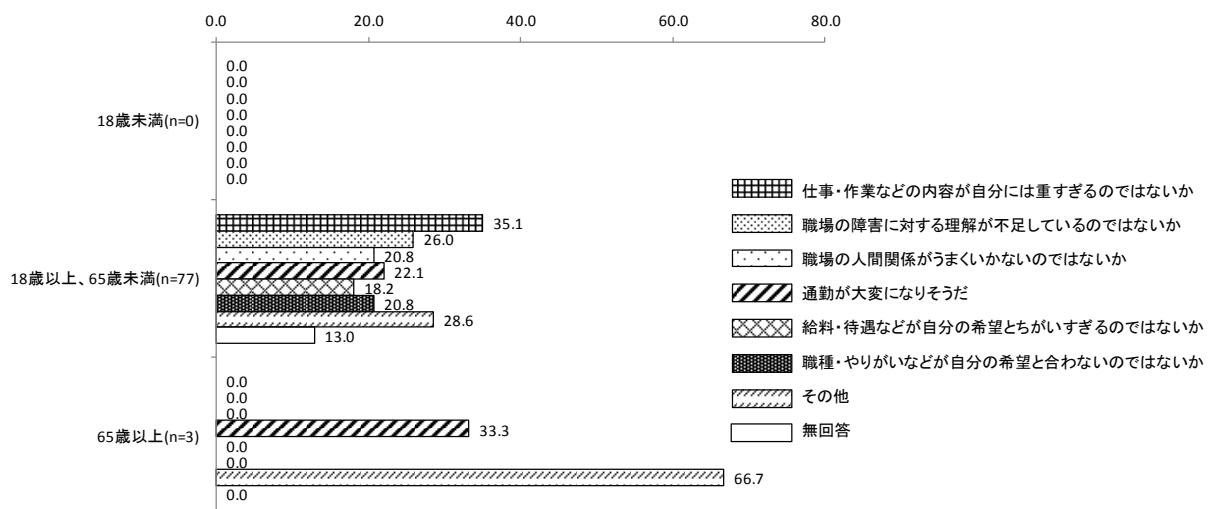
図 2-4-33-1 難病患者の働くにあたっての心配すること [%]



年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>が「仕事・作業などの内容が自分には重すぎるのではないかと」で35.1%、<65歳以上>では「通勤が大変になりそうだ」が33.3%で最も多かった。

問 11-1 働くにあたり心配すること (MA) 【年齢別】

図 2-4-33-2 難病患者の働くにあたっての心配すること [%]

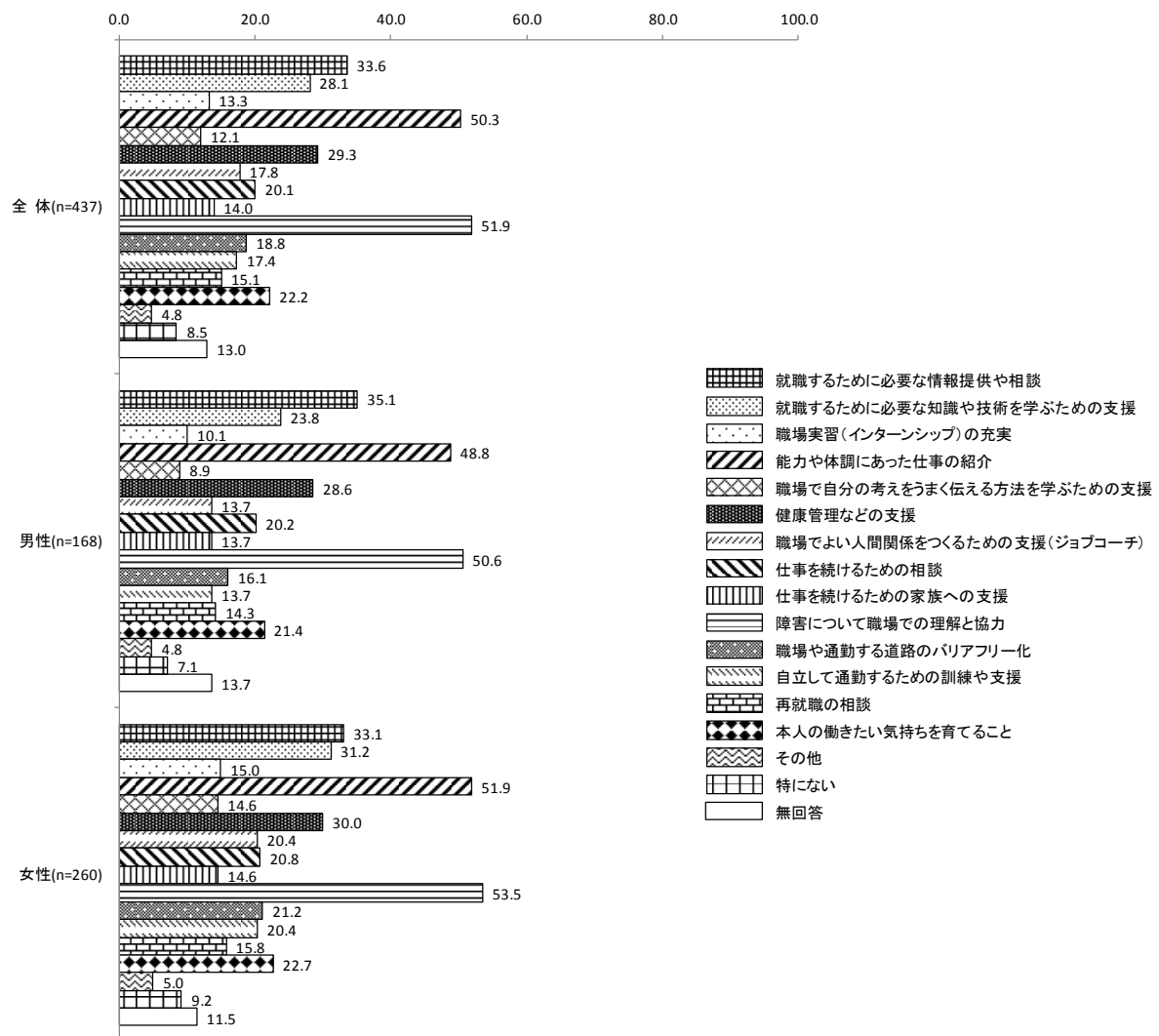


問12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に障害者が働くにあたり、必要な支援は何かを尋ねたところ、全体では「障害について職場での理解と協力」が51.9%で最も多かった。性別では<男女>共に「障害について職場での理解と協力」が50.6%と53.5%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【全体・性別】

図2-4-34-1 難病患者の働くに際し必要な支援 [%]

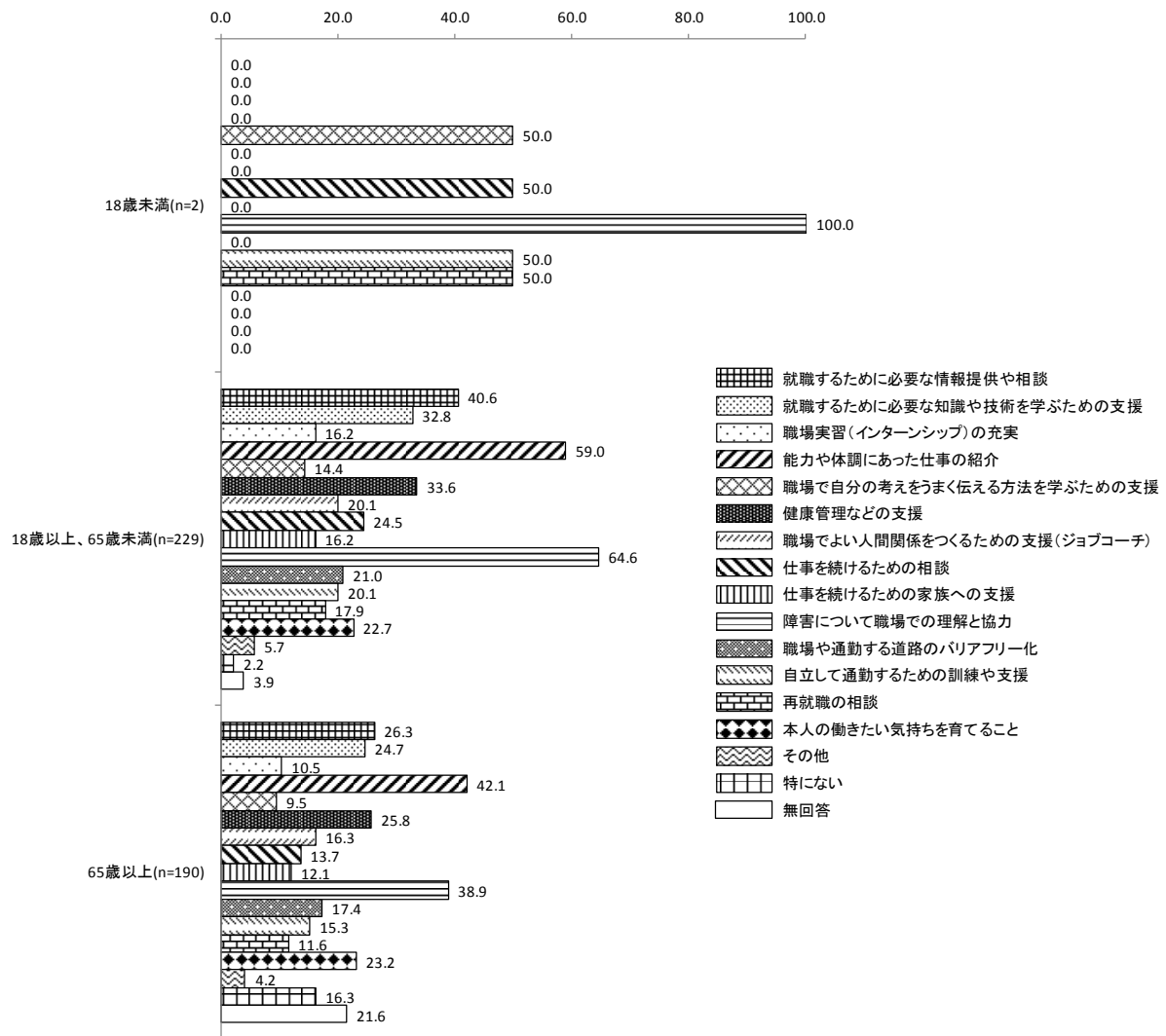


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳未満><18歳以上、65歳未満>では、「障害について職場での理解と協力」が100.0%と64.6%で最も多かった。<65歳以上>では「能力や体調にあった仕事の紹介」が42.1%で最も多かった。

問12 働くにあたり必要な支援(MA) 【年齢別】

図 2-4-34-2 難病患者の働くに際し必要な支援 [%]



設問間クロス集計結果

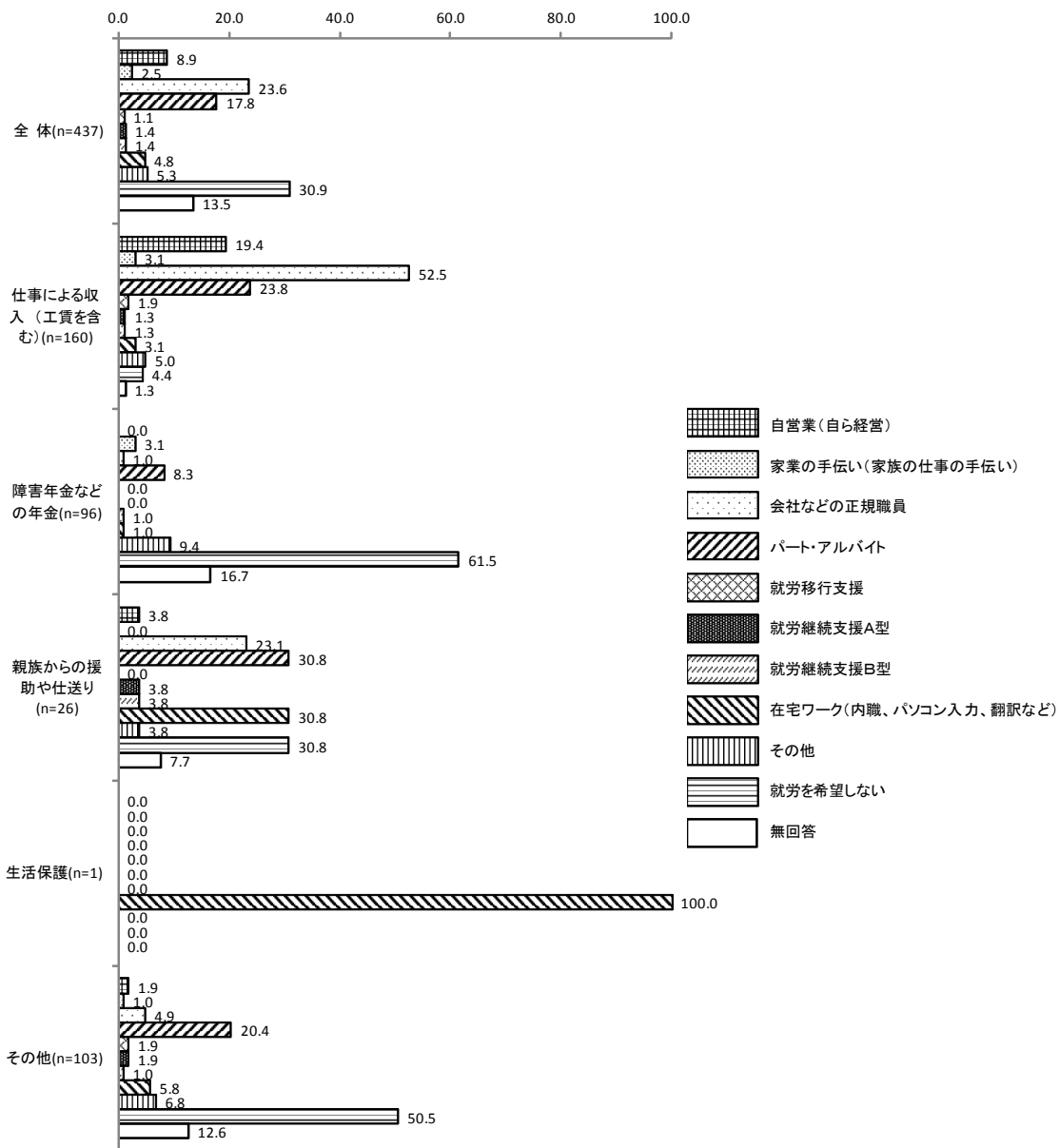
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

[問 11 すべての方にうかがいます。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。]

収入別に希望の職種を見ると、＜全体＞では「会社などの正規職員」が 23.6%で最も多く、「パート・アルバイト」が 17.8%でこれに次いだ。＜仕事による収入＞では「会社などの正規職員」が 52.5%で最も多く、＜障害年金などの年金＞では「パート・アルバイト」が 8.3%で比較的多かった。

問 10×問 11 収入(MA)×希望の職種(MA)

図 2-4-35 難病患者のクロス集計 1 [%]



設問間クロス集計結果

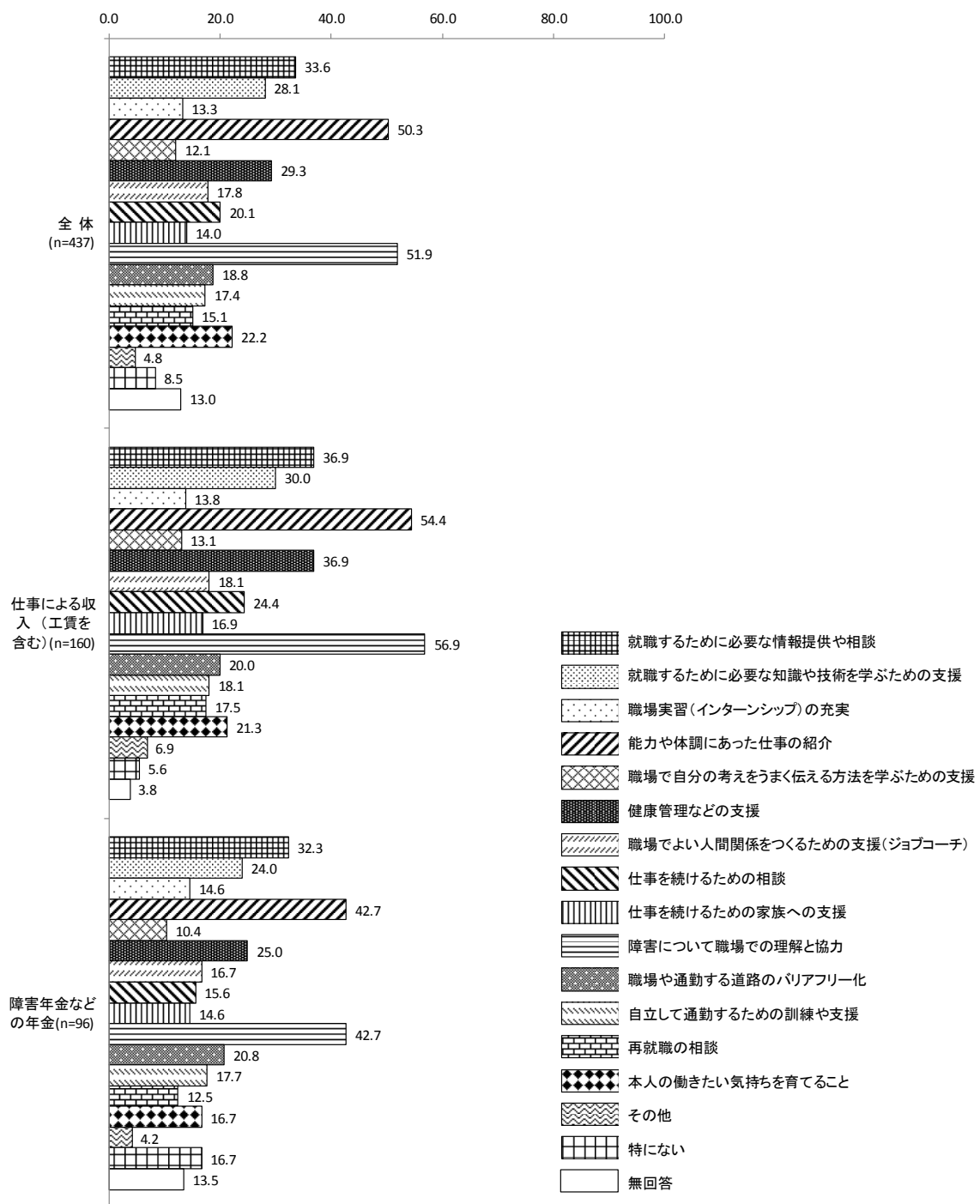
[問 10 あなたの収入はどれですか。]

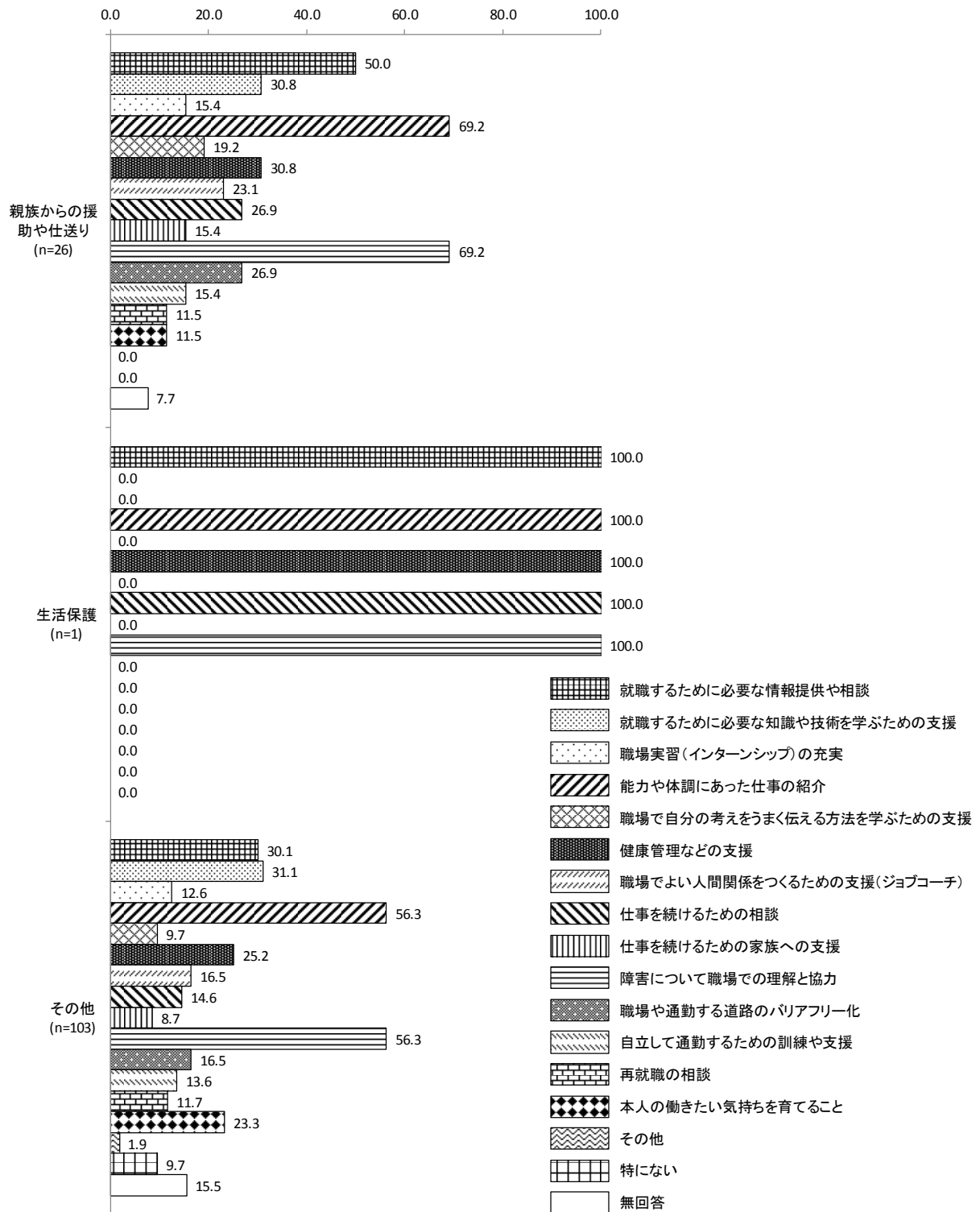
[問 12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思えますか。]

収入別に必要な支援を見ると、＜全体＞では「障害について職場の理解と協力」が51.9%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が50.3%でこれに次いだ。＜仕事による収入＞では「障害について職場の理解と協力」が56.9%で、＜親族からの援助や仕送り＞では「能力や体調にあった仕事の紹介」が69.2%で比較的多かった。

問 10×問 12 対象者の収入(MA)×働くにあたり必要な支援(MA)

図 2-4-36 難病患者のクロス集計 2 [%]





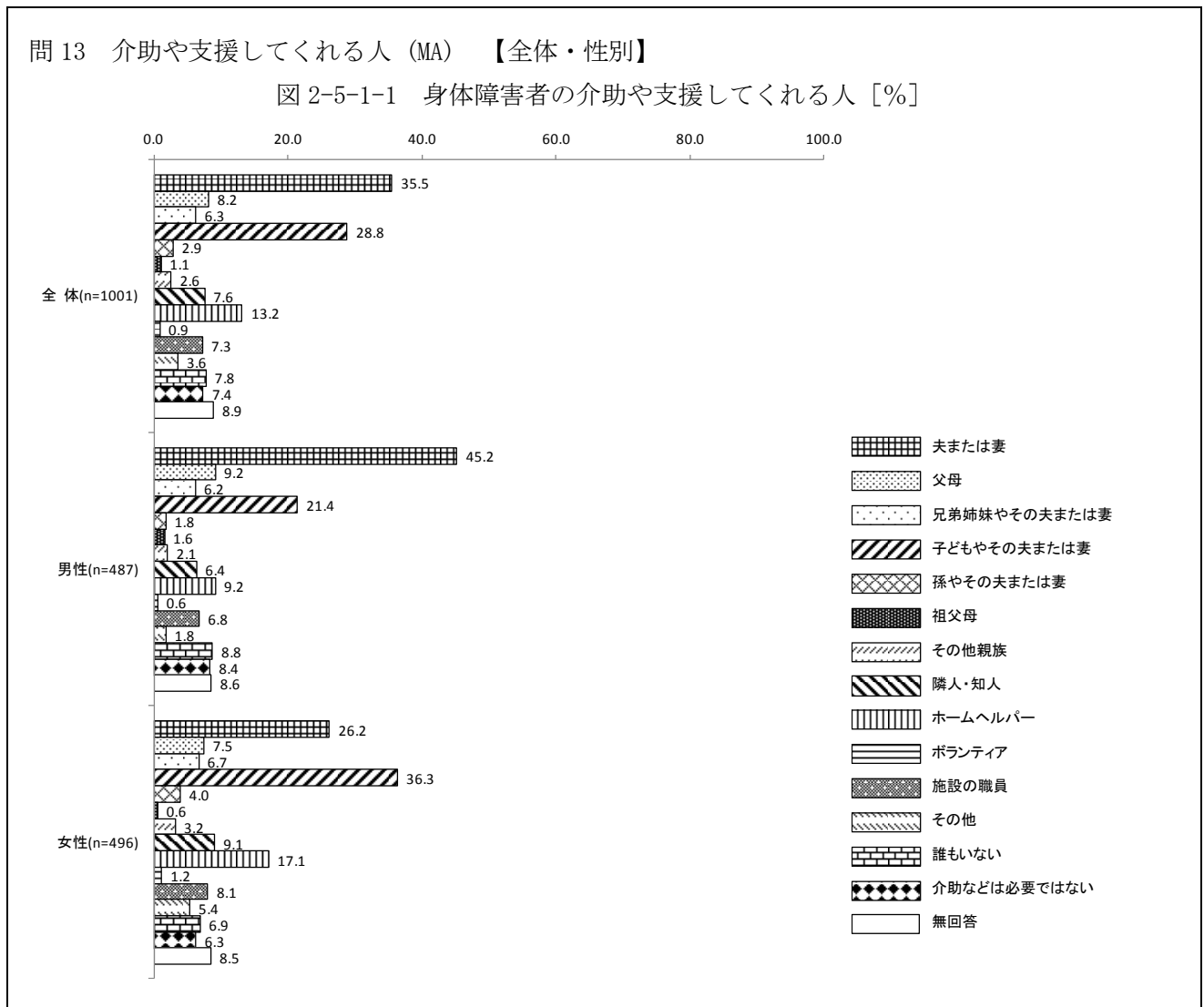
II 調査結果

5. 介助・支援

5-1 身体障害者の介助・支援について

問 13 介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか。

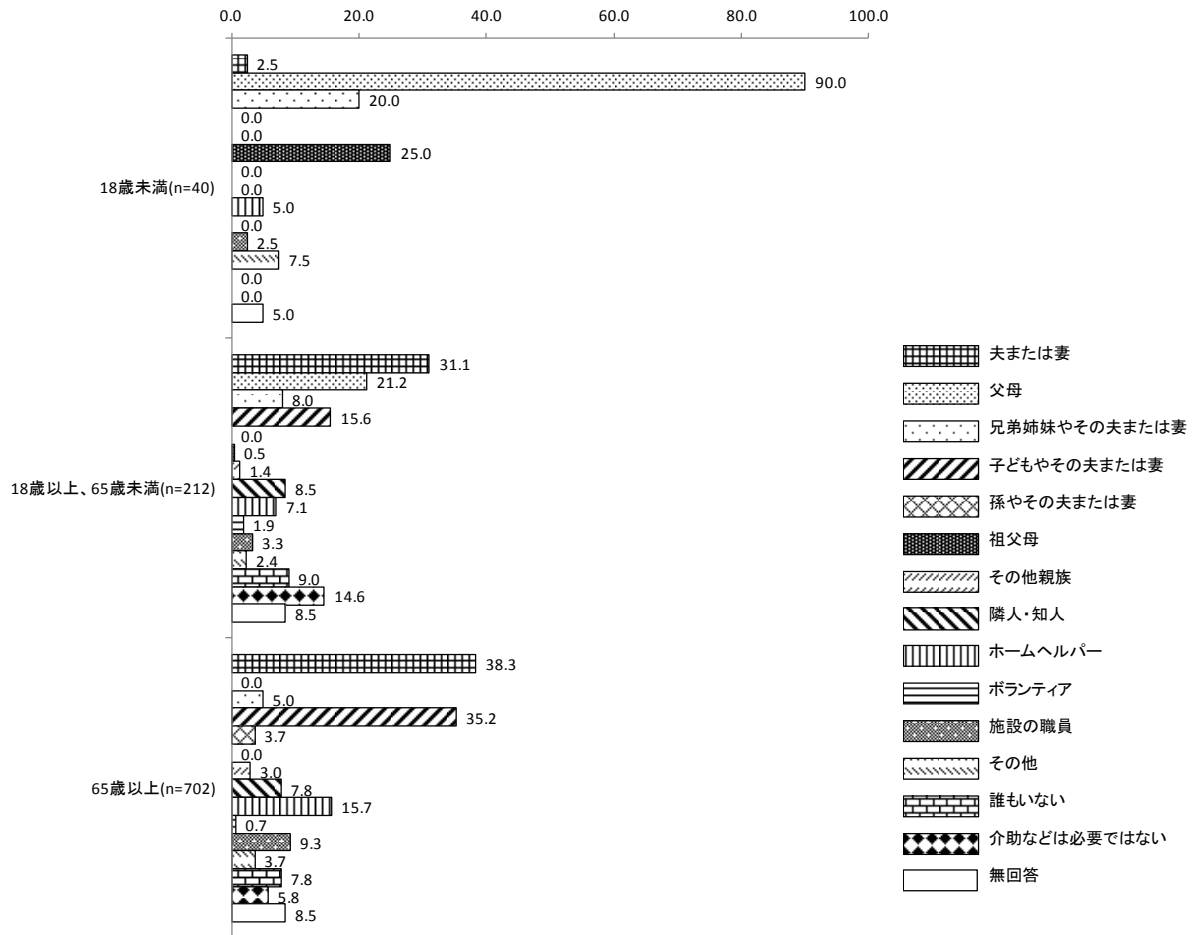
対象者を介助や支援してくれる人について尋ねたところ、全体では「夫または妻」が35.5%と最も多かった。性別では<男性>では「夫または妻」が45.2%、<女性>では「子どもやその夫または妻」が36.3%で最も多かった。



年齢別に見ると<18歳未満>が「父母」で90.0%、<18歳以上、65歳未満><65歳以上>では「夫または妻」が31.1%と38.3%で最も多かった。

問 13 介助や支援してくれる人 (MA) 【年齢別】

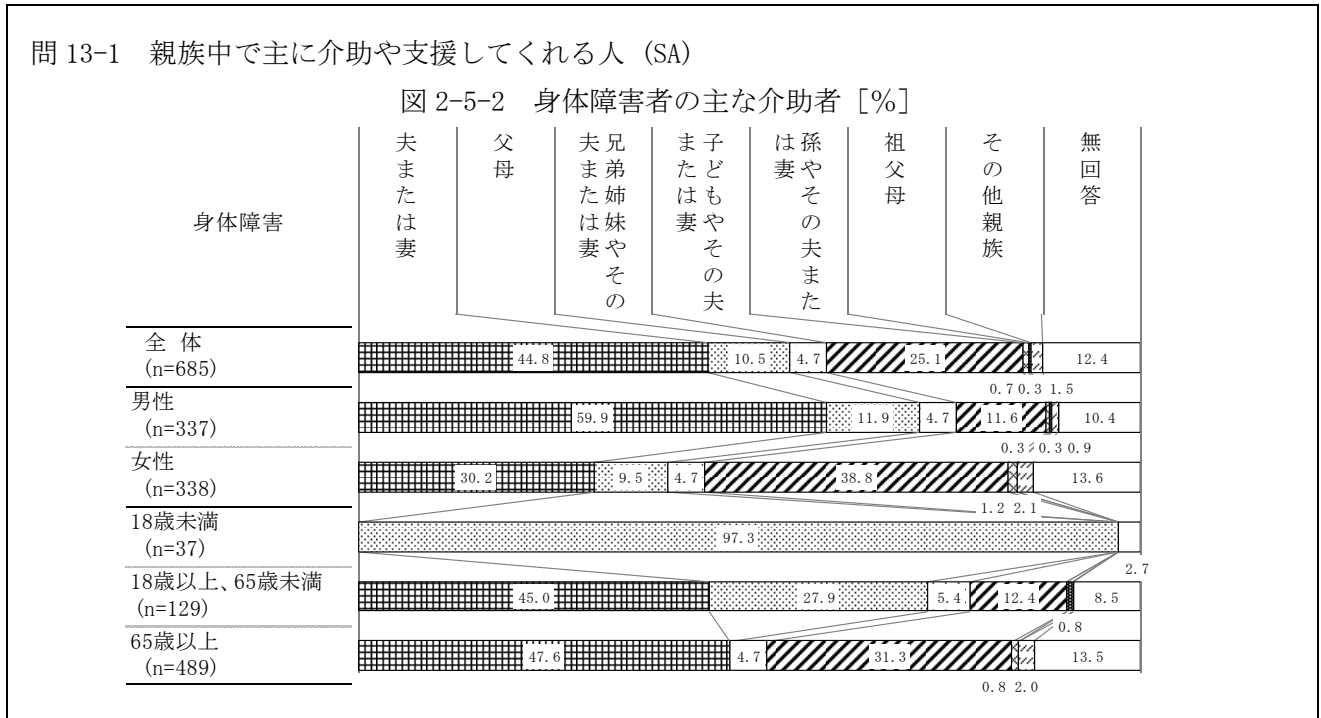
図 2-5-1-2 身体障害者の介助や支援してくれる人 [%]



II 調査結果

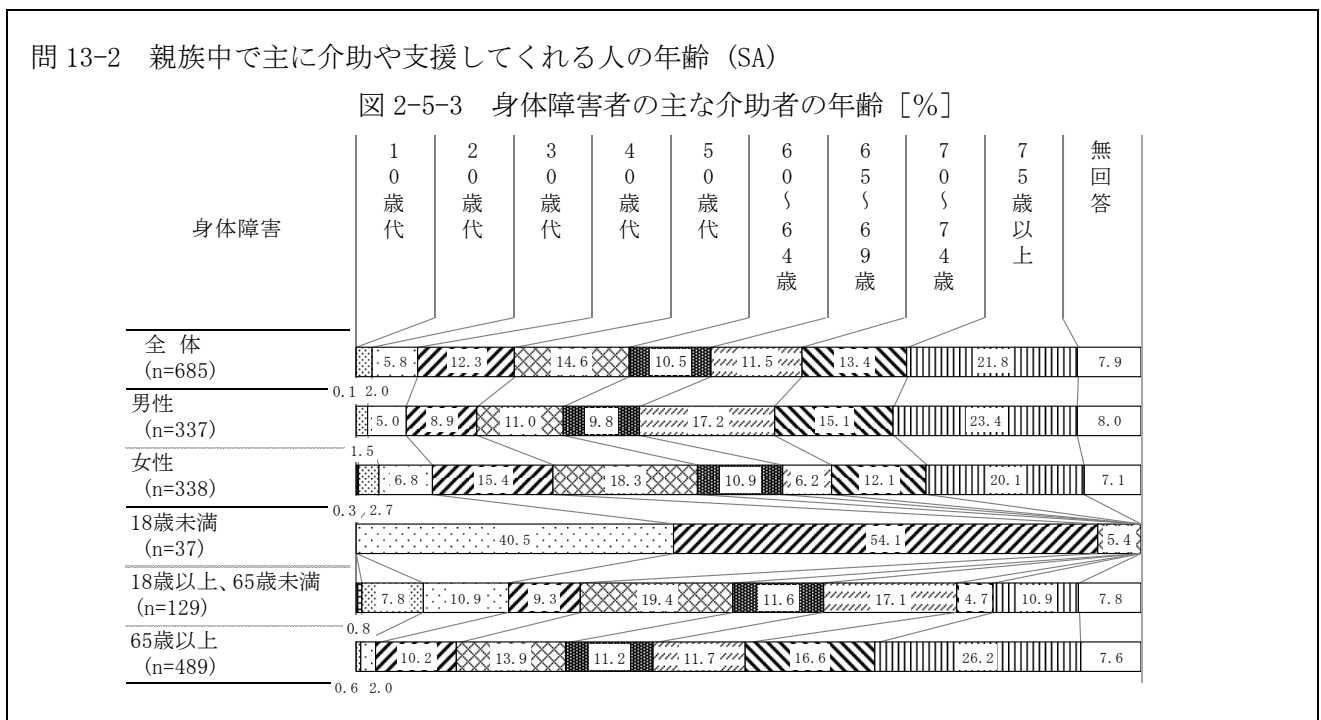
問 13-1 ご親族の中でいちばん長い時間あなたを支えてくれる方はどなたですか。

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人について尋ねたところ、＜全体＞では「夫または妻」が44.8%で最も多かった。性別では＜男性＞で「夫または妻」が59.9%、＜女性＞で「子どもやその夫または妻」が38.8%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳未満＞で「父母」が97.3%、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「夫または妻」が45.0%と47.6%で多かった。



問 13-2 おもな介助者の年齢をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の年齢を尋ねたところ、＜全体＞では「75歳以上」が21.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「75歳以上」が23.4%と20.1%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳未満＞で「40歳代」が54.1%、＜18歳以上、65歳未満＞で「50歳代」が19.4%、＜65歳以上＞で「75歳以上」が26.2%で多かった。

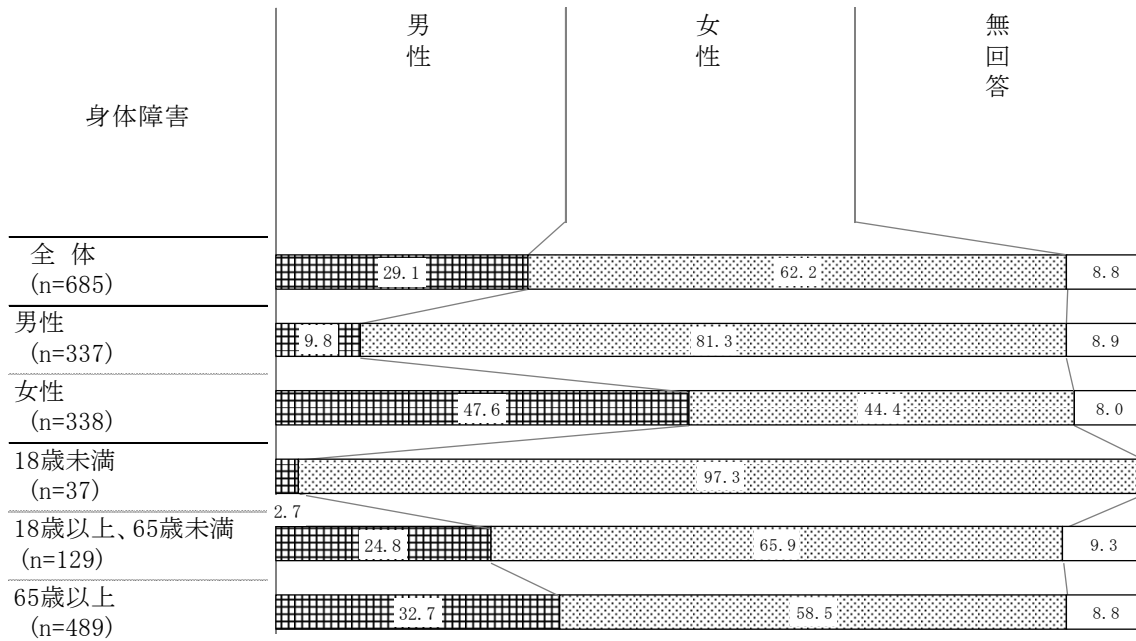


問 13-3 おもな介助者の性別をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の性別を尋ねたところ、<全体>で「女性」が62.2%で最も多かった。性別では<男性>で「女性」が81.3%、<女性>で「男性」が47.6%で多かった。年齢別に見ると、<18歳未満><18歳以上、65歳未満><65歳以上>共に「女性」が97.3%、65.9%と58.5%で多かった。

問 13-3 親族中で主に介助や支援してくれる人の性別 (SA)

図 2-5-4 身体障害者の主な介助者の性別 [%]

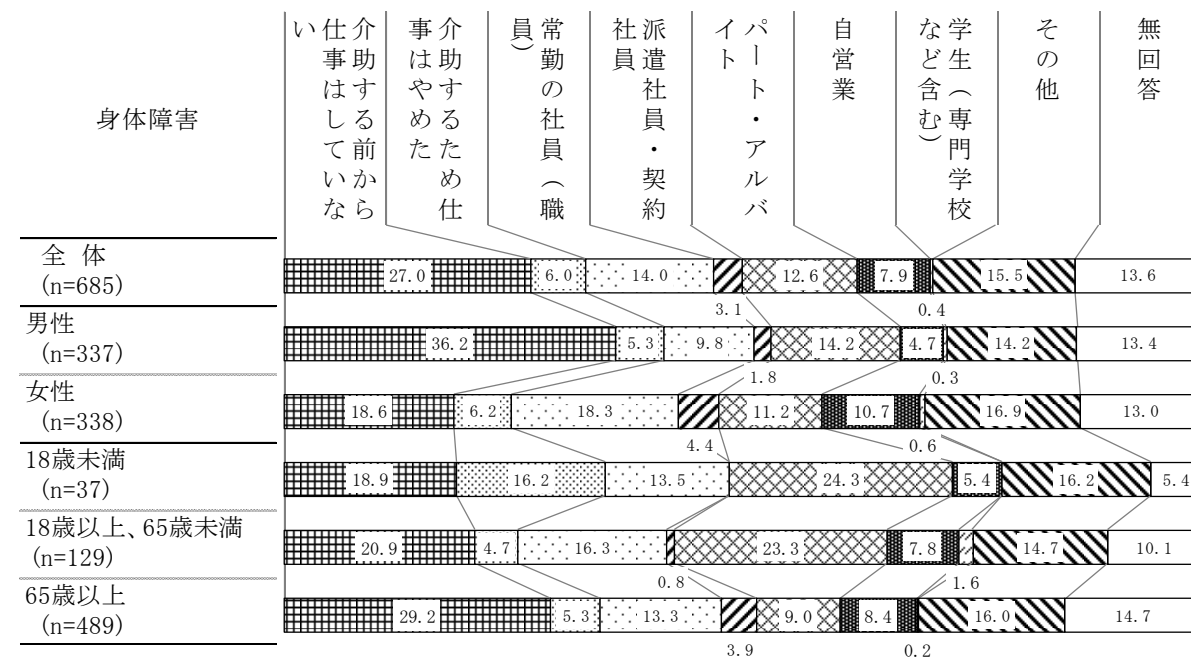


問 13-4 おもな介助者の現在の仕事についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の仕事を尋ねたところ、<全体>では「介助する前から仕事はしていない」が27.0%で最も多かった。性別では<男女>共に「介助する前から仕事はしていない」が36.2%と18.6%で多い。年齢別に見ると、<18歳以上、65歳未満>で「パート・アルバイト」が23.3%、<65歳以上>で「介助する前から仕事はしていない」が29.2%で多かった。

問 13-4 親族中で主に介助や支援してくれる人の仕事 (SA)

図 2-5-5 身体障害者の主な介助者の仕事 [%]



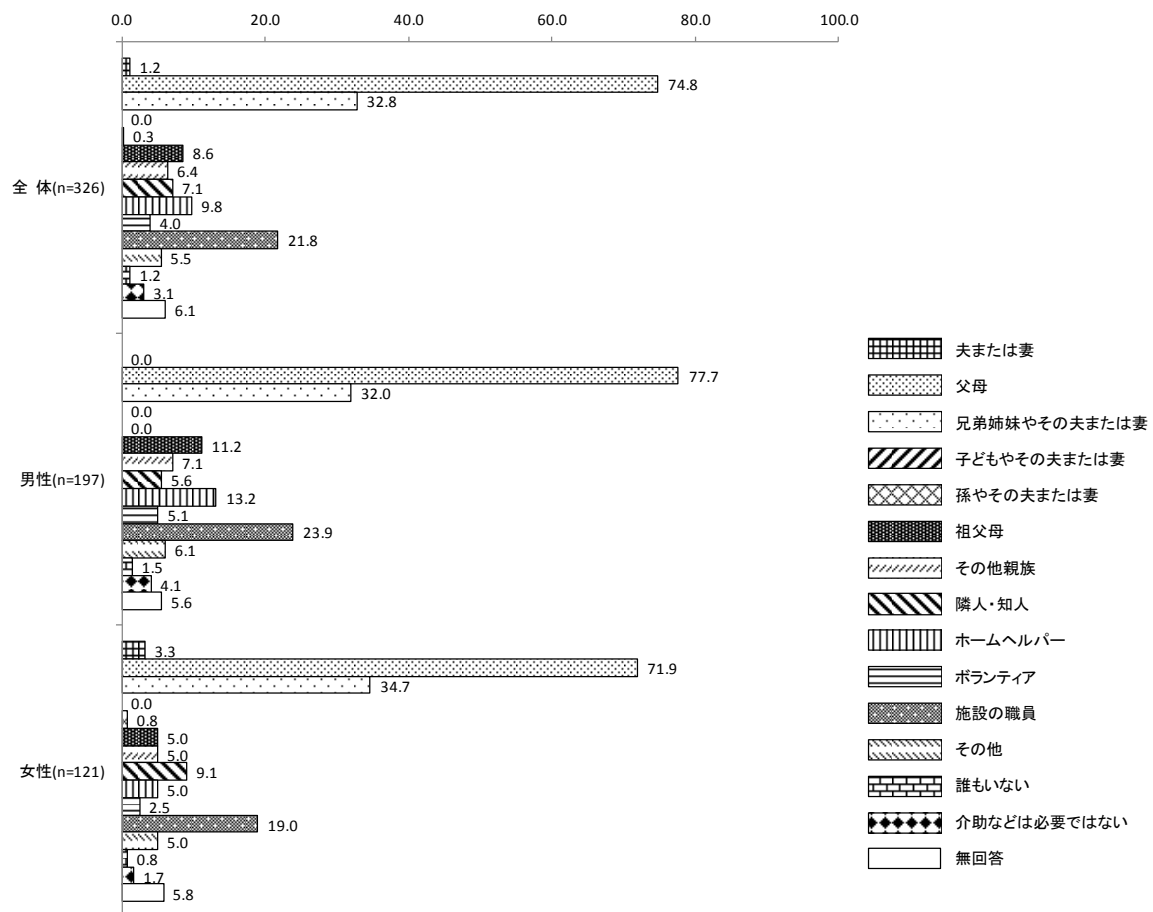
5-2 知的障害者の介助・支援について

問 13 介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか。

対象者を介助や支援してくれる人について尋ねたところ、＜全体＞では「父母」が74.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「父母」が77.7%と71.9%で最も多かった。

問 13 介助や支援してくれる人 (MA) 【全体・性別】

図 2-5-6-1 知的障害者の介助や支援してくれる人 [%]

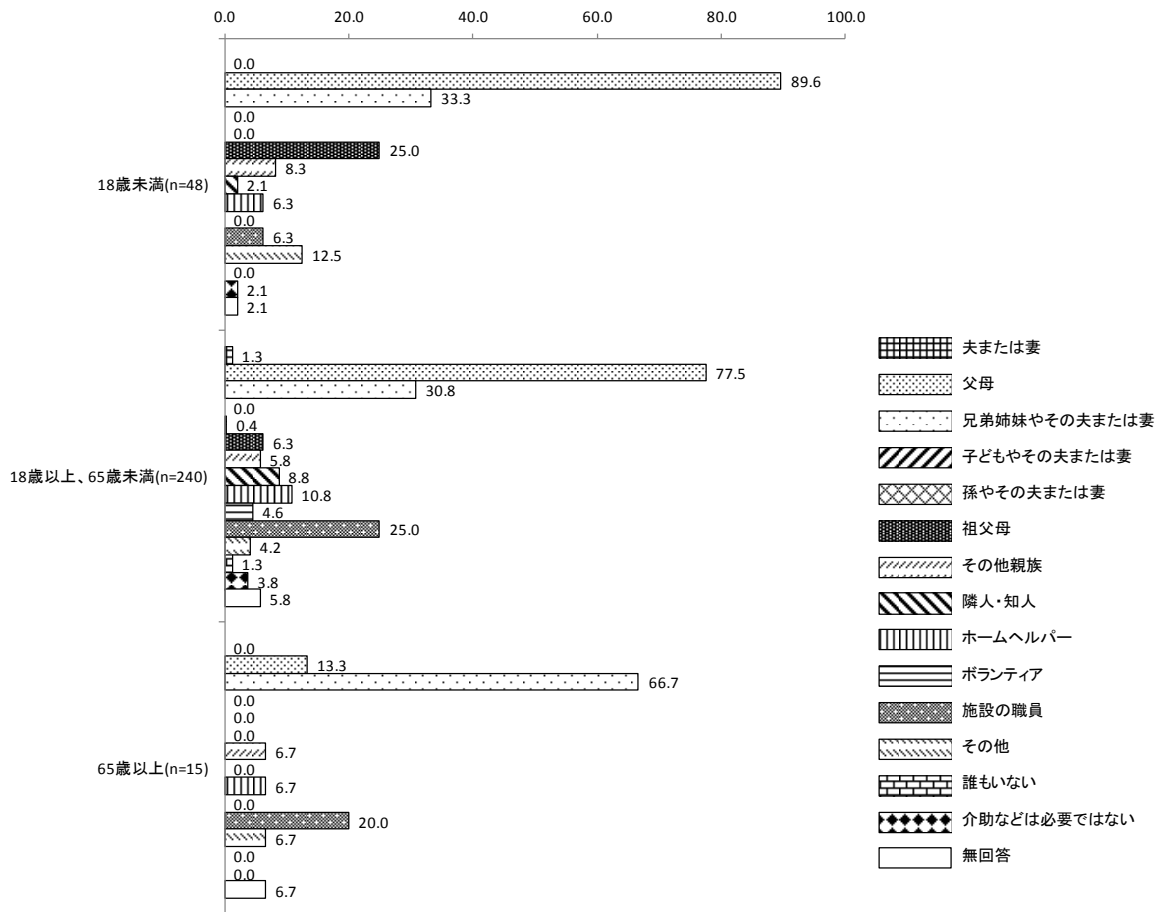


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳未満><18歳以上、65歳未満>では「父母」が89.6%と77.5%、<65歳以上>では「兄弟姉妹やその夫または妻」が66.7%で最も多かった。

問13 介助や支援してくれる人 (MA) 【年齢別】

図 2-5-6-2 知的障害者の介助や支援してくれる人 [%]

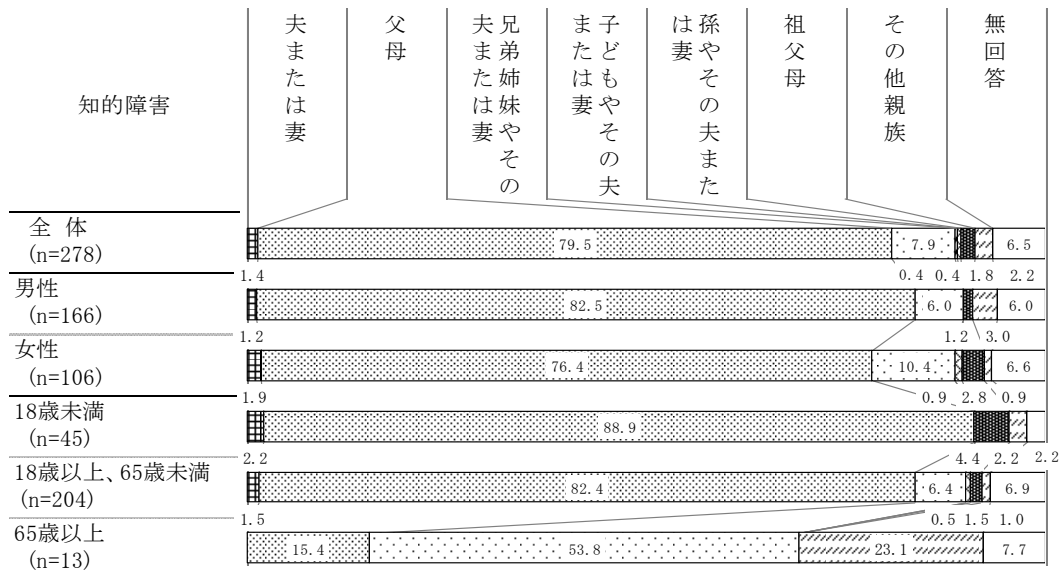


問 13-1 ご親族の中でいちばん長い時間あなたを支えてくれる方はどなたですか。

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人について尋ねたところ、＜全体＞では「父母」が79.5%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「父母」が82.5%と76.4%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳未満＞＜18歳以上、65歳未満＞で「父母」が88.9%と82.4%で多かった。

問 13-1 親族中で主に介助や支援してくれる人 (SA)

図 2-5-7 知的障害者の主な介助者 [%]

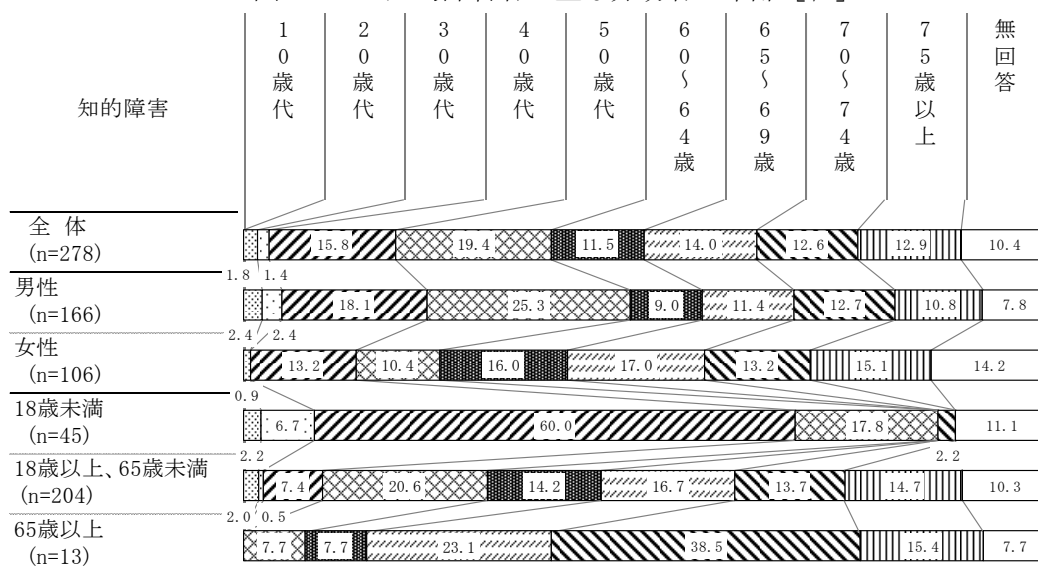


問 13-2 おもな介助者の年齢をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の年齢を尋ねたところ、＜全体＞では「50歳代」が19.4%で最も多かった。性別では＜男性＞で「50歳代」が25.3%、＜女性＞で「65～69歳」が17.0%で多かった。年齢別に見ると、＜18歳未満＞で「40歳代」が60.0%、＜18歳以上、65歳未満＞で「50歳代」が20.6%が多い。

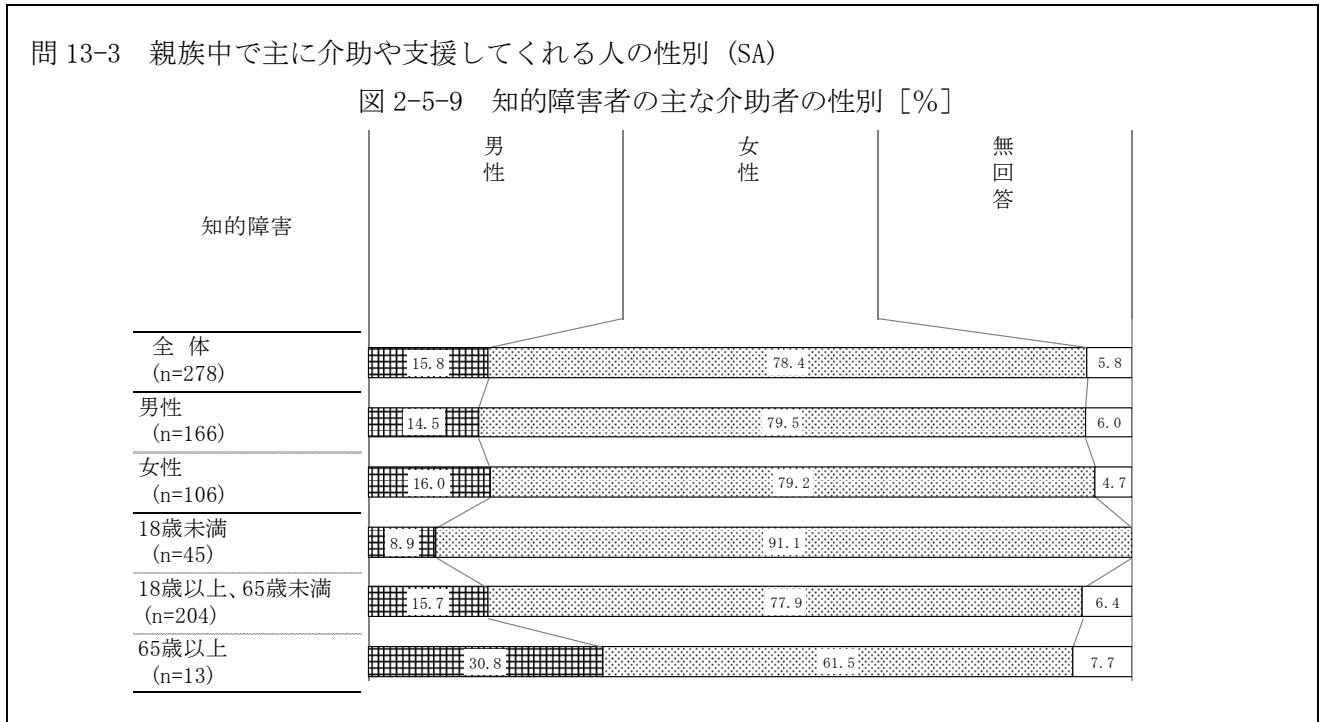
問 13-2 親族中で主に介助や支援してくれる人の年齢 (SA)

図 2-5-8 知的障害者の主な介助者の年齢 [%]



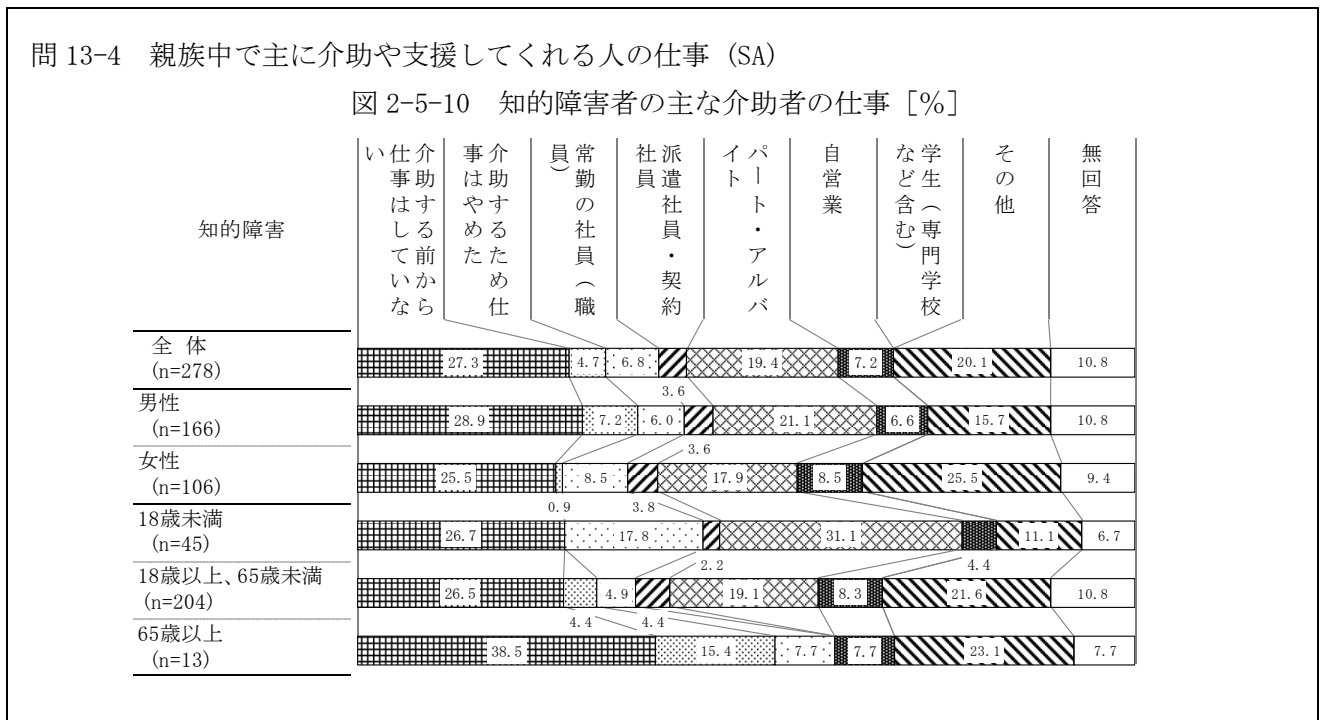
問 13-3 おもな介助者の性別をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の性別を尋ねたところ、<全体>では「女性」が78.4%で最も多かった。性別では<男女>共に「女性」が79.5%と79.2%で最も多かった。年齢別に見ても、<18歳未満><18歳以上、65歳未満>で「女性」が91.1%と77.9%で多かった。



問 13-4 おもな介助者の現在の仕事についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の仕事を尋ねたところ、<全体>では「介助する前から仕事はしていない」が27.3%で最も多かった。性別では<男女>共に「介助する前から仕事はしていない」が28.9%と25.5%で最も多かった。年齢別に見ると、<18歳未満>で「パート・アルバイト」が31.1%、<18歳以上、65歳未満>で「介助する前から仕事はしていない」が26.5%で多かった。



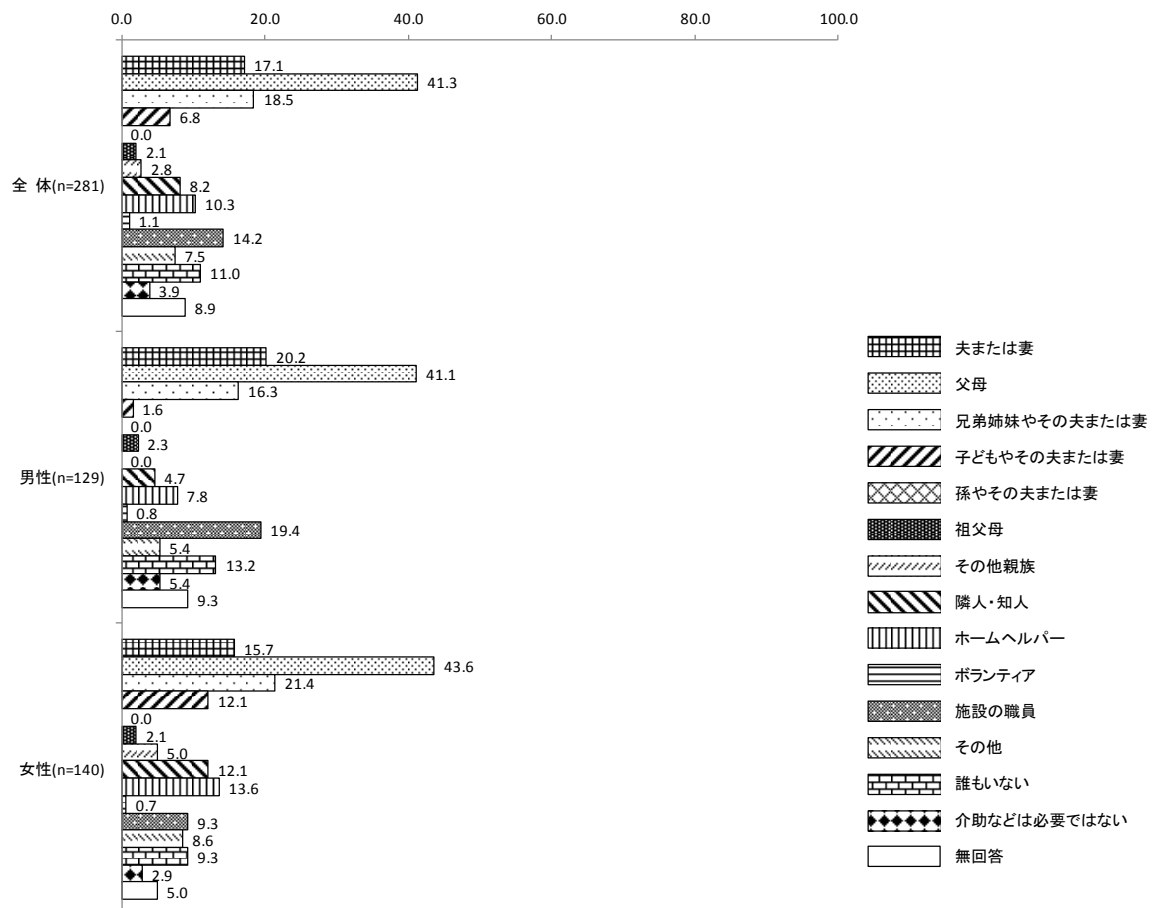
5-3 精神障害者の介助・支援について

問 13 介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか。

対象者を介助や支援してくれる人について尋ねたところ、＜全体＞では「父母」が41.3%と最も多かった。性別では＜男女＞共に「父母」が41.1%と43.6%で最も多かった。

問 13 介助や支援してくれる人 (MA) 【全体・性別】

図 2-5-11-1 精神障害者の介助や支援してくれる人 [%]

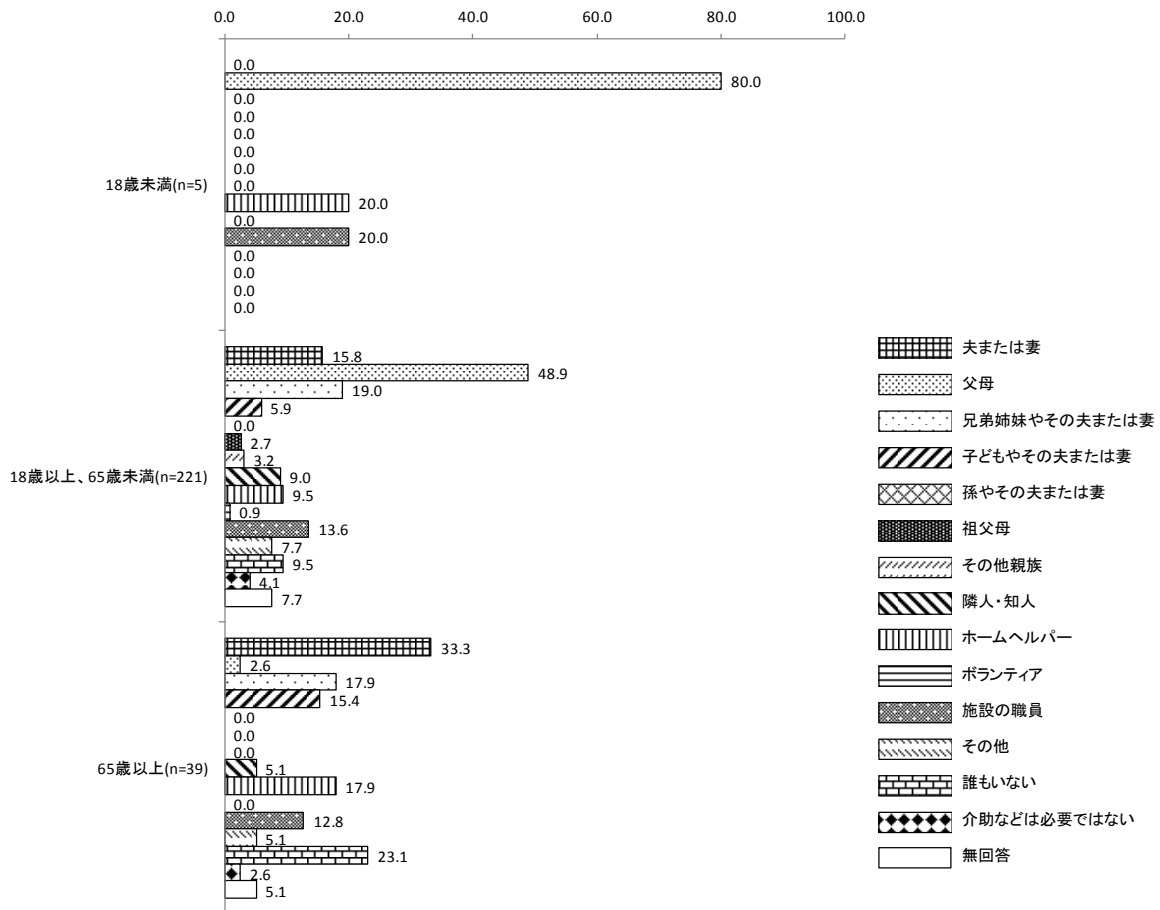


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>が「父母」で48.9%、<65歳以上>では「夫または妻」が33.3%で最も多かった。

問13 介助や支援してくれる人 (MA) 【年齢別】

図 2-5-11-2 精神障害者の介助や支援してくれる人 [%]

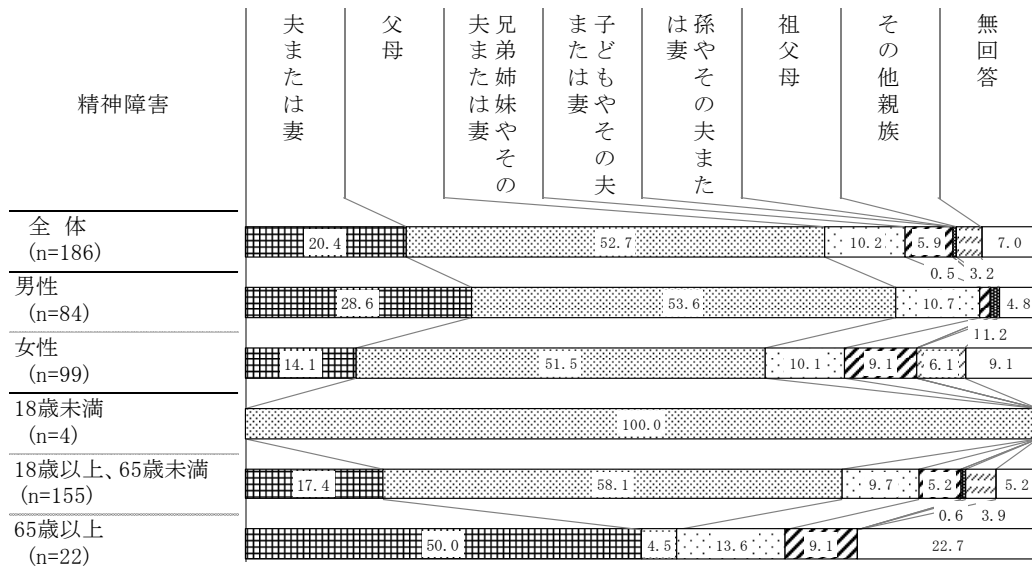


問 13-1 ご親族の中でいちばん長い時間あなたを支えてくれる方はどなたですか。

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人について尋ねたところ、＜全体＞では「父母」が 52.7% で最も多かった。性別では＜男女＞共に「父母」が 53.6%と 51.5%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18 歳以上、65 歳未満＞で「父母」が 58.1%で多かった。

問 13-1 親族中で主に介助や支援してくれる人 (SA)

図 2-5-12 精神障害者の主な介助者 [%]

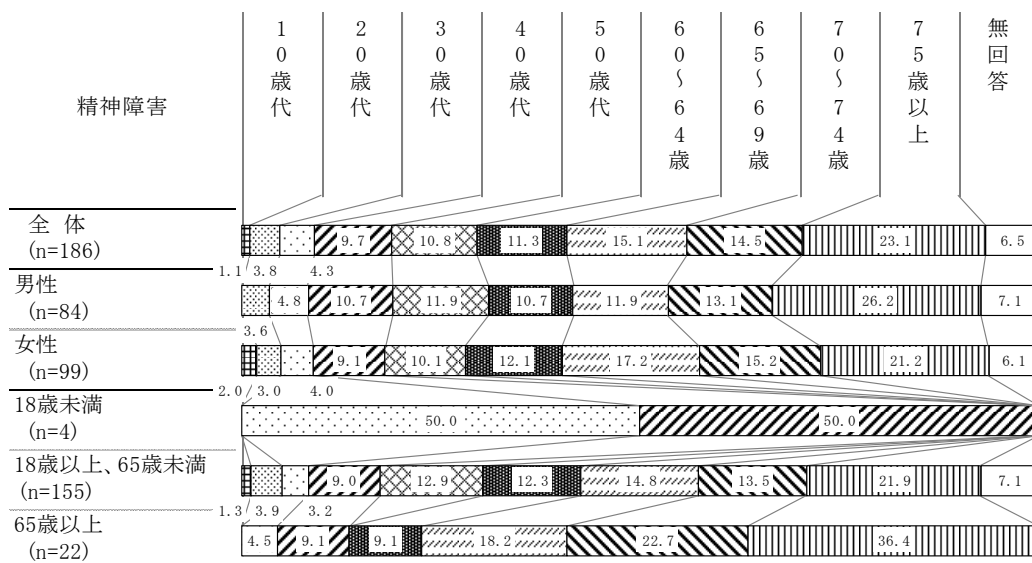


問 13-2 おもな介助者の年齢をうかがいます。(あてはまる番号 1 つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の年齢を尋ねたところ、＜全体＞では「75 歳以上」が 23.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「75 歳以上」が 26.2%と 21.2%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18 歳以上、65 歳未満＞で「75 歳以上」が 21.9%で多かった。

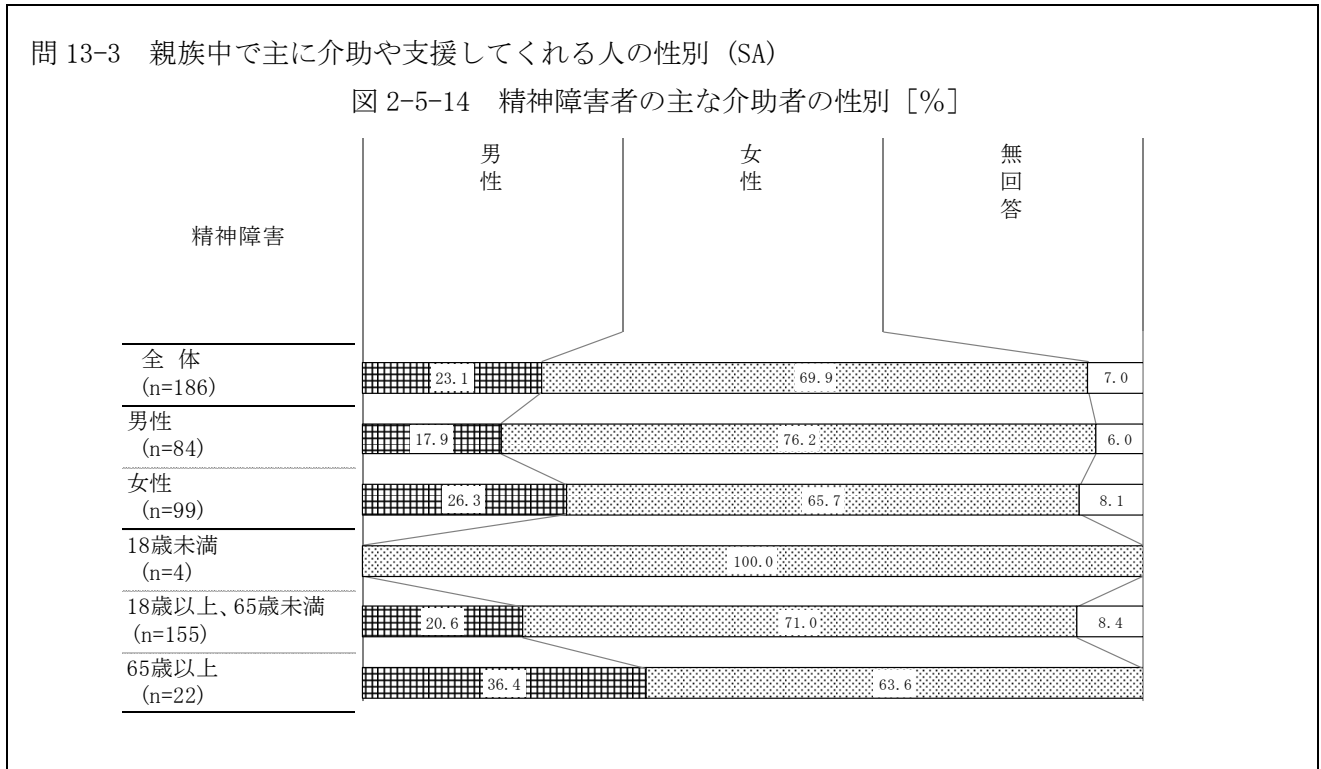
問 13-2 親族中で主に介助や支援してくれる人の年齢 (SA)

図 2-5-13 精神障害者の主な介助者の年齢 [%]



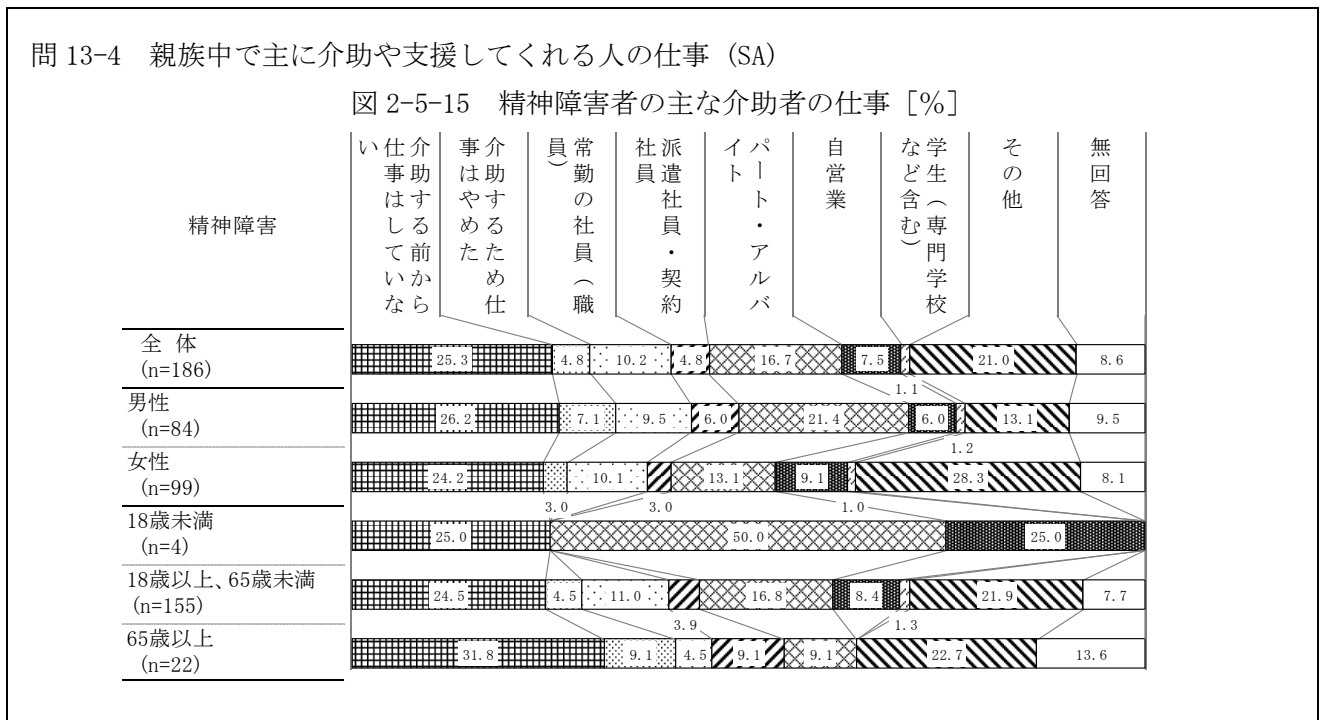
問 13-3 おもな介助者の性別をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の性別を尋ねたところ、<全体>では「女性」が69.9%で最も多かった。性別では<男女>共に「女性」が76.2%と65.7%で最も多かった。年齢別に見ても、<18歳以上、65歳未満>で「女性」が71.0%で多かった。



問 13-4 おもな介助者の現在の仕事についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の仕事を尋ねたところ、<全体>では「介助する前から仕事はしていない」が25.3%で最も多かった。性別では<男女>共に「介助する前から仕事はしていない」が26.2%と24.2%で最も多かった。年齢別に見ても、<18歳以上、65歳未満>で「介助する前から仕事はしていない」が24.5%で多かった。



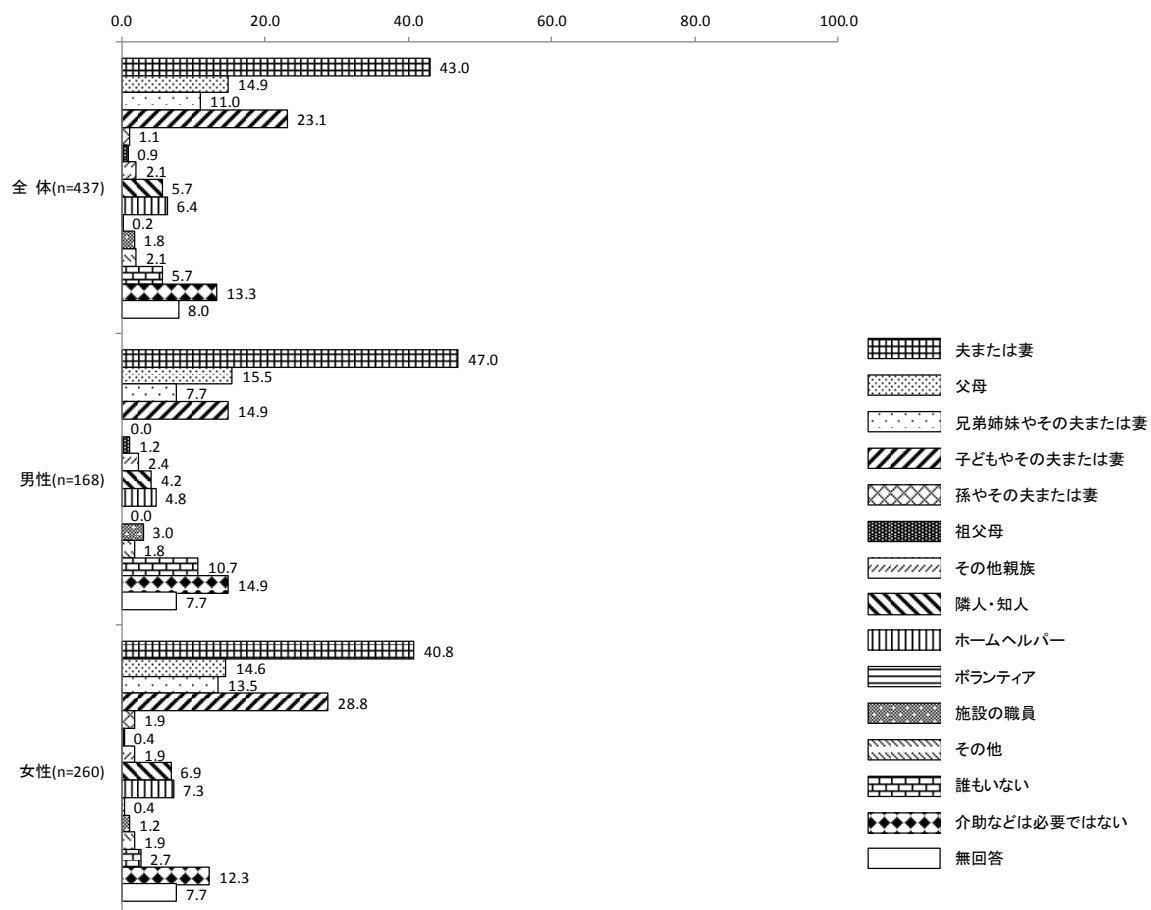
5-4 難病患者の介助・支援について

問 13 介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか。

対象者を介助や支援してくれる人について尋ねたところ、＜全体＞では「夫または妻」が43.0%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「夫または妻」が47.0%と40.8%で最も多かった。

問 13 介助や支援してくれる人 (MA) 【全体・性別】

図 2-5-16-1 難病患者の介助や支援してくれる人 [%]

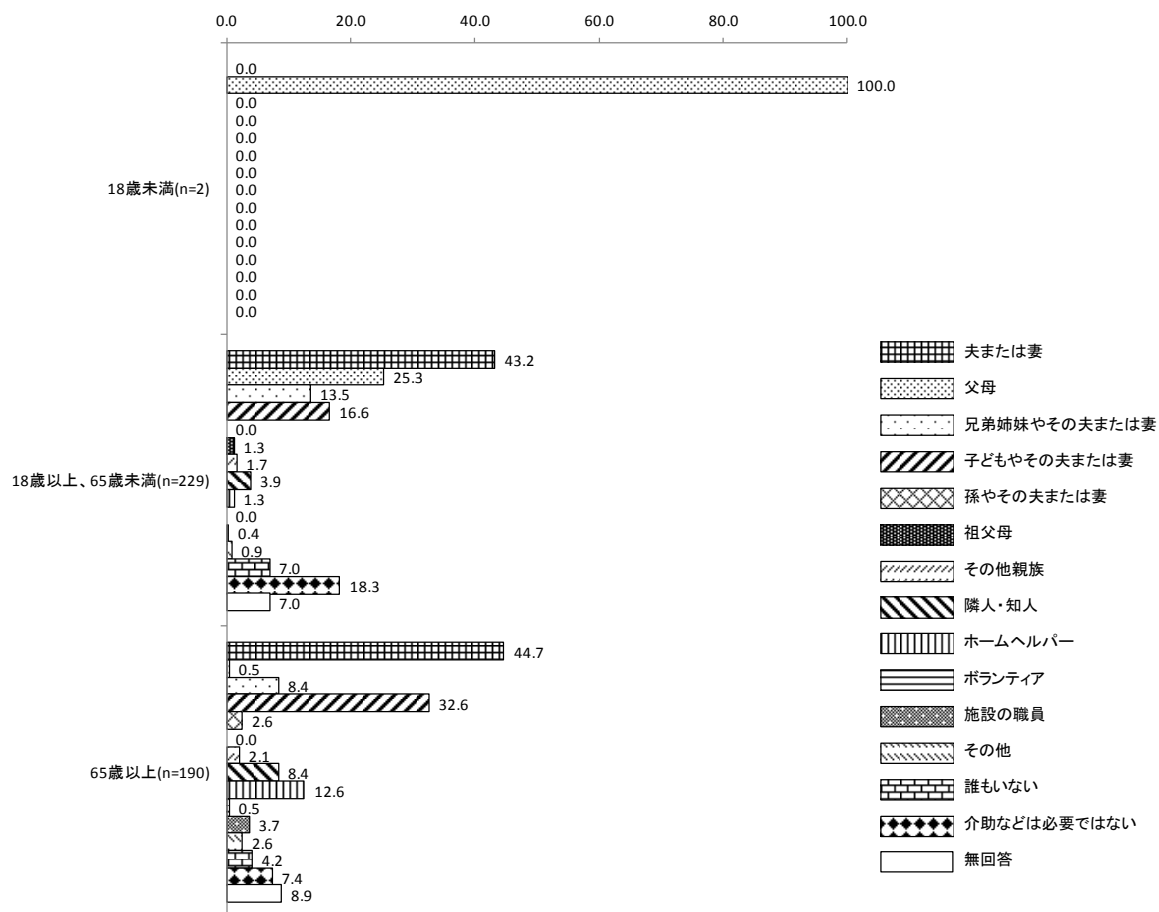


II 調査結果

年齢別に見ても<18歳以上、65歳未満><65歳以上>では「夫または妻」が43.2%と44.7%で最も多かった。

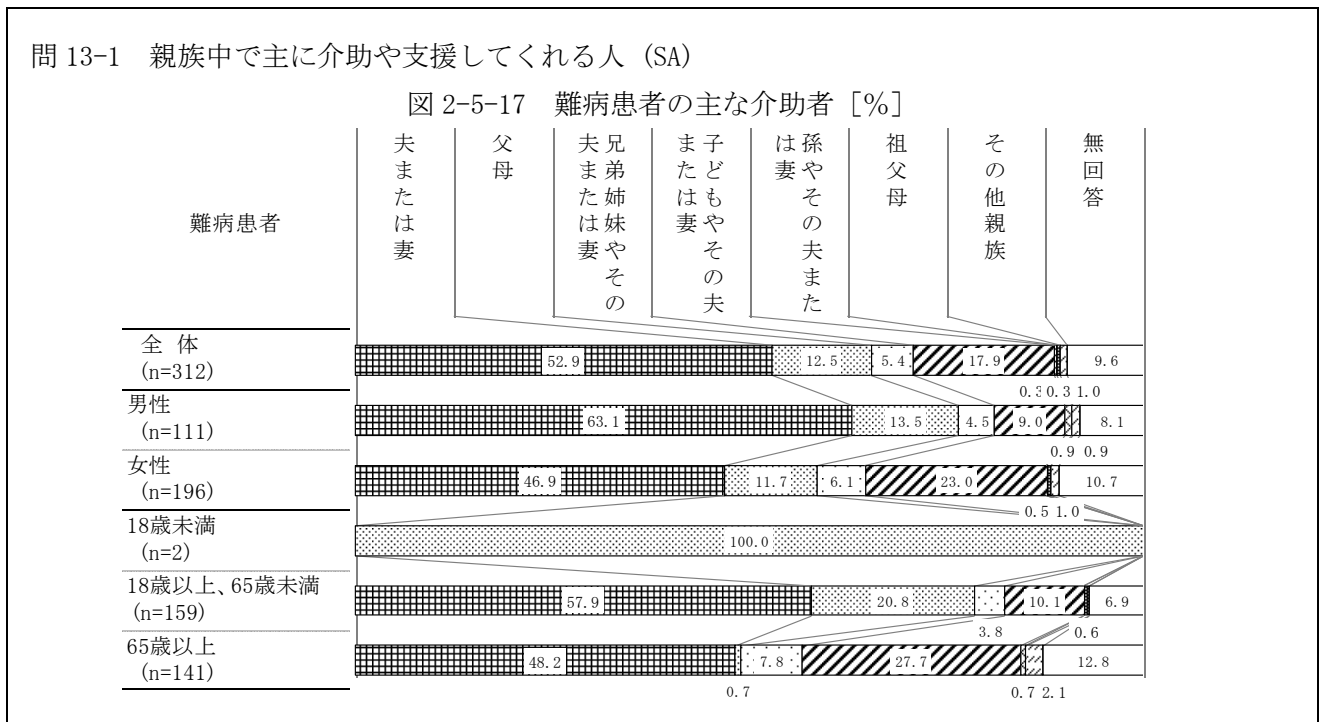
問 13 介助や支援してくれる人 (MA) 【年齢別】

図 2-5-16-2 難病患者の介助や支援してくれる人 [%]



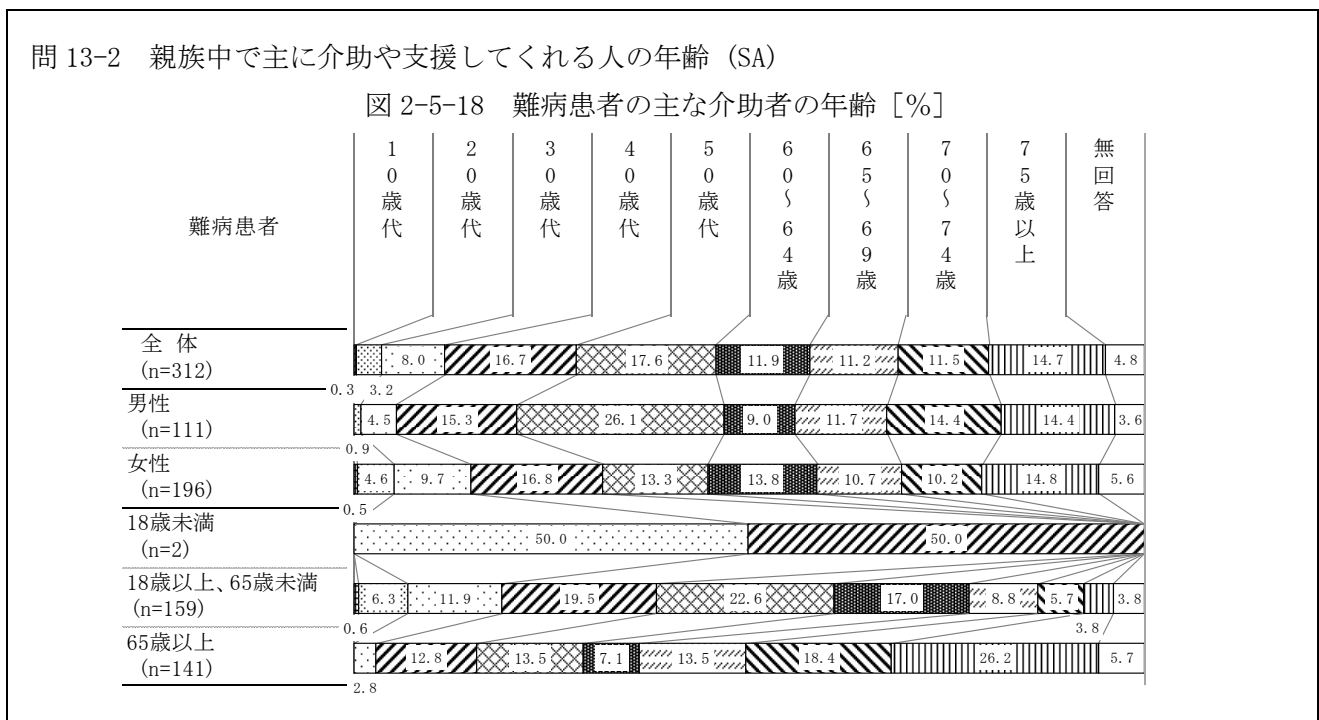
問 13-1 ご親族の中でいちばん長い時間あなたを支えてくれる方はどなたですか。

親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人について尋ねたところ、＜全体＞では「夫または妻」が 52.9%で最も多かった。性別では＜男性＞共に「夫または妻」が 63.1%と 46.9%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「夫または妻」が 57.9 と 48.2%で多かった。



問 13-2 おもな介助者の年齢をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

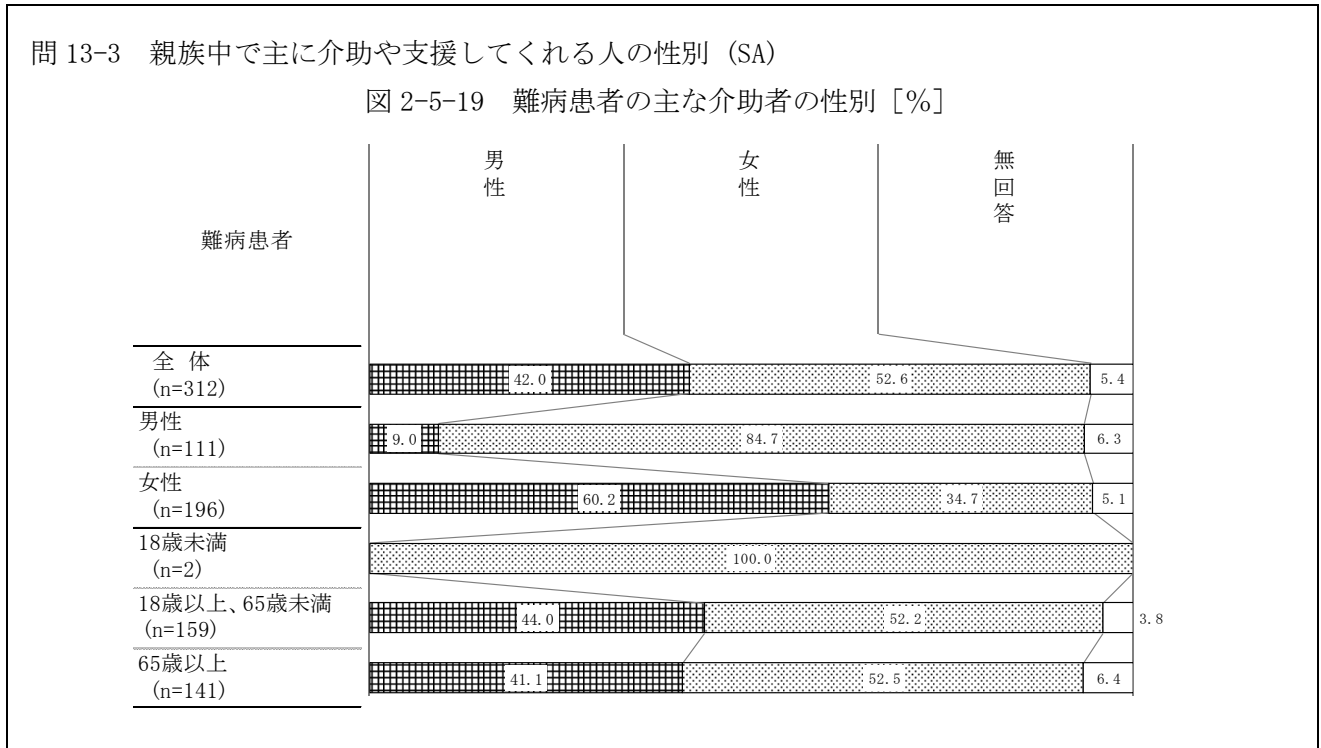
親族中で対象者を介助や支援してくれる主な人の年齢を尋ねたところ、＜全体＞では「50歳代」が 17.6%で最も多かった。性別では＜男性＞で「50歳代」が 26.1%、＜女性＞で「40歳代」が 16.8%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「50歳代」が 22.6%、＜65歳以上＞で「75歳以上」が 26.2%で多かった。



II 調査結果

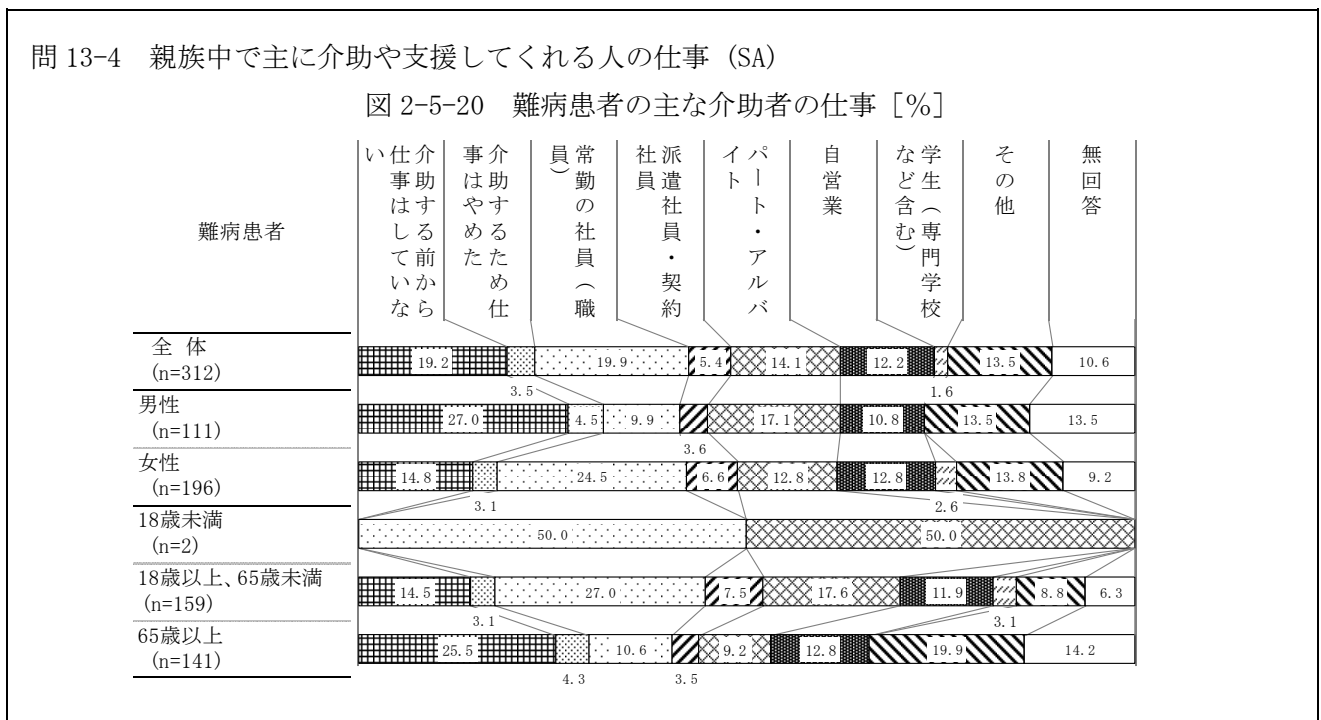
問 13-3 おもな介助者の性別をうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

介助や支援してくれる主な人の性別を尋ねたところ、<全体>では「女性」が52.6%で最も多かった。性別では<男性>で「女性」が84.7%、<女性>で「男性」が60.2%で最も多かった。年齢別に見ると、<18歳以上、65歳未満><65歳以上>で「女性」が52.2%と52.5%で多かった。



問 13-4 おもな介助者の現在の仕事についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

介助や支援してくれる主な人の仕事を尋ねたところ、<全体>では「常勤の社員(職員)」が19.9%で最も多かった。性別では<男性>で「介助する前から仕事をしていない」が27.0%、<女性>で「常勤の社員(職員)」が24.5%で最も多かった。年齢別に見ると、<18歳以上、65歳未満>で「常勤の社員(職員)」が27.0%、<65歳以上>で「介助する前から仕事をしていない」が25.5%で多かった。

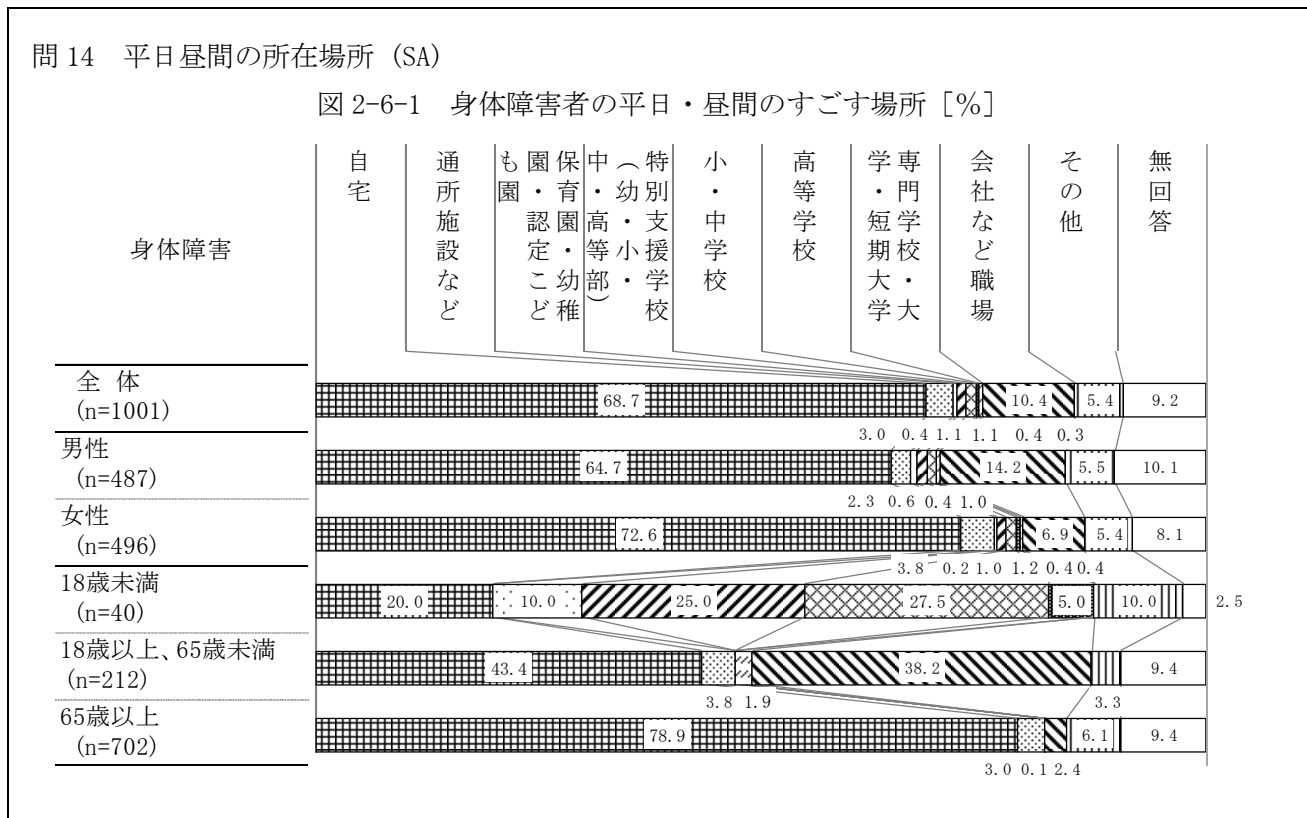


6. 日常生活

6-1 身体障害者の日常生活について

問 14 あなたは、平日の昼間おもにどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者が平日の昼間どこですごしているかを尋ねたところ、＜全体＞では「自宅」が68.7%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「自宅」が64.7%と72.6%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「自宅」が43.4%と78.9%で多かった。



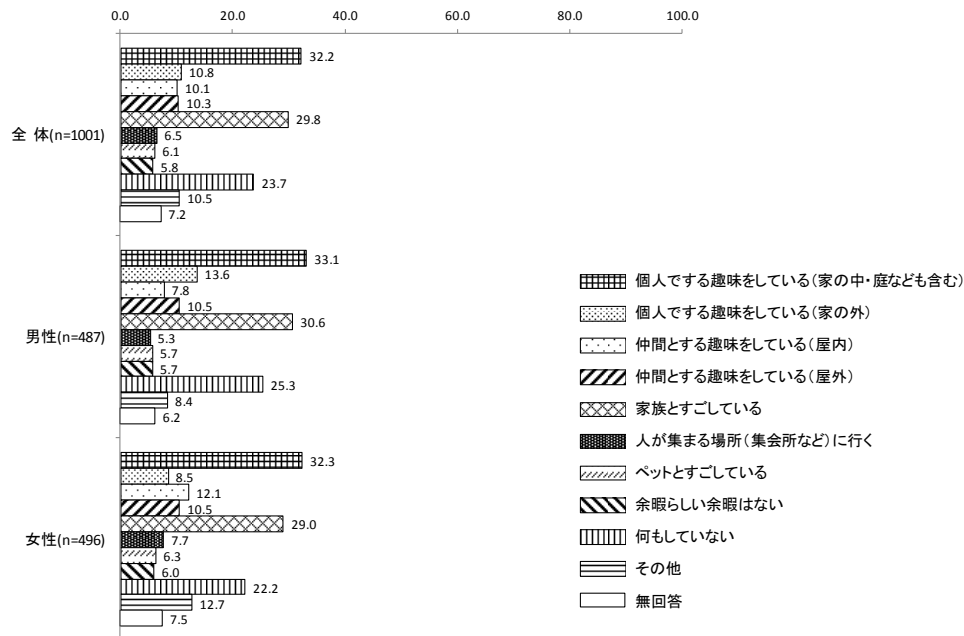
II 調査結果

問 15 あなたは、余暇をどのようにすごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の余暇の過ごし方について尋ねたところ、＜全体＞では「個人でする趣味をしている（家の中・庭なども含む）」が32.2%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「個人でする趣味をしている（家の中・庭なども含む）」が33.1%と32.3%で最も多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【全体・性別】

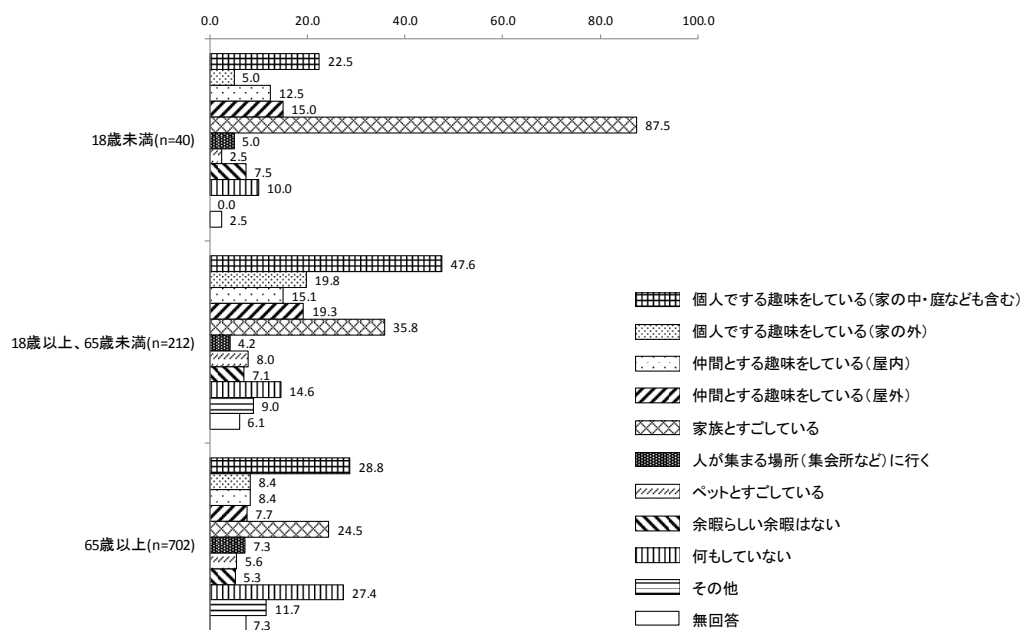
図 2-6-2-1 身体障害者の余暇の過ごし方 [%]



年齢別では＜18歳未満＞では「家族とすごしている」が87.5%、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞では「個人でする趣味をしている（家の中・庭なども含む）」が47.6%と28.8%で最も多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【年齢別】

図 2-6-2-2 身体障害者の余暇の過ごし方 [%]



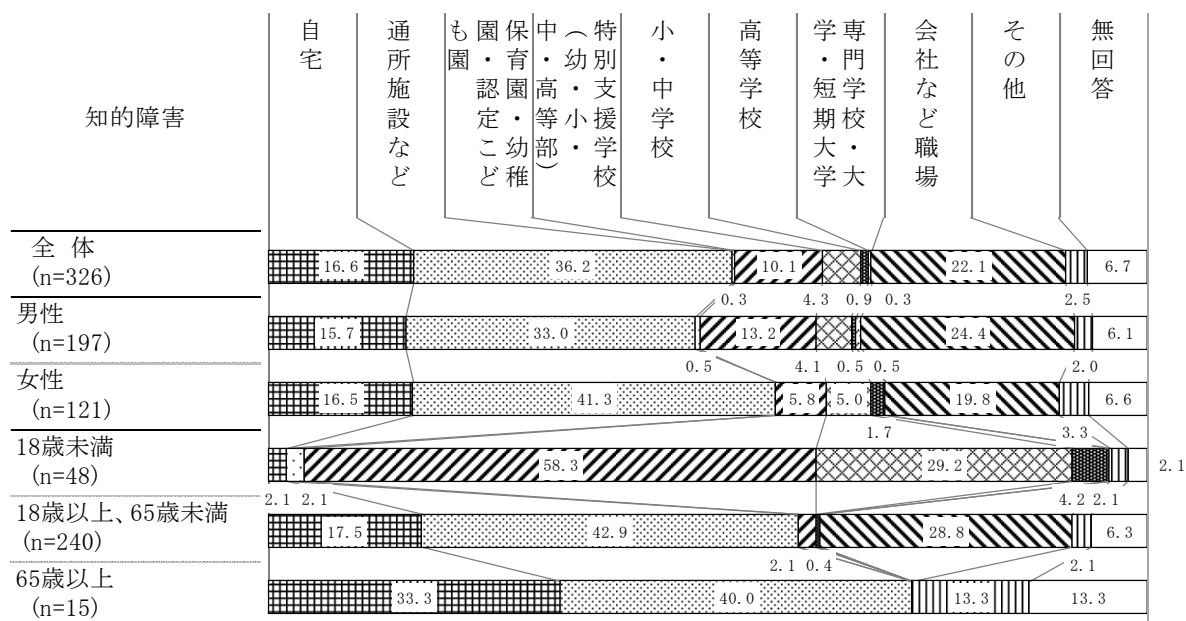
6-2 知的障害者の日常生活について

問 14 あなたは、平日の昼間おもにどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者が平日の昼間どこですごしているかを尋ねたところ、＜全体＞では「通所施設など」が36.2%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「通所施設など」が33.0%と41.3%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳未満＞で「特別支援学校（幼・小・中・高等部）」が58.3%、＜18歳以上、65歳未満＞で「通所施設など」が42.9%で多かった。

問 14 平日昼間の所在場所 (SA)

図 2-6-3 知的障害者の平日・昼間の過ごす場所 [%]

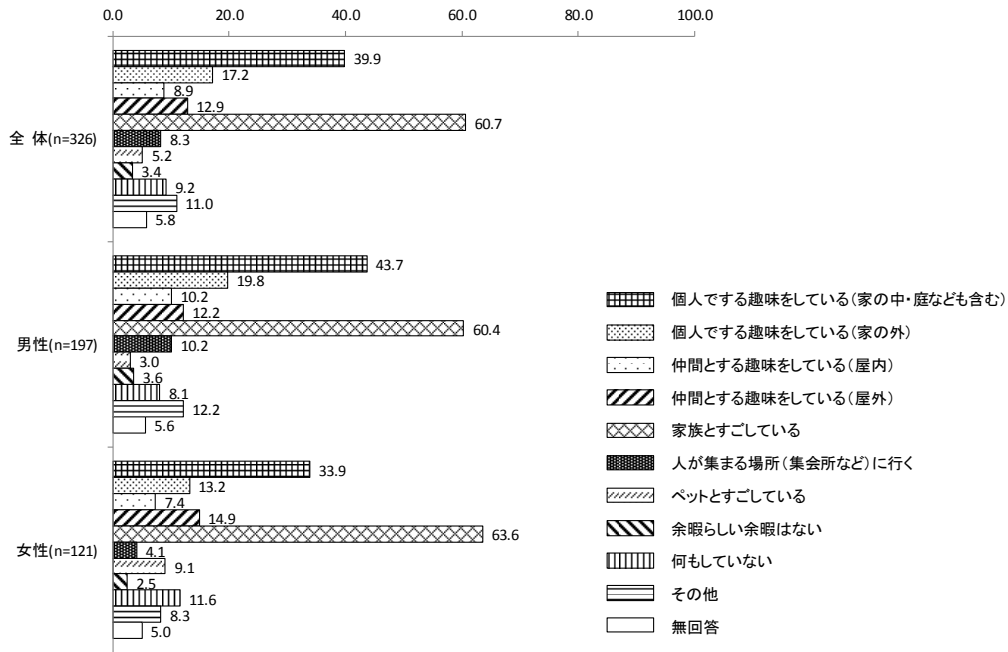


問 15 あなたは、余暇をどのようにすごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の余暇の過ごし方について尋ねたところ、<全体>では「家族とすごしている」が60.7%で最も多かった。性別では<男女>共に「家族とすごしている」が60.4%と63.6%で最も多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【全体・性別】

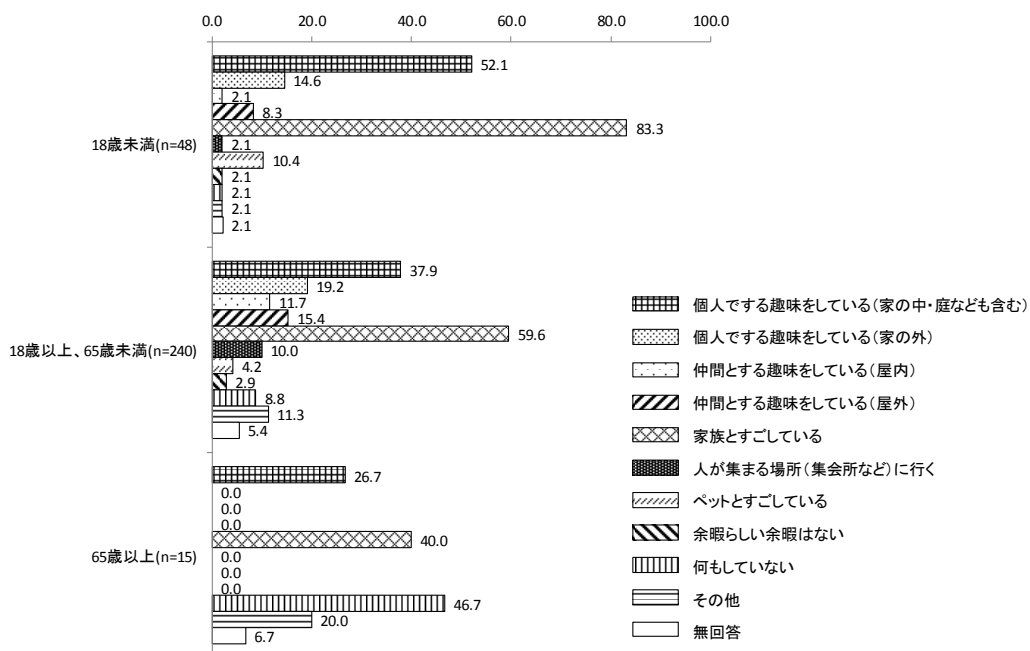
図 2-6-4-1 知的障害者の余暇の過ごし方 [%]



年齢別に見ると<18歳未満><18歳以上、65歳未満>では「家族とすごしている」が83.3%と59.6%で、<65歳以上>では「何もしていない」が46.7%で多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【年齢別】

図 2-6-4-2 知的障害者の余暇の過ごし方 [%]



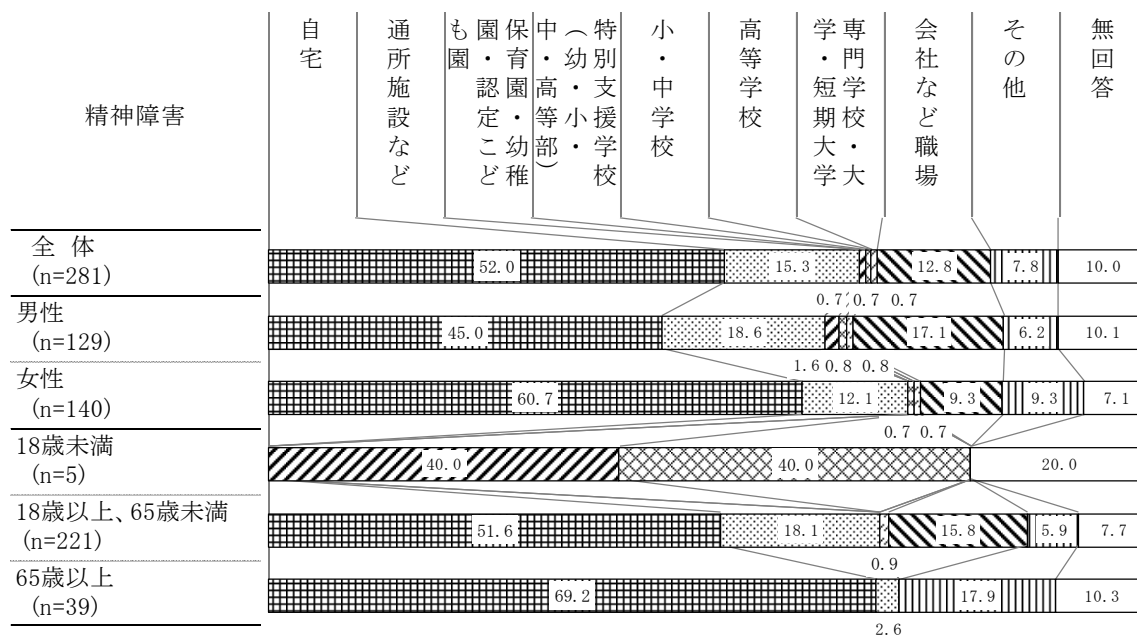
6-3 精神障害者の日常生活について

問 14 あなたは、平日の昼間おもにどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者が平日の昼間どこで過ごしているかを尋ねたところ、＜全体＞では「自宅」が52.0%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「自宅」が45.0%と60.7%で最も多かった。年齢別に見ても、＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「自宅」が51.6%と69.2%で多かった。

問 14 平日昼間の所在場所 (SA)

図 2-6-5 精神障害者の平日・昼間の過ごす場所 [%]

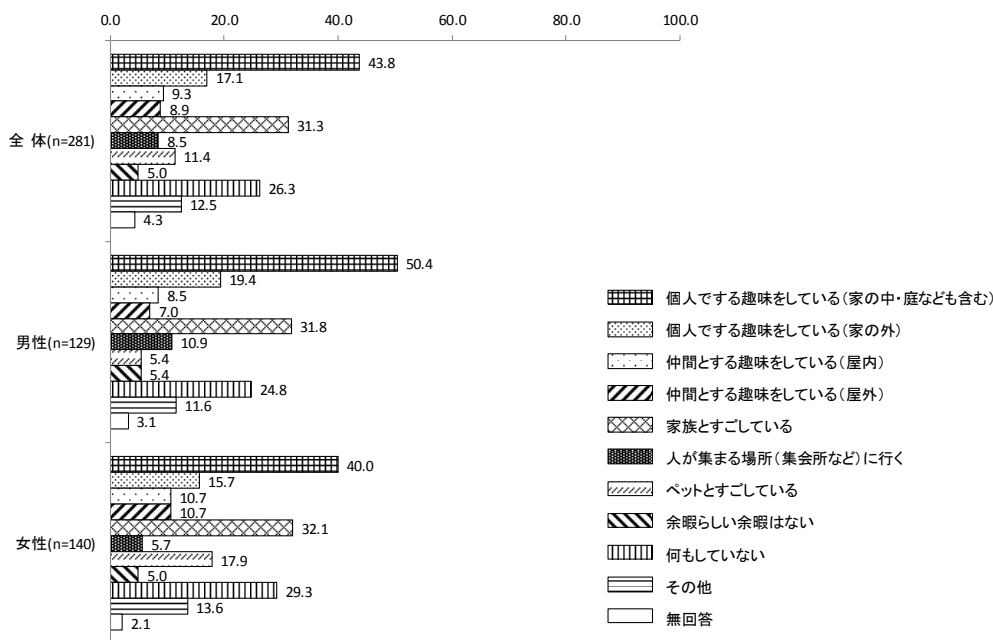


問 15 あなたは、余暇をどのようにすごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の余暇の過ごし方について尋ねたところ、<全体>では「個人でする趣味をしている（家の中・庭などを含む）」が43.8%だった。性別では<男女>共に「個人でする趣味をしている（家の中・庭などを含む）」が50.4%と40.0%で最も多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【全体・性別】

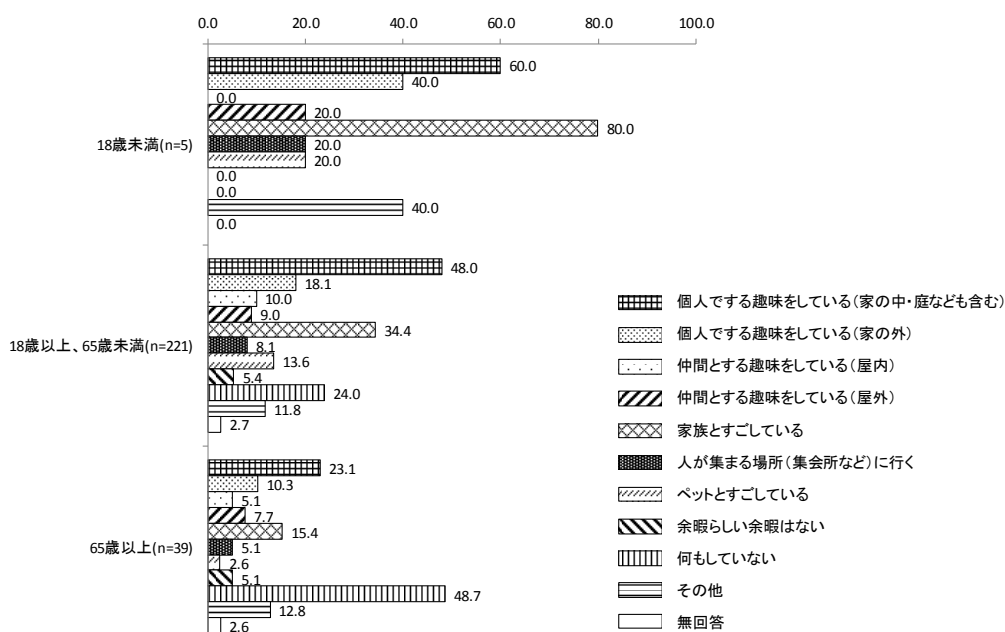
図 2-6-6-1 精神障害者の余暇の過ごし方 [%]



年齢別では<18歳未満>で「家族とすごしている」が80.0%、<18歳以上、65歳未満>で「個人でする趣味をしている（家の中・庭などを含む）」が48.0%だった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【年齢別】

図 2-6-6-2 精神障害者の余暇の過ごし方 [%]



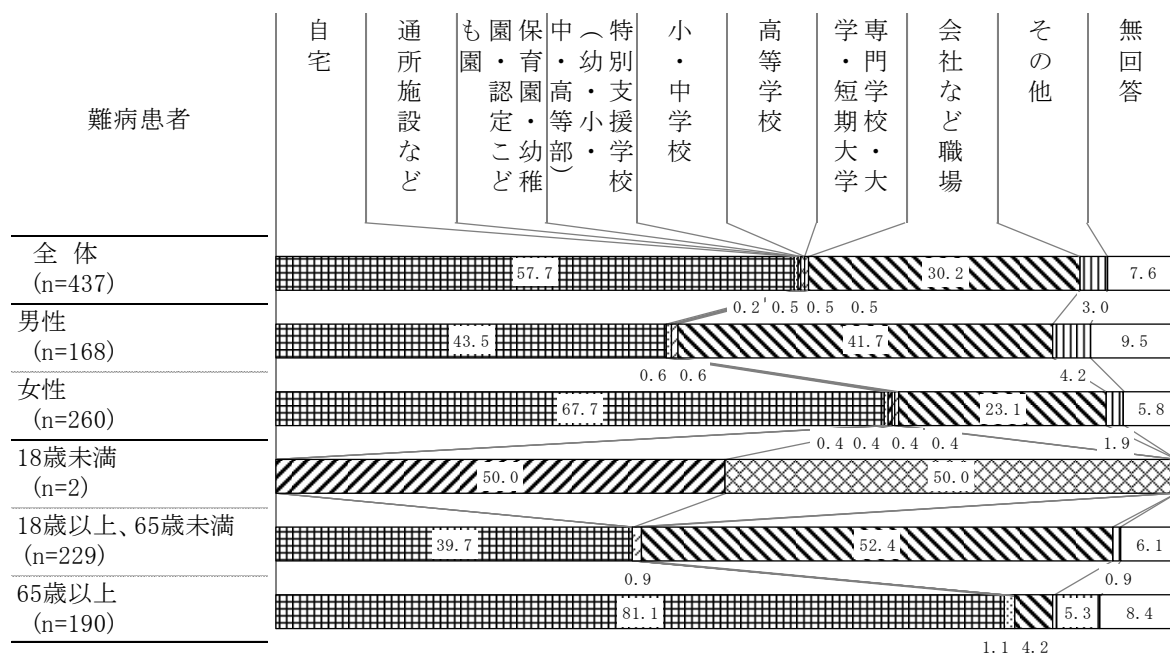
6-4 難病患者の日常生活について

問 14 あなたは、平日の昼間おもにどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者が平日の昼間どこで過ごしているかを尋ねたところ、＜全体＞では「自宅」が57.7%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「自宅」が43.5%と67.7%で最も多かった。年齢別に見ると、＜18歳以上、65歳未満＞で「会社など職場」が52.4%、＜65歳以上＞で「自宅」が81.1%で多かった。

問 14 平日昼間の所在場所 (SA)

図 2-6-7 難病患者の平日・昼間の過ごす場所 [%]



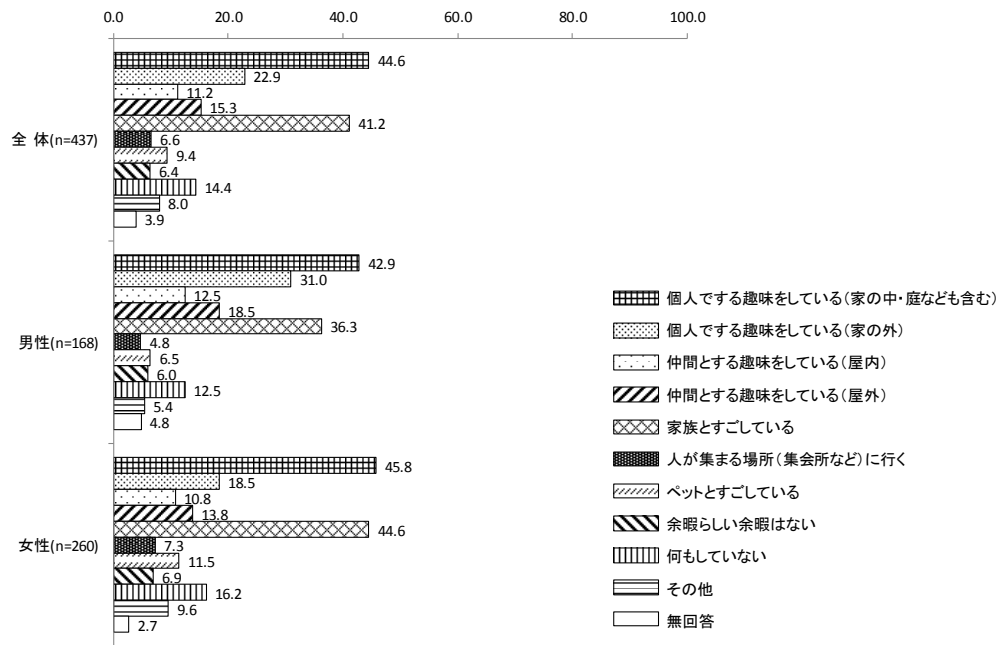
II 調査結果

問 15 あなたは、余暇をどのようにすごしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者の余暇の過ごし方について尋ねたところ、＜全体＞では「個人でする趣味をしている（家の中・庭などを含む）」が44.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「個人でする趣味をしている（家の中・庭などを含む）」が42.9%と45.8%で最も多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【全体・性別】

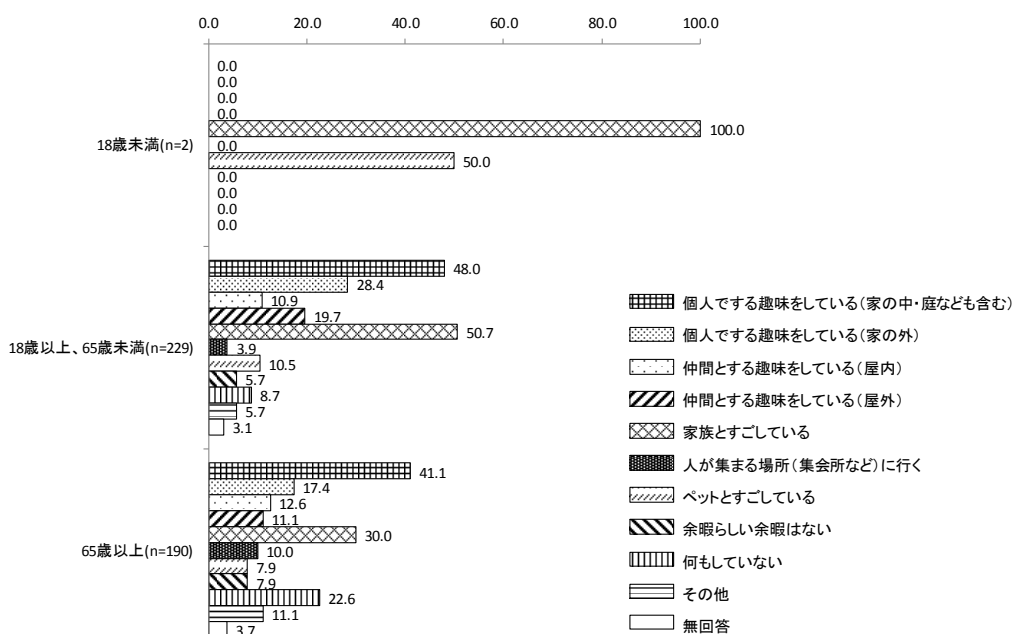
図 2-6-8-1 難病患者の余暇の過ごし方 [%]



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞では「家族とすごしている」が50.7%で、＜65歳以上＞では「個人でする趣味をしている（家の中・庭などを含む）」が41.1%で最も多かった。

問 15 余暇の過ごし方 (MA) 【年齢別】

図 2-6-8-2 難病患者の余暇の過ごし方 [%]

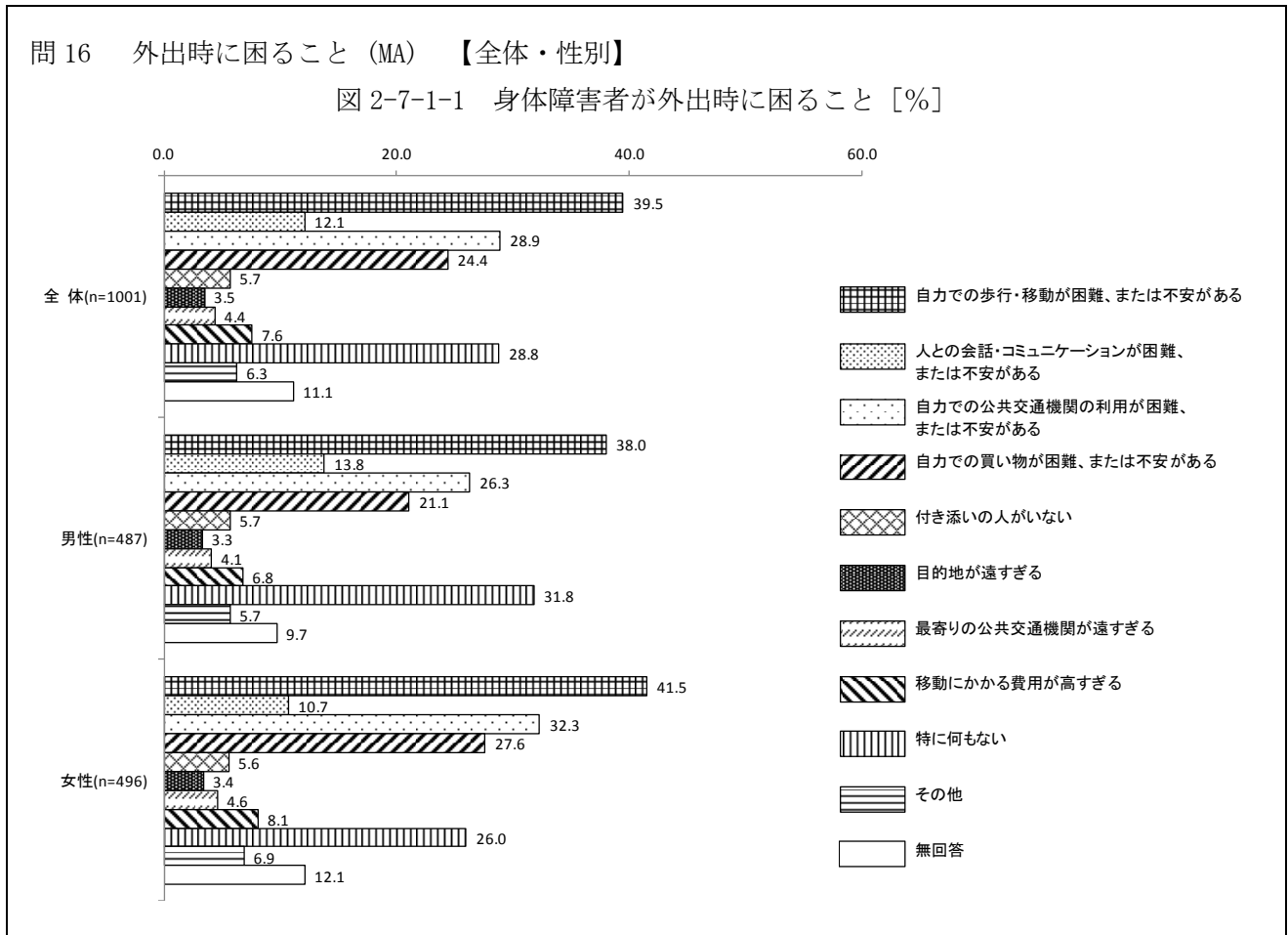


7. 外出・地域環境・交通

7-1 身体障害者の外出・地域環境・交通について

問 16 あなたが、外出時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に外出時に困ることについて尋ねたところ、<全体>では「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が39.5%で最も多かった。性別では<男女>共に「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が38.0%と、41.5%で最も多かった。

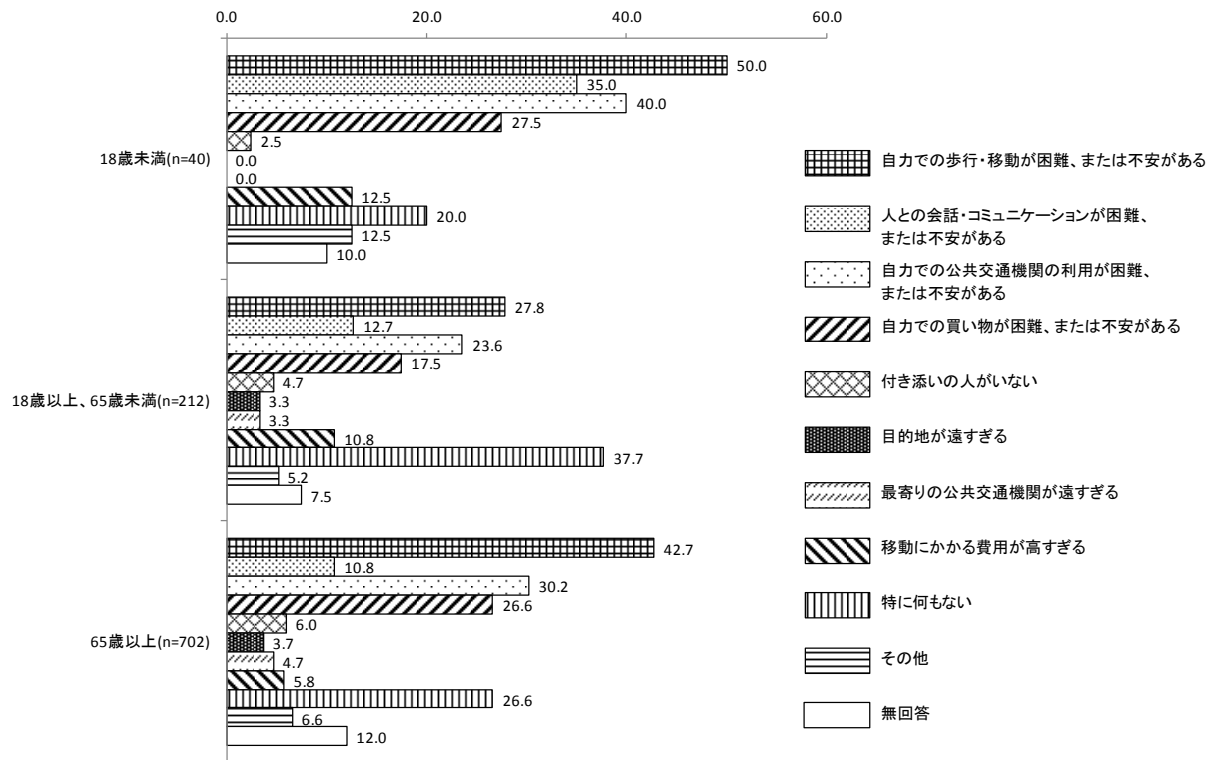


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳未満><18歳以上、65歳未満><65歳以上>共に「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が50.0%、27.8%と、42.7%で最も多かった。

問 16 外出時に困ること (MA) 【年齢別】

図 2-7-1-2 身体障害者が外出時に困ること [%]

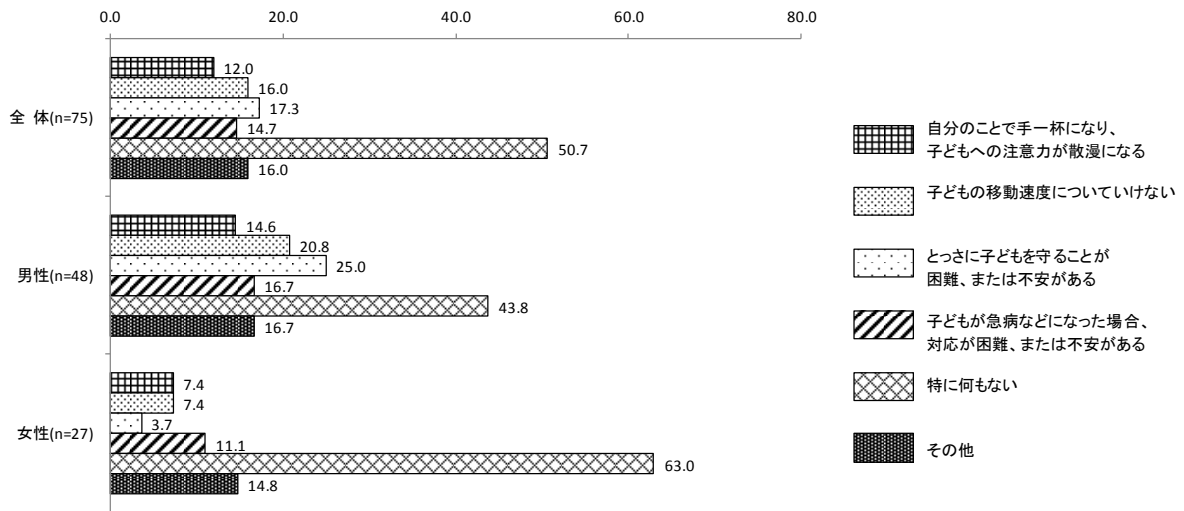


問 17 あなたが、あなたのお子さんと一緒に外出するときに困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

18歳未満の子どもがいる方に、一緒に外出する時に困ることについて尋ねたところ、＜全体＞では「とっさに子供を守ることが困難、または不安がある」が17.3%が多かった。性別では＜男性＞では「とっさに子供を守ることが困難、または不安がある」が25.0%、＜女性＞で「子供が急病などになった場合、対応が困難、または不安がある」が11.1%が多かった。

問 17 子ども随行時に困ること (MA) 【全体・性別】

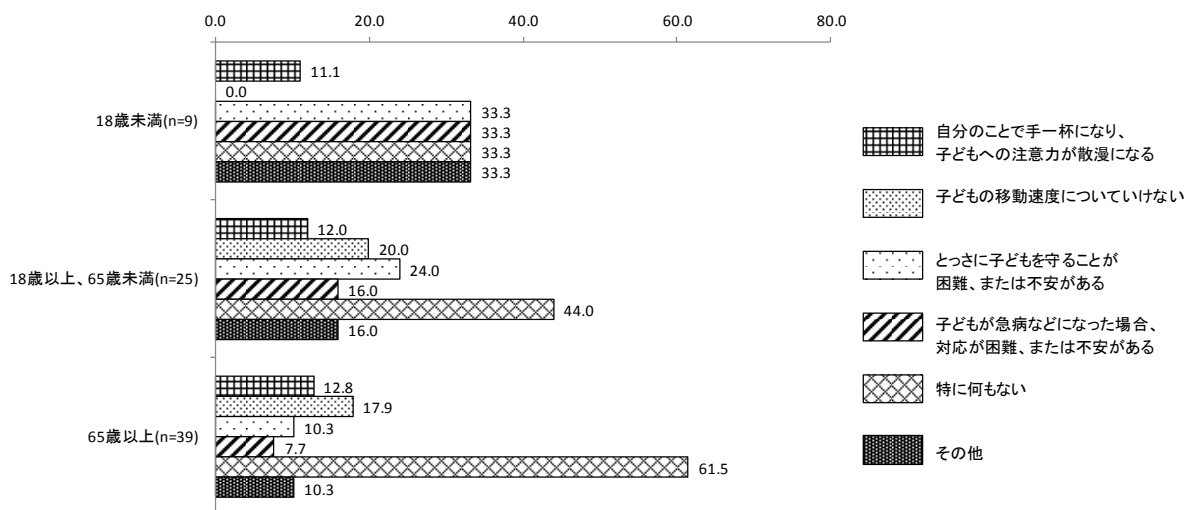
図 2-7-2-1 身体障害者が子ども随行時に困ること [%]



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞で「とっさに子供を守ることが困難、または不安がある」が24.0%で、＜65歳以上＞で「子どもの移動速度についていけない」が17.9%で最も多かった。

問 17 子ども随行時に困ること (MA) 【年齢別】

図 2-7-2-2 身体障害者が子ども随行時に困ること [%]



II 調査結果

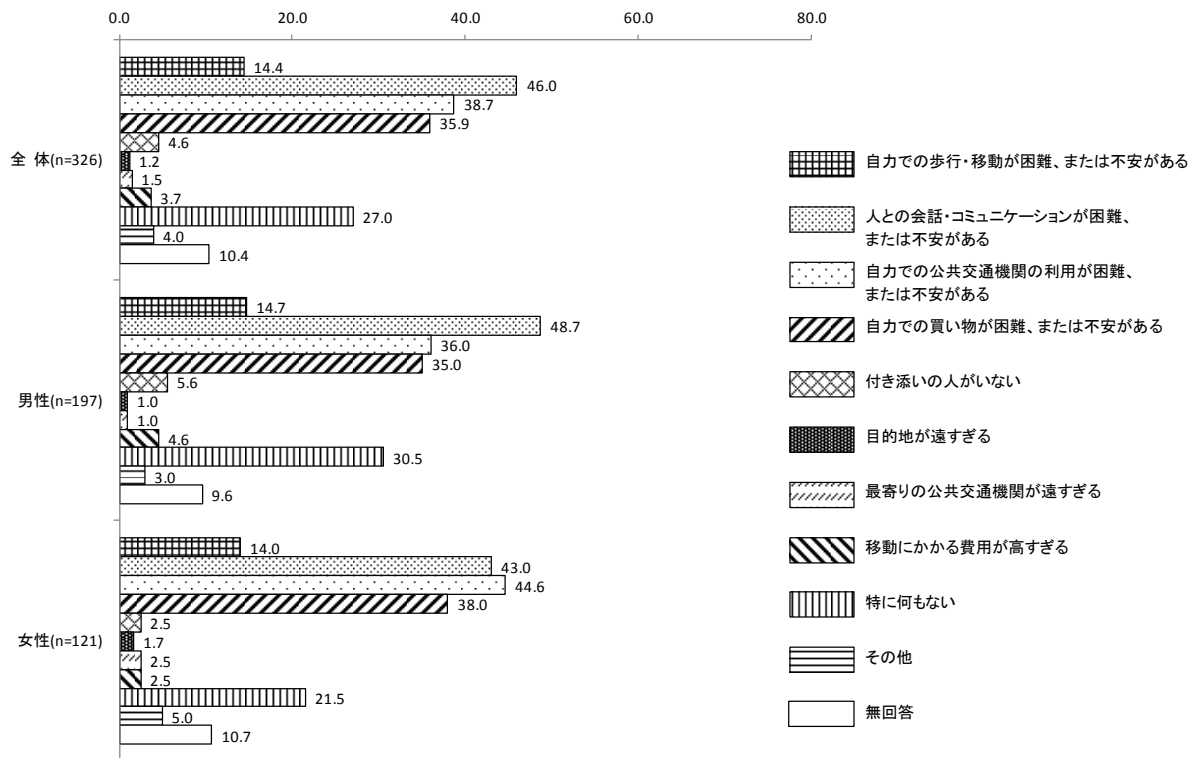
7-2 知的障害者の外出・地域環境・交通について

問 16 あなたが、外出時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に外出時に困ることについて尋ねたところ、＜全体＞では「人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある」が46.0%で最も多かった。性別では＜男性＞で「人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある」が48.7%、＜女性＞で「自力での公共交通機関の利用が困難、または不安がある」が44.6%で最も多かった。

問 16 外出時に困ること (MA) 【全体・性別】

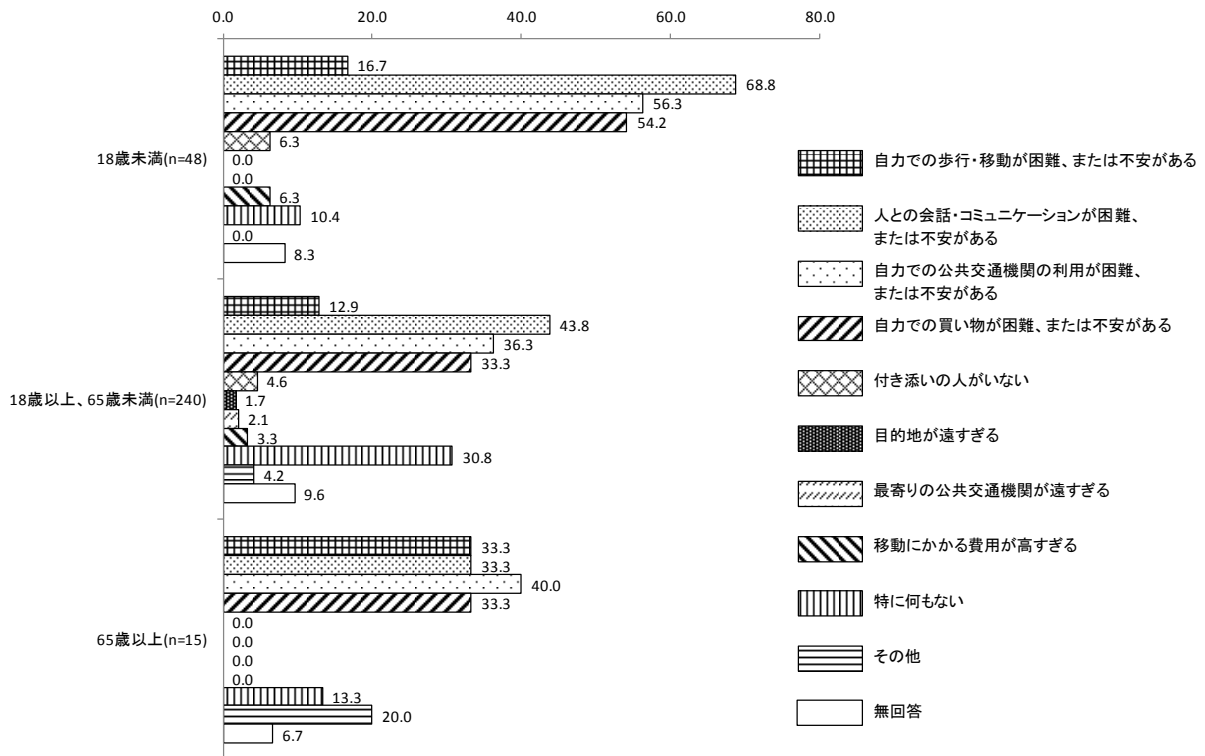
図 2-7-3-1 知的障害者が外出時に困ること [%]



年齢別に見ると＜18歳未満＞＜18歳以上、65歳未満＞が「人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある」で68.8%と43.8%、＜65歳以上＞では「自力での公共交通機関の利用が困難、または不安がある」が40.0%で最も多かった。

問 16 外出時に困ること (MA) 【年齢別】

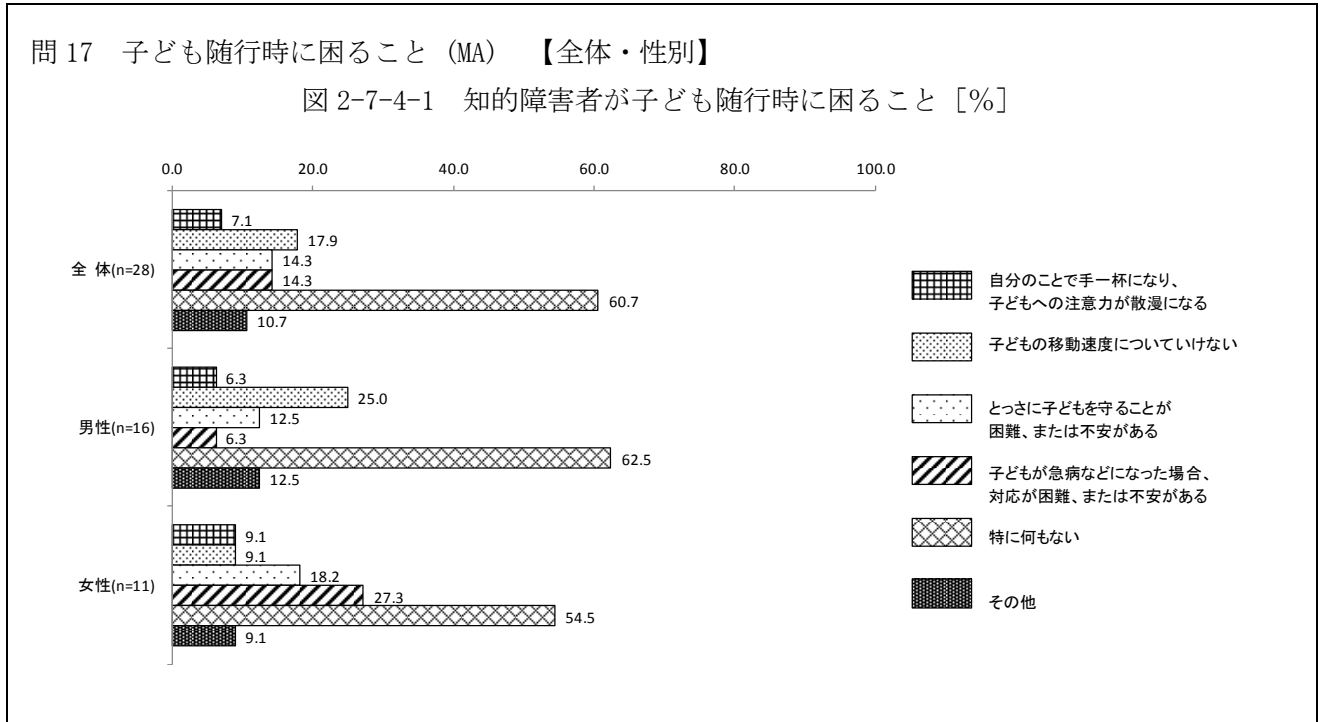
図 2-7-3-2 知的障害者が外出時に困ること [%]



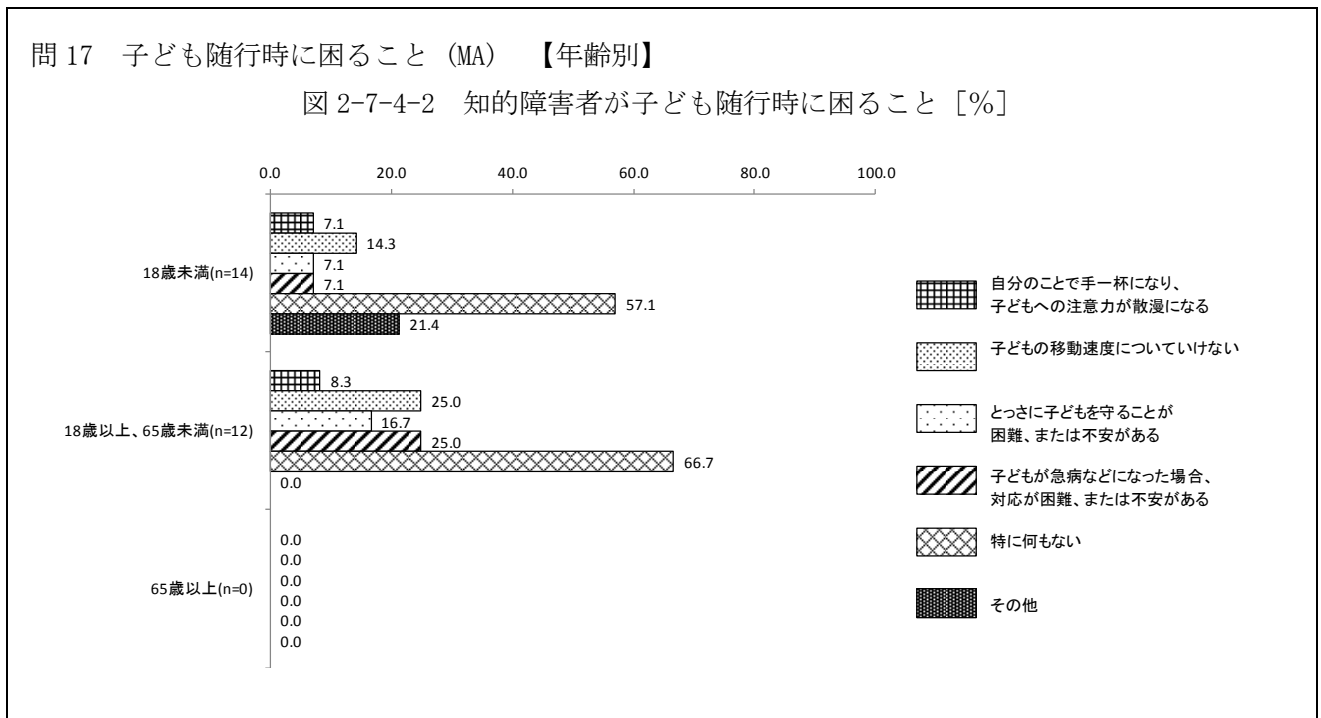
II 調査結果

問 17 あなたが、あなたのお子さんと一緒に外出するときに困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

18歳未満の子どもがいる方に、一緒に外出する時に困ることについて尋ねたところ、＜全体＞では「子供の移動速度についていけない」が17.9%が多かった。性別では、＜男性＞で「子供の移動速度についていけない」が25.0%、＜女性＞で「子どもが急病などになった場合、対応が困難、または不安がある」が27.3%で最も多かった。



年齢別に見ると＜18歳未満＞で「子供の移動速度についていけない」が14.3%で、＜18歳以上、65歳未満＞で「子供の移動速度についていけない」と「子どもが急病などになった場合、対応が困難、または不安がある」が25.0%が多かった。



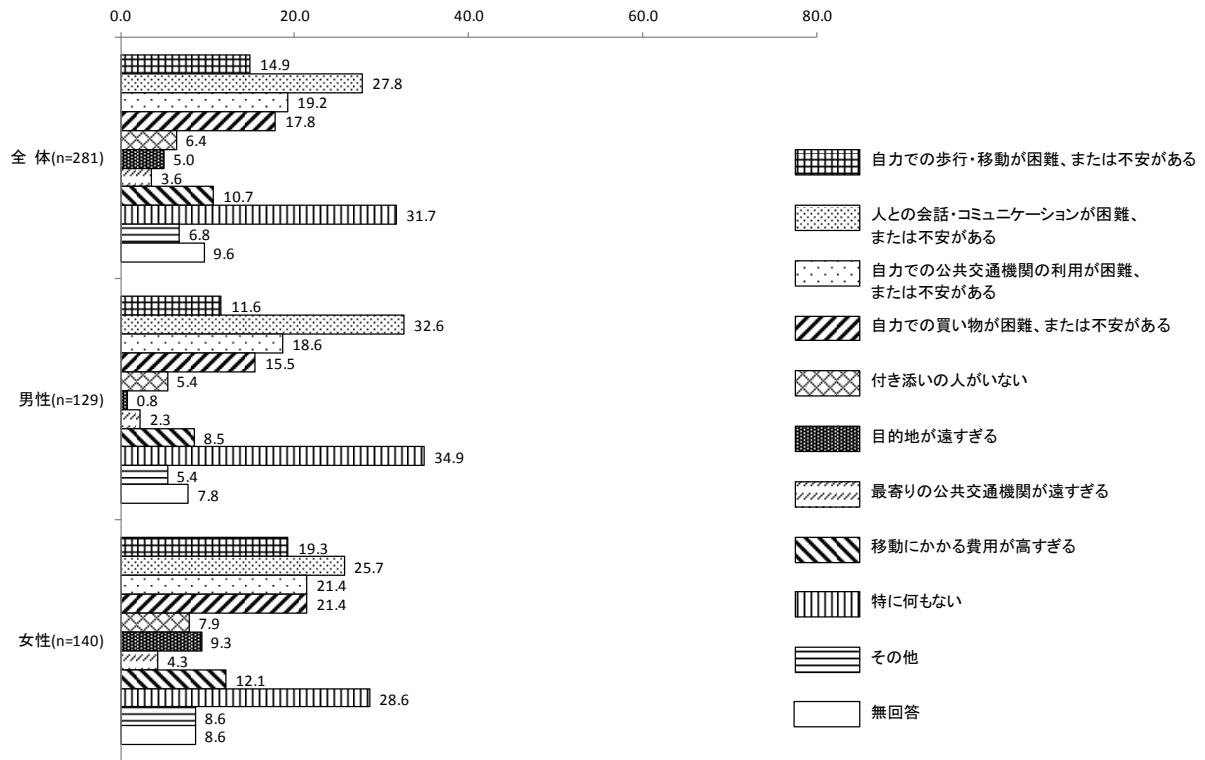
7-3 精神障害者の外出・地域環境・交通について

問 16 あなたが、外出時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に外出時に困ることについて尋ねたところ、<全体>では「人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある」が27.8%で最も多かった。性別では<男女>共に「人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある」が32.6%と、25.7%で最も多かった。

問 16 外出時に困ること (MA) 【全体・性別】

図 2-7-5-1 精神障害者が外出時に困ること [%]

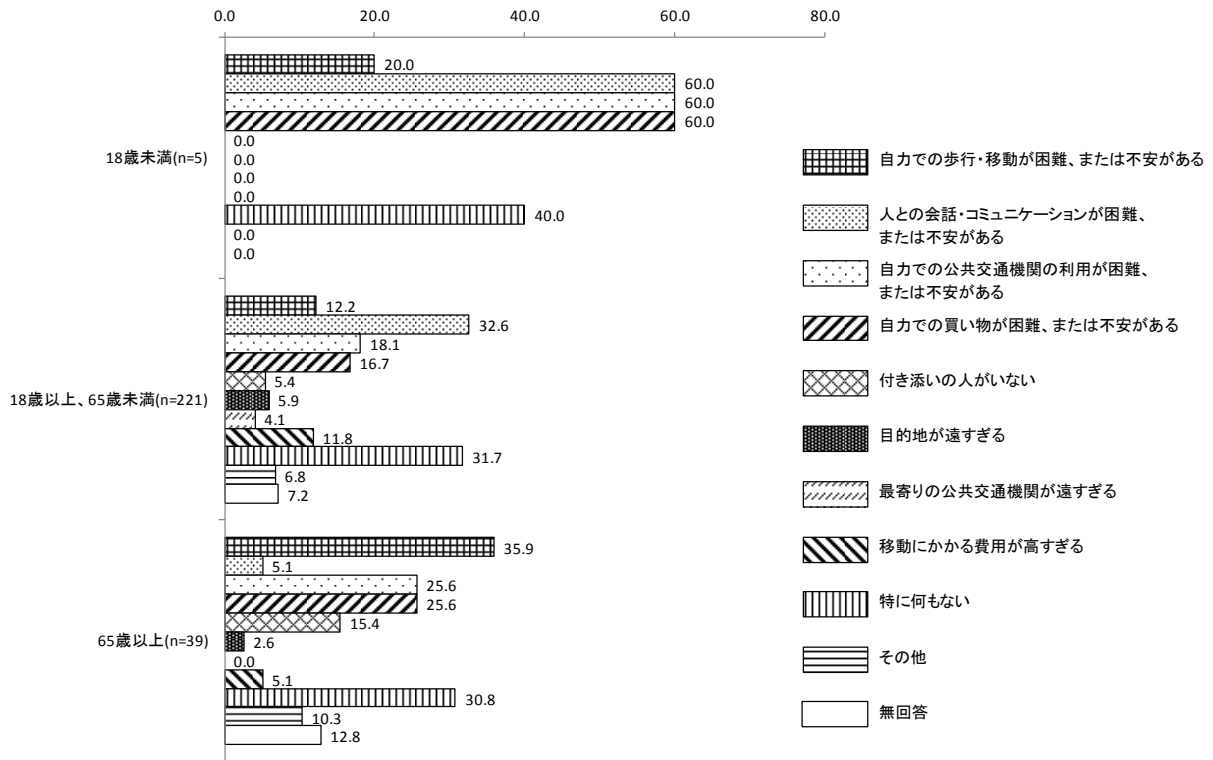


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>が「人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある」で32.6%、<65歳以上>では「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が35.9%で最も多かった。

問 16 外出時に困ること (MA) 【年齢別】

図 2-7-5-2 精神障害者が外出時に困ること [%]

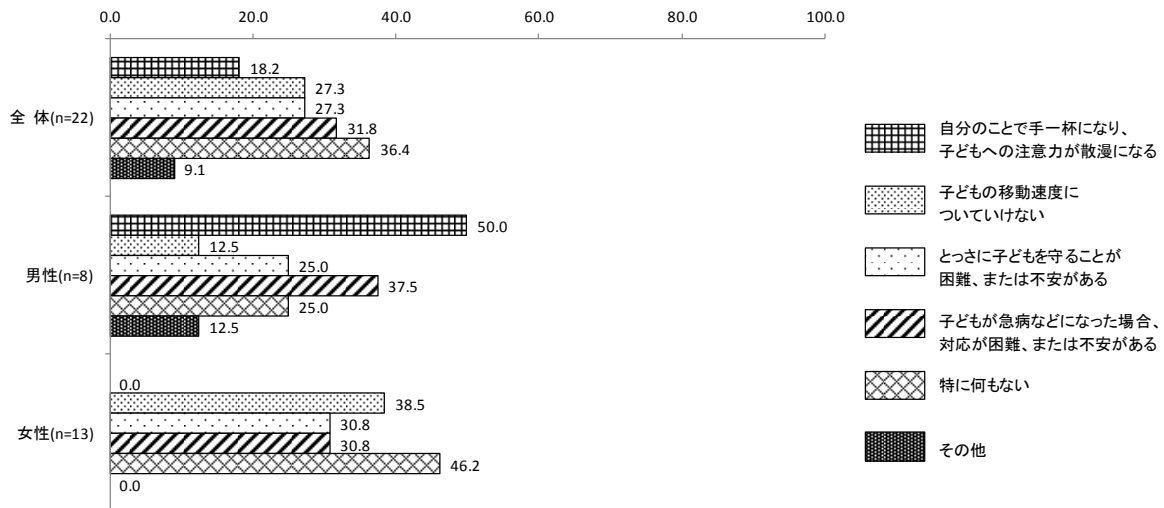


問 17 あなたが、あなたのお子さんと一緒に外出するときに困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

18歳未満の子どもがいる方に、一緒に外出する時に困ることについて尋ねたところ、＜全体＞では「子どもが急病などになった場合、対応が困難、または不安がある」が31.8%で多かった。性別で見ると＜男性＞では「自分のことで手一杯になり、子どもへの注意力が散漫になる」が50.0%、＜女性＞では「子どもの移動速度についていけない」が38.5%で多かった。

問 17 子ども随行時に困ること (MA) 【全体・性別】

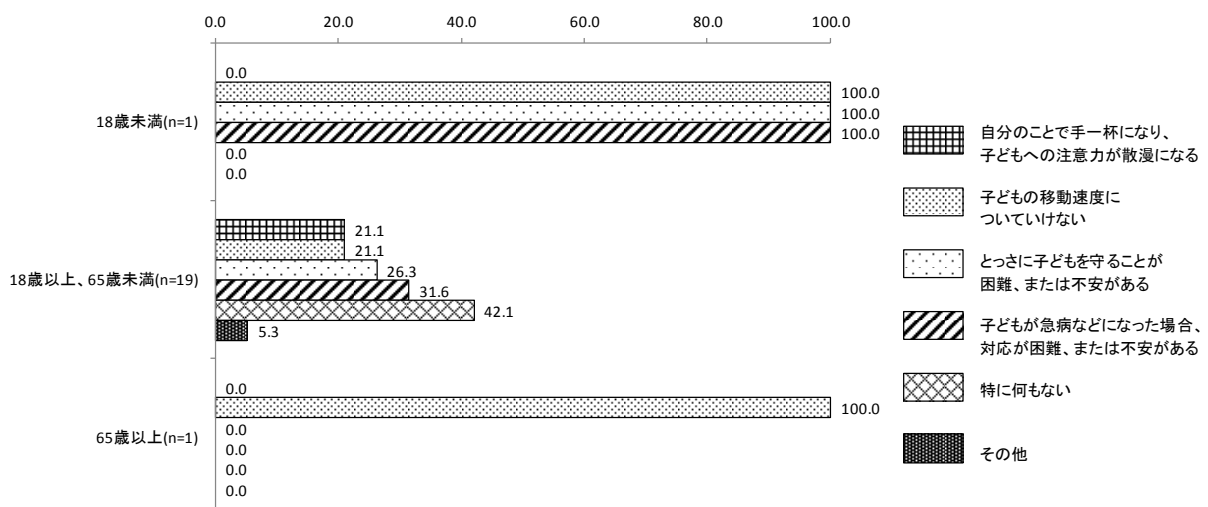
図 2-7-6-1 精神障害者が子ども随行時に困ること [%]



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞では「子どもが急病などになった場合、対応が困難、または不安がある」が31.6%で多かった。

問 17 子ども随行時に困ること (MA) 【年齢別】

図 2-7-6-2 精神障害者が子ども随行時に困ること [%]

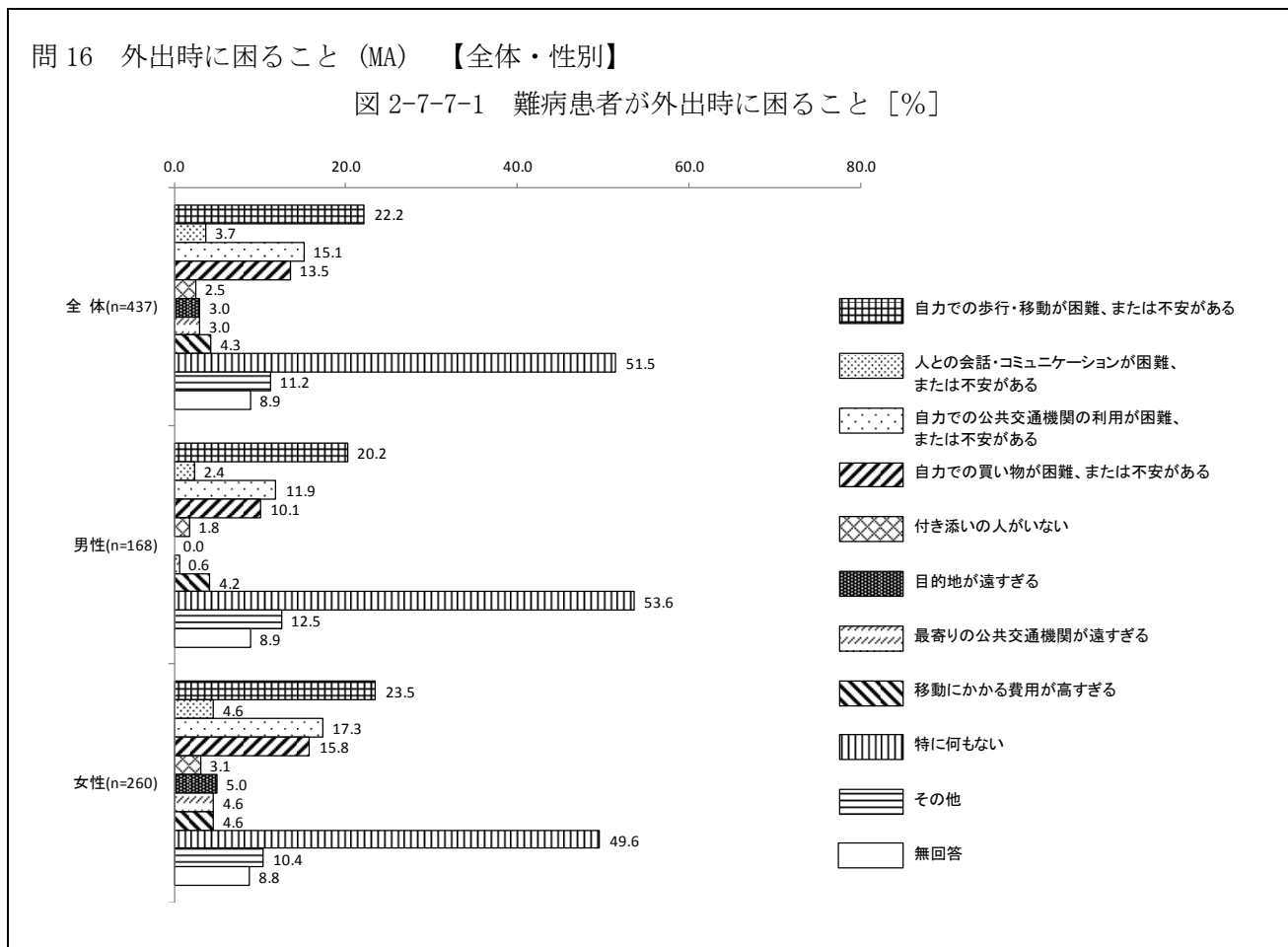


II 調査結果

7-4 難病患者の外出・地域環境・交通について

問 16 あなたが、外出時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

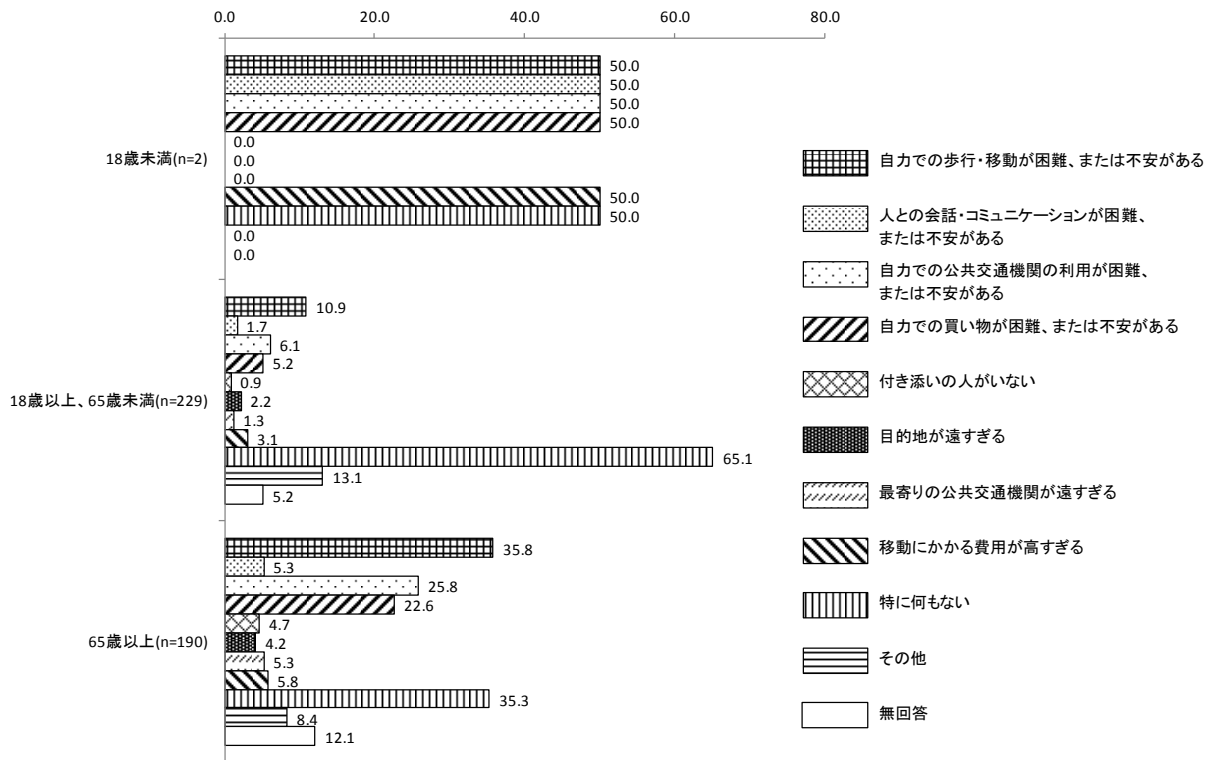
対象者に外出時に困ることについて尋ねたところ、<全体>では「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が22.2%で多かった。性別では<男女>共に「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が20.2%と23.5%で多かった。



年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「自力での歩行・移動が困難、または不安がある」が10.9%と35.8%で多かった。

問 16 外出時に困ること (MA) 【年齢別】

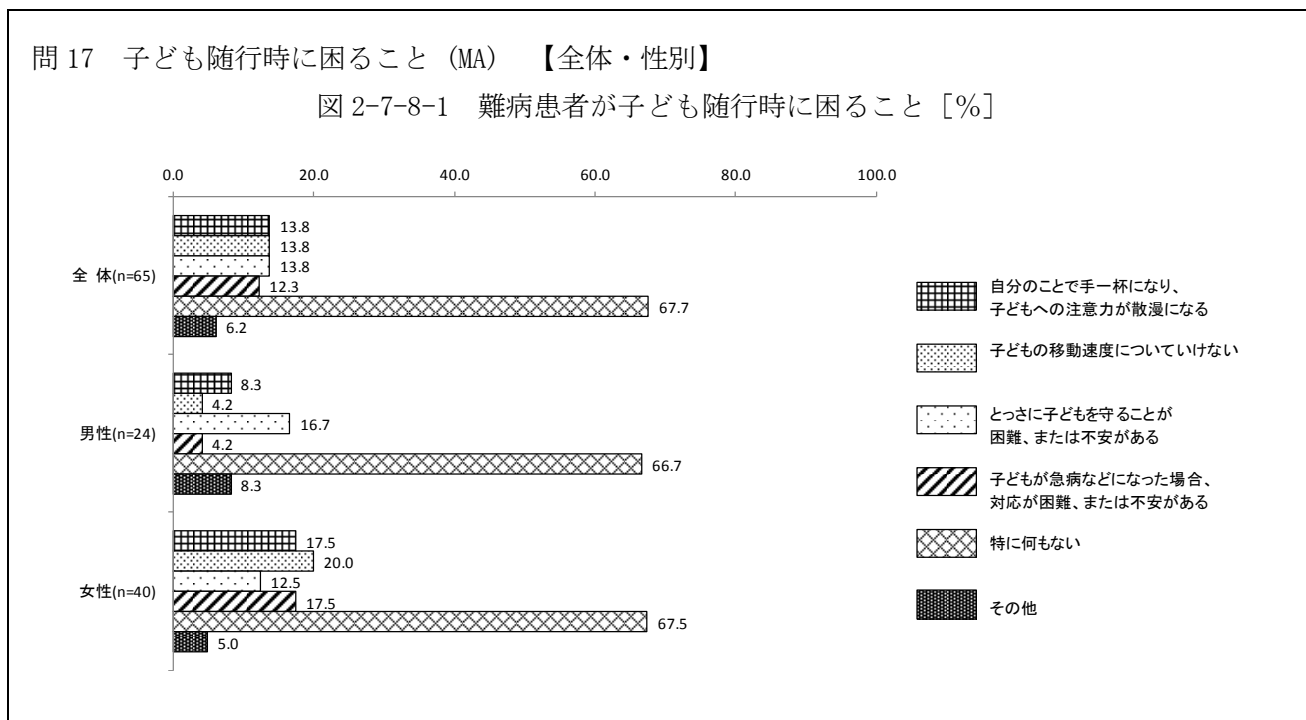
図 2-7-7-2 難病患者が外出時に困ること [%]



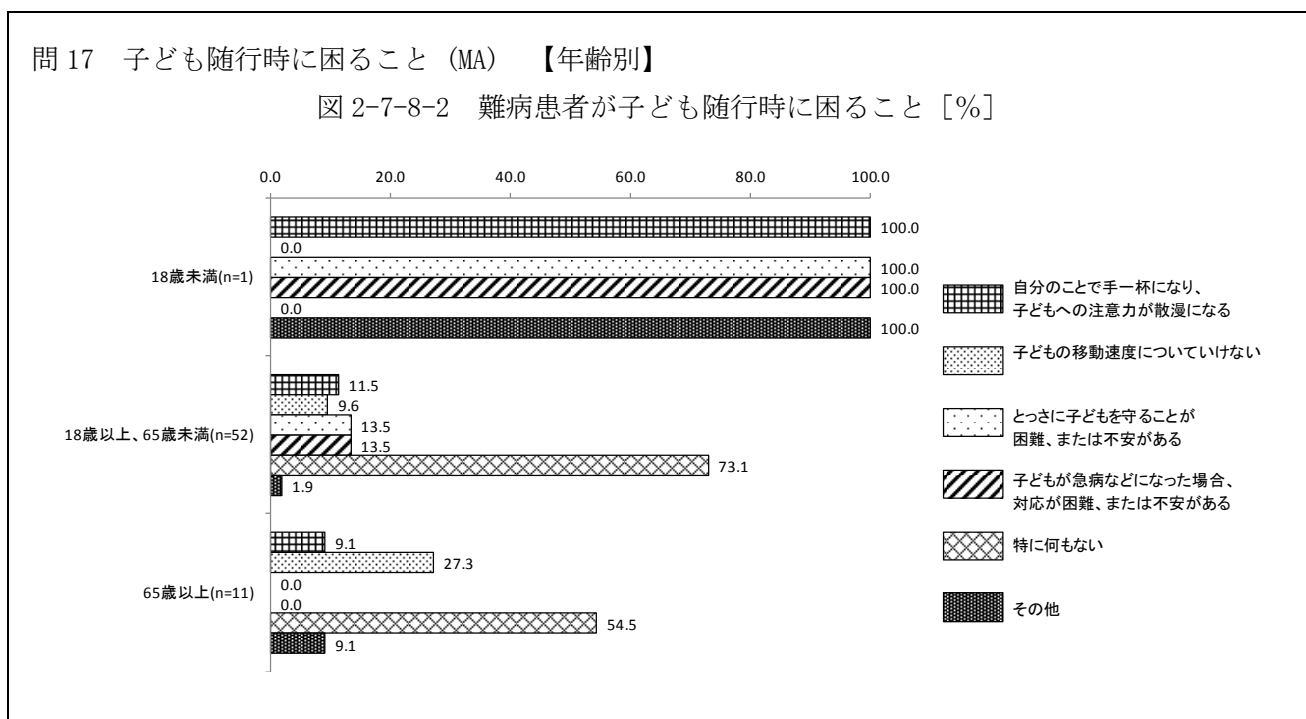
II 調査結果

問 17 あなたが、あなたのお子さんと一緒に外出するときに困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

18歳未満の子どもがいる方に、一緒に外出する時に困ることについて尋ねたところ、＜全体＞では「自分のことで手一杯になり、子どもへの注意力が散漫になる」と「子どもの移動速度についていけない」と「とっさに子どもを守ることが困難、または不安がある」が13.8%が多かった。性別では＜男性＞は「とっさに子どもを守ることが困難、または不安がある」が16.7%で、＜女性＞は「子どもの移動速度についていけない」が20.0%が多かった。



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞で「とっさに子どもを守ることが困難、または不安がある」と「子どもが急病などになった場合、対応が困難、または不安がある」が13.5%で、＜65歳以上＞で「子どもの移動速度についていけない」が27.3%が多かった。



8. 情報・相談

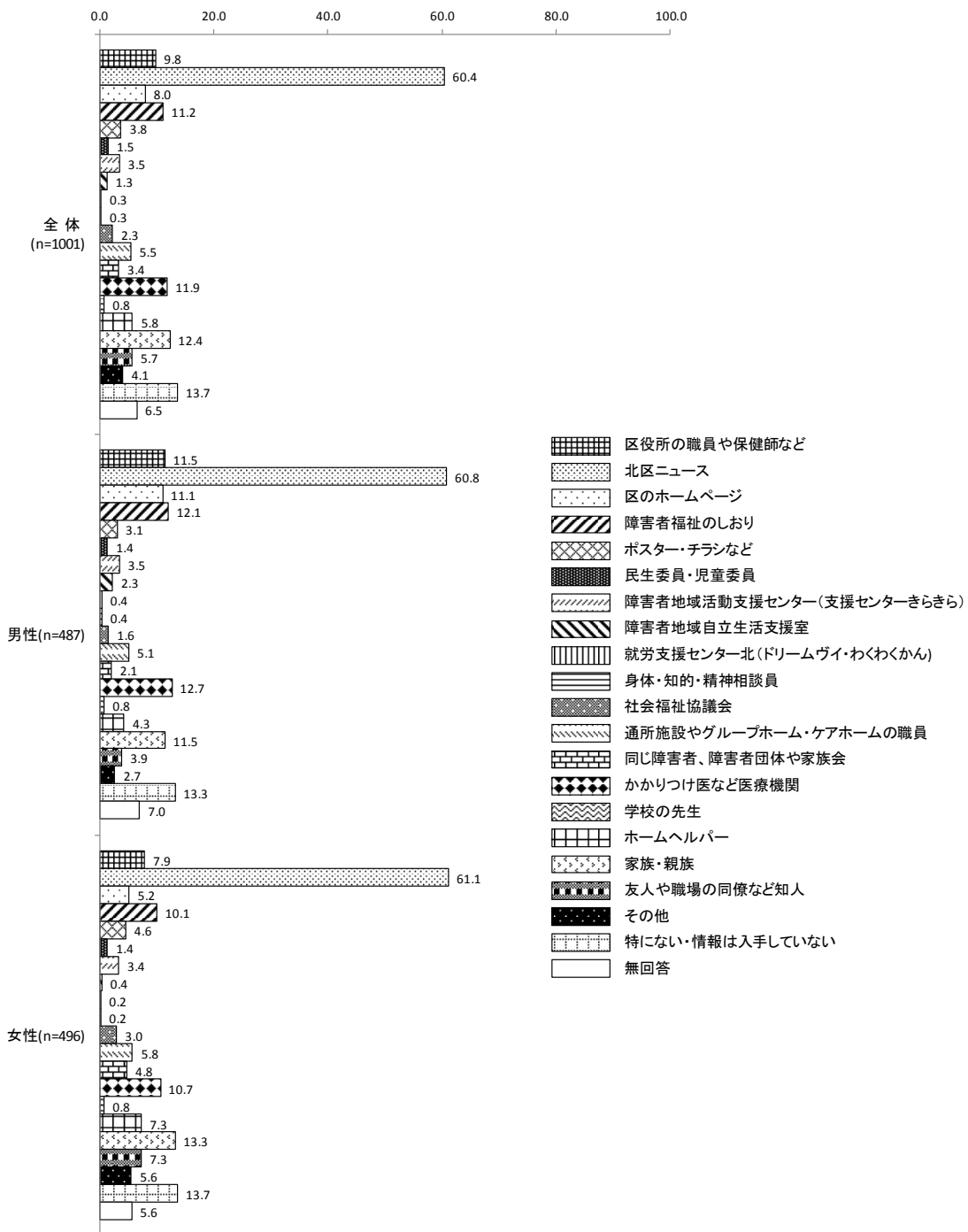
8-1 身体障害者の情報・相談について

問 18 あなたは、区政や福祉サービス情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に医政や福祉サービスの情報入手元について尋ねたところ、<全体>では「北区ニュース」が60.4%で最も多かった。性別では<男女>共に「北区ニュース」が60.8%と61.1%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-1-1 身体障害者の情報入手元 [%]

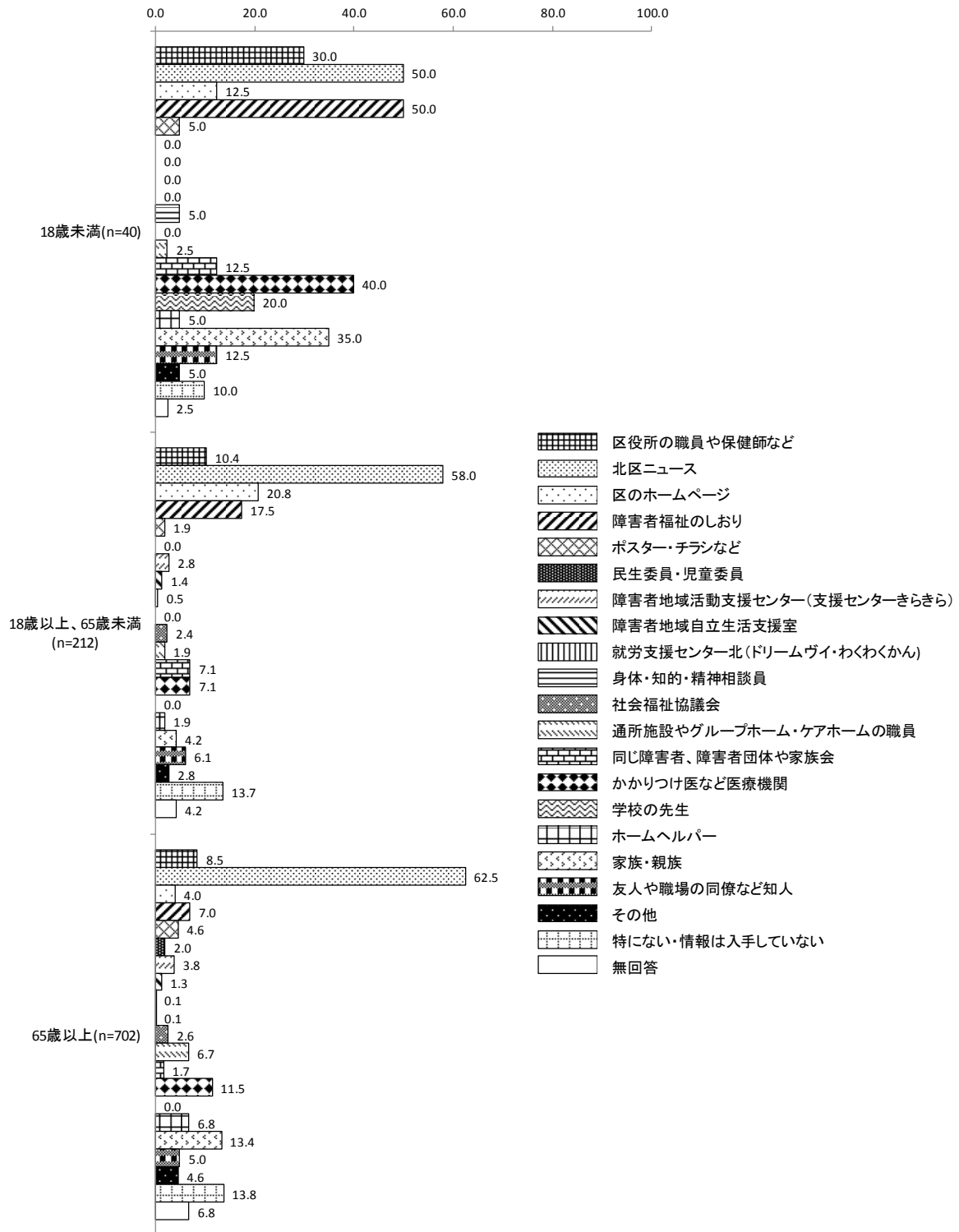


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳未満>では「北区ニュース」と「障害者福祉のしおり」が共に50.0%で最も多く、<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>では共に「北区ニュース」が58.0%と62.5%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【年齢別】

図 2-8-1-2 身体障害者の情報入手元 [%]

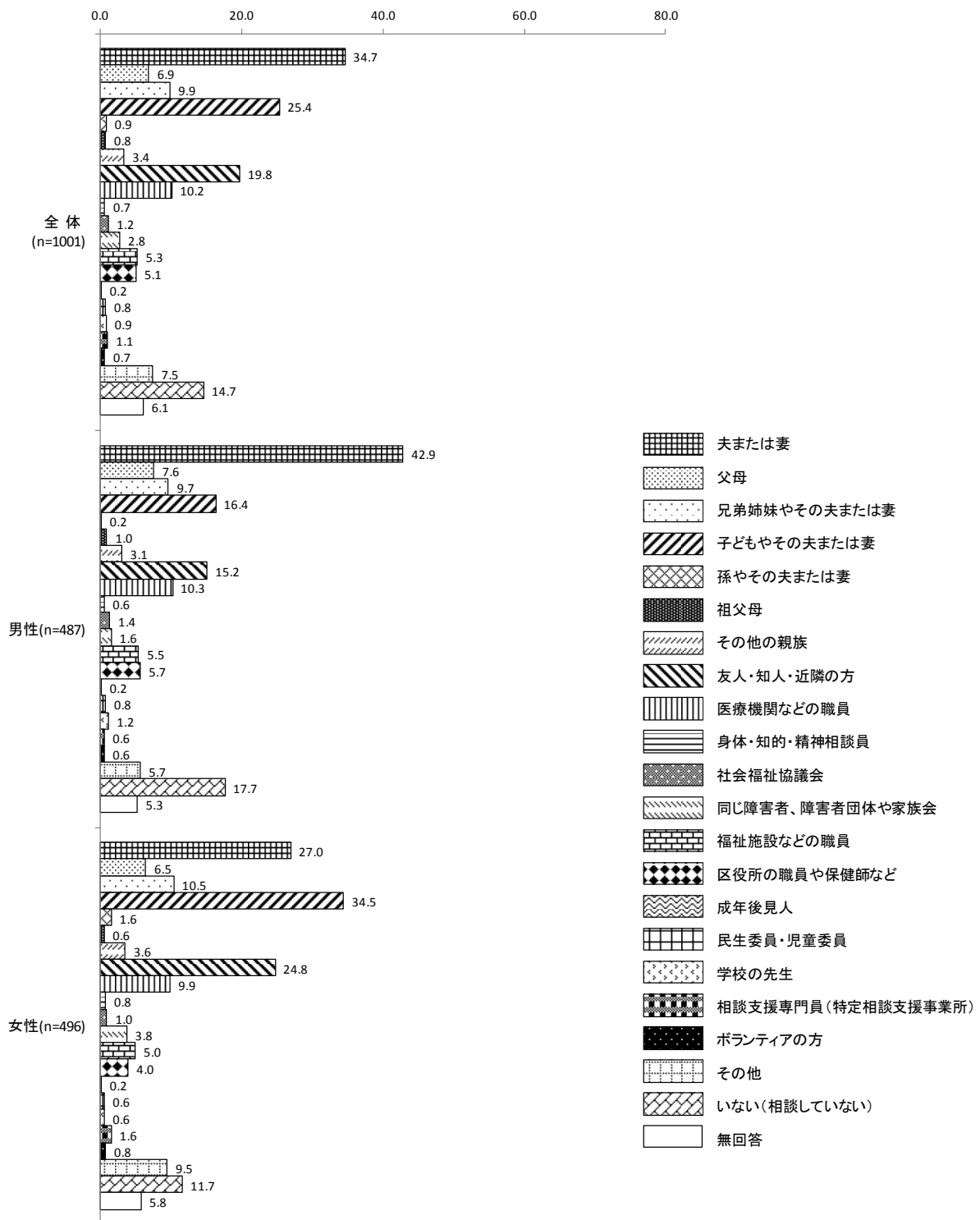


問 19 あなたは、悩みごとや困ったことなどについて、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）

対象者に悩みごとや困ったことの相談相手について尋ねたところ、＜全体＞では「夫または妻」が 34.7% で最も多かった。性別で見ると＜男性＞では「夫または妻」が 42.9% で、＜女性＞では「子どもやその夫または妻」が 34.5% で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-2-1 身体障害者の相談相手 [%]

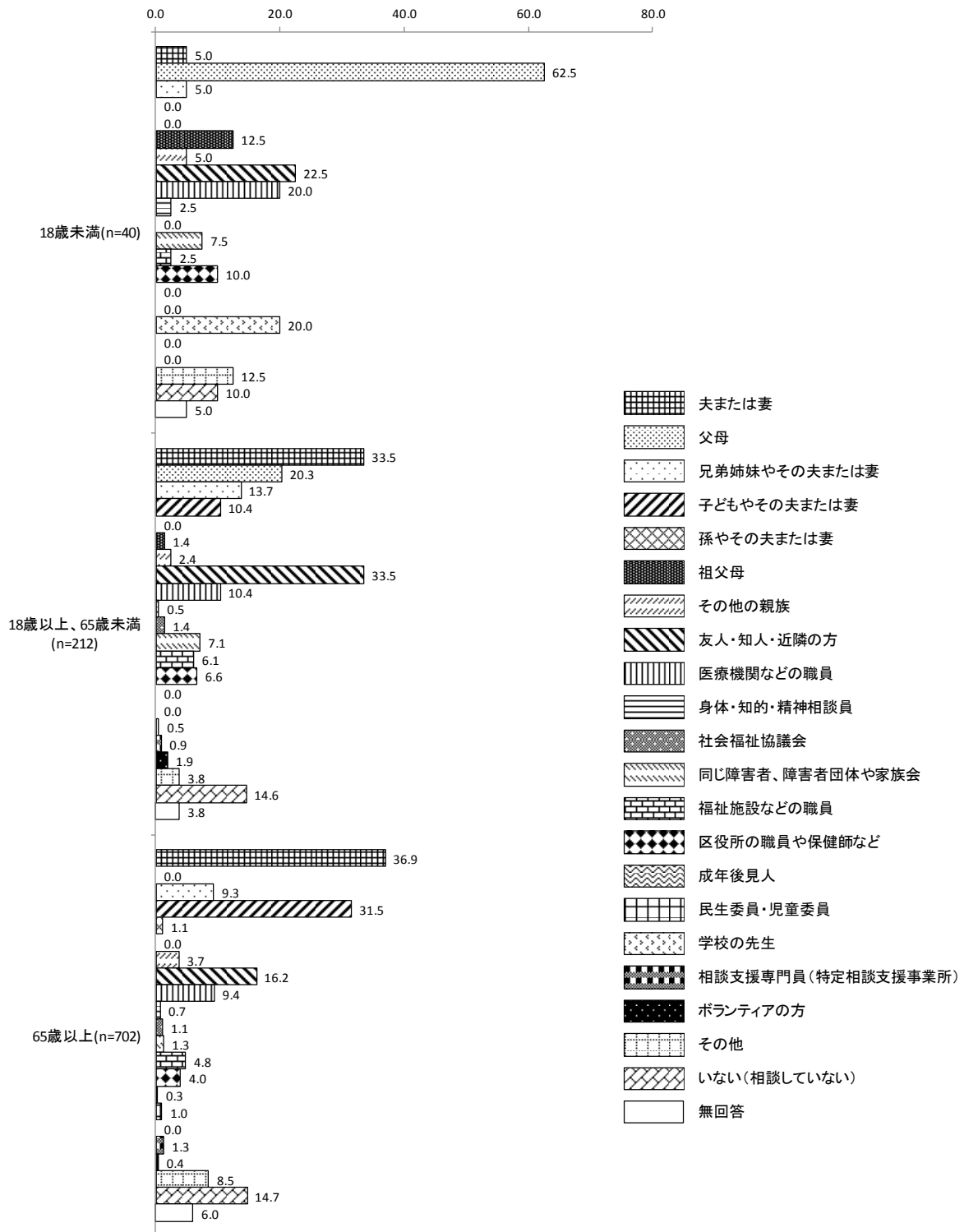


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳未満>では「父母」が62.5%、<18歳以上、65歳未満>では「夫または妻」と「友人・知人・近隣の方」がともに33.5%、<65歳以上>では「夫または妻」が36.9%で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【年齢別】

図 2-8-2-2 身体障害者の相談相手 [%]

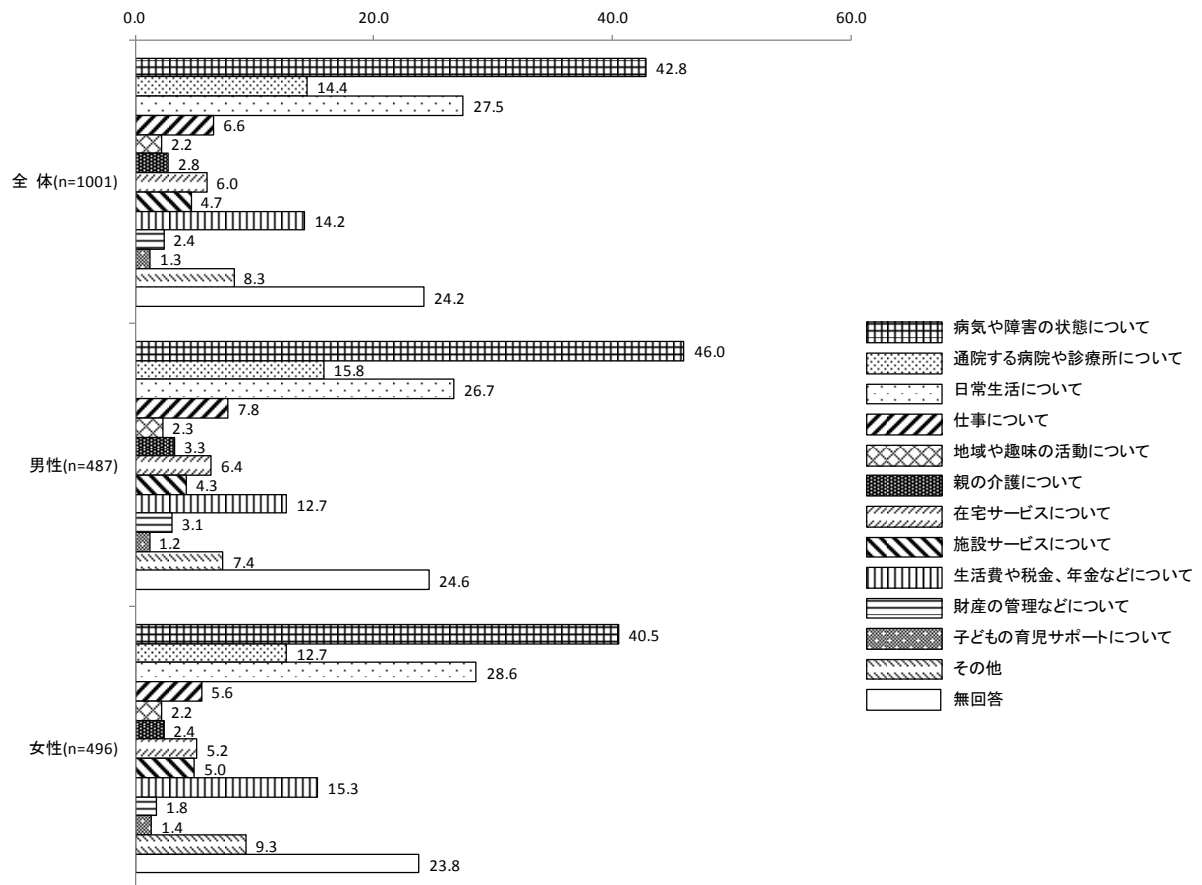


問 20 あなたは、どんな悩みごとや困ったことを相談していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に悩みごとや困ったことの相談内容・種類について尋ねたところ、＜全体＞では「病気や障害の状態について」が42.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「病気や障害の状態について」が46.0%と40.5%で最も多かった。

問 20 相談内容 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-3-1 身体障害者の相談内容 [%]

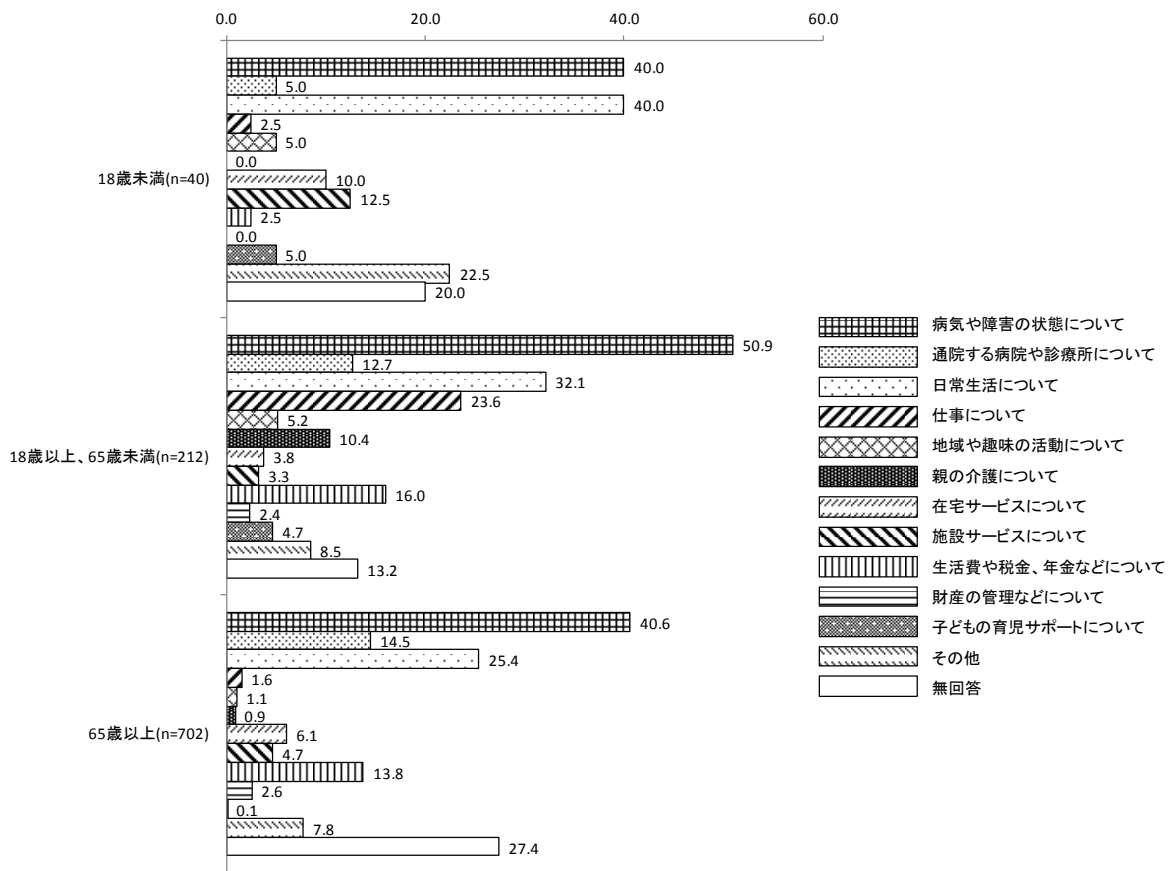


II 調査結果

年齢別でも<18歳未満>、<18歳以上、65歳未満>、<65歳以上>共に「病気や障害の状態について」が40.0%、50.9%、40.6%で最も多かった。<18歳未満>は「日常生活について」も40.0%となった。

問 20 相談内容 (MA) 【年齢別】

図 2-8-3-2 身体障害者の相談内容 [%]

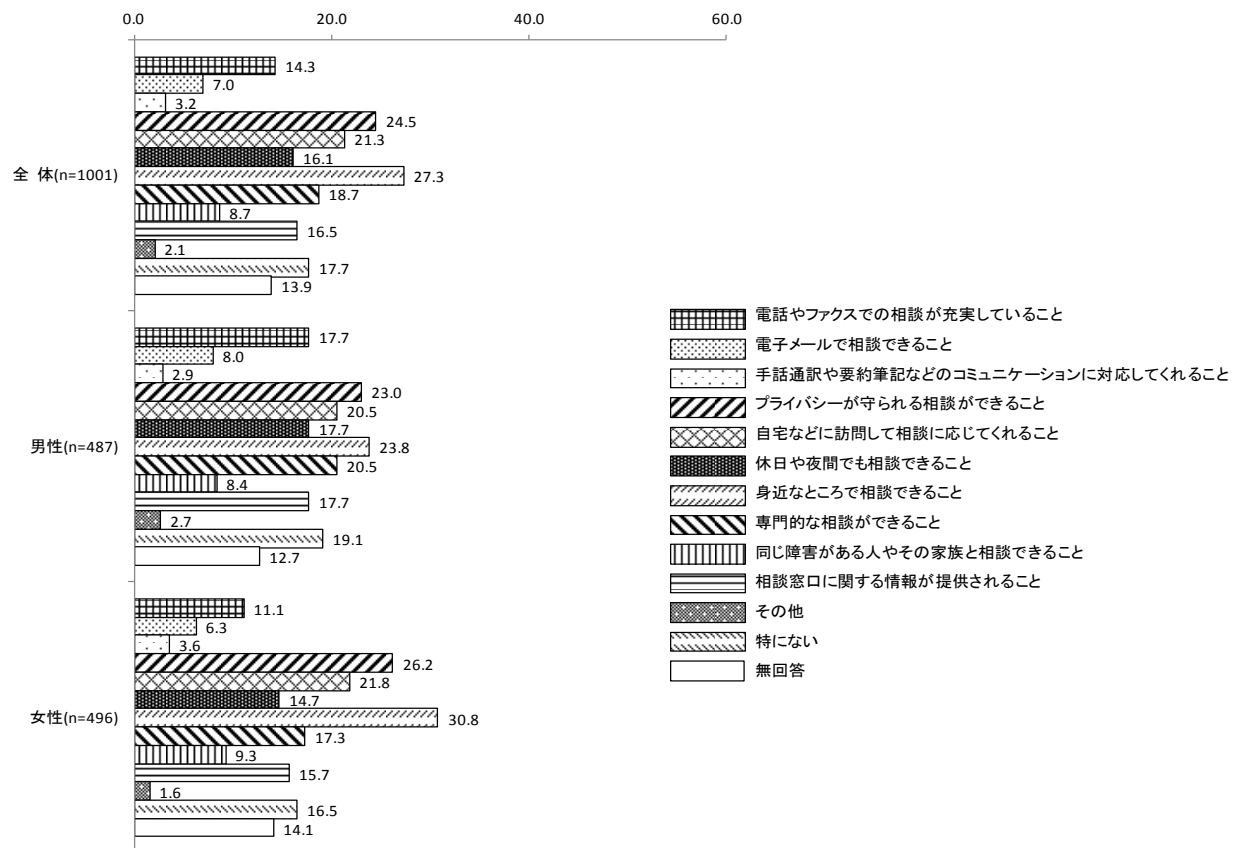


問 21 あなたは、相談しやすい体制をつくるにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に相談しやすい体制づくりに必要なことを尋ねたところ、＜全体＞では「身近なところで相談できること」が27.3%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「身近なところで相談できること」が23.8%と30.8%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-4-1 身体障害者が思う相談体制に必要な要素 [%]

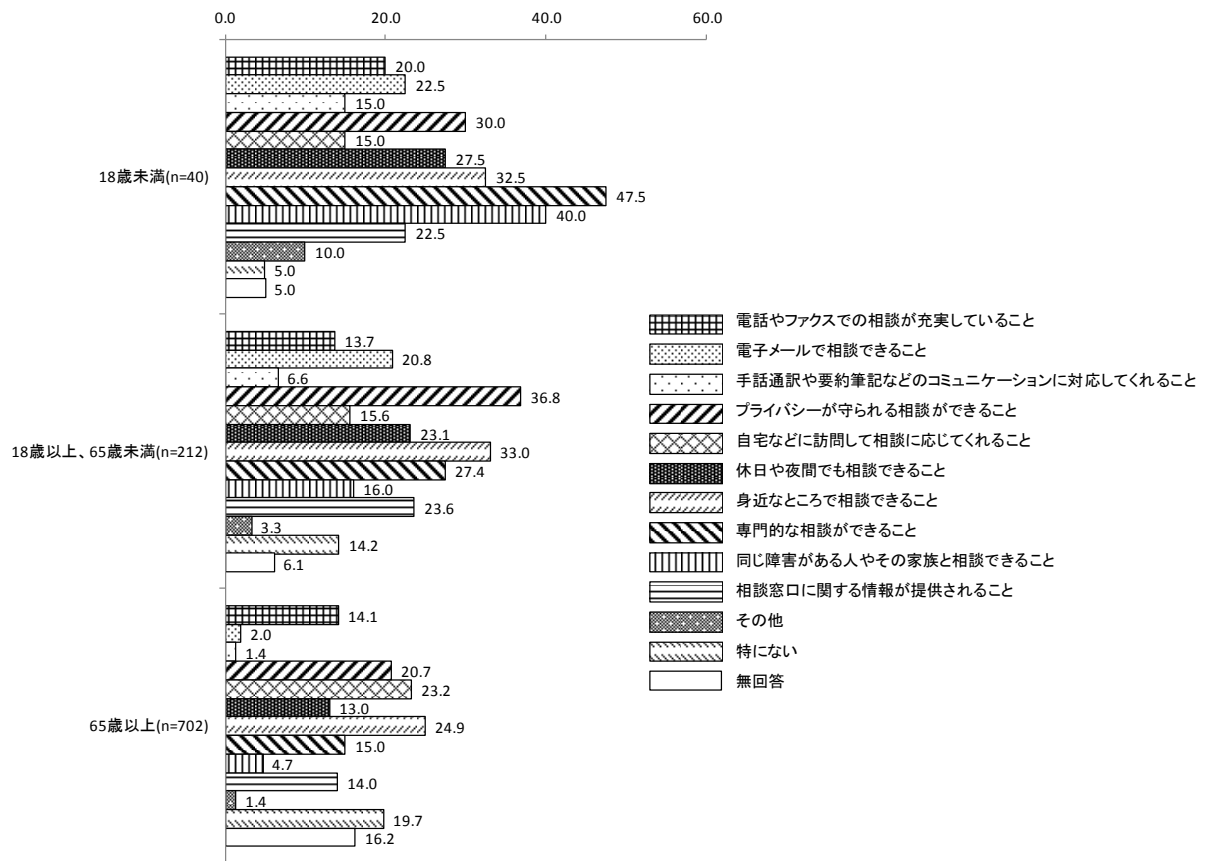


II 調査結果

年齢別で見ると<18歳未満>では「専門的な相談ができること」が47.5%で、<18歳以上、65歳未満>では「プライバシーが守られる相談ができること」が36.8%で、<65歳以上>では「身近なところで相談できること」が24.9%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【年齢別】

図 2-8-4-2 身体障害者が思う相談体制に必要な要素 [%]



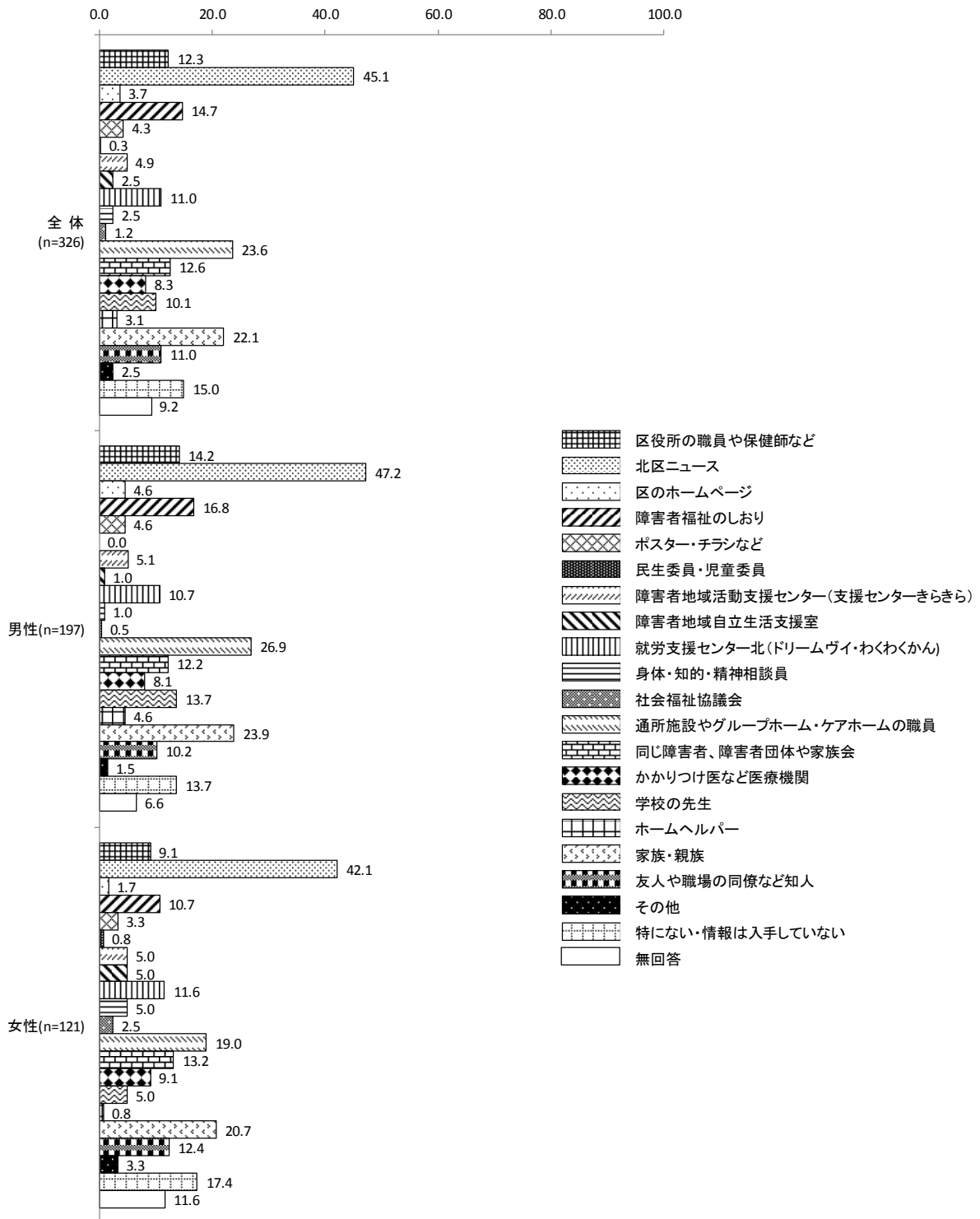
8-2 知的障害者の情報・相談について

問 18 あなたは、区政や福祉サービス情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に医政や福祉サービスの情報入手元について尋ねたところ、<全体>では「北区ニュース」が45.1%で最も多かった。性別では<男女>共に「北区ニュース」が47.2%と42.1%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【全体・性別】

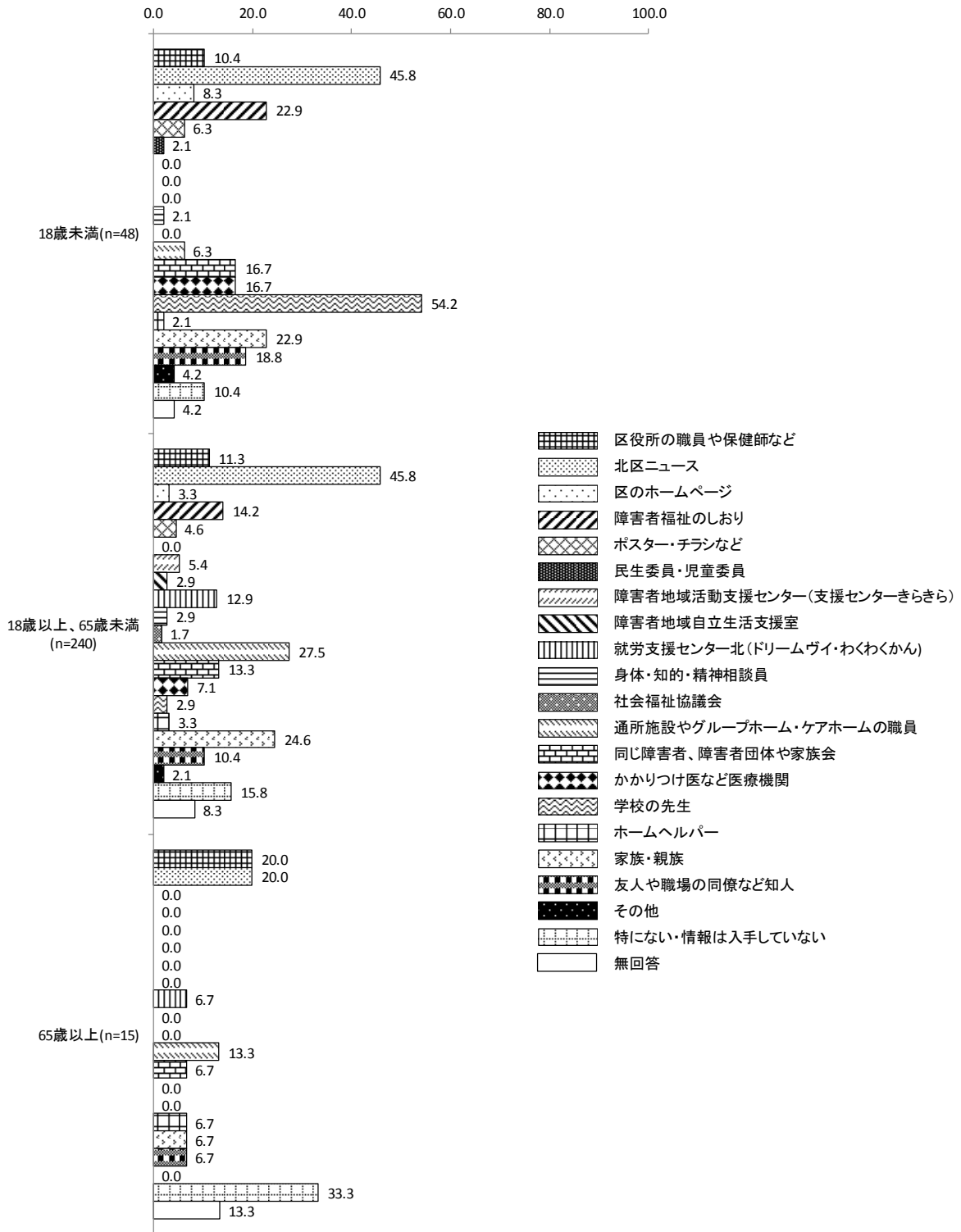
図 2-8-5-1 知的障害者の情報入手元 [%]



年齢別に見ると<18歳未満>では「学校の先生」が54.2%で最も多かった。<18歳以上、65歳未満>では「北区ニュース」が45.8%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【年齢別】

図 2-8-5-2 知的障害者の情報入手元 [%]

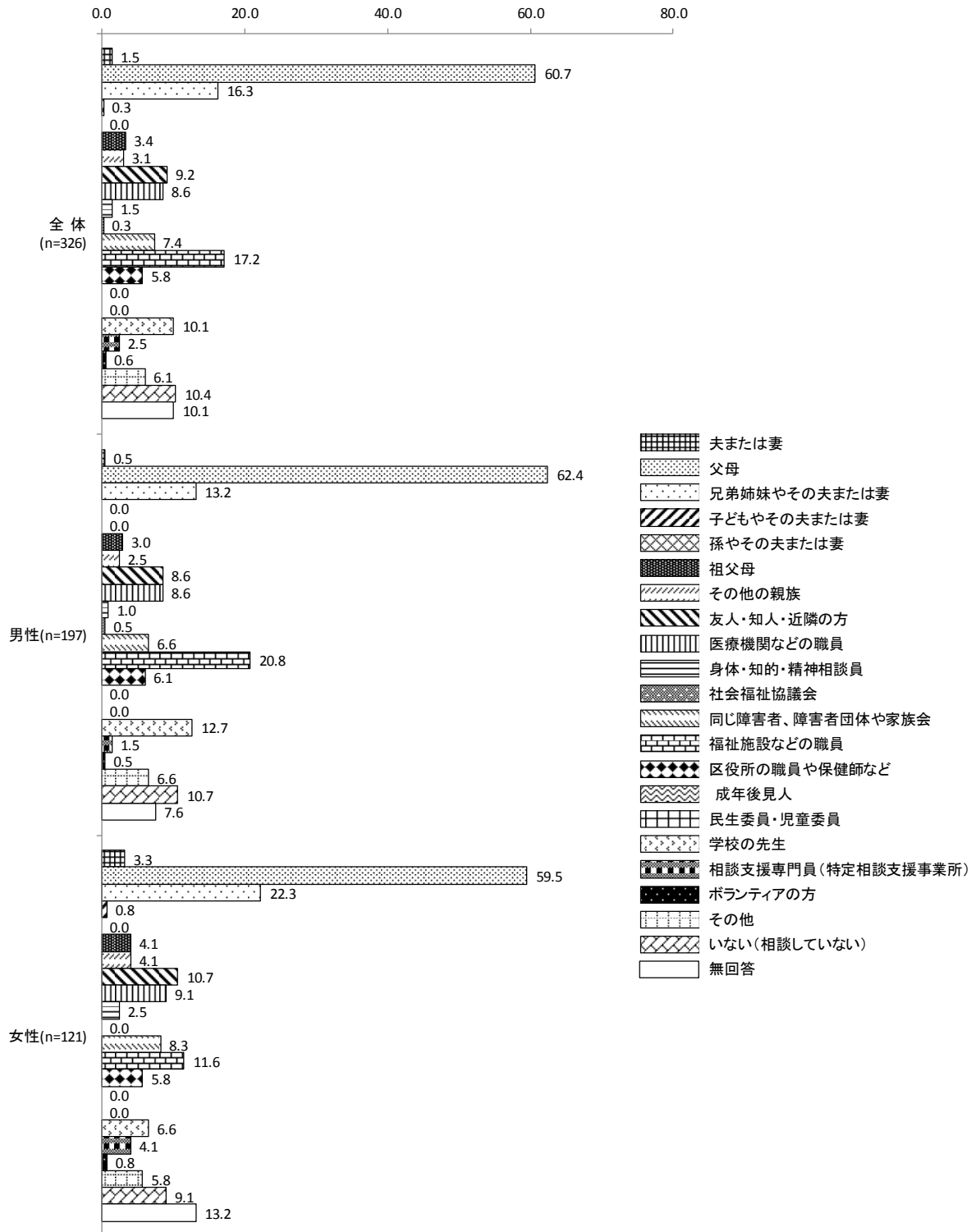


問19 あなたは、悩みごとや困ったことなどについて、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）

対象者に悩みごとや困ったことの相談相手について尋ねたところ、＜全体＞では「父母」が60.7%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「父母」が62.4%と59.5%で最も多かった。

問19 相談相手 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-6-1 知的障害者の相談相手 [%]

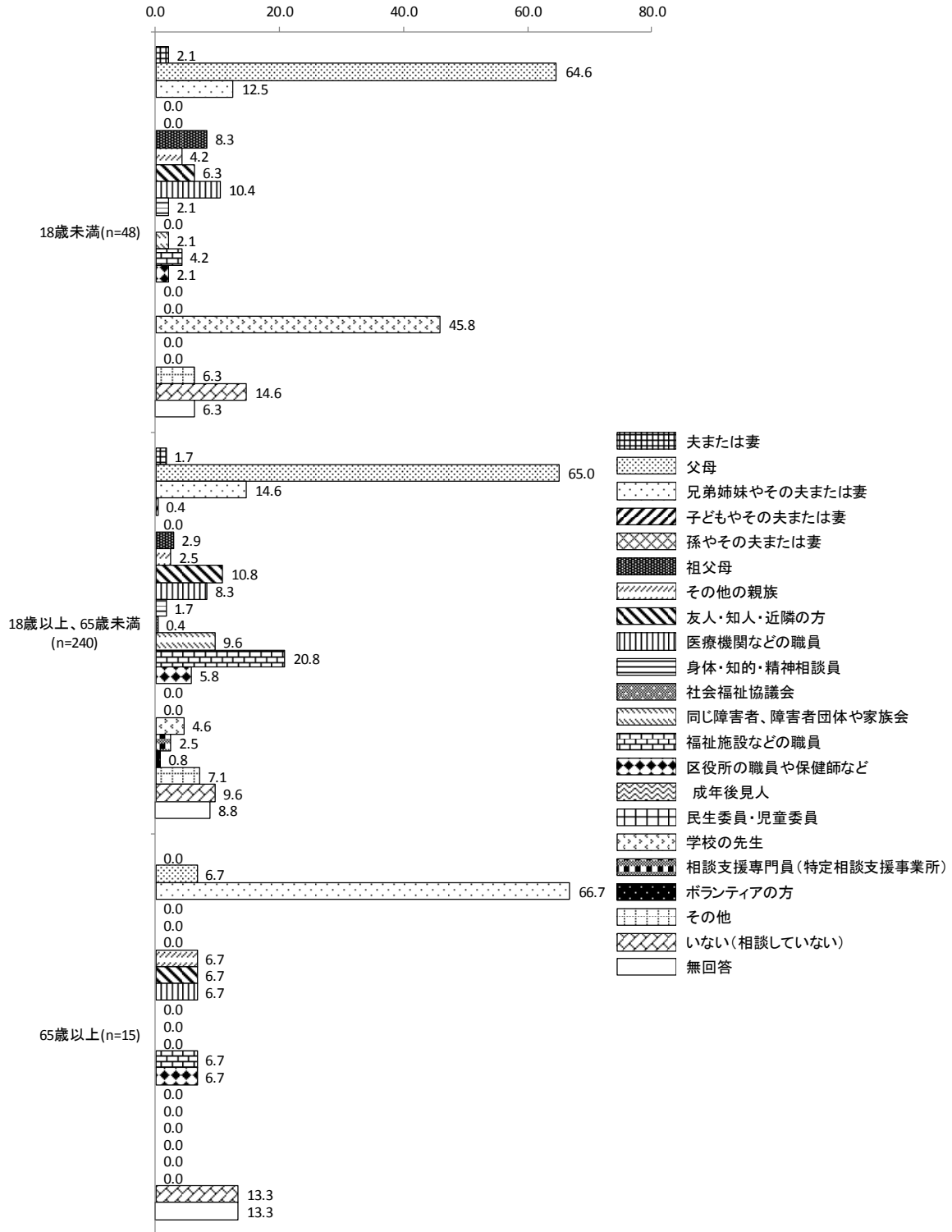


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳未満>と<18歳以上、65歳未満>では、「父母」が64.6%と65.0%で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【年齢別】

図 2-8-6-2 知的障害者の相談相手 [%]

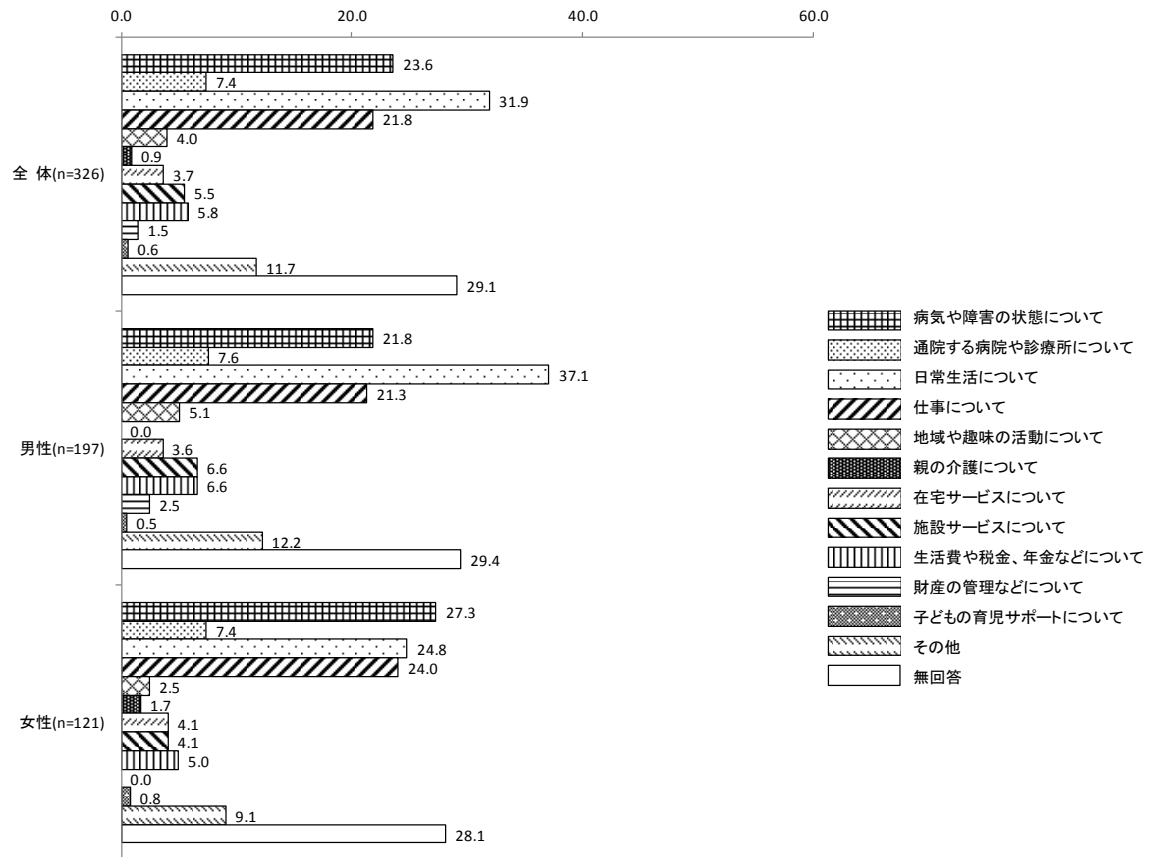


問20 あなたは、どんな悩みごとや困ったことを相談していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に悩みごとや困ったことの相談内容・種類について尋ねたところ、＜全体＞では「日常生活について」が31.9%で最も多かった。性別では＜男性＞で、「日常生活について」が37.1%で最も多かった。＜女性＞では、「病気や障害の状態について」が27.3%で多かった。

問20 相談内容 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-7-1 知的障害者の相談内容 [%]

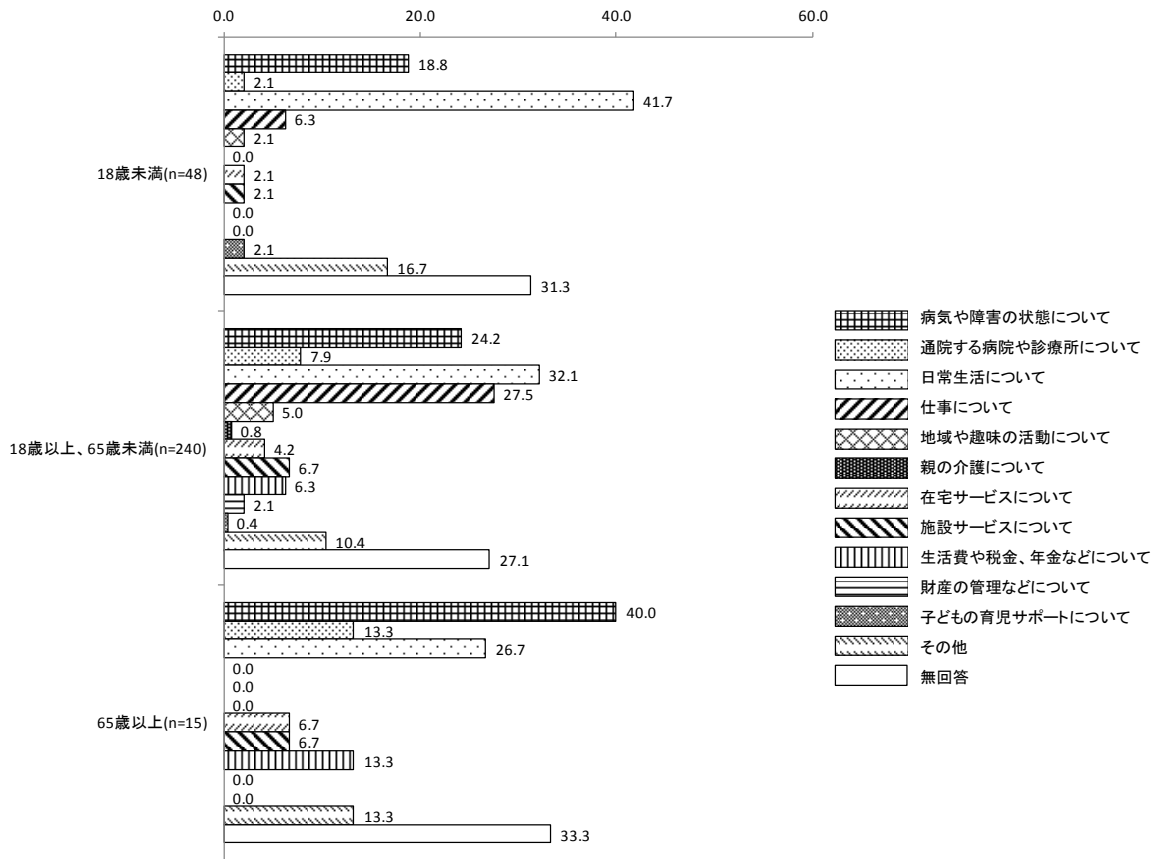


II 調査結果

年齢別では<18歳未満><18歳以上、65歳未満>は、「日常生活について」が41.7%と32.1%で最も多かった。

問 20 相談内容 (MA) 【年齢別】

図 2-8-7-2 知的障害者の相談内容 [%]

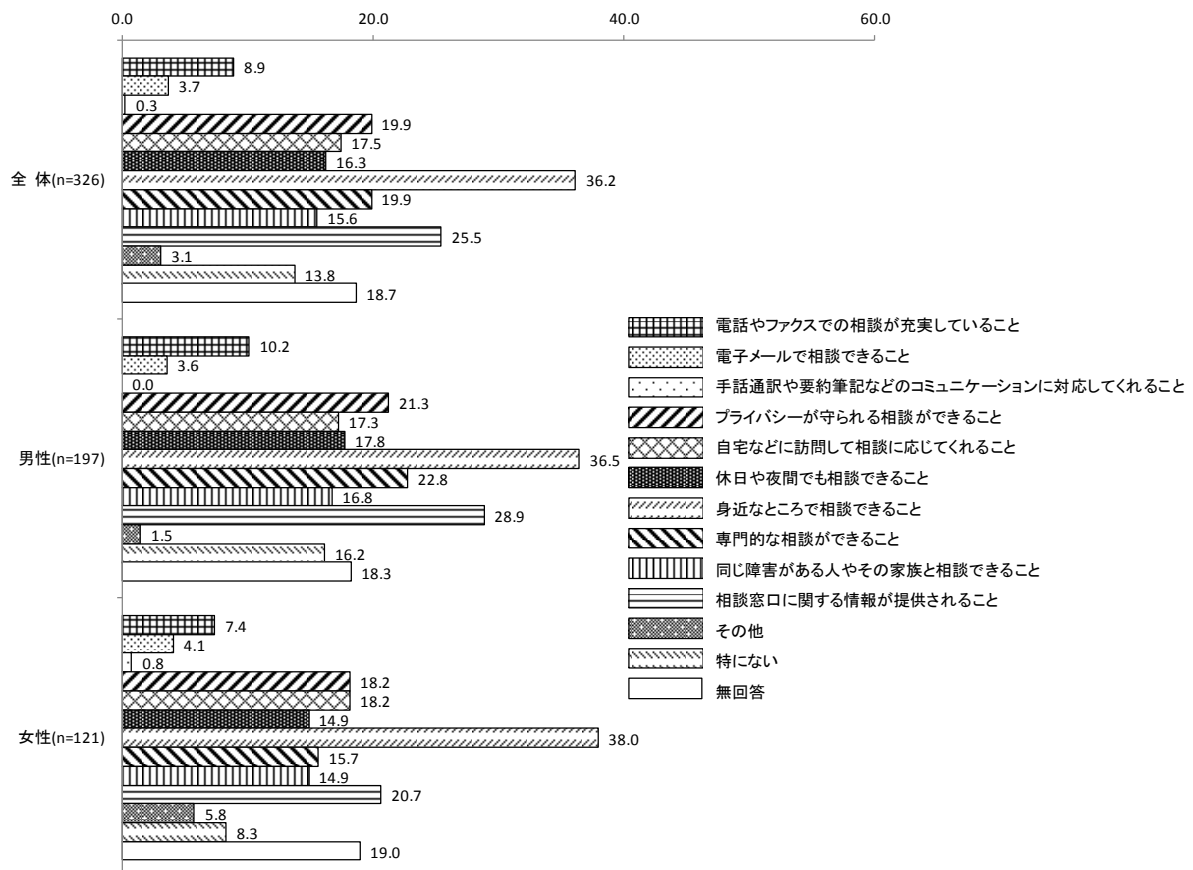


問 21 あなたは、相談しやすい体制をつくるにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に相談しやすい体制づくりに必要なことを尋ねたところ、＜全体＞では「身近なところで相談できること」が36.2%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「身近なところで相談できること」が36.5%と38.0%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-8-1 知的障害者が思う相談体制に必要な要素 [%]

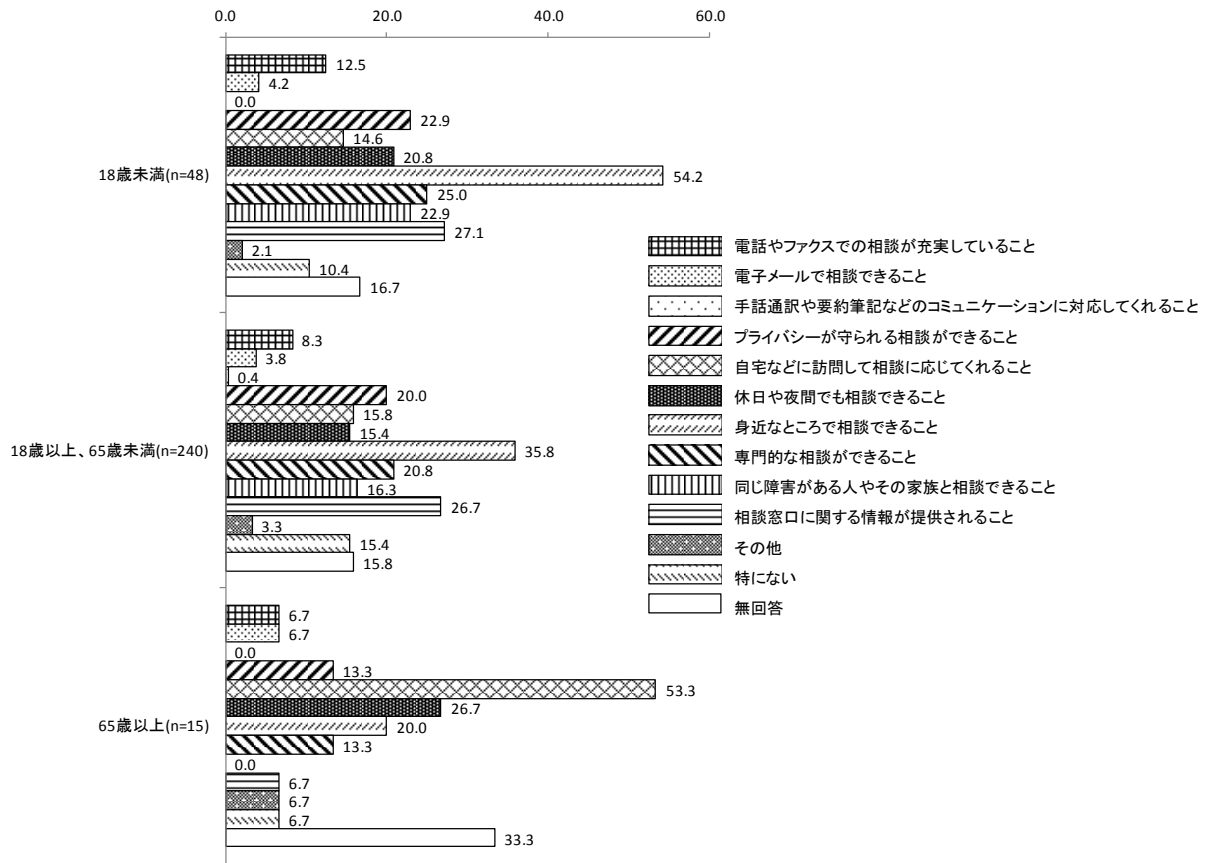


II 調査結果

年齢別で見ると<18歳未満>と<18歳以上、65歳未満>では「身近なところで相談できること」が54.2%と35.8%だった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【年齢別】

図 2-8-8-2 知的障害者が思う相談体制に必要な要素 [%]



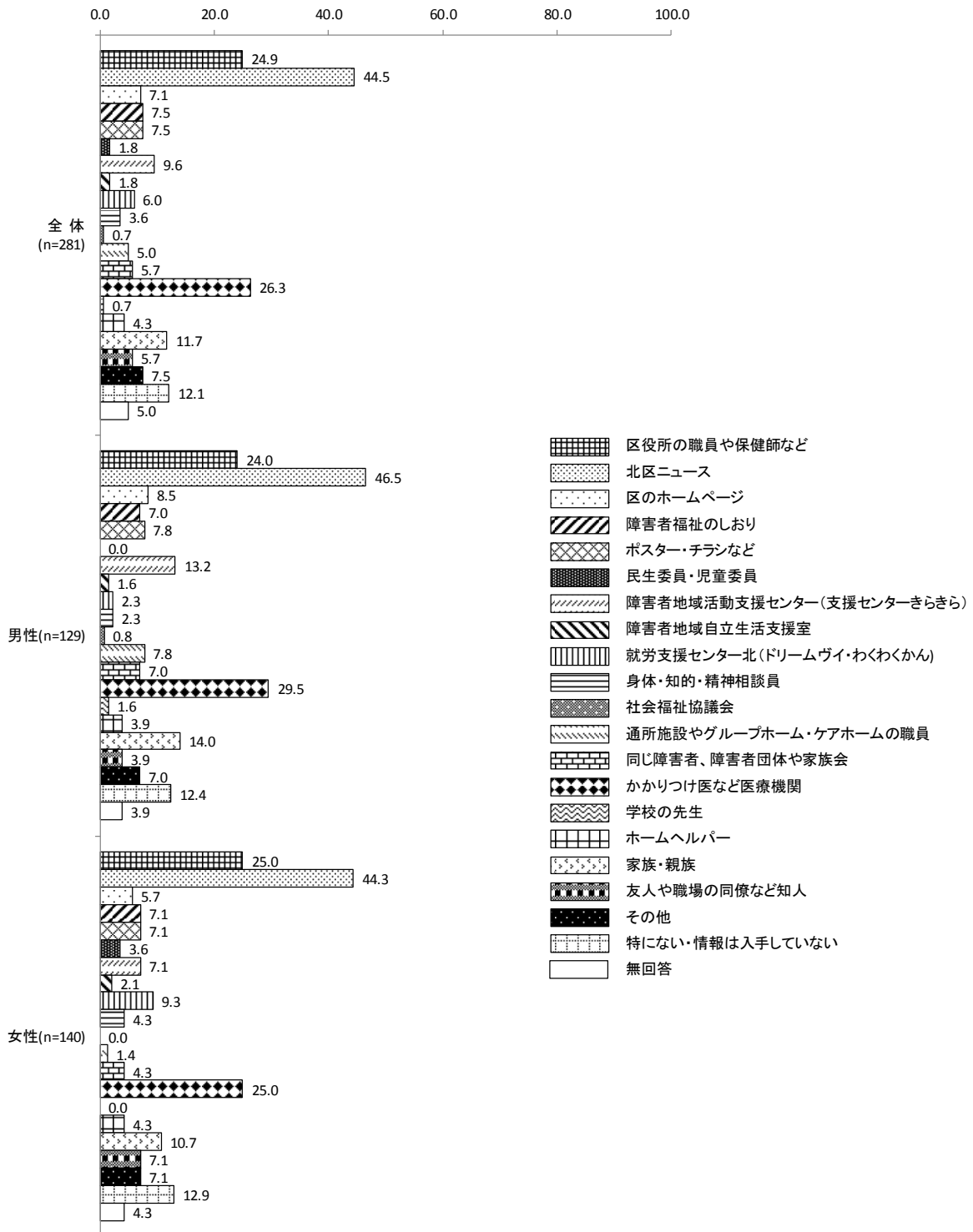
8-3 精神障害者の情報・相談について

問 18 あなたは、区政や福祉サービス情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に医政や福祉サービスの情報入手元について尋ねたところ、＜全体＞では「北区ニュース」が44.5%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「北区ニュース」が46.5%と44.3%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-9-1 精神障害者の情報入手元 [%]

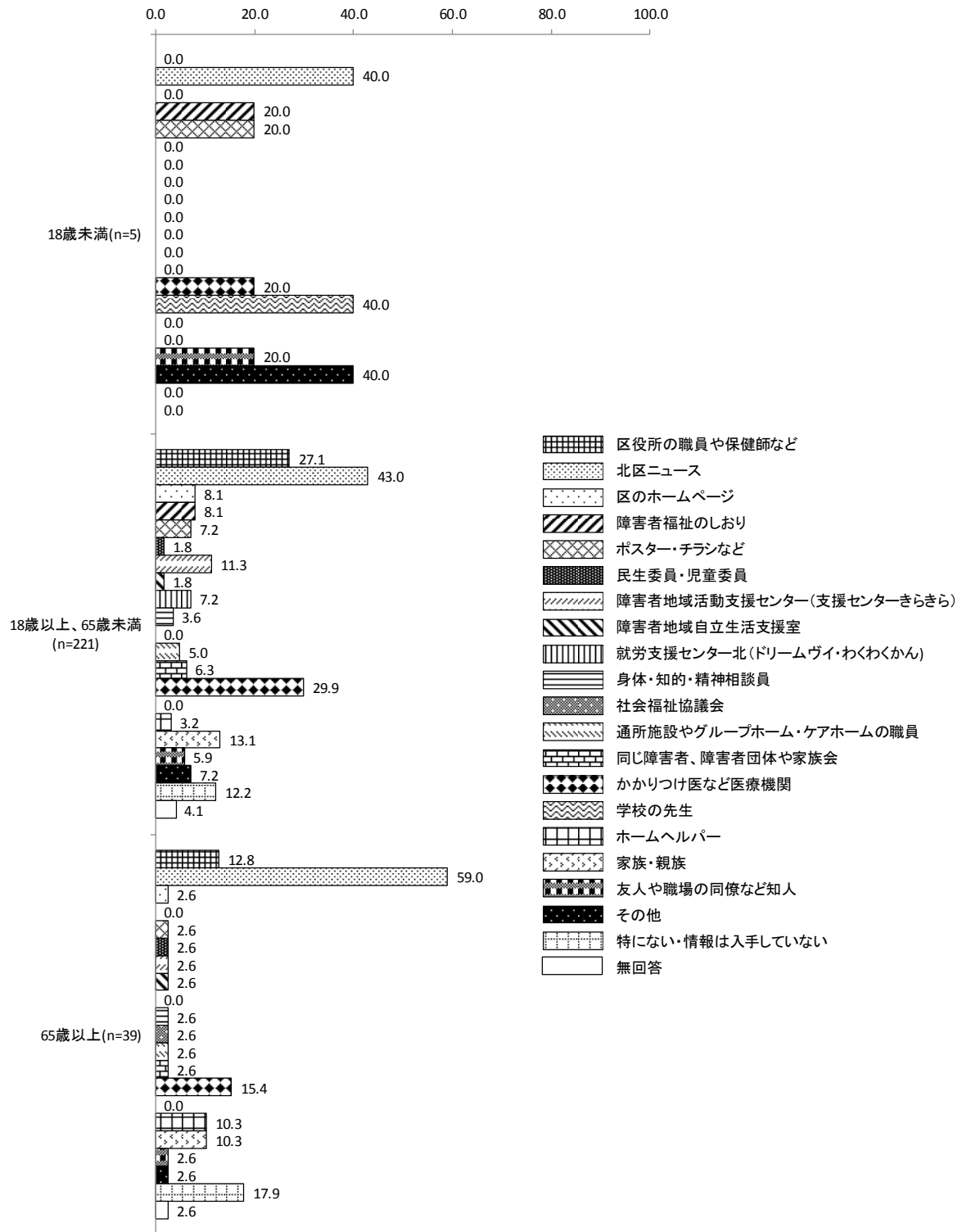


II 調査結果

年齢別でも<18歳以上、65歳未満>、<65歳以上>共に「北区ニュース」が43.0%、59.0%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【年齢別】

図 2-8-9-2 精神障害者の情報入手元 [%]

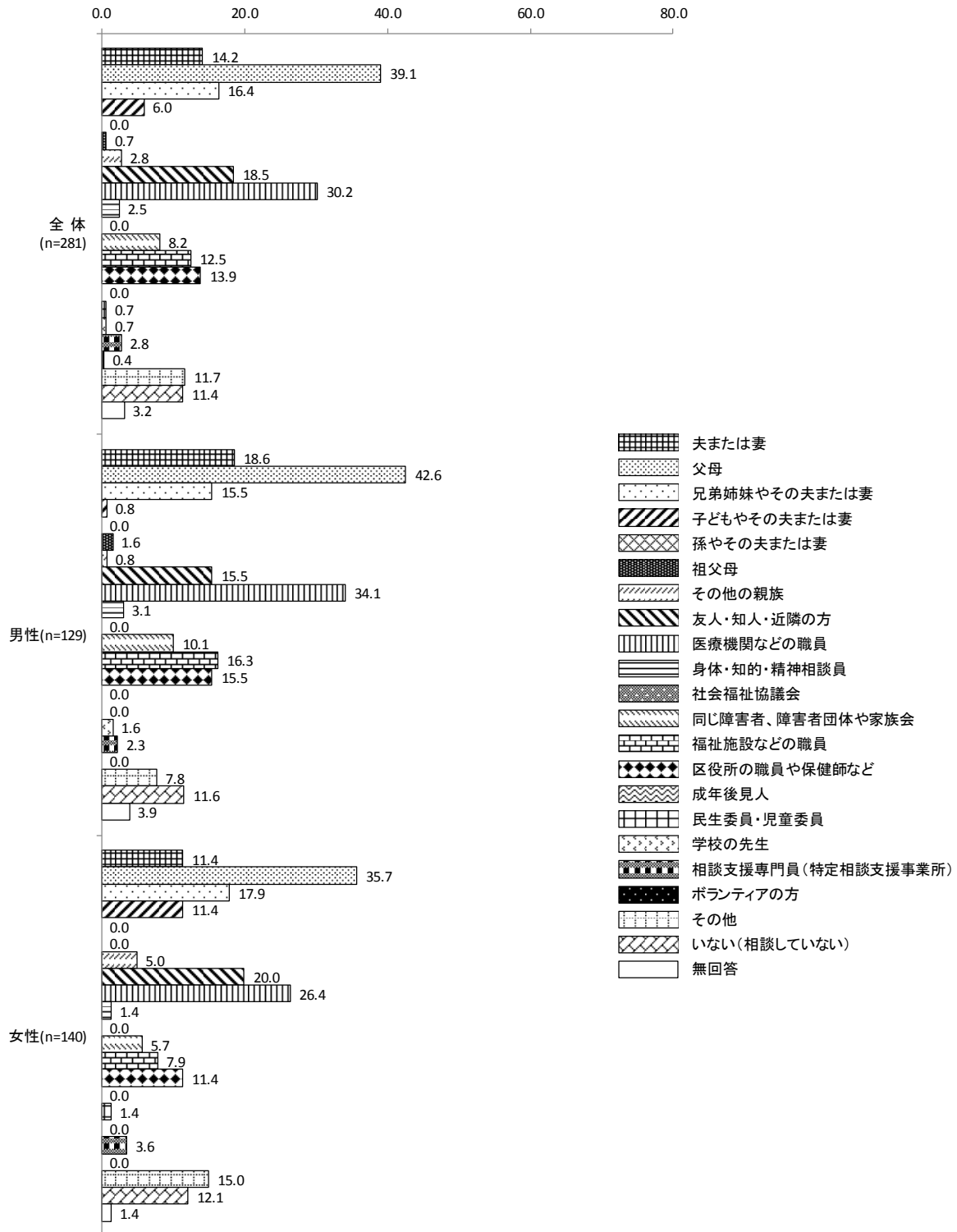


問 19 あなたは、悩みごとや困ったことなどについて、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）

対象者に悩みごとや困ったことの相談相手について尋ねたところ、＜全体＞では「父母」が 39.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「父母」が 42.6%と 35.7%で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-10-1 精神障害者の相談相手 [%]

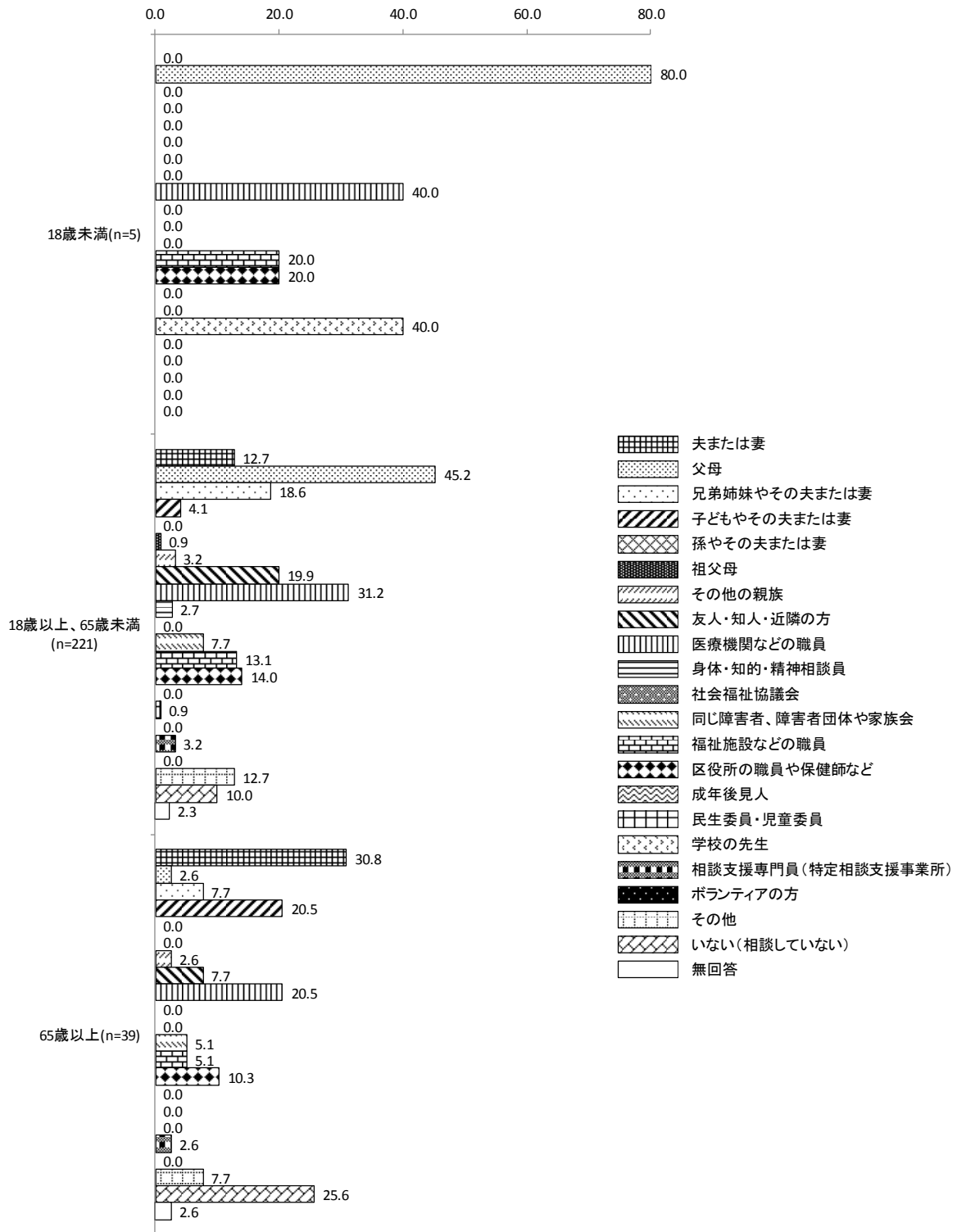


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>では「父母」が45.2%で、<65歳以上>では「夫または妻」が30.8%で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【年齢別】

図 2-8-10-2 精神障害者の相談相手 [%]

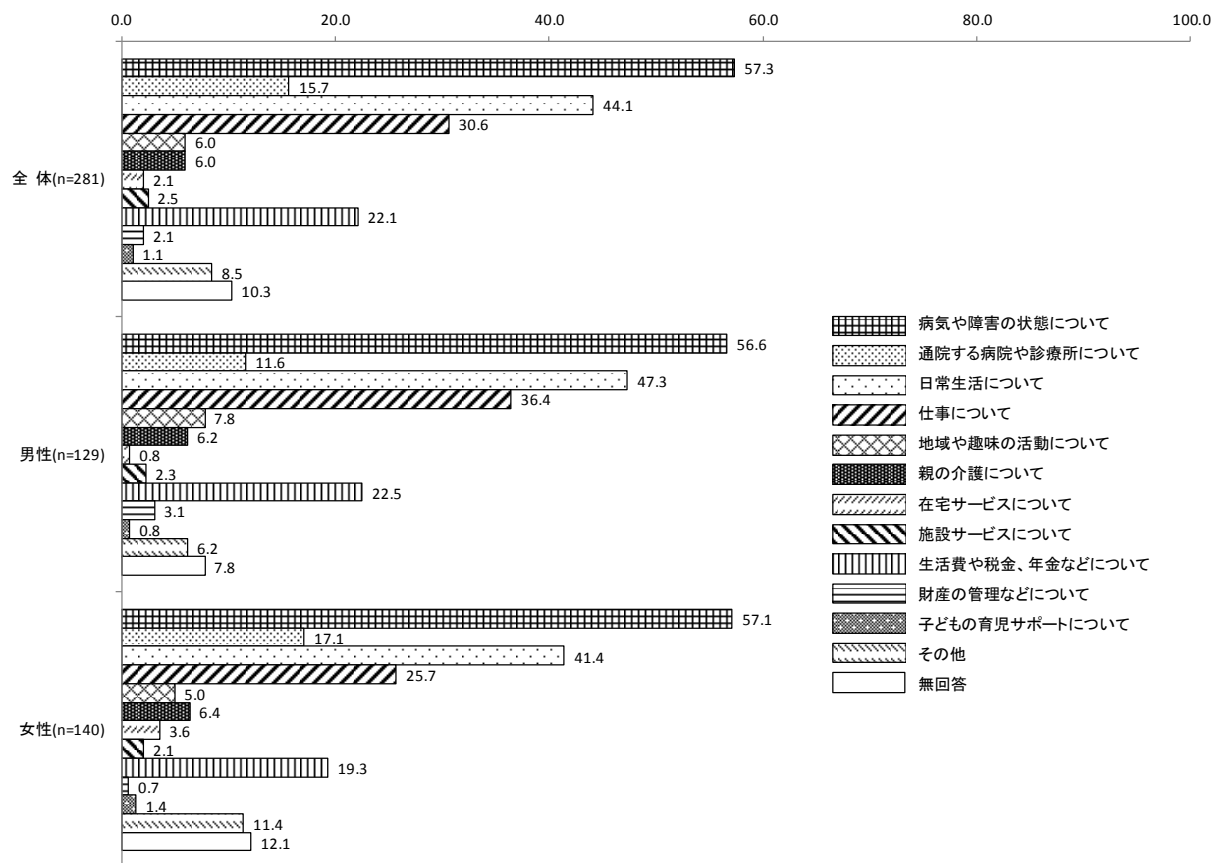


問 20 あなたは、どんな悩みごとや困ったことを相談していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に悩みごとや困ったことの相談内容・種類について尋ねたところ、＜全体＞では「病気や障害の状態について」が57.3%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「病気や障害の状態について」が56.6%と57.1%で最も多かった。

問 20 相談内容 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-11-1 精神障害者の相談内容 [%]

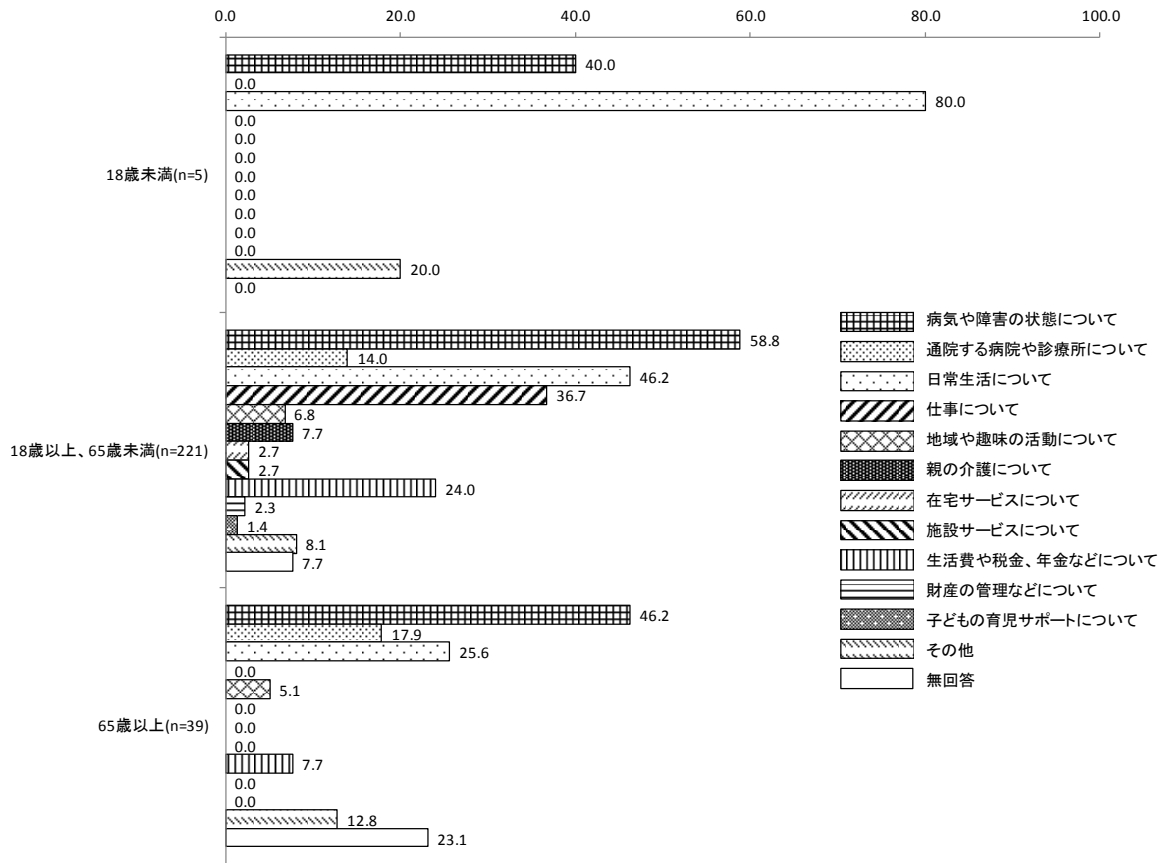


II 調査結果

年齢別でも<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「病気や障害の状態について」が58.8%と46.2%で最も多かった。

問 20 相談内容 (MA) 【年齢別】

図 2-8-11-2 精神障害者の相談内容 [%]

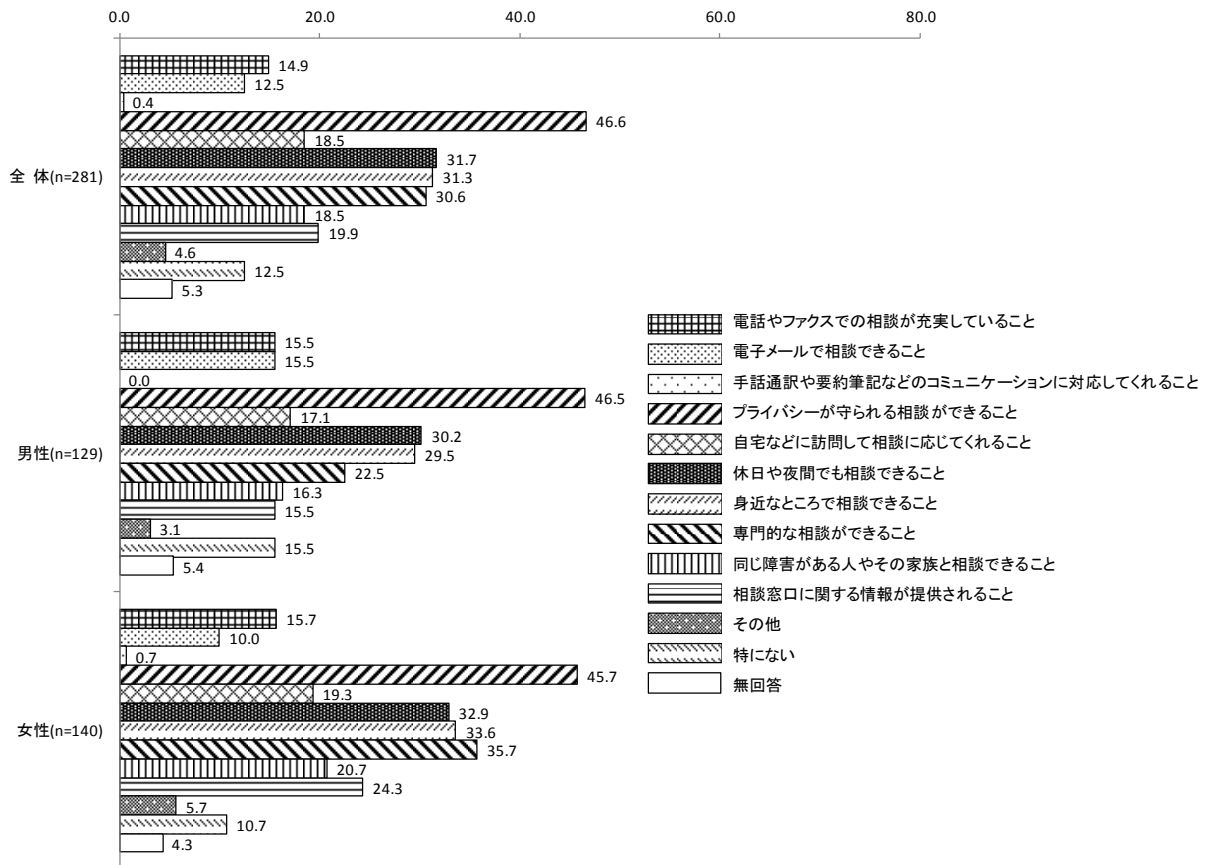


問 21 あなたは、相談しやすい体制をつくるにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に相談しやすい体制づくりに必要なことを尋ねたところ、＜全体＞では「プライバシーが守られる相談ができること」が46.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「プライバシーが守られる相談ができること」が46.5%と45.7%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-12-1 精神障害者が思う相談体制に必要な要素 [%]

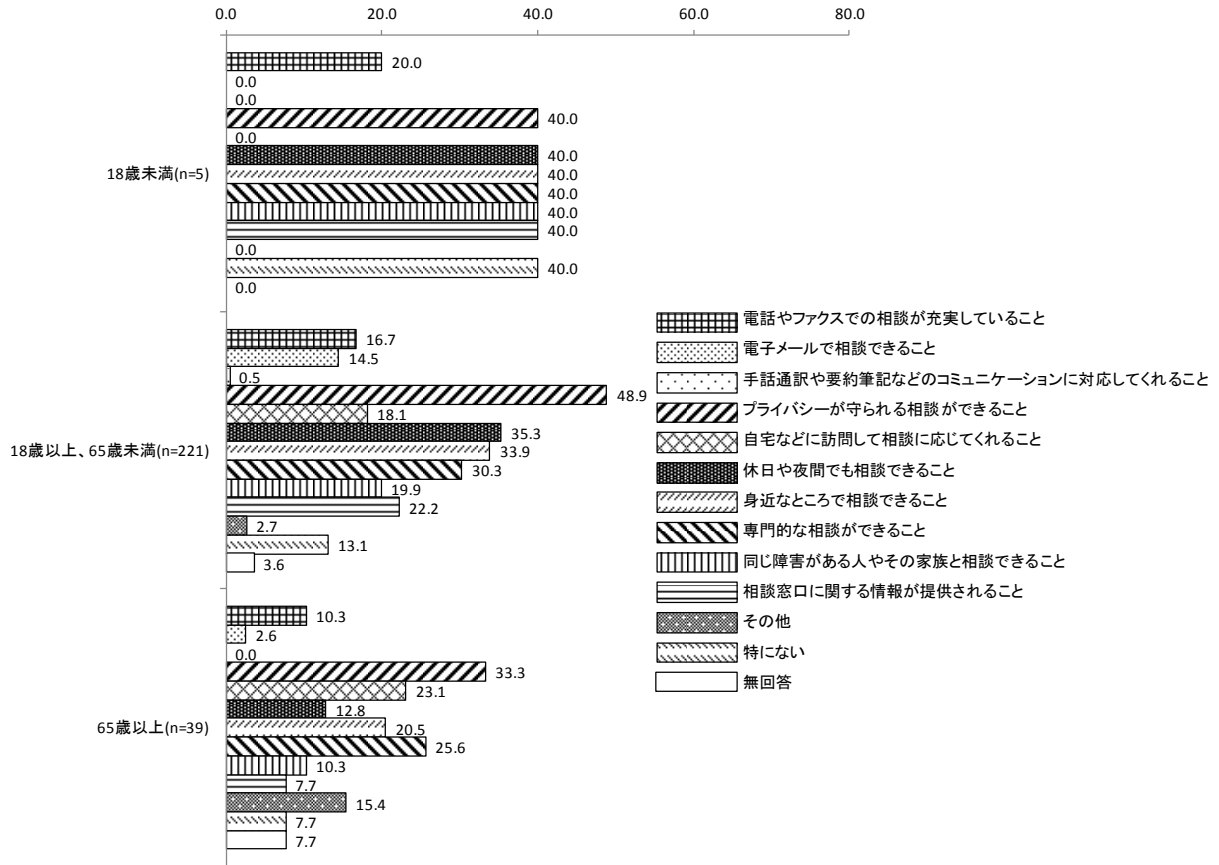


II 調査結果

年齢別でも<18歳以上、65歳未満>、<65歳以上>共に「プライバシーが守られる相談ができること」が48.9%と33.3%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【年齢別】

図 2-8-12-2 精神障害者が思う相談体制に必要な要素 [%]



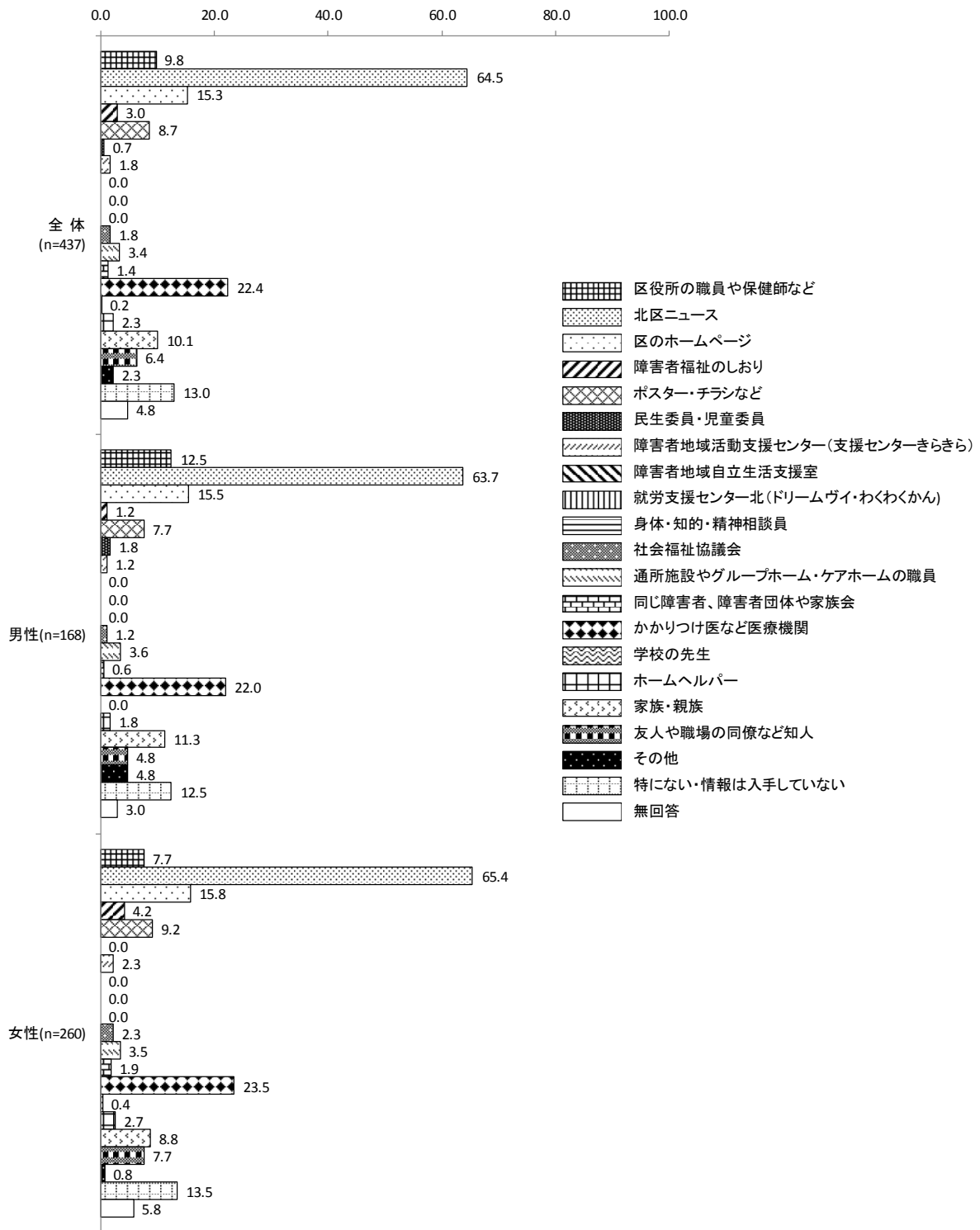
8-4 難病患者の情報・相談について

問 18 あなたは、区政や福祉サービス情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に医政や福祉サービスの情報入手元について尋ねたところ、<全体>では「北区ニュース」が64.5%で最も多かった。性別では<男女>共に「北区ニュース」が63.7%と65.4%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-13-1 難病患者の情報入手元 [%]

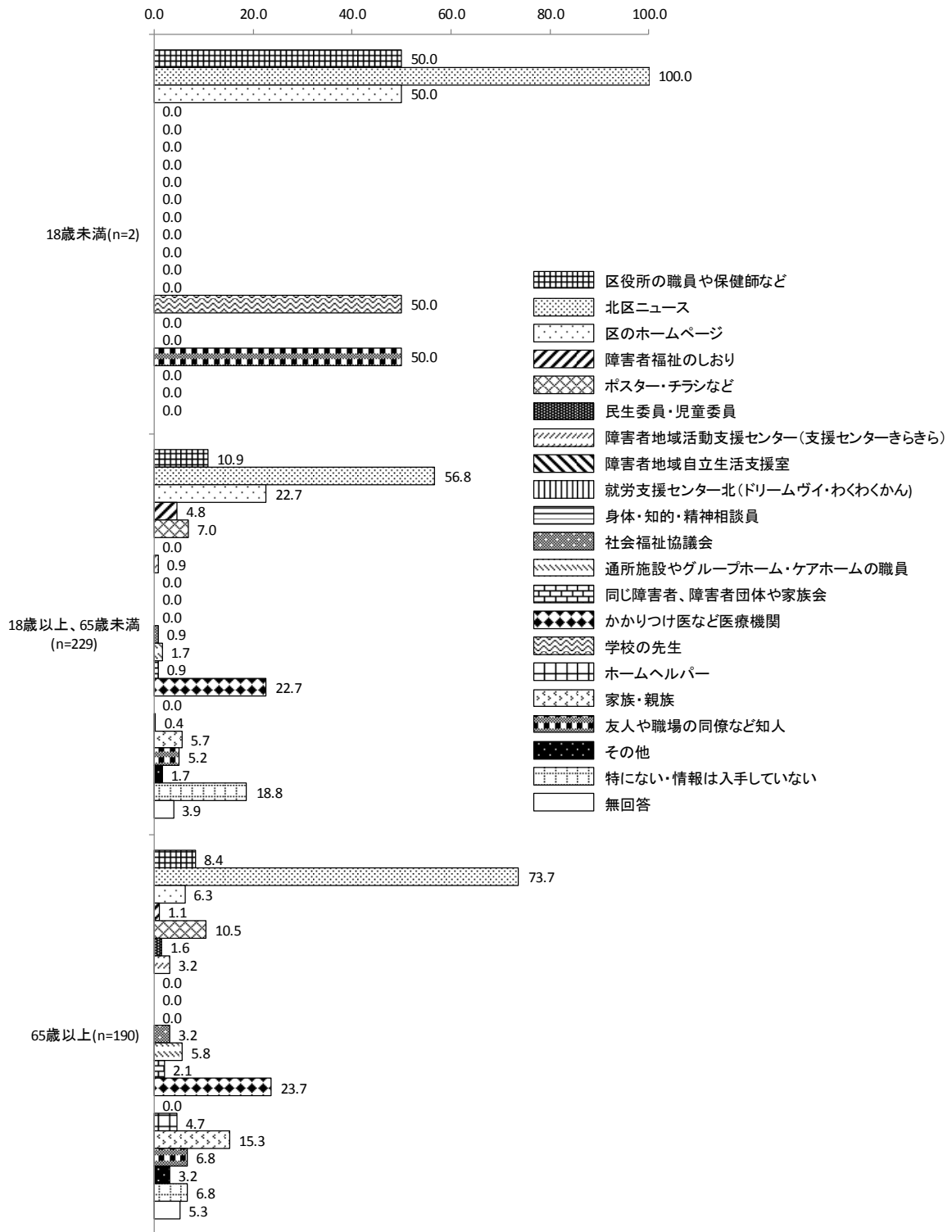


II 調査結果

年齢別でも<18歳以上、65歳未満>、<65歳以上>共に「北区ニュース」が56.8%と73.7%で最も多かった。

問 18 情報入手元 (MA) 【年齢別】

図 2-8-13-2 難病患者の情報入手元 [%]

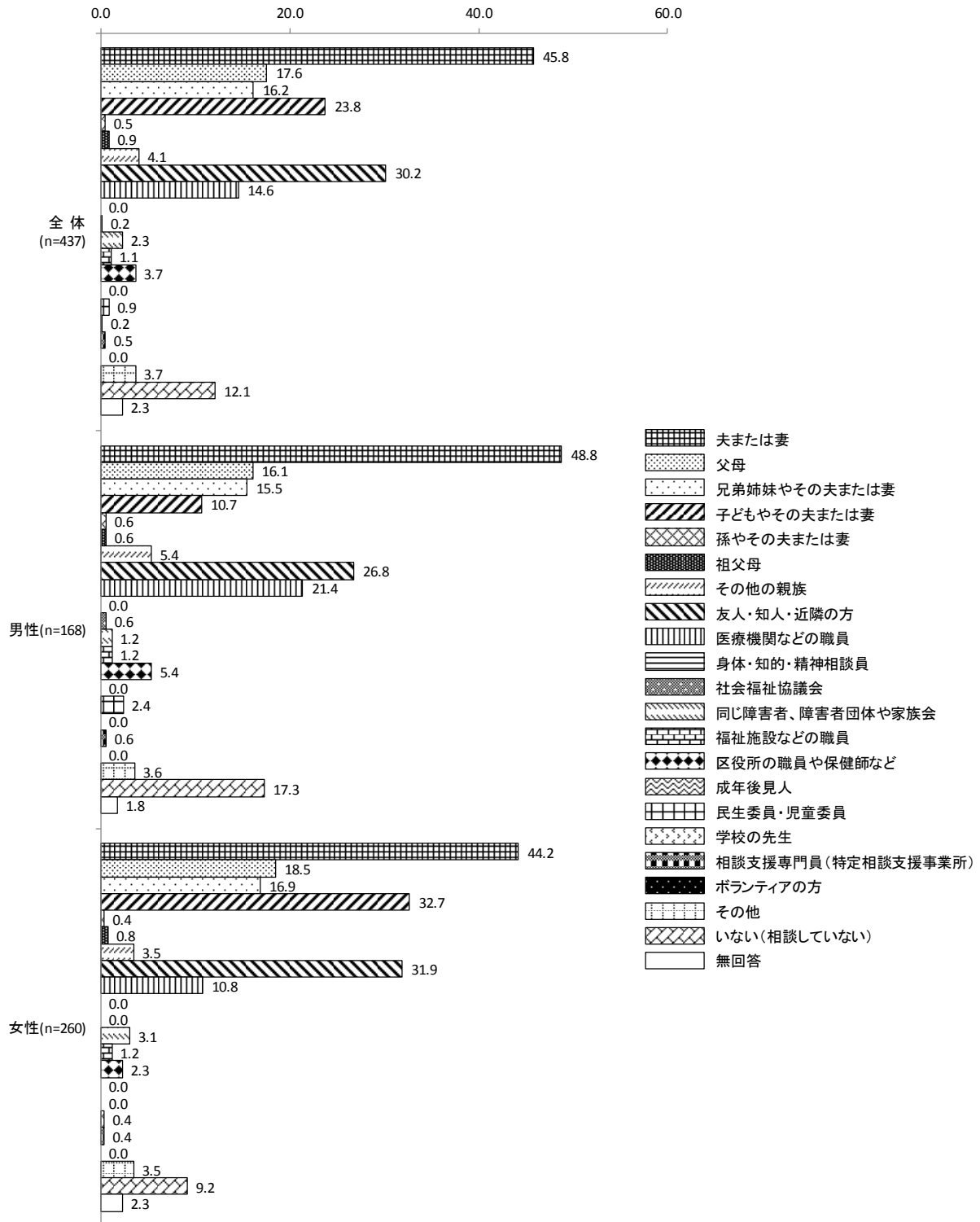


問 19 あなたは、悩みごとや困ったことなどについて、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）

対象者に悩みごとや困ったことの相談相手について尋ねたところ、＜全体＞では「夫または妻」が45.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「夫または妻」が48.8%と44.2%で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-14-1 難病患者の相談相手 [%]

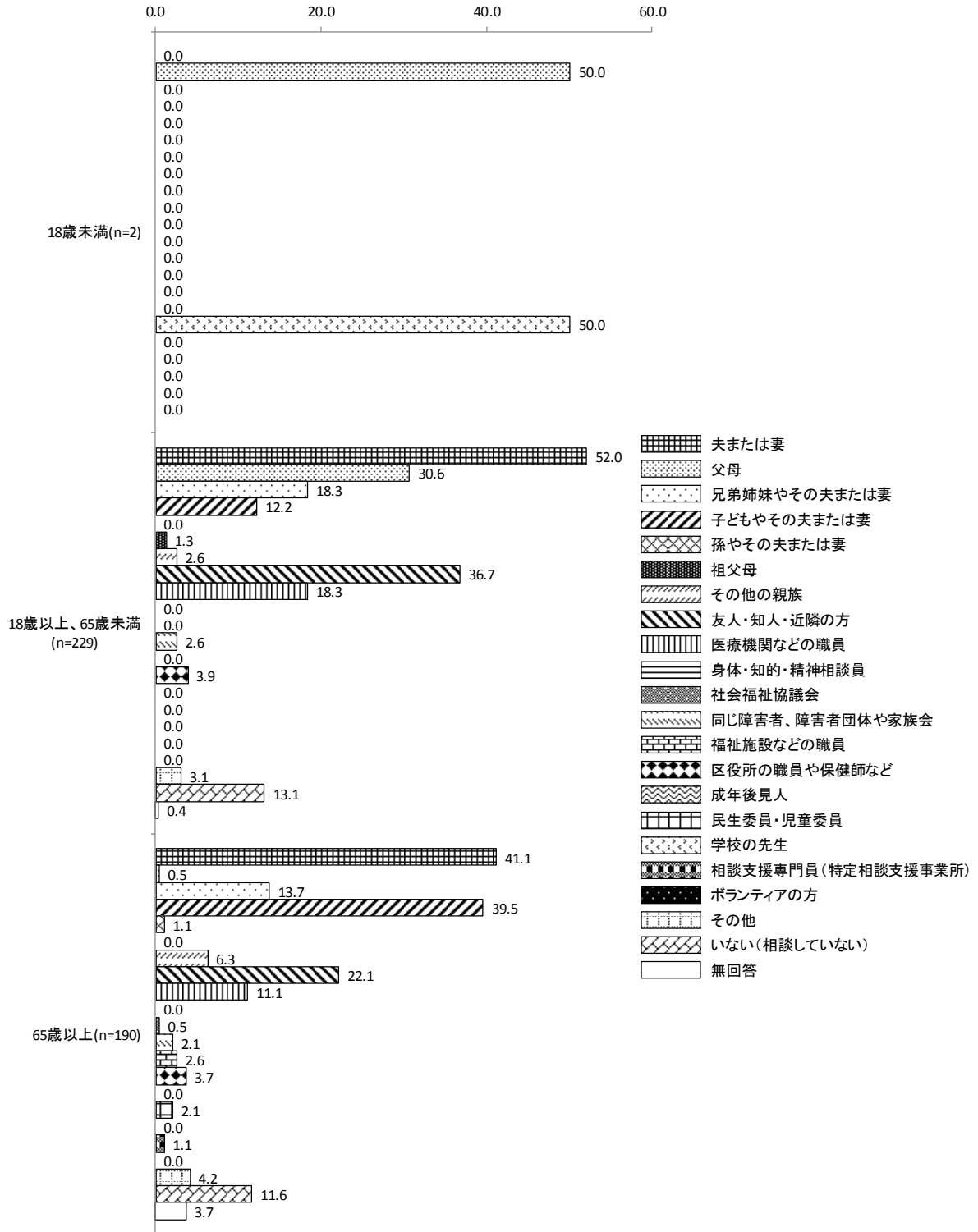


II 調査結果

年齢別に見ると<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>では共に「夫または妻」が52.0%と41.1%で最も多かった。

問 19 相談相手 (MA) 【年齢別】

図 2-8-14-2 難病患者の相談相手 [%]

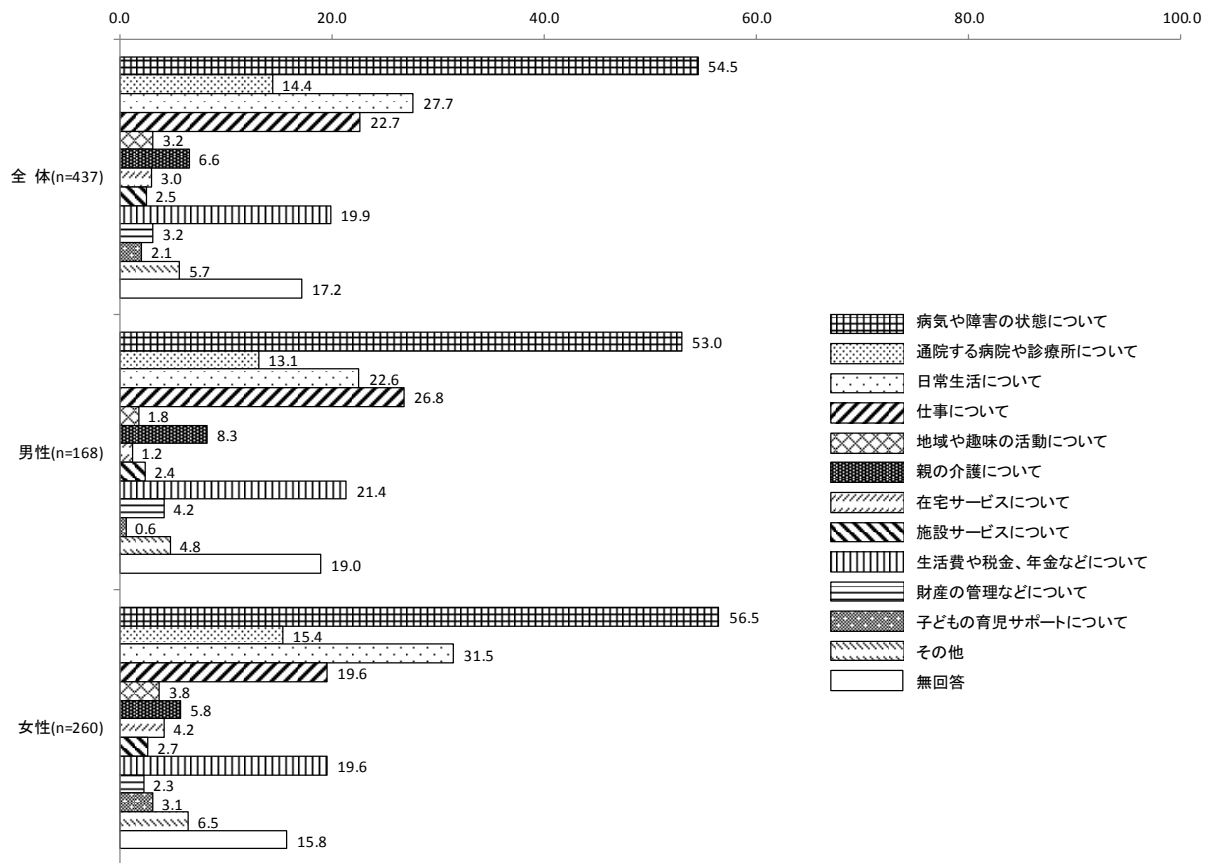


問 20 あなたは、どんな悩みごとや困ったことを相談していますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に悩みごとや困ったことの相談内容・種類について尋ねたところ、＜全体＞では「病気や障害の状態について」が54.5%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「病気や障害の状態について」が53.0%と56.5%で最も多かった。

問 20 相談内容 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-15-1 難病患者の相談内容 [%]

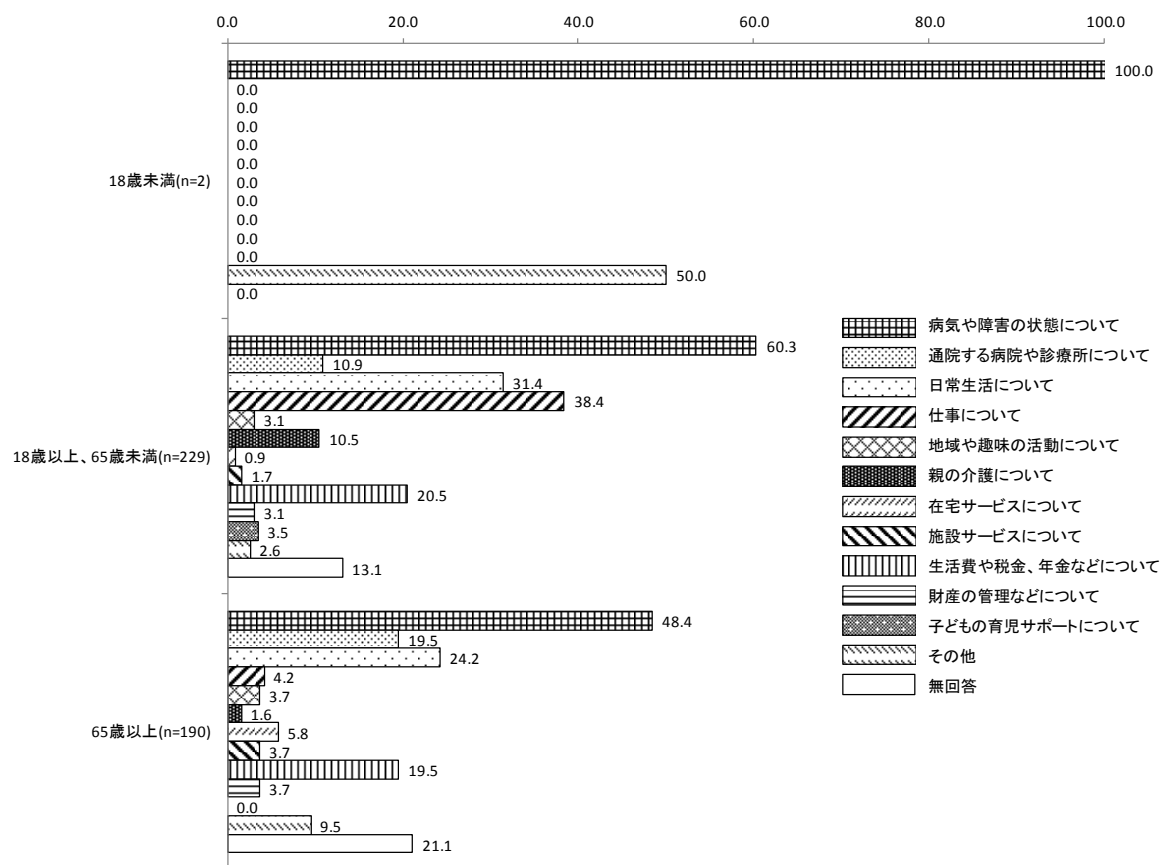


II 調査結果

年齢別でも<18歳以上、65歳未満>、<65歳以上>共に「病気や障害の状態について」が60.3%と48.4%で最も多かった。

問 20 相談内容 (MA) 【年齢別】

図 2-8-15-2 難病患者の相談内容 [%]

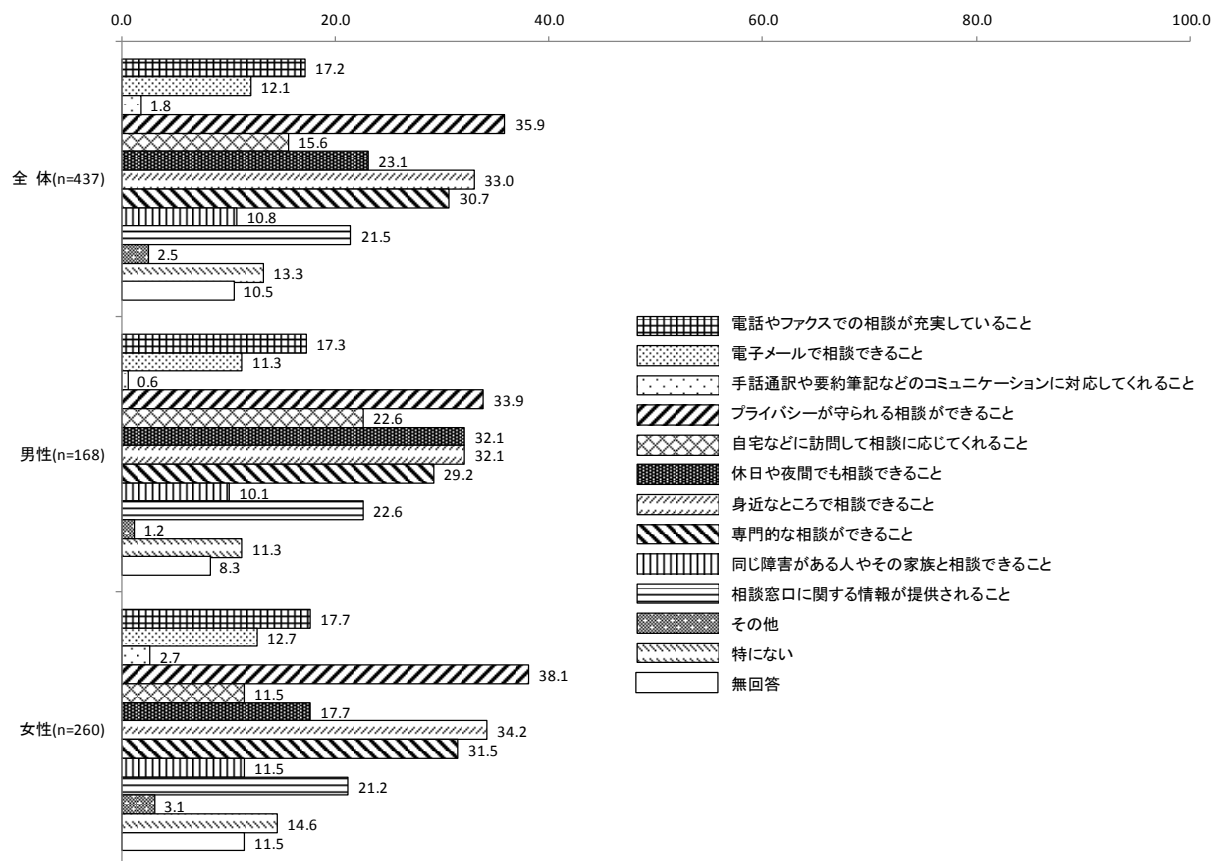


問 21 あなたは、相談しやすい体制をつくるにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に相談しやすい体制づくりに必要なことを尋ねたところ、＜全体＞では「プライバシーが守られる相談ができること」が35.9%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「プライバシーが守られる相談ができること」が33.9%と38.1%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【全体・性別】

図 2-8-16-1 難病患者が思う相談体制に必要な要素 [%]

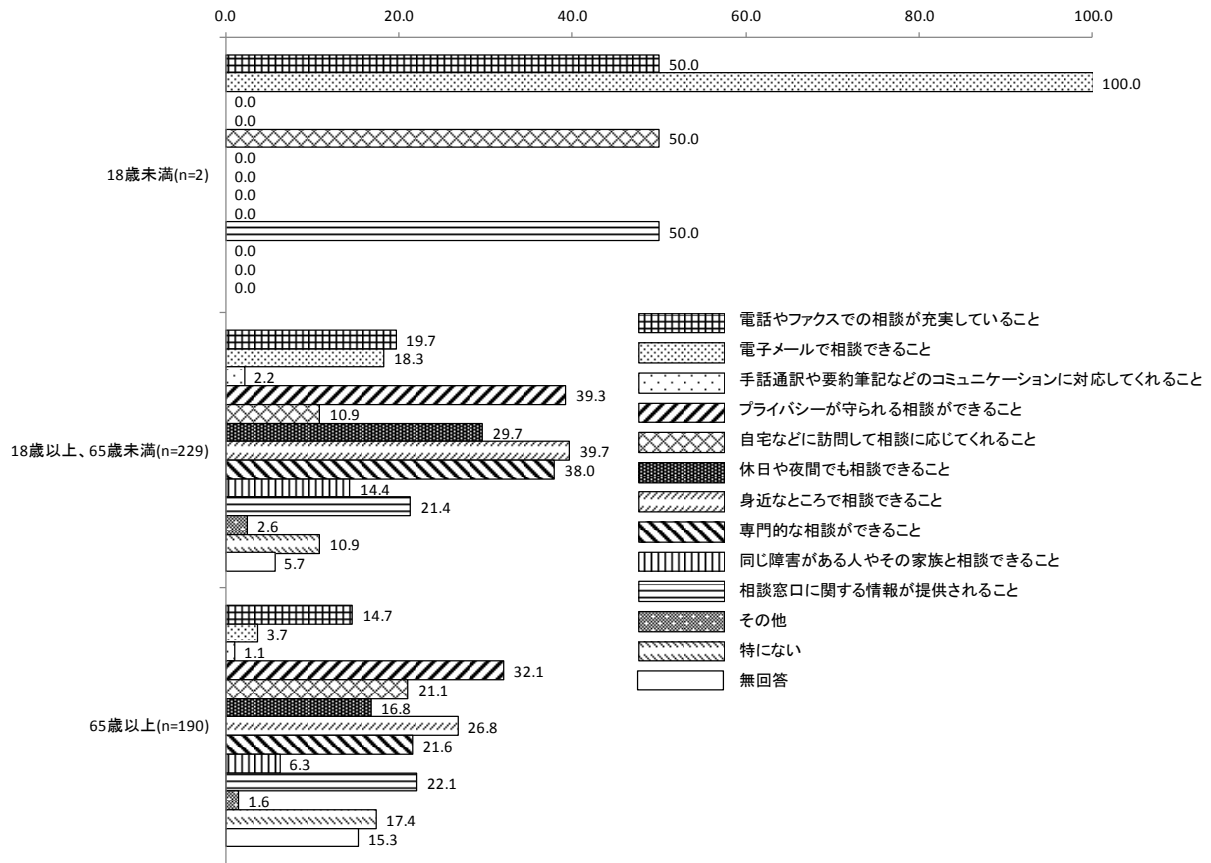


II 調査結果

年齢別で見ると<18歳以上、65歳未満>では「身近なところで相談できること」が39.7%で、<65歳以上>では「プライバシーが守られる相談ができること」が32.1%で最も多かった。

問 21 相談体制に必要な要素 (MA) 【年齢別】

図 2-8-16-2 難病患者が思う相談体制に必要な要素 [%]



9. サービスの利用

問 22 ①～④のサービスごとに利用状況（A欄）と満足度（B・C欄）、今後の利用意向（D欄）をお答えください。

A 利用しているサービスについて

サービスの利用状況を尋ねたところ、「利用している」回答について、①居宅介護（ホームヘルプ）では<全体>で8.4%だった。障害別でみると<身体障害者>で11.3%、<精神障害者>で7.5%となった。②短期入所（ショートステイ）では<全体>で4.4%だった。<知的障害者>で12.6%だった。③児童発達支援では<全体>で0.5%だった。④放課後等デイサービスでは<全体>で2.1%だった。

		全 体		上段:実数 下段:%							
				①居宅介護 (ホームヘルプ)		②短期入所 (ショートステイ)		③児童発達支援		④放課後等デイサービス	
				利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない
全 体		2045 100.0	172 8.4	1873 91.6	91 4.4	1954 95.6	11 0.5	2034 99.5	43 2.1	2002 97.9	
障 害 区 分	身体障害	1001 100.0	113 11.3	888 88.7	44 4.4	957 95.6	4 0.4	997 99.6	20 2.0	981 98.0	
	知的障害	326 100.0	16 4.9	310 95.1	41 12.6	285 87.4	7 2.1	319 97.9	16 4.9	310 95.1	
	精神障害	281 100.0	21 7.5	260 92.5	1 0.4	280 99.6	- -	281 100.0	3 1.1	278 98.9	
	難病患者	437 100.0	22 5.0	415 95.0	5 1.1	432 98.9	- -	437 100.0	4 0.9	433 99.1	

⑤行動援護では<全体>で0.7%だった。⑥同行援護では<全体>で0.9%だった。<身体障害者>で1.2%だった。⑦生活介護では<全体>で2.4%だった。<身体障害者>で2.4%、<知的障害者>で6.1%だった。⑧療養介護では<全体>で0.9%だった。

		全 体		上段:実数 下段:%							
				⑤行動援護		⑥同行援護		⑦生活介護		⑧療養介護	
				利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない
全 体		2045 100.0	15 0.7	2030 99.3	18 0.9	2027 99.1	50 2.4	1995 97.6	19 0.9	2026 99.1	
障 害 区 分	身体障害	1001 100.0	5 0.5	996 99.5	12 1.2	989 98.8	24 2.4	977 97.6	15 1.5	986 98.5	
	知的障害	326 100.0	9 2.8	317 97.2	2 0.6	324 99.4	20 6.1	306 93.9	- -	326 100.0	
	精神障害	281 100.0	1 0.4	280 99.6	1 0.4	280 99.6	5 1.8	276 98.2	- -	281 100.0	
	難病患者	437 100.0	- -	437 100.0	3 0.7	434 99.3	1 0.2	436 99.8	4 0.9	433 99.1	

II 調査結果

⑨自立訓練は<全体>で1.6%だった。<身体障害者>では1.9%だった。⑩就労移行支援は<全体>で0.8%だった。⑪就労継続支援（A型・雇用型）は<全体>で0.7%だった。⑫就労継続支援（B型・非雇用型）は<全体>で3.7%だった。<知的障害者>では14.7%、<精神障害者>では9.6%だった。

		全 体		⑨自立訓練 (機能訓練・生活訓練)		⑩就労移行支援		⑪就労継続支援 (A型・雇用型)		⑫就労継続支援 (B型・非雇用型)	
				利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない
				上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%
全 体		2045	2013	16	2029	14	2031	75	1970		
		100.0	98.4	0.8	99.2	0.7	99.3	3.7	96.3		
障 害 区 分	身体障害	1001	982	-	1001	-	1001	-	1001		
		100.0	98.1	-	100.0	-	100.0	-	100.0		
	知的障害	326	324	8	318	5	321	48	278		
		100.0	99.4	2.5	97.5	1.5	98.5	14.7	85.3		
	精神障害	281	275	8	273	9	272	27	254		
		100.0	97.9	2.8	97.2	3.2	96.8	9.6	90.4		
	難病患者	437	432	-	437	-	437	-	437		
		100.0	98.9	-	100.0	-	100.0	-	100.0		

⑬共同生活援助（グループホーム）では<全体>で0.5%だった。⑭共同生活介護（ケアホーム）では<全体>で0.4%だった。

		全 体		⑬共同生活援助 (グループホーム)		⑭共同生活介護 (ケアホーム)	
				利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない
				上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%
全 体		2045	2034	9	2036		
		100.0	99.5	0.4	99.6		
障 害 区 分	身体障害	1001	999	2	999		
		100.0	99.8	0.2	99.8		
	知的障害	326	319	7	319		
		100.0	97.9	2.1	97.9		
	精神障害	281	280	-	281		
		100.0	99.6	-	100.0		
	難病患者	437	436	-	437		
		100.0	99.8	-	100.0		

B 利用しているサービスの満足度について

①居宅介護（ホームヘルプ）の利用満足度について尋ねたところ、＜全体＞で「満足」と「やや満足」を足した合計《満足》が 61.6%と過半数になった。対して「不満」「やや不満」を足した合計《不満》は 12.8%であった。障害別では＜身体障害者＞で《満足》が 61.1%となった。②短期入所（ショートステイ）の利用満足度について尋ねたところ、＜全体＞で《満足》が 55.0%と過半数となった。対して《不満》は 19.8%であった。＜知的障害者＞で《満足》が 58.5%となった。

		上段:実数 下段:%					
		①居宅介護(ホームヘルプ)					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	164	64	37	42	19	2	
	100.0	39.0	22.6	25.6	11.6	1.2	
障害区分	身体障害者	108	40	26	28	13	1
		100.0	37.0	24.1	25.9	12.0	0.9
	知的障害者	15	5	5	3	1	1
		100.0	33.3	33.3	20.0	6.7	6.7
	精神障害者	21	12	3	3	3	-
	100.0	57.1	14.3	14.3	14.3	-	
難病患者	20	7	3	8	2	-	
	100.0	35.0	15.0	40.0	10.0	-	

		上段:実数 下段:%					
		②短期入所(ショートステイ)					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	91	25	25	23	16	2	
	100.0	27.5	27.5	25.3	17.6	2.2	
障害区分	身体障害者	44	8	13	14	9	-
		100.0	18.2	29.5	31.8	20.5	-
	知的障害者	41	14	10	8	7	2
		100.0	34.1	24.4	19.5	17.1	4.9
	精神障害者	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	
難病患者	5	3	1	1	-	-	
	100.0	60.0	20.0	20.0	-	-	

④放課後等デイサービスの利用満足度について尋ねたところ、＜全体＞で《満足》が 78.1%と 8 割近い回答となった。対して《不満》はわずか 7.3%であった。

		上段:実数 下段:%					
		③児童発達支援					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	11	2	4	4	1	-	
	100.0	18.2	36.4	36.4	9.1	-	
障害区分	身体障害者	4	2	1	-	1	-
		100.0	50.0	25.0	-	25.0	-
	知的障害者	7	-	3	4	-	-
		100.0	-	42.9	57.1	-	-
	精神障害者	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	
難病患者	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

		上段:実数 下段:%					
		④放課後等デイサービス					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	41	20	12	6	3	-	
	100.0	48.8	29.3	14.6	7.3	-	
障害区分	身体障害者	19	8	3	6	2	-
		100.0	42.1	15.8	31.6	10.5	-
	知的障害者	15	7	7	-	1	-
		100.0	46.7	46.7	-	6.7	-
	精神障害者	3	1	2	-	-	-
	100.0	33.3	66.7	-	-	-	
難病患者	4	4	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	

		上段:実数 下段:%					
		⑤行動援護					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	14	8	4	1	1	-	
	100.0	57.1	28.6	7.1	7.1	-	
障害区分	身体障害者	5	4	1	-	-	-
		100.0	80.0	20.0	-	-	-
	知的障害者	9	4	3	1	1	-
		100.0	44.4	33.3	11.1	11.1	-
	精神障害者	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	
難病患者	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

		上段:実数 下段:%					
		⑥同行援護					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	15	8	4	1	1	1	
	100.0	53.3	26.7	6.7	6.7	6.7	
障害区分	身体障害者	11	7	2	1	1	-
		100.0	63.6	18.2	9.1	9.1	-
	知的障害者	2	1	1	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	-
	精神障害者	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	
難病患者	2	-	1	-	-	1	
	100.0	-	50.0	-	-	50.0	

II 調査結果

⑦生活保護の利用満足度について尋ねたところ、〈全体〉で「満足」が54.2%と過半数となった。対して「不満」は16.7%であった。

		上段:実数 下段:%				
		⑦生活介護				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	48 100.0	18 37.5	8 16.7	14 29.2	6 12.5	2 4.2
障害区分	身体障害者	9 100.0	3 39.1	8 13.0	3 34.8	- 13.0
	知的障害者	20 100.0	9 45.0	3 15.0	4 20.0	1 5.0
	精神障害者	4 100.0	-	2 50.0	2 50.0	-
	難病患者	1 100.0	-	-	-	1 100.0

		上段:実数 下段:%				
		⑧療養介護				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	18 100.0	4 22.2	3 16.7	11 61.1	-	-
障害区分	身体障害者	14 100.0	4 28.6	3 21.4	7 50.0	-
	知的障害者	-	-	-	-	-
	精神障害者	-	-	-	-	-
	難病患者	4 100.0	-	-	4 100.0	-

⑨自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用満足度について尋ねたところ、〈全体〉で「満足」が67.7%と2/3を超えた。対して「不満」はわずか6.5%であった。〈身体障害者〉では「満足」が79.0%と8割近い回答となった。

		上段:実数 下段:%				
		⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	31 100.0	16 51.6	5 16.1	8 25.8	2 6.5	-
障害区分	身体障害者	19 100.0	11 57.9	4 21.1	3 15.8	1 5.3
	知的障害者	2 100.0	2 100.0	-	-	-
	精神障害者	5 100.0	1 20.0	-	3 60.0	1 20.0
	難病患者	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-

		上段:実数 下段:%				
		⑩就労移行支援				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	16 100.0	9 56.3	2 12.5	3 18.8	1 6.3	1 6.3
障害区分	身体障害者	-	-	-	-	-
	知的障害者	8 100.0	6 75.0	-	2 25.0	-
	精神障害者	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5
	難病患者	-	-	-	-	-

⑪就労継続支援（B型・非雇用型）の利用満足度について尋ねたところ、〈全体〉で「満足」が68.9%と2/3を超えた。対して「不満」はわずか5.4%であった。〈知的障害者〉では「満足」が72.4%と7割を超えた。

		上段:実数 下段:%				
		⑪就労継続支援(A型・雇用型)				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	13 100.0	7 53.8	2 15.4	1 7.7	2 15.4	1 7.7
障害区分	身体障害者	-	-	-	-	-
	知的障害者	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-
	精神障害者	8 100.0	4 50.0	1 12.5	-	2 25.0
	難病患者	-	-	-	-	-

		上段:実数 下段:%				
		⑫就労継続支援(B型・非雇用型)				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	74 100.0	32 43.2	19 25.7	19 25.7	2 2.7	2 2.7
障害区分	身体障害者	-	-	-	-	-
	知的障害者	47 100.0	20 42.6	14 29.8	10 21.3	2 4.3
	精神障害者	27 100.0	12 44.4	5 18.5	9 33.3	-
	難病患者	-	-	-	-	-

		上段:実数 下段:%				
		⑬共同生活援助(グループホーム)				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	11 100.0	3 27.3	3 27.3	5 45.5	-	-
障害区分	身体障害者	2 100.0	-	-	2 100.0	-
	知的障害者	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	-
	精神障害者	1 100.0	-	-	1 100.0	-
	難病患者	1 100.0	1 100.0	-	-	-

		上段:実数 下段:%				
		⑭共同生活介護(ケアホーム)				
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
全体	9 100.0	3 33.3	1 11.1	4 44.4	-	1 11.1
障害区分	身体障害者	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0
	知的障害者	7 100.0	3 42.9	-	4 57.1	-
	精神障害者	-	-	-	-	-
	難病患者	-	-	-	-	-

C 利用サービスの不満点について（複数回答）

利用サービスの不満点について尋ねたところ、いずれも僅少回答となった。実数は以下の表の通り。
なお⑧療養介護、⑬共同生活援助（グループホーム）は該当回答がなかった。

上段:実数 下段:%

	全体	①居宅介護（ホームヘルプ）							
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他
全体	16 100.0	16 100.0	8 50.0	2 12.5	- -	- -	- -	- -	- -
障害区分	身体障害者	9 100.0	4 44.4	2 22.2	- -	- -	- -	- -	- -
	知的障害者	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

上段:実数 下段:%

	全体	②短期入所（ショートステイ）							
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他
全体	16 100.0	16 100.0	6 37.5	3 18.8	- -	- -	- -	- -	- -
障害区分	身体障害者	8 100.0	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	知的障害者	8 100.0	5 62.5	3 37.5	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

上段:実数 下段:%

	全体	③児童発達支援							
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他
全体	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
障害区分	身体障害者	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	知的障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

II 調査結果

上段:実数 下段:%

		④放課後等デイサービス								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		⑤行動援護								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		⑥同行援護								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	5 100.0	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	
	知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	
	難病患者	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		⑦生活介護								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	6 100.0	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	
	知的障害者	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		⑩就労移行支援								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

II 調査結果

上段:実数 下段:%

		⑪就労継続支援(A型・雇用手)								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	5 100.0	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	-	-	-	-	-
障害区分	身体障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神障害者	4 100.0	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-

上段:実数 下段:%

		⑫就労継続支援(B型・非雇用手)								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	7 100.0	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	-	-	-	-	-
障害区分	身体障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	知的障害者	4 100.0	4 100.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-
	精神障害者	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-

上段:実数 下段:%

		⑭共同生活介護(ケアホーム)								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-
障害区分	身体障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	知的障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-

D 今後の利用希望について

サービスの今後の利用意向を尋ねたところ、「今後またはこれからも利用したい」回答について、①居宅介護（ホームヘルプ）では＜全体＞で8.4%だった。障害別では＜身体障害者＞で10.4%、＜難病患者＞で8.0%となった。②短期入所（ショートステイ）では＜全体＞で5.1%だった。＜身体障害者＞で4.5%、＜知的障害者＞で12.6%となった。③児童発達支援では＜全体＞で0.4%だった。④放課後等デイサービスでは＜全体＞で2.1%だった。

上段:実数 下段:%

	全 体	①居宅介護 (ホームヘルプ)		②短期入所 (ショートステイ)		③児童発達支援		④放課後等デイサービス		
		今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	
全 体	2045 100.0	172 8.4	1873 91.6	104 5.1	1941 94.9	8 0.4	2037 99.6	42 2.1	2003 97.9	
障 害 区 分	身体障害	1001 100.0	104 10.4	897 89.6	45 4.5	956 95.5	2 0.2	999 99.8	24 2.4	977 97.6
	知的障害	326 100.0	17 5.2	309 94.8	41 12.6	285 87.4	2 0.6	324 99.4	10 3.1	316 96.9
	精神障害	281 100.0	16 5.7	265 94.3	1 0.4	280 99.6	- -	281 100.0	1 0.4	280 99.6
	難病患者	437 100.0	35 8.0	402 92.0	17 3.9	420 96.1	4 0.9	433 99.1	7 1.6	430 98.4

⑤行動援護では＜全体＞で1.5%だった。⑥同行援護では＜全体＞で2.2%だった。⑦生活介護では＜全体＞で3.6%だった。＜身体障害者＞で3.7%、＜知的障害者＞で6.1%となった。⑧療養介護では＜全体＞で1.5%だった。

上段:実数 下段:%

	全 体	⑤行動援護		⑥同行援護		⑦生活介護		⑧療養介護		
		今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	
全 体	2045 100.0	31 1.5	2014 98.5	44 2.2	2001 97.8	73 3.6	1972 96.4	30 1.5	2015 98.5	
障 害 区 分	身体障害	1001 100.0	11 1.1	990 98.9	24 2.4	977 97.6	37 3.7	964 96.3	17 1.7	984 98.3
	知的障害	326 100.0	9 2.8	317 97.2	3 0.9	323 99.1	20 6.1	306 93.9	2 0.6	324 99.4
	精神障害	281 100.0	2 0.7	279 99.3	5 1.8	276 98.2	4 1.4	277 98.6	- -	281 100.0
	難病患者	437 100.0	9 2.1	428 97.9	12 2.7	425 97.3	12 2.7	425 97.3	11 2.5	426 97.5

II 調査結果

⑨自立訓練では<全体>で2.0%だった。⑩就労移行支援では<全体>で1.8%だった。⑪就労継続支援(A型・雇用型)では<全体>で1.3%だった。⑫就労継続支援(B型・非雇用型)では<全体>で3.3%だった。

		⑨自立訓練 (機能訓練・生活訓練)		⑩就労移行支援		⑪就労継続支援 (A型・雇用型)		⑫就労継続支援 (B型・非雇用型)		
		上段:実数 下段:%		上段:実数 下段:%		上段:実数 下段:%		上段:実数 下段:%		
	全 体	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	
		全 体	2045 100.0	41 2.0	2004 98.0	37 1.8	2008 98.2	26 1.3	2019 98.7	67 3.3
障害区分	身体障害	1001 100.0	18 1.8	983 98.2	7 0.7	994 99.3	1 0.1	1000 99.9	1 0.1	1000 99.9
	知的障害	326 100.0	6 1.8	320 98.2	14 4.3	312 95.7	12 3.7	314 96.3	39 12.0	287 88.0
	精神障害	281 100.0	8 2.8	273 97.2	11 3.9	270 96.1	7 2.5	274 97.5	23 8.2	258 91.8
	難病患者	437 100.0	9 2.1	428 97.9	5 1.1	432 98.9	6 1.4	431 98.6	4 0.9	433 99.1

⑬共同生活援助(グループホーム)では<全体>で1.9%だった。⑭共同生活介護(ケアホーム)では<全体>で1.8%だった。

		⑬共同生活援助 (グループホーム)		⑭共同生活介護 (ケアホーム)		
		上段:実数 下段:%		上段:実数 下段:%		
	全 体	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	
		全 体	2045 100.0	38 1.9	2007 98.1	36 1.8
障害区分	身体障害	1001 100.0	5 0.5	996 99.5	9 0.9	992 99.1
	知的障害	326 100.0	18 5.5	308 94.5	13 4.0	313 96.0
	精神障害	281 100.0	5 1.8	276 98.2	2 0.7	279 99.3
	難病患者	437 100.0	10 2.3	427 97.7	12 2.7	425 97.3

問 23 《北区独自のサービス（地域生活支援事業）や相談についてうかがいます。》

①～⑦のサービスごとに利用状況（A欄）と満足度（B・C欄）、今後の利用意向（D欄）をお答えください。

A 利用している北区独自のサービスについて

北区独自サービスの利用状況を尋ねたところ、「利用している」回答について、①移動支援では＜全体＞で4.5%だった。障害別では＜知的障害者＞で17.8%だった。②日中一時支援では＜全体＞で2.9%だった。③手話通訳派遣では＜全体＞で0.2%だった。④障害者地域活動支援センターでは＜全体＞で1.5%だった。

		全 体		①移動支援		②日中一時支援		③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)		④障害者地域活動 支援センター (支援センターきらきら)									
				利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない								
				上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%								
全 体		2045	100.0	92	4.5	1953	95.5	60	2.9	1985	97.1	5	0.2	2040	99.8	31	1.5	2014	98.5
障 害 区 分	身体障害	1001	100.0	28	2.8	973	97.2	23	2.3	978	97.7	5	0.5	996	99.5	3	0.3	998	99.7
	知的障害	326	100.0	58	17.8	268	82.2	28	8.6	298	91.4	-	-	326	100.0	2	0.6	324	99.4
	精神障害	281	100.0	3	1.1	278	98.9	3	1.1	278	98.9	-	-	281	100.0	25	8.9	256	91.1
	難病患者	437	100.0	3	0.7	434	99.3	6	1.4	431	98.6	-	-	437	100.0	1	0.2	436	99.8

⑤障害者地域自立生活支援室では＜全体＞で0.9%だった。⑥就労支援センター北では＜全体＞で1.8%だった。⑦区の相談窓口では＜全体＞で4.3%、＜身体障害者＞で4.0%、＜精神障害者＞で8.5%となった。

		全 体		⑤障害者地域自立 生活支援室		⑥就労支援センター北 (ドリームヴィ わくわくかん)		⑦区の相談窓口 (障害相談係 (手話通訳連絡所を含む))							
				利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない	利用して いる	利用して いない						
				上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%	上段:実数	下段:%						
全 体		2045	100.0	18	0.9	2027	99.1	36	1.8	2009	98.2	88	4.3	1957	95.7
障 害 区 分	身体障害	1001	100.0	7	0.7	994	99.3	-	-	1001	100.0	40	4.0	961	96.0
	知的障害	326	100.0	6	1.8	320	98.2	22	6.7	304	93.3	19	5.8	307	94.2
	精神障害	281	100.0	5	1.8	276	98.2	13	4.6	268	95.4	24	8.5	257	91.5
	難病患者	437	100.0	-	-	437	100.0	1	0.2	436	99.8	5	1.1	432	98.9

II 調査結果

B 利用している北区独自サービスの満足度について

利用している北区独自サービスについて、①移動支援の満足度を尋ねたところ、＜全体＞で「満足」と「やや満足」を足した合計《満足》が57.7%と過半数になった。対して「不満」「やや不満」を足した合計《不満》は22.3%であった。②日中一時支援の満足度を尋ねたところ、＜全体＞で《満足》が44.5%となり、《不満》は24.1%であった。

		上段:実数 下段:%					
		①移動支援					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	85 100.0	30 35.3	19 22.4	17 20.0	8 9.4	11 12.9	
障害区分	身体障害者	23 100.0	12 52.2	4 17.4	4 17.4	2 8.7	1 4.3
	知的障害者	57 100.0	17 29.8	12 21.1	12 21.1	6 10.5	10 17.5
	精神障害者	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -	- -
	難病患者	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -

		上段:実数 下段:%					
		②日中一時支援					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	54 100.0	13 24.1	11 20.4	17 31.5	9 16.7	4 7.4	
障害区分	身体障害者	20 100.0	7 35.0	5 25.0	4 20.0	4 20.0	- -
	知的障害者	26 100.0	2 7.7	4 15.4	11 42.3	5 19.2	4 15.4
	精神障害者	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -
	難病患者	5 100.0	3 60.0	- -	2 40.0	- -	- -

④障害者地域活動支援センターの満足度を尋ねたところ、＜全体＞で《満足》が48.4%となり、《不満》はなかった。

		上段:実数 下段:%					
		③手話通訳派遣(コミュニケーション支援)					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -	
障害区分	身体障害者	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -
	知的障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -

		上段:実数 下段:%					
		④障害者地域活動支援センター(支援センターきらきら)					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	31 100.0	8 25.8	7 22.6	16 51.6	- -	- -	
障害区分	身体障害者	3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -
	知的障害者	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	
	精神障害者	25 100.0	5 20.0	5 20.0	15 60.0	- -	- -
	難病患者	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -

⑥就労支援センター北の満足度を尋ねたところ、＜全体＞で《満足》が70.6%と7割を超え、《不満》は14.7%であった。

		上段:実数 下段:%					
		⑤障害者地域自立生活支援室					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	18 100.0	8 44.4	3 16.7	6 33.3	- -	1 5.6	
障害区分	身体障害者	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	- -	1 14.3
	知的障害者	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	- -	- -
	精神障害者	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -

		上段:実数 下段:%					
		⑥就労支援センター北(ドリームヴィ・わくわくかん)					
全体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全体	34 100.0	14 41.2	10 29.4	5 14.7	3 8.8	2 5.9	
障害区分	身体障害者	- -	- -	- -	- -	- -	
	知的障害者	20 100.0	10 50.0	6 30.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0
	精神障害者	13 100.0	4 30.8	3 23.1	3 23.1	2 15.4	1 7.7
	難病患者	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -

⑦区の相談窓口の満足度を尋ねたところ、＜全体＞で《満足》が55.9%と過半数となり、《不満》は16.6%であった。＜身体障害者＞では《満足》が46.1%で、《不満》は17.9%であった。

		上段:実数 下段:%					
		⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)					
全 体		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
全 体	84	28	19	23	8	6	
	100.0	33.3	22.6	27.4	9.5	7.1	
障 害 区 分	身体障害者	39	10	8	14	5	2
		100.0	25.6	20.5	35.9	12.8	5.1
	知的障害者	18	6	4	7	1	-
		100.0	33.3	22.2	38.9	5.6	-
	精神障害者	23	9	6	2	2	4
		100.0	39.1	26.1	8.7	8.7	17.4
	難病患者	4	3	1	-	-	-
		100.0	75.0	25.0	-	-	-

II 調査結果

C 北区独自サービスの不満点について（複数回答）

利用している北区独自サービスの不満点について尋ねたところ、いずれも僅少回答となった。実数は以下の表の通り。

上段:実数 下段:%

		①移動支援								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	20 100.0	20 100.0	6 30.0	2 10.0	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	5 100.0	5 100.0	1 20.0	-	-	-	-	-	
	知的障害者	15 100.0	15 100.0	5 33.3	2 13.3	-	-	-	-	
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		②日中一時支援								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	11 100.0	11 100.0	3 27.3	-	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者	8 100.0	8 100.0	3 37.5	-	-	-	-	-	
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		③手話通訳派遣(コミュニケーション支援)								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-	
障害区分	身体障害者	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	
	知的障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	精神障害者	-	-	-	-	-	-	-	-	
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	

上段:実数 下段:%

		④障害者地域活動支援センター(支援センターきらきら)								
		全体	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他
全体		1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
障害区分	身体障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	知的障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

上段:実数 下段:%

		⑤障害者地域自立生活支援室								
		全体	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他
全体		2 100.0	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
障害区分	身体障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	知的障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

上段:実数 下段:%

		⑥就労支援センター北(ドリームヴィ・わくわくかん)								
		全体	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他
全体		6 100.0	6 100.0	4 66.7	2 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
障害区分	身体障害者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	知的障害者	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
	精神障害者	4 100.0	4 100.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -
	難病患者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

II 調査結果

上段:実数 下段:%

		⑦区の相談窓口(障害相談係)(手話通訳連絡所を含む)								
		回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	
全体		19 100.0	19 100.0	11 57.9	4 21.1	2 10.5	1 5.3	-	-	-
障害区分	身体障害者	10 100.0	10 100.0	5 50.0	-	-	-	-	-	-
	知的障害者	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
	精神障害者	7 100.0	7 100.0	5 71.4	3 42.9	2 28.6	1 14.3	-	-	-
	難病患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-

D 今後の利用希望について

北区独自サービスの今後の利用意向を尋ねたところ、「今後またはこれからも利用したい」回答について、①移動支援では<全体>で5.9%だった。障害別では<身体障害者>は4.3%、<知的障害者>は17.2%だった。②日中一時支援では<全体>で4.3%、<身体障害者>では3.4%だった。③手話通訳派遣では<全体>で0.7%だった。④障害者地域活動支援センターでは<全体>で2.4%だった。

		全 体		上段:実数 下段:%							
				①移動支援		②日中一時支援		③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)		④障害者地域活動 支援センター (支援センターきらきら)	
				今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない
全 体		2045 100.0	121 5.9	1924 94.1	87 4.3	1958 95.7	15 0.7	2030 99.3	49 2.4	1996 97.6	
障 害 区 分	身体障害	1001 100.0	43 4.3	958 95.7	34 3.4	967 96.6	10 1.0	991 99.0	10 1.0	991 99.0	
	知的障害	326 100.0	56 17.2	270 82.8	26 8.0	300 92.0	-	326 100.0	12 3.7	314 96.3	
	精神障害	281 100.0	3 1.1	278 98.9	4 1.4	277 98.6	-	281 100.0	20 7.1	261 92.9	
	難病患者	437 100.0	19 4.3	418 95.7	23 5.3	414 94.7	5 1.1	432 98.9	7 1.6	430 98.4	

⑤障害者地域自立生活支援室では<全体>で2.2%だった。⑥就労支援センター北では<全体>で2.4%だった。⑦区の相談窓口では<全体>で5.1%、<身体障害者>では4.3%だった。

		全 体		上段:実数 下段:%					
				⑤障害者地域自立 生活支援室		⑥就労支援センター北 (ドリームヴィ・ わくわくかん)		⑦区の相談窓口 (障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)	
				今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない	今後または これからも 利用したい	利用したく ない
全 体		2045 100.0	44 2.2	2001 97.8	49 2.4	1996 97.6	104 5.1	1941 94.9	
障 害 区 分	身体障害	1001 100.0	18 1.8	983 98.2	4 0.4	997 99.6	43 4.3	958 95.7	
	知的障害	326 100.0	14 4.3	312 95.7	27 8.3	299 91.7	21 6.4	305 93.6	
	精神障害	281 100.0	4 1.4	277 98.6	10 3.6	271 96.4	21 7.5	260 92.5	
	難病患者	437 100.0	8 1.8	429 98.2	8 1.8	429 98.2	19 4.3	418 95.7	

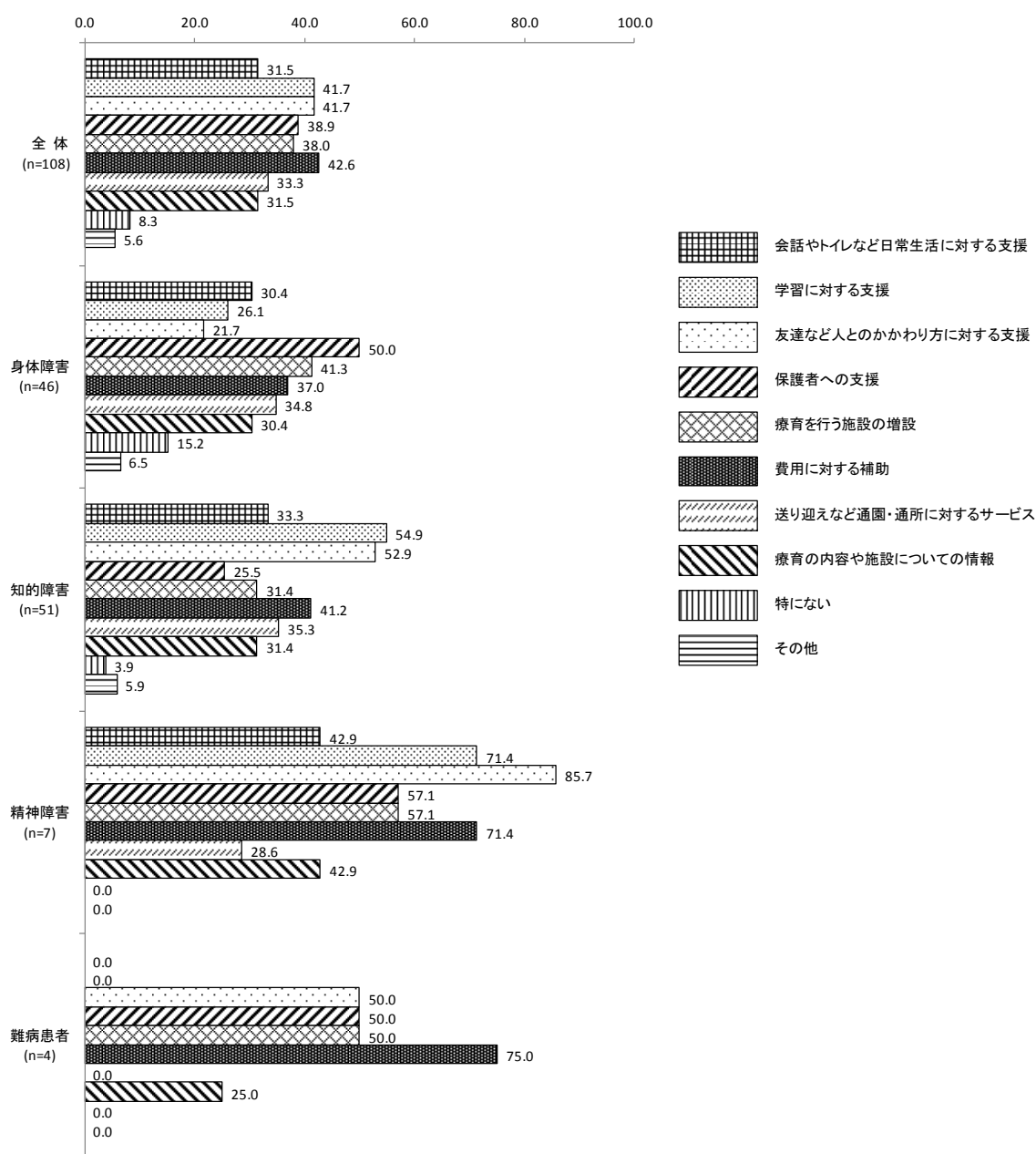
10. 障害児

問 24 子どもが受けている療育について、充実を望むものは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

子どもの療育で充実を希望する項目を尋ねたところ、＜全体＞では「費用に対する補助」が42.6%で最も多く、「学習に対する支援」と「友達など人とのかかわり方に対する支援」が41.7%でこれに次いだ。障害別では＜身体障害者＞で「保護者への支援」が50.0%で最も多く、「療育を行う施設の増設」が41.3%でこれに次いだ。＜知的障害者＞で「学習に対する支援」が54.9%で最も多く、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が52.9%でこれに次いだ。

問 24 充実を希望する療育項目 (MA)

図 2-10-1 障害児に関して充実を希望する療育項目 [%]

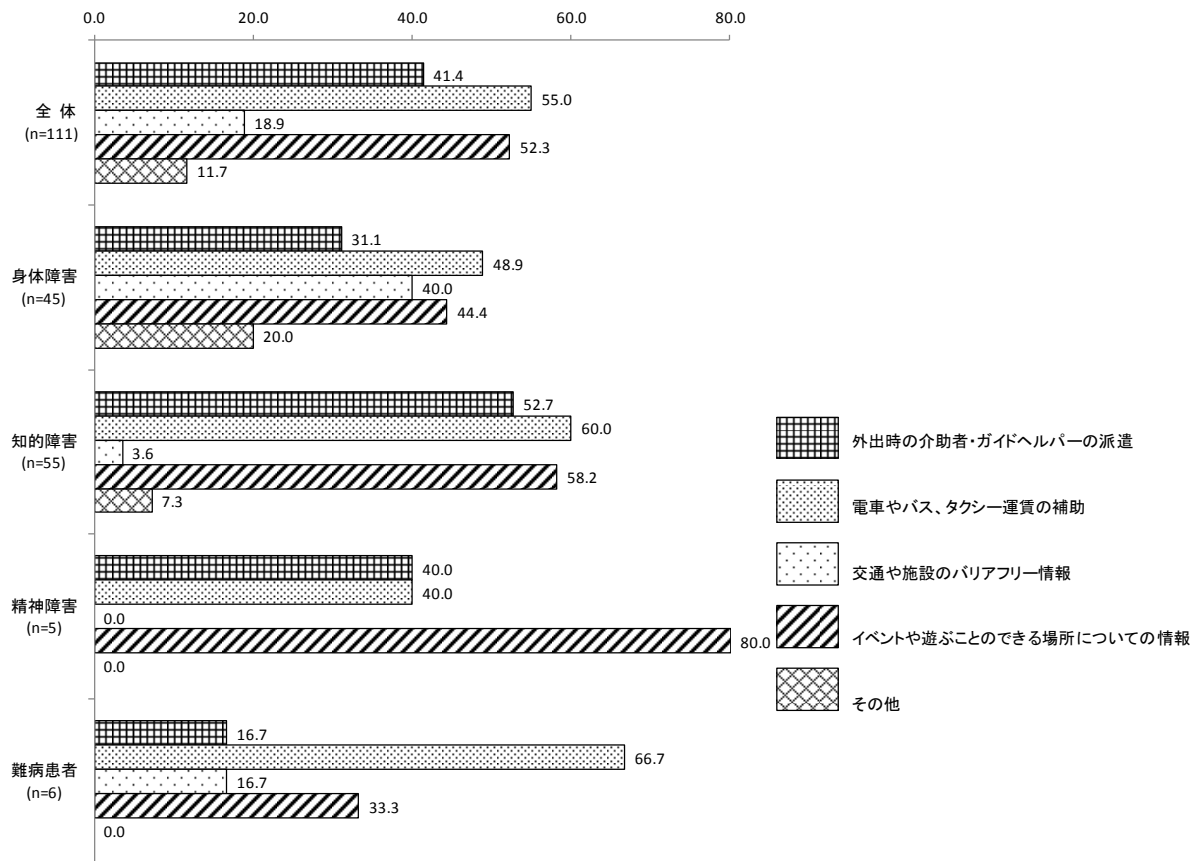


問 25 子どもの外出時にどのような支援やサービスが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

子どもの外出時に必要な支援・サービスについて尋ねたところ、＜全体＞では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が55.0%で最も多く、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が52.3%でこれに次いだ。＜身体障害者＞と＜知的障害者＞でも「電車やバス、タクシー運賃の補助」が48.9%と60.0%で最も多く、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が44.4%と58.2%でこれに次いだ。

問 25 相談体制に必要な要素 (MA)

図 2-10-2 障害児に関して外出時に必要な支援・サービス [%]

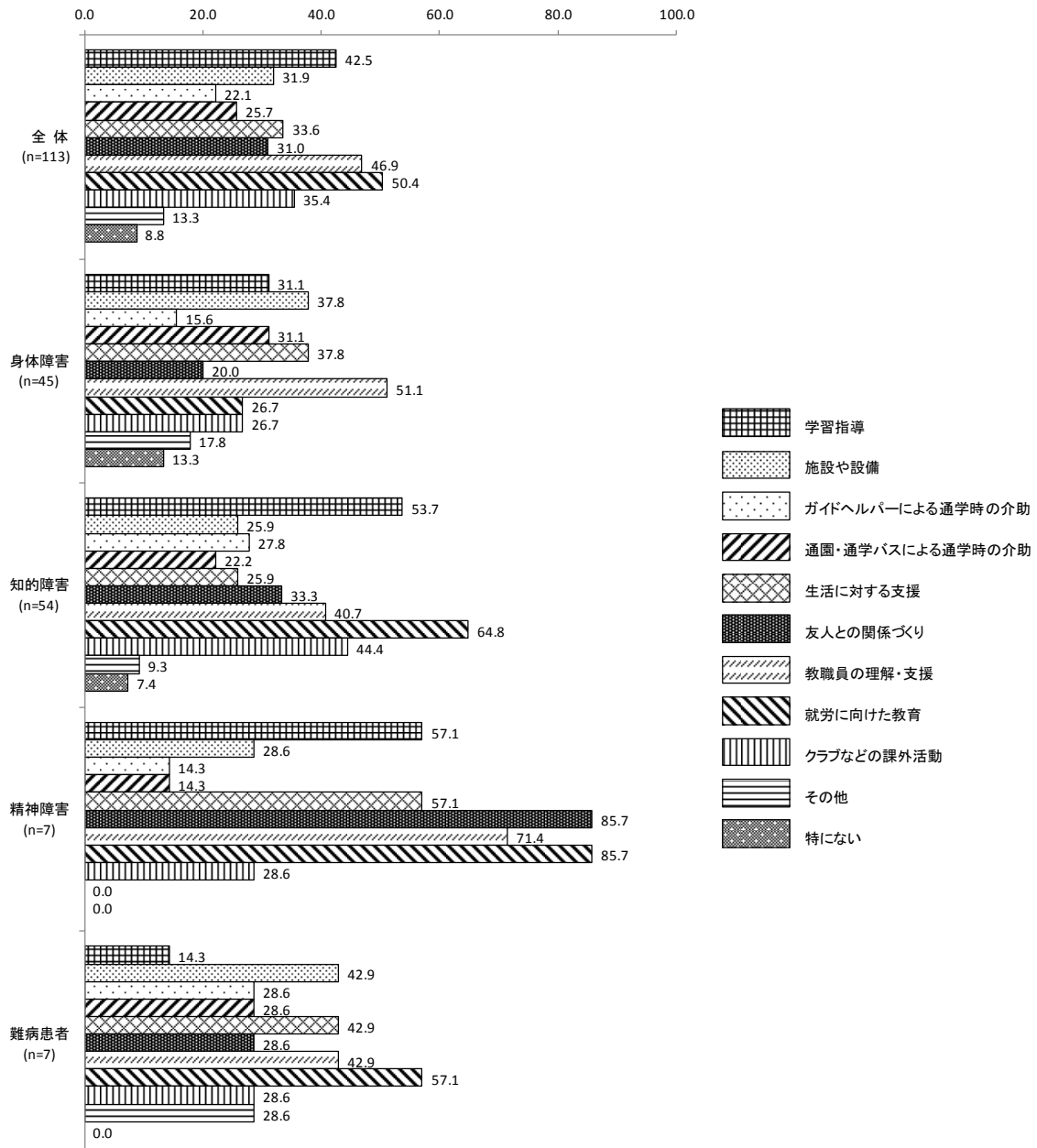


問 26 就学後（小学生～高校生）のお子さんが受けている教育や、学校生活について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

子どもの教育や学校生活について充実すべき項目を尋ねたところ、＜全体＞では「就労に向けた教育」が 50.4%で最も多く、「教職員の理解・支援」が 46.9%でこれに次いだ。＜身体障害者＞では「教職員の理解・支援」が 51.1%で最も多く、「施設や設備」と「生活に対する支援」が 37.8%でこれに次いだ。＜知的障害者＞では「就労に向けた教育」が 64.8%で最も多く、「学習指導」が 53.7%でこれに次いだ。＜精神障害者＞では「就労に向けた教育」が 85.7%で最も多く、「教職員の理解・支援」が 71.4%でこれに次いだ。＜難病患者＞では「就労に向けた教育」が 57.1%で最も多く、「施設や設備」と「生活に対する支援」が 42.9%でこれに次いだ。

問 26 相談体制に必要な要素 (MA)

図 2-10-3 障害児に関して就学後に充実を希望する項目 [%]

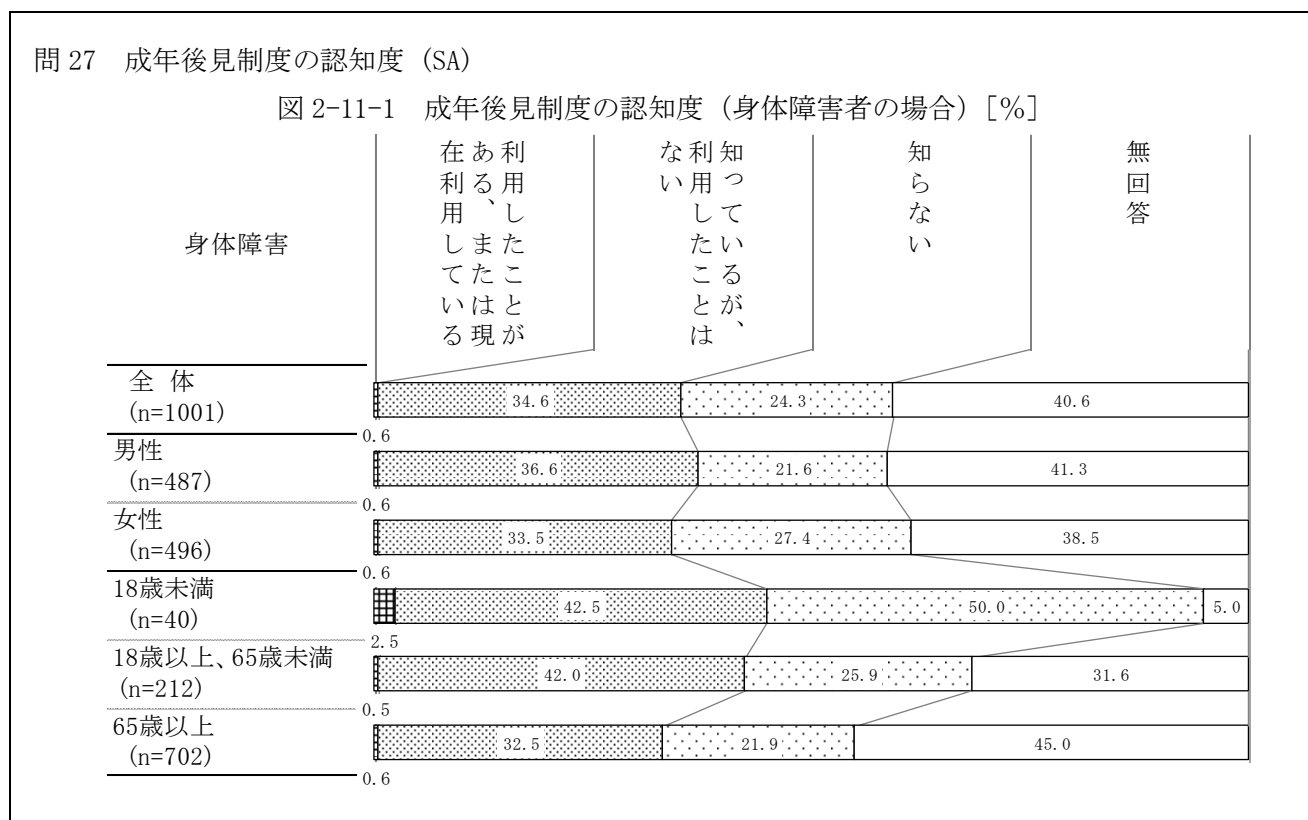


11. 成年後見

11-1 身体障害者の成年後見制度について

問 27 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に成年後見制度について知っているか尋ねたところ、＜全体＞では「知っているが、利用したことはない」が34.6%で最も多く、「知らない」が24.3%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「知っているが、利用したことはない」が36.6%と33.5%で最も多かった。年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「知っているが、利用したことはない」が42.0%と32.5%となり比較的多い。



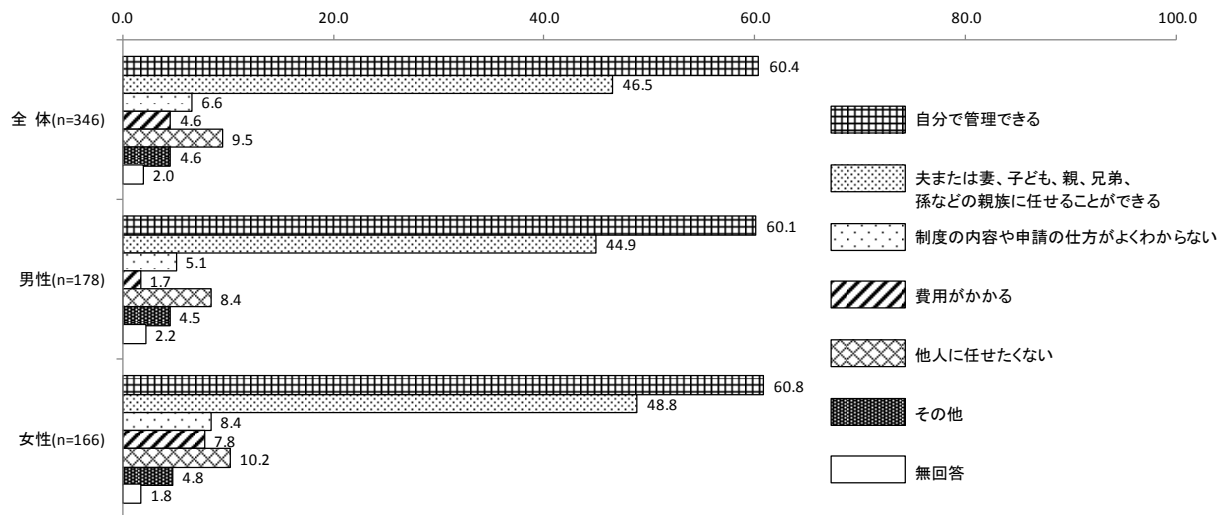
II 調査結果

問 27-1 「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度を知っているが利用しない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「自分で管理できる」が60.4%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「自分で管理できる」が60.1%と60.8%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【全体・性別】

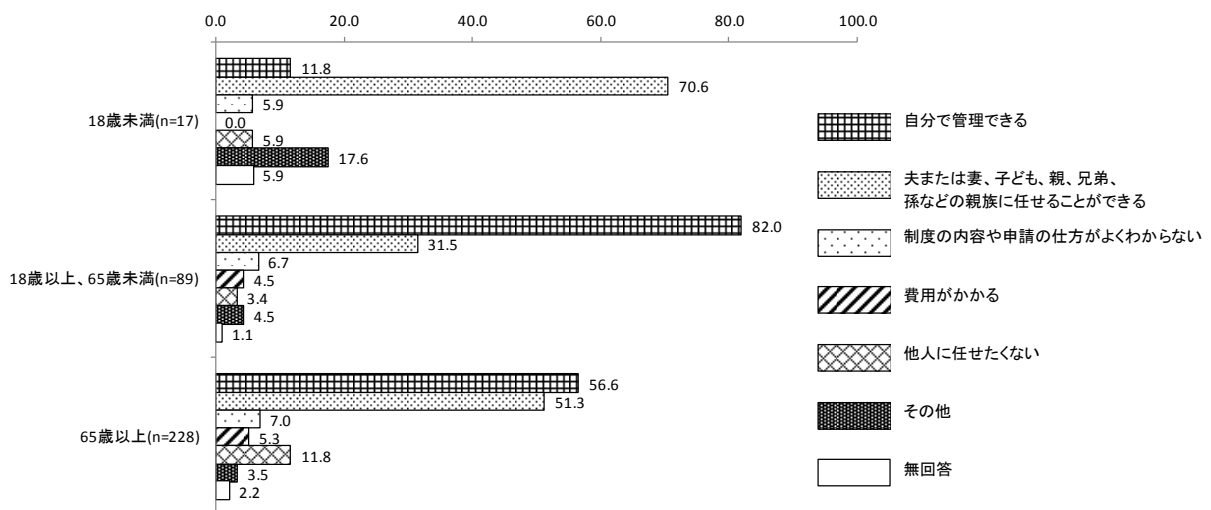
図 2-11-2-1 成年後見制度を利用しない理由 (身体障害者の場合) [%]



年齢別に見ると＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「自分で管理できる」が82.0%と56.6%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-11-2-2 成年後見制度を利用しない理由 (身体障害者の場合) [%]



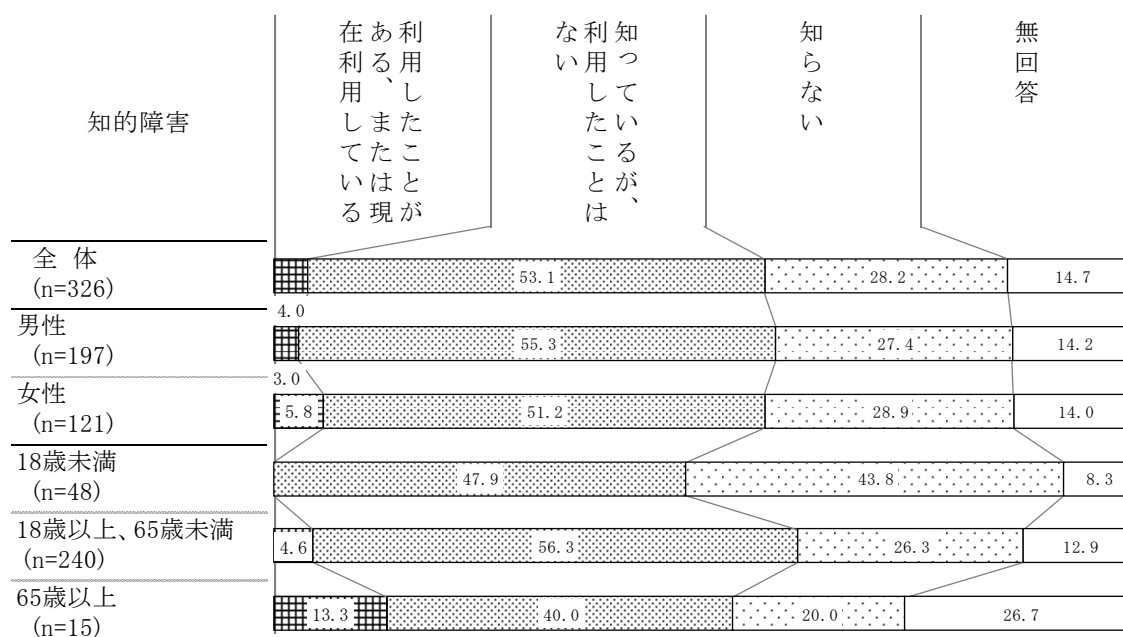
11-2 知的障害者の成年後見制度について

問 27 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に成年後見制度について知っているか尋ねたところ、＜全体＞では「知っているが、利用したことはない」が53.1%で最も多く、「知らない」が28.2%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「知っているが、利用したことはない」が55.3%と51.2%で最も多かった。年齢別では＜65歳以上＞で「利用したことがある、または現在利用している」が13.3%となり比較的多い。

問 27 成年後見制度の認知度 (SA)

図 2-11-3 成年後見制度の認知度 (知的障害者の場合) [%]



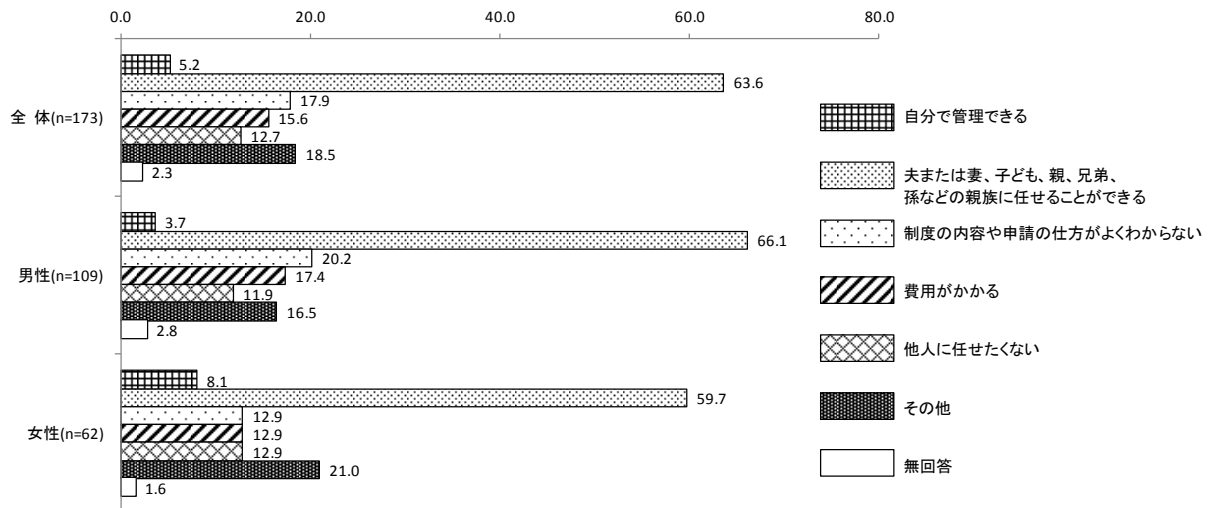
II 調査結果

問 27-1 「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度を知っているが利用しない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親族に任せることができる」が63.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親族に任せることができる」が66.1%と59.7%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【全体・性別】

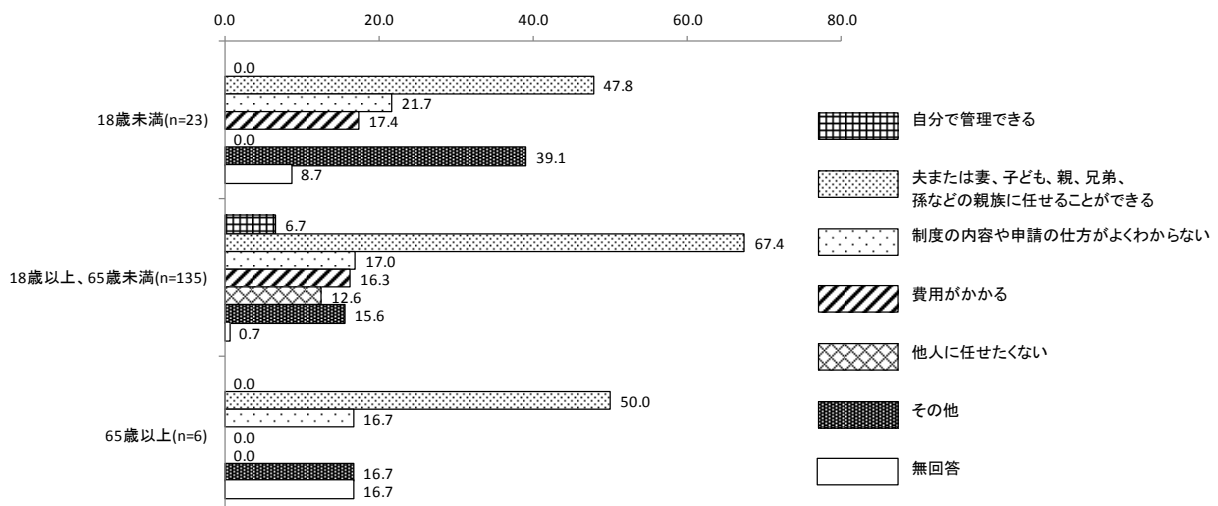
図 2-11-4-1 成年後見制度を利用しない理由 (知的障害者の場合) [%]



年齢別に見ても＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親族に任せることができる」が67.4%と50.0%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-11-4-2 成年後見制度を利用しない理由 (知的障害者の場合) [%]



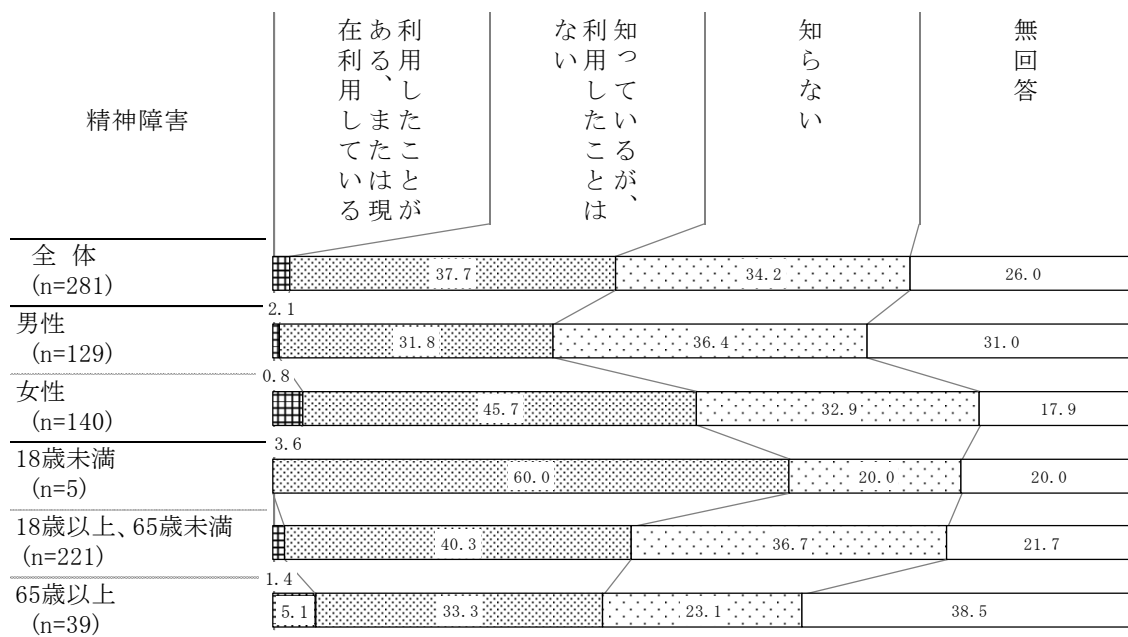
11-3 精神障害者の成年後見制度について

問 27 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に成年後見制度について知っているか尋ねたところ、＜全体＞では「知っているが、利用したことはない」が37.7%で最も多く、「知らない」が34.2%でこれに次いだ。性別では＜男性＞で「知らない」が36.4%で、＜女性＞では「知っているが、利用したことはない」が45.7%で最も多かった。年齢別では＜65歳以上＞で「利用したことがある、または現在利用している」が5.1%となり比較的多い。

問 27 成年後見制度の認知度 (SA)

図 2-11-5 成年後見制度の認知度 (精神障害者の場合) [%]



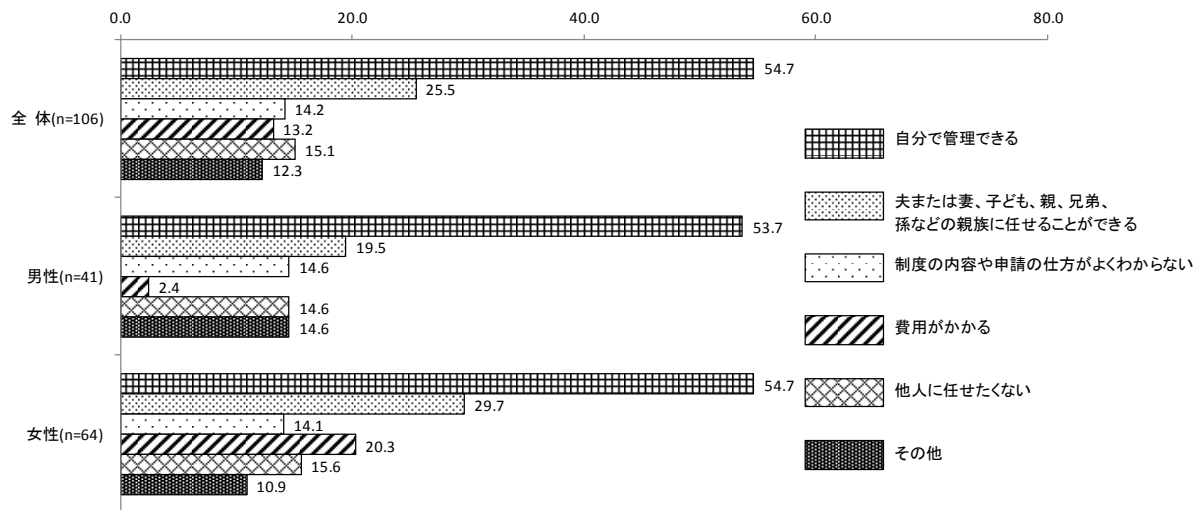
II 調査結果

問 27-1 「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度を知っているが利用しない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「自分で管理できる」が54.7%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「自分で管理できる」が53.7%と54.7%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【全体・性別】

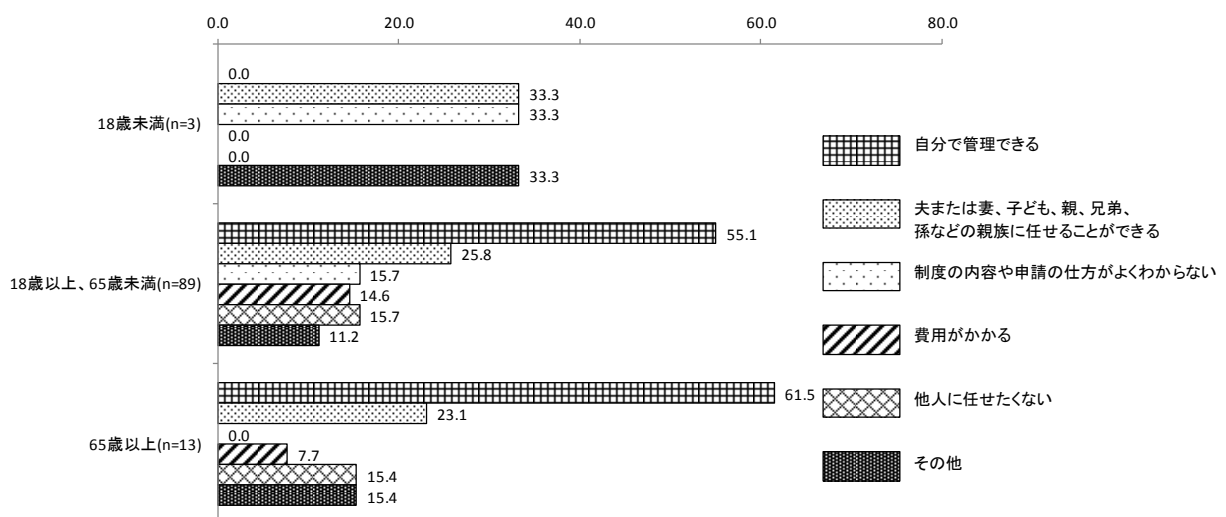
図 2-11-6-1 成年後見制度を利用しない理由 (精神障害者の場合) [%]



年齢別に見ても＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞では「自分で管理できる」が55.1%と61.5%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-11-6-2 成年後見制度を利用しない理由 (精神障害者の場合) [%]



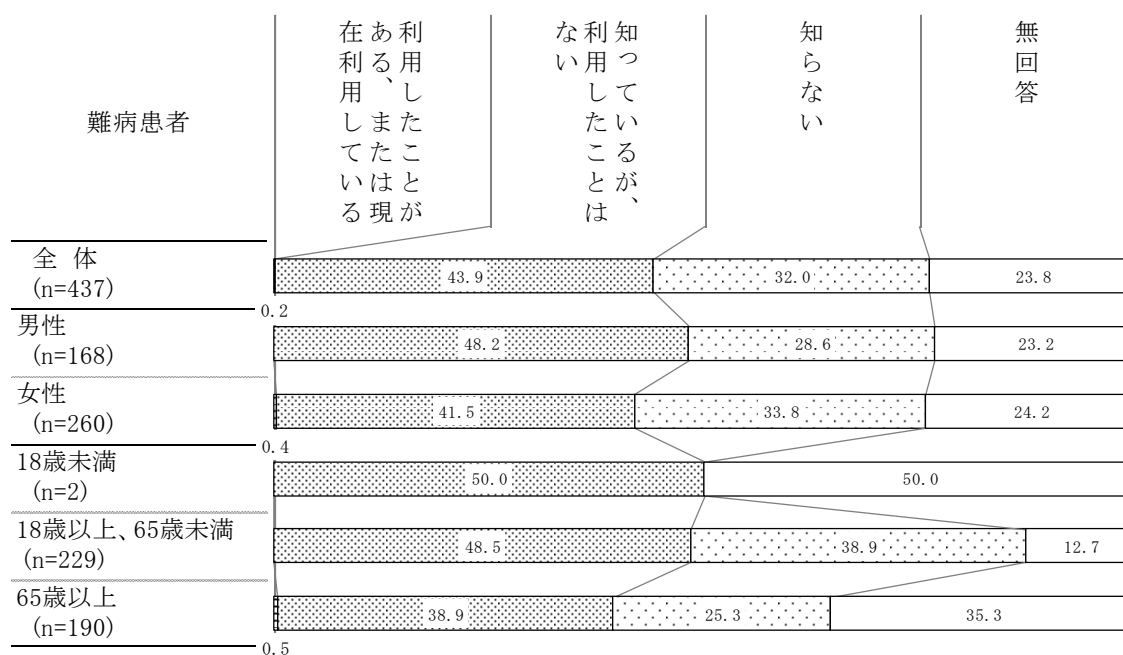
11-4 難病患者の成年後見制度について

問 27 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に成年後見制度について知っているか尋ねたところ、＜全体＞では「知っているが、利用したことはない」が43.9%で最も多く、「知らない」が32.0%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「知っているが、利用したことはない」が48.2%と41.5%で最も多かった。年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞で「知っているが、利用したことはない」が48.5%と38.9%で最も多かった。

問 27 成年後見制度の認知度 (SA)

図 2-11-7 成年後見制度の認知度 (難病患者の場合) [%]



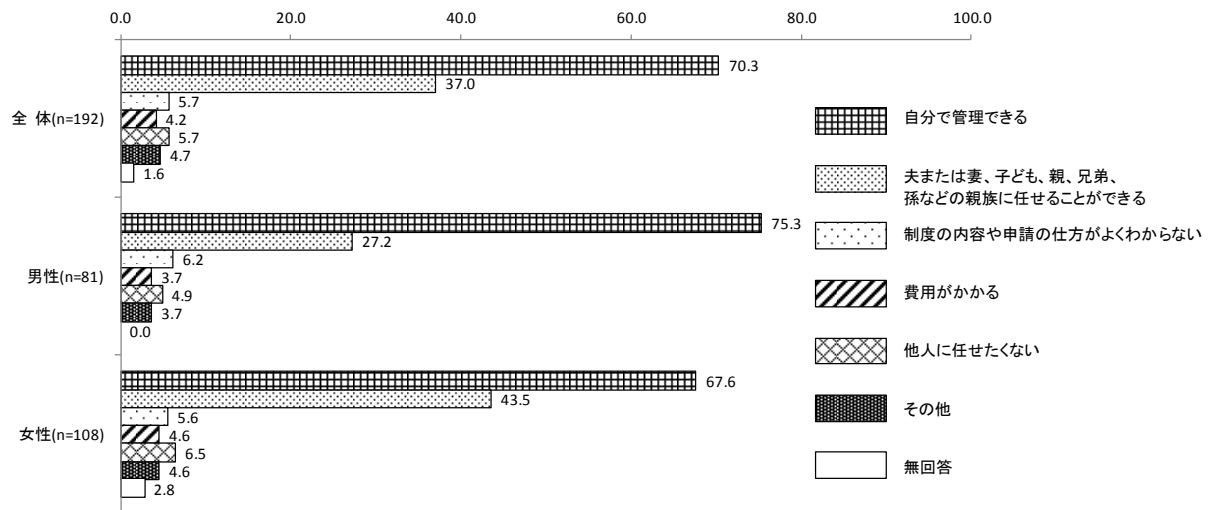
II 調査結果

問 27-1 「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度を知っているが利用しない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「自分で管理できる」が70.3%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「自分で管理できる」が75.3%と67.6%で最も多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【全体・性別】

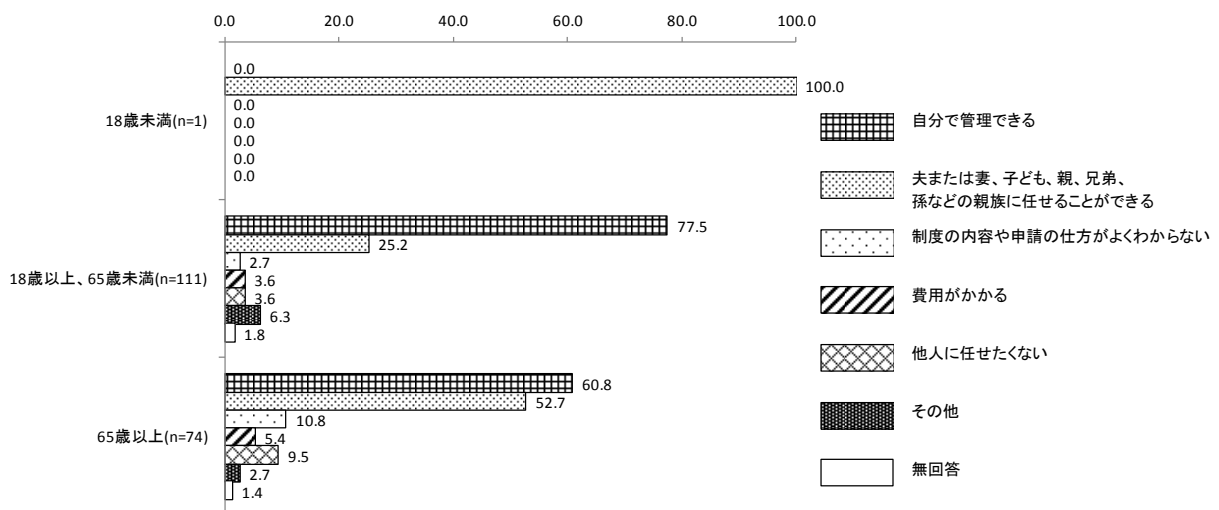
図 2-11-8-1 成年後見制度を利用しない理由 (難病患者の場合) [%]



年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「自分で管理できる」が77.5%と60.8%で多かった。

問 27-1 成年後見制度を利用しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-11-8-2 成年後見制度を利用しない理由 (難病患者の場合) [%]

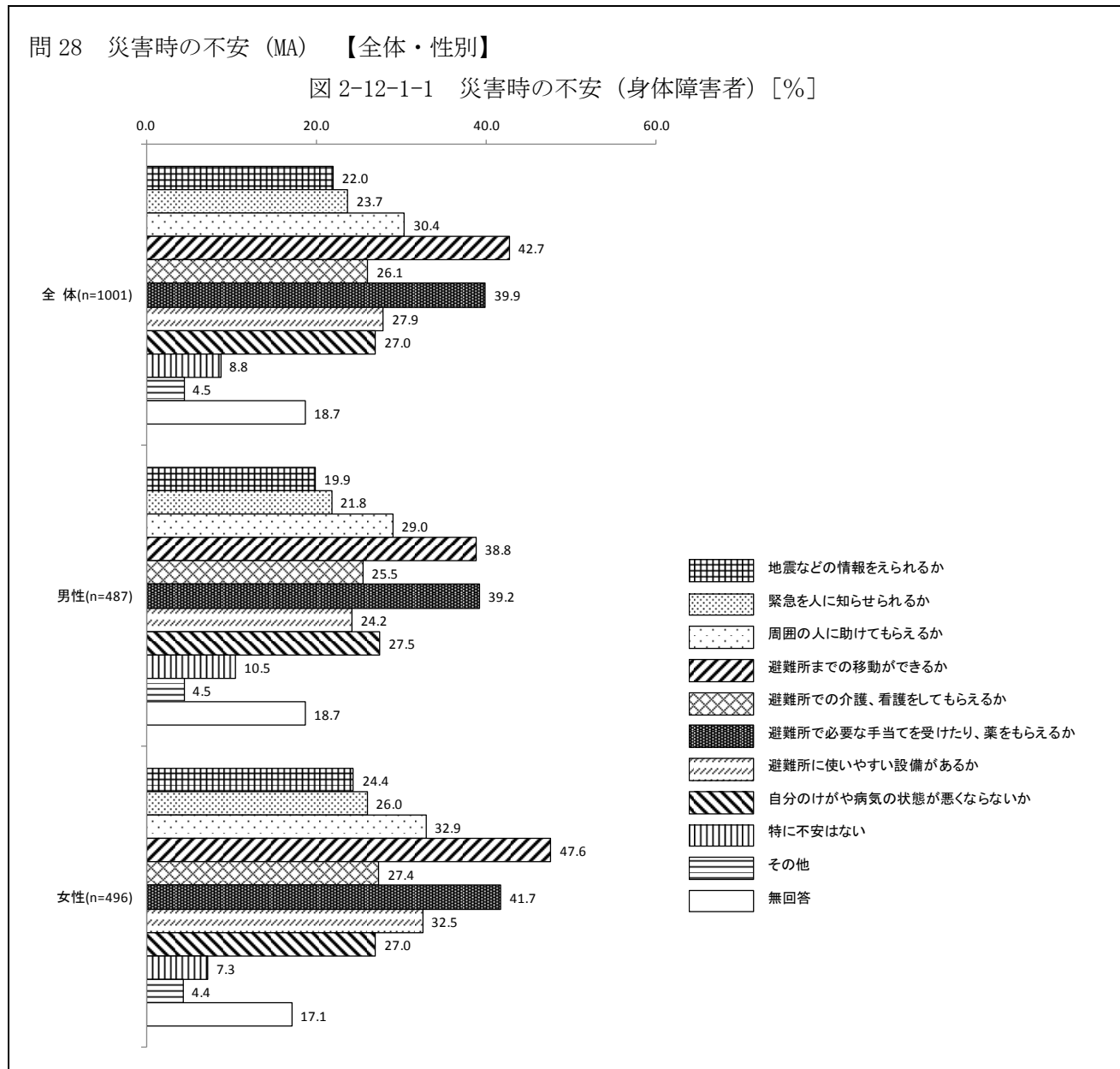


1 2. 災害対策

12-1 身体障害者の災害対策について

問 28 あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に災害時の不安について尋ねたところ、＜全体＞では「避難所までの移動ができるか」が42.7%で最も多かった。性別では＜男性＞で「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が39.2%、＜女性＞で「避難所までの移動ができるか」が47.6%で最も多かった。

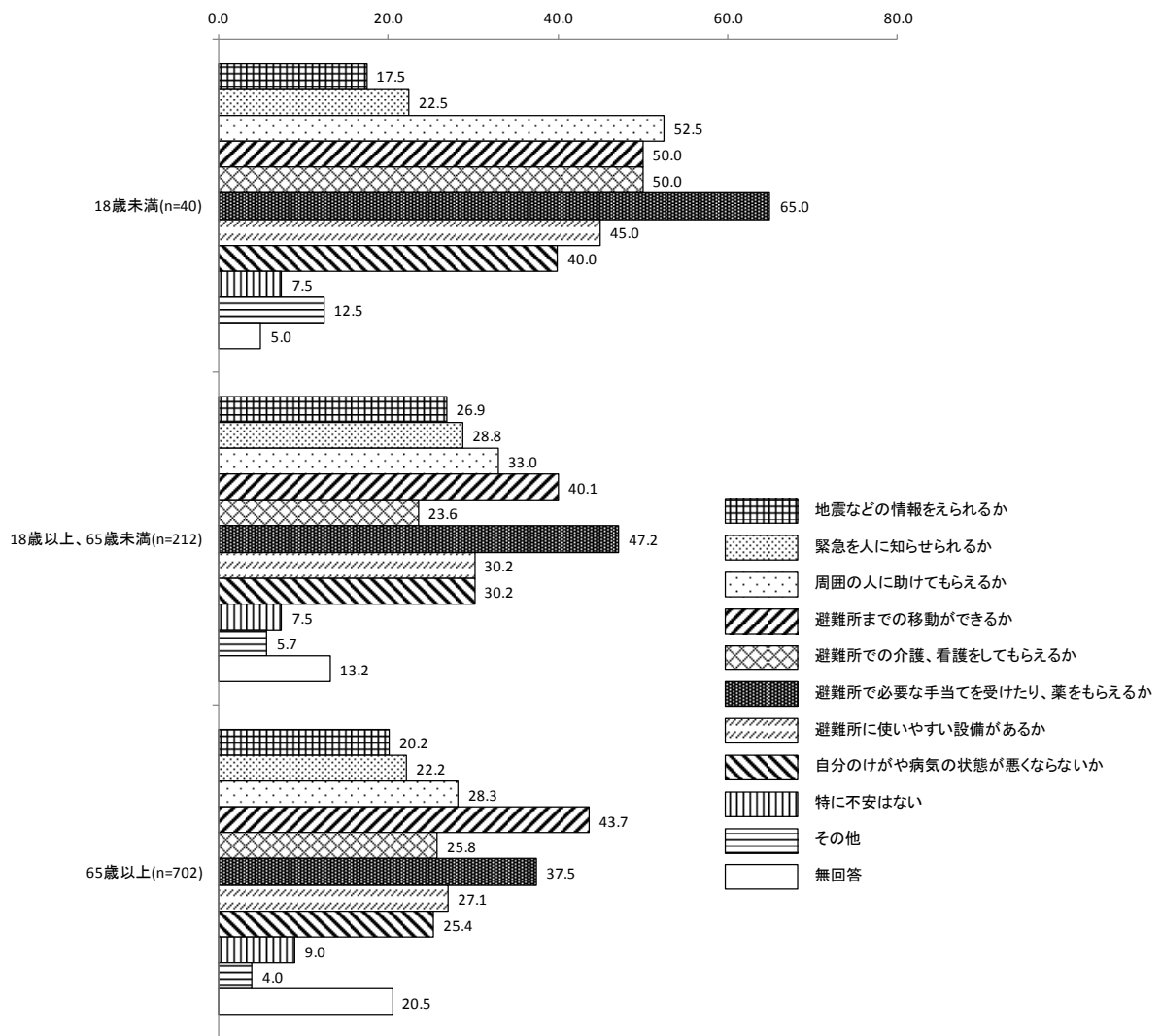


II 調査結果

年齢別では<18歳未満><18歳以上、65歳未満>で「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が65.0%と47.2%で、<65歳以上>では「避難所までの移動ができるか」が43.7%が多かった。

問 28 災害時の不安 (MA) 【年齢別】

図 2-12-1-2 災害時の不安 (身体障害者) [%]

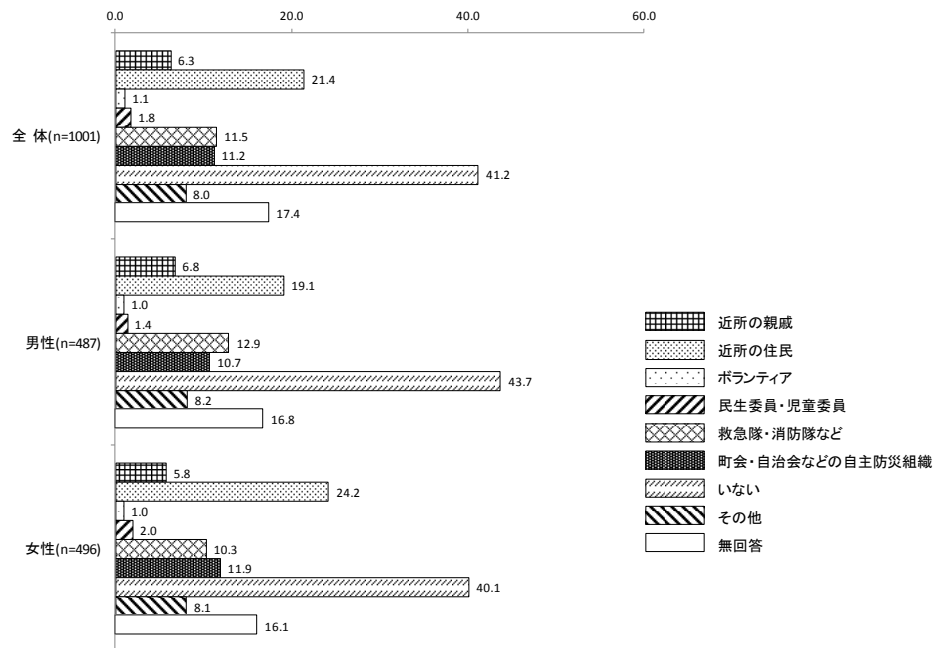


問 29 災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に家族以外で災害時に救助してくれる人について尋ねたところ、<全体>では「いない」が41.2%で最も多かった。性別では<男女>共に「いない」が43.7%と40.1%で最も多かった。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【全体・性別】

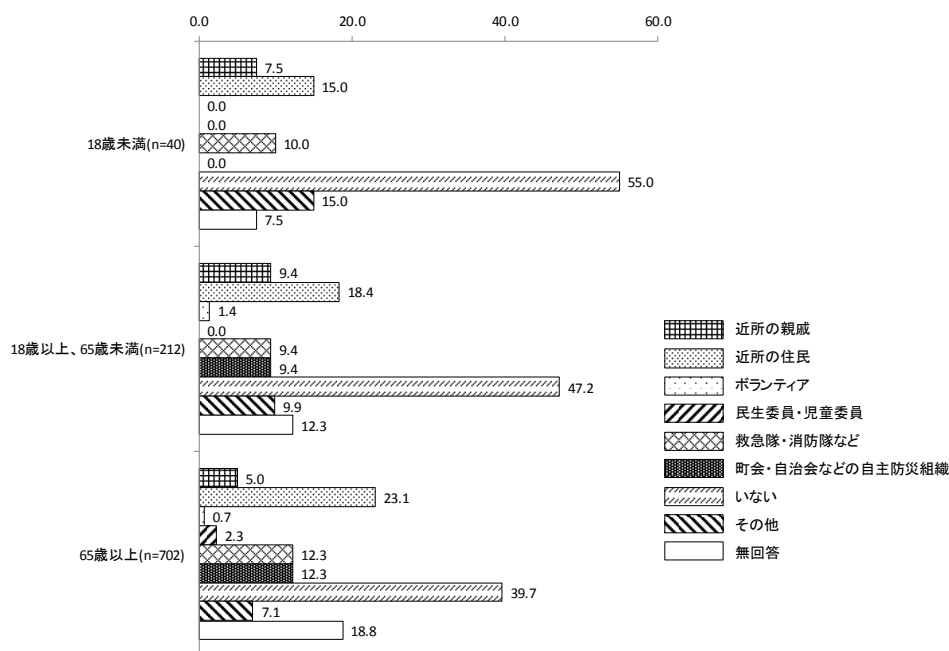
図 2-12-2-1 災害時の救助要員 (身体障害者) [%]



年齢別に見ても<18歳未満><18歳以上、65歳未満><65歳以上>共に「いない」が55.0%、47.2%と39.7%で多かった。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【年齢別】

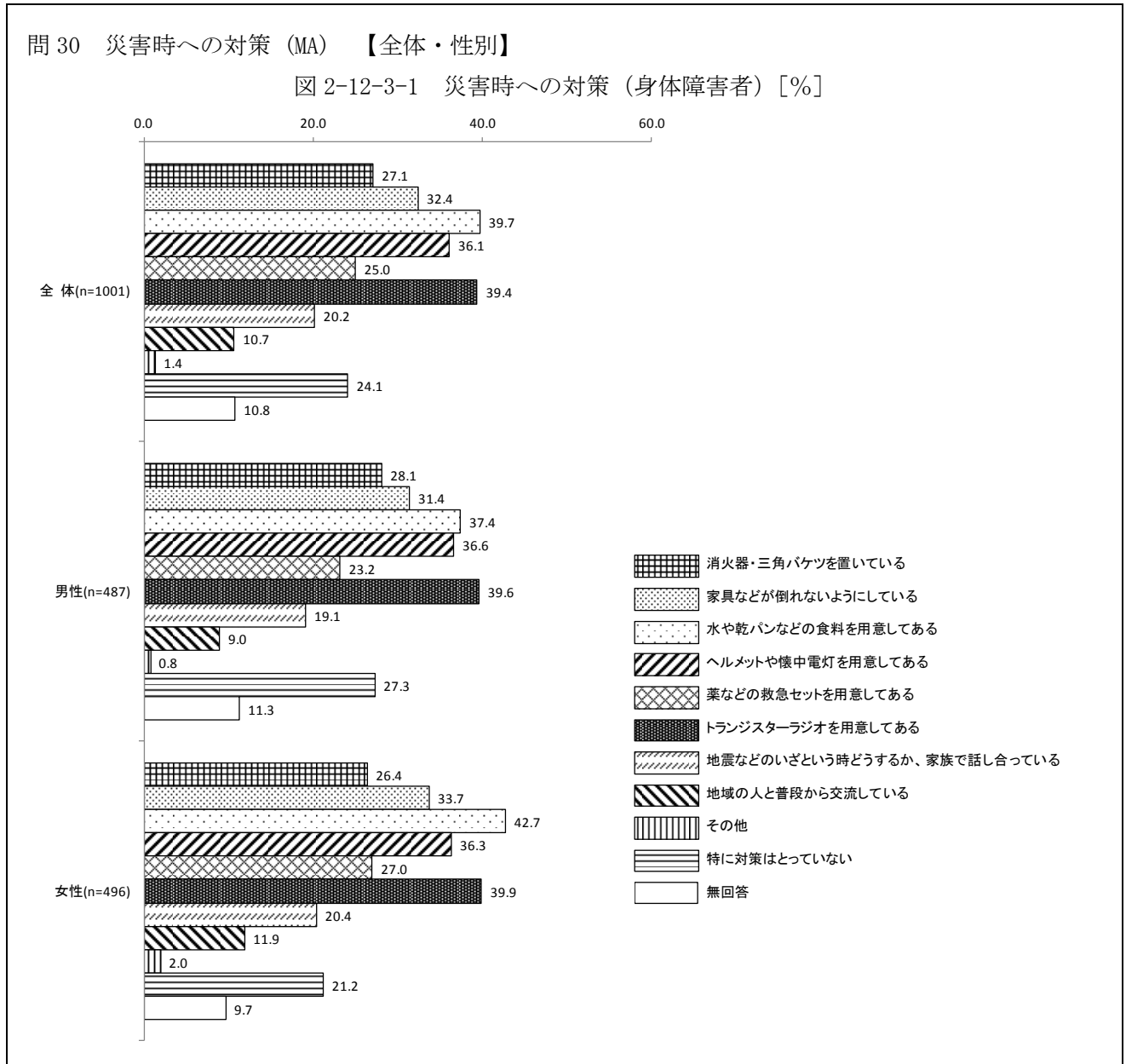
図 2-12-2-2 災害時の救助要員 (身体障害者) [%]



II 調査結果

問 30 あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

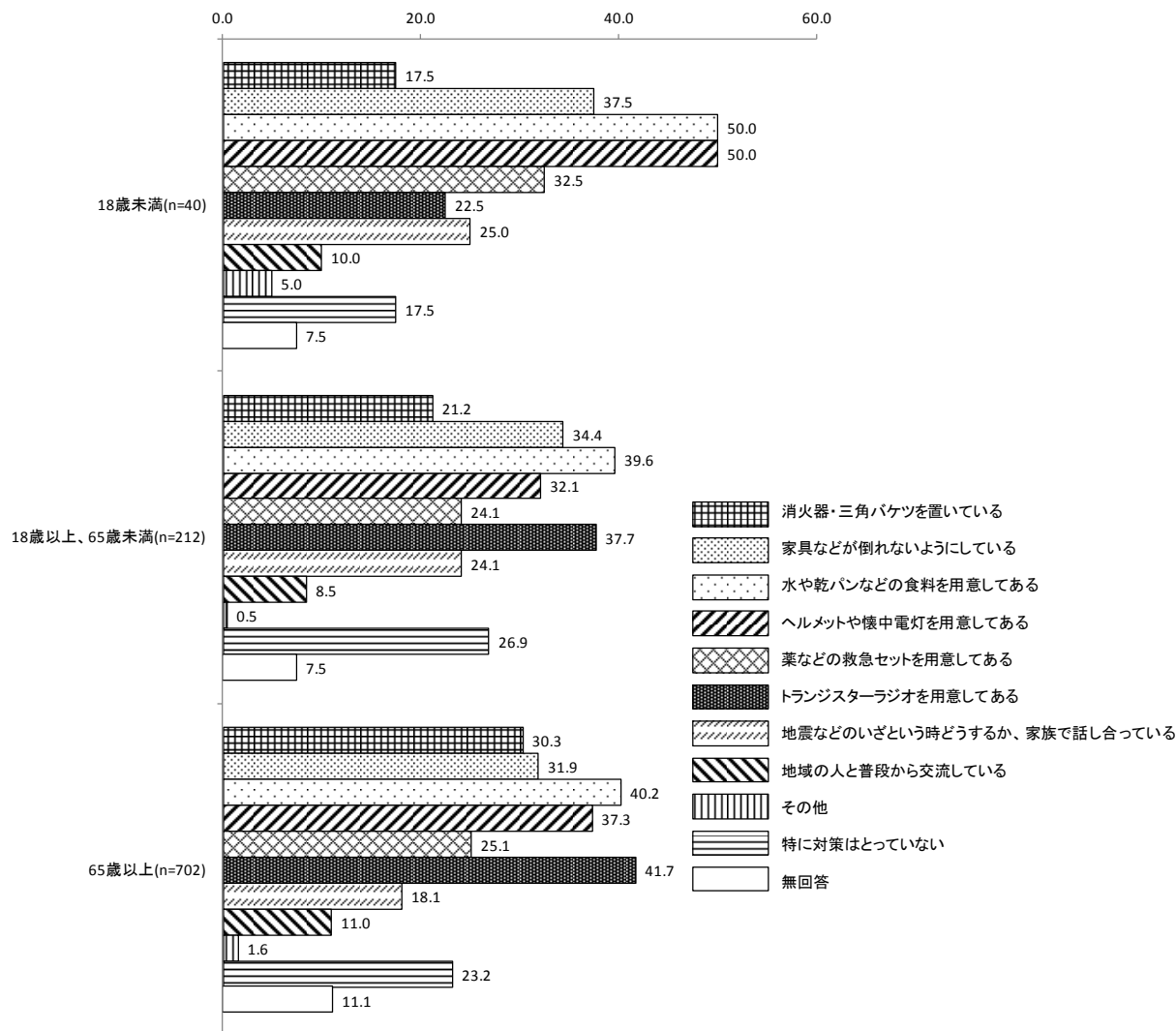
対象者に災害に備えた対策について尋ねたところ、対策をとっている回答をみると、<全体>では「水や乾パンなどの食料を用意してある」が39.7%で最も多かった。性別では<男性>では「トランジスタラジオを用意してある」が39.6%で、<女性>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」が42.7%で最も多かった。



年齢別では<18歳未満>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」と「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が50.0%、<18歳以上、65歳未満>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」が39.6%、<65歳以上>で「トランジスターラジオを用意してある」が41.7%で最も多かった。

問30 災害時への対策 (MA) 【年齢別】

図 2-12-3-2 災害時への対策 (身体障害者) [%]

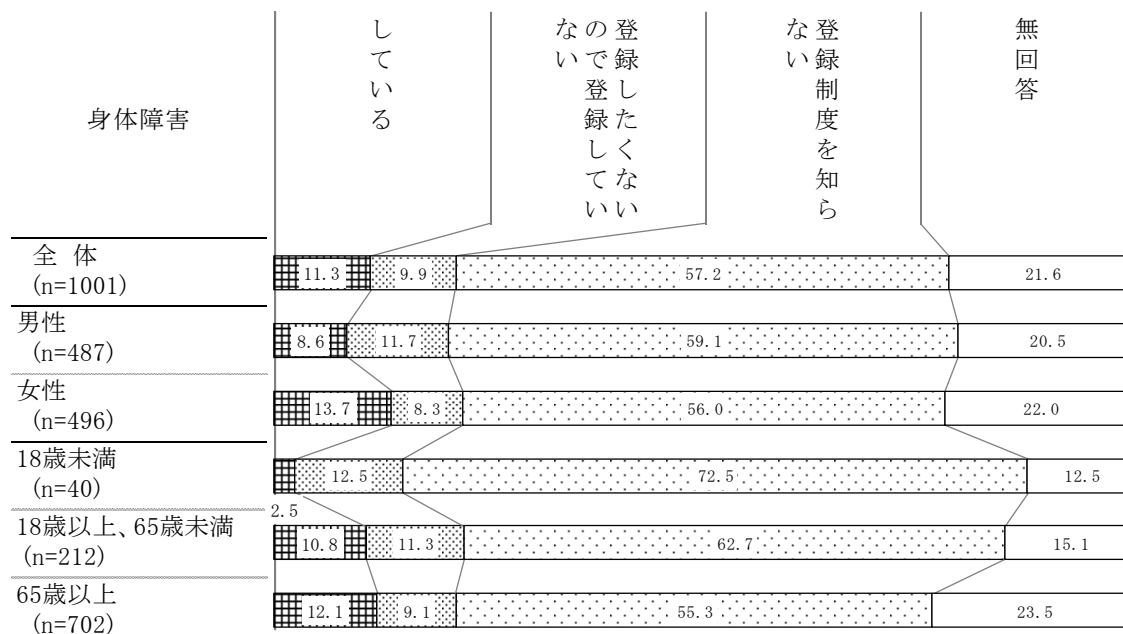


問 31 災害時要援護者の登録をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に災害時要援護者の登録をしているか尋ねたところ、＜全体＞では「登録制度を知らない」が57.2%で最も多く、「している」が11.3%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「登録制度を知らない」が59.1%と56.0%で最も多かった。年齢別でも＜18歳未満＞＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「登録制度を知らない」が72.5%、62.7%と55.3%と半数以上を占め最も多かった。

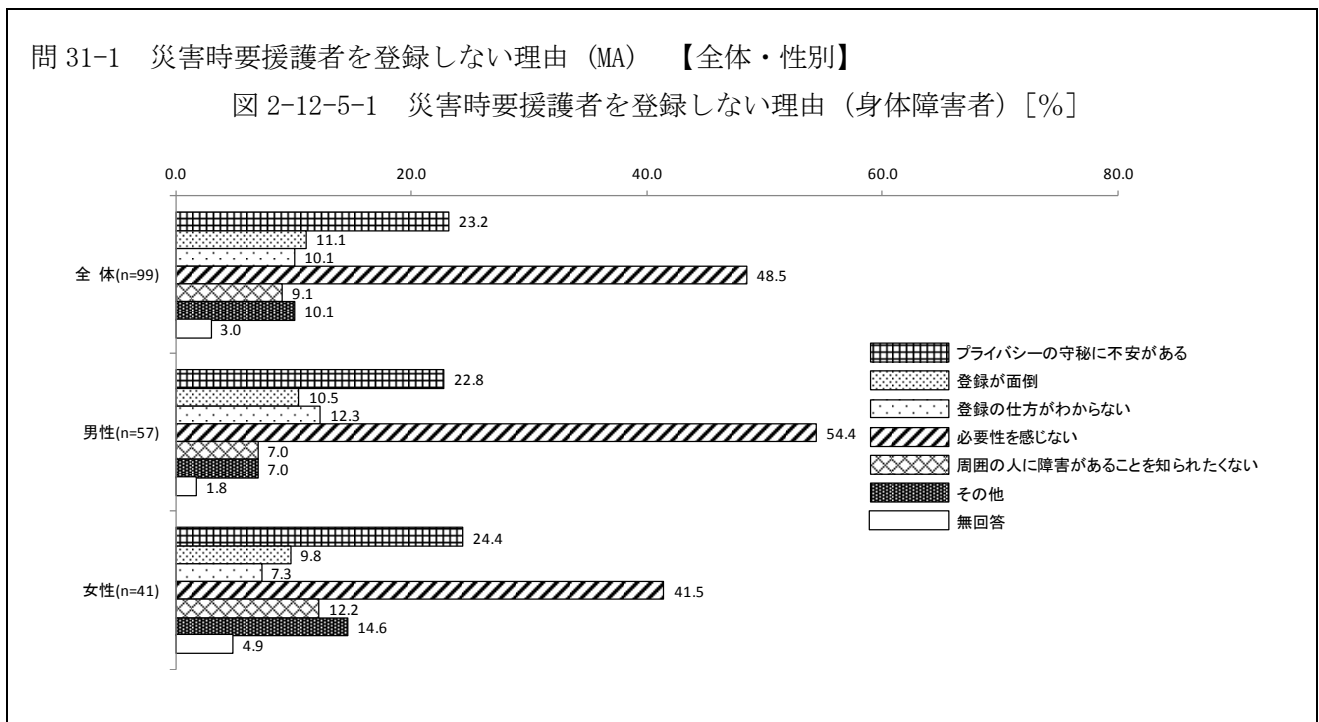
問 31 災害時要援護者の登録 (SA)

図 2-12-4 災害時要援護者の登録 (身体障害者) [%]

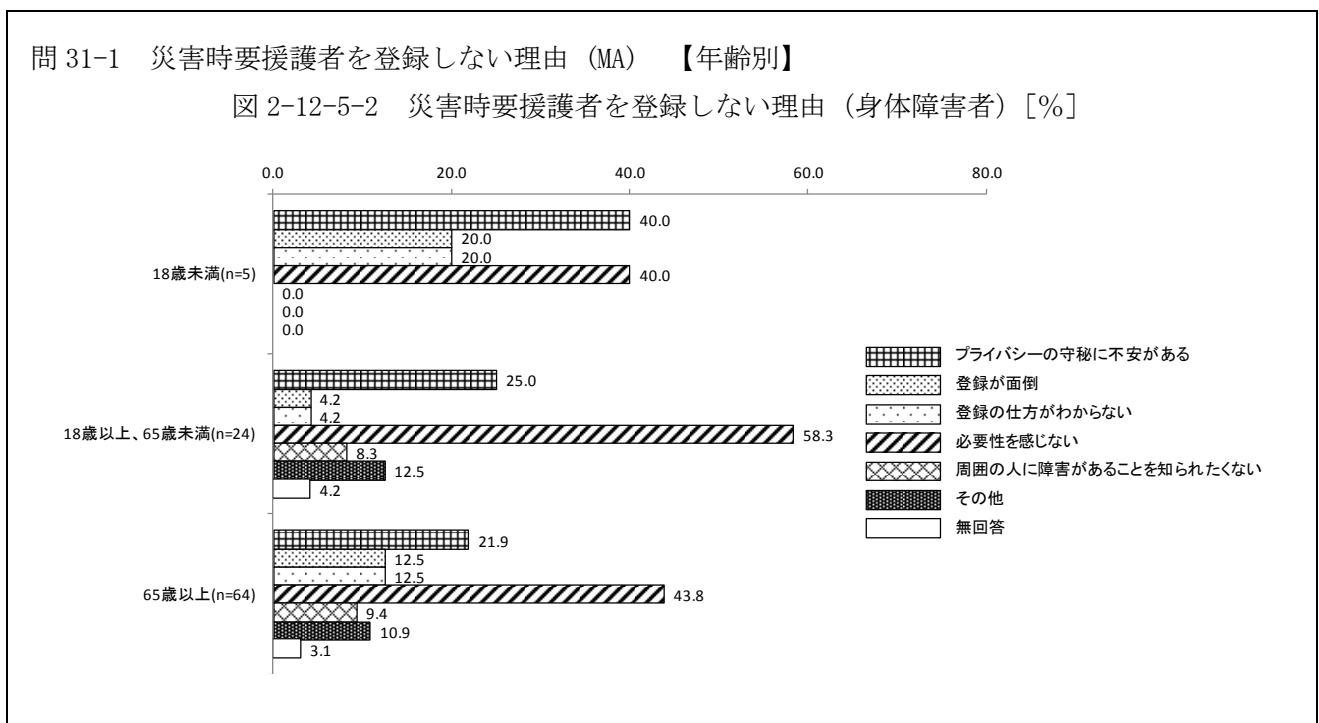


問 31-1 未登録の理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

災害時要援護者の登録をしたくない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「必要性を感じない」が48.5%で最も多く、「プライバシーの守秘に不安がある」が23.2%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「必要性を感じない」が54.4%と41.5%で最も多く、「プライバシーの守秘に不安がある」が22.8%と24.4%でこれに次いだ。



年齢別でも「必要性を感じない」がすべての年代で最も多く、「プライバシーの守秘に不安がある」がこれに次いだ。

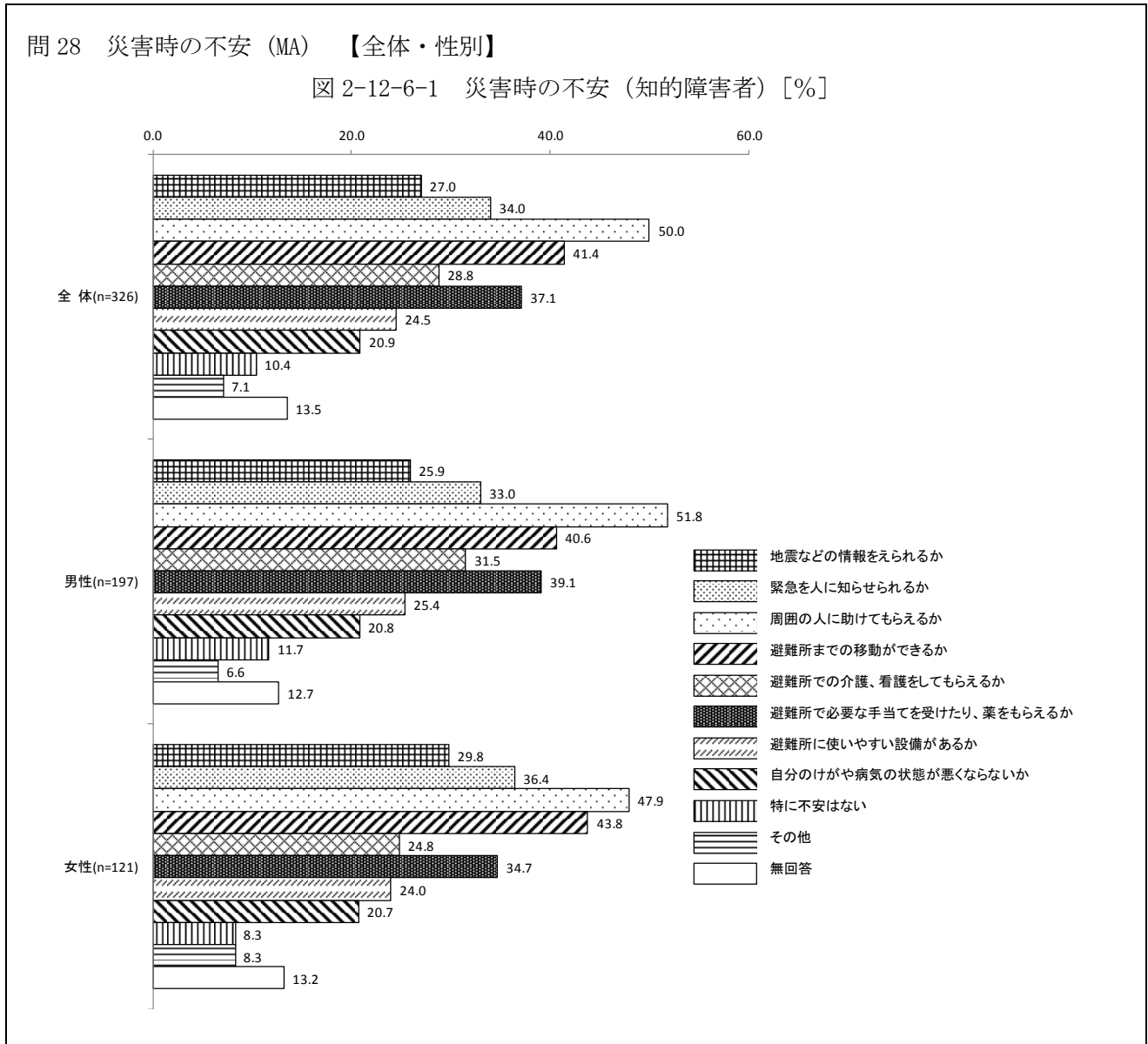


II 調査結果

12-2 知的障害者の災害対策について

問 28 あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

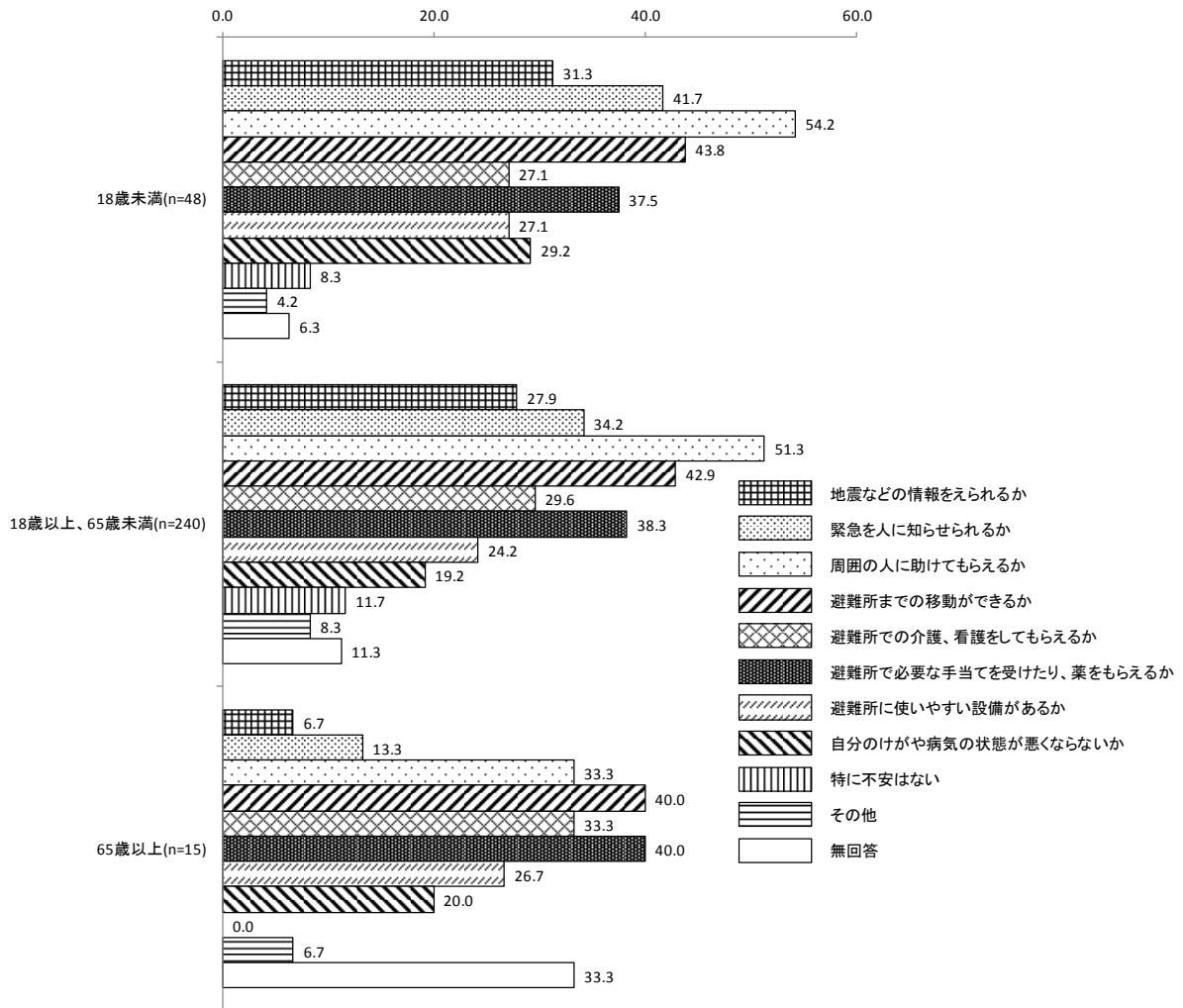
対象者に災害時の不安について尋ねたところ、＜全体＞では「周囲の人に助けられるか」が50.0%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「周囲の人に助けられるか」が51.8%と47.9%で最も多かった。



年齢別では<18歳未満><18歳以上、65歳未満>で「周囲の人に助けられるか」が54.2%と51.3%で、<65歳以上>では「避難所までの移動ができるか」と「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が40.0%で最も多かった。

問 28 災害時の不安 (MA) 【年齢別】

図 2-12-6-2 災害時の不安 (知的障害者) [%]



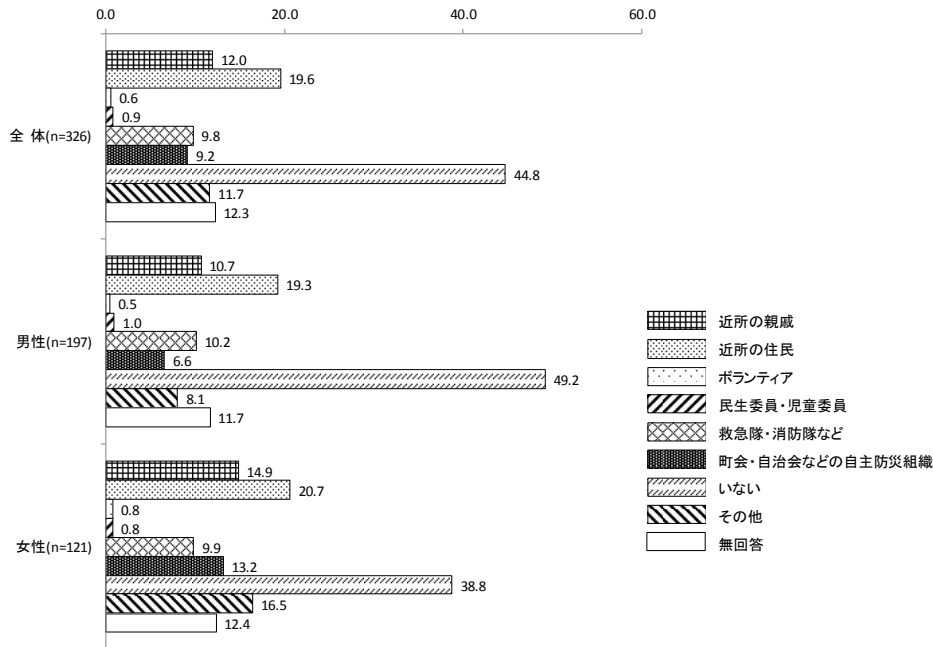
II 調査結果

問 29 災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に家族以外で災害時に救助してくれる人について尋ねたところ、<全体>では「いない」が44.8%で最も多く、「近所の住民」が19.6%でこれに次いだ。性別では<男女>共に「いない」が49.2%と38.8%で最も多く、「近所の住民」が19.3%と20.7%でこれに次いだ。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【全体・性別】

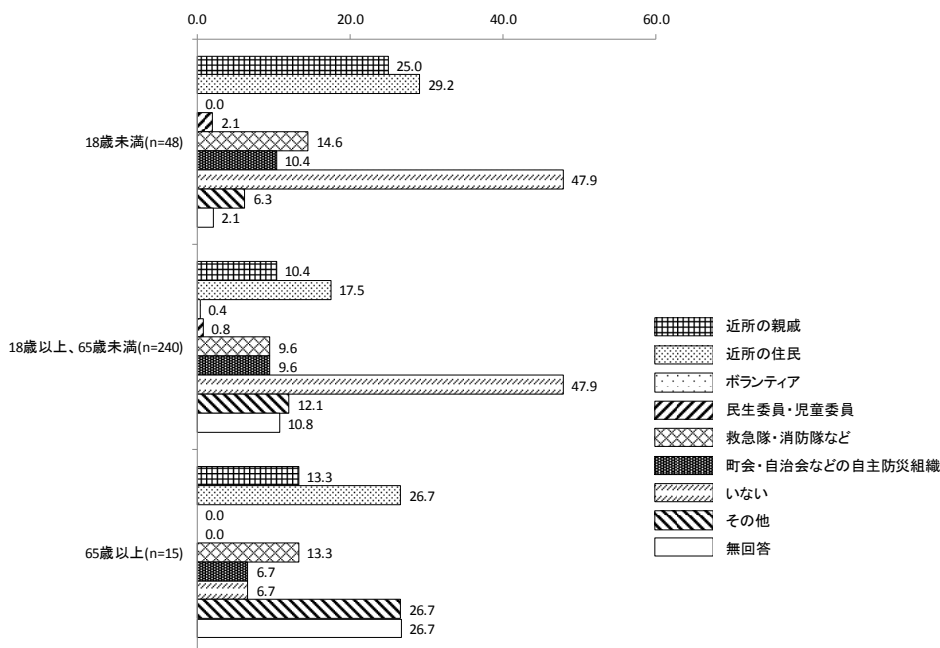
図 2-12-7-1 災害時の救助要員 (知的障害者) [%]



年齢別では<18歳未満><18歳以上、65歳未満>共に「いない」が47.9%、<65歳以上>では「近所の住民」が26.7%で最も多かった。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【年齢別】

図 2-12-7-2 災害時の救助要員 (知的障害者) [%]

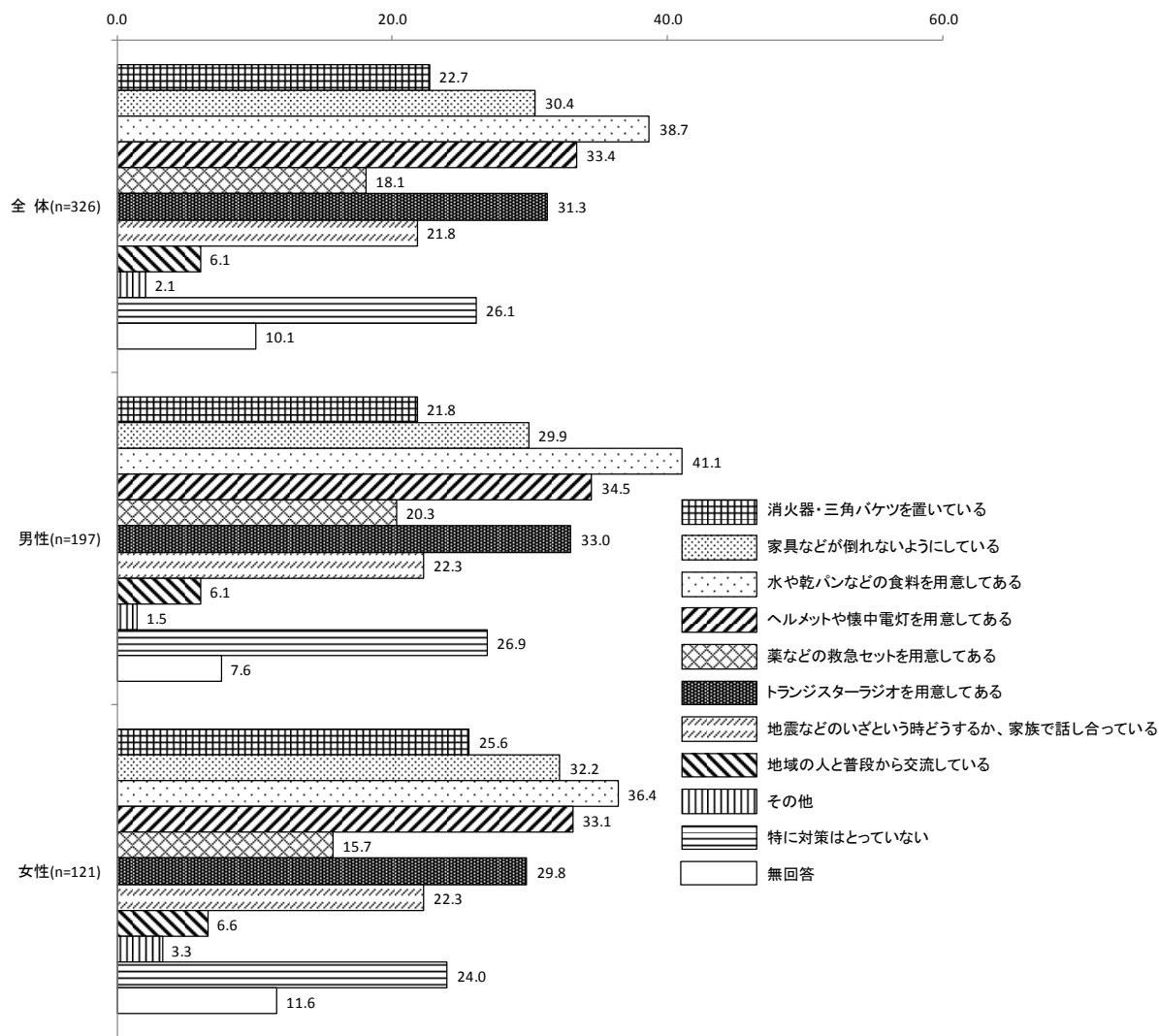


問30 あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に災害に備えた対策について尋ねたところ、対策をとっている回答をみると、<全体>では「水や乾パンなどの食料を用意してある」が38.7%で最も多かった。性別では<男女>共に「水や乾パンなどの食料を用意してある」が41.1%と36.4%で最も多かった。

問30 災害時への対策 (MA) 【全体・性別】

図 2-12-8-1 災害時への対策 (知的障害者) [%]

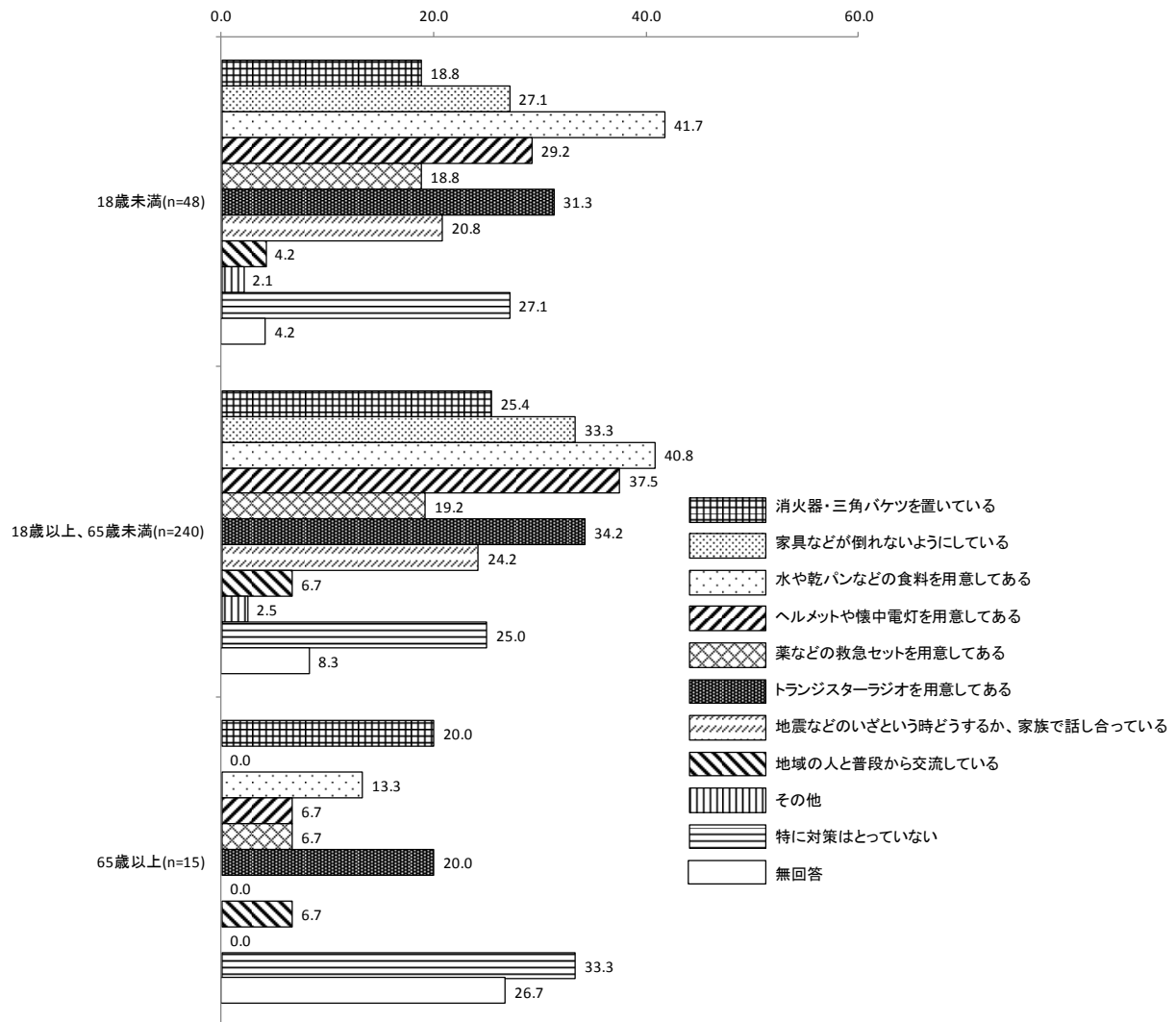


II 調査結果

年齢別では<18歳未満>と<18歳以上、65歳未満>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」が41.7%と40.8%、<65歳以上>で「消火器・三角バケツを置いている」と「トランジスターラジオを用意してある」が20.0%が多かった。

問 30 災害時への対策 (MA) 【年齢別】

図 2-12-8-2 災害時への対策 (知的障害者) [%]

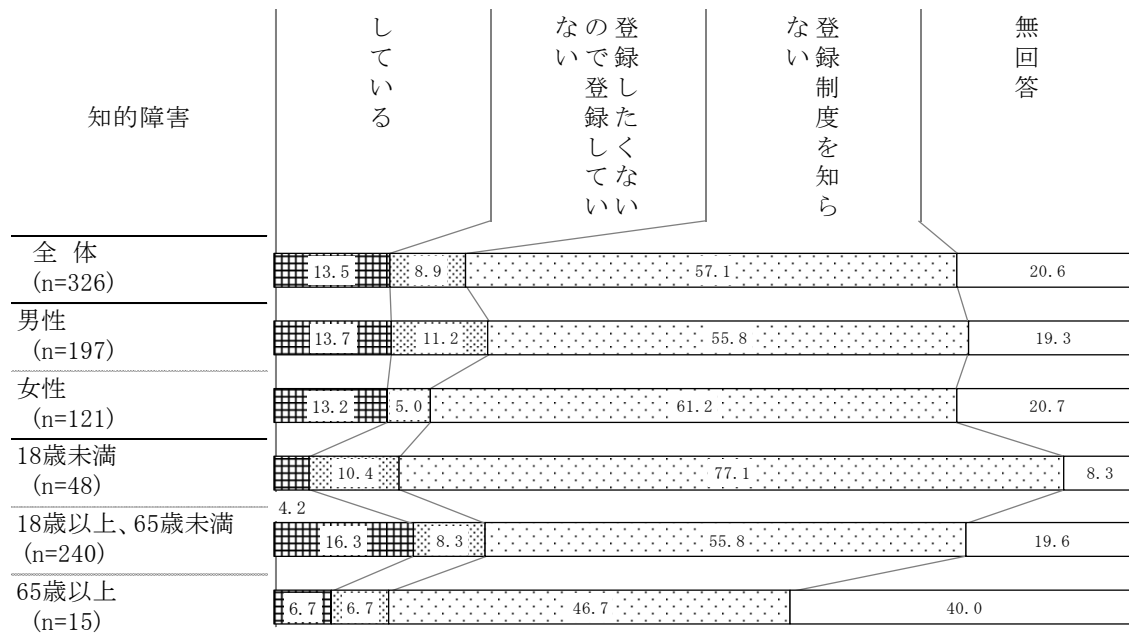


問 31 災害時要援護者の登録をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に災害時要援護者の登録をしているか尋ねたところ、＜全体＞では「登録制度を知らない」が57.1%で最も多く、「している」が13.5%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「登録制度を知らない」が55.8%と61.2%で最も多かった。年齢別では＜18歳未満＞＜18歳以上、65歳未満＞＜65歳以上＞で「登録制度を知らない」が77.1%、55.8%と46.7%で最も多かった。

問 31 災害時要援護者の登録 (SA)

図 2-12-9 災害時要援護者の登録 (知的障害者) [%]



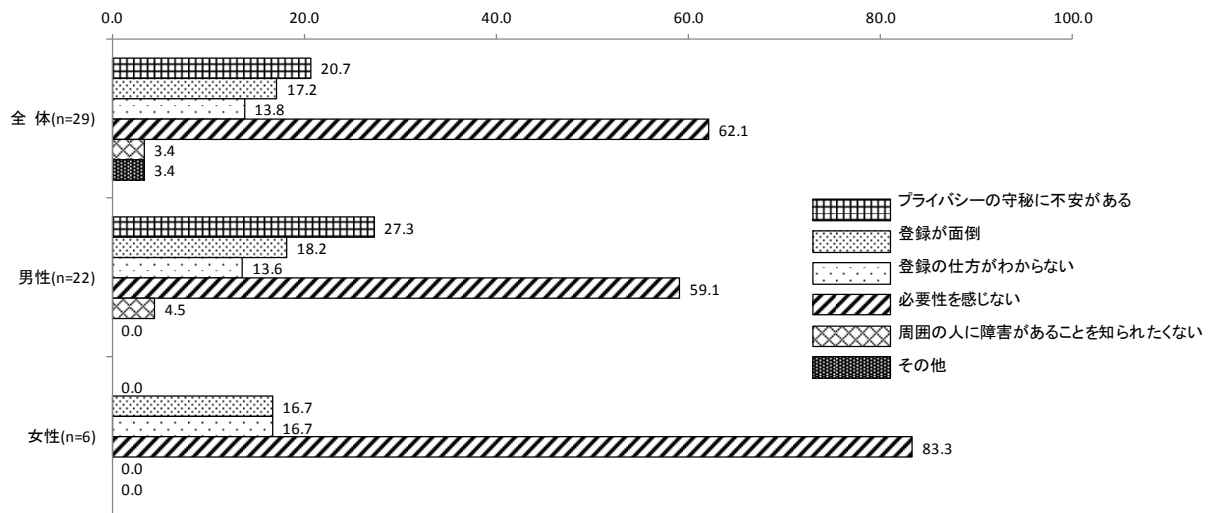
II 調査結果

問 31-1 未登録の理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

災害時要援護者の登録をしたくない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「必要性を感じない」が62.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「必要性を感じない」が59.1%と83.3%で最も多かった。

問 31-1 災害時要援護者を登録しない理由 (MA) 【全体・性別】

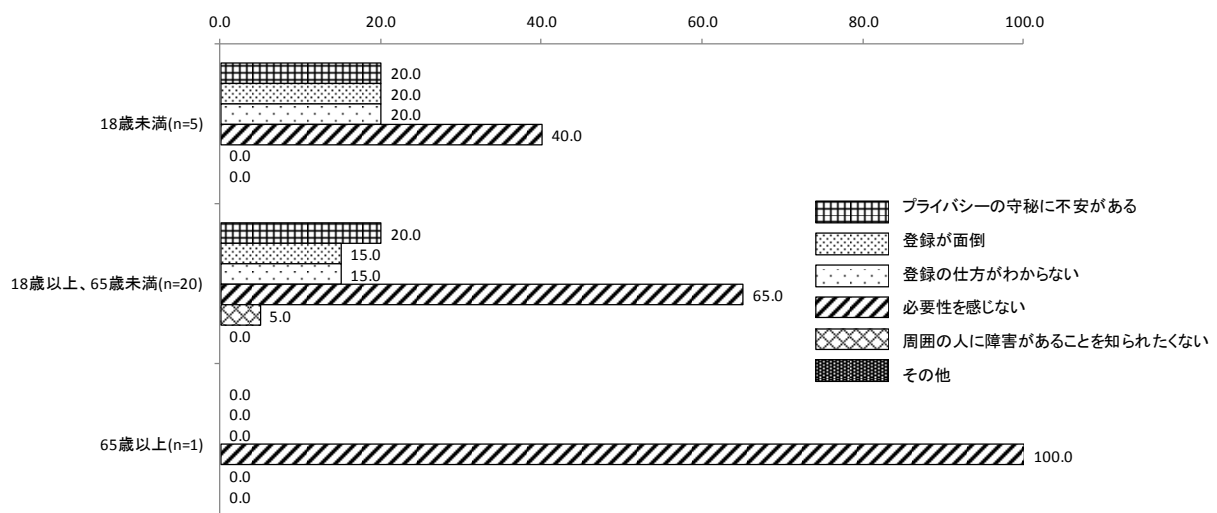
図 2-12-10-1 災害時要援護者を登録しない理由 (知的障害者) [%]



年齢別では＜18歳未満＞＜18歳以上、65歳未満＞で「必要性を感じない」が40.0%と65.0%で最も多かった。

問 31-1 災害時要援護者を登録しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-12-10-2 災害時要援護者を登録しない理由 (知的障害者) [%]



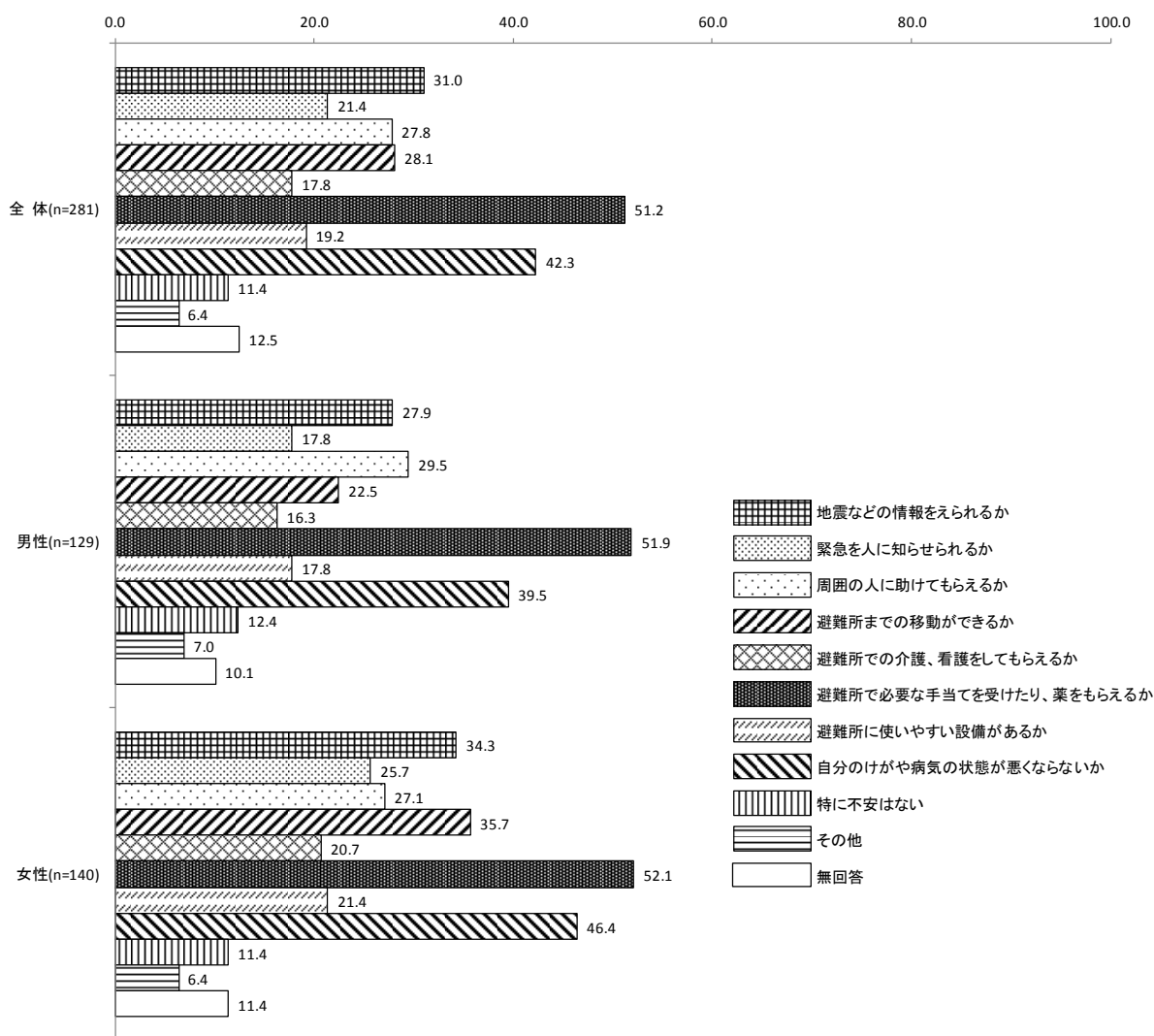
12-3 精神障害者の災害対策について

問 28 あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか。(あてはまる番号すべて)

対象者に災害時の不安について尋ねたところ、<全体>では「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が 51.2%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が 42.3%でこれに次いだ。性別では<男女>共に「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が 51.9%と 52.1%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が 39.5%と 46.4%でこれに次いだ。

問 28 災害時の不安 (MA) 【全体・性別】

図 2-12-11-1 災害時の不安 (精神障害者) [%]

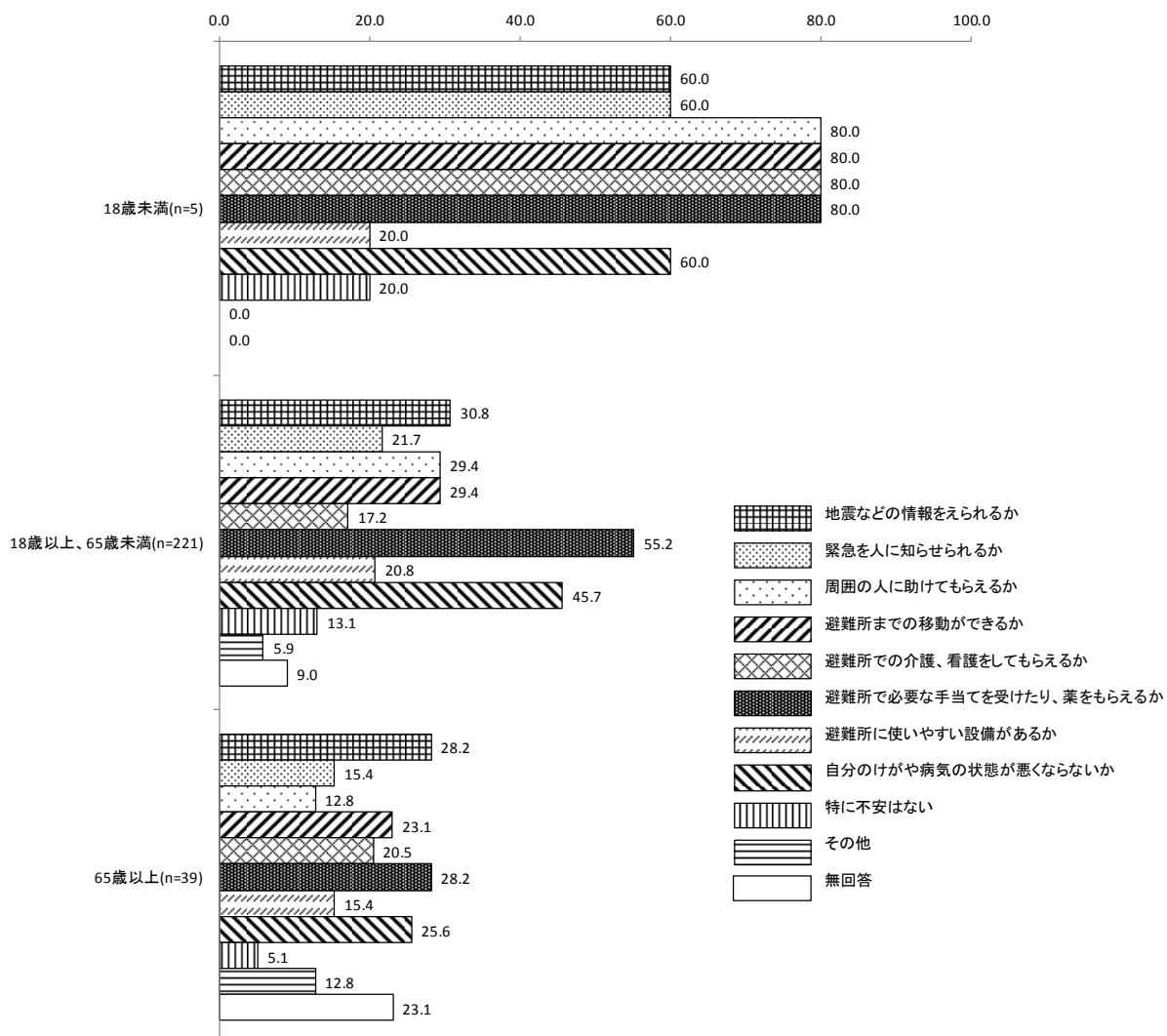


II 調査結果

年齢別でも<18歳以上、65歳未満>で「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が55.2%、<65歳以上>で「地震などの情報をえられるか」と「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が28.2%で最も多かった。

問 28 災害時の不安 (MA) 【年齢別】

図 2-12-11-2 災害時の不安 (精神障害者) [%]

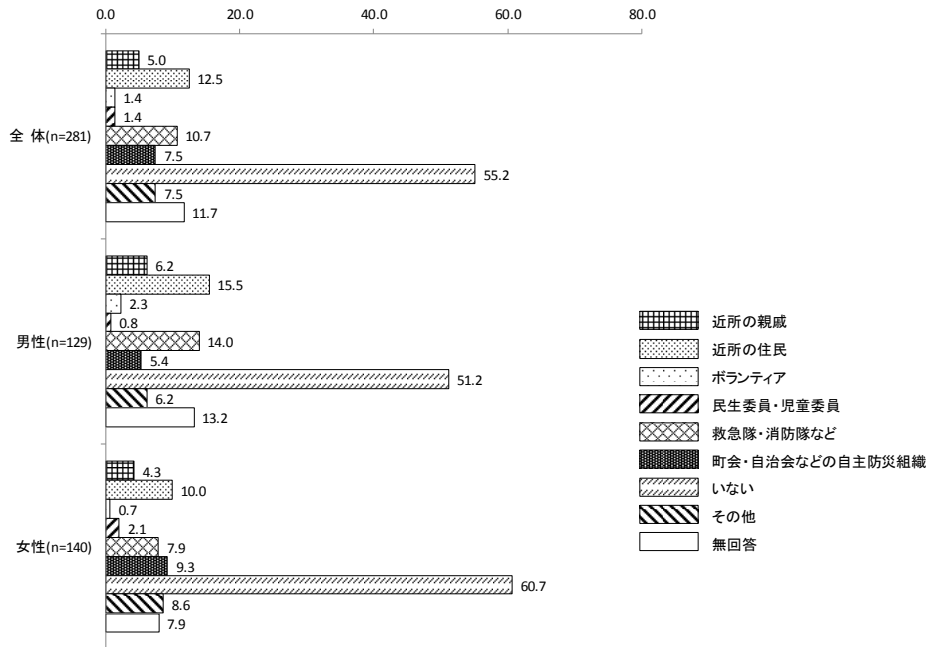


問 29 災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に家族以外で災害時に救助してくれる人について尋ねたところ、<全体>では「いない」が 55.2%で最も多く、「近所の住民」が 12.5%でこれに次いだ。性別では<男女>共に「いない」が 51.2%と 60.7%で最も多く、「近所の住民」が 15.5%と 10.0%でこれに次いだ。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【全体・性別】

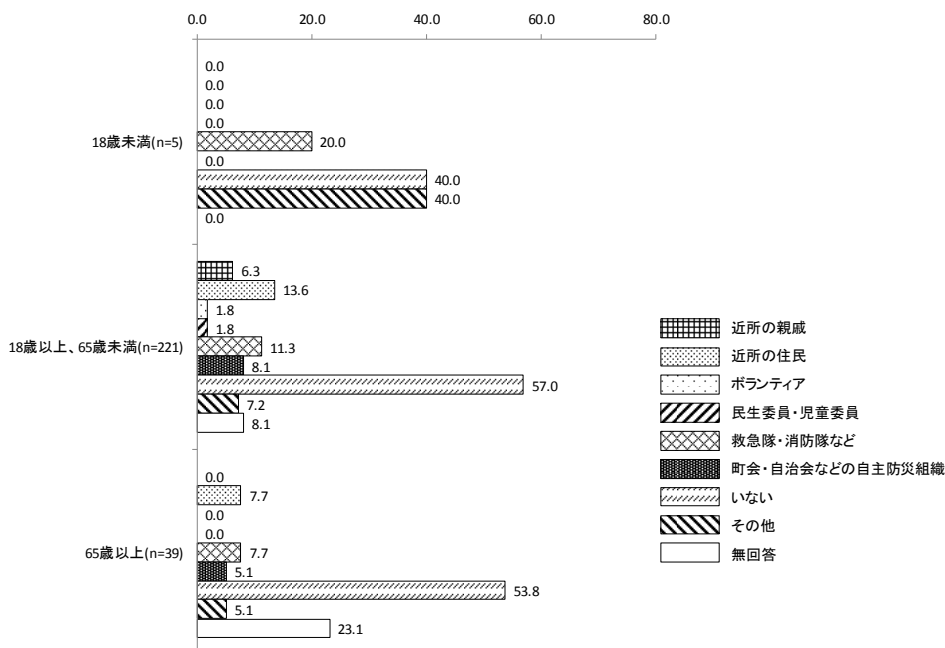
図 2-12-12-1 災害時の救助要員 (精神障害者) [%]



年齢別でも<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「いない」が 57.0%と 53.8%で最も多かった。<18歳以上、65歳未満>で「近所の親戚」が 6.3%と比較的多かった。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【年齢別】

図 2-12-12-2 災害時の救助要員 (精神障害者) [%]



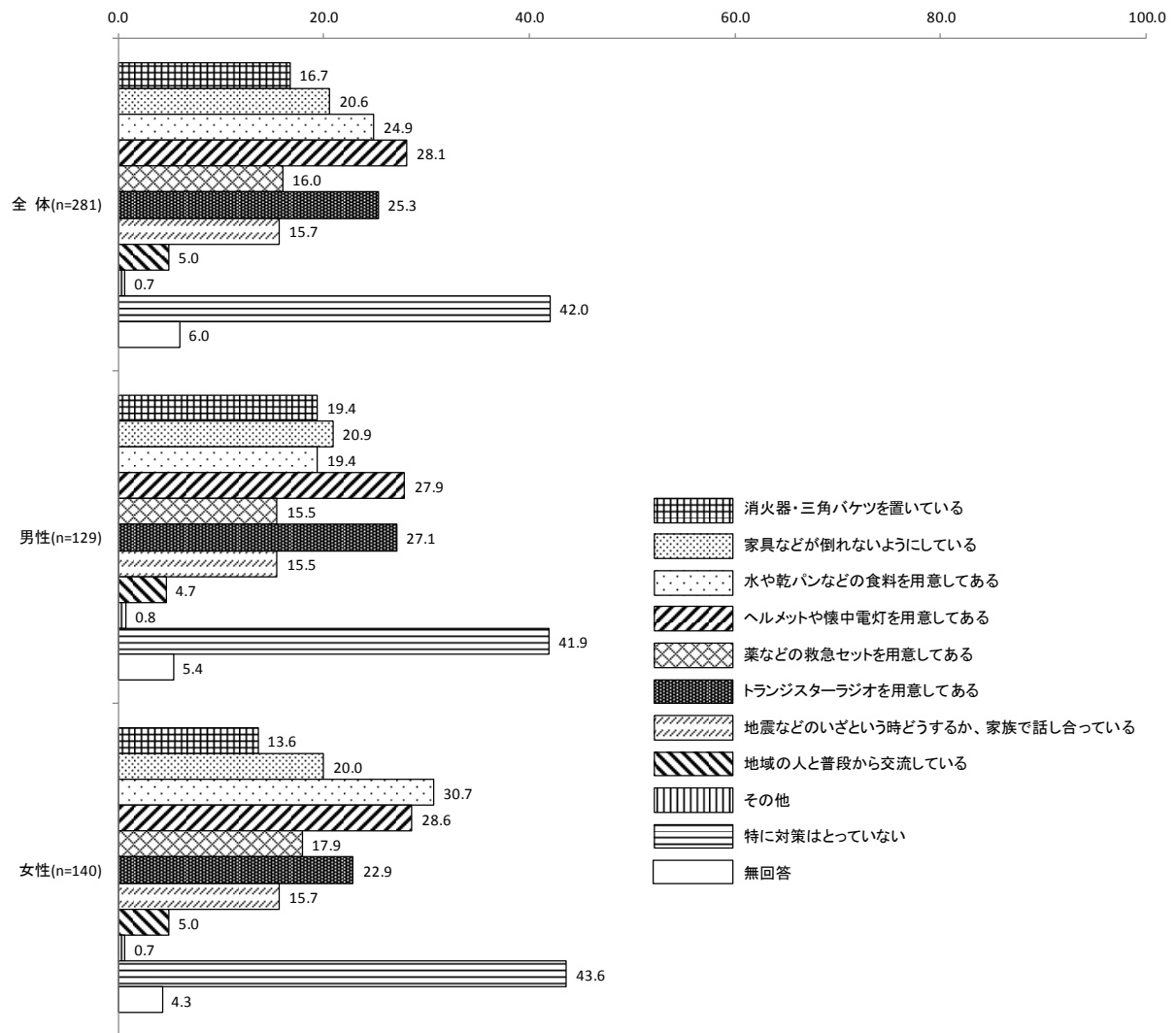
II 調査結果

問 30 あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に災害に備えた対策について尋ねたところ、<全体>では「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が28.1%で最も多かった。性別では<男性>で「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が27.9%で、<女性>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」が30.7%で最も多かった。

問 30 災害時への対策 (MA) 【全体・性別】

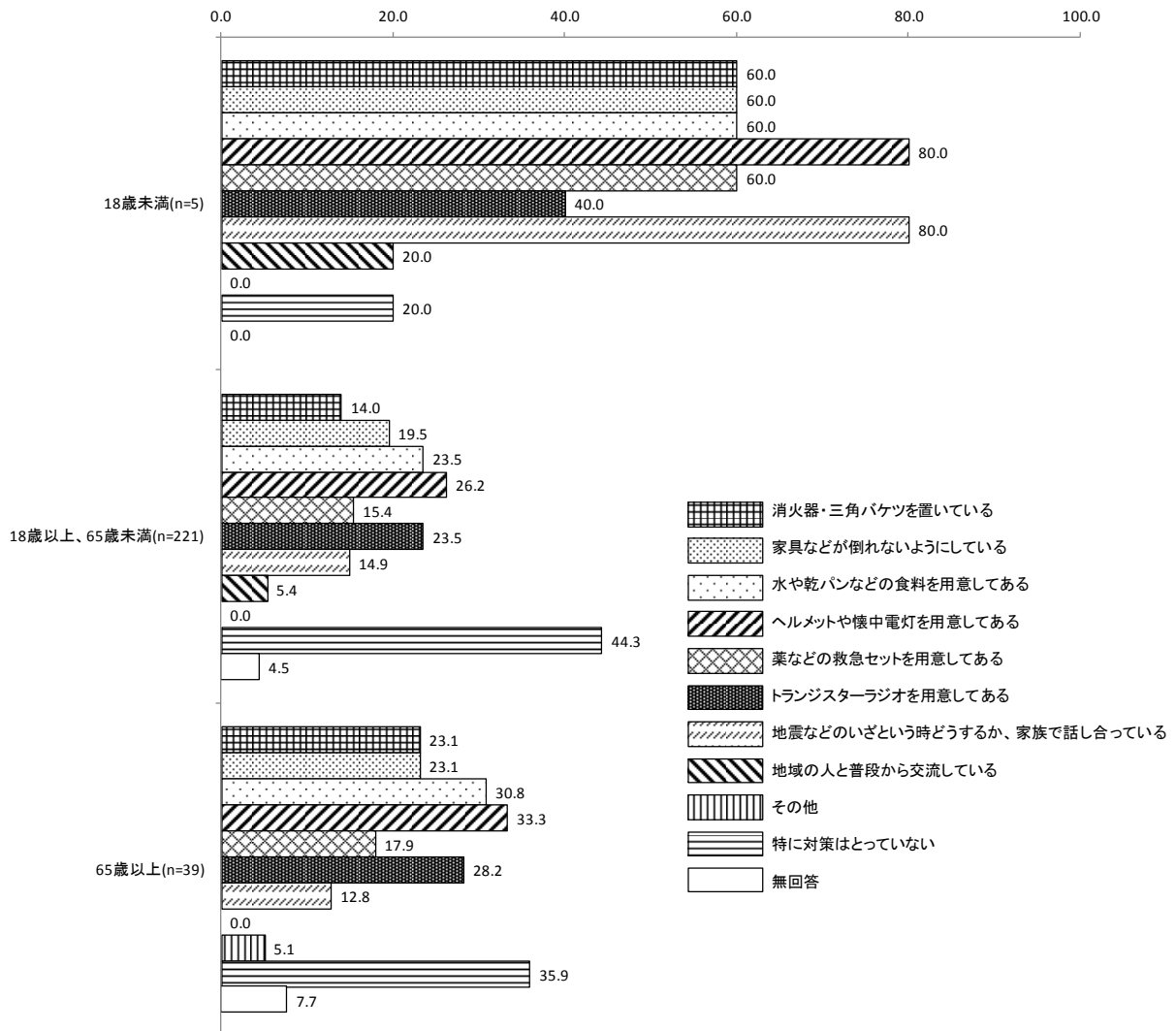
図 2-12-13-1 災害時への対策 (精神障害者) [%]



年齢別では<18歳未満>で「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」と「地震などのいざという時どうするか、家族で話し合っている」が80.0%で、<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が26.2%と33.3%で最も多かった。

問 30 災害時への対策 (MA) 【年齢別】

図 2-12-13-2 災害時への対策 (精神障害者) [%]

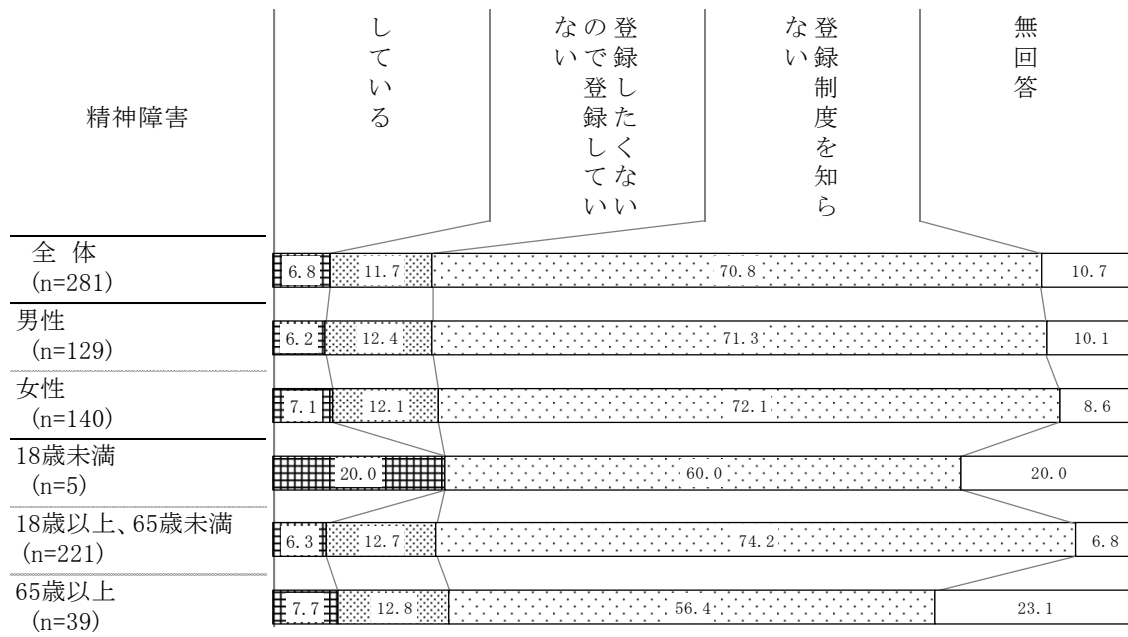


問 31 災害時要援護者の登録をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に災害時要援護者の登録をしているか尋ねたところ、<全体>では「登録制度を知らない」が70.8%で最も多く、「している」は6.8%だった。性別では<男女>共に「登録制度を知らない」が71.3%と72.1%で最も多かった。年齢別でも<18歳未満><18歳以上、65歳未満><65歳以上>で「登録制度を知らない」が最も多かった。

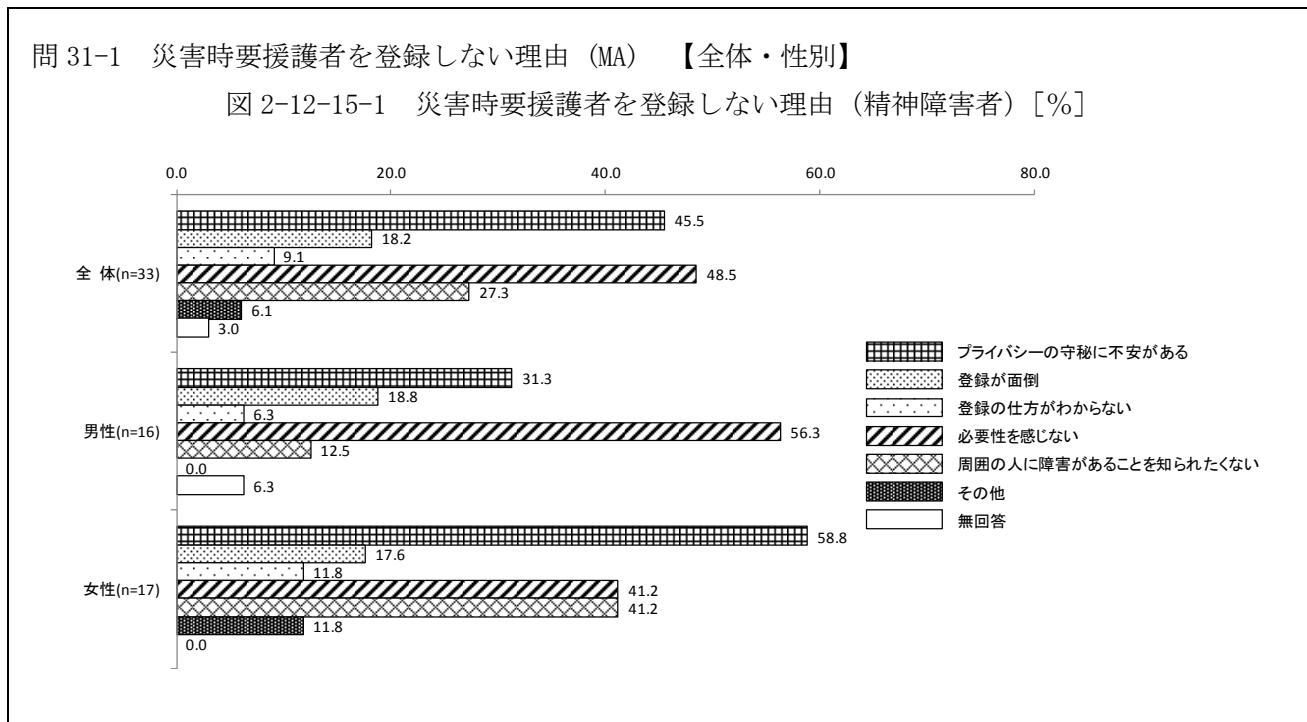
問 31 災害時要援護者の登録 (SA)

図 2-12-14 災害時要援護者の登録 (精神障害者) [%]

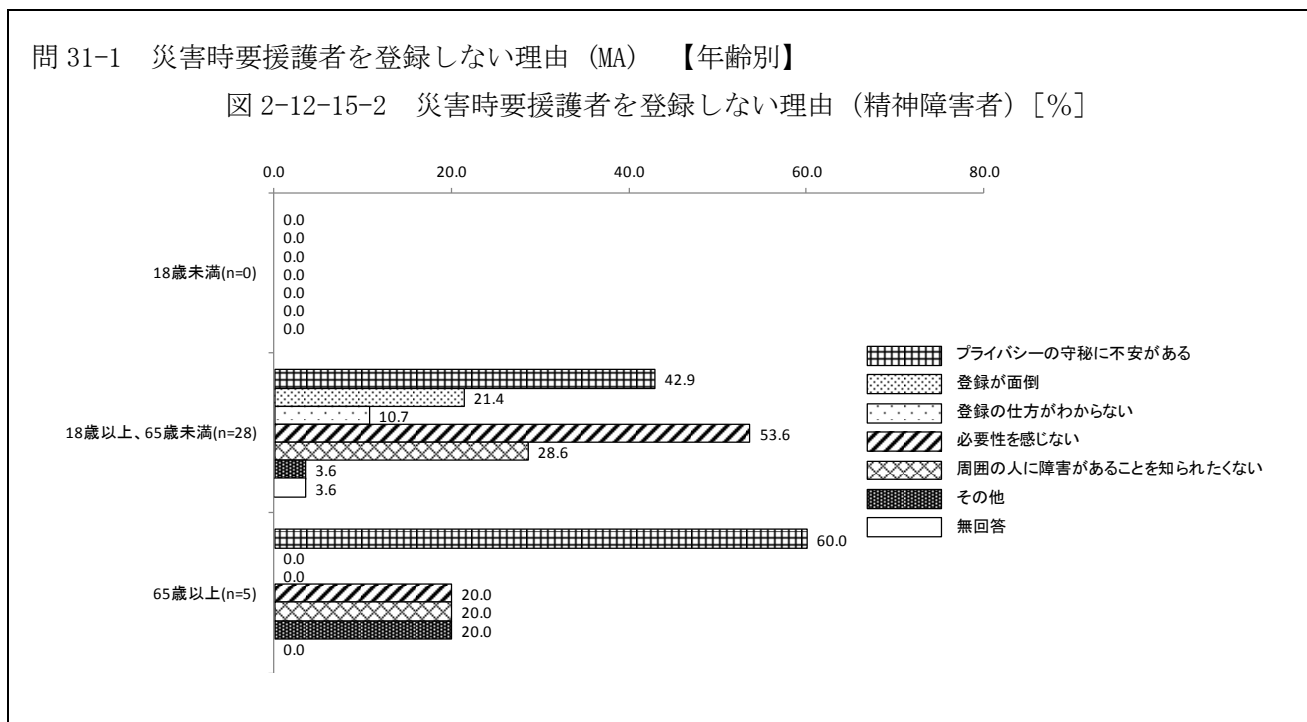


問 31-1 未登録の理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

災害時要援護者の登録をしたくない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「必要性を感じない」が48.5%で最も多かった。性別では＜男性＞で「必要性を感じない」が56.3%で、＜女性＞で「プライバシーの守秘に不安がある」と58.8%で最も多かった。



年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞で「必要性を感じない」が53.6%で、＜65歳以上＞で「プライバシーの守秘に不安がある」が60.0%で最も多かった。



II 調査結果

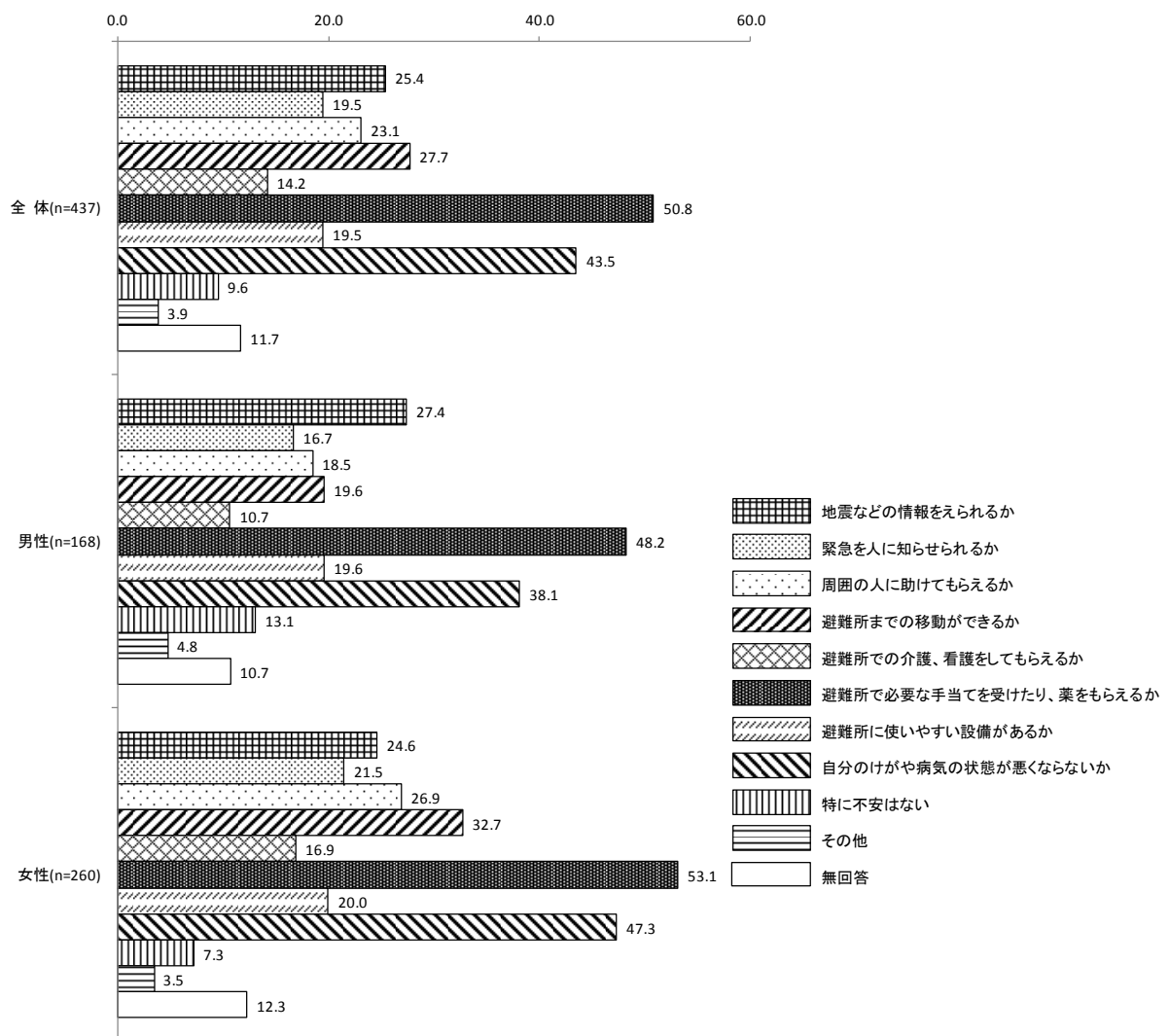
12-4 難病患者の災害対策について

問 28 あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に災害時の不安について尋ねたところ、＜全体＞では「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が 50.8%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が 43.5%でこれに次いだ。性別では＜男女＞共に「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が 48.2%と 53.1%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が 38.1%と 47.3%でこれに次いだ。

問 28 災害時の不安 (MA) 【全体・性別】

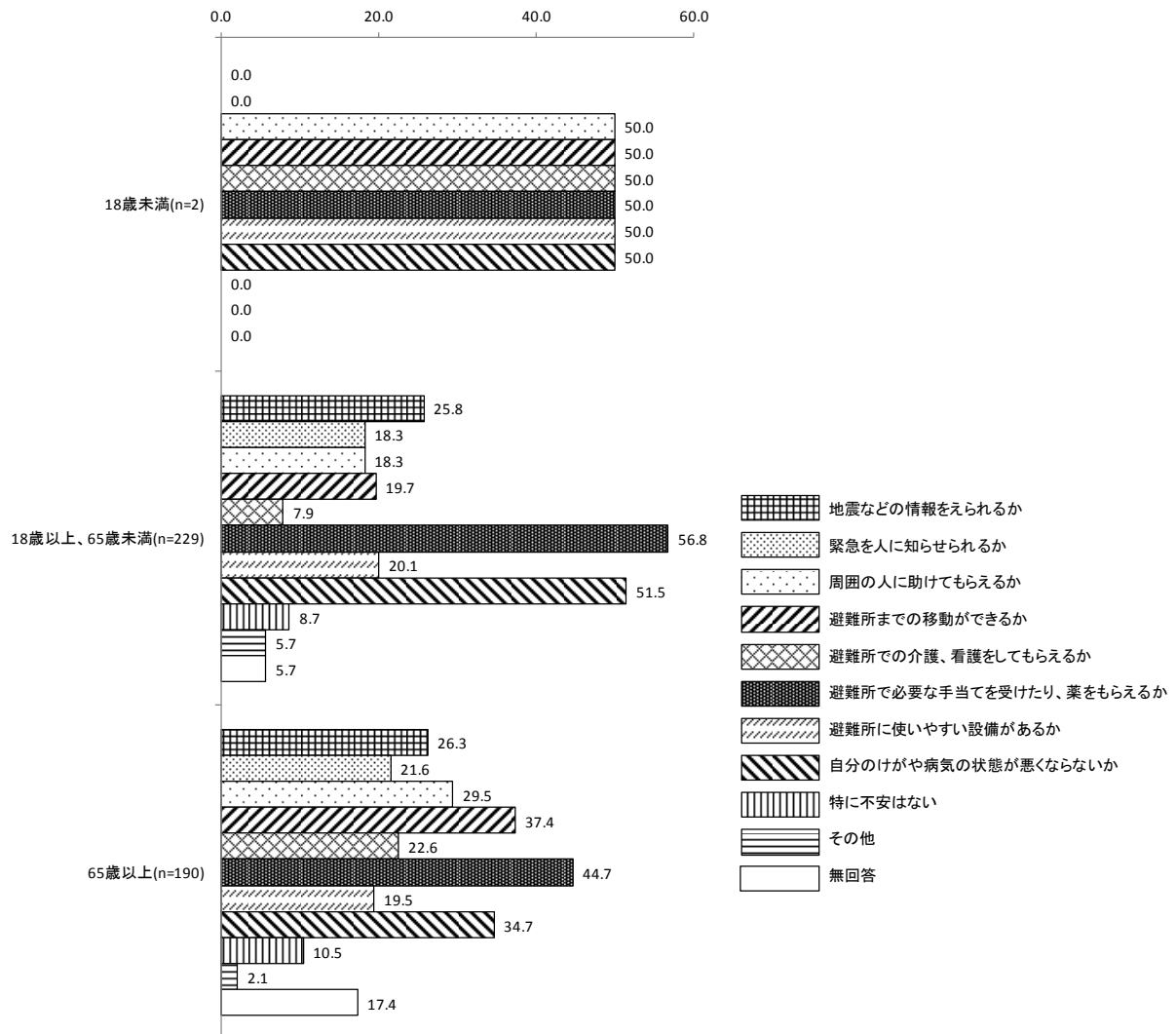
図 2-12-16-1 災害時の不安 (難病患者) [%]



年齢別でも<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が56.8%と44.7%で最も多く、<18歳以上、65歳未満>で「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が51.5%で、<65歳以上>で「避難所までの移動ができるか」が37.4%でこれに次いだ。

問 28 災害時の不安 (MA) 【年齢別】

図 2-12-16-2 災害時の不安 (難病患者) [%]



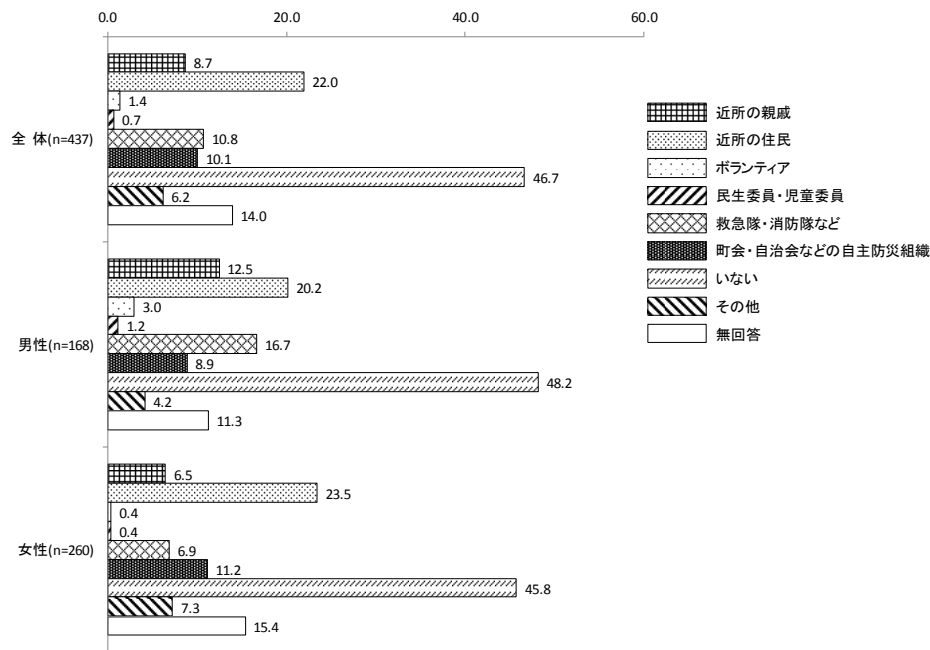
II 調査結果

問 29 災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に家族以外で災害時に救助してくれる人について尋ねたところ、<全体>では「いない」が46.7%で最も多く、「近所の住民」が22.0%でこれに次いだ。性別では<男女>共に「いない」が48.2%と45.8%で最も多く、「近所の住民」が20.2%と23.5%でこれに次いだ。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【全体・性別】

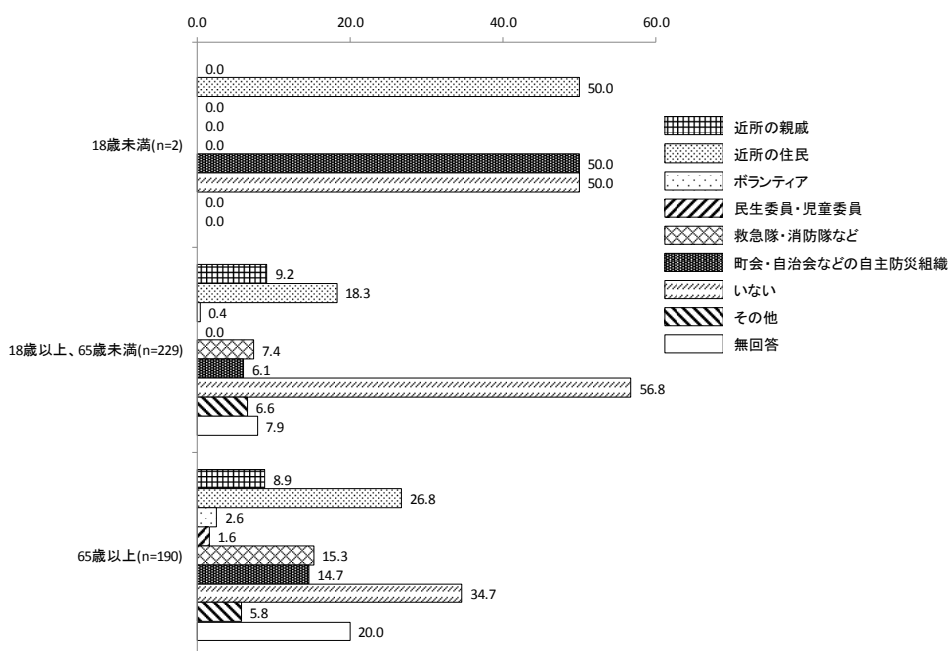
図 2-12-17-1 災害時の救助要員 (難病患者) [%]



年齢別でも<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「いない」が56.8%と34.7%で最も多く、「近所の住民」が18.3%と26.8%でこれに次いだ。

問 29 災害時の救助要員 (MA) 【年齢別】

図 2-12-17-2 災害時の救助要員 (難病患者) [%]

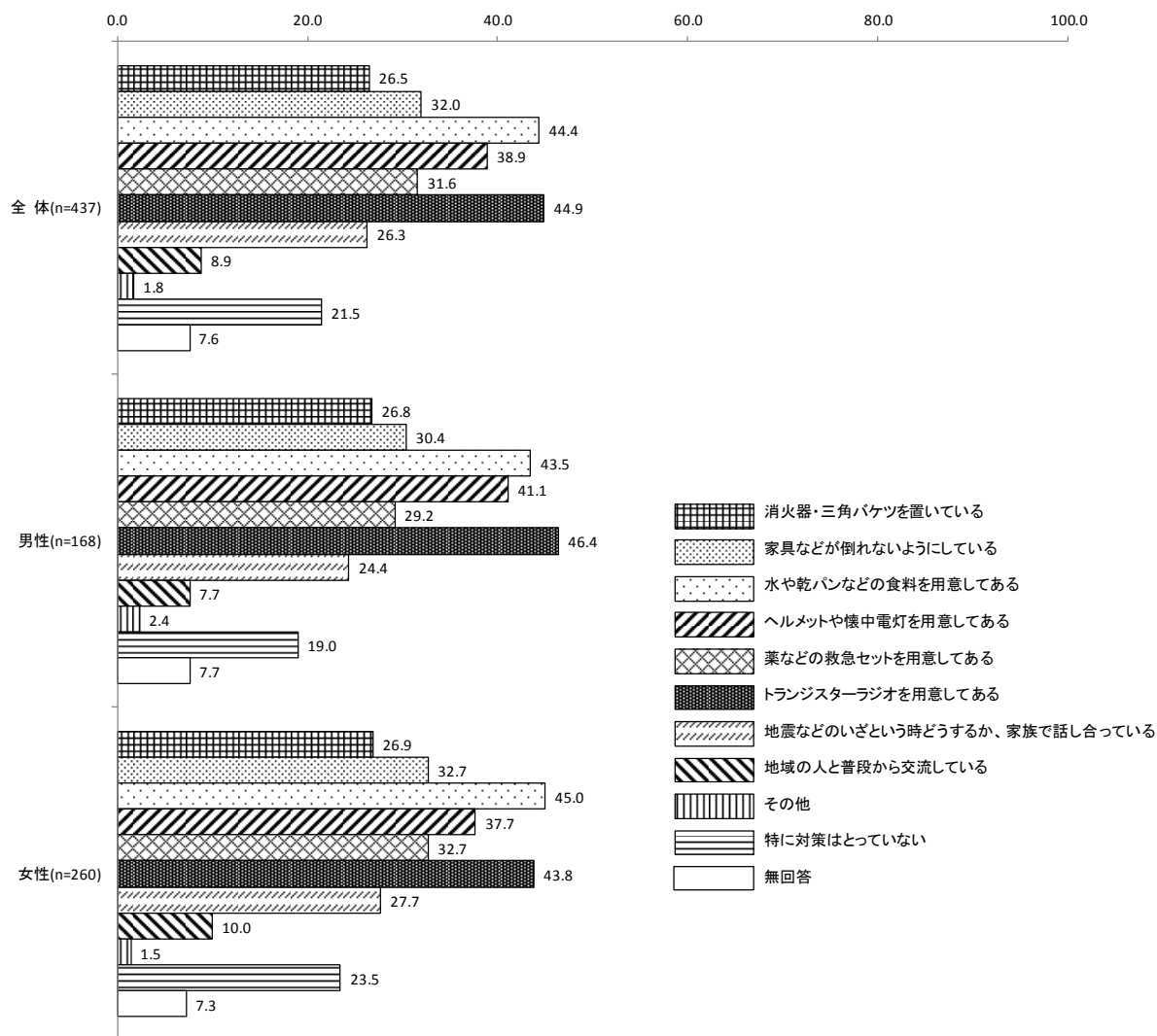


問 30 あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に災害に備えた対策について尋ねたところ、<全体>では「トランジスターラジオを用意してある」が44.9%で最も多く、「水や乾パンなどの食料を用意してある」が44.4%でこれに次いだ。性別では<男性>で「トランジスターラジオを用意してある」が46.4%、<女性>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」が45.0%で最も多かった。

問 30 災害時への対策 (MA) 【全体・性別】

図 2-12-18-1 災害時への対策 (難病患者) [%]

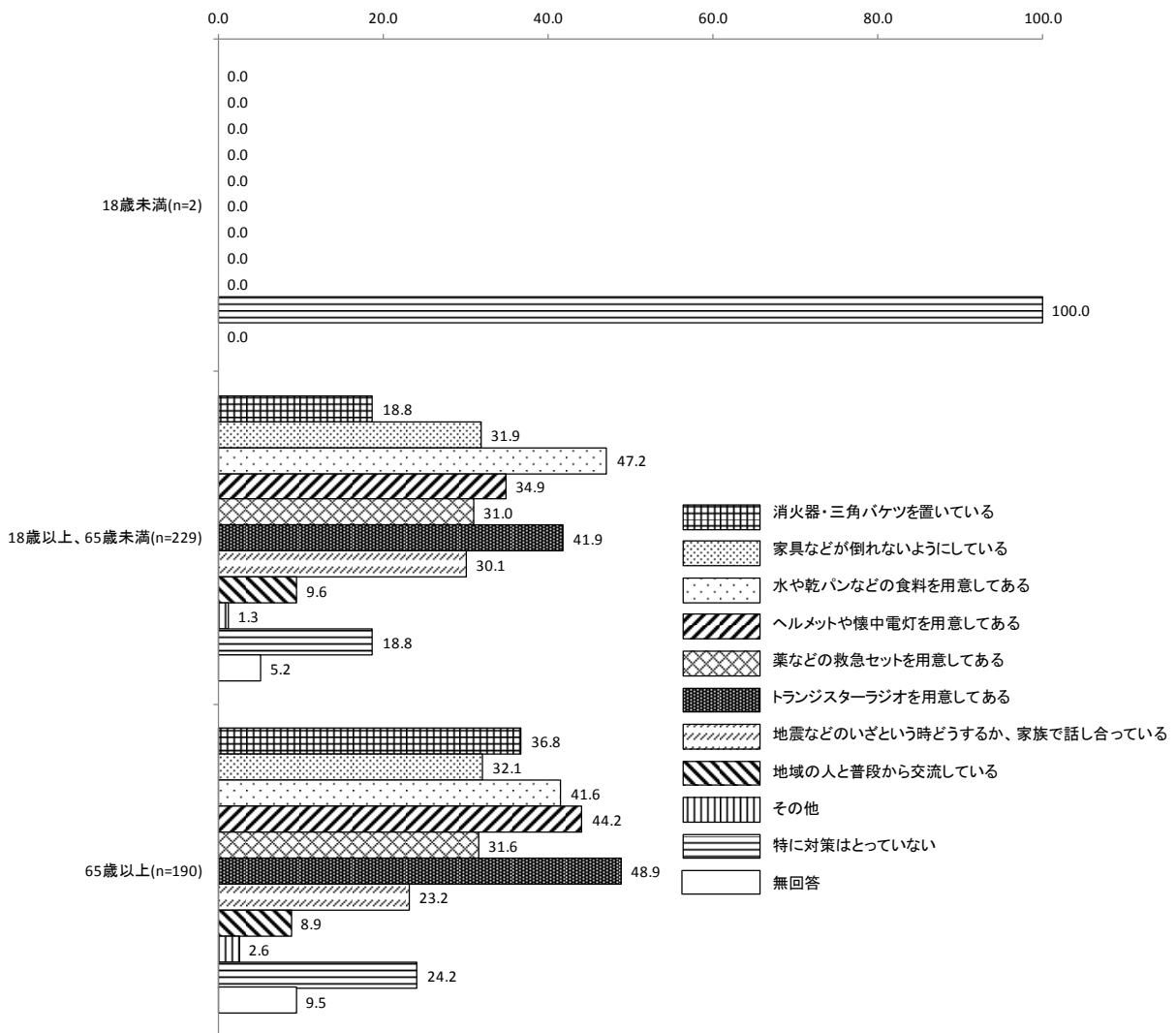


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>で「水や乾パンなどの食料を用意してある」が47.2%で、<65歳以上>で「トランジスターラジオを用意してある」が48.9%で最も多かった。

問 30 災害時への対策 (MA) 【年齢別】

図 2-12-18-2 災害時への対策 (難病患者) [%]

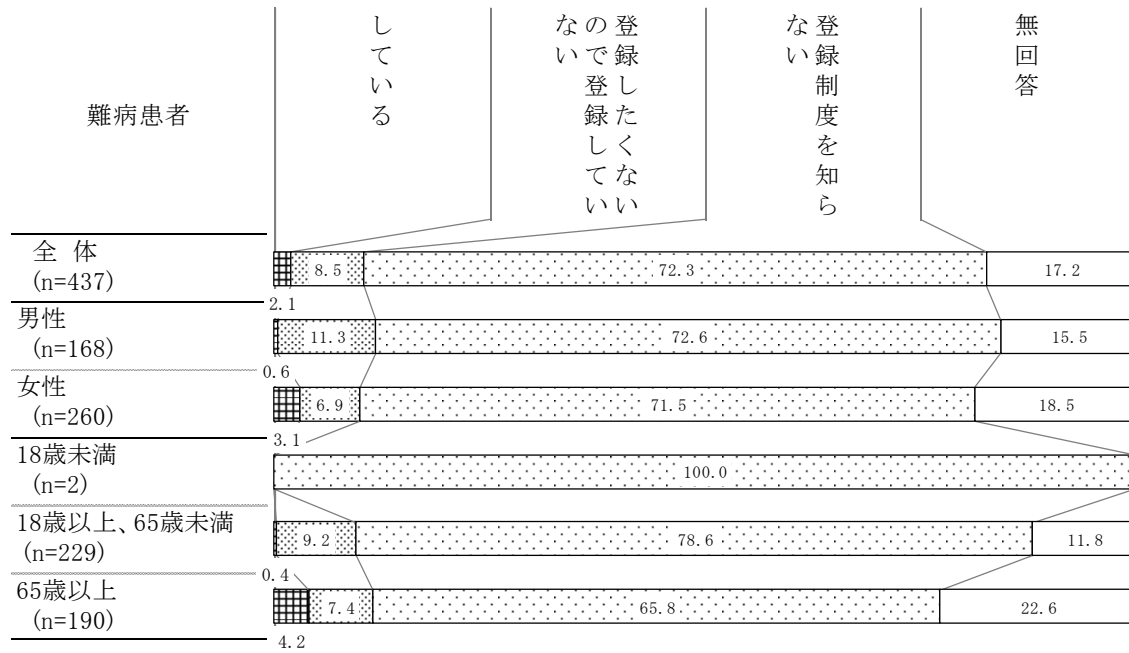


問 31 災害時要援護者の登録をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

対象者に災害時要援護者の登録をしているか尋ねたところ、＜全体＞では「登録制度を知らない」が72.3%で最も多く、「している」が2.1%にとどまった。性別では＜男女＞共に「登録制度を知らない」が72.6%と71.5%で最も多かった。年齢別では「登録制度を知らない」がすべての年齢で最も多かったが、＜65歳以上＞は「している」が4.2%と比較的多かった。

問 31 災害時要援護者の登録 (SA)

図 2-12-19 災害時要援護者の登録 (難病患者) [%]



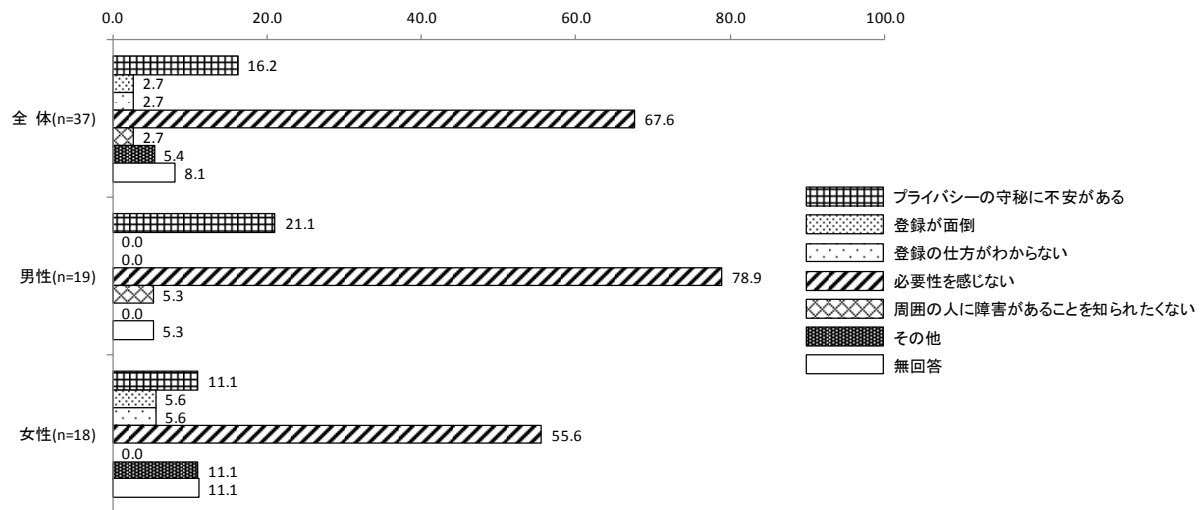
II 調査結果

問 31-1 未登録の理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

災害時要援護者の登録をしたくない理由を尋ねたところ、＜全体＞では「必要性を感じない」が67.6%で最も多かった。＜男女＞共に「必要性を感じない」が78.9%と55.6%で最も多かった。

問 31-1 未登録の理由 (MA) 【全体・性別】

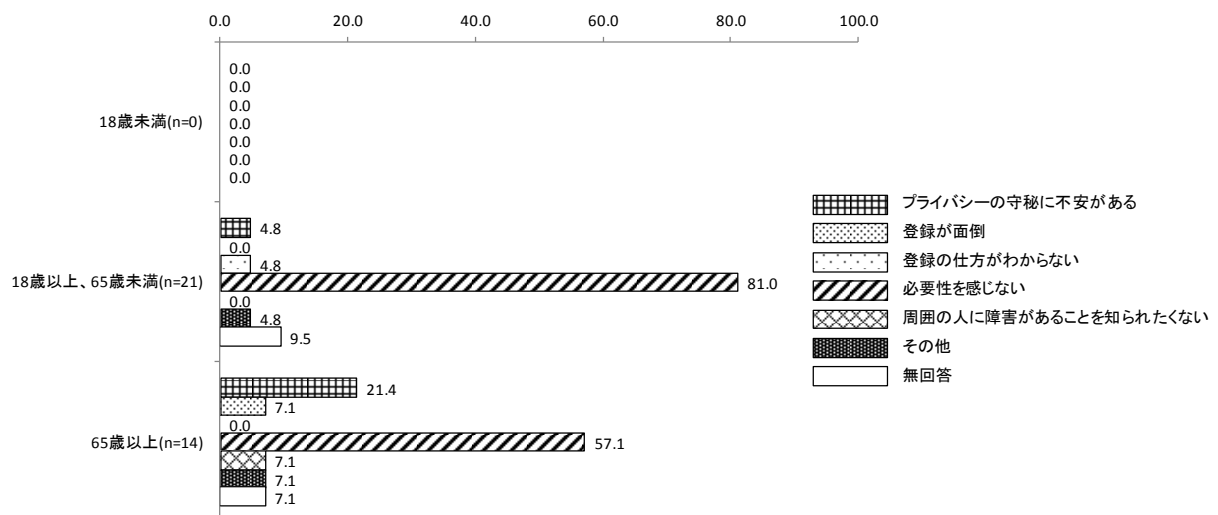
図 2-12-20-1 災害時要援護者を登録しない理由 (難病患者) [%]



年齢別でも＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞で「必要性を感じない」が81.0%と57.1%で最も多かった。

問 31-1 未登録の理由 (MA) 【年齢別】

図 2-12-20-2 災害時要援護者を登録しない理由 (難病患者) [%]



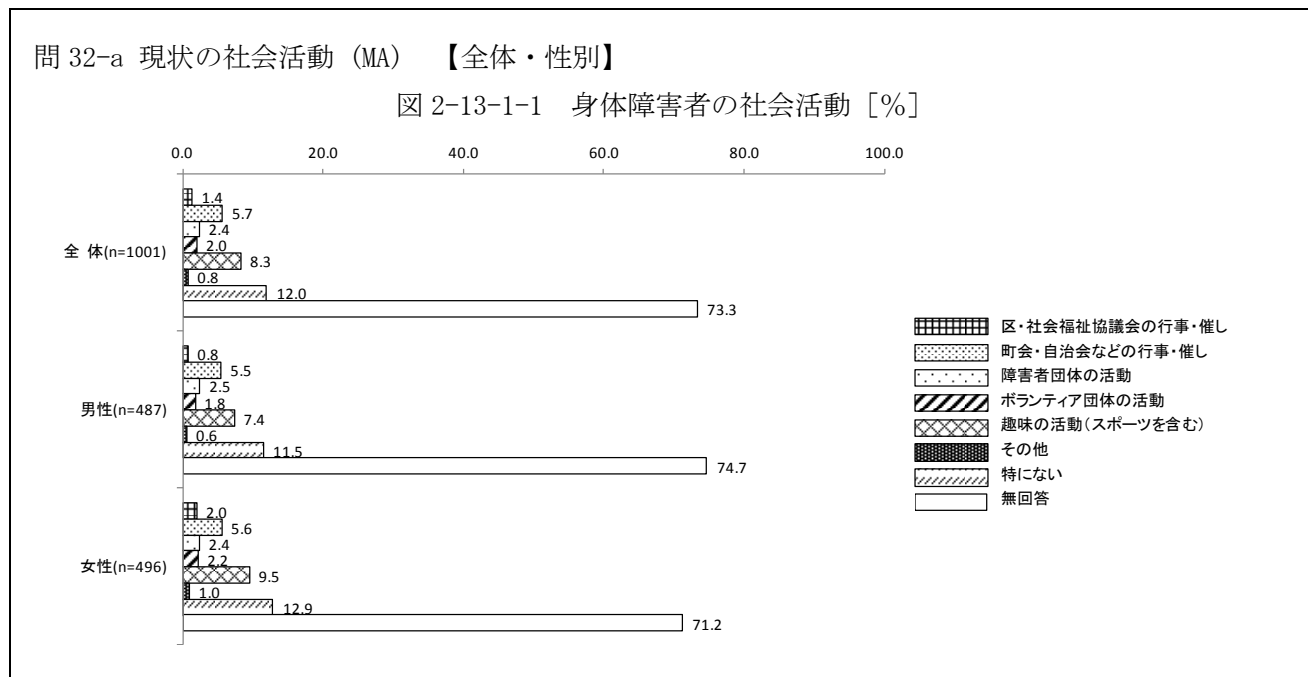
13. 社会参加

13-1 身体障害者の社会参加について

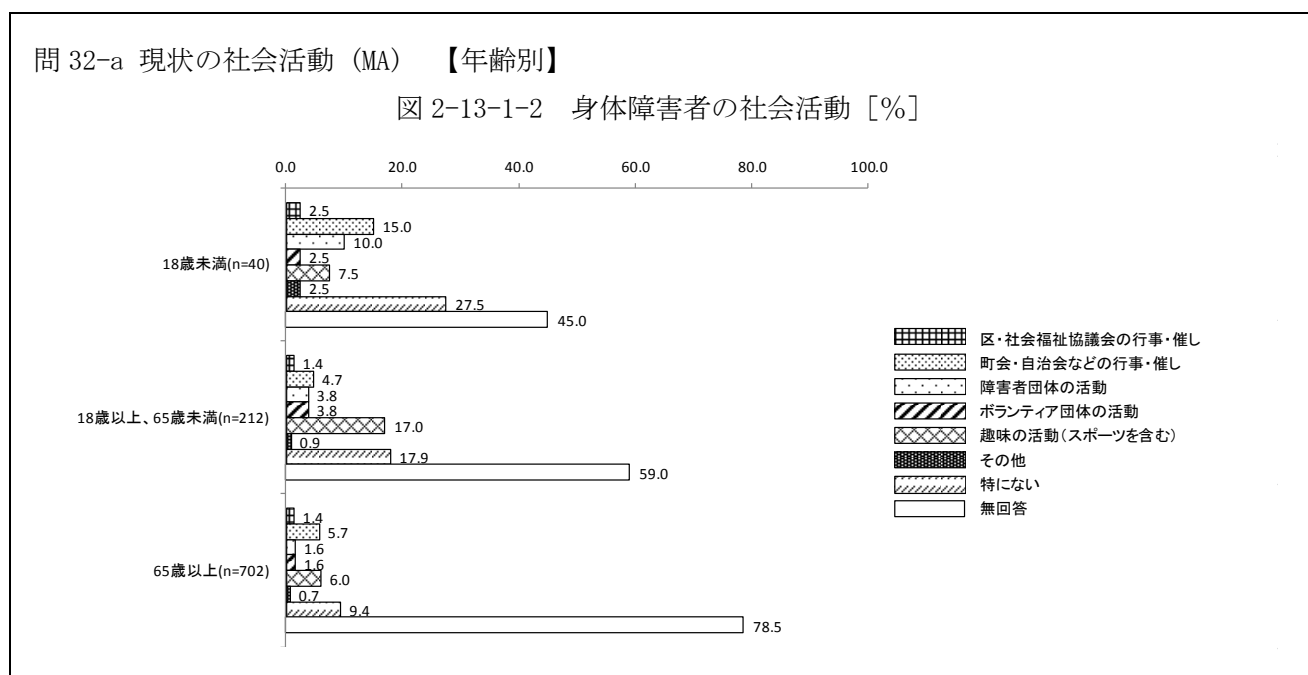
問 32 あなたが今行っている、また今後取り組みたい社会活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

a. 今、行っている社会活動

対象者に現在行っている社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が8.3%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が7.4%と9.5%で最も多く、「町会・自治会などの行事・催し」が5.5%と5.6%でこれに次いだ。



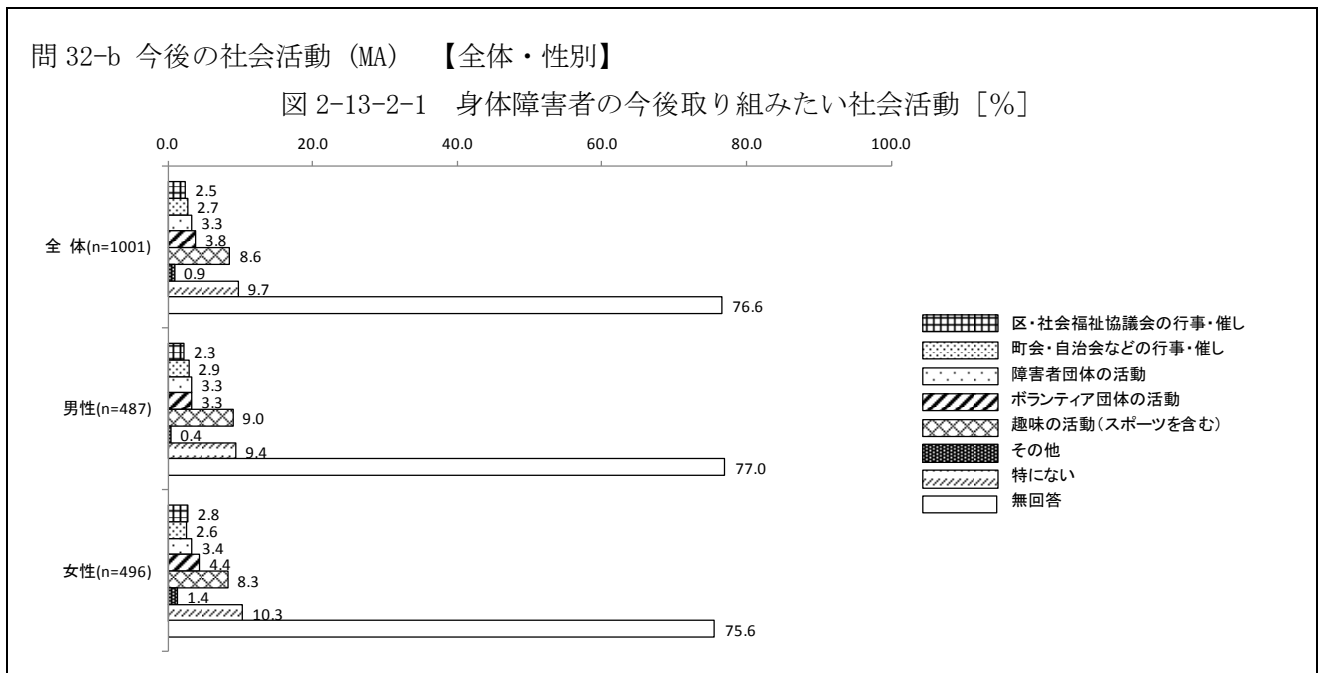
年齢別でも＜18歳未満＞で「町会・自治会などの行事・催し」が15.0%、＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞で「趣味の活動（スポーツを含む）」が17.0%と6.0%で最も多かった。



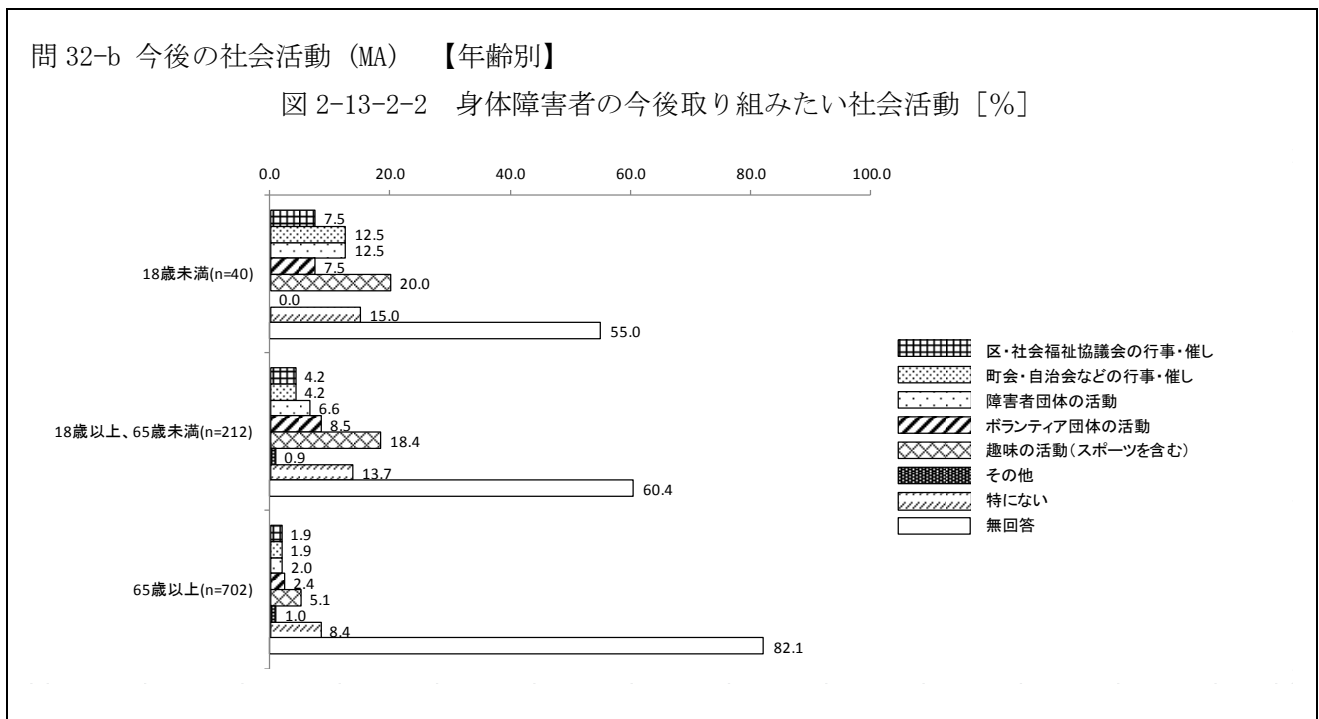
II 調査結果

b. 今後、取り組みたい社会活動

対象者に今後取り組みたい社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が8.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が9.0%と8.3%で最も多かった。



年齢別でも「趣味の活動（スポーツを含む）」がすべての年代で最も多く、他では＜18歳未満＞で「町会・自治会などの行事・催し」と「障害者団体の活動」が12.5%とやや多かった。

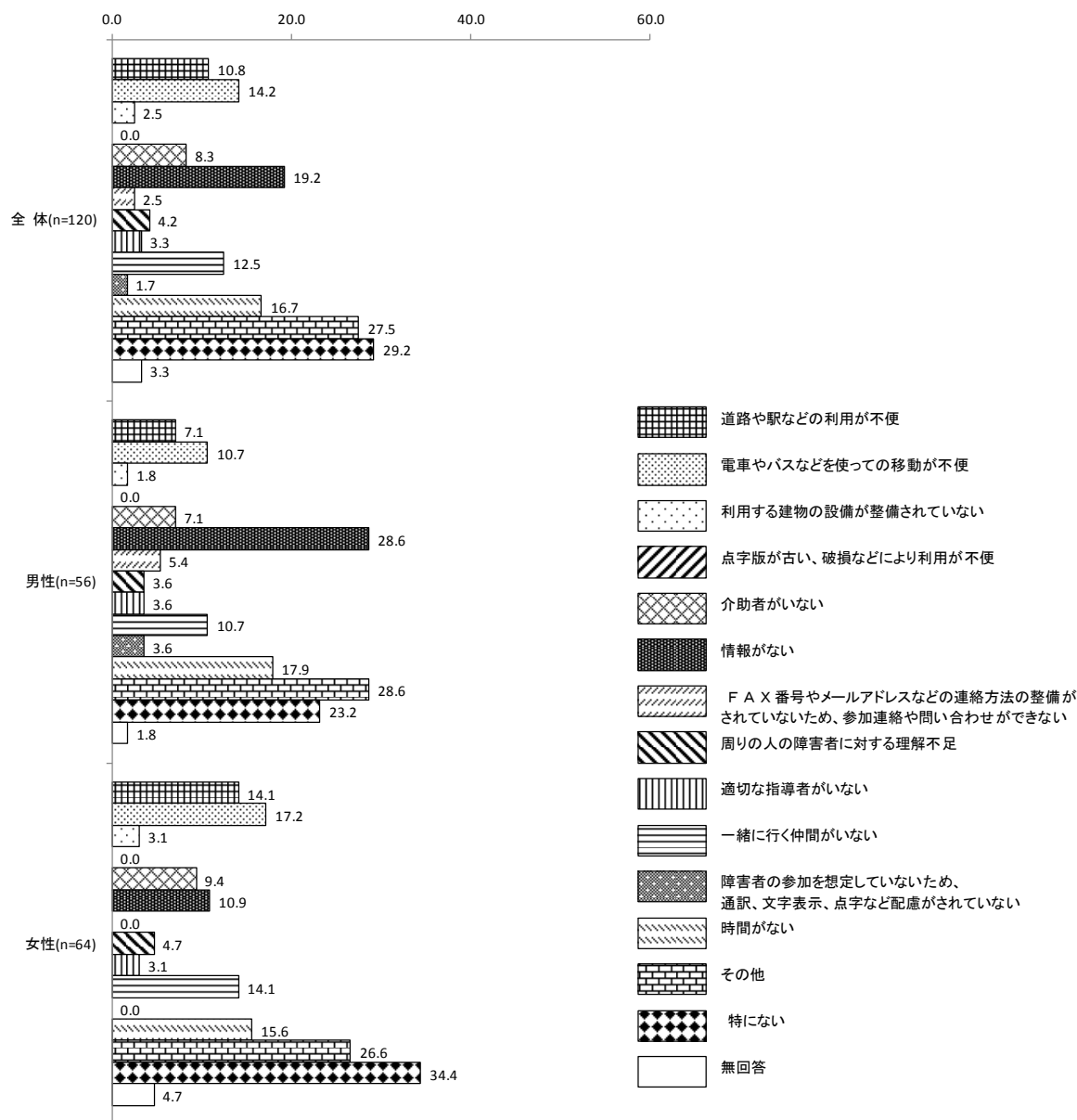


問 32-1 社会活動を行っていない理由はなんですか。

社会活動をしていない理由について尋ねたところ、<全体>では「情報がない」が19.2%で最も多かった。<男性>では「情報がない」が28.6%で最も多く、<女性>では「電車やバスなどを使っての移動が不便」が17.2%で最も多かった。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【全体・性別】

図 2-13-3-1 身体障害者の社会活動しない理由 [%]

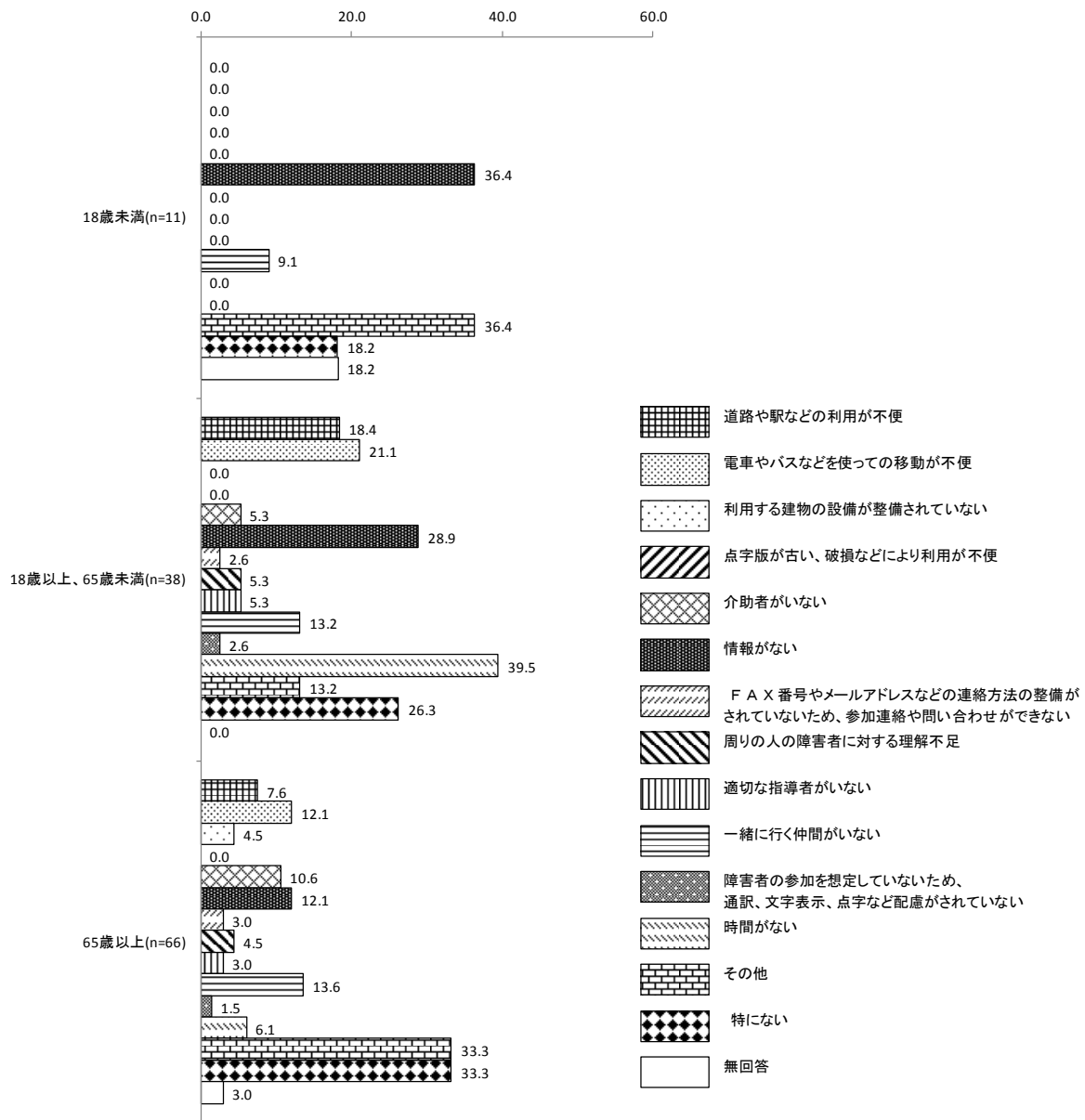


II 調査結果

年齢別では<18歳未満>で「情報がない」が36.4%、<18歳以上、65歳未満>で「時間がない」が39.5%で、<65歳以上>で「一緒に行く仲間がいない」が13.6%で最も多かった。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-13-3-2 身体障害者の社会活動しない理由 [%]

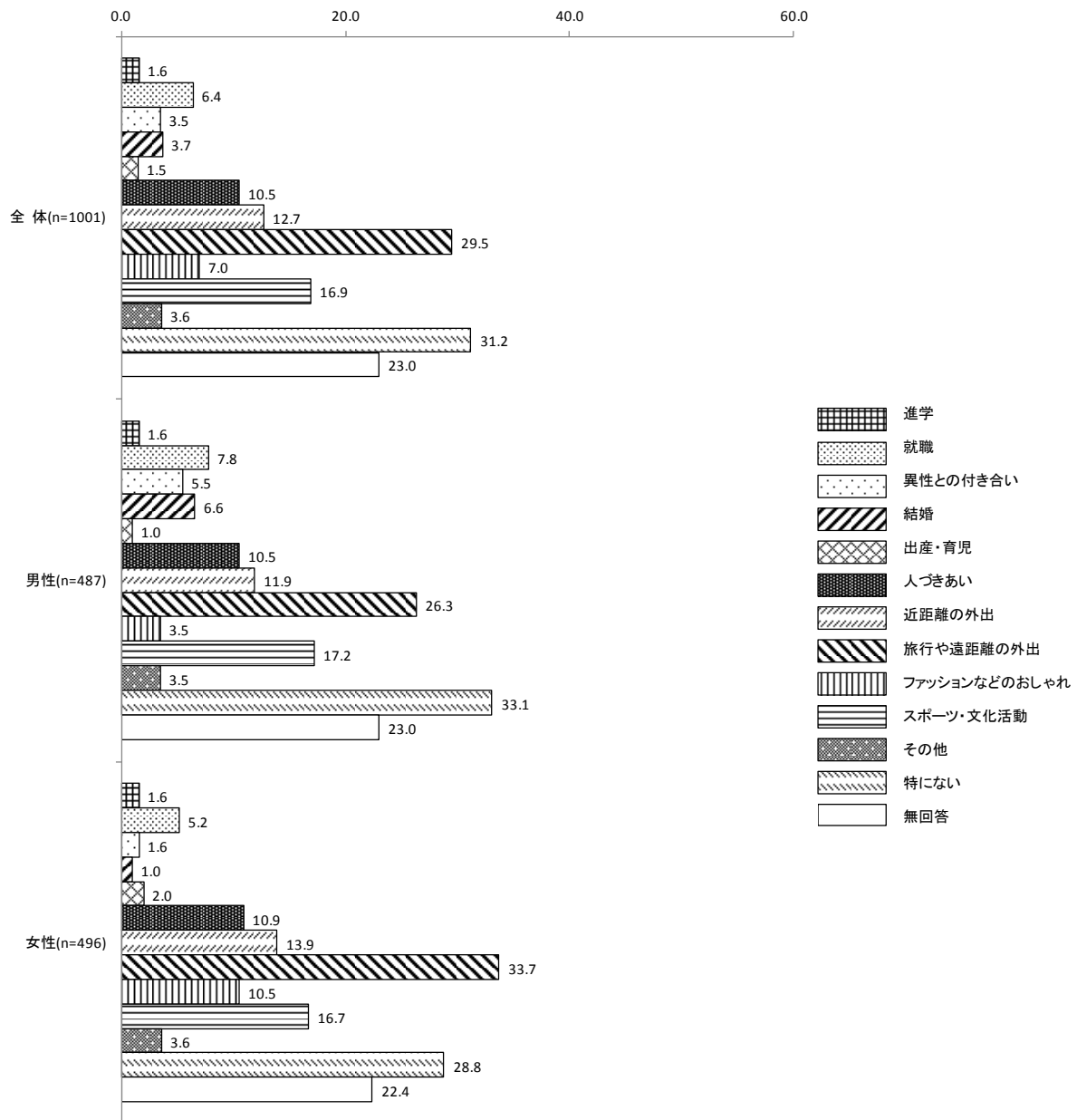


問 33 障害があるために諦めたり妥協したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

対象者に障害が理由で諦めたり妥協したことを尋ねたところ、＜全体＞では「旅行や遠距離の外出」が29.5%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「旅行や遠距離の外出」が26.3%と33.7%で最も多く、「スポーツ・文化活動」が17.2%と16.7%でこれに次いだ。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【全体・性別】

図 2-13-4-1 身体障害者の諦めたり妥協したこと [%]

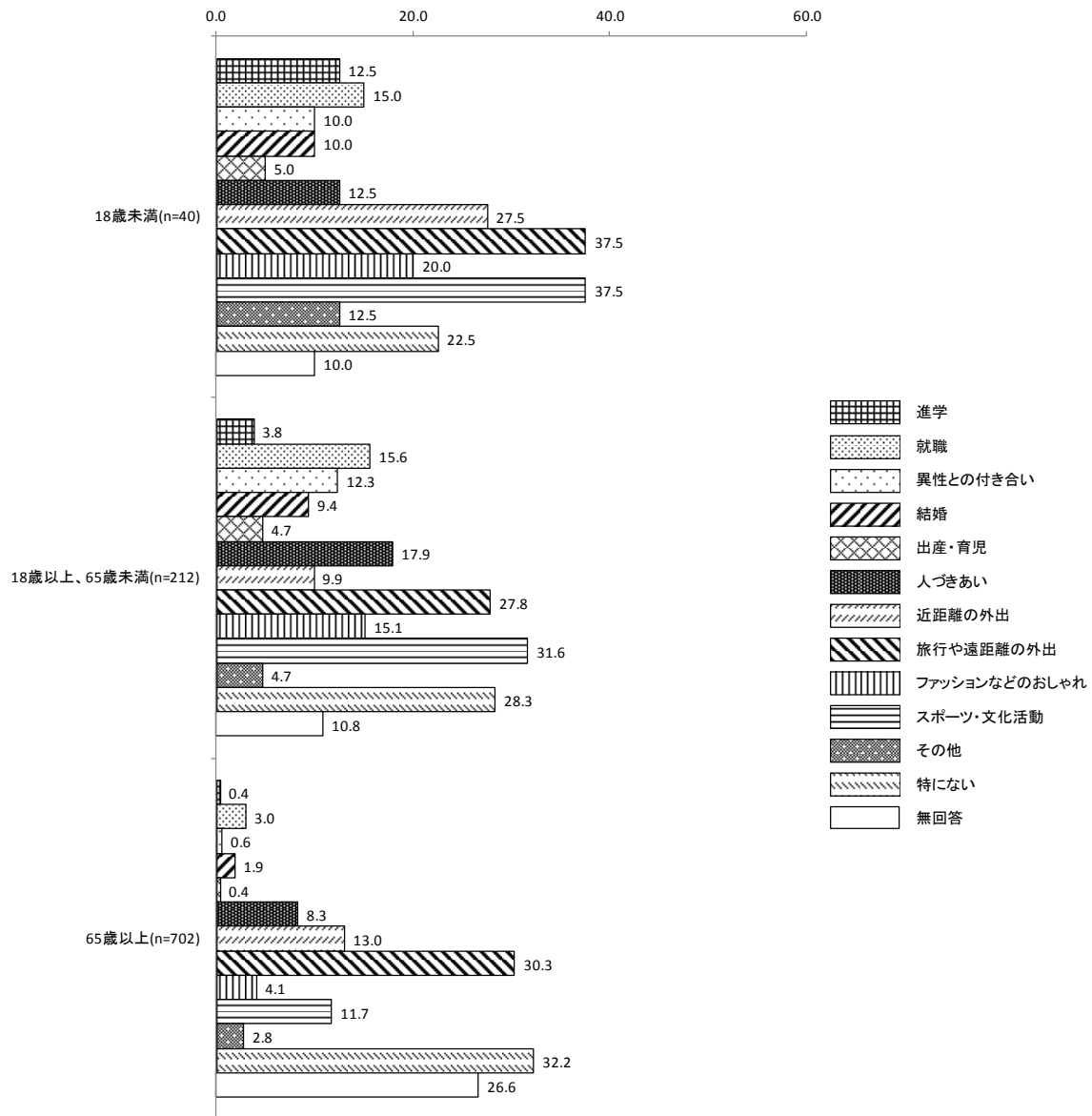


II 調査結果

年齢別では<18歳未満>で「旅行や遠距離の外出」と「スポーツ・文化活動」が37.5%、<18歳以上、65歳未満>で「スポーツ・文化活動」が31.6%、<65歳以上>で「旅行や遠距離の外出」が30.3%で最も多かった。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【年齢別】

図 2-13-4-2 身体障害者の諦めたり妥協したこと [%]

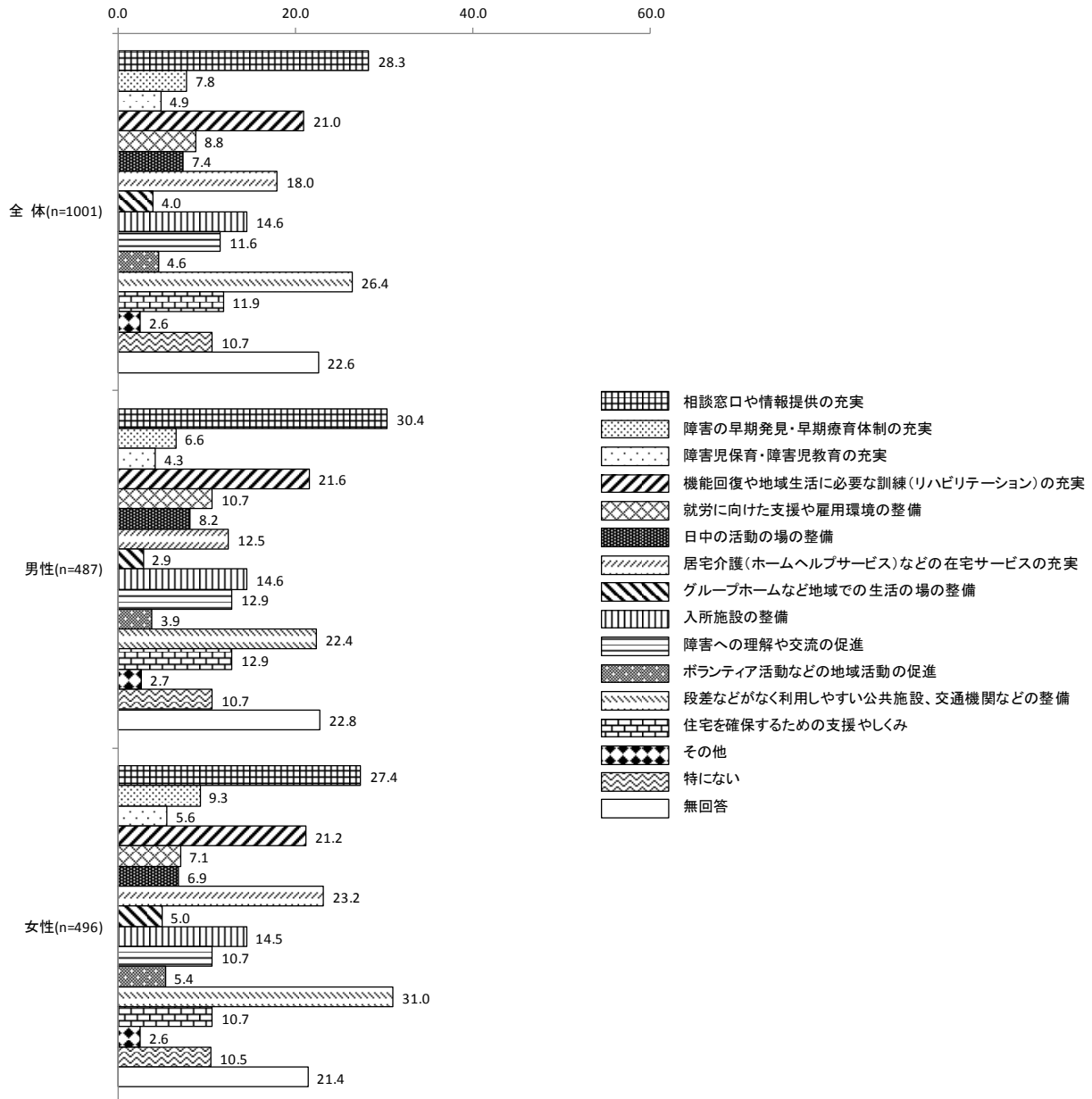


問 34 あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください。(あてはまる番号3つまでに○)

対象者に今後必要と思われるものについて尋ねたところ、＜全体＞では「相談窓口や情報提供の充実」が28.3%、＜男性＞は「相談窓口や情報提供の充実」が30.4%、＜女性＞は「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が31.0%で最も多かった。

問 34 今後必要なもの (MA) 【全体・性別】

図 2-13-5-1 身体障害者の今後必要なもの [%]

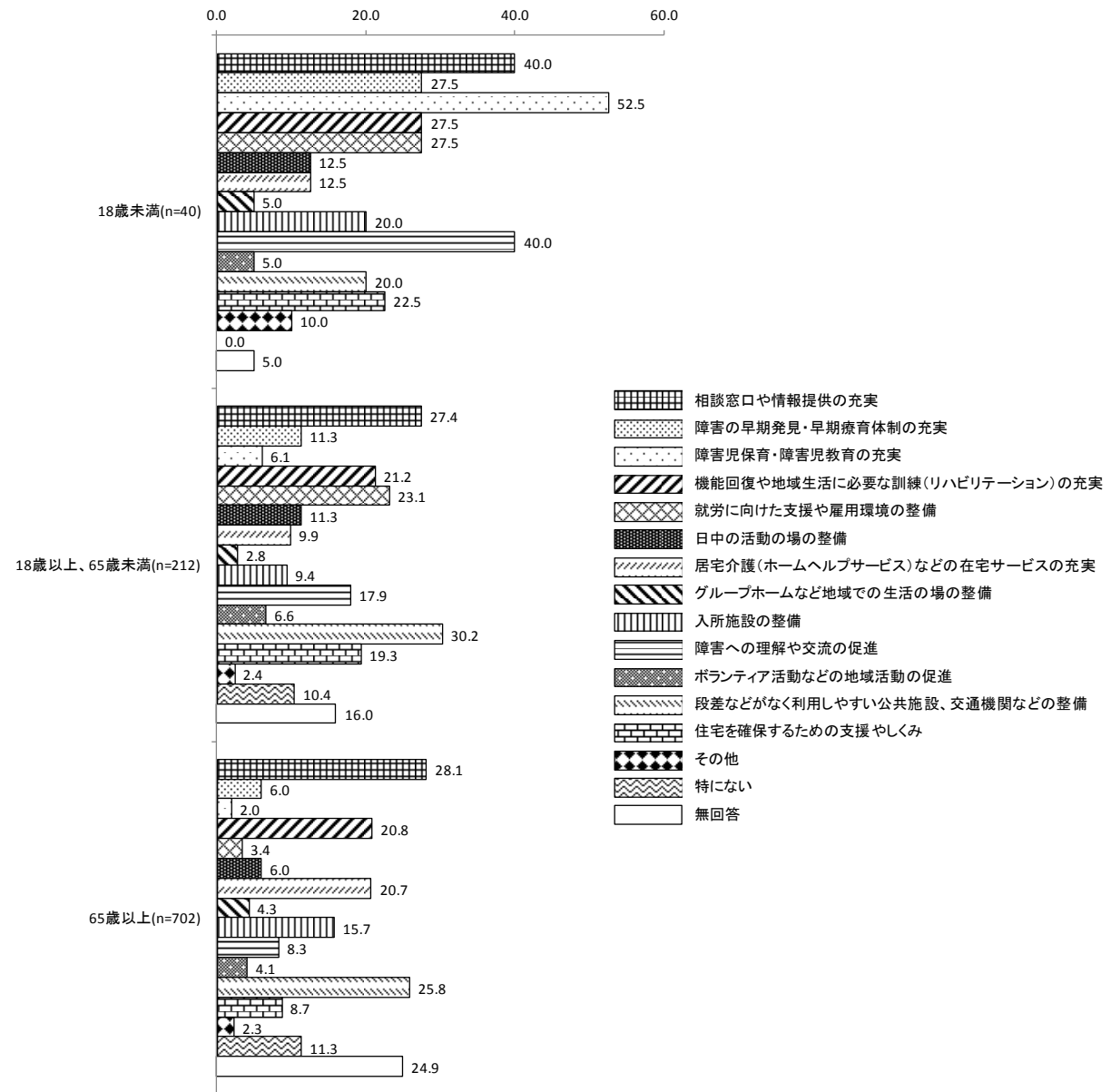


II 調査結果

年齢別では<18歳未満>で「障害児保育・障害児教育の充実」が52.5%、<18歳以上、65歳未満>で「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が30.2%、<65歳以上>で「相談窓口や情報提供の充実」が28.1%で最も多かった。

問 34 今後必要なもの (MA) 【年齢別】

図 2-13-5-2 身体障害者の今後必要なもの [%]

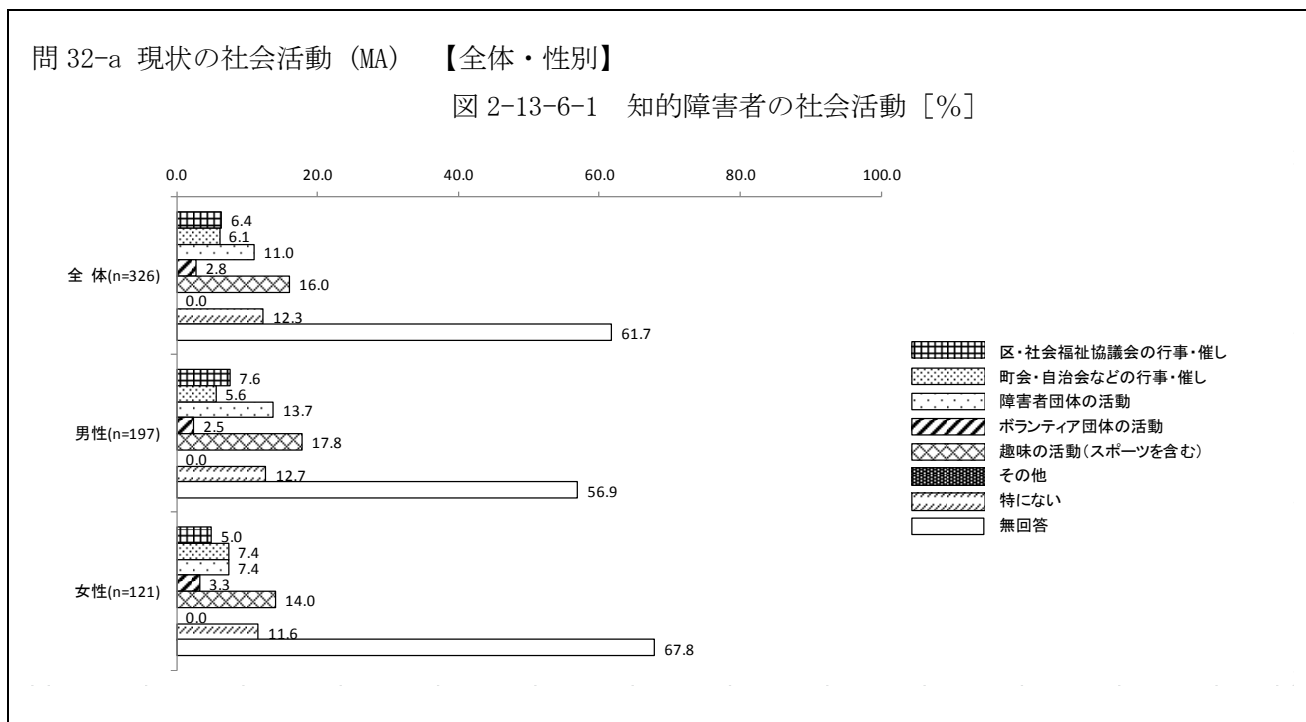


13-2 知的障害者の社会参加について

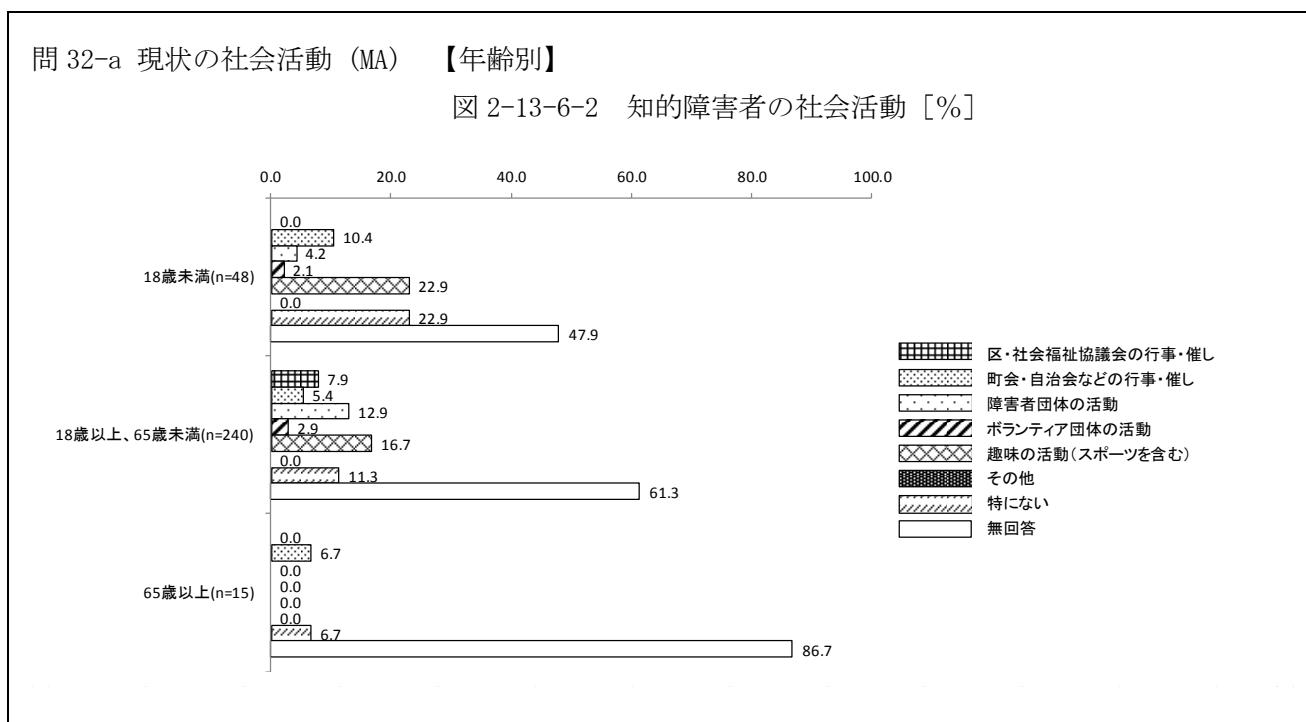
問 32 あなたが今行っている、また今後取り組みたい社会活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

a. 今、行っている社会活動

対象者に現在行っている社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が16.0%で最も多かった。性別では＜男女＞に「趣味の活動（スポーツを含む）」が17.8%と14.0%で最も多かった。



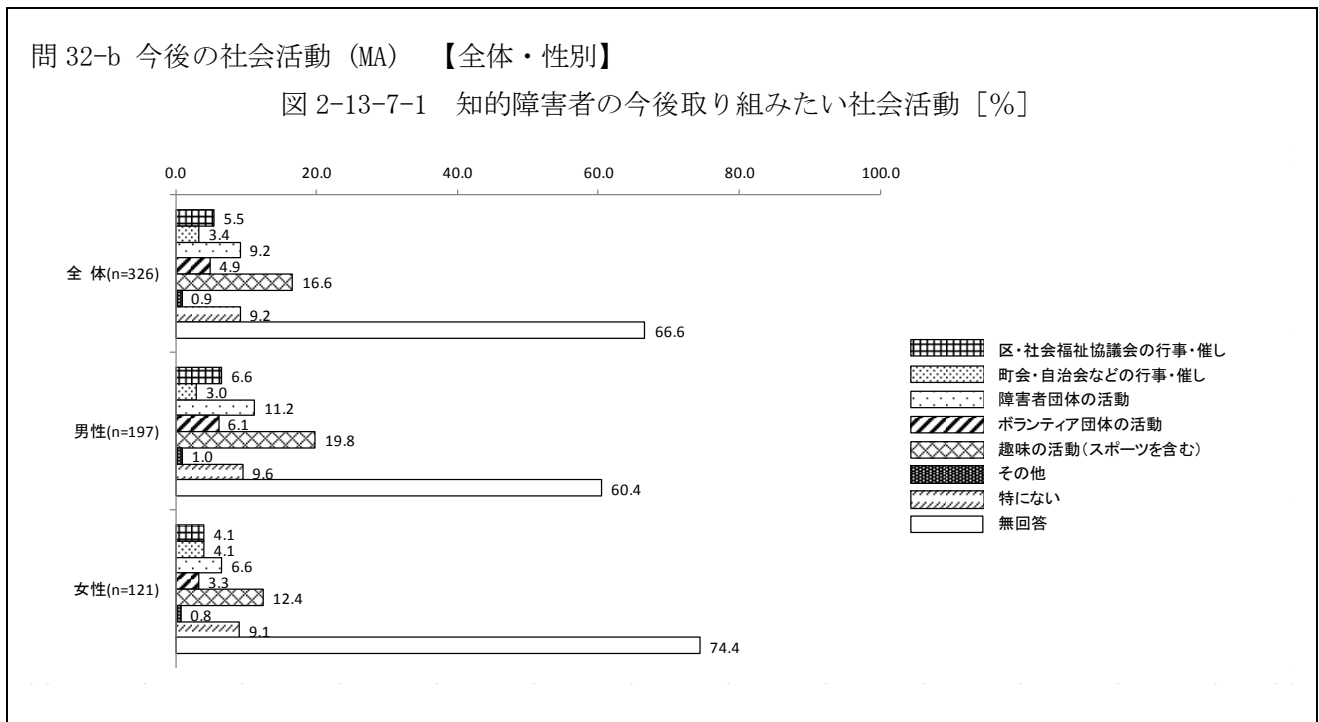
年齢別では＜18歳未満＞と＜18歳以上、65歳未満＞で「趣味の活動（スポーツを含む）」が22.9%と16.7%だった。



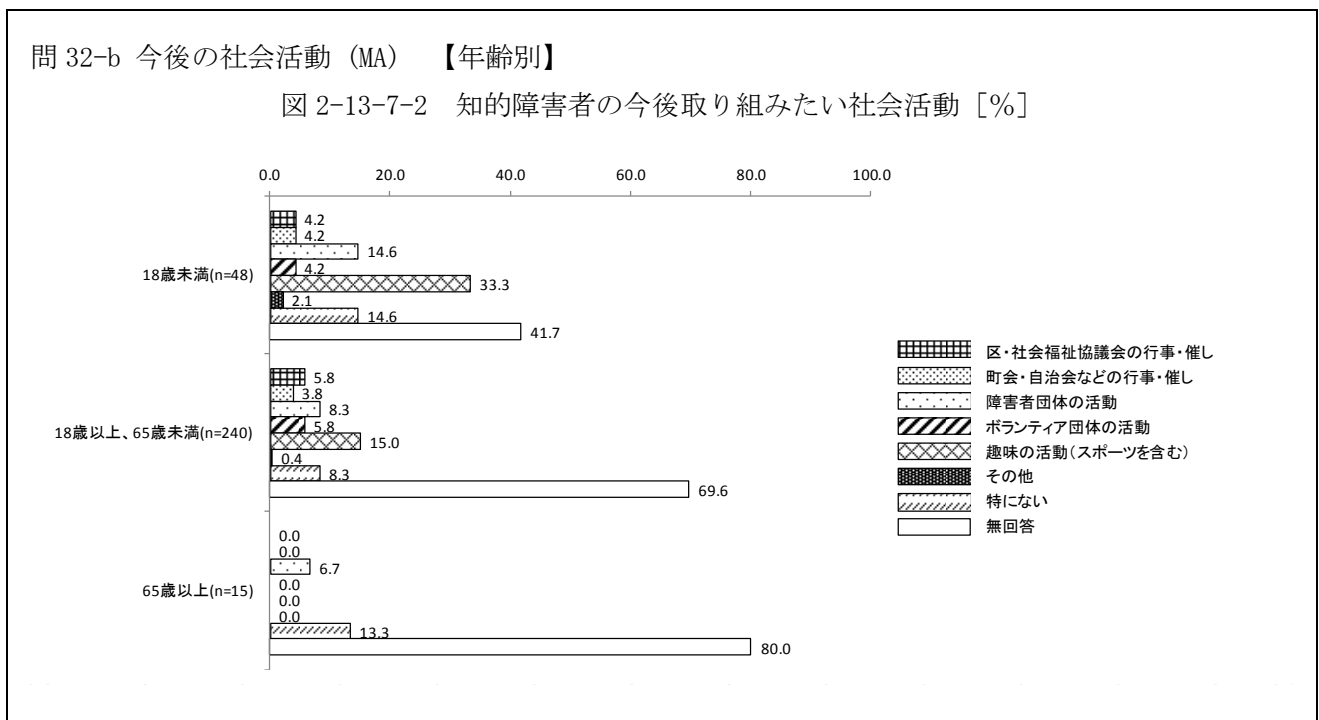
II 調査結果

b. 今後、取り組みたい社会活動

対象者に今後取り組みたい社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が16.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が19.8%と12.4%で最も多く、「障害者団体の活動」が11.2%と6.6%でこれに次いだ。



年齢別では＜18歳未満＞と＜18歳以上、65歳未満＞で「趣味の活動（スポーツを含む）」が33.3%と15.0%で、＜65歳以上＞では「障害者団体の活動」が6.7%で最も多かった。

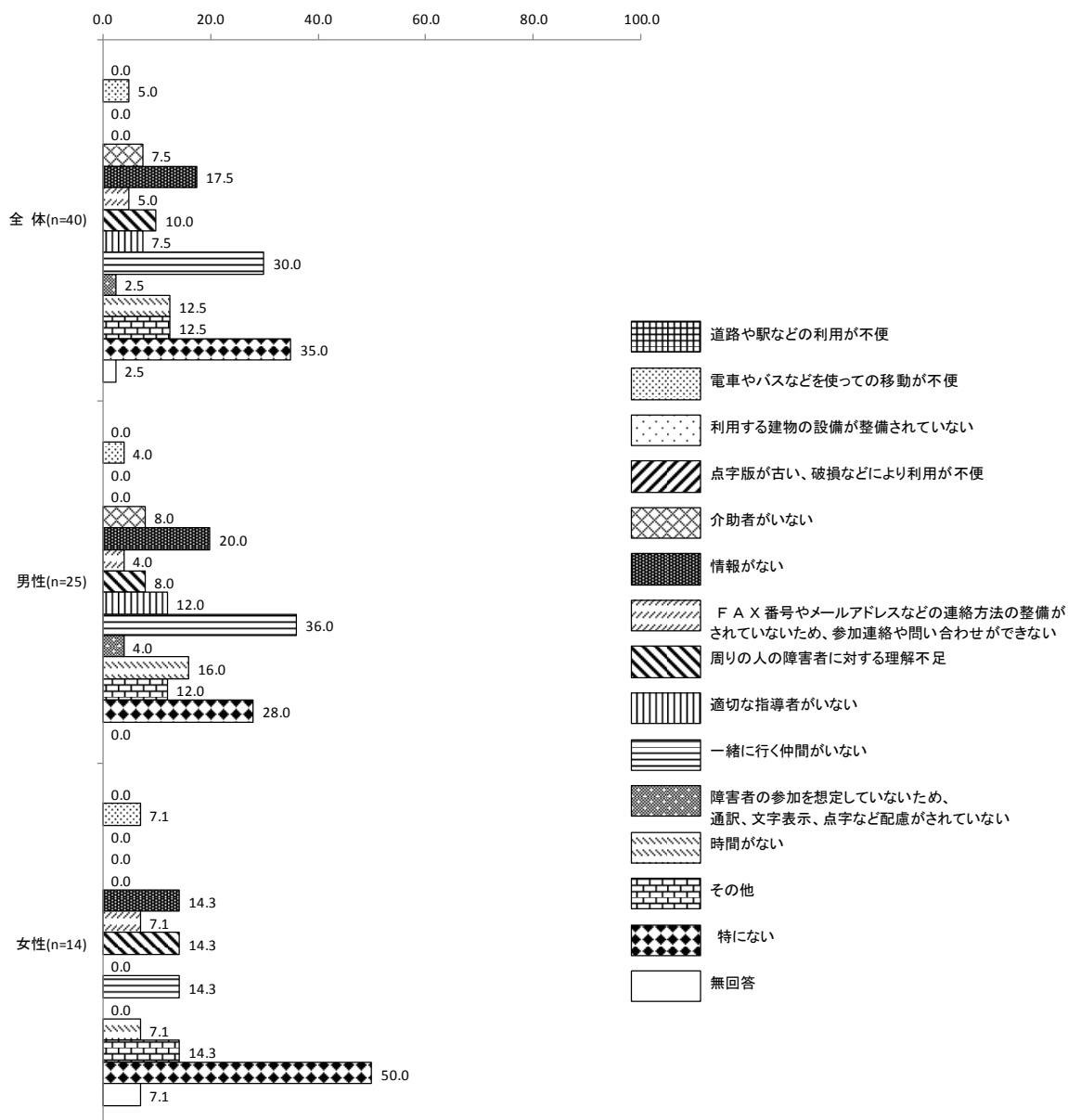


問 32-1 社会活動を行っていない理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

社会活動をしていない理由について尋ねたところ、<全体>では「一緒に行く仲間がいない」が30.0%で最も多かった。性別では<男性>で「一緒に行く仲間がいない」が36.0%で最も多く、<女性>では「情報がない」「周りの人の障害者に対する理解不足」「一緒に行く仲間がいない」が14.3%で最も多かった。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【全体・性別】

図 2-13-8-1 知的障害者の社会活動しない理由 [%]

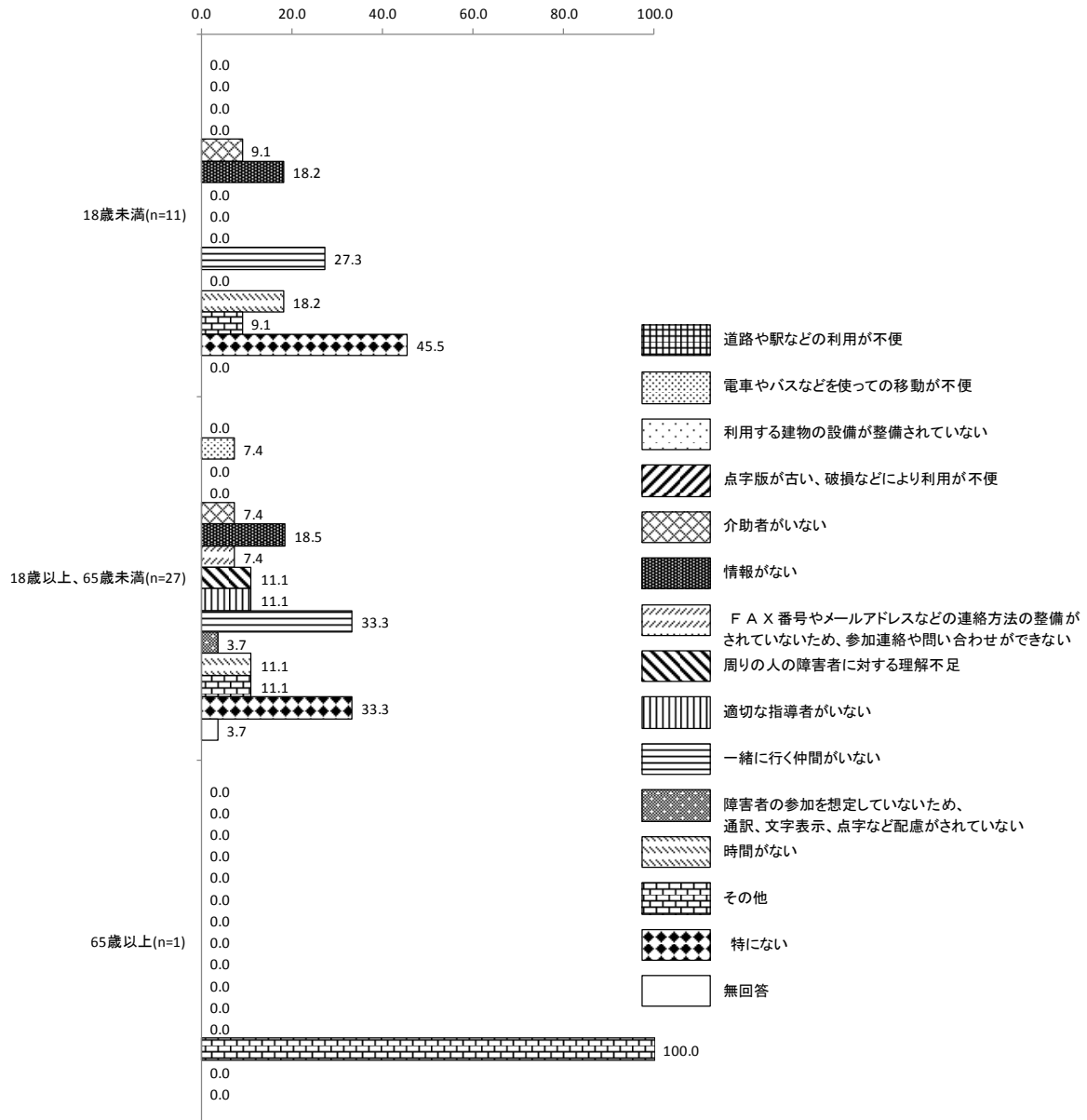


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>で「一緒に行く仲間がいない」が33.3%で多かった。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-13-8-2 知的障害者の社会活動しない理由 [%]

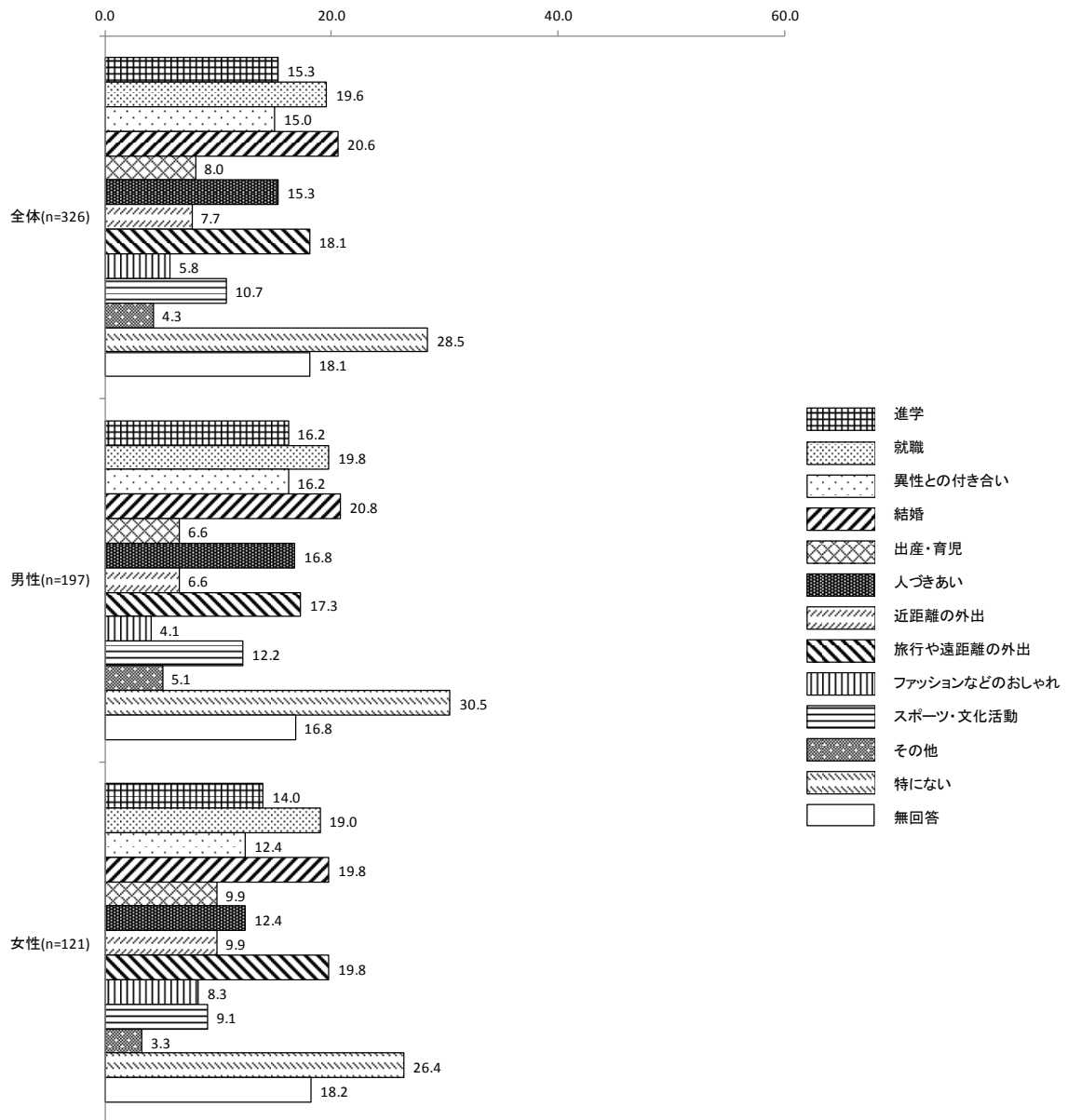


問 33 障害があるために諦めたり妥協をしたことはありますか。(当てはまる番号すべてに○)

対象者に障害が理由で諦めたり妥協したことを尋ねたところ、＜全体＞では「結婚」が20.6%で最も多かった。性別では＜男性＞で「結婚」が20.8%で最も多く、「就職」が19.8%でこれに次いだ。＜女性＞では「結婚」と「旅行や遠距離の外出」が19.8%で最も多く、「就職」が19.0%でこれに次いだ。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【全体・性別】

図 2-13-9-1 知的障害者の諦めたり妥協したこと [%]

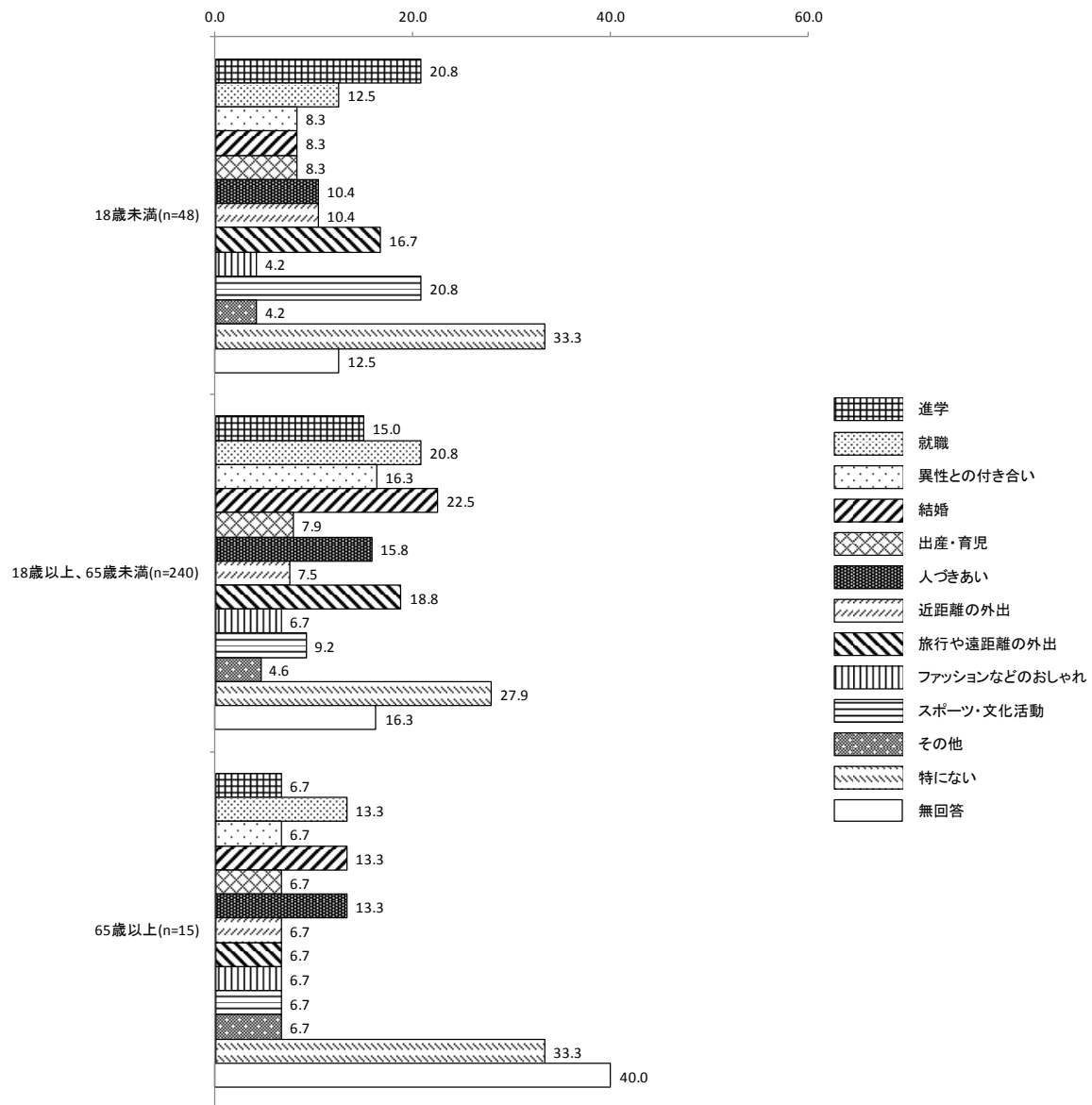


II 調査結果

年齢別では<18歳未満>で「進学」と「スポーツ・文化活動」が20.8%、<18歳以上、65歳未満>で「結婚」が22.5%、<65歳以上>で「就職」「結婚」「人づきあい」が13.3%でそれぞれ最も多かった。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【年齢別】

図 2-13-9-2 知的障害者の諦めたり妥協したこと [%]

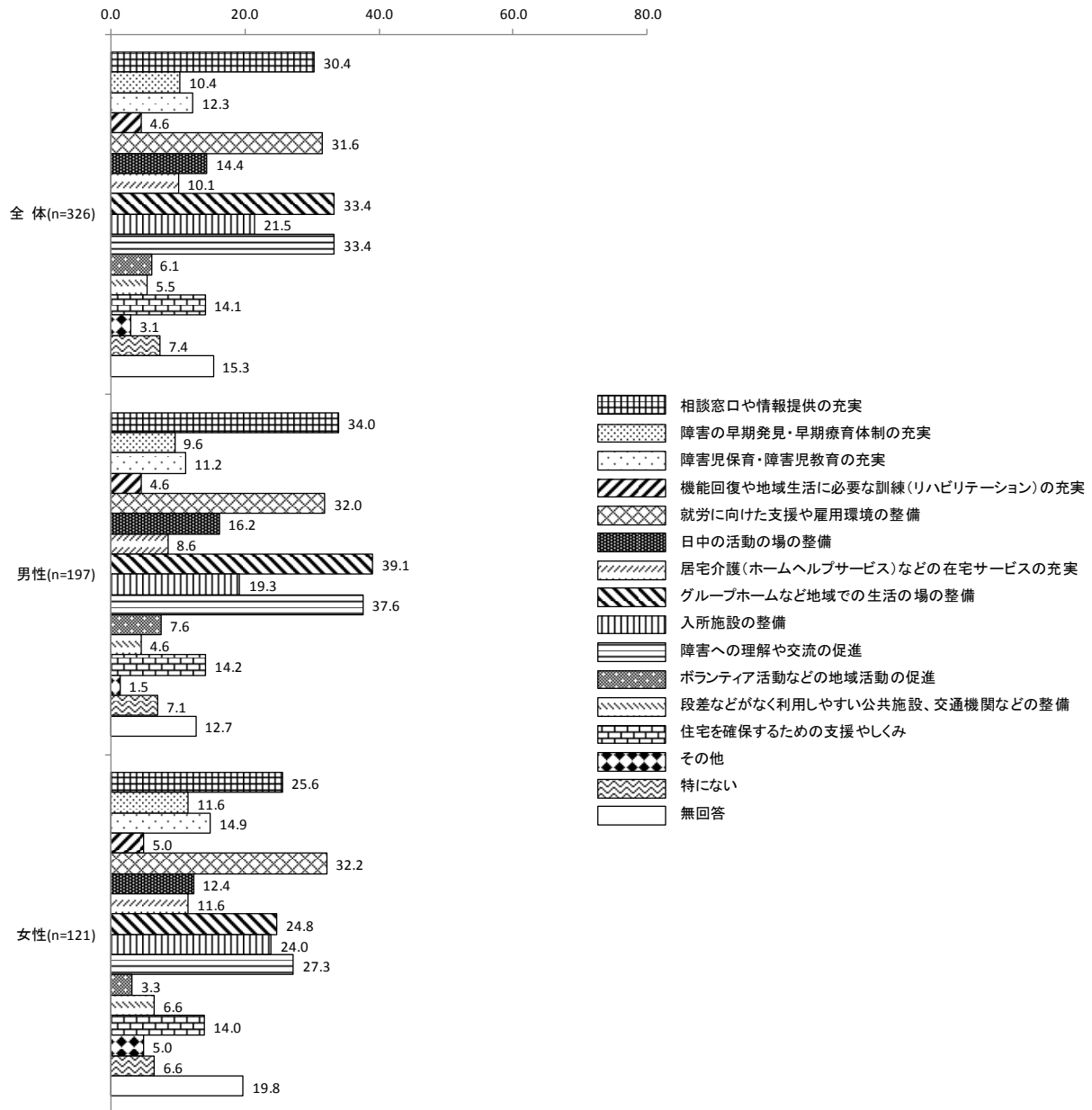


問 34 あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください。(あてはまる番号3つまでに○)

対象者に今後必要と思われるものについて尋ねたところ、＜全体＞では「グループホームなど地域での生活の場の整備」「障害への理解や交流の促進」が33.4%で最も多かった。＜男性＞は「グループホームなど地域での生活の場の整備」が39.1%、＜女性＞は「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が32.2%で最も多かった。

問 34 今後必要なもの (MA) 【全体・性別】

図 2-13-10-1 知的障害者の今後必要なもの [%]

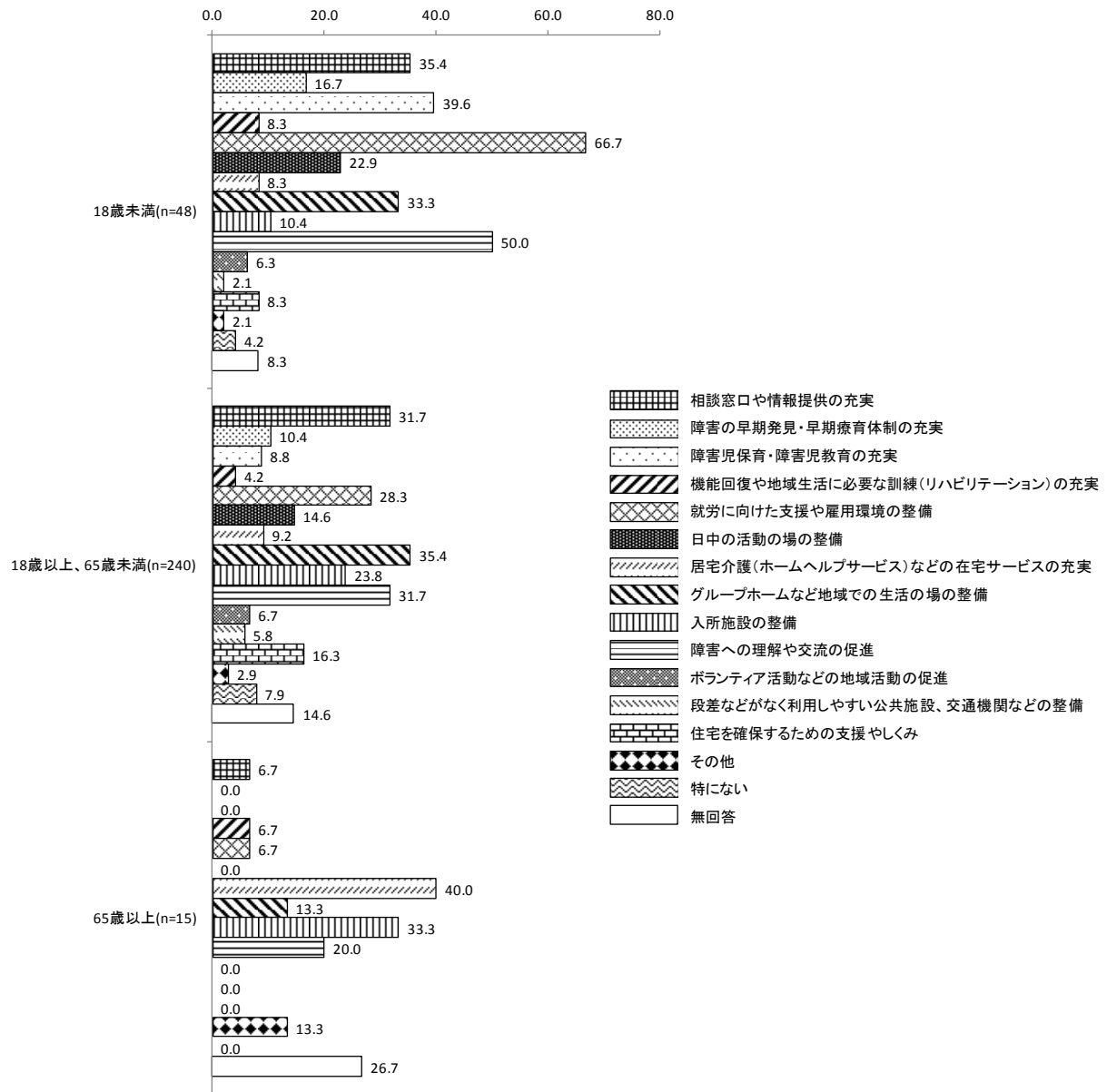


II 調査結果

年齢別では<18歳未満>で「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が66.7%、<18歳以上、65歳未満>で「グループホームなど地域での生活の場の整備」が35.4%、<65歳以上>で「居宅介護（ホームヘルプサービス）などの在宅サービスの充実」が40.0%で最も多かった。

問 34 今後必要なもの (MA) 【年齢別】

図 2-13-10-2 知的障害者の今後必要なもの [%]

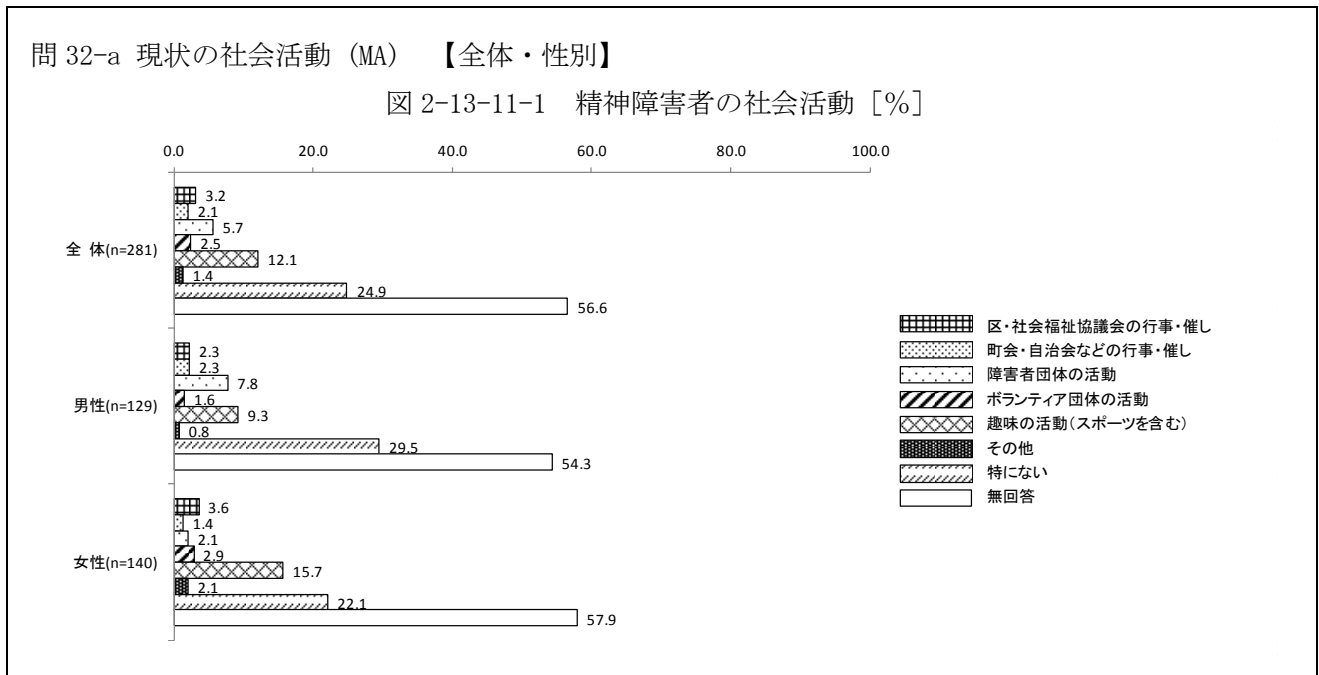


13-3 精神障害者の社会参加について

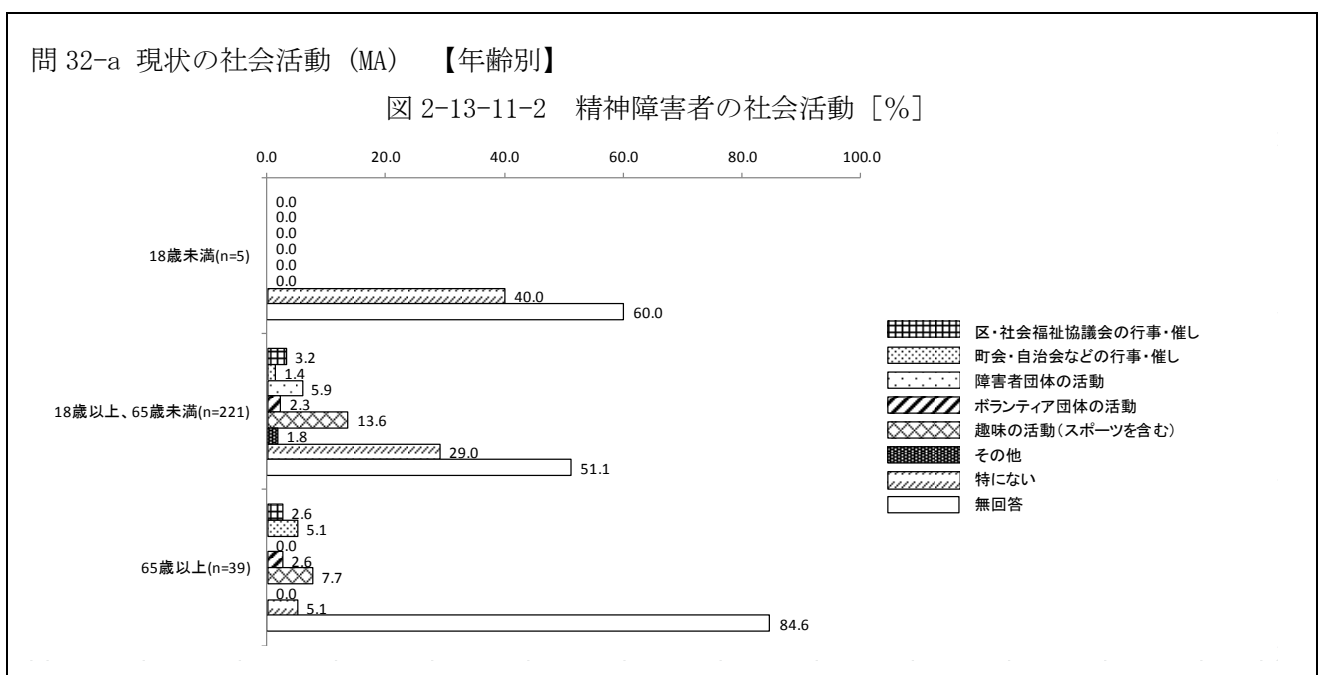
問 32 あなたが今行っている、また今後取り組みたい社会活動はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

a. 今、行っている社会活動

対象者に現在行っている社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が12.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が9.3%と15.7%で最も多く、＜男性＞では「障害者団体の活動」が7.8%、＜女性＞では「区・社会福祉協議会の行事・催し」が3.6%でこれに次いだ。



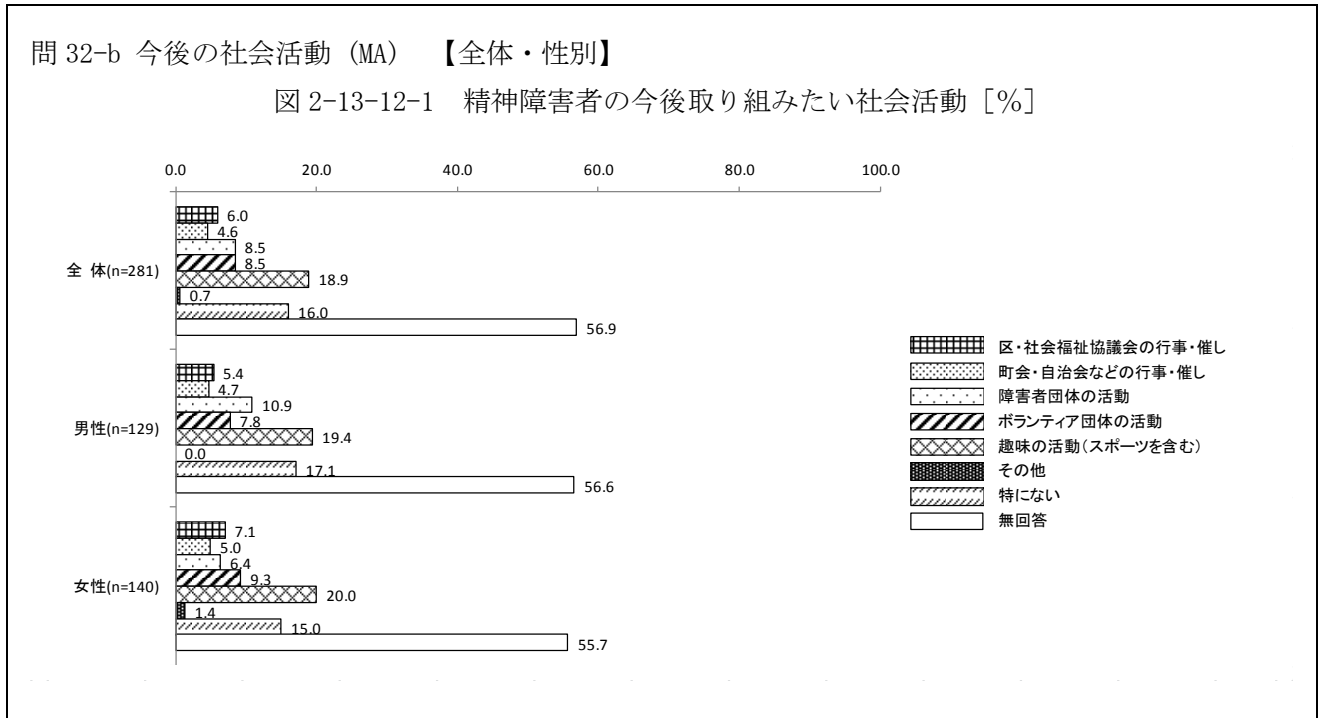
年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞で「趣味の活動（スポーツを含む）」が13.6%と7.7%で最も多く、＜65歳以上＞では「町会・自治会などの行事・催し」が5.1%でこれに次いだ。



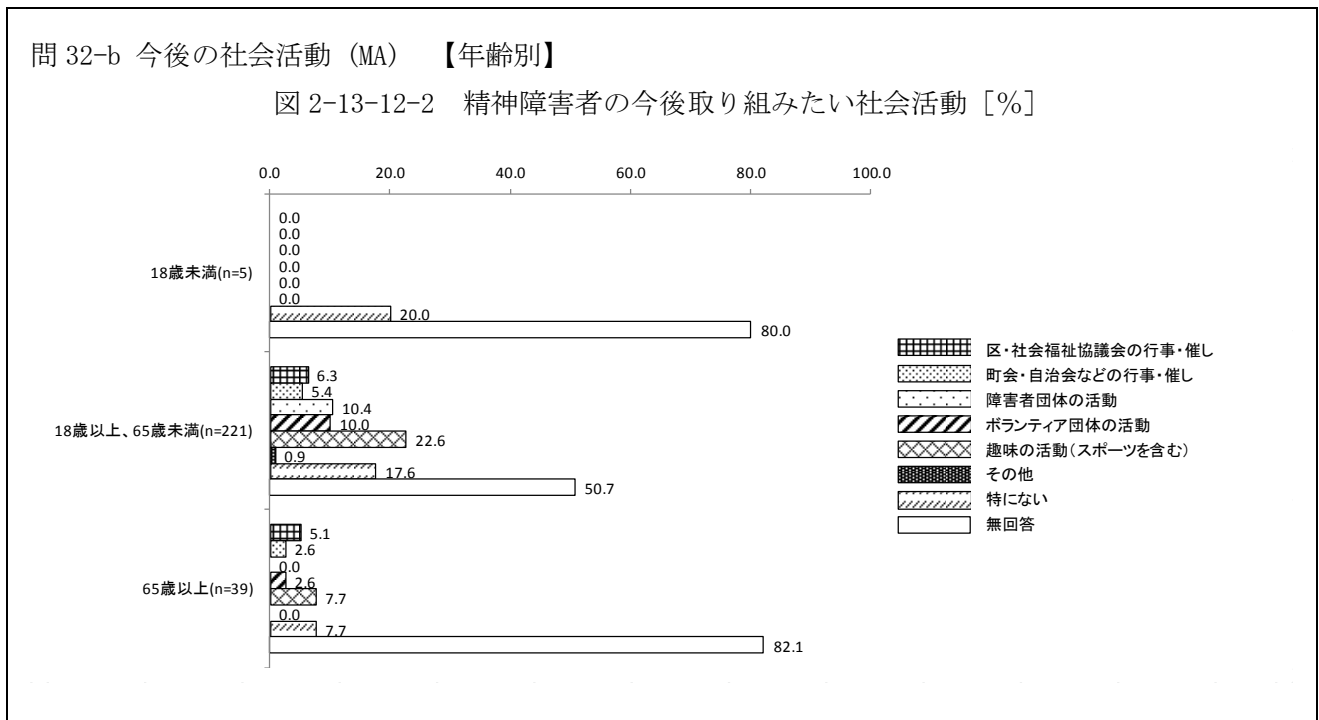
II 調査結果

b. 今後、取り組みたい社会活動

対象者に今後取り組みたい社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が18.9%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が19.4%と20.0%で最も多く、＜男性＞では「障害者団体の活動」が10.9%、＜女性＞では「ボランティア団体の活動」が9.3%でこれに次いだ。



年齢別では「趣味の活動（スポーツを含む）」で＜18歳以上、65歳未満＞と＜65歳以上＞が22.6%と7.7%で最も多かった。

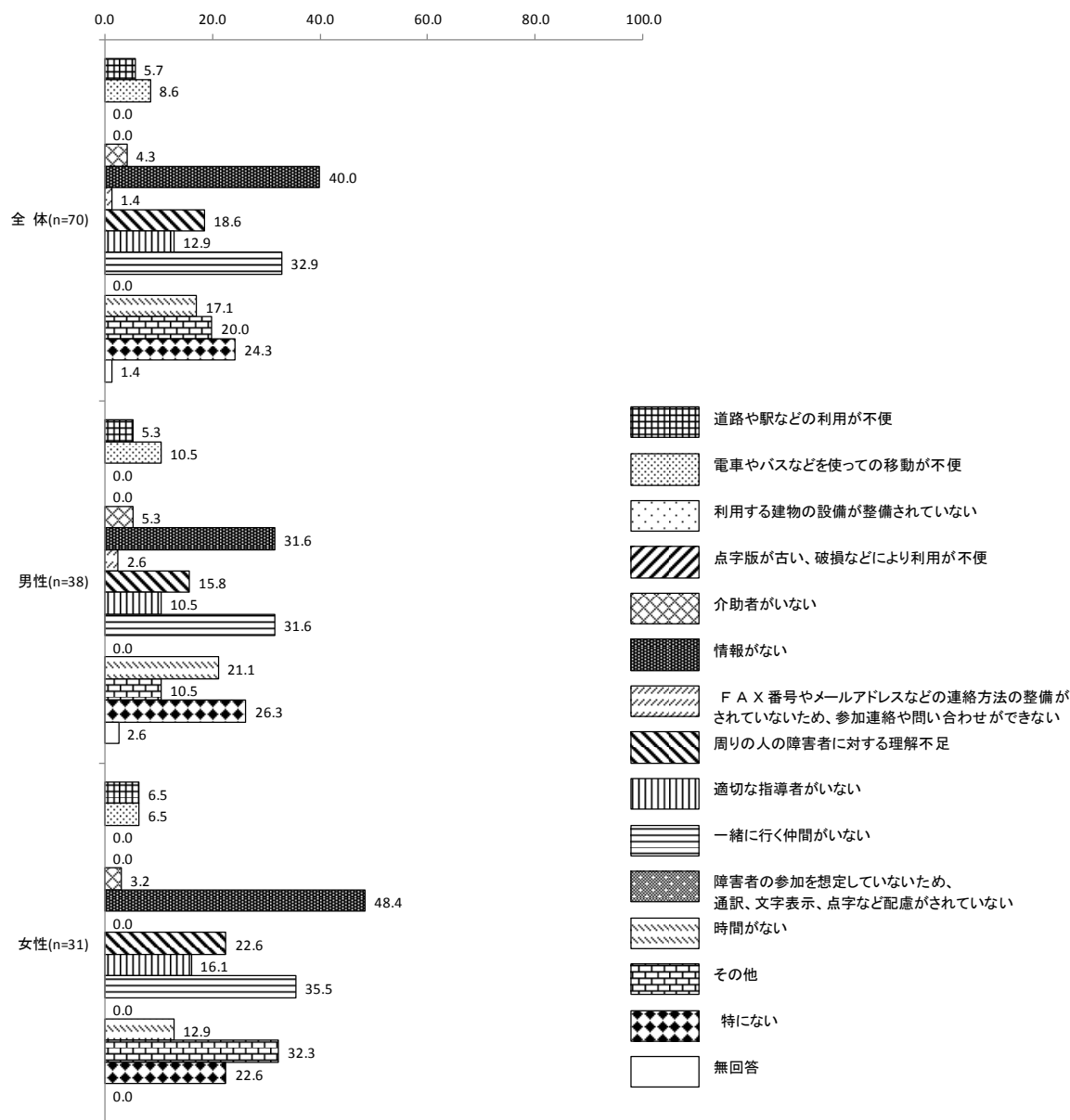


問 32-1 社会活動を行っていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

社会活動をしていない理由について尋ねたところ、<全体>では「情報がない」が40.0%で最も多かった。<男性>では「情報がない」と「一緒に行く仲間がいない」が31.6%で最も多かった。<女性>では「情報がない」が48.4%で最も多く、「一緒に行く仲間がいない」が35.5%でこれに次いだ。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【全体・性別】

図 2-13-13-1 精神障害者の社会活動しない理由 [%]

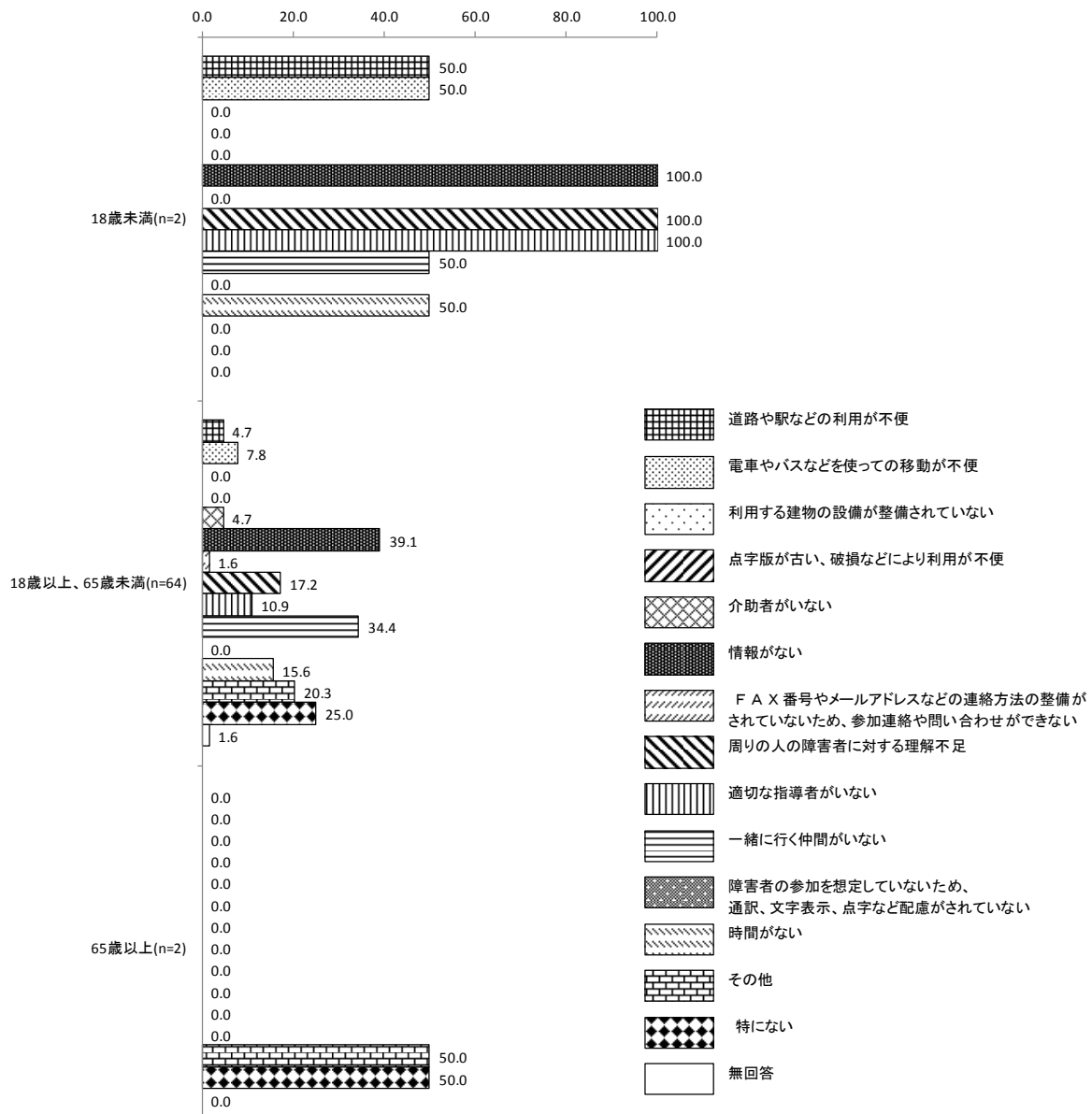


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>以外は僅少の回答数となり、<18歳以上、65歳未満>では「情報がない」が39.1%で最も多く、「一緒に行く仲間がいない」が34.4%でこれに次いだ。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-13-13-2 精神障害者の社会活動しない理由 [%]

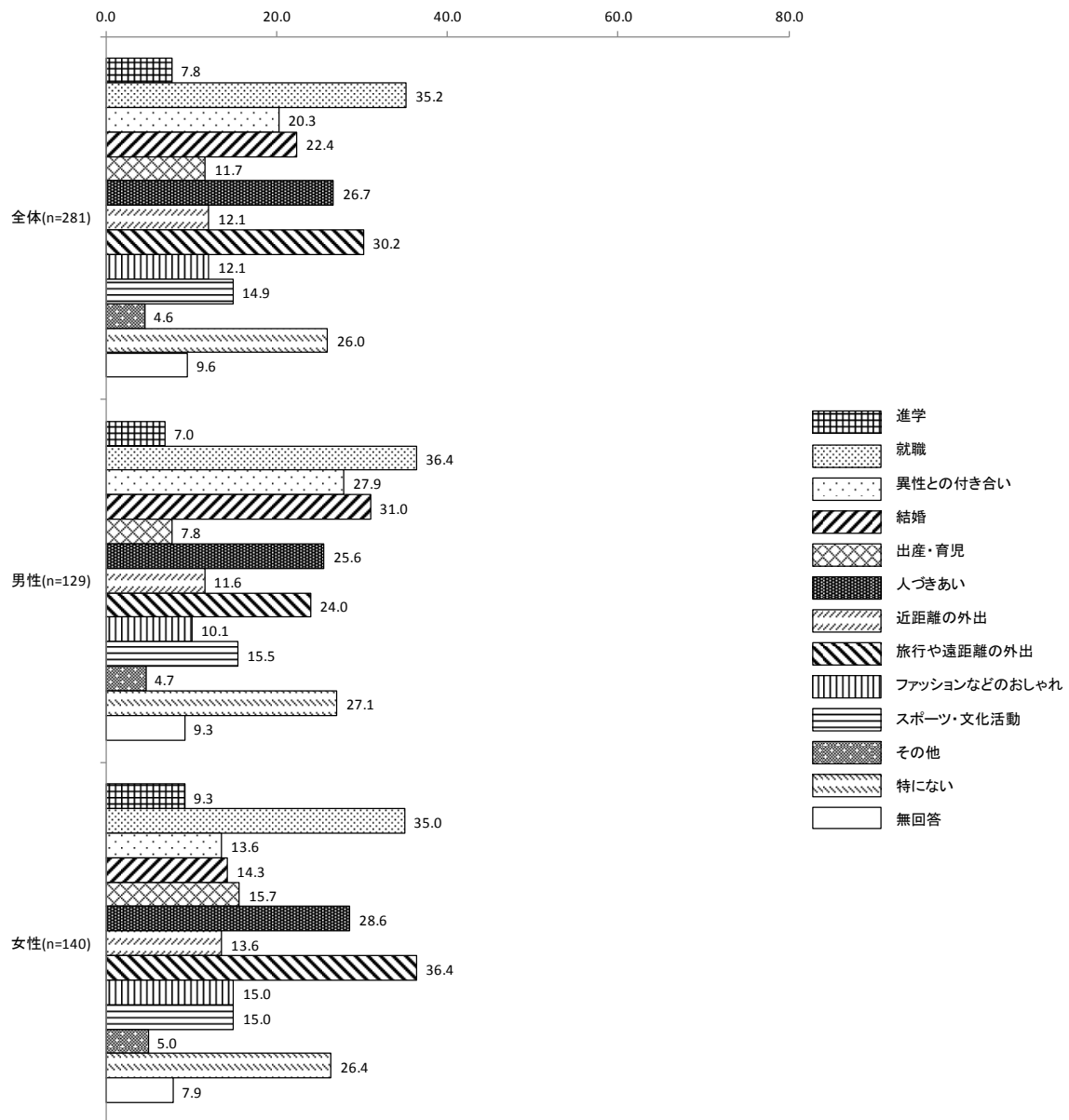


問 33 障害があるために諦めたり妥協をしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に障害が理由で諦めたり妥協したことを尋ねたところ、＜全体＞では「就職」が35.2%で最も多かった。性別では＜男性＞で「就職」が36.4%、＜女性＞では「旅行や遠距離の外出」が36.4%で最も多く、「就職」が35.0%でこれに次いだ。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【全体・性別】

図 2-13-14-1 精神障害者の諦めたり妥協したこと [%]

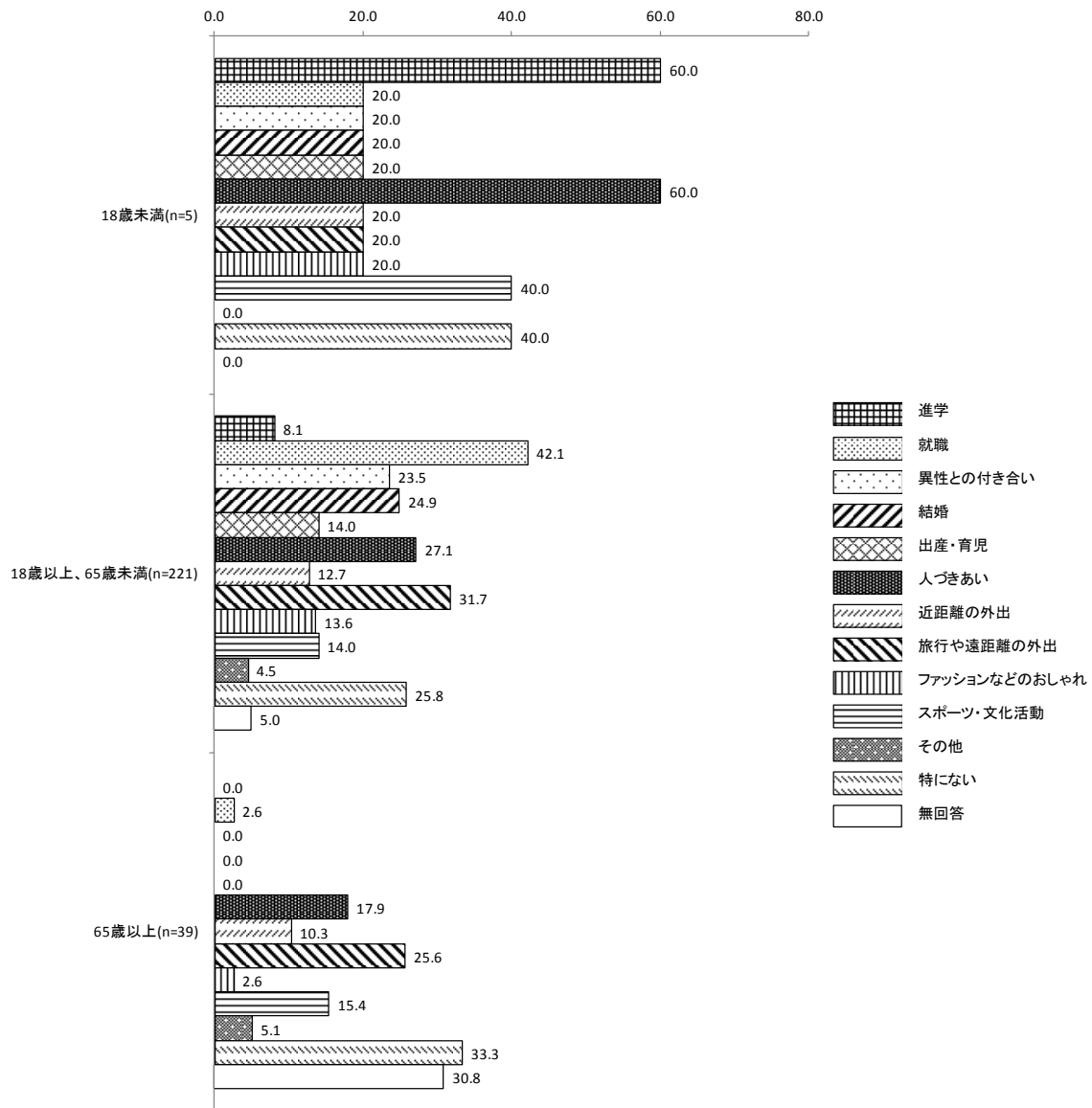


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>では「就職」が42.1%、<65歳以上>で「旅行や遠距離の外出」が25.6%でそれぞれ最も多かった。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【年齢別】

図 2-13-14-2 精神障害者の諦めたり妥協したこと [%]

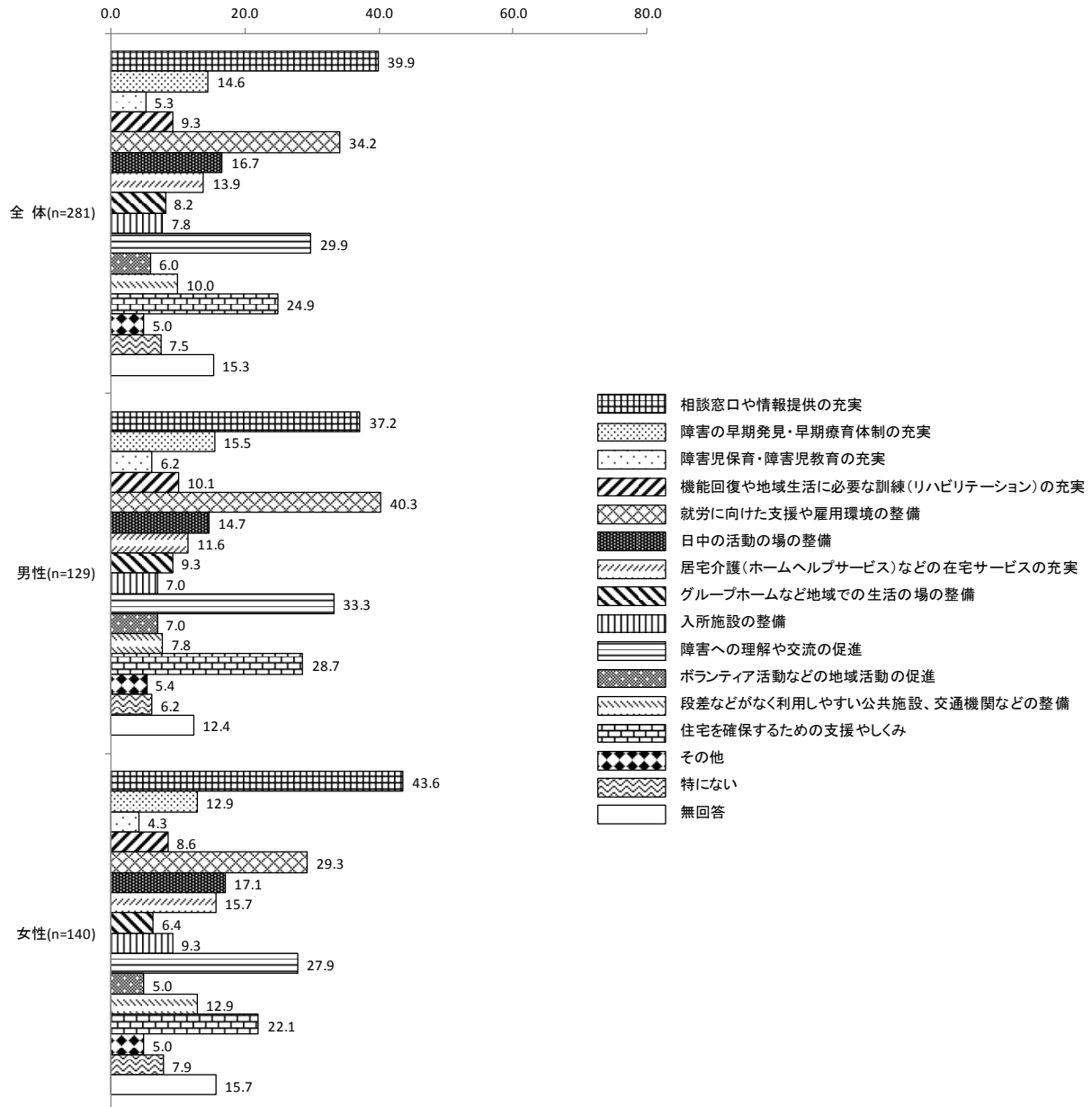


問 34 あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください。(あてはまる番号3つまでに○)

対象者に今後必要と思われるものについて尋ねたところ、＜全体＞では「相談窓口や情報提供の充実」が39.9%で最も多かった。性別では＜男性＞で「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が40.3%で最も多く、＜女性＞では「相談窓口や情報提供の充実」が43.6%で最も多かった。

問 34 今後必要なもの (MA) 【全体・性別】

図 2-13-15-1 精神障害者の今後必要なもの [%]

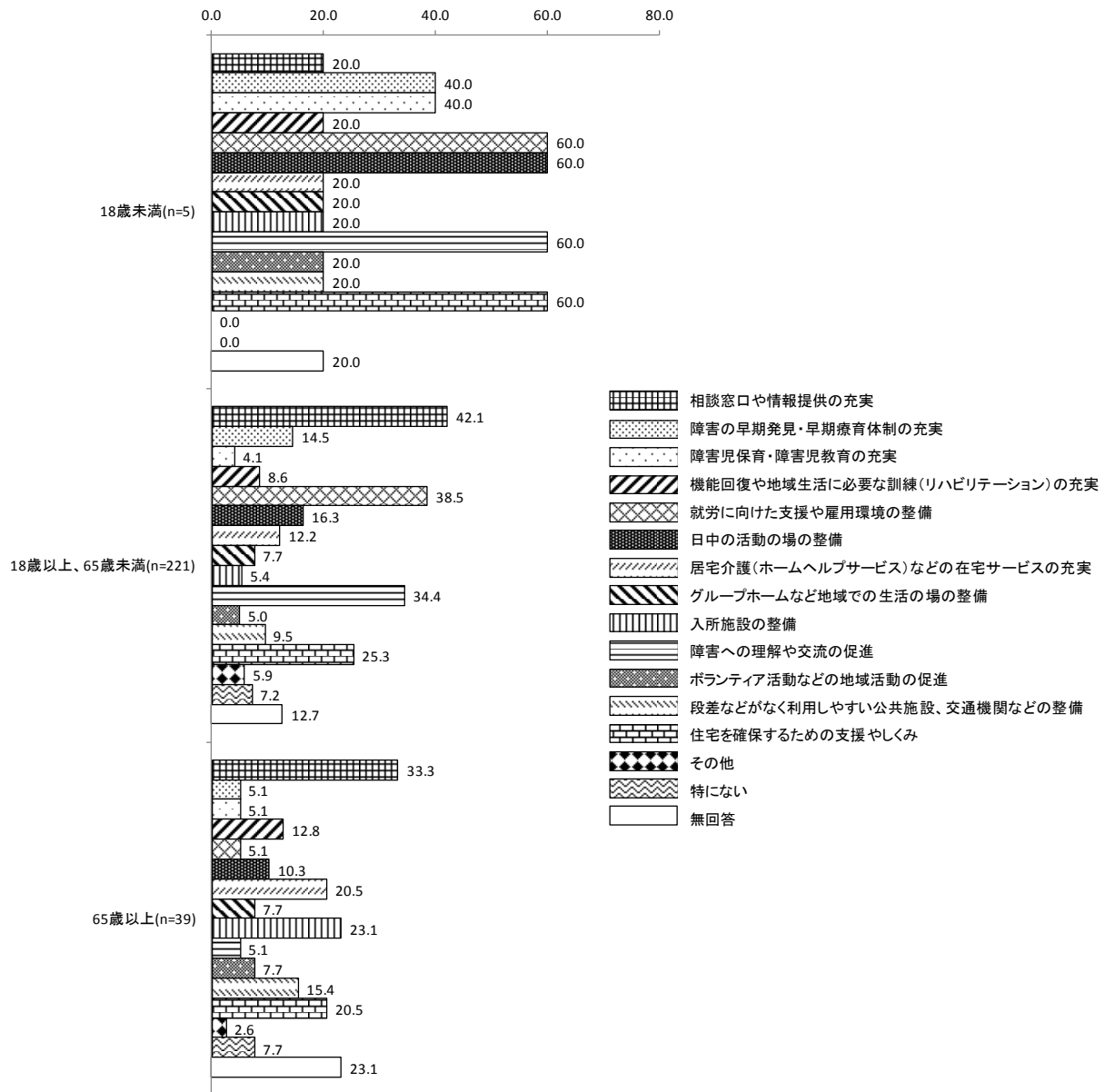


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「相談窓口や情報提供の充実」が42.1%と33.3%で最も多かった。

問 34 今後必要なもの (MA) 【年齢別】

図 2-13-15-2 精神障害者の今後必要なもの [%]

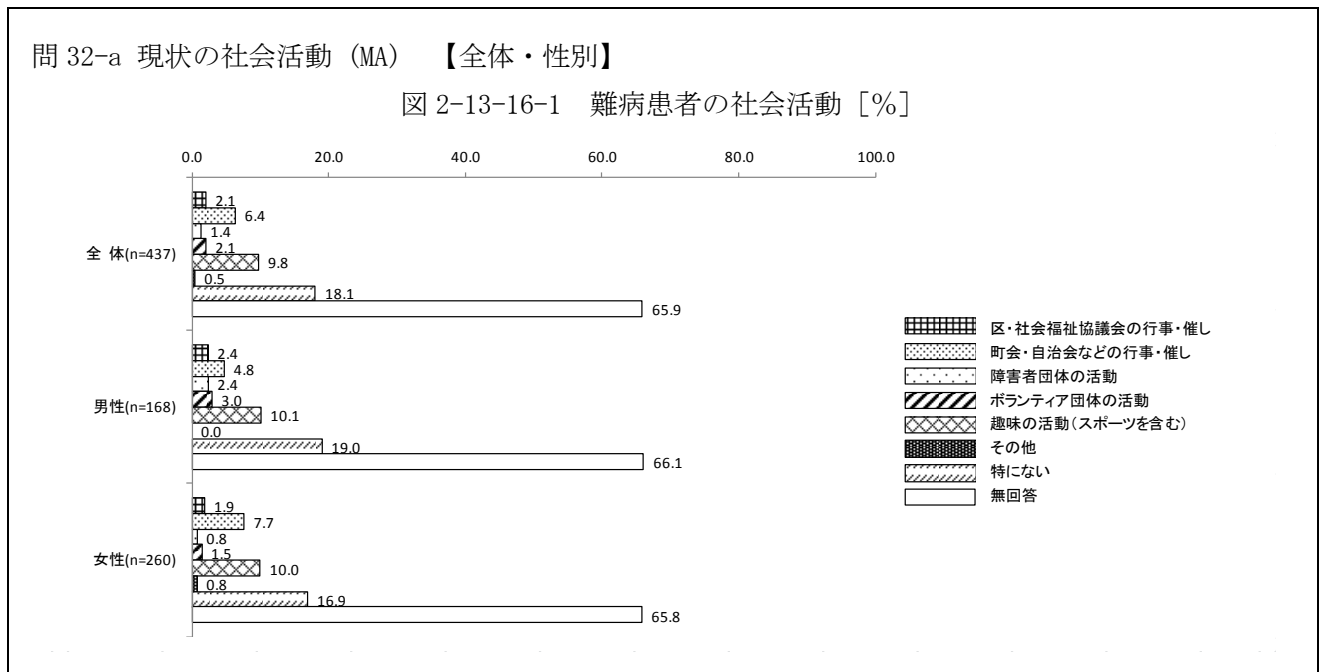


13-4 難病患者の社会参加について

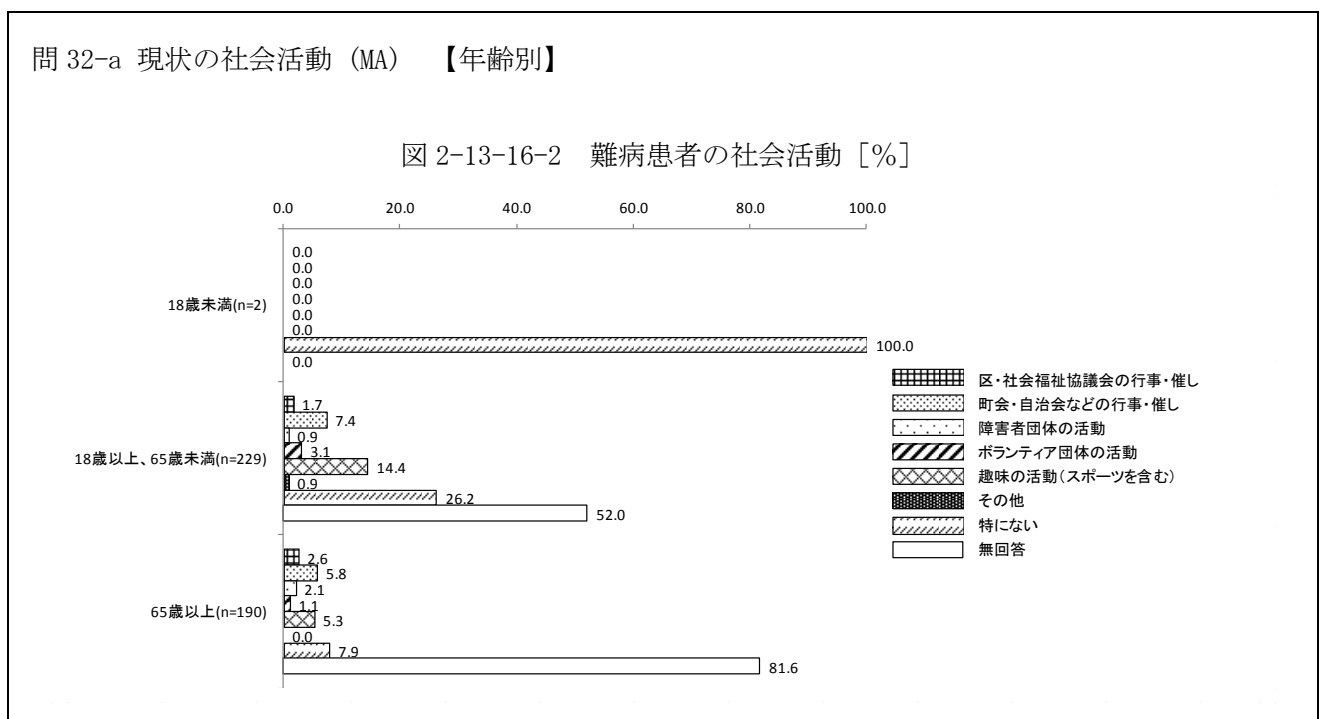
問 32 あなたが今行っている、また今後取り組みたい社会活動はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

a. 今、行っている社会活動

対象者に現在行っている社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が9.8%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が10.1%と10.0%で最も多く、「町会・自治会などの行事・催し」が4.8%と7.7%でこれに次いだ。



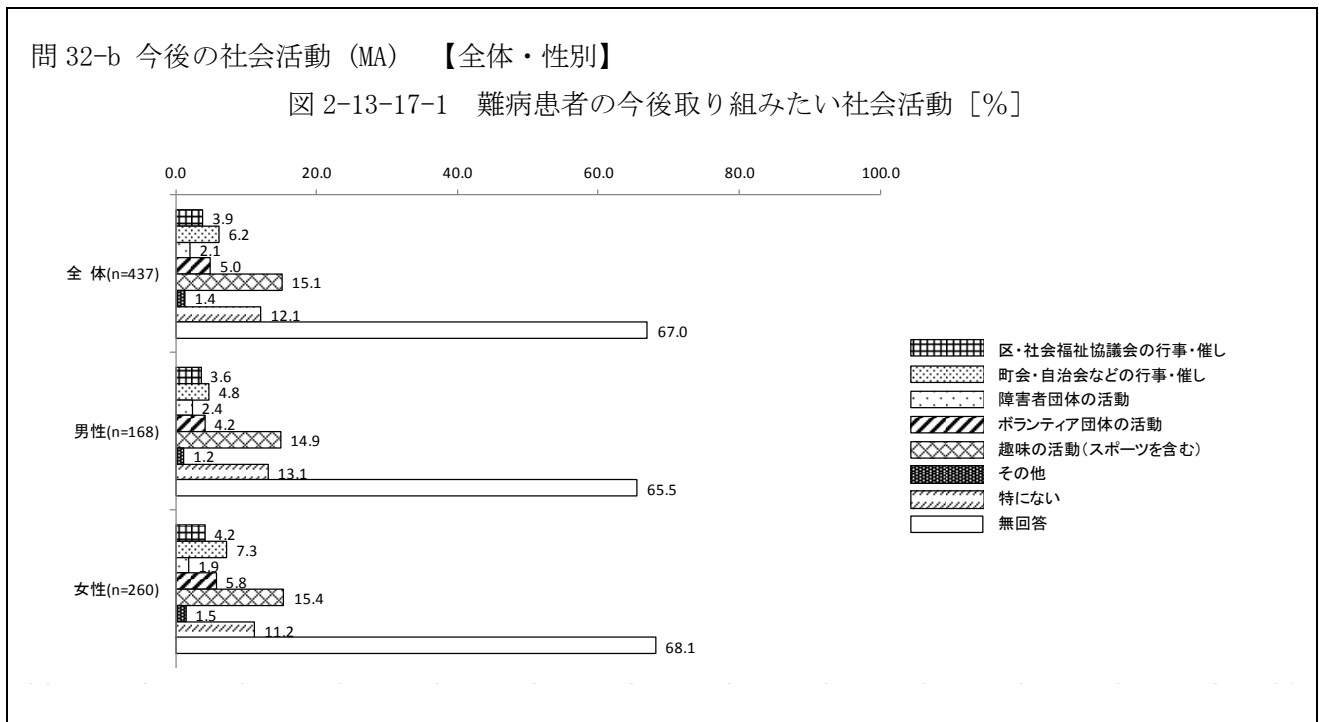
年齢別では＜18歳以上、65歳未満＞で「趣味の活動（スポーツを含む）」が14.4%で最も多く、＜65歳以上＞では「町会・自治会などの行事・催し」が5.8%で最も多かった。



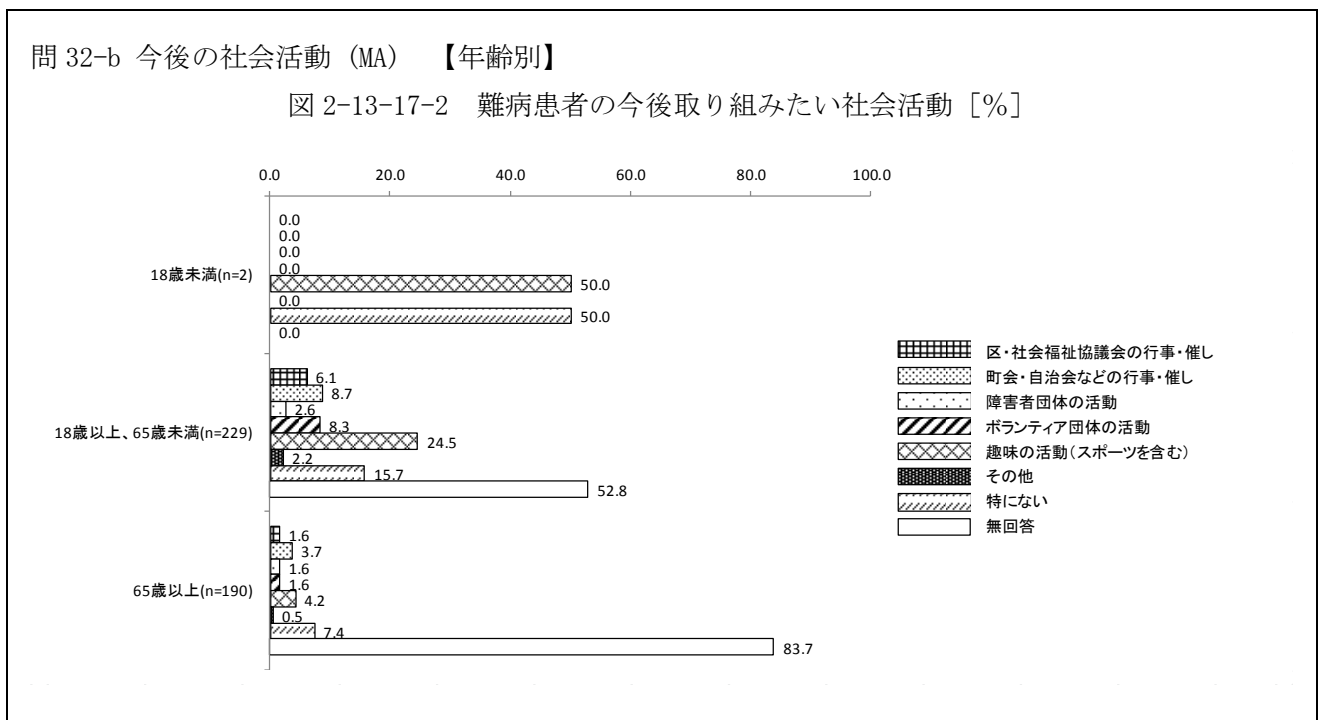
II 調査結果

b. 今後、取り組みたい社会活動

対象者に今後取り組みたい社会活動について尋ねたところ、＜全体＞では「趣味の活動（スポーツを含む）」が15.1%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「趣味の活動（スポーツを含む）」が14.9%と15.4%で最も多く、「町会・自治会などの行事・催し」が4.8%と7.3%でこれに次いだ。



年齢別でもすべての年代で「趣味の活動（スポーツを含む）」が最も多かったが、＜18歳以上、65歳未満＞では24.5%、＜65歳以上＞では4.2%と数値には大きなバラつきがあった。

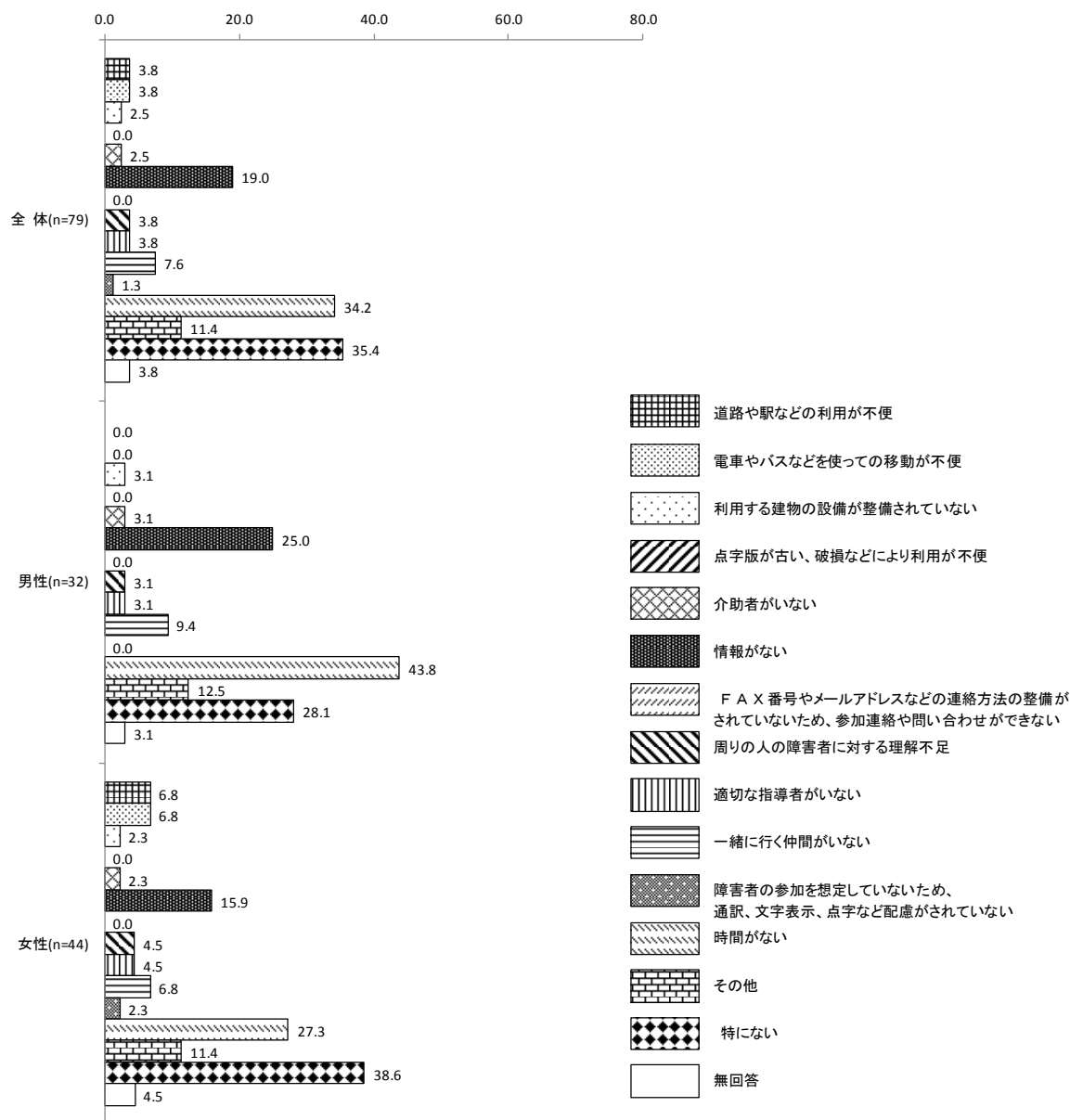


問 32-1 社会活動を行っていない理由は何ですか。

社会活動をしていない理由について尋ねたところ、<全体>では「時間がない」が34.2%で最も多かった。性別では<男女>共に「時間がない」が43.8%と27.3%で最も多く、「情報がない」が25.0%と15.9%でこれに次いだ。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【全体・性別】

図 2-13-18-1 難病患者の社会活動しない理由 [%]

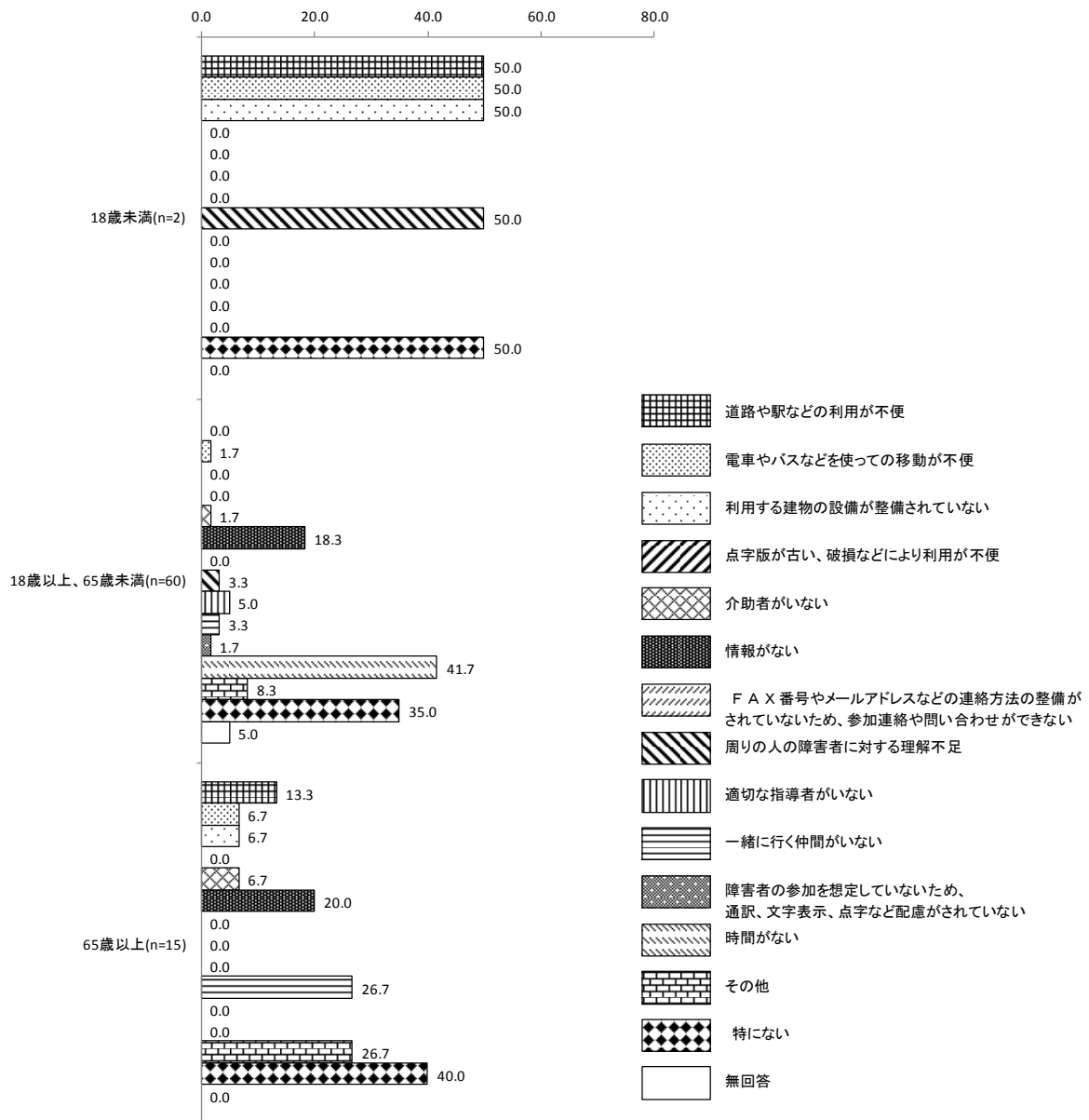


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>で「時間がない」が41.7%で最も多く、<65歳以上>では「一緒に行く仲間がいない」が多かった。

問 32-1 社会活動しない理由 (MA) 【年齢別】

図 2-13-18-2 難病患者の社会活動しない理由 [%]

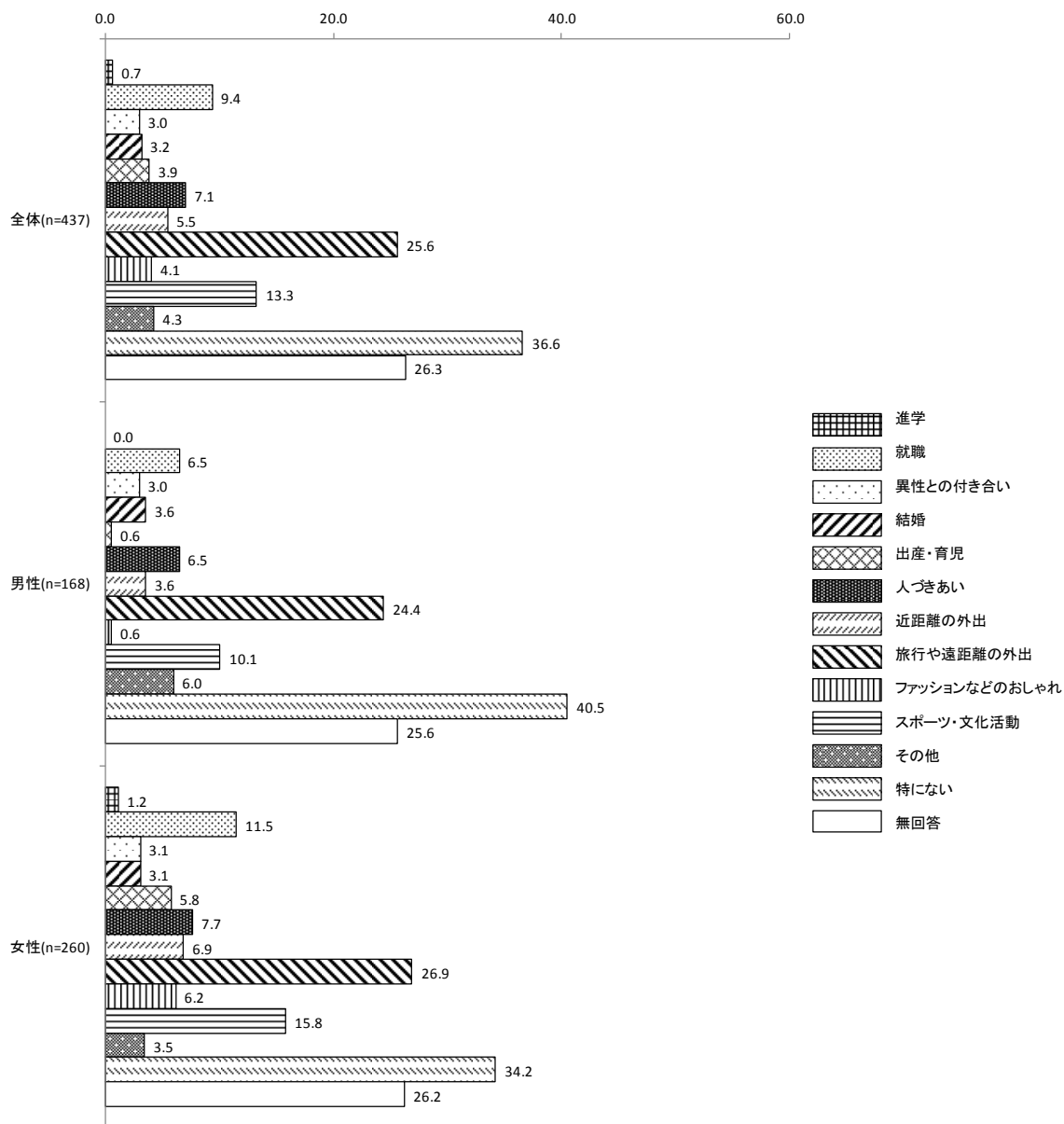


問 33 障害があるために諦めたり妥協をしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

対象者に障害が理由で諦めたり妥協したことを尋ねたところ、＜全体＞では「旅行や遠距離の外出」が25.6%で最も多かった。性別では＜男女＞共に「旅行や遠距離の外出」が24.4%と26.9%で最も多く、「スポーツ・文化活動」が10.1%と15.8%でこれに次いだ。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【全体・性別】

図 2-13-19-1 難病患者の諦めたり妥協したこと [%]

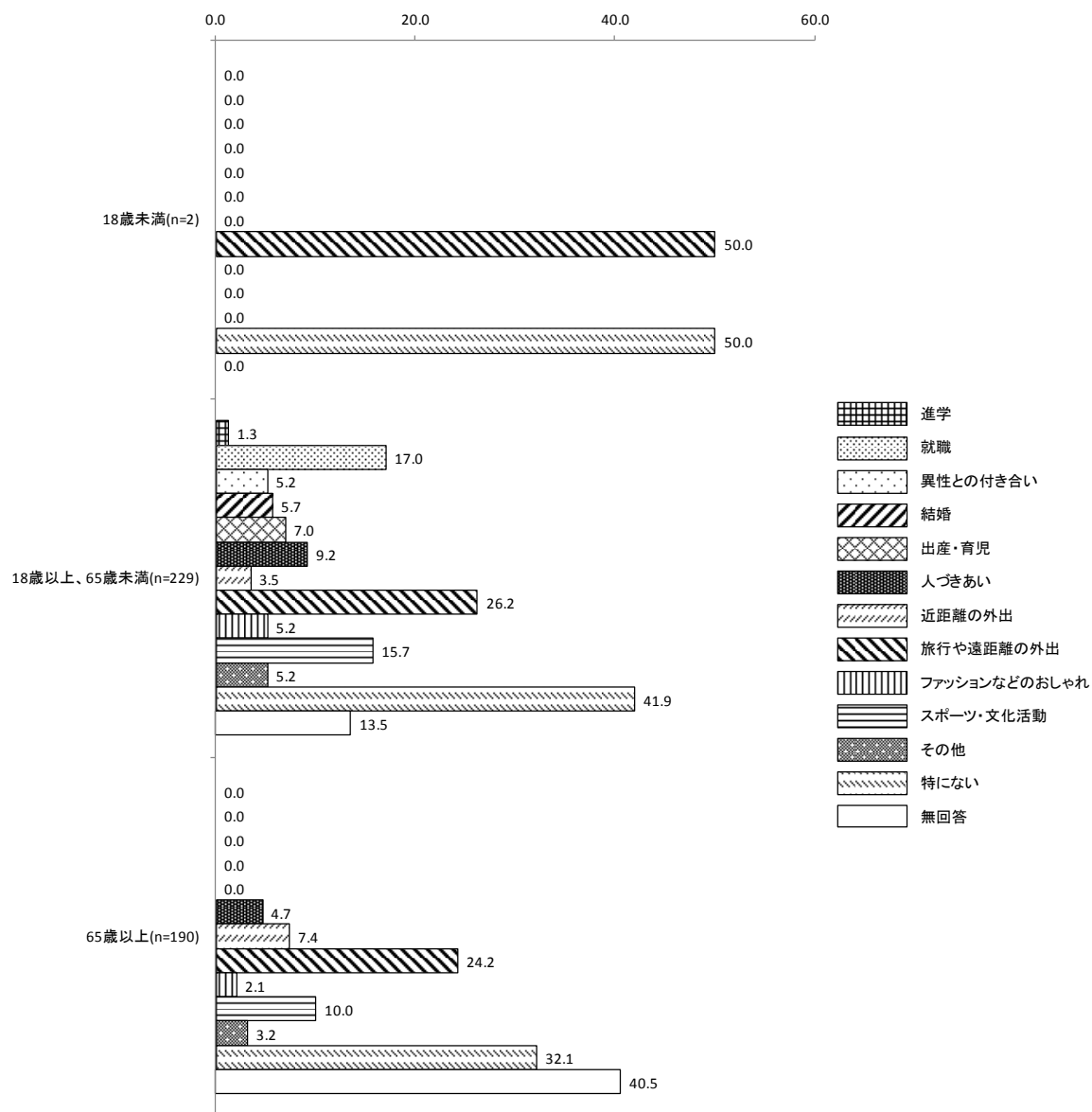


II 調査結果

年齢別でも「旅行や遠距離の外出」がすべての年代で最も多く、<18歳以上、65歳未満>では「就職」が17.0%でこれに次いだ。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【年齢別】

図 2-13-19-2 難病患者の諦めたり妥協したこと [%]

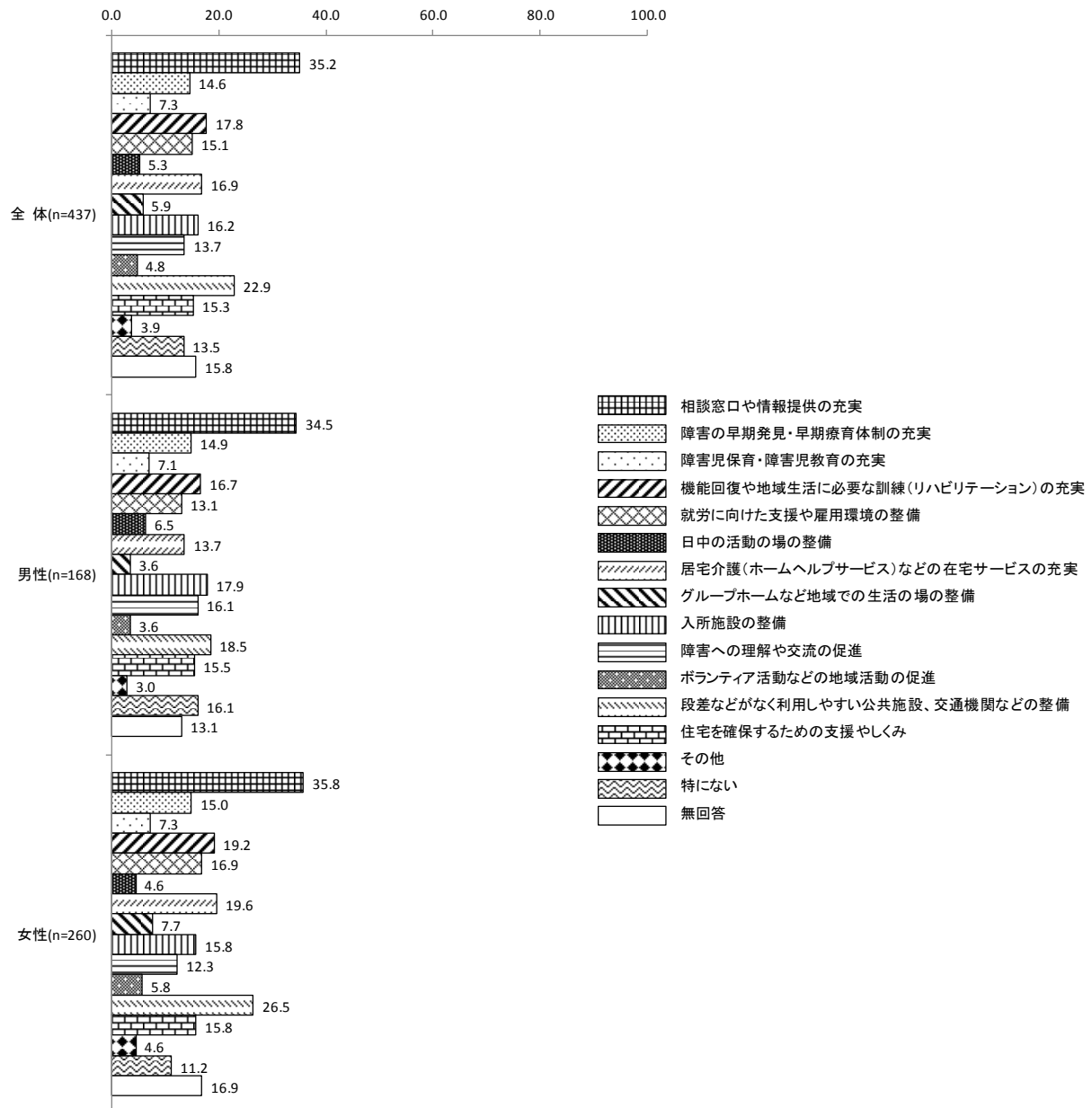


問 34 あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください。(あてはまる番号3つまでに○)

対象者に今後必要と思われるものについて尋ねたところ、＜全体＞では「相談窓口や情報提供の充実」が35.2%で最も多かった。性別でも＜男女＞共に「相談窓口や情報提供の充実」が34.5%と35.8%で最も多く、「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が18.5%と26.5%でこれに次いだ。

問 34 今後必要なもの (MA) 【全体・性別】

図 2-13-20-1 難病患者の今後必要なもの [%]

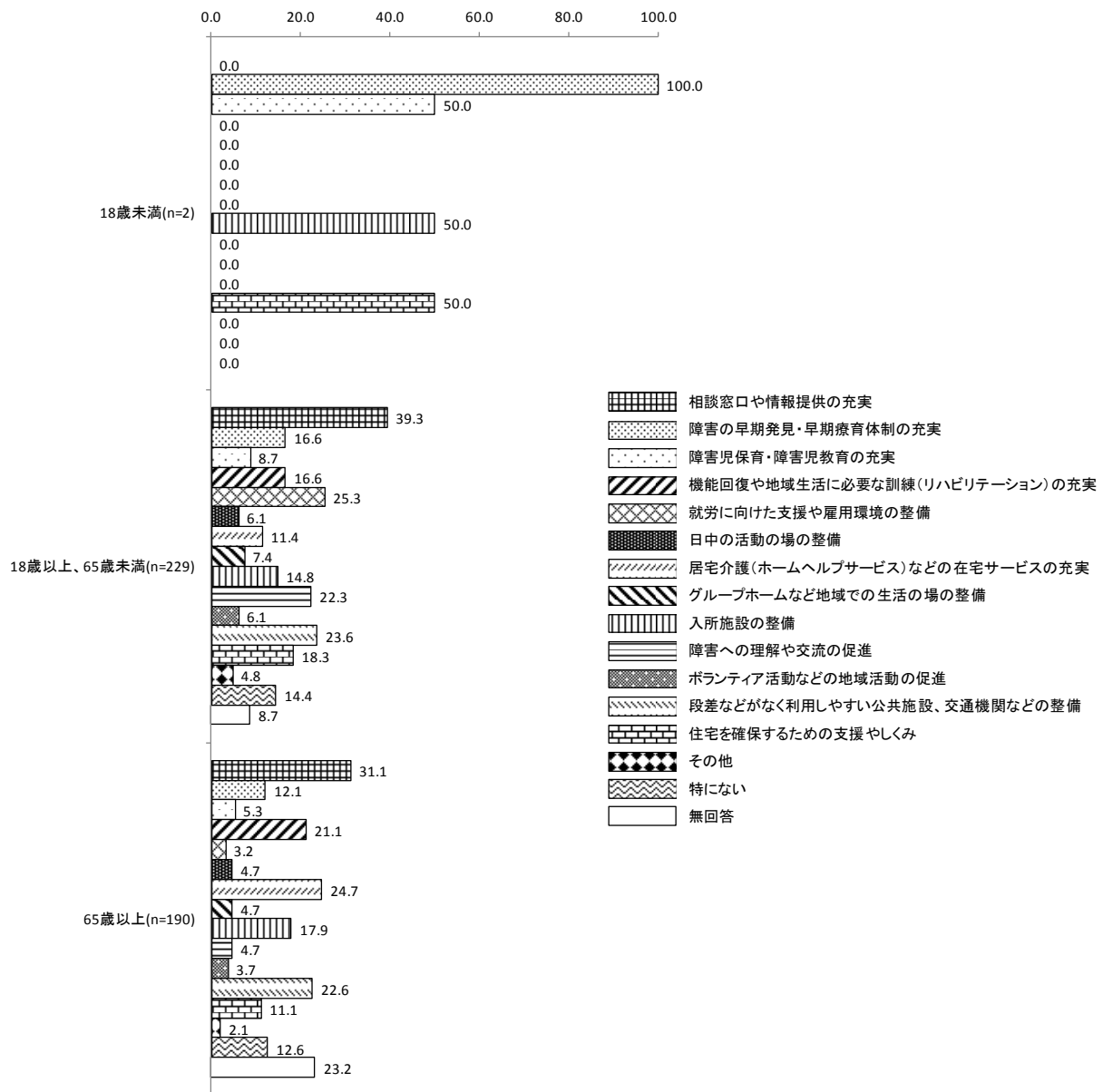


II 調査結果

年齢別では<18歳以上、65歳未満>と<65歳以上>で「相談窓口や情報提供の充実」が39.3%と31.1%で最も多かった。

問 33 諦めたり妥協したこと (MA) 【年齢別】

図 2-13-20-2 難病患者の今後必要なもの [%]



14. 自由意見

【自由意見】ご意見・ご要望などありましたら自由にお書きください。(身体障害)

ご意見・ご要望を尋ねたところ、全体で23.1%の方が回答した。

主な意見（まとめ）

順位	意見	件数
1位	生活・経済に関すること	26件
2位	福祉関連サービスに関すること	23件
3位	公共の場や交通機関に関すること	21件
4位	住宅など住まいに関すること	20件
5位	障害に対する理解など	17件
	その他	73件

主な意見（一部抜粋）

1. 生活・経済に関すること

- ・ 介護の収入面で同居している子供に負担をかけてしまうので、家賃控除等があれば助かる。
(女性 60歳代)
- ・ どちらかが倒れたら収入は年金だけ。今は主人の助けで家事を手伝ってくれているので何とか生活できていますが、将来を考えたら不安で、国・区の助けが何よりの支えです。
(女性 70歳代)
- ・ 社会的費用の負担額が大きい。
(男性 60歳代)
- ・ 家の中でゴロゴロばかりしてはられないので、アルバイト等の軽作業などで就労したいと思っています。よい、御指導等をしていただければ幸いです。
(男性 60歳代)

2. 福祉関連サービスに関すること

- ・ 障害を持つ者が、安心して安全に生活できるよう行政全般（財源確保等）が、保障する体制の確立を切に望みます。
(男性 60歳代)
- ・ 通所リハビリは増えてきたが、訪問リハビリはないように思います。訪問診療、訪問看護は充実しているので訪問リハビリに力を入れてほしい。
(男性 60歳代)
- ・ もっと福祉課とコミュニケーションをとって、聴覚障害者の求めるものを理解してほしい。また、障害者に必要な支援の内容も知りたい。
(女性 50歳代)
- ・ 平日でないといけない手続きがほとんどで、会社を休んで窓口に行かないとならず不便です。メール、HP、Fax など他の方法でもできるようにしてほしい。
(女性 40歳代)

3. 公共の場や交通機関に関すること

- ・ 通学に車を利用しています。片道1時間半程かかります。電車通学は車椅子を必要とするため乗り換え混雑などで無理があるため、免許を取りました。ガソリン代がかなりかかります。ガソリン代の補助がもう少しあると助かります。
(女性 40歳代(代筆))
- ・ 王子駅に、もっと便利な場所にエレベーターを作ってください。皆さんもそう思っていると思います。役所の最寄り駅にしては悲しすぎると思います。
(女性 50歳代)
- ・ 駅のホームの転落防止のための「ホームドアの設備」。満員電車の緩和（ホームから落ちそうになったことで、トラウマになっている）。
(女性 50歳代)

4. 住宅など住まいに関すること

- ・ 老人増加は自然の流れ。国や自治体は廃校の利用や建物を建て、営利を考えない施設作りをすべきだと思う。 (女性 60歳代)
- ・ 寝たきり状態で、自宅介護をしていますが、できれば、バリアフリーの都営住宅へ移行できればありがたいと思っています。現在の都営住宅に特に不満はないのですが、入浴サービスや日常介護には少々手狭な状態です。 (女性 50歳代 (代筆))
- ・ 今は元気に自分の事は出来ますが、将来、動けなくなった時の生き方に不安があります。国又は区で安価に入れるホームがあると安心です。 (男性 70歳代)

5. 障害に対する理解

- ・ 心疾患を持っている3歳児です。とても元気で見た目では障害児と分かりません。バスに乗った時に、内部障害と分かるためのキーホルダーがあるという広告を見かけたことがあります。積極的に配布する必要はないと思いますが、区役所に置いておき、必要ならば自由に持っていてもいいというのでないと助かると思います。 (男性 幼児 (代筆))
- ・ 人が見てわかる障害者は、誰もが助けやすいですが、人が見てもわからない障害者は、理解されず、かえって誤解されてしまうことが多いです。どうしようもないことですが、そんな人達を少しでも理解してくれる人が増えることを願ってやみません。 (男性 50歳代)
- ・ 私は健常者と同じ様に就学し、働いています。社会に出てみて、学生時代には味わった事のない、偏見や差別にあいましたが、何とか自分や会社と折り合いをつけてやっています。健常者と同じ条件で働く障害者と交流してみたい。又、乗り越えた自分だからこそ出来る、同じ様に悩む若い人の相談にもものってあげたいと思います。 (女性 50歳代)

【自由意見】ご意見・ご要望などありましたら自由にお書きください。(知的障害)

ご意見・ご要望を尋ねたところ、全体で26.1%の方が回答した。

主な意見 (まとめ)

順位	意見	件数
1位	福祉関連サービスに関すること	25件
2位	医療内容、医療機関、施設等に関すること	11件
3位	生活・経済に関すること	10件
4位	情報提供などに関すること	8件
5位	学校など教育に関すること	6件
	その他	13件

主な意見 (一部抜粋)

1. 福祉関連サービスに関すること

- ・ ケアホームをすぐにでも造って頂きたい。親も一年ごとに残り少ない人生なので、子供も老化が速く目にみえてわかる。 (男性 30歳代 (代筆))
- ・ 出来れば、歩いて行ける地域に区立の障害者(児)センター(障害者の建物が出来ると良いと思います。 (男性 40歳代 (代筆))
- ・ 重度の知的障がい者のグループホーム(肢体も含む)が滞っているときいております。住民の方々もそれぞれ事情があるのだと思いますが、障がい者も一緒に住める街、北区!をアピールできれば、お互いに良い環境になっていくのではと思っています。 (男性 10歳代 (代筆))

2. 医療内容、医療機関、施設等に関すること

- ・ 近くに(町中)障害者でも気安くかかれる歯科を欲しいと思います。 (女性 50歳代 (代筆))
- ・ 昨秋肺炎で入院しましたが、特種(知的障害者)なため、特別室、付き添い2人で莫大な費用がかかりました。施設はこのような状態に対応していないし出来ません。 (女性 70歳代 (代筆))
- ・ 僕は注射がどうしても嫌いで、今も健康診断に行けなくて困っています。注射を打たなくてもよい採血や、バリウムを飲まずにすむようなレントゲンを作って下さい。 (男性 20歳代)

3. 生活・経済に関すること

- ・ 21才の知的障害者の母です。今現在の不安としては就労を続けることの難しさ、一度やめてしまうと次はないのでは、というものがあります。本人に強い働く意思があるわけではないので、いかに仕事を続けていってもらおうか常に気を配っていますが、なかなかうまくいきません。そういった本人への働きかけをしていただく環境がより整う事を望みます。 (男性 20歳代 (代筆))
- ・ 言葉が出ないので社会に溶け込めません。お友達か知り合いが出来れば、生活が楽しくなると思います。やはり近所のお付き合いが必要だと思いますが、今の場所はまだ2年しかいないのでよくわからないので不安です。 (男性 40歳代)
- ・ 親が年を取って子供の面倒をみられなくなった時、いずれ施設にお願いするようになります。新聞やテレビ等で施設でのイジメ等報じられる度に不安で、心が痛み、眠れない日々です。どうか子供達が親なき後も安心して暮らせるようにして下さい。 (女性 40歳代 (代筆))

4. 情報提供などに関すること

- ・ 特別支援で就労の訓練を行い、就労もできました。今後、学校を離れると年金や成年後見人、グループホームなどについての情報を耳にしたことはありますが、詳しい内容がわかりません。区のホームページや北区ニュースなどで障害者の Q&A などの場を設けていただき、卒業後にどこで情報を得られるか、又は勉強会などが開かれているか発信していただけたら有難いです。

(男性 10 歳代 (代筆))
- ・ 今回初めてアンケートに記入しました。同封資料の「サービスの説明、施設一覧、用語解説」の用紙が入っていたので少しわかりやすくなりました。知らない事が多かったのでたいへん役に立ちました。ありがとうございました。

(男性 30 歳代 (代筆))
- ・ ドリームヴィの方には本当にお世話になりました。若い人はインターネットなどもありますが、そうでない人たちには、情報を教えてくれたり、相談にのってくれたり、直接親身になってくれる、このような支援が本当に必要なのだと思いました。

(男性 30 歳代)

5. 学校など教育に関すること

- ・ ゆっくり成長しているのにゆっくり学習する時間がない。中学を卒業すると、もう就職への準備になってしまう。社会へ出るまでもう少し時間がほしい。もう少し学ぶ事をしたい。

(女性 10 歳代 (代筆))
- ・ (重度ではないので) 放課後を過ごすのにいい場所がない。スポーツセンターをもう少し充実させてほしい (夕方から参加できるもの)。

(男性 10 歳代)
- ・ 通常児の教育 (教員も含めて) が中途半端だと思います。長い目でみると一番のバリアフリーにつながるかと思います。そして通常児の道徳の授業も兼ねることになると思います。子供が支援クラスのため、その視点でのみの要望です。

(女性 10 歳代 (代筆))

【自由意見】ご意見・ご要望などありましたら自由にお書きください。(精神障害)

ご意見・ご要望を尋ねたところ、全体で21.0%の方が回答した。

主な意見（まとめ）

順位	意見	件数
1位	生活・経済に関すること	20件
2位	障害に対する理解など	9件
3位	福祉関連サービスに関すること	6件
4位	住宅など住まいに関すること	5件
4位	情報提供などに関すること	5件
	その他	8件

主な意見（一部抜粋）

1. 生活・経済に関すること

- ・今のところ、3匹の猫達と、姉のお陰で何とか、一人で年金だけで生活できていますが、今後、年金が減るという話もテレビで見て、不安があります。 (女性 50歳代)
- ・在宅ワークについて詳しい事が知りたい。家でできる(入力データ)仕事があったらいいと思う。通勤が苦痛、人と話すのが苦痛、顔をうかがわないといけないので普通の仕事はつらい。 (女性 30歳代)
- ・今一番困っている事は、年金が2人合せて毎月11万円位で、とてもやっていけません。毎月貯金を切り崩して何とかやっておりますが、デイサービス代(2万円以上)、医療費2人分、薬代2万円位、都営住宅の申込みもやっておりますが、なかなか抽選に当たりません。本年中には貯金も底をつきます。いつもその事で悩んでおります。 (男性 60歳代(代筆))

2. 障害に関する理解

- ・うつ病に対する偏見を、無くしてほしい。 (男性 30歳代)
- ・精神障害についてはまだ差別的に感じる事が多々あります。それが社会復帰の妨げになったり、病状を悪化させる時もあります。精神障害だけじゃなく、全ての障害者に対して偏見の無い社会のシステムが出来ると、この国はもっと福祉が良くなっていくと思います。 (男性 40歳代)
- ・障害と書くけど誰に「害」をあたえる人がこの世間に居ますか。おとなしい静かな人々はその言葉だけに悲しむこともあるのですよ。そういうのを差別というのではないですか。 (女性 30歳代)

3. 福祉関連サービスに関すること

- ・病気によって、体力が著しく低下した為、回復する目的で区民プールを利用しているが、割引がない。収入がない為、大変な負担となる。 (男性 40歳代)
- ・障害福祉課の窓口が平日の日中しか開いていない為、大変不便を強いられている。せめて土曜に午前中だけでもよいから開設してもらえないだろうか? (男性 30歳代)
- ・生活保護の障害者加算において、2級では付いて3級では付かない(精神)のはおかしいと思う。 (男性 10歳代)

4. 住宅など住まいに関すること

- ・ 数年にわたり都営住宅を申し込んでいるが、いっこうに当たらない。もう少し考えてもらいたい。
(男性 50 歳代)
- ・ 日本中で今住宅が有り余っているのを行政は知らないわけではないはず。今の若い者は、その家を無料で皆がもらえばいい。新しい家等とぜいたくを言うな。マンションも一戸建ても有り余っているではないか。
(女性 80 歳代)
- ・ 住宅の確保はかなり重要だと思う。今は、親がいるからいいが、先のことは分からないという不安がある。
(女性 40 歳代)

5. 情報提供などに関すること

- ・ 精神障害者保健福祉手帳はどこでもらえますか。
(女性 50 歳代 (代筆))
- ・ 私は詐欺に遭い、生活センターに悩みを相談したい。
(女性 40 歳代)
- ・ 精神疾患の場合、症状が悪い場合、受けられる福祉サービス（自立支援、手帳、障害年金、支援施設等）の情報を、自分で動いて取得することが困難である（そもそも制度を知らない事が多い）。
(男性 40 歳代)

【自由意見】ご意見・ご要望などありましたら自由にお書きください（難病患者）

ご意見・ご要望を尋ねたところ、全体で22.0%の方が回答した。

主な意見（まとめ）

順位	意見	件数
1位	福祉関連サービスに関すること	20件
2位	障害に対する理解など	10件
2位	住宅など住まいに関すること	10件
4位	医療内容、医療機関、施設等に関すること	9件
5位	まちづくりに関すること	5件
	その他	33件

主な意見（一部抜粋）

1. 福祉関連サービスに関すること

- 書類申請に行くと、オープンに話をしなければならず、他人でも聞かれたくない事なのに、窓口がそういうことに対して配慮がない。
(女性 40歳代)
- お疲れ様です。これからも障害者や難病患者へ支援や、暮らしやすい福祉の充実を期待しています。
(女性 40歳代)
- 障害は一人一人異なるので、支援の内容や程度、場合等を一律的に決めずに柔軟に対応してほしいと思います。
(女性 50歳代)

2. 障害に対する理解など

- 相談したい事、不安、不満はたくさんあるのですが、ベーチェットやブドウ膜炎は外見上、健康者と何ら変わらないので、家族を含めて誰もこの苦しみを理解してくれない。失明状態になるのは両眼同時ではないので、今までは仕事も生活も我慢している。
(女性 50歳代)
- 外見では分からない病気の場合、自ら病気を周知させることは難しく、したがって周囲の理解や協力を得ることはできない。又、健康な人と同等に働かなくてはと思うので、病気を隠してしまい、それが負担となることも多い。社会的な理解がもっと深まれば良いと思う。
(女性 30歳代)
- 今、健常とほぼ変わらず生活ができていますが、自分が関わっている子供達や保護者もイメージして考えると、環境（周囲）の整備、理解と、当事者の理解、受容、周りへの働きかけという全体的な努力がいると思う。
(女性 40歳代)

3. 住居など住まいに関すること

- 年をとったら、ホームに入るより、子どもと暮らしたい。そのため、子どもと入る都営に相談にゆくが、なかなか、うまくいかない。
(女性 70歳代)
- 今のところは何とか自立して生活していますが、高齢の為非常にこの先心配です。頼る人もいない為、私の様な人を入れてくれる入所施設を作してほしいです。
(女性 70歳代)
- 2年前に難病になり、大量の薬を飲んでいますが。アルバイトの収入では生活が苦しくなっています。都営住宅にも何度か申し込みしていますが、子どもが21才では、もう申し込みしても入居は無理なのでしょうか。
(女性 50歳代)

4. 医療内容、医療機関、施設に関すること

- ・ 医療券を頂いておりますが本当に有り難いと思っております。 (女性 80 歳代)
- ・ 私は 20 万人に 1 人というサルコイドーシスで都の医療券のお世話になっております。 (女性 60 歳代)
- ・ 医療券がある事で、安心して病院に通う事ができます。もし医療券がなかったら、生活がかなり一変していたのではないかと思います。本当にありがとうございます。 (女性 40 歳代)

5. まちづくりに関すること

- ・ リハビリにしても、安心して道路を歩けません。散歩ができません。狭い道にも、自転車やいろいろなものが置かれていて怖いです。歩道（大通り）も、若い人や子どもを乗せた方が、スピードを出して横を通ります。 (女性 70 歳代)
- ・ 私の病気は突然トイレに行きたくなり、我慢できないのが辛いので、町の内にトイレの数が増えてくると嬉しいです。 (男性 50 歳代)
- ・ 赤羽の駅のまわりは、自転車の放置が多く、目の障害の方等の歩行が大変だと思います。どうにかならないものかと思えます。 (女性 60 歳代)

III 資料編

1. 調査票

北区障害者計画・障害福祉計画策定のための実態・意向調査

ご協力をお願い

日頃から区政に関するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、北区では、障害者計画及び障害福祉計画（第4期）を策定するため、区民の皆様にアンケート調査のご協力をお願いすることにしました。つきましては、身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び難病患者の方の中から無作為に4,000人を選ばせていただき、このアンケートをお送りしています。

お答えいただいた内容は北区の計画づくりのためにだけ使わせていただくもので、どなたがお答えいただいたかなどを調べることはありません。また、お答えが外部に漏れたりすることもありますので、ぜひご協力をお願いいたします。

平成26年1月 北区

◆◇ ご記入にあたってのお願い ◇◆

1. このアンケートは、あて名のご本人についてお答えください。ご本人が回答することが難しい場合は、ご家族や主に介助や支援をなさっている方が、ご本人と相談しながら、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. 聴覚障害者の方で記入についてわからないときは、北区役所本庁舎（1階）手話通訳連絡所でご相談をお受けします。（ファクス：3908-6323）
3. ご記入いただいたアンケートは、**同封の返信用封筒に入れ、1月23日（木）までにポストに入れてください**（切手は必要ありません）。
4. 回答できない場合や答えたくない場合は、下のあてはまる番号に○をつけ、アンケートには回答しないで、この用紙をご返送ください。

1. 長期不在で回答できない

2. 答えたくない

3. その他（

）

【問合せ先】北区健康福祉部 障害福祉課 障害福祉係

電話：3908-9085（直通）

ファクス：3908-9086

受付時間：午前8時30分から午後5時15分（土・日・祝日を除く）

調 査 票 1月23日(木)までにポストに入れてください。

はじめに：このアンケートで「あなた」というのは、「あて名のご本人」のことです。

：平成25年12月1日現在の状況でお答えください。

問1 このアンケートに回答していただく方はどなたですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 本人（代筆を含む）	3. 施設職員・サービス提供者など
2. 家族	4. その他（ ）

あなたのことについて

問2 あなたの性別、12月1日現在の年齢をお答えください。

1. 男性	2. 女性	満（ ）歳 ※年齢を記入
-------	-------	--------------

問3 あなたの12月1日現在のお住まいの地域をお答えください。

北区 _____ 丁目（例：北区王子本町1丁目）

※北区外にお住まいの方、入所や入院をされている方はその地域もお答えください。

都道府県名 _____ 市区町村名 _____ （例：神奈川県横浜市）

問4 12月1日現在、あなたは次の手帳などをお持ちですか。（あてはまる番号すべてに○）

身体障害者手帳	1. ない	2. ある → 問4-1へ
愛の手帳	1. ない	2. ある → 問4-2へ
精神障害者保健福祉手帳	1. ない	2. ある → 問4-3へ
①医療券（難病医療費助成）	1. ない	2. ある → 問4-4へ

問4-1 あなたが持っている身体障害者手帳の等級と手帳に記されている障害名はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

等 級	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級	5. 5級	6. 6級
障害名	1. 視覚	2. 聴覚・平衡機能	3. 音声・言語機能・そしゃく	4. 肢体不自由 (上肢・下肢・体幹・運動)	5. 内部障害（心臓・じん臓・肝臓・呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸など）	6. 免疫機能障害
				7. その他（ ）		

問 4-2 あなたが持っている愛の手帳の度数はどれですか。 (あてはまる番号 **1つに○**)

1. 1度	2. 2度	3. 3度	4. 4度
-------	-------	-------	-------

問 4-3 あなたが持っている精神障害者保健福祉手帳の等級と疾病名はどれですか。

(あてはまる番号 **すべてに○**)

等 級	1. 1級	2. 2級	3. 3級
疾病名	1. 統合失調症 2. 気分障害(うつ病、躁うつ病) 3. 依存症 4. てんかん 5. 認知症		6. 発達障害 7. 高次脳機能障害 8. その他 () 9. わからない

問 4-4 あなたが持っている **都** 医療券 (難病医療費助成) に記されている疾病名はどれですか。 (あてはまる番号 **すべてに○**)

1. 潰瘍性大腸炎	6. 多系統萎縮症 (線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)
2. パーキンソン病関連疾患	7. 後縦靭帯骨化症
3. 全身性エリテマトーデス	8. その他 ()
4. クロウン病	
5. 悪性関節リウマチ	

問 5 すべての方にうかがいます。あなたの障害程度区分はどれですか。また介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。

障害程度区分 (あてはまる番号 1つに○)		介護保険制度の要支援・要介護度 (あてはまる番号 1つに○)	
1. 未申請 (※)	6. 区分 4	1. 未申請 (※)	6. 要介護 2
2. 非該当 (※)	7. 区分 5	2. 非該当 (自立) (※)	7. 要介護 3
3. 区分 1	8. 区分 6	3. 要支援 1	8. 要介護 4
4. 区分 2	9. わからない	4. 要支援 2	9. 要介護 5
5. 区分 3		5. 要介護 1	10. わからない

※未申請・・・審査を受けたことがない。非該当・・・認定審査を受けたが非該当または自立と判断された。

通院や入院について

問6 あなたは最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）。

（あてはまる番号1つに○）

1. 通院していない	5. 月に2日以内（または2週間に1日）
2. 毎日	6. 年に10日以内
3. 週に3日以内	7. 年に20日以内
4. 週に6日以内	8. その他（ ）

問7 あなたは最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか。

（あてはまる番号1つに○）

1. 入院していない	6. 延べ2・3ヶ月ほど
2. 3日以内	7. 延べ4・5ヶ月ほど
3. 1週間以内	8. 延べ半年以上
4. 20日以内	9. 1年以上
5. 延べ約1ヶ月	

《問7で2～9に○をした方にうかがいます。》

問7-1 入院した理由は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 障害にかかわる事由	傷病名（ ）
2. 病気	傷病名（ ）
3. けが	傷病名（ ）
4. 検査入院	検査名（ ）
5. その他	傷病名（ ）

《問8で「7. 入所施設」「8. 病院」に○をした方にかがいます》

問8-4 今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満	4. 5～10年未満
2. 1～3年未満	5. 10年以上
3. 3～5年未満	6. わからない

問9 すべての方にかがいます。将来はどこで暮らしたいですか。理由もお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 持ち家（一戸建て・分譲マンションなど）	3. 公社・公団住宅・都営住宅・区営住宅
2. 民間賃貸住宅	4. グループホーム・ケアホーム（※）
	5. 入所施設
	6. その他（ ）

理由は何ですか

※グループホーム・ケアホームの説明及び施設一覧は同封資料2、3ページをご覧ください。

収入・就労について

問10 あなたの収入はどれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 仕事による収入 (工賃を含む)	2. 障害年金などの年金 3. 親族からの援助や仕送り 4. 生活保護 5. その他（ ）	→ 問11へ
-----------------------	--	--------

→ 《問10で「1. 仕事による収入（工賃を含む）」に○をした方にかがいます。》

問10-1 現在、どのような形で仕事をしていますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 自営業（自ら経営）	6. 就労継続支援A型（※）
2. 家業の手伝い（家族の仕事の手伝い）	7. 就労継続支援B型（※）
3. 会社などの正規職員	8. 在宅ワーク（内職、パソコン入力、翻訳など）
4. パート・アルバイト	9. その他（ ）
5. 就労移行支援（※）	

※5, 6, 7の説明及び施設一覧については同封資料2, 3ページをご覧ください。

問 10-2 現在、どのような職種で仕事をしていますか。 (あてはまる番号 **1つに○**)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 事務職 | 6. 製造・加工業 |
| 2. 販売職 | 7. 建設・土木業 |
| 3. 専門的・技術的職業 | 8. 農林水産業 |
| 4. サービス業 | 9. 作業 |
| 5. 運輸業 | 10. その他 () |

問 10-3 あなたの収入額は月平均どれぐらいですか。 (あてはまる番号 **1つに○**)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5万円未満 | 4. 15万～20万円未満 |
| 2. 5万～10万円未満 | 5. 20万円以上 |
| 3. 10万～15万円未満 | 6. わからない |

問 11 すべての方にうかがいます。あなたは今後、どのような形で仕事をしたいですか。

(あてはまる番号 **すべてに○**)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自営業（自ら経営） | 6. 就労継続支援A型（※） |
| 2. 家業の手伝い（家族の仕事の手伝い） | 7. 就労継続支援B型（※） |
| 3. 会社などの正規職員 | 8. 在宅ワーク（内職、パソコン入力、翻訳など） |
| 4. パート・アルバイト | 9. その他 () |
| 5. 就労移行支援（※） | 10. 就労を希望しない |

※5, 6, 7の説明及び施設一覧については同封資料2, 3ページをご覧ください。

→ **「問 11 で「3. 会社などの正規職員」に○をした方にうかがいます」**

問 11-1 会社などで働くにあたり心配なことはありますか。 (あてはまる番号 **すべてに○**)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 仕事・作業などの内容が自分には重すぎるのではないか |
| 2. 職場の障害に対する理解が不足しているのではないか |
| 3. 職場の人間関係がうまくいかないのではないか |
| 4. 通勤が大変になりそうだ |
| 5. 給料・待遇などが自分の希望とちがいきすぎるのではないか |
| 6. 職種・やりがいなどが自分の希望と合わないのではないか |
| 7. その他 () |

問 12 すべての方にうかがいます。障害者が働くにあたり、必要な支援は何だと思えますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 就職するために必要な情報提供や相談 | 8. 仕事を続けるための相談 |
| 2. 就職するために必要な知識や技術を学ぶための支援 | 9. 仕事を続けるための家族への支援 |
| 3. 職場実習（インターンシップ）の充実 | 10. 障害について職場での理解と協力 |
| 4. 能力や体調にあった仕事の紹介 | 11. 職場や通勤する道路のバリアフリー化 |
| 5. 職場で自分の考えをうまく伝える方法を学ぶための支援 | 12. 自立して通勤するための訓練や支援 |
| 6. 健康管理などの支援 | 13. 再就職の相談 |
| 7. 職場でよい人間関係をつくるための支援（ジョブコーチ） | 14. 本人の働きたい気持ちを育てること |
| | 15. その他（ ） |
| | 16. 特にない |

————— 介助・支援について —————

問 13 介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 夫または妻 | 8. 隣人・知人 |
| 2. 父母 | 9. ホームヘルパー |
| 3. 兄弟姉妹やその夫または妻 | 10. ボランティア |
| 4. 子どもやその夫または妻 | 11. 施設の職員 |
| 5. 孫やその夫または妻 | 12. その他（ ） |
| 6. 祖父母 | 13. 誰もいない |
| 7. その他親族（ ） | 14. 介助などは必要ではない |

→ 問 14 へ

→ 《問 13 で 1～7 に ○ をした方にうかがいます》

問 13-1 ご親族の中でいちばん長い時間あなたを支えてくれる方はどなたですか。

問 13 の 1～7 のうち、おもな介助者ひとり

※(1～7の番号を1つ記入)

《次からは問 13-1 で記入した、あなたを支えてくれるおもな介助者のご親族のことをうかがいます》

問 13-2 おもな介助者の年齢をうかがいます。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 10 歳代 | 4. 40 歳代 | 7. 65～69 歳 |
| 2. 20 歳代 | 5. 50 歳代 | 8. 70～74 歳 |
| 3. 30 歳代 | 6. 60～64 歳 | 9. 75 歳以上 |

問 13-3 おもな介助者の性別をうかがいます。 (あてはまる番号 **1つに○**)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 13-4 おもな介助者の現在の仕事についてうかがいます。 (あてはまる番号 **1つに○**)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 介助する前から仕事はしていない | 5. パート・アルバイト |
| 2. 介助するため仕事はやめた | 6. 自営業 |
| 3. 常勤の社員 (職員) | 7. 学生 (専門学校など含む) |
| 4. 派遣社員・契約社員 | 8. その他 () |

日常生活について

問 14 あなたは、平日の昼間おもにどこで過ごしていますか。 (あてはまる番号 **1つに○**)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 自宅 | 4. 特別支援学校 (幼・小・中・高等部) |
| 2. 通所施設など
(生活介護、就労移行支援、就労継続支援
A型・B型、自立訓練、地域活動支援セ
ンター) (※) | 5. 小・中学校 |
| 3. 保育園・幼稚園・認定こども園 | 6. 高等学校 |
| | 7. 専門学校・大学・短期大学 |
| | 8. 会社など職場 |
| | 9. その他 () |

※2のカッコ内の説明及び施設一覧については同封資料2, 3, 4ページをご覧ください。

問 15 あなたは、余暇をどのようにすごしていますか。 (あてはまる番号 **すべてに○**)

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 個人でする趣味をしている (家の中・
庭なども含む) | 6. 人が集まる場所 (集会所など) に行く |
| 2. 個人でする趣味をしている (家の外) | 7. ペットとすごしている |
| 3. 仲間とする趣味をしている (屋内) | 8. 余暇らしい余暇はない |
| 4. 仲間とする趣味をしている (屋外) | 9. 何もしていない |
| 5. 家族とすごしている | 10. その他 () |

外出・地域環境・交通について

問 16 あなたが、外出時に困ることは何ですか。 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 自力での歩行・移動が困難、または不安がある | 5. 付き添いの人がない |
| 2. 人との会話・コミュニケーションが困難、または不安がある | 6. 目的地が遠すぎる |
| 3. 自力での公共交通機関の利用が困難、または不安がある | 7. 最寄りの公共交通機関が遠すぎる |
| 4. 自力での買い物が困難、または不安がある | 8. 移動にかかる費用が高すぎる |
| | 9. 特に何もない |
| | 10. その他 () |

≪18歳未満のお子さんがいる方にうかがいます≫

問 17 あなたが、あなたのお子さんと一緒に外出するときに困ることは何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 自分のことで手一杯になり、子どもへの注意力が散漫になる | 4. 子どもが急病などになった場合、対応が困難、または不安がある |
| 2. 子どもの移動速度についていけない | 5. 特に何もない |
| 3. とっさに子どもを守ることが困難、または不安がある | 6. その他 () |

情報や相談について

問 18 あなたは、区政や福祉サービス情報をどこから入手していますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. 区役所の職員や保健師など | 10. 身体・知的・精神相談員 |
| 2. 北区ニュース | 11. 社会福祉協議会 |
| 3. 区のホームページ | 12. 通所施設やグループホーム・ケアホームの職員 |
| 4. 障害者福祉のしおり | 13. 同じ障害者、障害者団体や家族会 |
| 5. ポスター・チラシなど | 14. かかりつけ医など医療機関 |
| 6. 民生委員・児童委員 | 15. 学校の先生 |
| 7. 障害者地域活動支援センター (※)
(支援センターきらきら) | 16. ホームヘルパー |
| 8. 障害者地域自立生活支援室 (※) | 17. 家族・親族 |
| 9. 就労支援センター北 (※)
(ドリームヴィ・わくわくかん) | 18. 友人や職場の同僚など知人 |
| | 19. その他 () |
| | 20. 特にない・情報は入手していない |

※7, 8, 9の説明については、同封資料4ページをご覧ください。

サービスの利用について

問 22 ①～⑭のサービスごとに利用状況（A欄）と満足度（B・C欄）、今後の利用意向（D欄）をお答えください。

サービス (それぞれのサービスの説明及び施設一覧については同封資料2, 3ページをご覧ください)	A	B					C	D
	利用している (利用している場合のみ○記入)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	不満なこと (B欄で4・5に○をした方は下の太枠内1～8のうちあてはまる番号を記入)	今後またはこれからも利用したいか
記入例 ①居宅介護(ホームヘルプ)	○	1	2	3	④	5	例) 1. 3	○
①居宅介護 (ホームヘルプ)	→	1	2	3	4	5	→	→
②短期入所(ショートステイ)	→	1	2	3	4	5	→	→
③児童発達支援	→	1	2	3	4	5	→	→
④放課後等デイサービス	→	1	2	3	4	5	→	→
⑤行動援護	→	1	2	3	4	5	→	→
⑥同行援護	→	1	2	3	4	5	→	→
⑦生活介護	→	1	2	3	4	5	→	→
⑧療養介護	→	1	2	3	4	5	→	→
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)	→	1	2	3	4	5	→	→
⑩就労移行支援	→	1	2	3	4	5	→	→
⑪就労継続支援(A型・雇用型)	→	1	2	3	4	5	→	→
⑫就労継続支援(B型・非雇用型)	→	1	2	3	4	5	→	→
⑬共同生活援助(グループホーム)	→	1	2	3	4	5	→	→
⑭共同生活介護 (ケアホーム)	→	1	2	3	4	5	→	→

C : 不満なこと (下から選んでそれぞれのサービスの欄に番号を記入してください)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 回数や時間が足りない | 5. 事業者と家族との連携がとれていない |
| 2. 利用の日時があわない | 6. サービス提供者から心を傷つけられることがある |
| 3. サービス内容の質がよくない | 7. サービス提供者の対応がよくない |
| 4. 事業所を選べない | 8. その他 |

《北区独自のサービス（地域生活支援事業）や相談についてうかがいます。》

問 23 ①～⑦のサービスごとに利用状況（A欄）と満足度（B・C欄）、今後の利用意向（D欄）をお答えください。

サービス (それぞれのサービスの説明については同封資料4ページをご覧ください。)	A	B					C	D
	利用している (利用している場合のみ○記入)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	不満なこと (B欄で4・5に○をした方は下の太枠内1～8のうちあてはまる番号を記入)	今後またはこれからも利用したいか
記入例 ①移動支援	○	1	2	3	④	5	例) 1, 3	○
①移動支援	→	1	2	3	4	5	→	→
②日中一時支援	→	1	2	3	4	5	→	→
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)	→	1	2	3	4	5	→	→
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)	→	1	2	3	4	5	→	→
⑤障害者地域自立生活支援室	→	1	2	3	4	5	→	→
⑥就労支援センター北 (ドリームヴィ・わくわくかん)	→	1	2	3	4	5	→	→
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)	→	1	2	3	4	5	→	→

C : 不満なこと (下から選んでそれぞれのサービスの欄に番号を記入してください)



- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 回数や時間が足りない | 5. 事業者と家族との連携がとれていない |
| 2. 利用の日時があわない | 6. サービス提供者から心を傷つけられることがある |
| 3. サービス内容の質がよくない | 7. サービス提供者の対応がよくない |
| 4. 事業所を選べない | 8. その他 |

成年後見について

※成年後見制度の説明については同封資料4ページをご覧ください。

問 27 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか。

(あてはまる番号 1つに○)

1. 利用したことがある、または現在利用している
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

→ <<問 27 で「2. 知っているが、利用したことはない」に○をした方にうかがいます。>>

問 27-1 「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか。 (あてはまる番号すべてに○)

1. 自分で管理できる
2. 夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親族に任せることができる
3. 制度の内容や申請の仕方がよくわからない
4. 費用がかかる
5. 他人に任せたくない
6. その他 ()

災害対策について

問 28 あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 地震などの情報をえられるか | 6. 避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもら |
| 2. 緊急を人に知らせられるか | えるか |
| 3. 周囲の人に助けてもらえるか | 7. 避難所に使いやすい設備があるか |
| 4. 避難所までの移動ができるか | 8. 自分のけがや病気の状態が悪くならないか |
| 5. 避難所での介護、看護をしても | 9. 特に不安はない |
| らえるか | 10. その他 () |

問 29 災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 近所の親戚 | 5. 救急隊・消防隊など |
| 2. 近所の住民 | 6. 町会・自治会などの自主防災組織 |
| 3. ボランティア | 7. いない |
| 4. 民生委員・児童委員 | 8. その他 () |

問 30 あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. 消火器・三角バケツを置いている | 7. 地震などのいざという時どうするか、
家族で話し合っている |
| 2. 家具などが倒れないようにしている | 8. 地域の人と普段から交流している |
| 3. 水や乾パンなどの食料を用意してある | 9. その他 () |
| 4. ヘルメットや懐中電灯を用意してある | 10. 特に対策はとっていない |
| 5. 薬などの救急セットを用意してある | |
| 6. トランジスターラジオを用意してある | |

問 31 災害時要援護者の登録(※)をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. している | 3. 登録制度を知らない |
| 2. 登録したくないので登録していない | |

※災害時要援護者登録制度の説明については同封資料4ページをご覧ください。

→「問31で「2. 登録したくないので登録していない」に○をした方にうかがいます。」

問 31-1 未登録の理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. プライバシーの守秘に不安がある | 4. 必要性を感じない |
| 2. 登録が面倒 | 5. 周囲の人に障害があることを知られたくない |
| 3. 登録の仕方がわからない | 6. その他 () |

社会参加について

問 32 あなたが今行っている、また今後取り組みたい社会活動は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

	a. 今、行っている 社会活動	b. 今後、取り組みたい 社会活動
1. 区・社会福祉協議会の行事・催し		
2. 町会・自治会などの行事・催し		
3. 障害者団体の活動		
4. ボランティア団体の活動		
5. 趣味の活動 (スポーツを含む)		
6. その他 ()		
7. 特にない		

《問 32 で「7. 特にない」の「a. 今、行っている社会活動」欄に○をした方にうかがいます。
》

問 32-1 社会活動を行っていない理由は何ですか。 (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 道路や駅などの利用が不便 | 8. 周りの人の障害者に対する理解不足 |
| 2. 電車やバスなどを使っての移動が不便 | 9. 適切な指導者がいない |
| 3. 利用する建物の設備が整備されていない | 10. 一緒に行く仲間がいない |
| 4. 点字版が古い、破損などにより利用が不便 | 11. 障害者の参加を想定していないため、通訳、文字表示、点字など配慮がされていない |
| 5. 介助者がいない | 12. 時間がない |
| 6. 情報がない | 13. その他 () |
| 7. FAX番号やメールアドレスなどの連絡方法の整備がされていないため、参加連絡や問い合わせができない | 14. 特にない |

問 33 障害があるために諦めたり妥協をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 進学 | 7. 近距離の外出 |
| 2. 就職 | 8. 旅行や遠距離の外出 |
| 3. 異性との付き合い | 9. ファッションなどのおしゃれ |
| 4. 結婚 | 10. スポーツ・文化活動 |
| 5. 出産・育児 | 11. その他 () |
| 6. 人づきあい | 12. 特にない |

問 34 あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください。

(あてはまる番号 つまでに○)

1. 相談窓口や情報提供の充実
2. 障害の早期発見・早期療育体制の充実
3. 障害児保育・障害児教育の充実
4. 機能回復や地域生活に必要な訓練(リハビリテーション)の充実
5. 就労に向けた支援や雇用環境の整備
6. 日中の活動の場の整備
7. 居宅介護(ホームヘルプサービス)などの在宅サービスの充実
8. グループホームなど地域での生活の場の整備
9. 入所施設の整備
10. 障害への理解や交流の促進
11. ボランティア活動などの地域活動の促進
12. 段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備
13. 住宅を確保するための支援やしきみ
14. その他()
15. 特にない

【自由意見】 ご意見・ご要望などありましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。1月23日(木)までにポストに入れてください。

刊行物登録番号

25-1-142

平成25年度
北区障害者実態・意向調査
報告書

平成26年3月発行

発行：北区

編集：健康福祉部障害福祉課

〒114-8508

北区王子本町1-15-22

TEL 3908-9085

FAX 3908-9086